

平成 30 年度
沖縄子供の貧困緊急対策事業
アンケート調査報告書

平成 31 年 3 月

沖縄県

調査研究業務 受託者

公立大学法人 大阪府立大学 山野則子研究室

目次

はじめに	1
I 調査概要	2
1. 調査の目的	2
2. 調査票種別	2
3. 調査実施日	2
4. 収集方法・回収状況	2
5. 調査実施主体	2
6. 研究者一覧	2
7. データの扱い	3
II 調査結果	4
第1章 居場所：保護者に関する分析	4
1. 回答者の属性	4
2. 単純集計から見た分析結果	12
第2章 居場所：子どもに関する分析	17
1. 回答者の属性	17
2. 学年別に見た分析結果	24
3. 居場所の利用頻度別に見た分析結果	66
4. 困窮度別に見た分析結果	94
第3章 支援員に関する分析	116
1. 回答者の属性	116
2. 単純集計から見た分析結果	132
3. 支援員に会った回数別に見た分析結果	160
第4章 2017年度との比較	208
1. 居場所：子どもに関する比較	208
2. 支援員に関する比較	211
第5章 平成30年度沖縄子ども調査との比較	219
1. 基本情報	220
2. 子どもの経済状況	228
3. 子どもの生活環境	237
4. 子どもの教育環境	241
5. 子どもの自己効力感	244
III 考察	247
1. 居場所：保護者に関する分析結果	247
2. 居場所：子どもに関する分析結果	247
3. 支援員に関する分析結果	251

4. 2017年度との比較	256
5. 平成30年度沖縄子ども調査との比較.....	256
6. 総合総括.....	258
IV 資料	271
1. アンケート調査票.....	271
2. 居場所：保護者 単純集計	311
3. 居場所：子ども 単純集計	318
4. 支援員：保護者 単純集計	334

はじめに

子どもの貧困対策を総合的に推進するにあたり、講ずべき施策の基本となる事項およびその他事項を定めた「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が、第 183 回国会において成立し、2014 年 1 月に施行された。さらに、「子供の貧困対策に関する大綱」が 2014 年 8 月に打ち出され、5 年後の見直し案がうたわれた。そして、2018 年 12 月から内閣特命大臣も会議に参加して、見直しの議論が始まっている。指標をどうするのか、何をもって評価を行っていくのか、議論が積み重ねられている。そういったなかで、2017 年度からの沖縄子供の貧困緊急対策事業の事業評価の結果は、対策の評価のモデルになり、指標の検討においても一石を投じる位置づけになることができるであろう。

沖縄県は、1 人当たりの県民所得が全国で最も低く、母子世帯の出現率が全国 1 位である。このように、沖縄の子どもたちを取り巻く環境は全国の中でも極めて深刻である。こうしたことを背景として、①寄り添い型支援を行う「支援員」の配置、②安心して過ごせる「居場所」の確保、が実施されることとなった。2017 年度からその評価を行うべく分析を実施している。

本調査では、子どもの貧困に関するタウンゼントの定義を元に Child Poverty Action Group (CPAG) が示している、①所得や資産など経済的資本 (capital) の欠如、②健康や教育など人的資本 (humancapital : ヒューマンキャピタル) の欠如、③つながりやネットワークなど社会関係資本 (social capital : ソーシャルキャピタル) の欠如からなる 3 つの資本の欠如・欠落を基本的な枠組みとし、「沖縄子供の貧困緊急対策事業」の効果的実施に向けた貧困の把握に努めるものである。

本報告書は、平成 30 年度に実施した「沖縄子供の貧困緊急対策事業効果測定アンケート調査」を分析したものである。居場所における調査は子ども・保護者双方に行い、支援員調査は保護者に実施した。子供の貧困緊急対策事業として評価を行うために、前年度に積み残した課題を改善すべく取り組んだ。具体的には、子どもから回答を得た居場所の調査では、子どもに所得を聞いていないこと、親とマッチングをしていなかったという課題から正確な経済状況ごとの把握が困難であった。今回は親子をマッチングさせ、経済的実態との分析を新たに行っている。また昨年度と比較すること、同時期に行った子ども調査とも比較すること、など幅広く分析が可能となるように実施し、単純集計・クロス集計及び分析を行ったものである。

I 調査概要

1. 調査の目的

子どもたちの未来が生まれ育った環境によって左右されることなく、自分の可能性を追求できる社会の実現を目指し、沖縄子供の貧困緊急対策事業の効果的な実施のため、沖縄県の支援を受けている子どもの現状等を把握することを目的とする。

2. 調査票種別

- (1) 居場所配付（保護者用、子ども用）
- (2) 支援員配付（保護者用）

3. 調査実施日

平成 30 年 10～11 月

4. 収集方法・回収状況

市町村が調査票を配付・回収し、受託者が集計。

居場所・保護者用	配付数：1,991 件	回収数（回収率）：689 件（34.6%）
居場所・子ども用	配付数：2,679 件	回収数（回収率）：1,342 件（50.1%）
支援員・保護者用	配付数：597 件	回収数（回収率）：343 件（57.5%）

5. 調査実施主体

沖縄県（子ども生活福祉部子ども未来政策課）

調査研究業務受託者

公立大学法人 大阪府立大学 人間社会システム科学研究科

6. 研究者一覧

担当者 公立大学法人 大阪府立大学 教授 山野 則子（業務責任者）
公立大学法人 大阪府立大学 研究員 林 萍萍 山下 剛徳

研究補助者 大阪府立大学 研究員 河瀬 麻里
大阪府立大学 人間社会システム科学研究科 石田 まり 田中 佑典
大阪府立大学 地域保健学域 教育福祉学類 川口 拓馬 真鍋 里彩
福森 亜季

7. データの扱い

本報告書のデータについては、「I. 調査概要」で述べた方法で収集したものである。調査票では、居場所・保護者用 13 問、居場所・子ども用 29 問、支援員・保護者用 24 問を調査項目として設計した。なお、報告書においてはパーセンテージを用いて記述する。この中で、パーセンテージで示される数値同士の加・減・除を行う（合計する、差を把握する、何倍かに着目する）ことがあるが、実際に示された数値で算出しても結果が異なる場合がある。これは、示されている数値は小数点第二位以下を四捨五入しているものであり、算出には四捨五入前の厳密な数値を用いていることによるものである。

また、データ入力の関係上、学年別、居場所の利用頻度別、困窮度別、支援員に会った回数別にみたクロス集計分析では無回答を除いた割合を算出している（多重回答項目は除く）。各質問項目の無回答を含んだ割合については、巻末の単純集計表を参照していただきたい。

なお、昨年度の報告書では「居場所に来て「良かったと思わない」子どもの特徴」についての分析を行っていたが、今年度は「良かったと思わない」と回答した子どものサンプルが 30 件にとどまったことから、分析を行うことは難しいと判断し、掲載していない。

Ⅱ 調査結果

第1章 居場所：保護者に関する分析

1. 回答者の属性

(1) 基本情報

お子さんからみた続柄

問1 この調査票にお答えになっている方は、お子さんからみてどなたにあたりますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

回答者の有効サンプルは 689 名である。続柄は、「お母さん」が 83.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「お父さん」が 9.1%、「おばあさん・おじいさん」が 5.8%となっている。

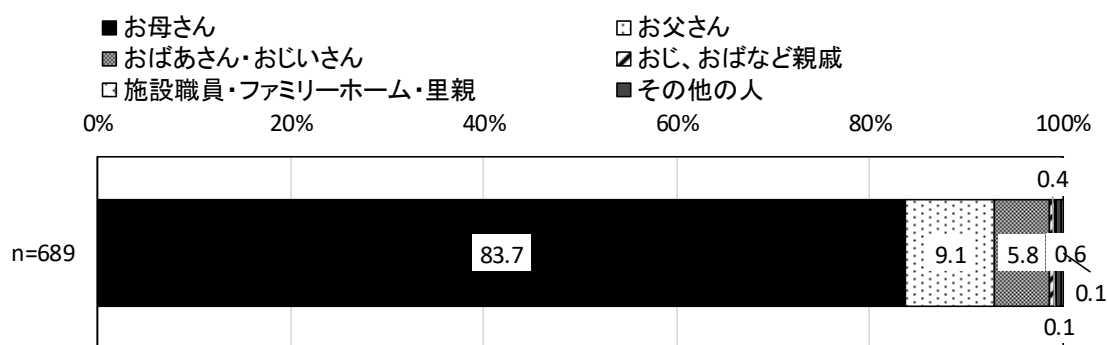


図1 お子さんからみた続柄 (注：図260に再掲)

回答者の性別

問2-1-1 あなたの性別と年齢を教えてください。

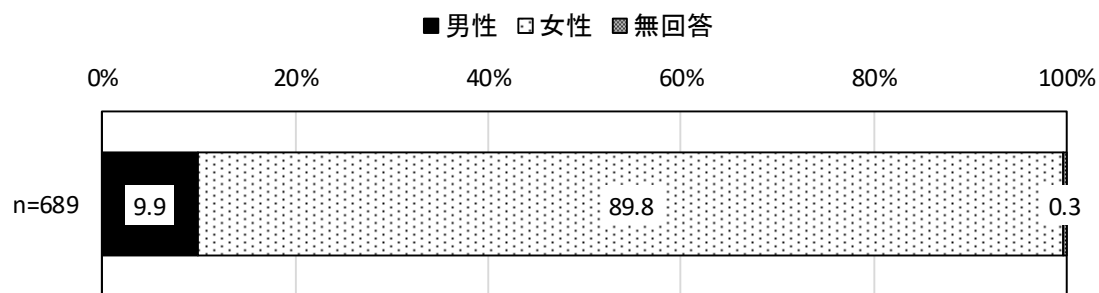


図2 回答者の性別

回答者の性別は、「女性」が 89.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「男性」が 9.9%となっている。

回答者の年齢

問 2 - 1 - 2 あなたの性別と年齢を教えてください。

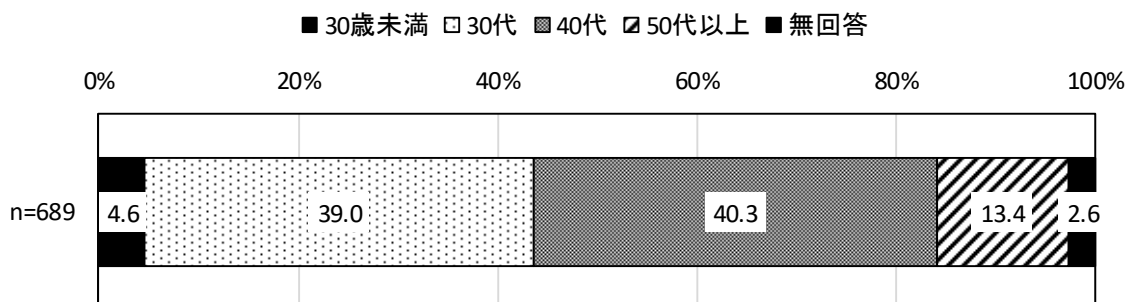


図 3 回答者の年齢

回答者の年齢は、「40代」が40.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「30代」が39.0%、「50代以上」が13.4%となっている。

回答者の家族の人数

問 2 - 2 お子さんの家族の人数を教えてください。あなたとお子さんも含みます。

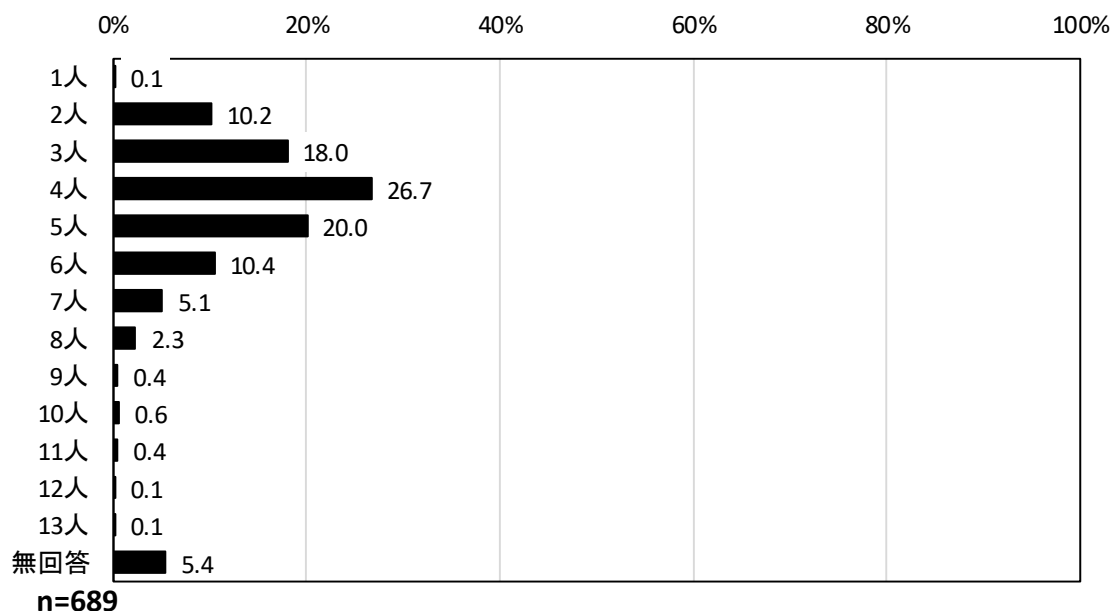


図 4 回答者の家族の人数

回答者の家族の人数は、「4人」が26.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「5人」が20.0%、「3人」が18.0%、「6人」が10.4%、「2人」が10.2%となっている。

居場所に通っている子どもの人数

問3 居場所に通っているお子さんの人数を教えてください。

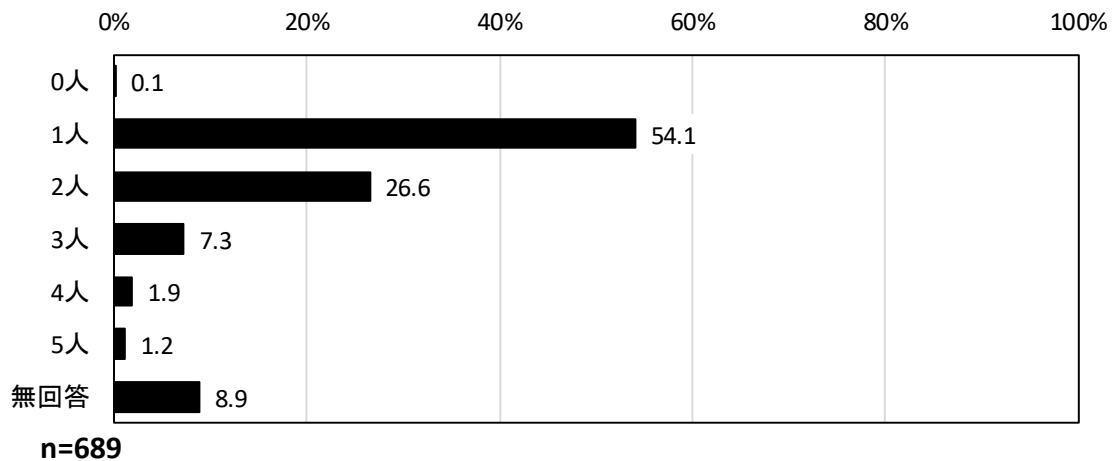


図5 居場所に通っている子どもの人数

居場所に通っている子どもの人数は、「1人」が54.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「2人」が26.6%となっている。

市町村の支援員からの支援について

問4 あなたは市町村の支援員から支援をうけたことがありますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

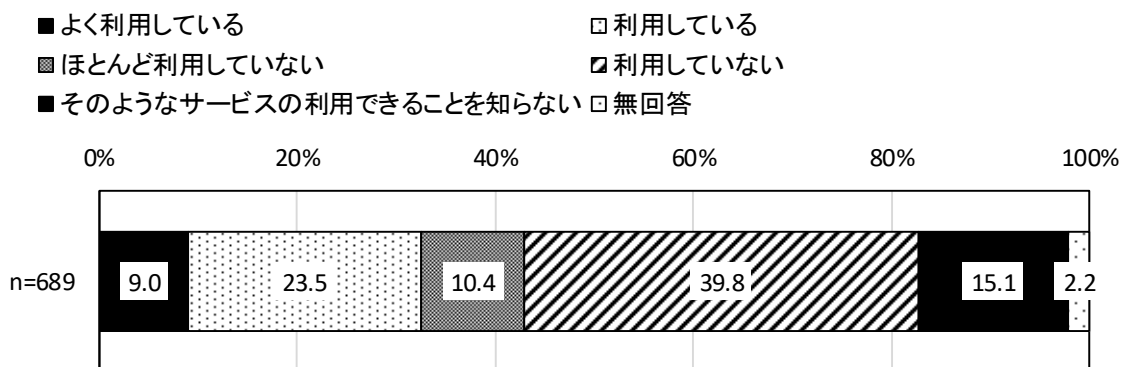


図6 市町村の支援員からの支援について

支援員からの支援については、「利用していない」が39.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用している」が23.5%、「そのようなサービスの利用できることを知らない」が15.1%となっている。

(2) 経済状況

前年（2017年）の世帯収入の合計額

問5 前年（2017年）について、お子さんと生計を共にしている方全員の収入を合わせた「世帯の収入（年間のボーナス含む手取り額）」を教えてください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

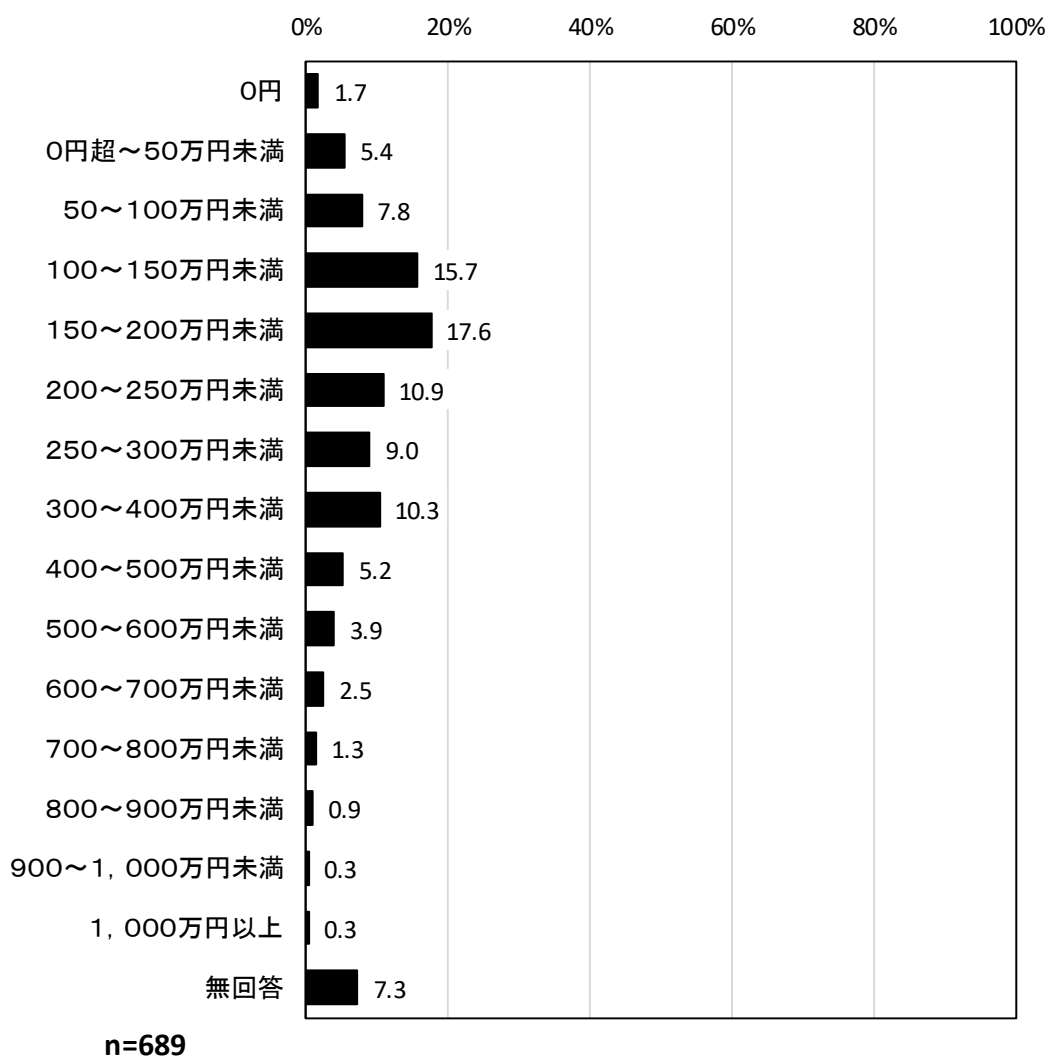


図7 前年（2017年）の世帯収入の合計額（注：図264に再掲）

前年の世帯収入の合計額は、「150～200万円未満」が17.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「100～150万円未満」が15.7%、「200～250万円未満」が10.9%となっている。

経済的な理由で経験したこと

問6 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。おおむね半年の間でお考えください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

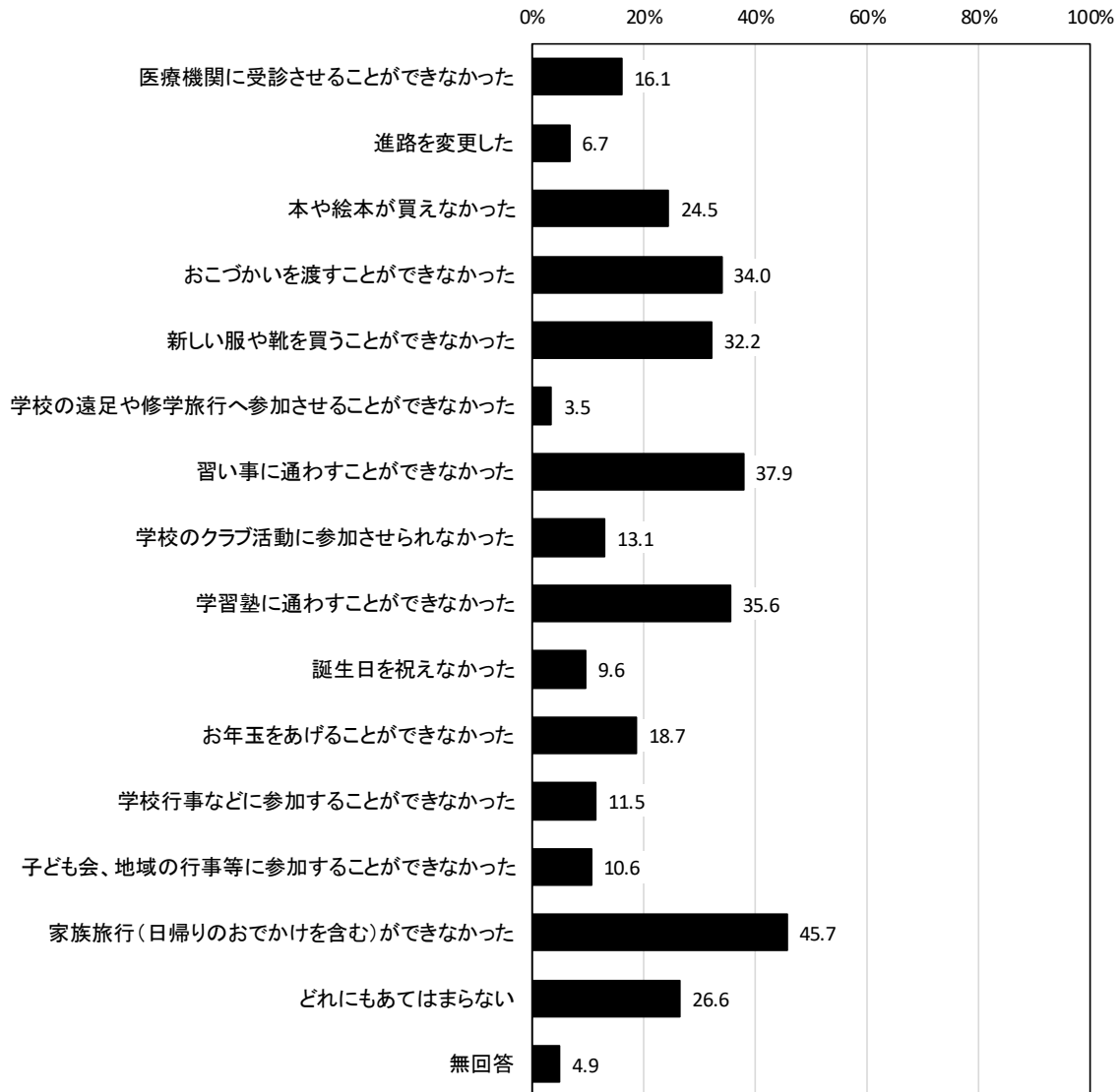


図 8 経済的な理由で経験したこと (注: 図 276 に再掲)

経済的な理由で経験したことは、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が 56.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「食費を切りつめた」が 52.8%、「趣味やレジャーの出費を減らした」が 50.1%となっている。

経済的な理由で子どもにしてあげられなかった経験

問7 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。おおむね1年の間でお考えください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)



n=689

図9 経済的な理由で子どもにしてあげられなかった経験 (注: 図279に再掲)

経済的な理由で子どもにしてあげられなかった経験は、「家族旅行(日帰りのおでかけを含む)ができませんでした」が45.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「習い事に通わすことができなかった」が37.9%、「学習塾に通わすことができなかった」が35.6%となっている。

主に生計を支えている方の就労状況

問 8 - 1 お子さんの世帯で主に生計を支えている方の現在のお仕事の状況を教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

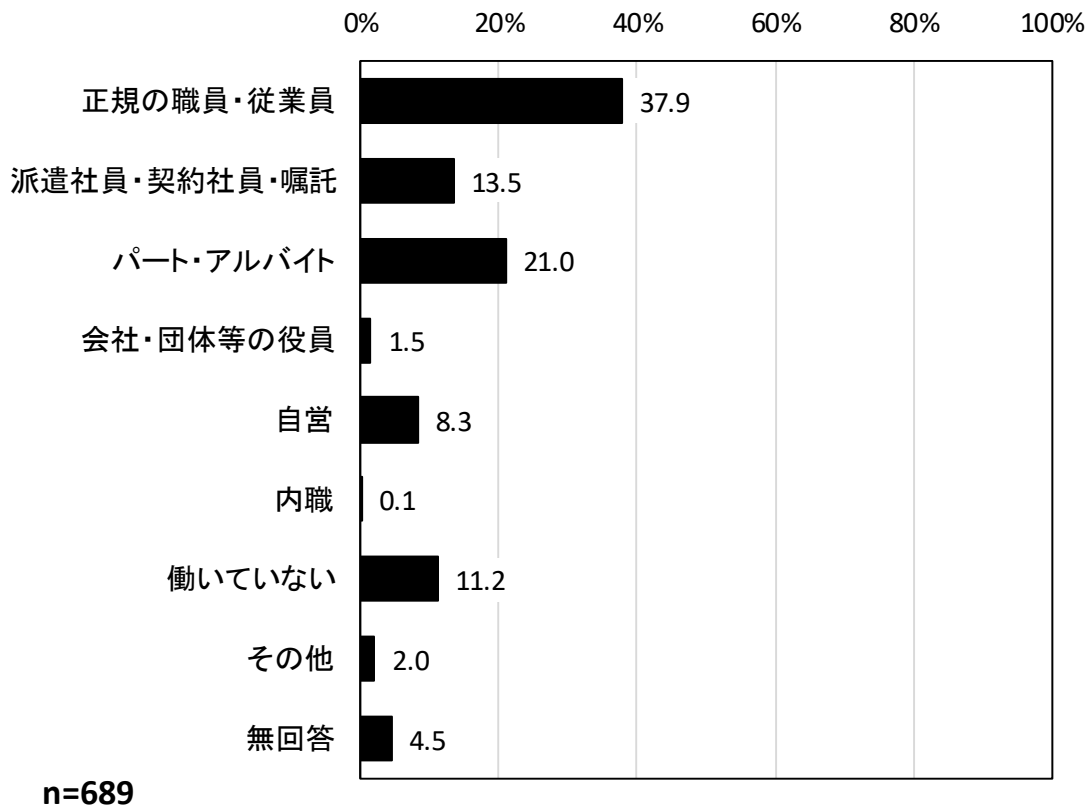


図 10 主に生計を支えている方の就労状況 (注：図 269 に再掲)

就労状況は、「正規の職員・従業員」が 37.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「パート・アルバイト」が 21.0%、「派遣社員・契約社員・嘱託」が 13.5%となっている。

働いていない理由

問8-2 問8-1で「1. 働いていない」と答えた方にお聞きします。働いていない理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

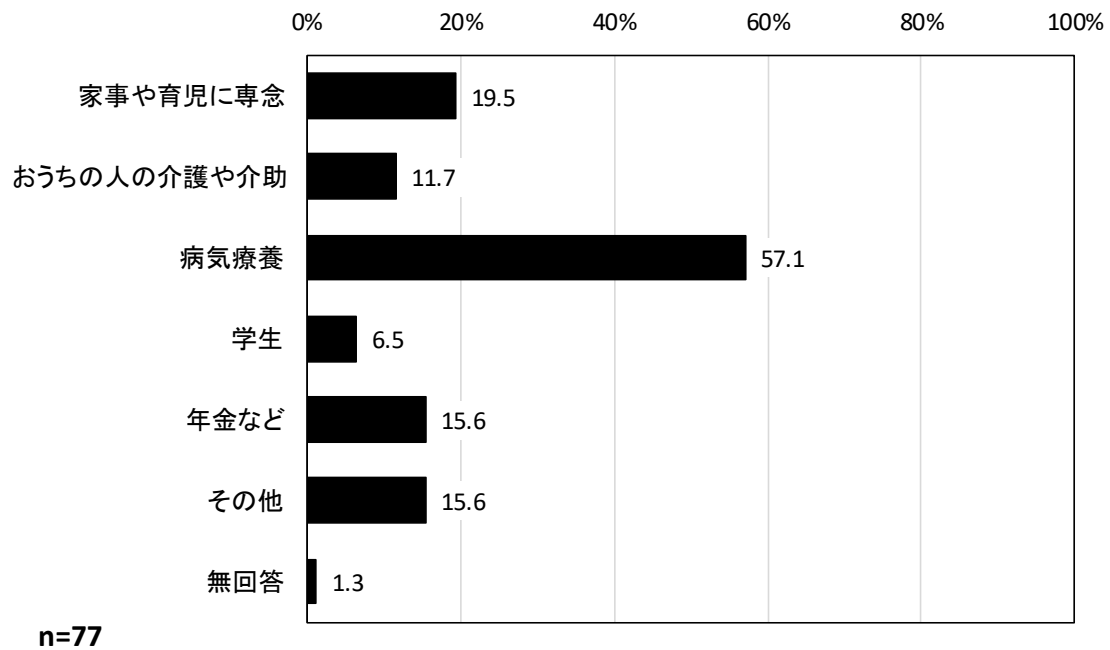


図 11 働いていない理由 (注：図 272 に再掲)

働いていない理由は、「病気療養」が 57.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「家事や育児に専念」が 19.5%、「年金など」と「その他」が 15.6%となっている。

2. 単純集計から見た分析結果

不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある

問9①不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

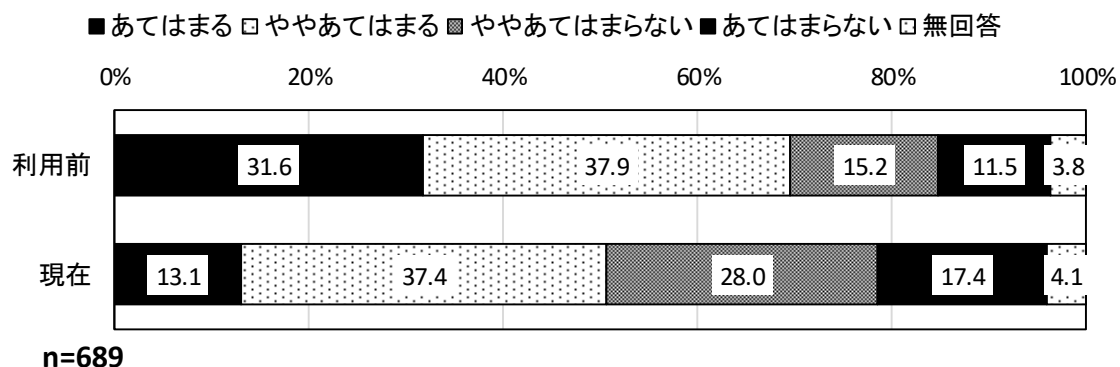


図 12 不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある

不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがあるかをみると、子どもが居場所を利用する前は「ややあてはまる」が37.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「あてはまる」が31.6%、「ややあてはまらない」が15.2%となっている。現在では「ややあてはまる」が37.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまらない」が28.0%、「あてはまらない」が17.4%となっている。

子どもを育てるために我慢している

問9② 子どもを育てるために我慢している。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

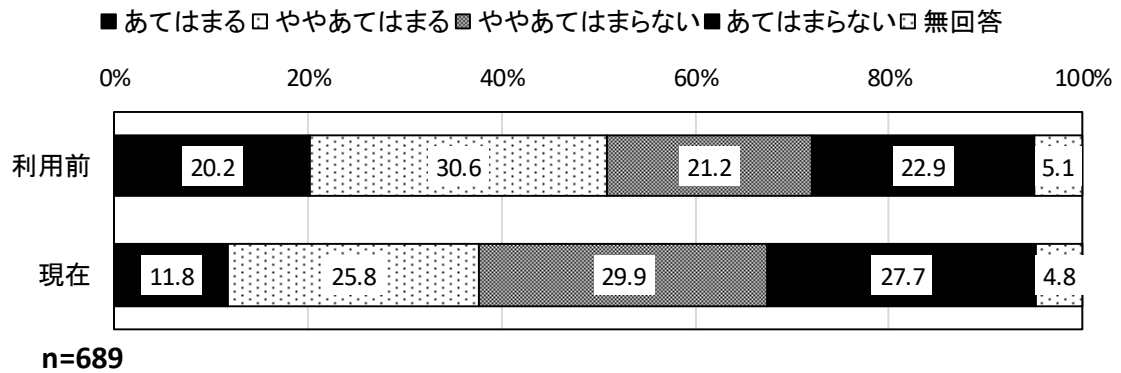


図13 子どもを育てるために我慢している

子どもを育てるために我慢しているかをみると、子どもが居場所を利用する前は「ややあてはまる」が30.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「あてはまらない」が22.9%、「ややあてはまらない」が21.2%となっている。現在では「ややあてはまらない」が29.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「あてはまらない」が27.7%、「ややあてはまる」が25.8%となっている。

自分一人で育てているという圧迫感を感じる

問9③ 自分一人で育てているという圧迫感を感じる。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

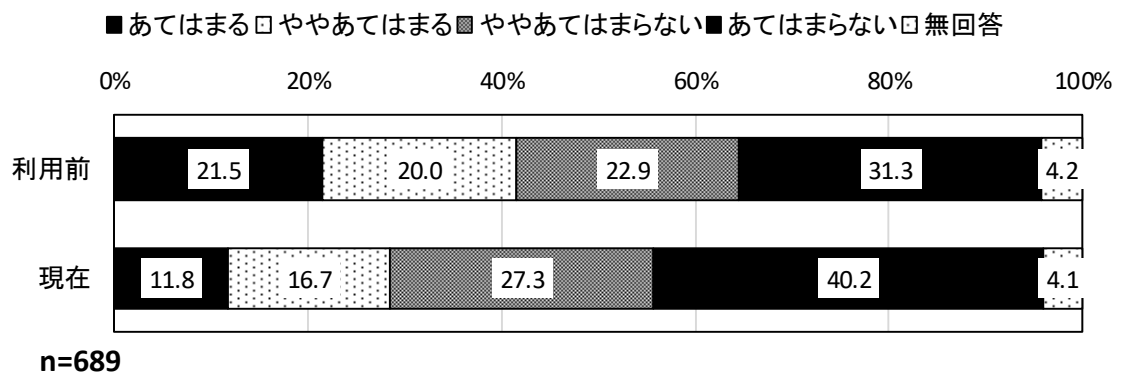


図14 自分一人で育てているという圧迫感を感じる

自分一人で育てているという圧迫感を感じるかをみると、子どもが居場所を利用する前は「あてはまらない」が31.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまらない」が22.9%、「あてはまる」が21.5%となっている。現在では「あてはまらない」が40.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまらない」が27.3%、「ややあてはまる」が16.7%となっている。

子どもの世話にはあまり関心がない

問9④ 子どもの世話にはあまり関心がない。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

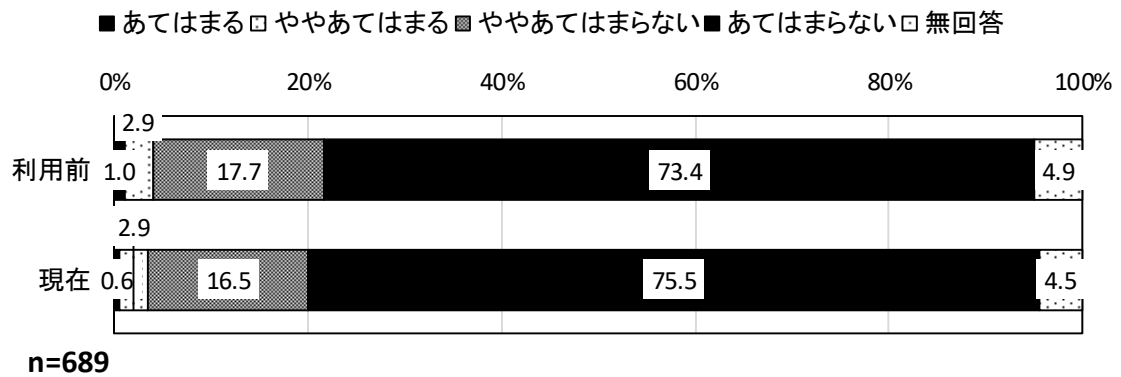
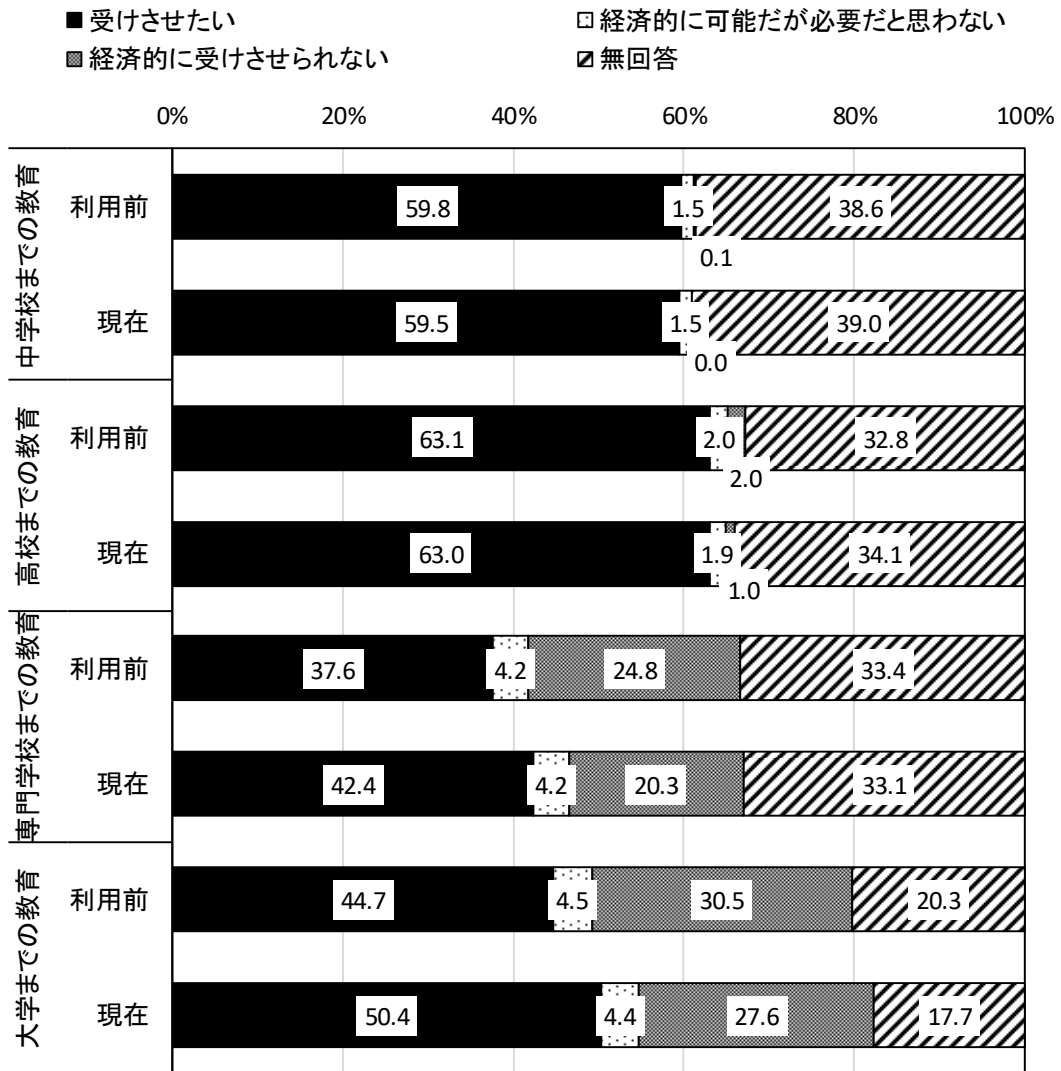


図 15 子どもの世話にはあまり関心がない

子どもの世話にはあまり関心がないかをみると、子どもが居場所を利用する前は「あてはまらない」が73.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまらない」が17.7%となっている。現在では「あてはまらない」が75.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまらない」が16.5%となっている。

子どもに受けさせたい教育段階

問10 あなたの家庭では、お子さんにどの段階までの教育を受けさせたいですか。お子さんが居場所を利用する以前と現在とについて、それぞれあなたが1番あてはまる番号に○をつけてください。



n=689

図 16 子どもに受けさせたい教育段階

中学校までの教育を見ると、居場所を利用する前は、「受けさせたい」が 59.8%でもっとも回答割合が高く、「経済的に可能だが必要だと思わない」が 1.5%となっている。現在では「受けさせたい」が 59.5%でもっとも回答割合が高く、「経済的に可能だが必要だと思わない」が 1.5%となっている。

高校までの教育を見ると、居場所を利用する前は、「受けさせたい」が 63.1%でもっとも回

割合が高く、「経済的に可能だが必要だと思わない」と「経済的に受けさせられない」がいずれも 2.0%となっている。現在では、「受けさせたい」が 63.0%でもっとも回答割合が高く、「経済的に可能だが必要だと思わない」が 1.9%となっている。

専門学校までの教育を見ると、居場所を利用する前は「受けさせたい」が 37.6%でもっとも回答割合が高く、「経済的に受けさせられない」が 24.8%となっている。現在では「受けさせたい」が 42.4%でもっとも回答割合が高く、「経済的に受けさせられない」が 20.3%となっている。

大学までの教育を見ると、居場所を利用する前は「受けさせたい」が 44.7%でもっとも回答割合が高く、「経済的に受けさせられない」が 30.5%となっている。現在では「受けさせたい」が 50.4%でもっとも回答割合が高く、「経済的に受けさせられない」が 27.6%となっている。

お子さんが居場所を利用するようになって良かったと思うか

問 1 1 お子さんが居場所を利用するようになって良かったと思いますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

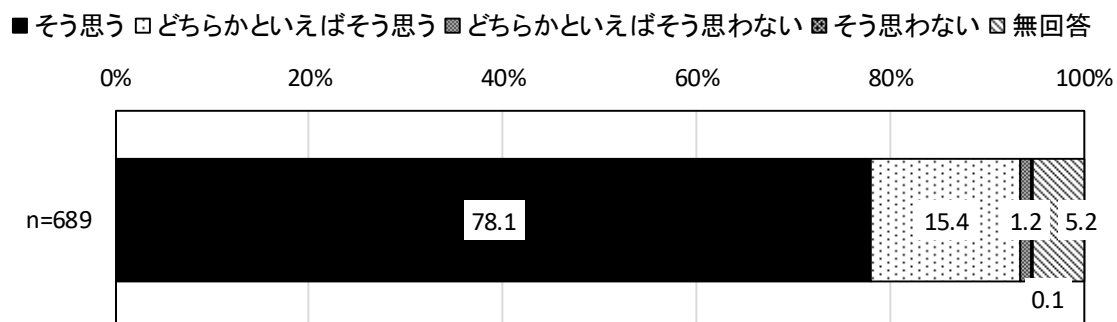


図 17 お子さんが居場所を利用するようになって良かったと思うか

居場所を利用するようになって良かったかをみると、「そう思う」が 78.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 15.4%となっている。

第2章 居場所：子どもに関する分析

1. 回答者の属性

学校区分・学年

問2 あなたは小学校・中学校・高校の何年生ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

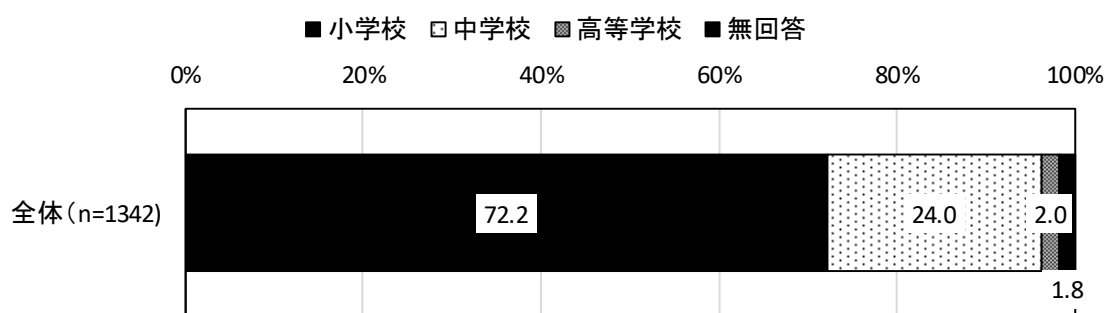


図 18 学校区分

回答者の有効サンプルは1342名である。内訳として「小学校」が969名で72.2%、「中学校」が322名で24.0%、「高等学校」が27名で2.0%となっている。

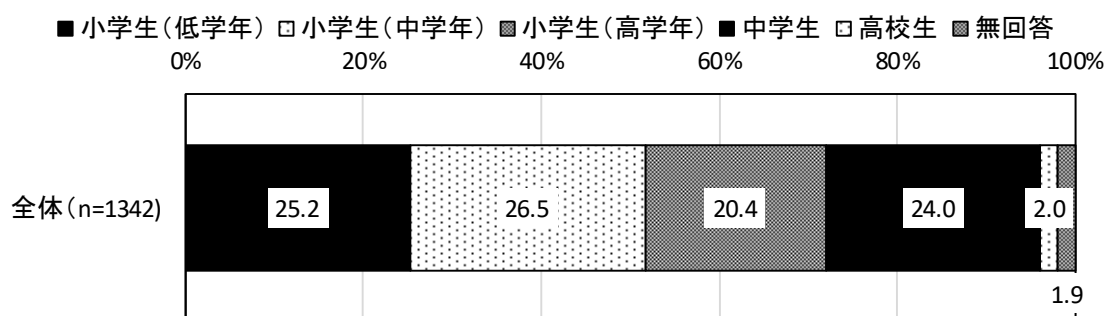


図 19 学年別 (注：図 258 に再掲)

回答者の学年は、「小学生（低学年）」が338名で25.2%、「小学生（中学年）」が355名で26.5%、「小学生（高学年）」が274名で20.4%、「中学生」が322名で24.0%、「高校生」が27名で2.0%である。

性別

問1 あなたの性別について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

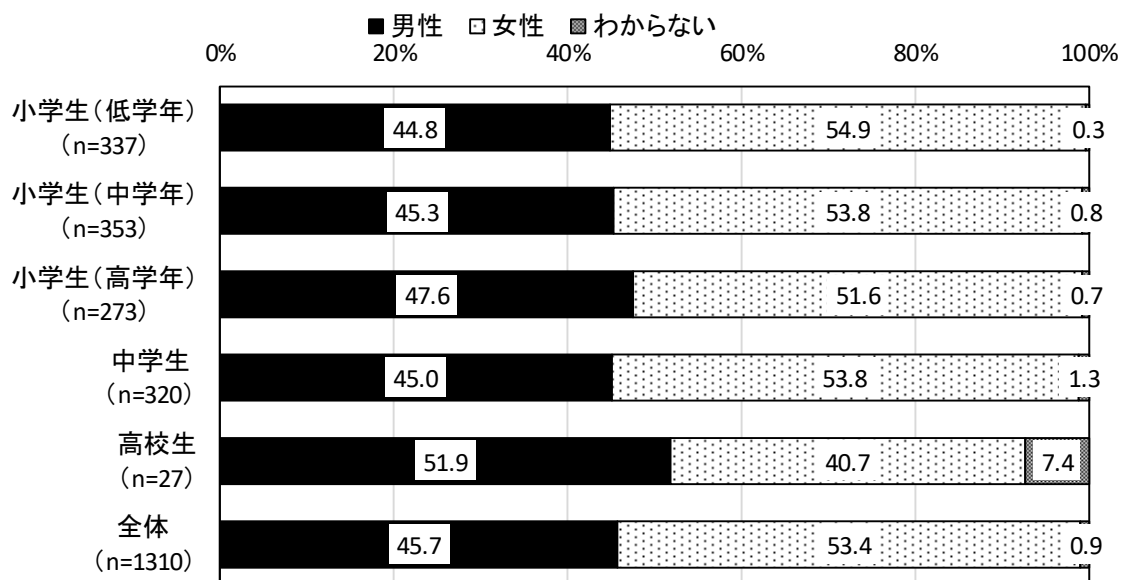


図 20 性別

性別をみると、「全体」では、「女性」が 53.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「男性」が 45.7%となっている。

「小学生（低学年）」では、「女性」が 54.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「男性」が 44.8%となっている。「小学生（中学年）」では、「女性」が 53.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「男性」が 45.3%となっている。「小学生（高学年）」では、「女性」が 51.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「男性」が 47.6%となっている。「中学生」では、「女性」が 53.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「男性」が 45.0%となっている。「高校生」では、「男性」が 51.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「女性」が 40.7%となっている。

世帯構成

問3 いっしょに暮らしている家族について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

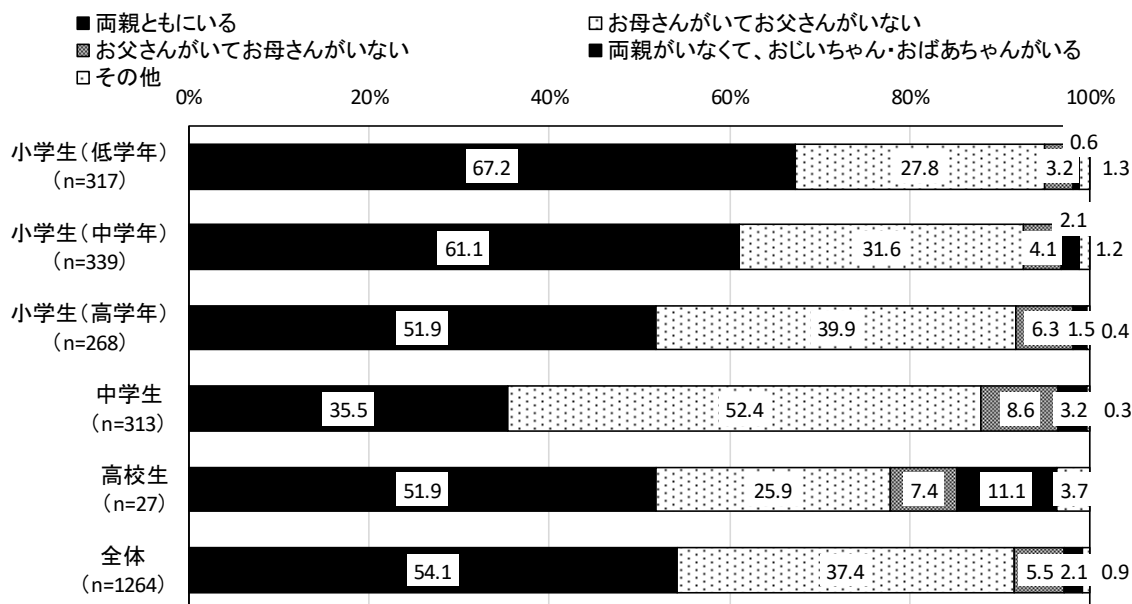


図 21 世帯構成 (注：全体のみ図 262 に再掲)

世帯構成をみると、「全体」では、「両親ともにいる」が 54.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「お母さんがいてお父さんがいない」が 37.4%となっている。

「小学生(低学年)」では、「両親ともにいる」が 67.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「お母さんがいてお父さんがいない」が 27.8%となっている。「小学生(中学年)」では、「両親ともにいる」が 61.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「お母さんがいてお父さんがいない」が 31.6%となっている。「小学生(高学年)」では、「両親ともにいる」が 51.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「お母さんがいてお父さんがいない」が 39.9%となっている。「中学生」では、「お母さんがいてお父さんがいない」が 52.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「両親ともにいる」が 35.5%となっている。「高校生」では、「両親ともにいる」が 51.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「お母さんがいてお父さんがいない」が 25.9%となっている。

普段放課後に過ごしている場所

問7 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、どこで過ごしますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

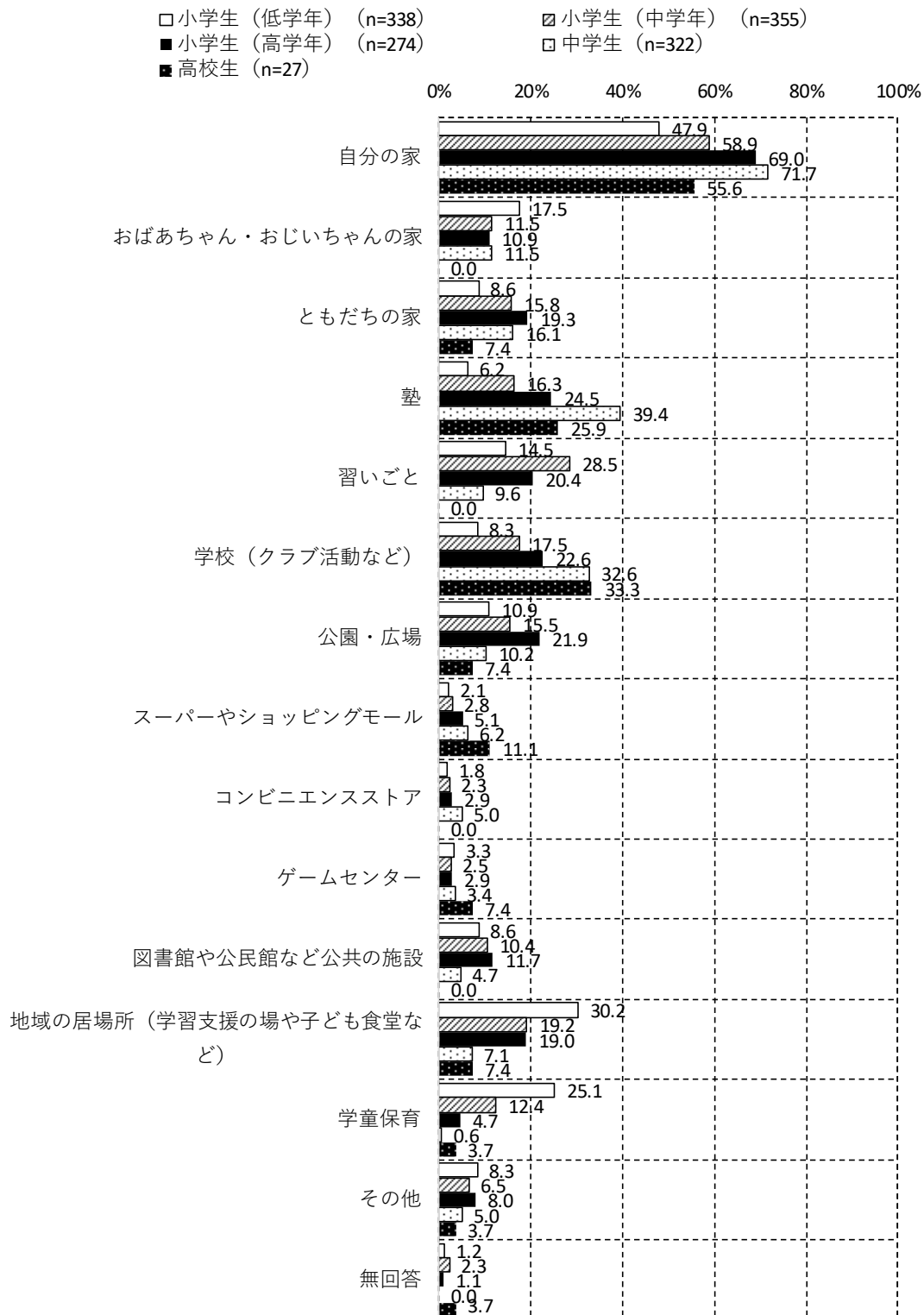


図 22 普段放課後に過ごしている場所（注：図 288 に再掲）

普段放課後に過ごしている場所は、「小学生（低学年）」では、「自分の家」が47.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「地域の居場所（学習支援の場や子ども食堂など）」が30.2%となっている。「小学生（中学年）」では、「自分の家」が58.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「習いごと」が28.5%となっている。「小学生（高学年）」では、「自分の家」が69.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「塾」が24.5%となっている。「中学生」では、「自分の家」が71.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「塾」が39.4%となっている。「高校生」では、「自分の家」が55.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「学校（クラブ活動など）」が33.3%となっている。

持っているものや使うことができるもの

問8 あなたが、持っているものや、あなたが使うことができるものを選んでください。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 小学生（低学年）（n=338）
- 小学生（高学年）（n=274）
- 高校生（n=27）
- ▨ 小学生（中学年）（n=355）
- 中学生（n=322）

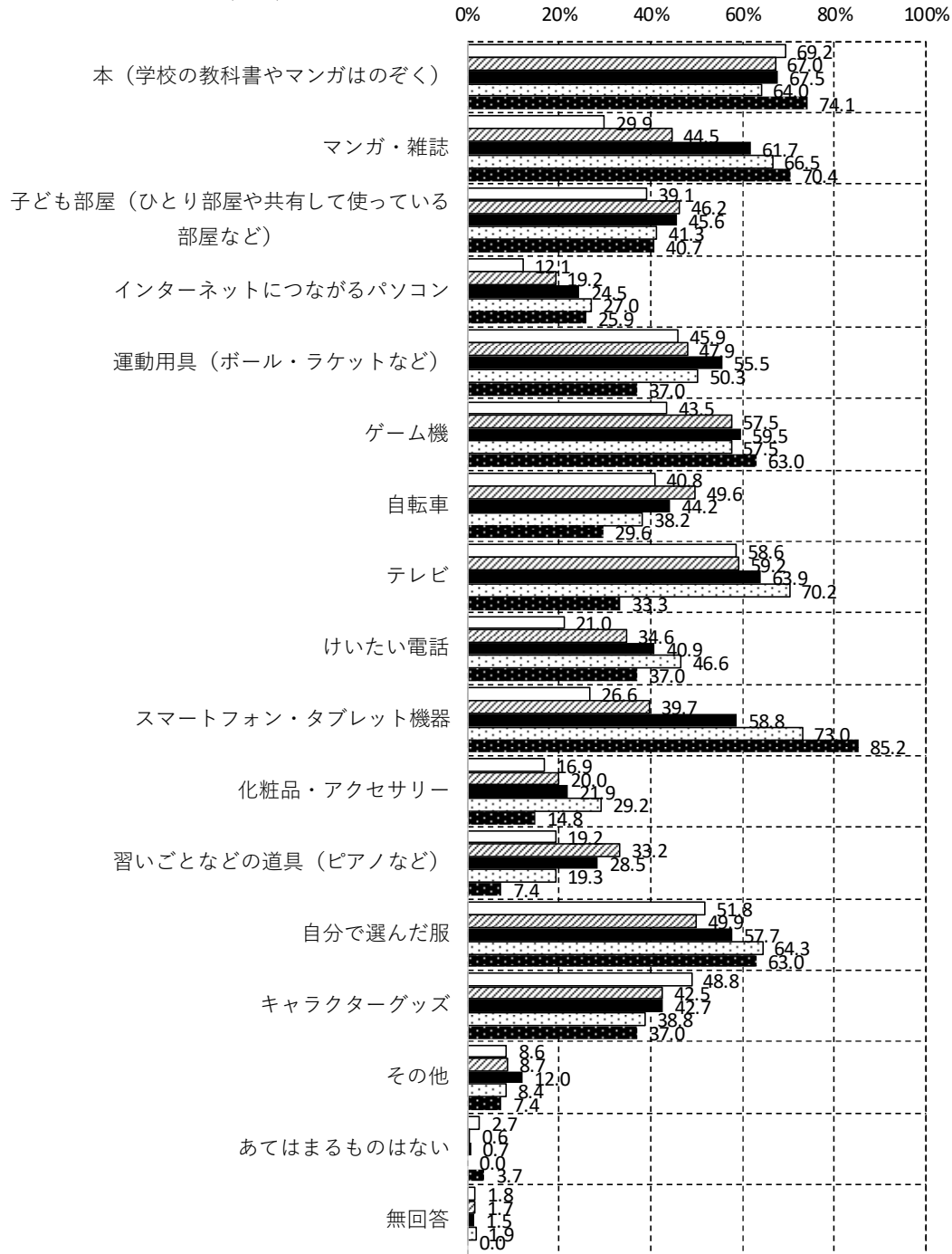


図 23 持っているものや使うことができるもの

持っているものや使うことができるものをみると、「小学生（低学年）」では、「本（学校の教科書やマンガはのぞく）」が 69.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「テレビ」が 58.6%となっている。「小学生（中学年）」では、「本（学校の教科書やマンガはのぞく）」が 67.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「テレビ」が 59.2%となっている。「小学生（高学年）」では、「本（学校の教科書やマンガはのぞく）」が 67.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「テレビ」が 63.9%となっている。「中学生」では、「スマートフォン・タブレット機器」が 73.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「テレビ」が 70.2%となっている。「高校生」では、「スマートフォン・タブレット機器」が 85.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「本（学校の教科書やマンガはのぞく）」が 74.1%となっている。

2. 学年別に見た分析結果

(1) 居場所に関すること

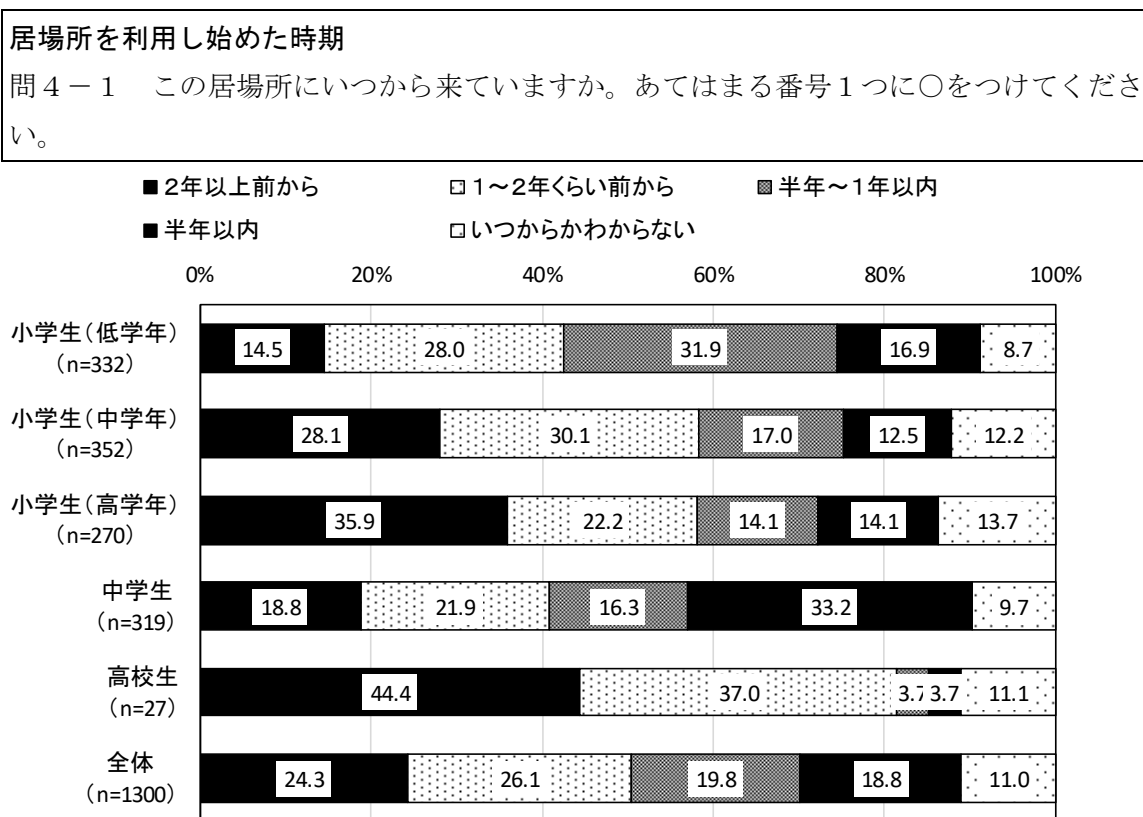


図 24 居場所を利用し始めた時期

「全体」では、「1~2年くらい前から」が26.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「2年以上前から」が24.3%となっている。

「小学生(低学年)」では、「半年~1年以内」が31.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「1~2年くらい前から」が28.0%となっている。「小学生(中学年)」では、「1~2年くらい前から」が30.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「2年以上前から」が28.1%となっている。「小学生(高学年)」では、「2年以上前から」が35.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「1~2年くらい前から」が22.2%となっている。「中学生」では、「半年以内」が33.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「1~2年くらい前から」が21.9%となっている。「高校生」では、「2年以上前から」が44.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「1~2年くらい前から」が37.0%となっている。

居場所に来る頻度
 問4-2 この居場所にどのくらい来ますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

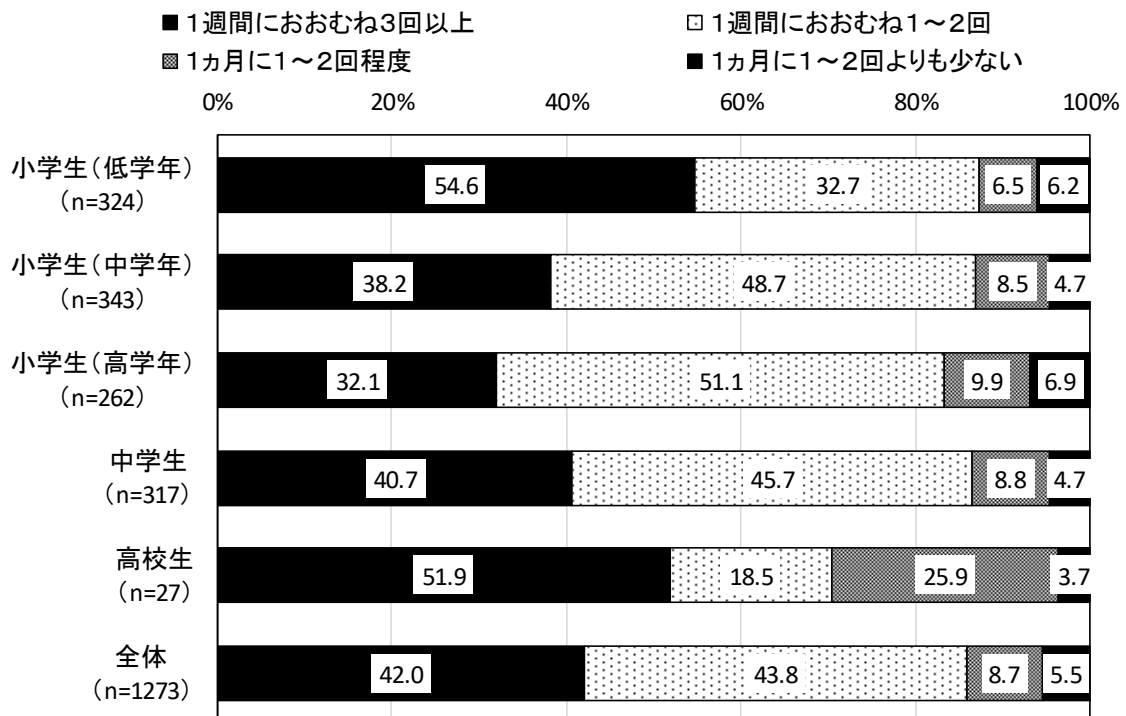


図 25 居場所に来る頻度

「全体」では、「1週間におおむね1~2回」が43.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「1週間におおむね3回以上」が42.0%となっている。

「小学生(低学年)」では、「1週間におおむね3回以上」が54.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「1週間におおむね1~2回」が32.7%となっている。「小学生(中学年)」では、「1週間におおむね1~2回」が48.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「1週間におおむね3回以上」が38.2%となっている。「小学生(高学年)」では、「1週間におおむね1~2回」が51.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「1週間におおむね3回以上」が32.1%となっている。「中学生」では、「1週間におおむね1~2回」が45.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「1週間におおむね3回以上」が40.7%となっている。「高校生」では、「1週間におおむね3回以上」が51.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「1か月に1~2回程度」が25.9%となっている。

居場所にきてからの新しい友だちについて

問5-1 この居場所に来てから、新しい友だちができましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

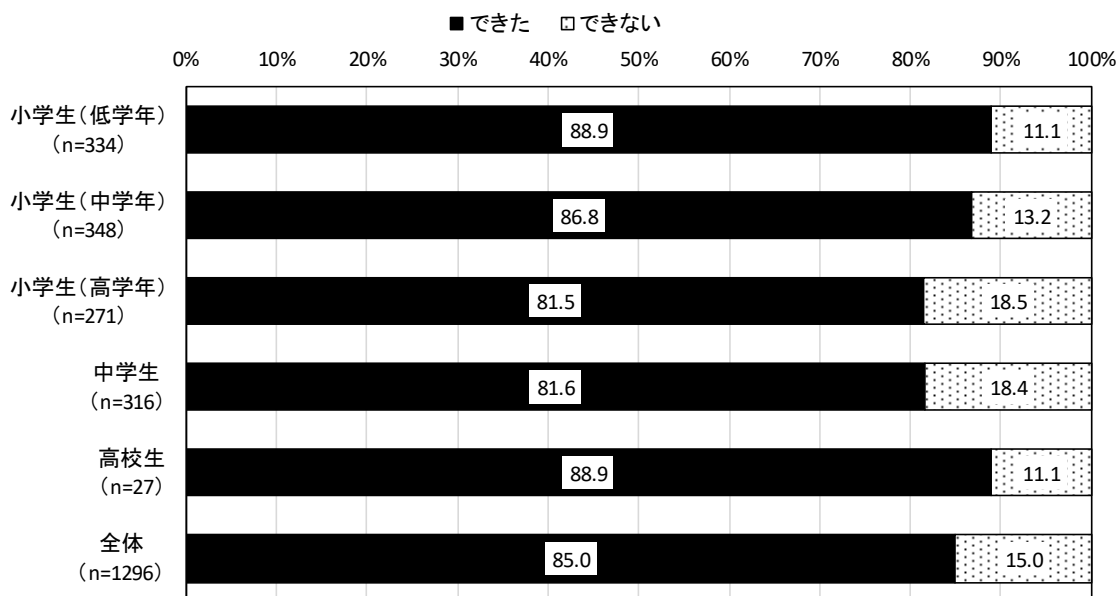


図 26 居場所にきてからの新しい友だちについて

「全体」では、「できた」が85.0%、「できない」が15.0%となっている。

「小学生(低学年)」では、「できた」が88.9%、「できない」が11.1%となっている。「小学生(中学年)」では、「できた」が86.8%、「できない」が13.2%となっている。「小学生(高学年)」では、「できた」が81.5%、「できない」が18.5%となっている。「中学生」では、「できた」が81.6%、「できない」が18.4%となっている。「高校生」では、「できた」が88.9%、「できない」が11.1%となっている。

友だちになった子について

問5-2 「1. できた」と答えた人に聞きます。どういう友だちですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 小学生（低学年）（n=297）
- 小学生（高学年）（n=221）
- ▨ 小学生（中学年）（n=302）
- 中学生（n=258）
- ⊠ 高校生（n=24）

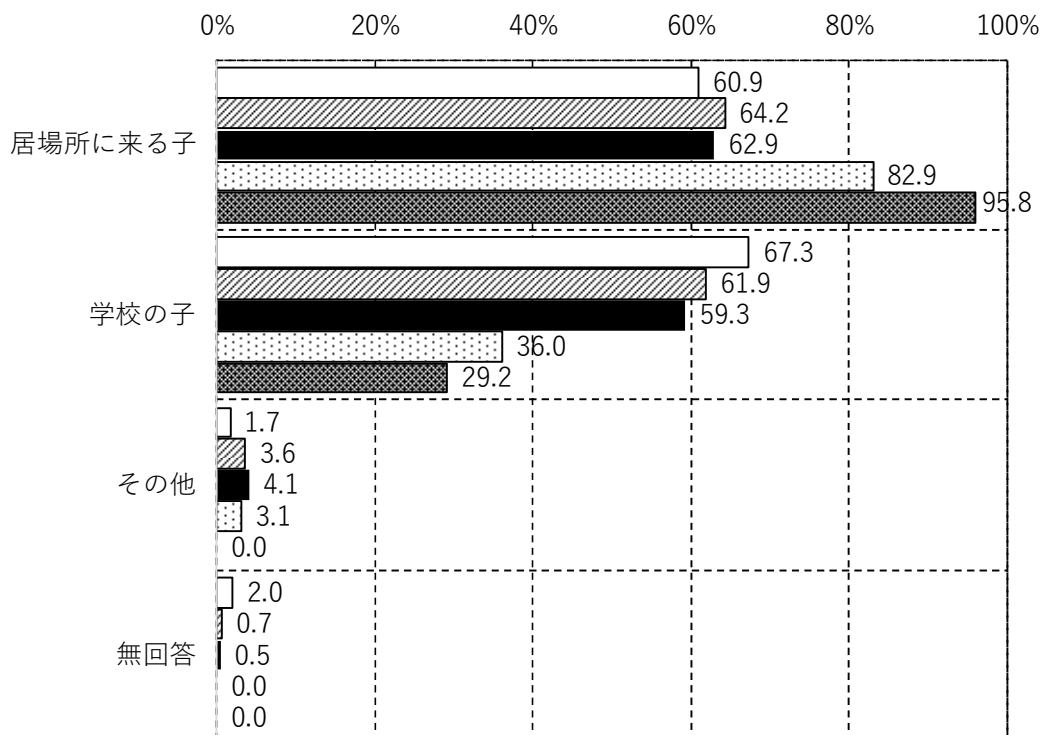


図 27 友だちになった子について

友だちになった子についてみると、「小学生（低学年）」では、「学校の子」が67.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「居場所に来る子」が60.9%となっている。「小学生（中学年）」では、「居場所に来る子」が64.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「学校の子」が61.9%となっている。「小学生（高学年）」では、「居場所に来る子」が62.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「学校の子」が59.3%となっている。「中学生」では、「居場所に来る子」が82.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「学校の子」が36.0%となっている。「高校生」では、「居場所に来る子」が95.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「学校の子」が29.2%となっている。

居場所に来る理由

問6 この居場所へ来る理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 小学生（低学年）（n=338）
- ▨ 小学生（中学年）（n=355）
- 小学生（高学年）（n=274）
- 中学生（n=322）
- 高校生（n=27）

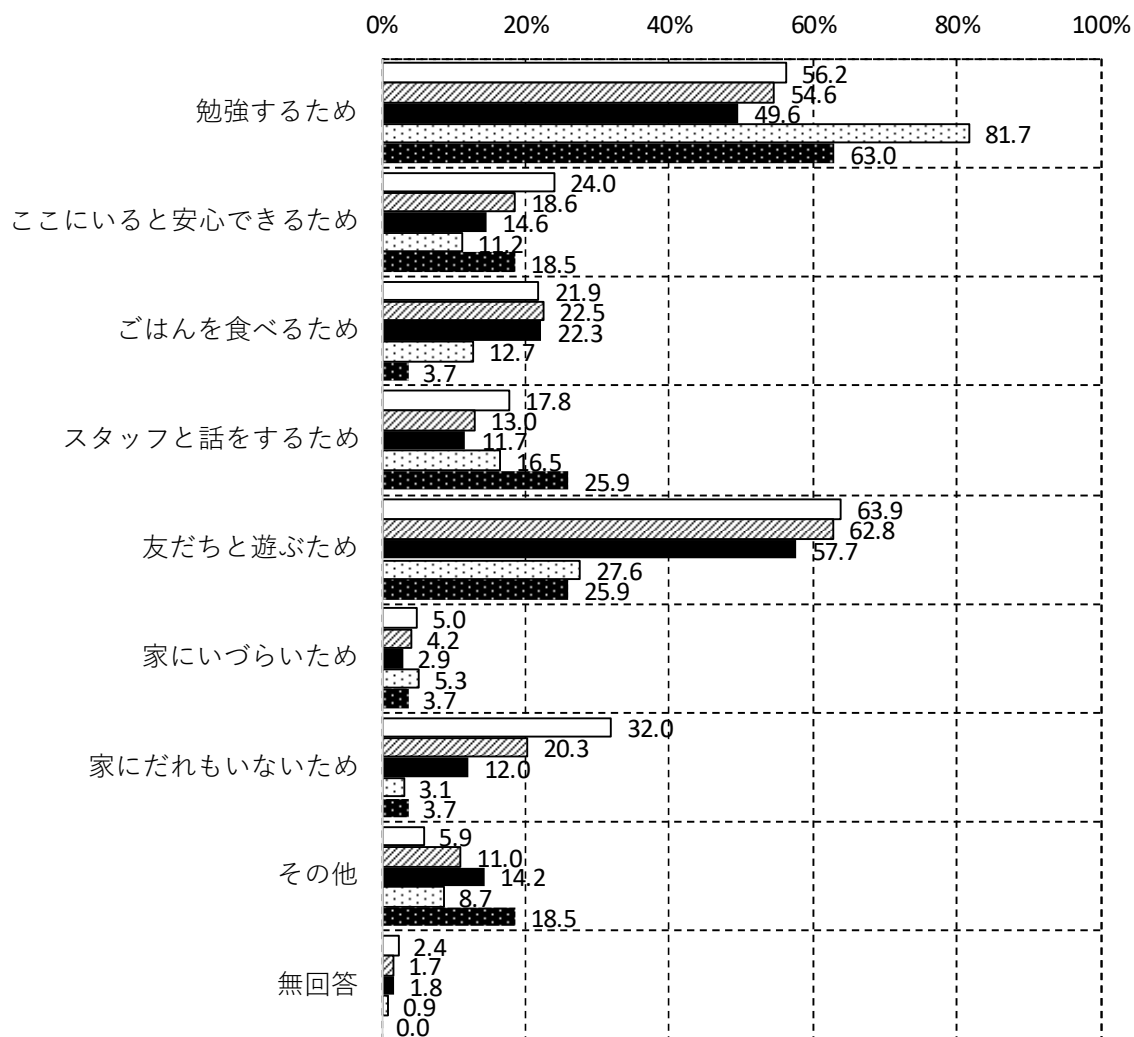


図 28 居場所に来る理由

居場所に来る理由をみると、「小学生（低学年）」～「小学生（高学年）」では、「友だちと遊ぶため」がもっとも回答割合が高く、次いで「勉強するため」となっている。「中学生」「高校生」では、「勉強するため」がもっとも回答割合が高く、次いで「友だちと遊ぶため」となっている。

居場所に来た感想
 問27 この居場所に来てよかったと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

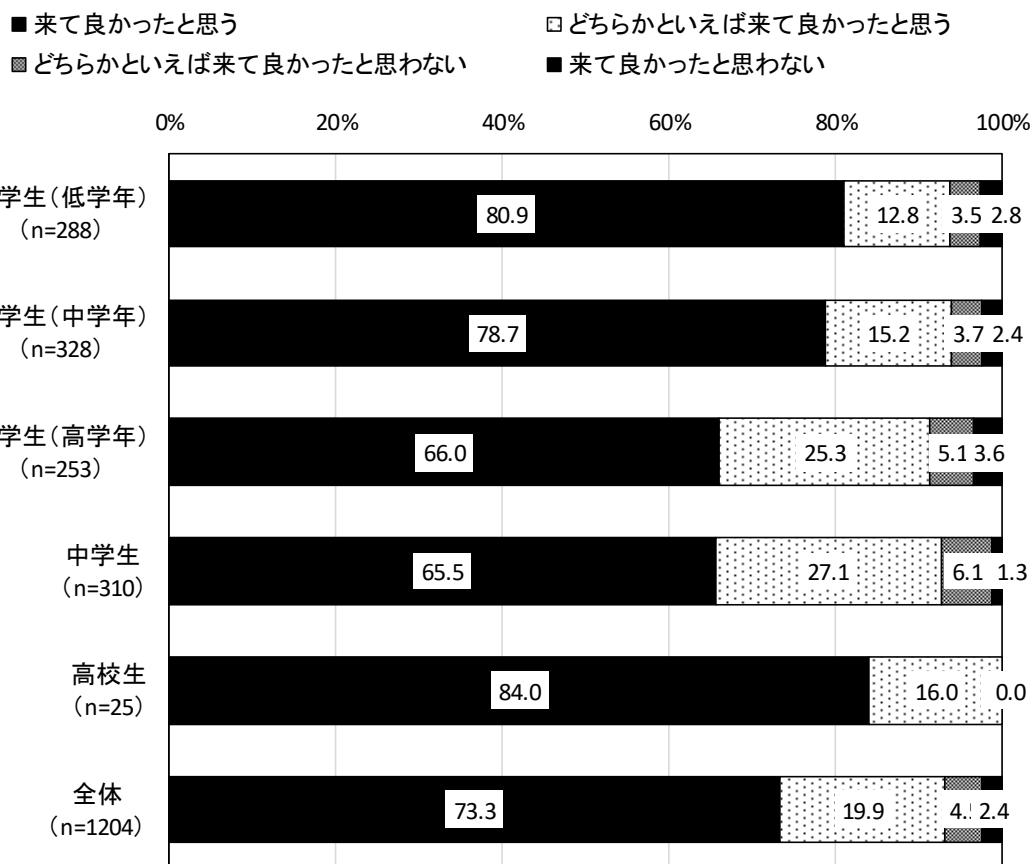


図 29 居場所に来た感想

居場所に来てよかったと思うかをみると、「全体」では、「来て良かったと思う」が 73.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえば来て良かったと思う」が 19.9%となっている。

「小学生(低学年)」では、「来て良かったと思う」が 80.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえば来て良かったと思う」が 12.8%となっている。「小学生(中学年)」では、「来て良かったと思う」が 78.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえば来て良かったと思う」が 15.2%となっている。「小学生(高学年)」では、「来て良かったと思う」が 66.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえば来て良かったと思う」が 25.3%となっている。「中学生」では、「来て良かったと思う」が 65.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえば来て良かったと思う」が 27.1%となっている。「高校生」では、「来て良かったと思う」が 84.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえば来て良かったと思う」が 16.0%となっている。

(2) 生活環境の変化

ほぼ同時刻での起床について

問14 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時刻に起きていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

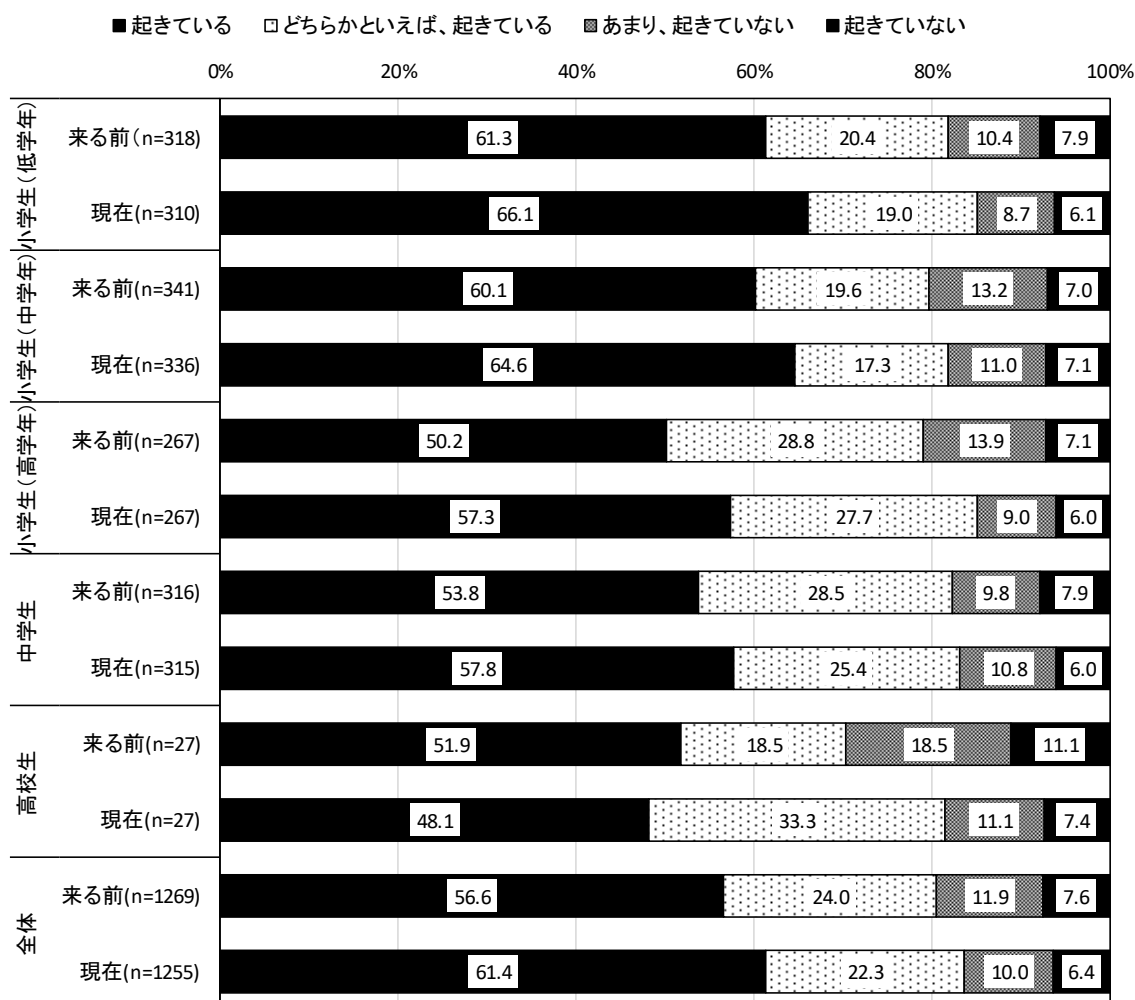


図 30 ほぼ同時刻での起床について

「全体」では、居場所に来る前は「起きている」が 56.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえば、起きている」が 24.0%となっている。現在では「起きている」が 61.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえば、起きている」が 22.3%となっている。層別で見た場合、高校生以外の層では「起きている」の回答割合が来る前に比べて現在で高まっている。

ふだんの就寝時間
 問 1 5 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、何時に寝ていますか。（就寝時間）あてはまる番号1つに○をつけてください。

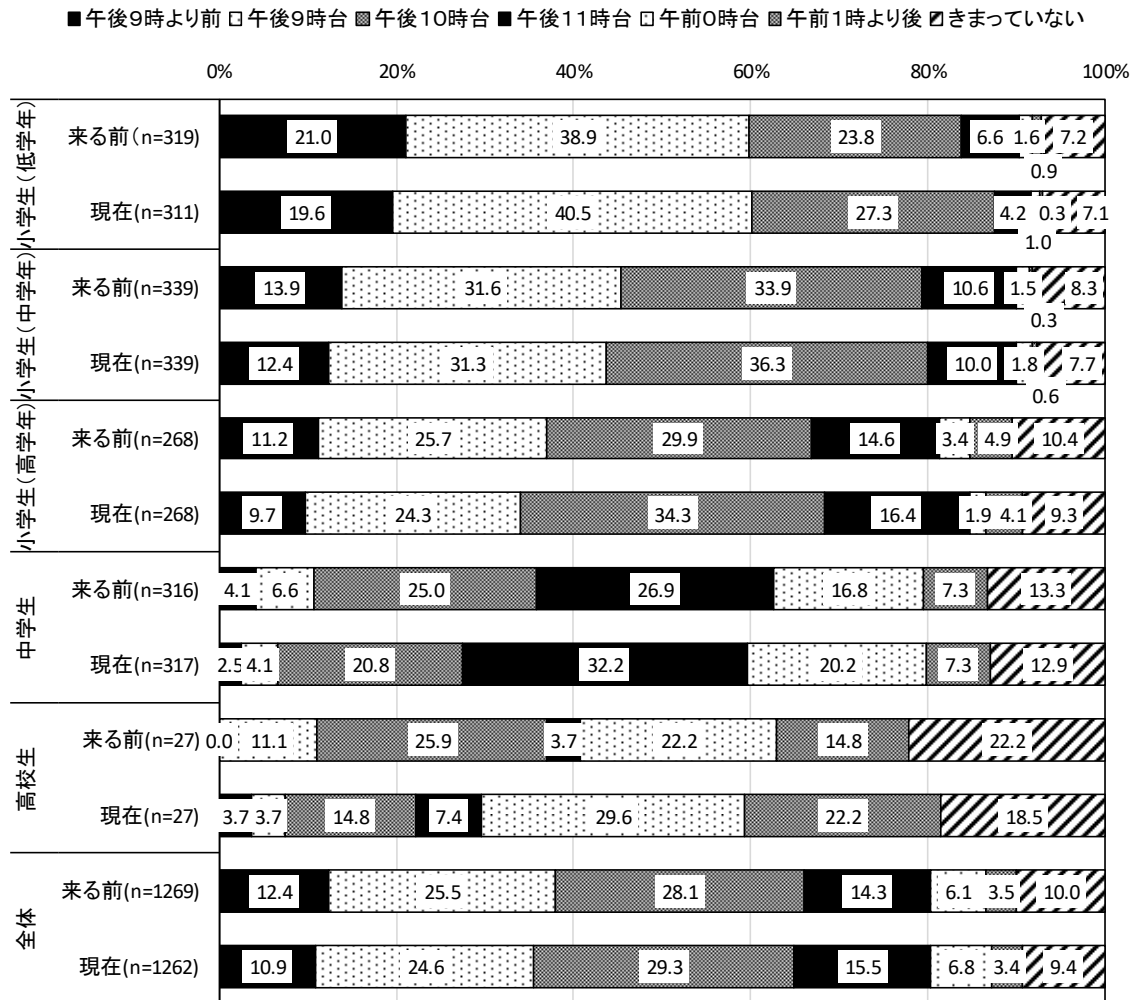


図 31 ふだんの就寝時間

「全体」では、居場所に来る前は「午後 10 時台」が 28.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「午後 9 時台」が 25.5%となっている。現在では「午後 10 時台」が 29.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「午後 9 時台」が 24.6%となっている。

ふだんの睡眠時間
 問 16 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、何時間くらい寝ていますか。（睡眠時間）
 あてはまる番号1つに○をつけてください。

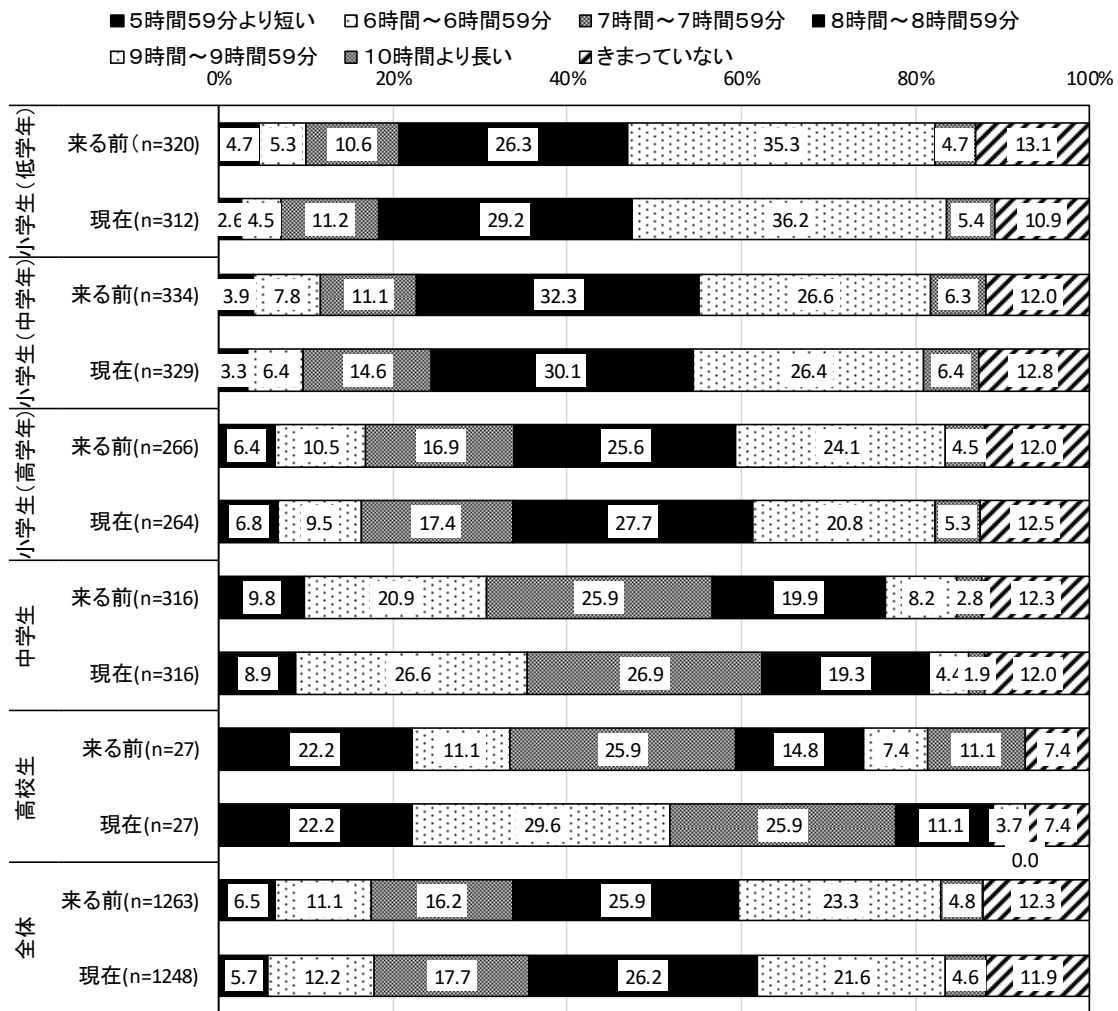


図 32 ふだんの睡眠時間

「全体」では、居場所に来る前は「8時間～8時間59分」が25.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「9時間～9時間59分」が23.3%となっている。現在では「8時間～8時間59分」が26.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「9時間～9時間59分」が21.6%となっている。

朝食の頻度

問17 あなたは、週にどのくらい、朝食を食べていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

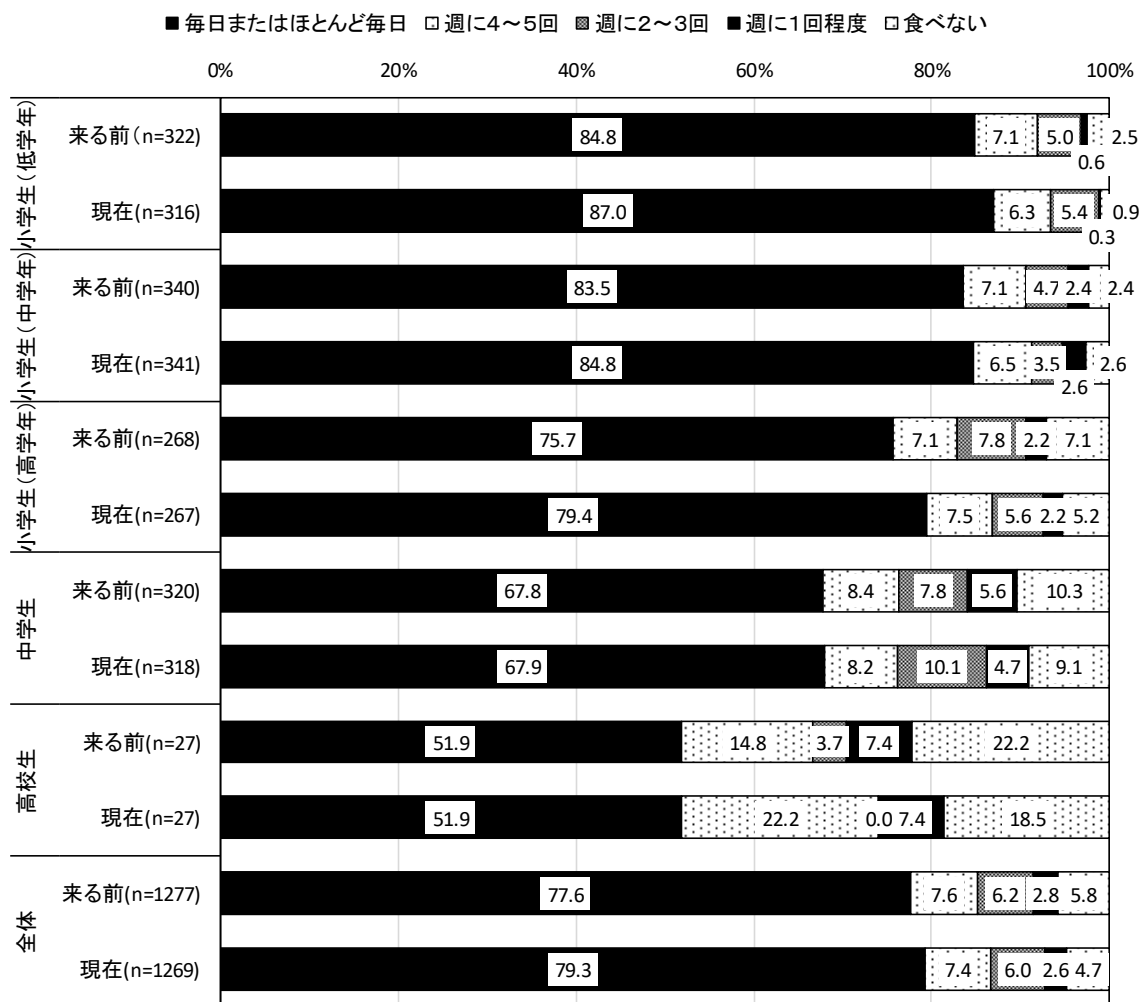


図 33 朝食の頻度

「全体」では、居場所に来る前は「毎日またはほとんど毎日」が 77.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に4~5回」が 7.6%となっている。現在では「毎日またはほとんど毎日」が 79.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に4~5回」が 7.4%となっている。層別で見た場合、中学生、高校生以外の層では「毎日またはほとんど毎日」の回答割合が来る前に比べて現在で 1.0 ポイント以上高まっている。

ふだん一緒に朝食を食べている相手

問18 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、だれと朝食を食べていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

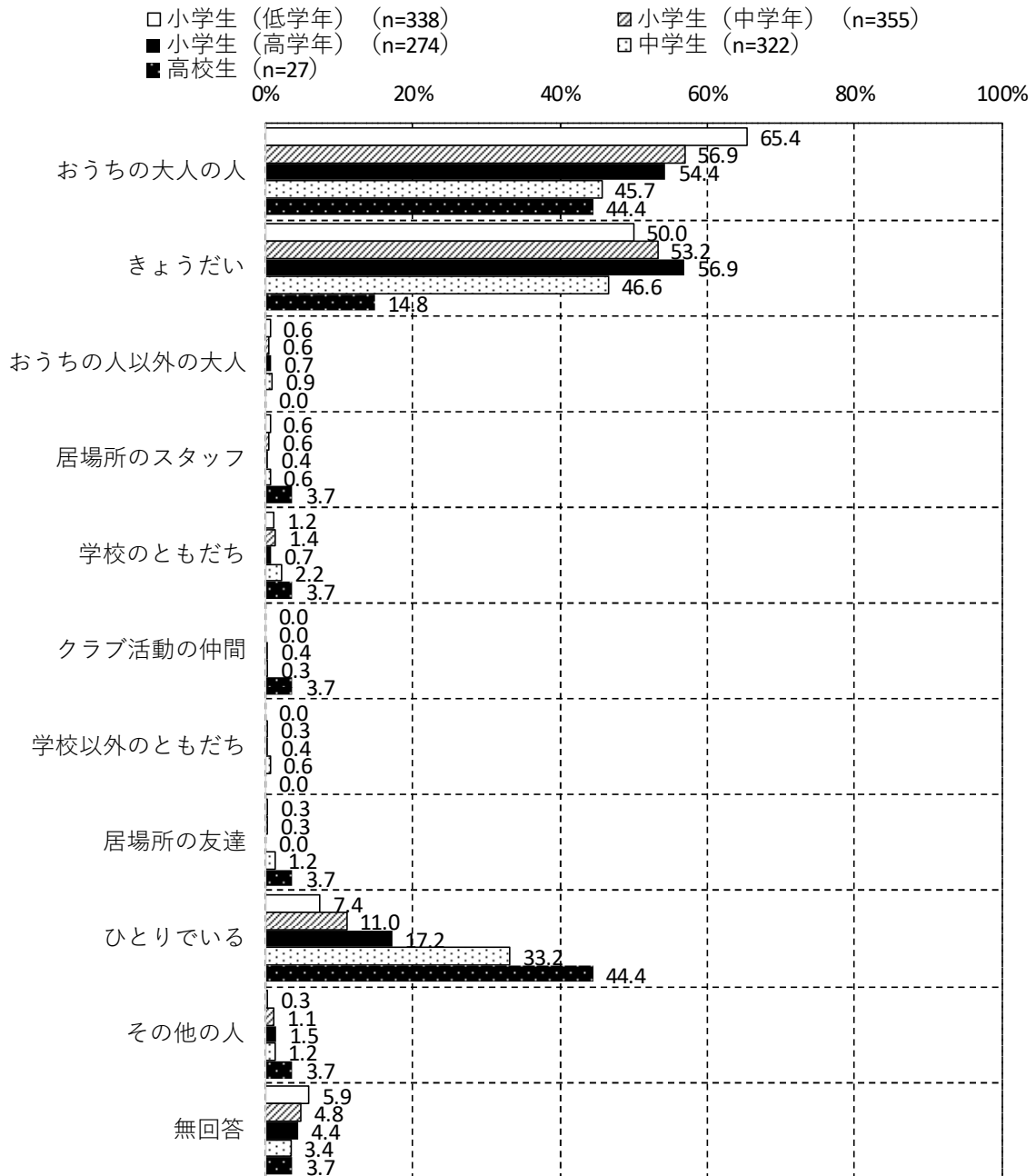


図 34 ふだん一緒に朝食を食べている相手（居場所に来る前）

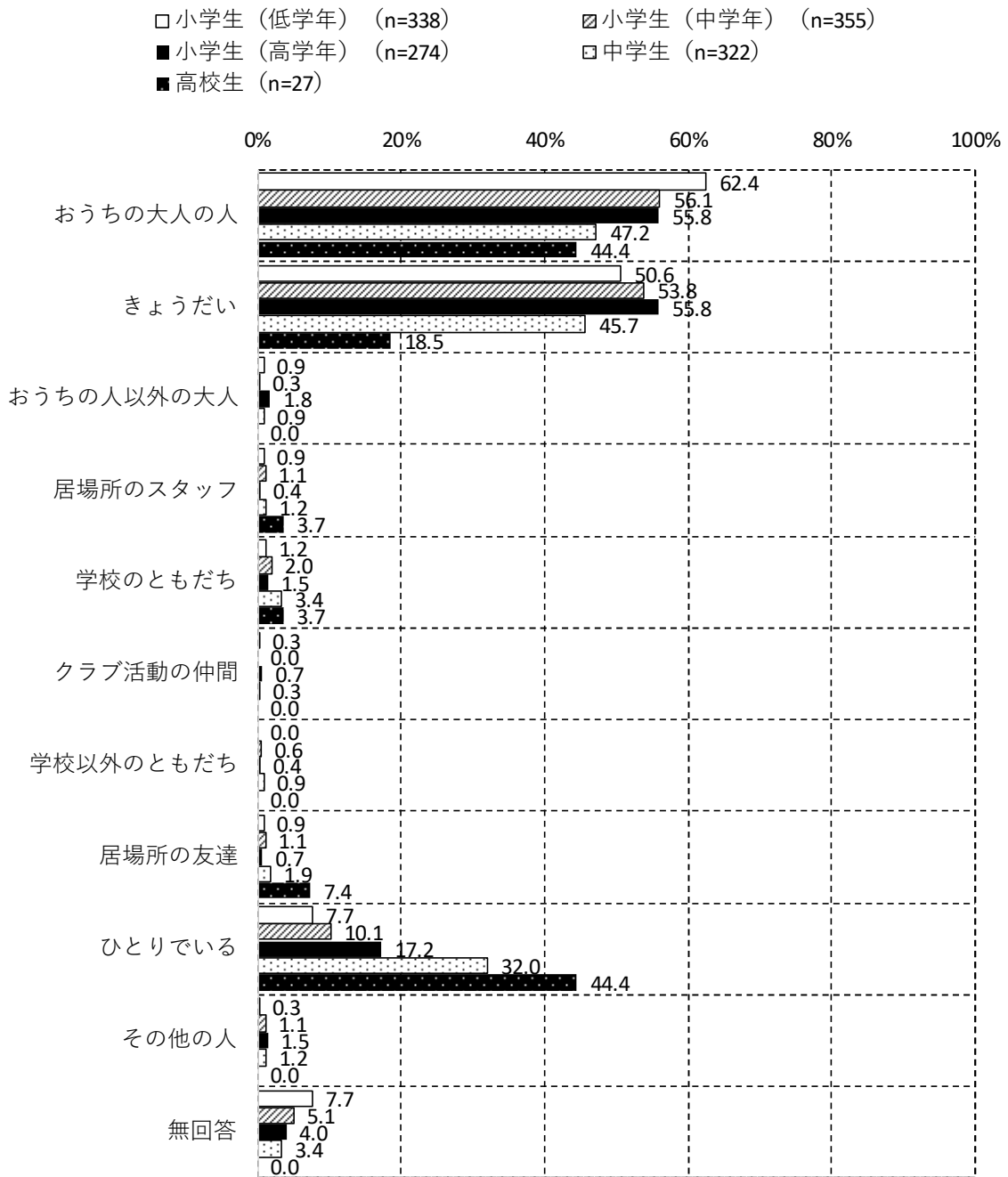


図 35 ふだん一緒に朝食を食べている相手（現在）

居場所に来る前は、「小学生（低学年）」では、「おうちの大人の人」が 65.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「きょうだい」が 50.0%となっている。「小学生（中学年）」では、「おうちの大人の人」が 56.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「きょうだい」が 53.2%となっている。「小学生（高学年）」では、「きょうだい」が 56.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「おうちの大人の人」が 54.4%となっている。「中学生」では、「きょうだい」が 46.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「おうちの大人の人」が 45.7%となっている。「高校生」では、「おうちの大人の人」と「ひとりである」が 44.4%でもっとも回答割合が高くなっている。

現在は、「小学生（低学年）」では、「おうちの大人の人」が 62.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「きょうだい」が 50.6%となっている。「小学生（中学年）」では、「おうちの大人の人」が 56.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「きょうだい」が 53.8%となっている。「小学生（高学年）」では、「おうちの大人の人」と「きょうだい」が 55.8%でもっとも回答割合が高くなっている。「中学生」では、「おうちの大人の人」が 47.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「きょうだい」が 45.7%となっている。「高校生」では、「おうちの大人の人」と「ひとりである」が 44.4%でもっとも回答割合が高くなっている。

夕食の頻度

問 19 あなたは、週にどのくらい夕食を食べていますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

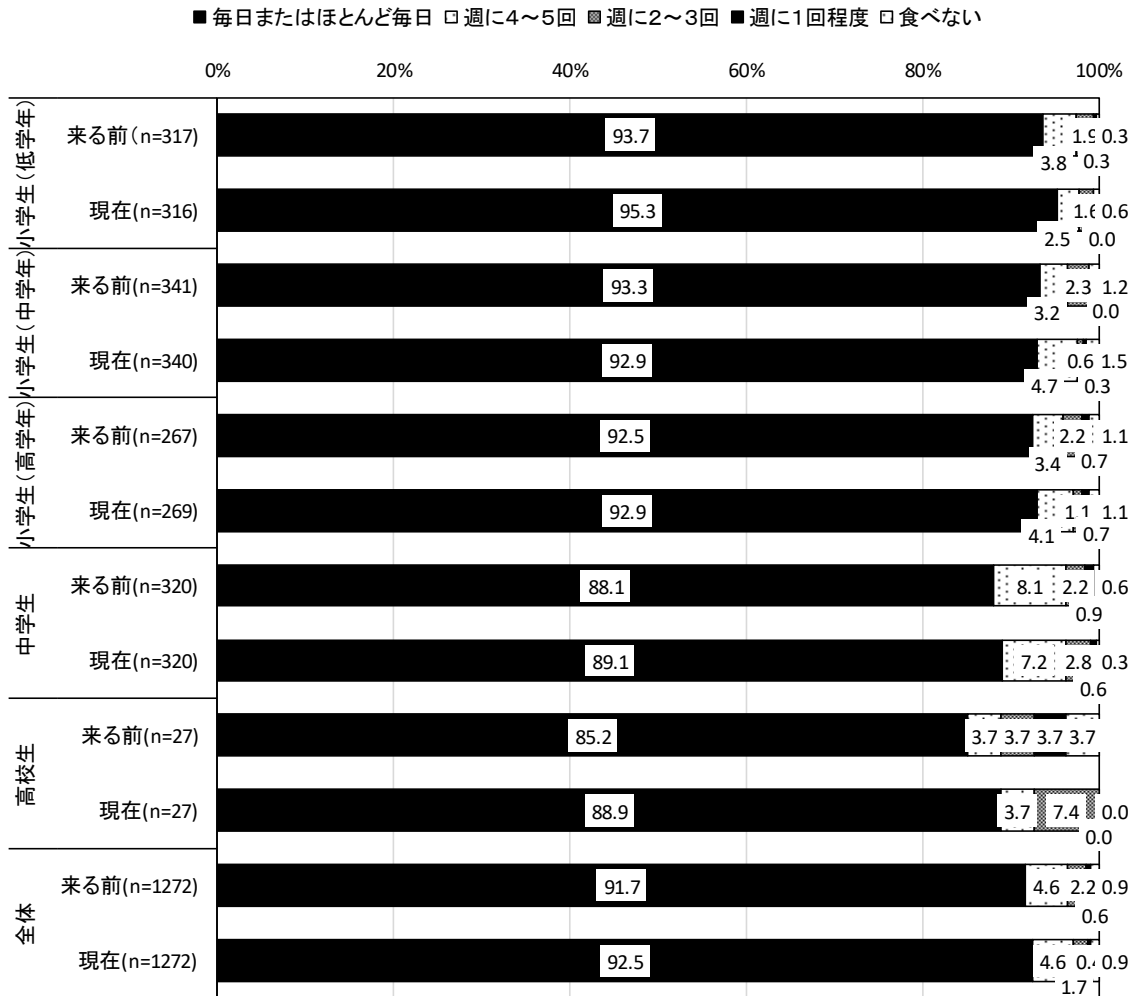


図 36 夕食の頻度

「全体」では、居場所に来る前は「毎日またはほとんど毎日」が 91.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に4~5回」が 4.6%となっている。現在では「毎日またはほとんど毎日」が 92.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に4~5回」が 4.6%となっている。層別で見た場合、小学生（低学年）、中学生、高校生では、「毎日またはほとんど毎日」の回答割合が来る前に比べて現在で 1.0 ポイント以上高まっている。

ふだん一緒に夕食を食べている相手

問20 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、だれと夕食を食べていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

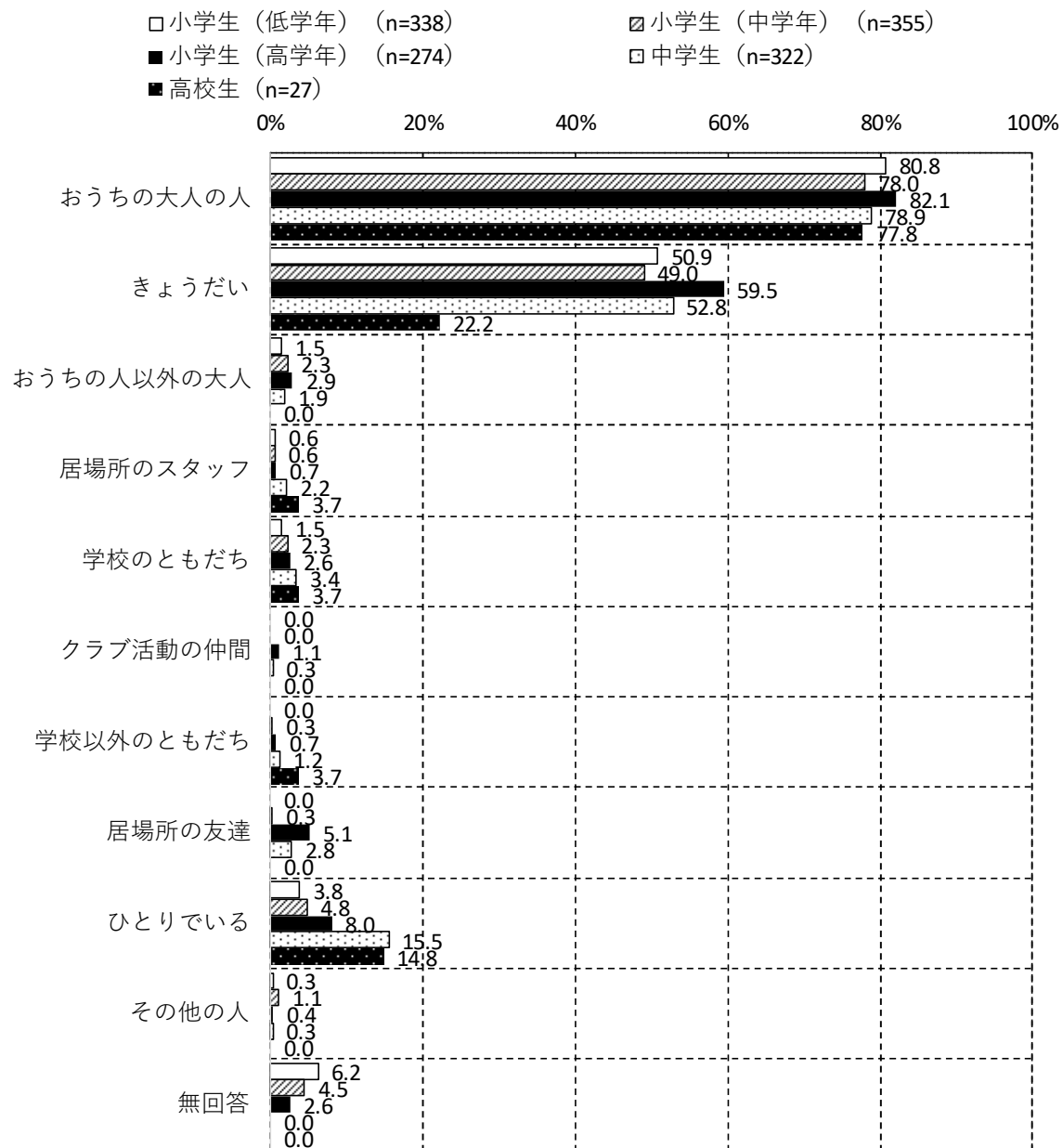


図 37 ふだん一緒に夕食を食べている相手（居場所に来る前）

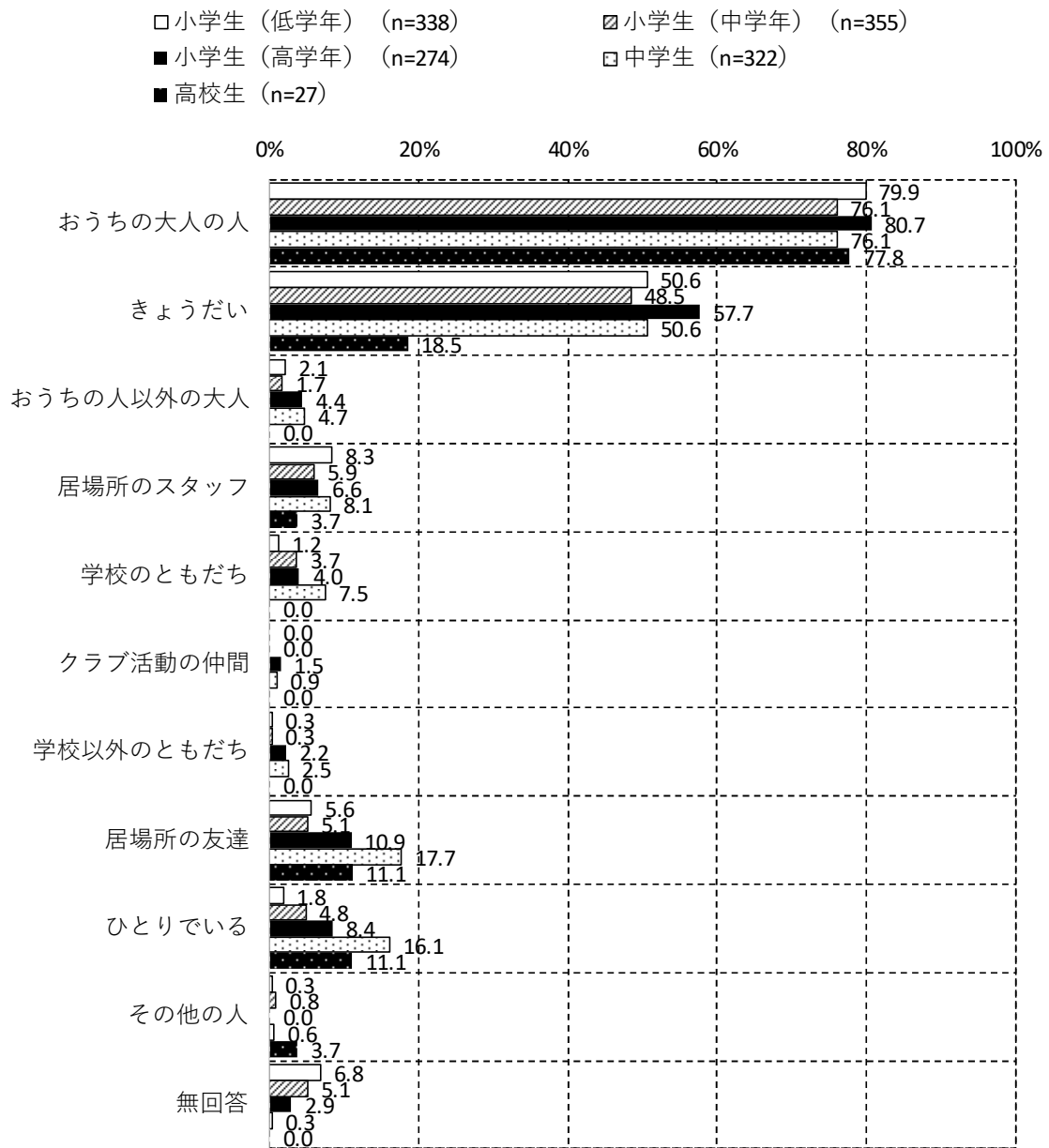


図 38 ふだん一緒に夕食を食べている相手（現在）

居場所に来る前は、「小学生（低学年）」では、「おうちの大人の人」が 80.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「きょうだい」が 50.9%となっている。「小学生（中学年）」では、「おうちの大人の人」が 78.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「きょうだい」が 49.0%となっている。「小学生（高学年）」では、「おうちの大人の人」が 82.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「きょうだい」が 59.5%となっている。「中学生」では、「おうちの大人の人」が 78.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「きょうだい」が 52.8%となっている。「高校生」では、「おうちの大人の人」が 77.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「きょうだい」が 22.2%となっている。

現在は、「小学生（低学年）」では、「おうちの大人の人」が 79.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「きょうだい」が 50.6%となっている。「小学生（中学年）」では、「おうちの大人の人」が 76.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「きょうだい」が 48.5%となっている。「小学生（高学年）」では、「おうちの大人の人」が 80.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「きょうだい」が 57.7%となっている。「中学生」では、「おうちの大人の人」が 76.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「きょうだい」が 50.6%となっている。「高校生」では、「おうちの大人の人」が 77.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「きょうだい」が 18.5%となっている。

健康状態

問 2 1 あなたの健康状態について聞きます。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

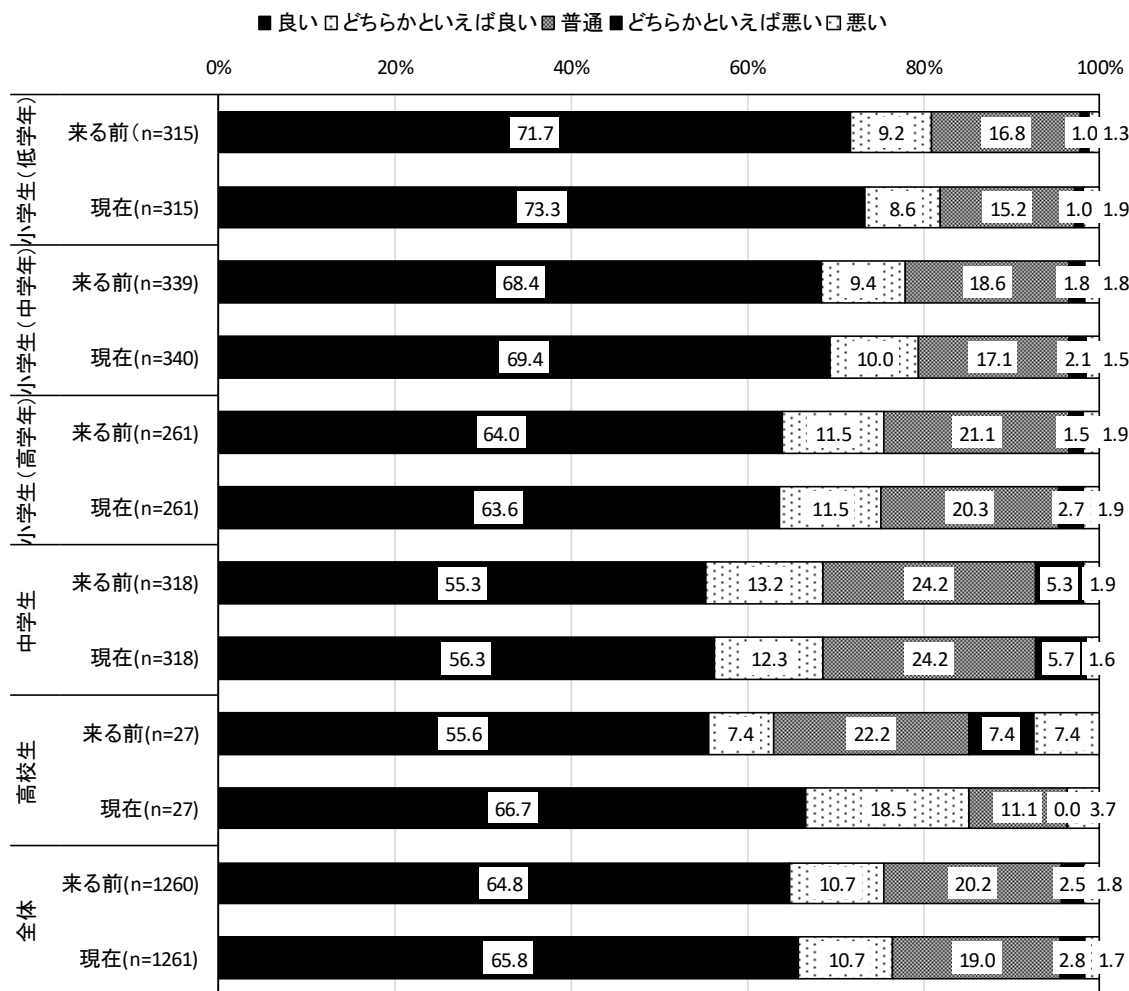


図 39 健康状態

「全体」では、居場所に来る前は「良い」が 64.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「普通」が 20.2%となっている。現在では「良い」が 65.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「普通」が 19.0%となっている。層別で見た場合、小学生（高学年）以外の層では、「良い」の回答割合が来る前に比べて現在で 1.0 ポイント以上高まっている。

(3) 教育環境の変化

学校への登校頻度

問9 あなたは、週にどのくらい学校に登校しますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

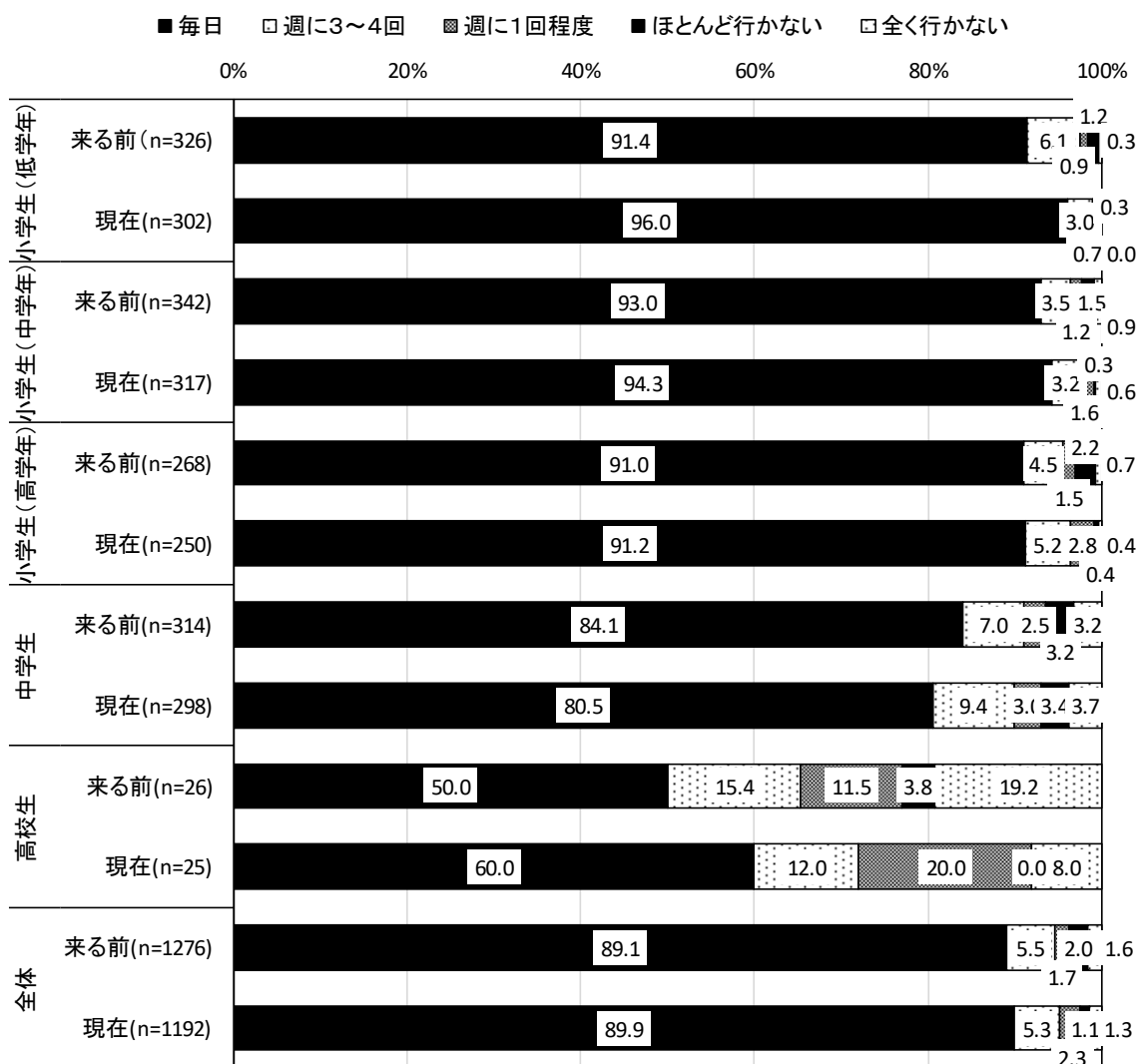


図 40 学校への登校頻度

「全体」では、居場所に来る前は「毎日」が89.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に3~4回」が5.5%となっている。現在では「毎日」が89.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に3~4回」が5.3%となっている。層別で見た場合、小学生(高学年)、中学生以外の層では「毎日」の回答割合が来る前に比べて現在で1.0ポイント程度高まっている。

学校への遅刻頻度

問 10 あなたは、学校に遅刻することがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

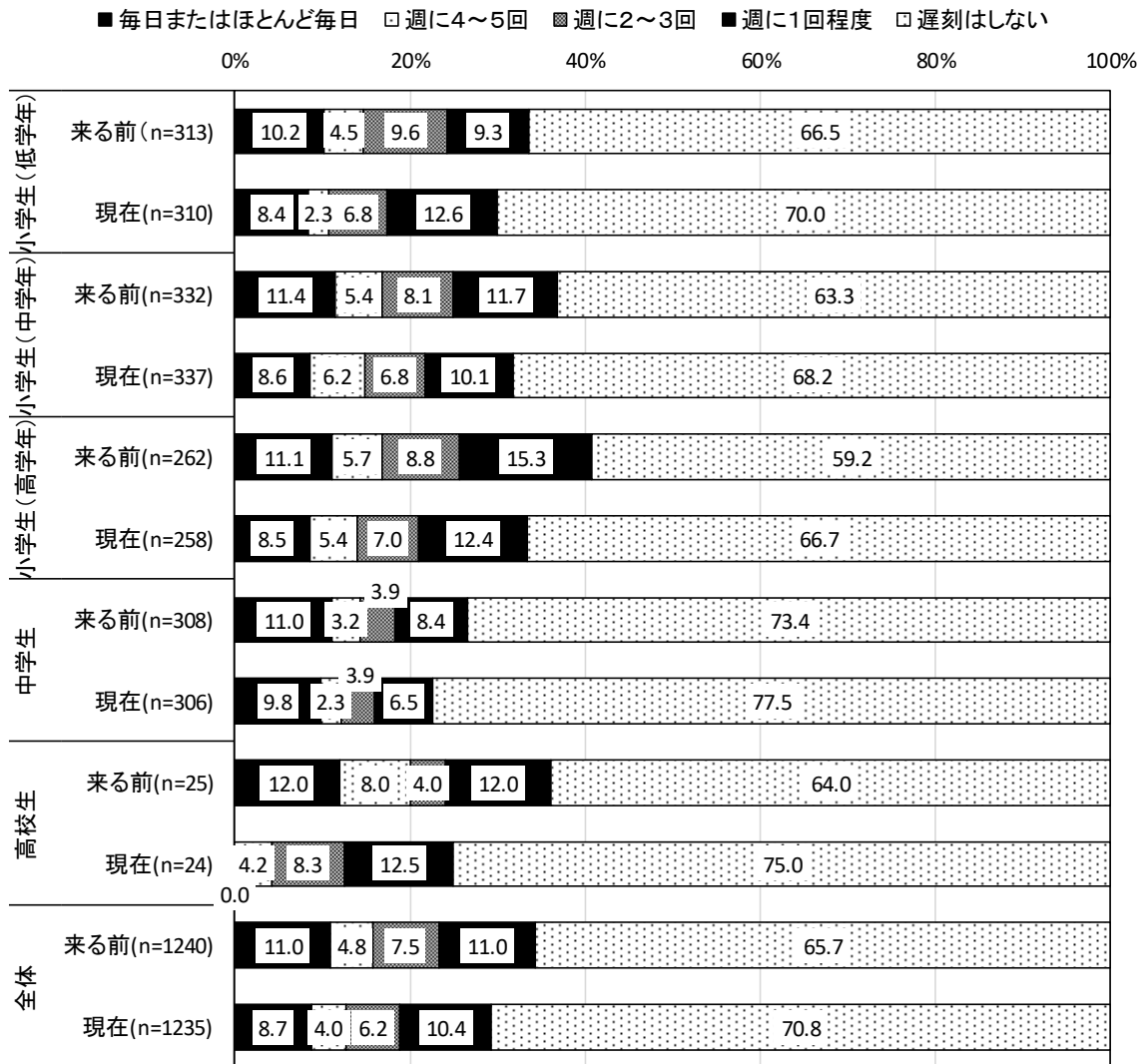


図 41 遅刻の頻度

「全体」では、居場所に来る前は「遅刻はしない」が65.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に1回程度」と「毎日またはほとんど毎日」がそれぞれ11.0%となっている。現在では「遅刻はしない」が70.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に1回程度」が10.4%となっている。層別で見た場合、いずれの層でも「遅刻はしない」の回答割合が来る前に比べて現在で高まっている。

学校がある日の授業時間以外での学習時間

問 1 1 あなたは、ふだん（月～金曜日）学校の授業時間以外に1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（塾などの時間も含まれます。）

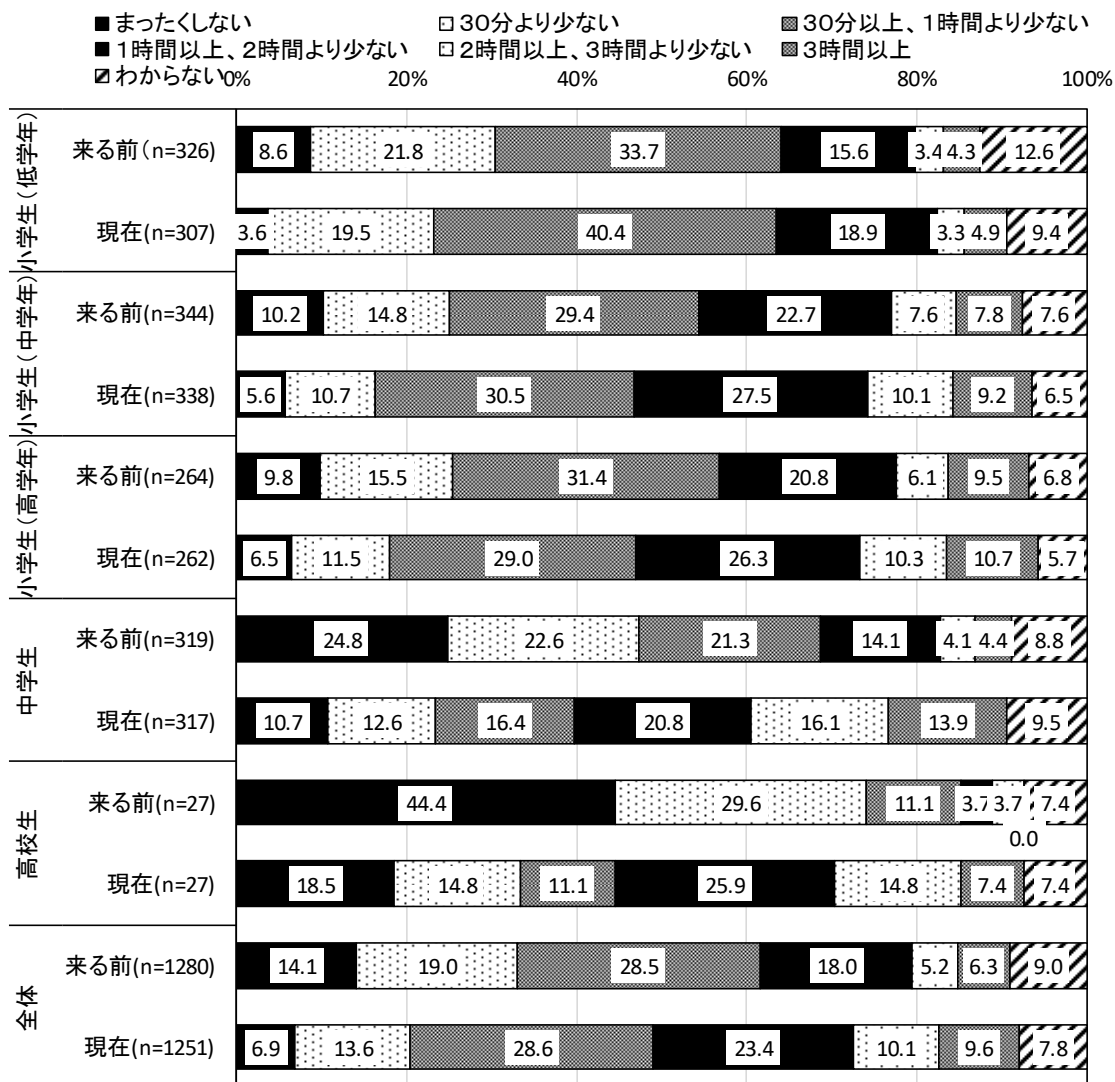


図 42 学校がある日の授業時間以外での学習時間（注：図 292 に再掲）

「全体」では、居場所に来る前は「30分以上、1時間より少ない」が28.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「30分より少ない」が19.0%となっている。現在では、「30分以上、1時間より少ない」では、28.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が23.4%となっている。層別で見た場合、いずれの層でも「まったくしない」の回答割合が来る前に比べて現在で下がっている。

学校の勉強についての気持ち

問 1 2 学校の勉強について、一番あなたの気持ちに近いものはどれですか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

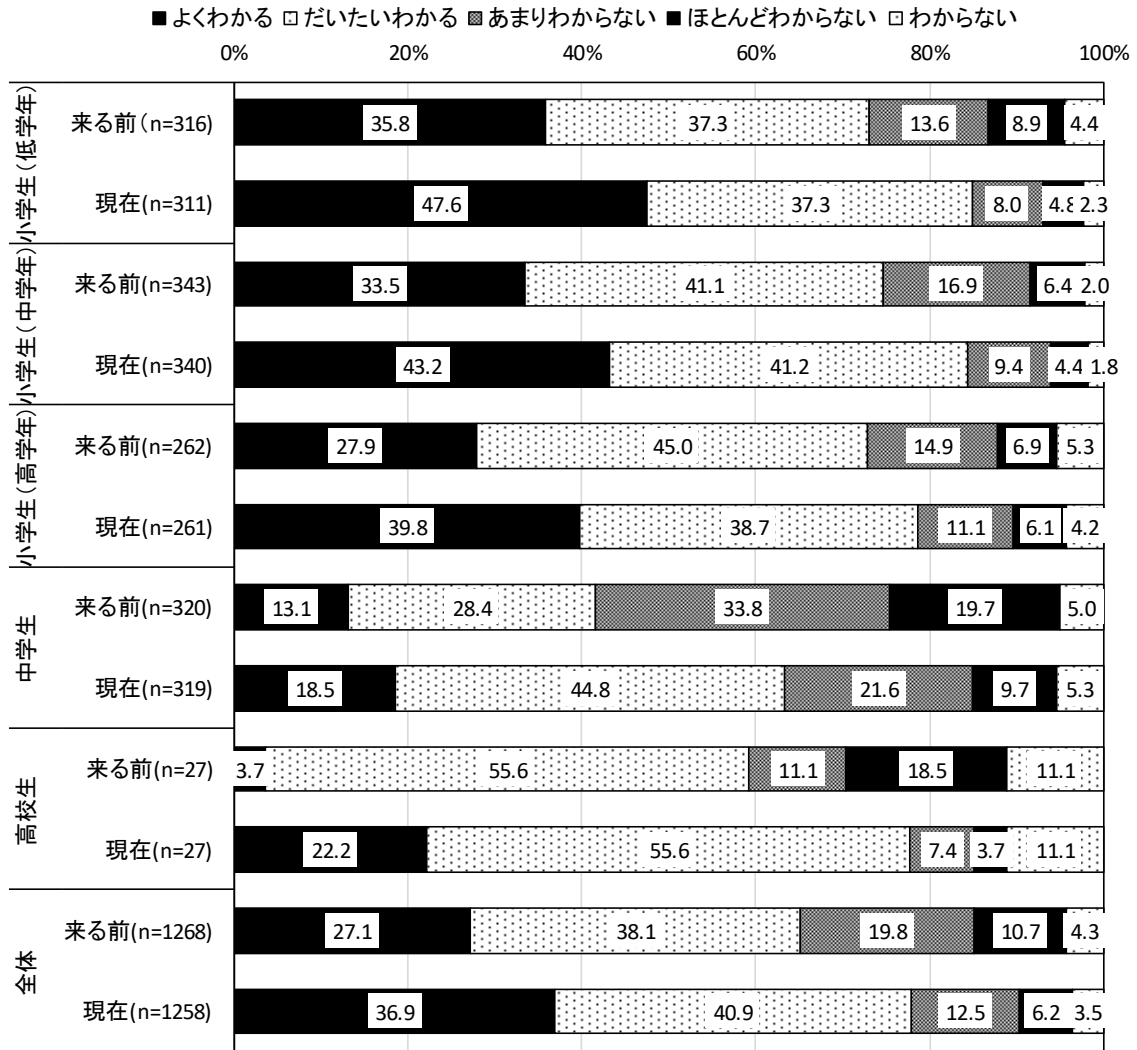


図 43 学校の勉強についての気持ち (注：図 290 に再掲)

「全体」では、居場所に来る前は「だいたいわかる」が 38.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「よくわかる」が 27.1%となっている。現在は「だいたいわかる」が 40.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「よくわかる」が 36.9%となっている。層別で見た場合、全ての層で「よくわかる」の回答割合が来る前に比べて現在で高まっている。

学校の授業時間以外の1日あたりの読書時間

問13 あなたは、学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間、読書を行いますか。(教科書や参考書、マンガや雑誌をのぞきます。) あてはまる番号1つに○をつけてください。

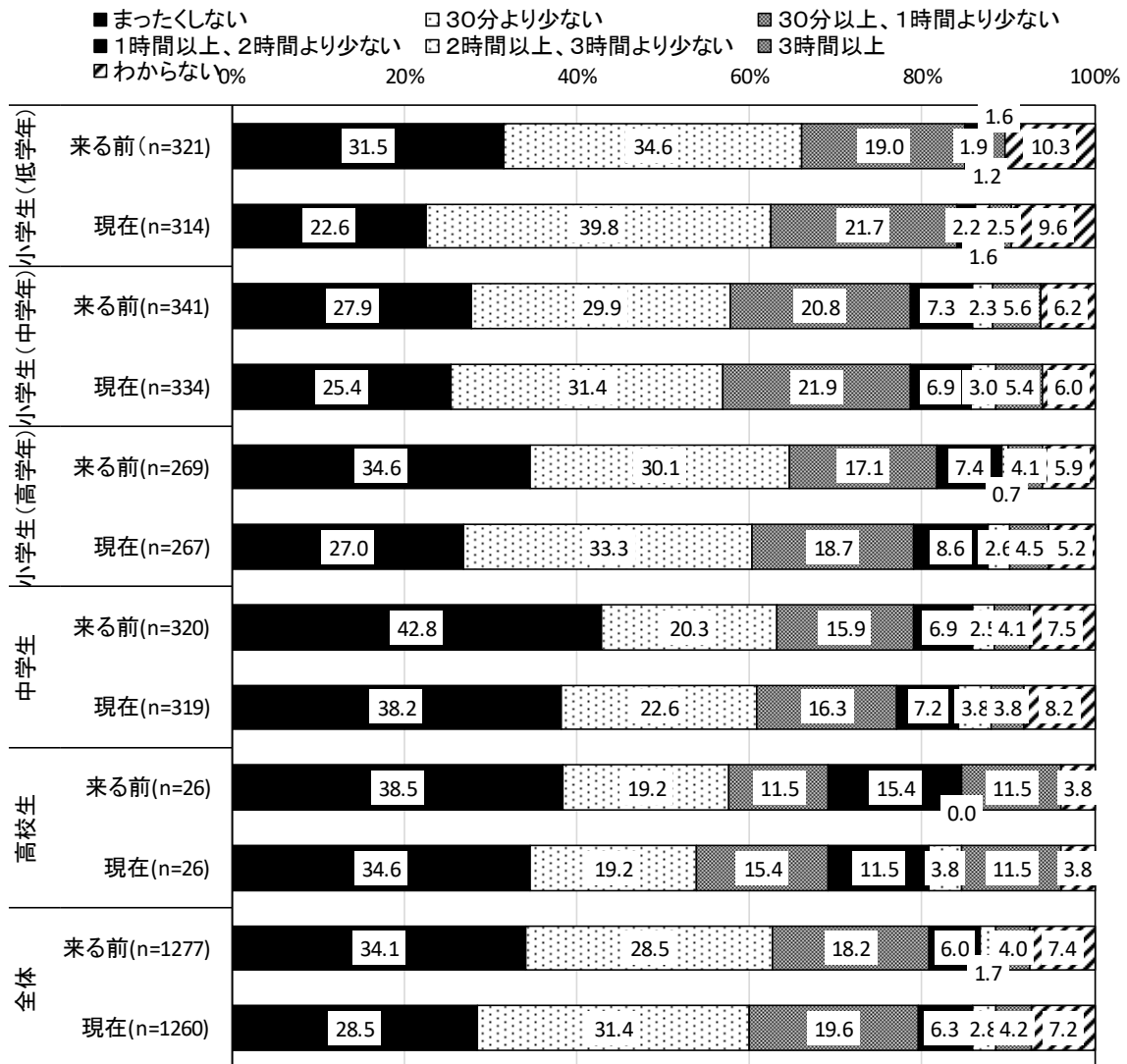


図 44 学校の授業時間以外の1日あたりの読書時間

「全体」では、居場所に来る前は「まったくしない」が34.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「30分より少ない」が28.5%となっている。現在では「30分より少ない」が31.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「まったくしない」が28.5%となっている。層別で見えた場合、いずれの層でも「まったくしない」の回答割合が来る前に比べて現在で下がっている。

将来の進学希望

問26 あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

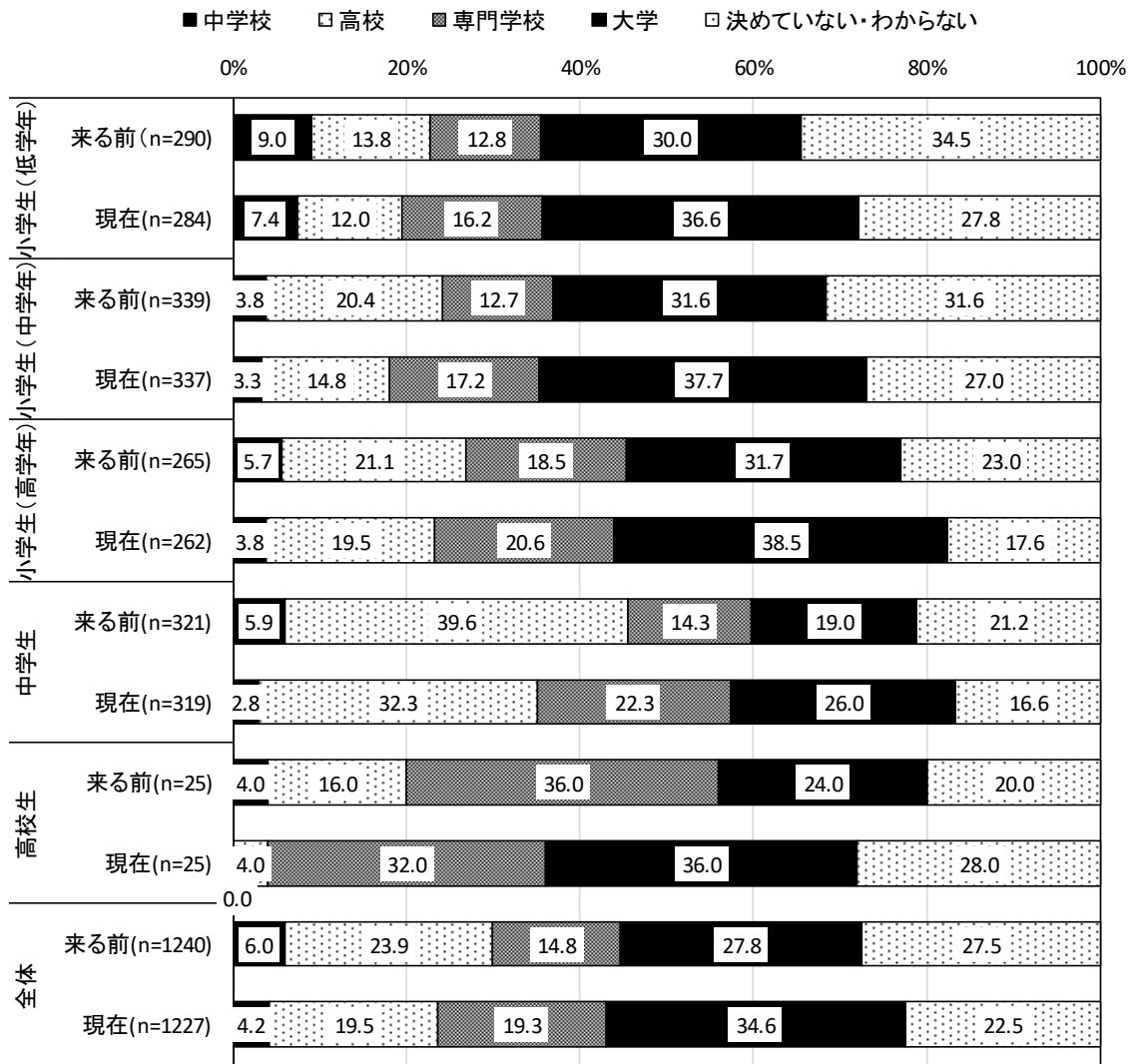


図 45 将来の進学希望 (注：図 294 に再掲)

「全体」では、居場所に来る前は「大学」が27.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「決めていない・わからない」が27.5%となっている。現在では「大学」が34.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「決めていない・わからない」が22.5%となっている。層別で見た場合、全ての層で「大学」の回答割合が来る前に比べて現在で高まっている。

(4) 社会環境の変化

放課後に過ごす相手

問22 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、だれと過ごしますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

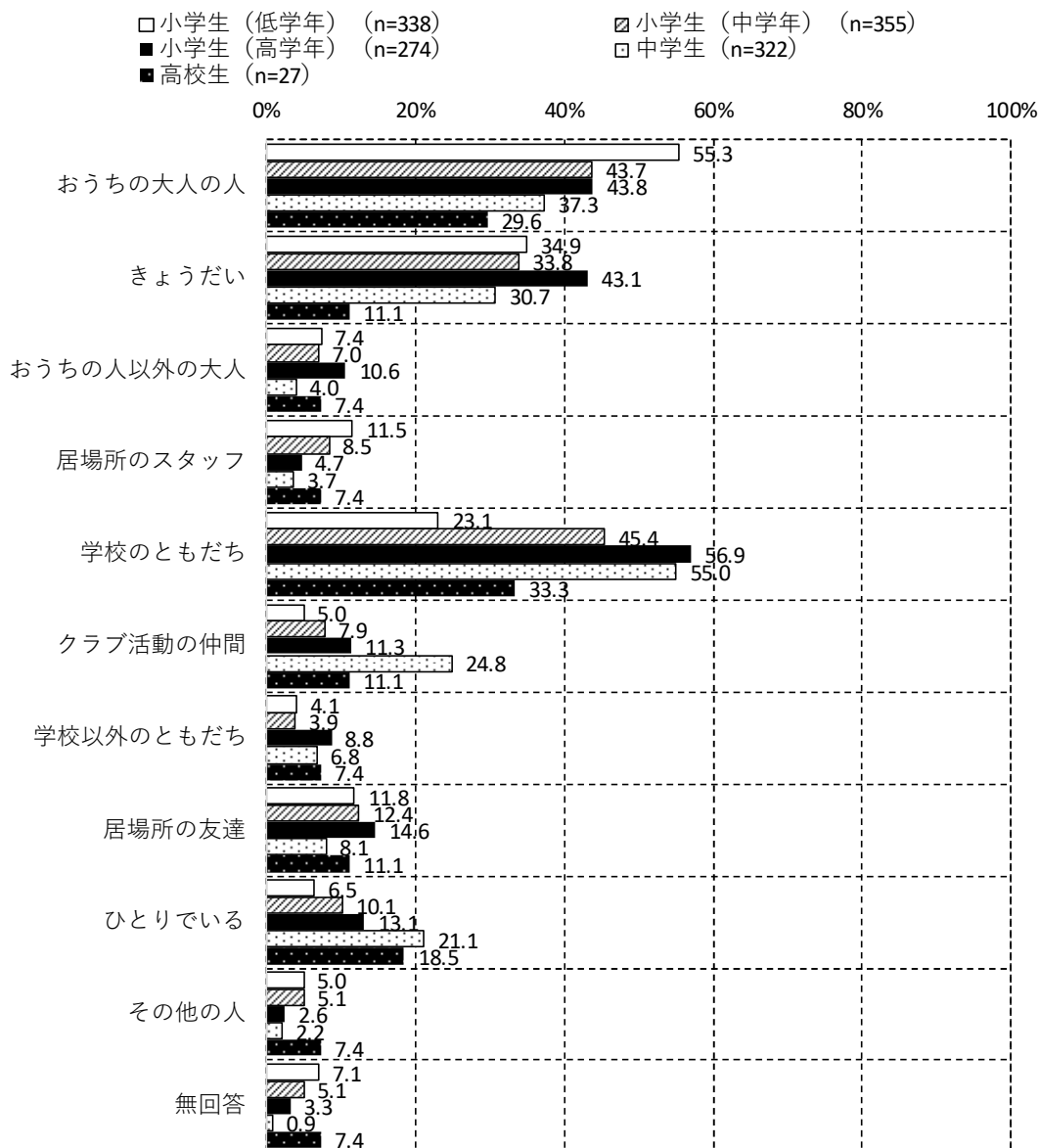


図 46 放課後に過ごす相手（居場所に来る前）

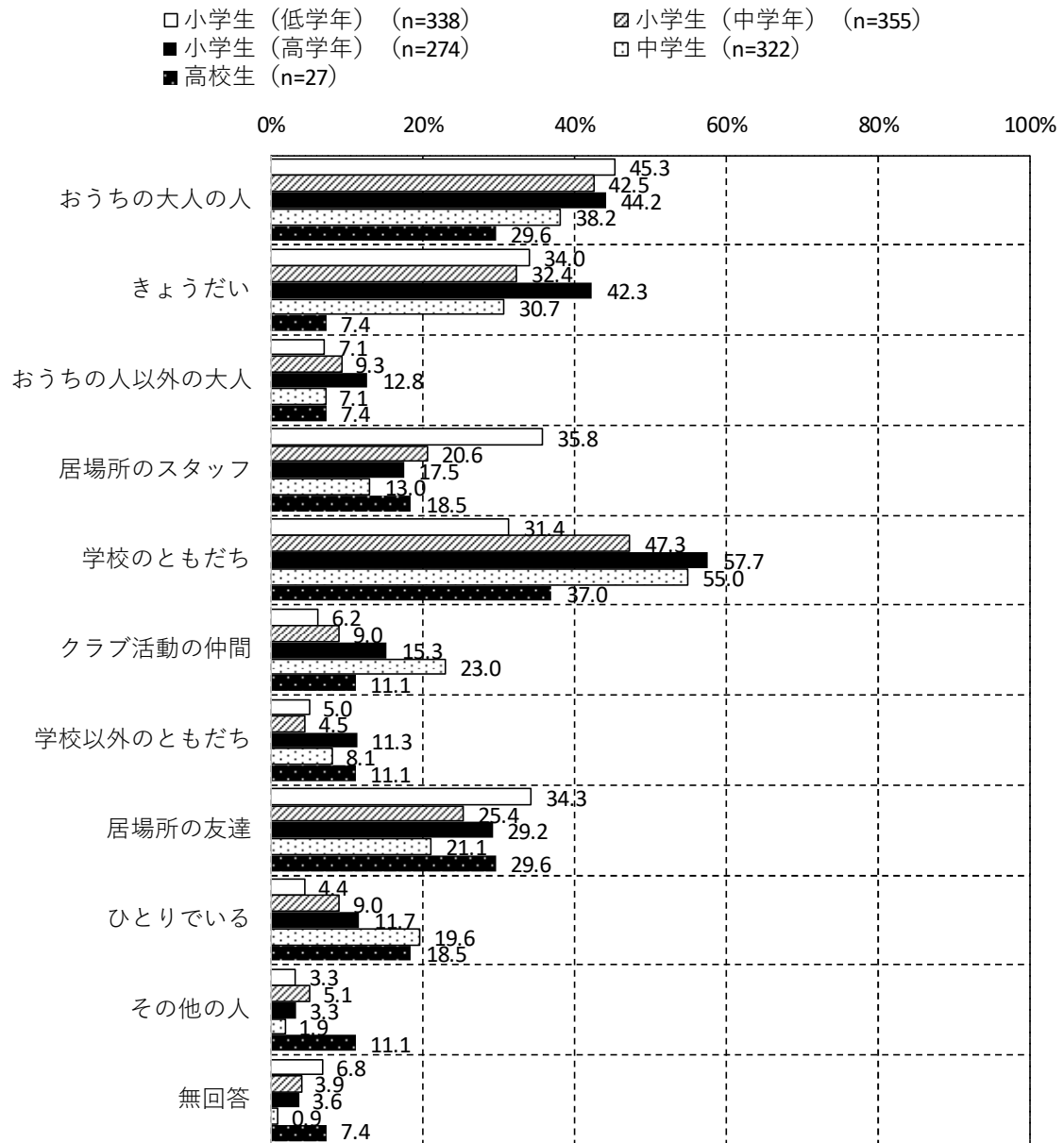


図 47 放課後に過ごす相手（現在）（注：図 286 に再掲）

居場所に来る前は、「小学生（低学年）」では、「おうちの大人の人」が 55.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「きょうだい」が 34.9%となっている。「小学生（中学年）」では、「学校のともだち」が 45.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「おうちの大人の人」が 43.7%となっている。「小学生（高学年）」では、「学校のともだち」が 56.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「おうちの大人の人」が 43.8%となっている。「中学生」では、「学校のともだち」が 55.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「おうちの大人の人」が 37.3%となっている。「高校生」では、「学校のともだち」が 33.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「おうちの大人の人」が 29.6%となっている。

現在は、「小学生（低学年）」では、「おうちの大人の人」が 45.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「居場所のスタッフ」が 35.8%となっている。「小学生（中学年）」では、「学校のともだち」が 47.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「おうちの大人の人」が 42.5%となっている。「小学生（高学年）」では、「学校のともだち」が 57.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「おうちの大人の人」が 44.2%となっている。「中学生」では、「学校のともだち」が 55.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「おうちの大人の人」が 38.2%となっている。「高校生」では、「学校のともだち」が 37.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「おうちの大人の人」と「居場所の友達」が 29.6%となっている。

いままでの人生で、心から感動したことがある

問 2 3 ① いままでの人生で、心から感動したことがある（小説、映画、ドラマ、マンガ、体験、音楽、芸術、スポーツなど）。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

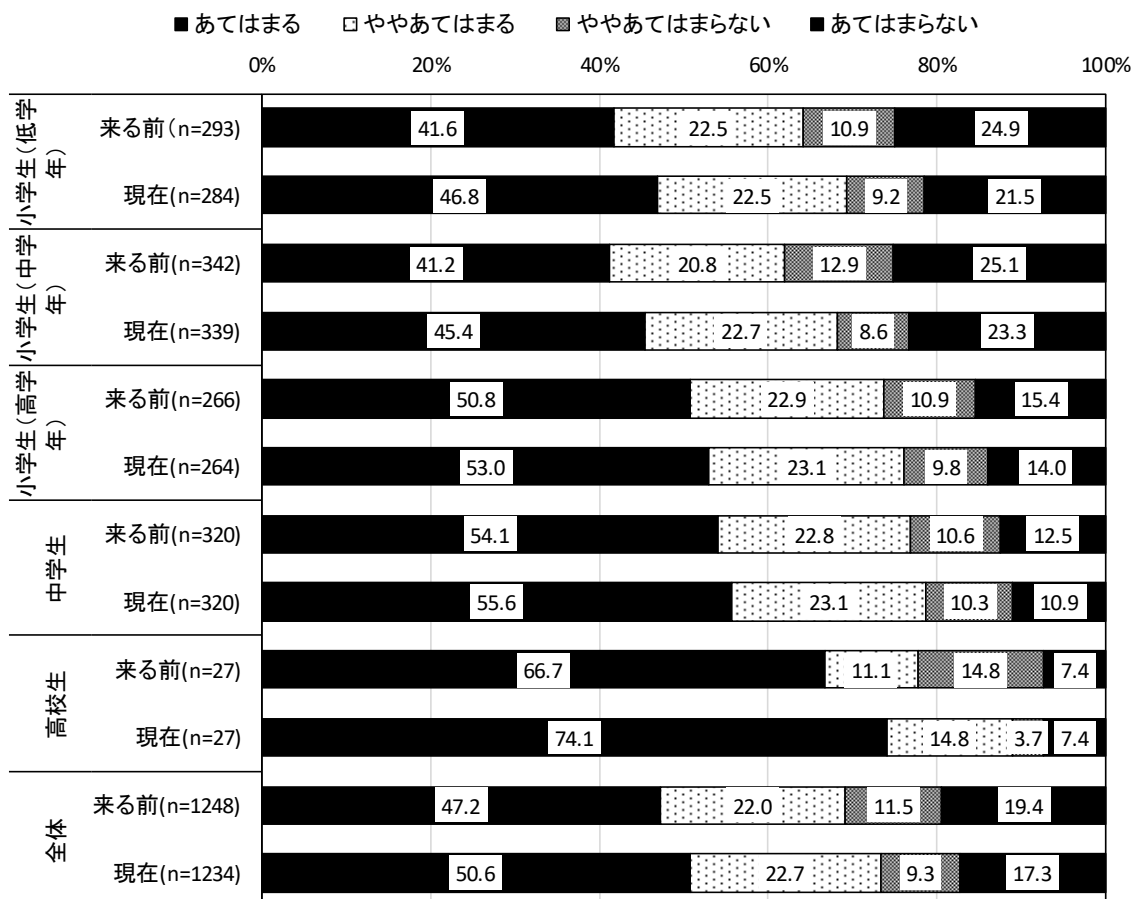


図 48 いままでの人生で、心から感動したことがある

「全体」では、居場所に来る前は「あてはまる」が 47.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が 22.0%となっている。現在では「あてはまる」が 50.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が 22.7%となっている。層別で見た場合、全ての層で「あてはまる」の回答割合が来る前に比べて現在で高まっている。

夢中になったり面白いと思った、やる気が出たという記憶に残っている授業がある
 問 2 3 ② 夢中になった、勉強がおもしろいと思った、やる気が出た、という記憶に残っている授業がある。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

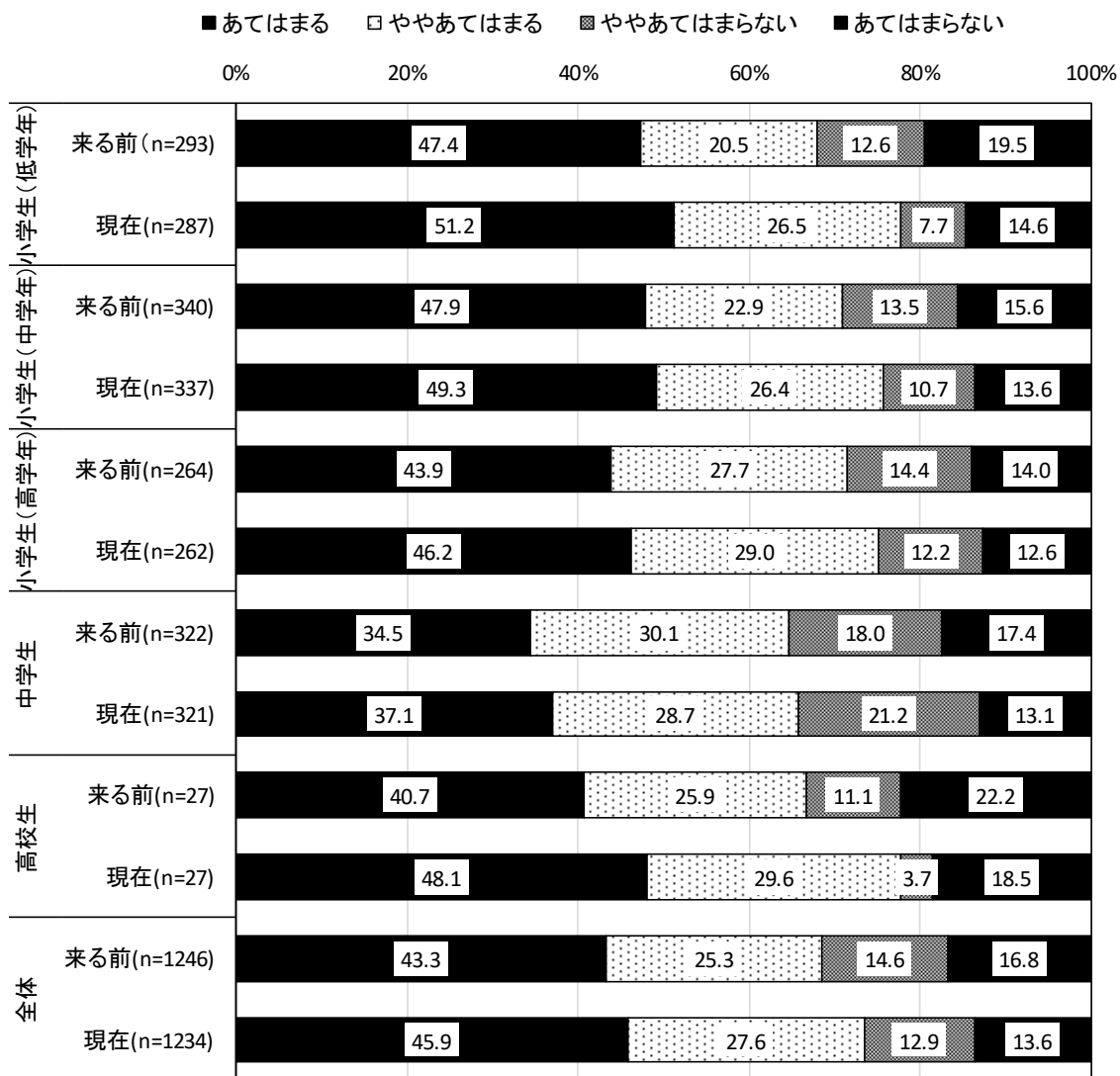


図 49 夢中になったり面白いと思った、やる気が出たという記憶に残っている授業がある

「全体」では、居場所に来る前は「あてはまる」が 43.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が 25.3%となっている。現在では「あてはまる」が 45.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が 27.6%となっている。層別で見た場合、全ての層で「あてはまる」の回答割合が来る前に比べて現在で高まっている。

小さい子やお年寄りがこまっているとき手助けをする

問23③ 小さい子や、お年寄りがこまっているとき、手助けをする。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

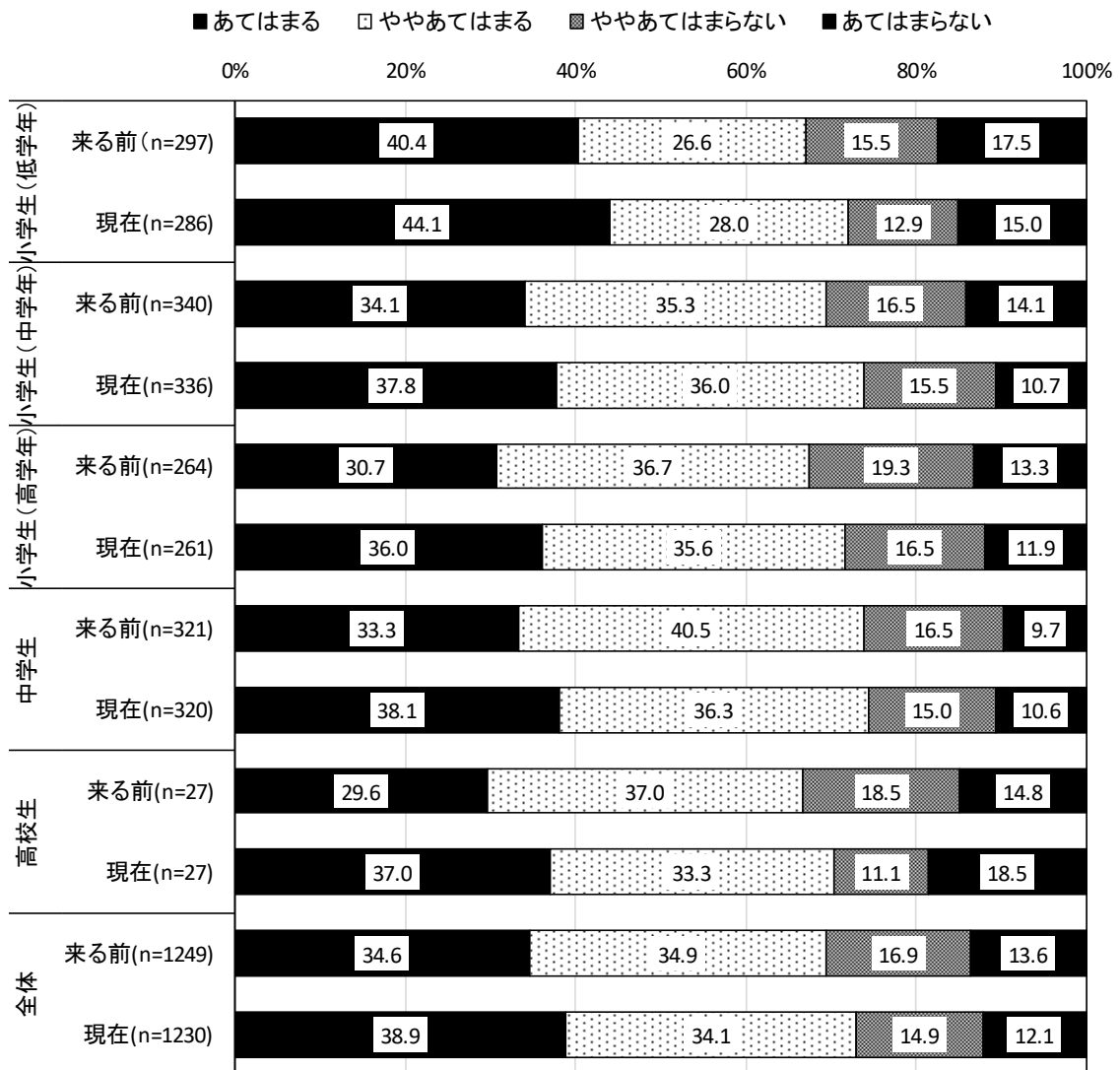


図 50 小さい子やお年寄りがこまっているとき手助けをする

「全体」では、居場所に来る前は「ややあてはまる」が 34.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「あてはまる」が 34.6%となっている。現在では「あてはまる」が 38.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が 34.1%となっている。層別で見た場合、全ての層で「あてはまる」の回答割合が来る前に比べて現在で高まっている。

お祭りやボランティア活動など地域の行事に参加する
 問 2 3 ④ お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

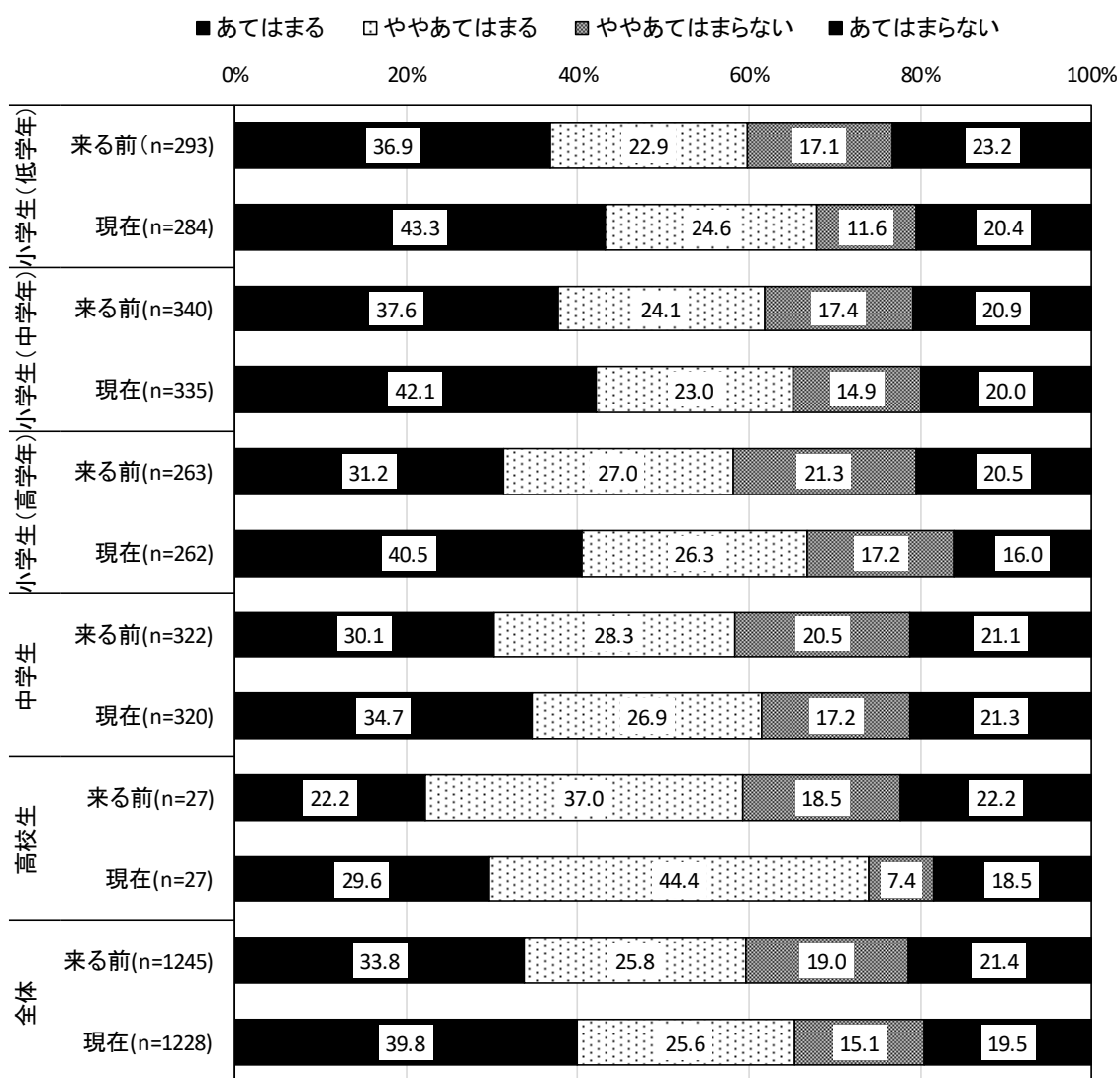


図 51 お祭りやボランティア活動など地域の行事に参加する

「全体」では、居場所に来る前は「あてはまる」が 33.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が 25.8%となっている。現在では「あてはまる」が 39.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が 25.6%となっている。層別で見た場合、全ての層で「あてはまる」の回答割合が来る前に比べて現在で高まっている。

何かに失敗したときにたすけてくれる人

問24① あなたが、何かに失敗したときに、たすけてくれる。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

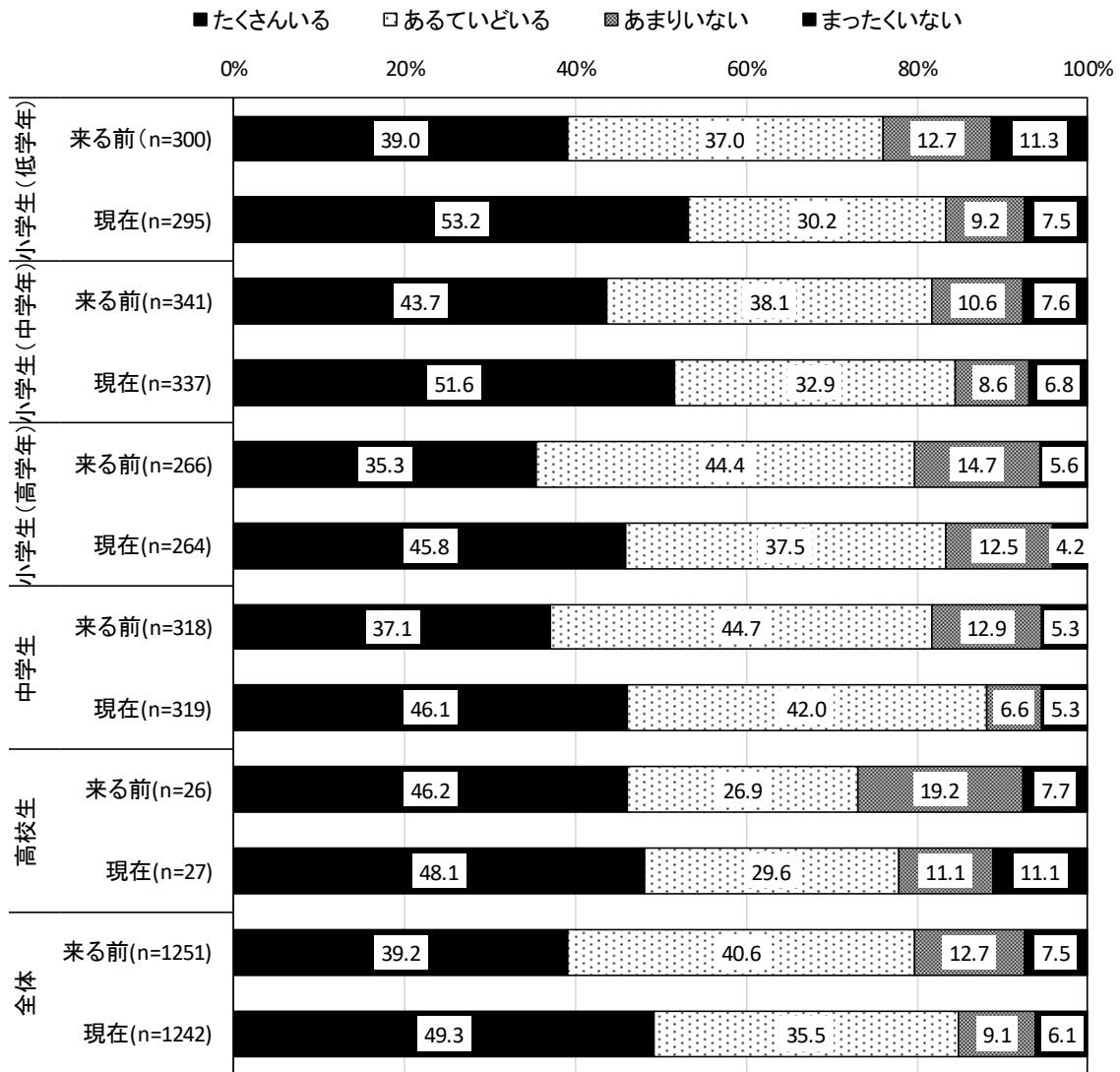


図 52 何かに失敗したときにたすけてくれる人

「全体」では、居場所に来る前は「あるていどいる」が40.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「たくさんいる」が39.2%となっている。現在では「たくさんいる」が49.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「あるていどいる」が35.5%となっている。層別で見た場合、全ての層で「たくさんいる」の回答割合が来る前に比べて現在で高まっている。

勉強やスポーツをがんばったときにほめてくれる人

問 2 4 ② あなたが、勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

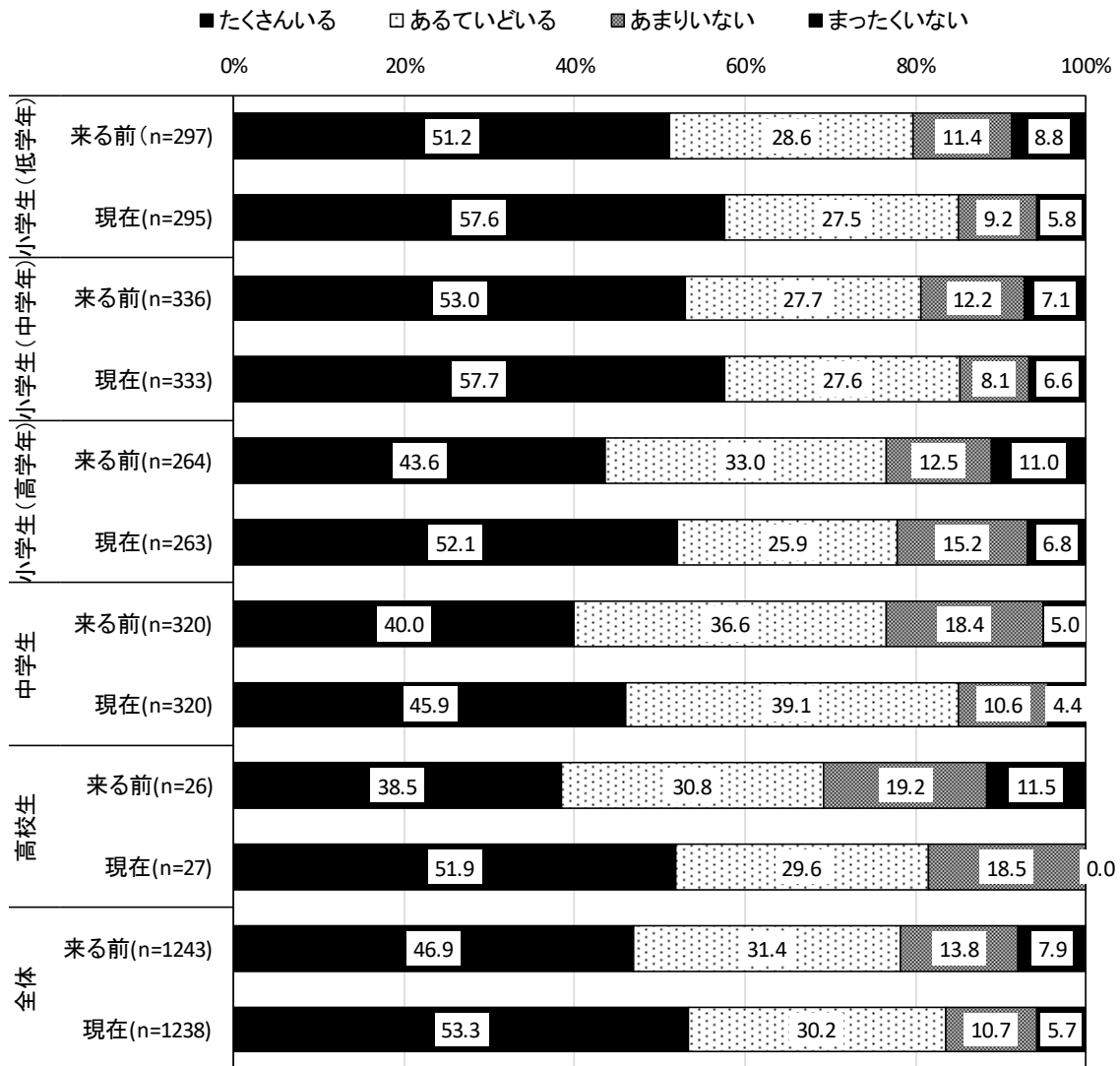


図 53 勉強やスポーツをがんばったときにほめてくれる人

「全体」では、居場所に来る前は「たくさんいる」が 46.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「あるていどいる」が 31.4%となっている。現在では「たくさんいる」が 53.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「あるていどいる」が 30.2%となっている。層別で見た場合、全ての層で「たくさんいる」の回答割合が来る前に比べて現在で高まっている。

一人ではできないことがあったときには気持ちよく手伝ってくれる人
 問 2 4 ③ 一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

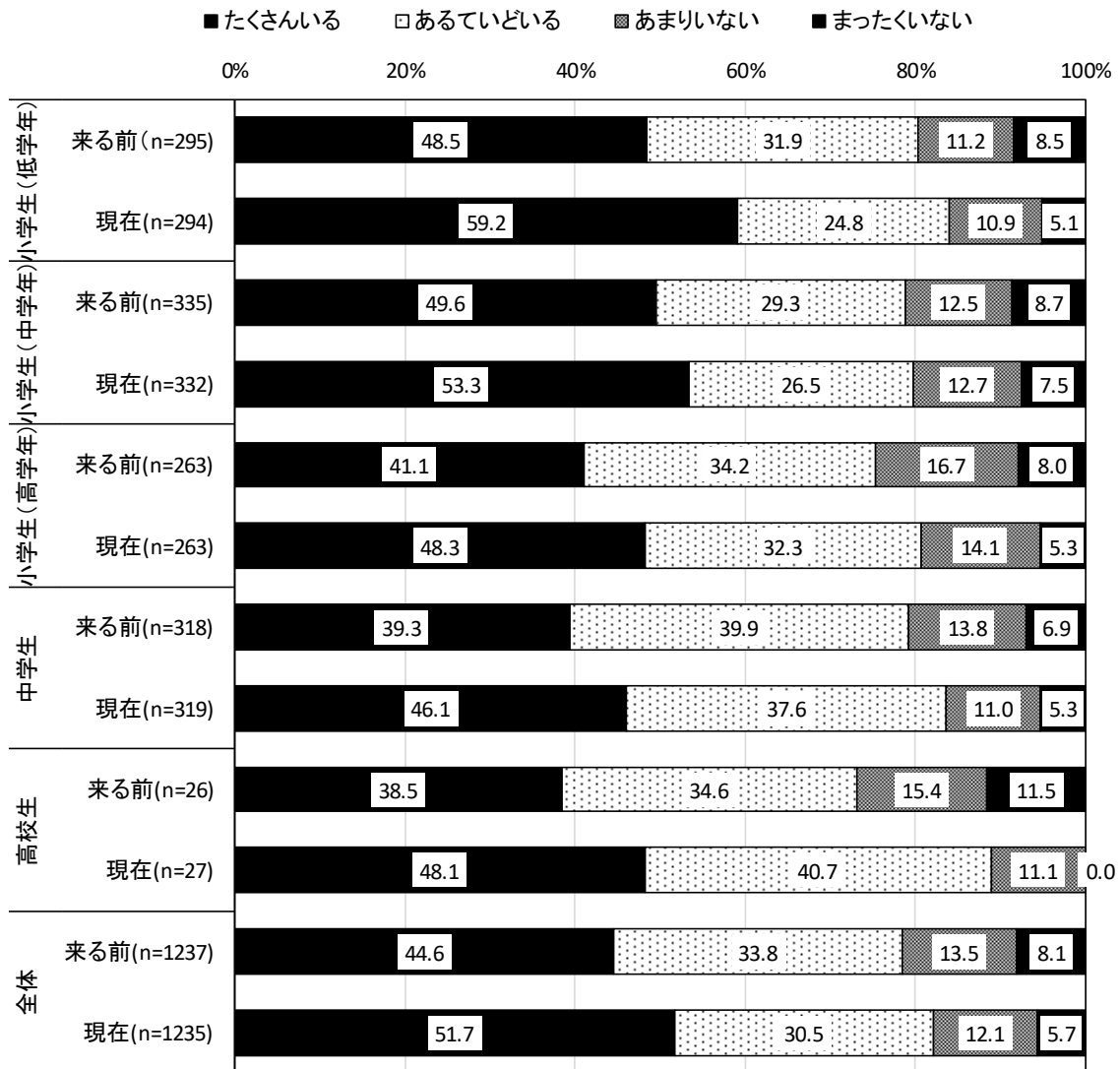


図 54 一人ではできないことがあったときには気持ちよく手伝ってくれる人

「全体」では、居場所に来る前は「たくさんいる」が 44.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「あるていどいる」が 33.8%となっている。現在では「たくさんいる」が 51.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「あるていどいる」が 30.5%となっている。層別で見た場合、全ての層で「たくさんいる」の回答割合が来る前に比べて現在で高まっている。

悩んでいるときにどうしたらよいか教えてくれる人
 問 2 4 ④ あなたが悩んでいるときに、どうしたらよいか教えてくれる。(あてはまる番号
 1つに○をつけてください)

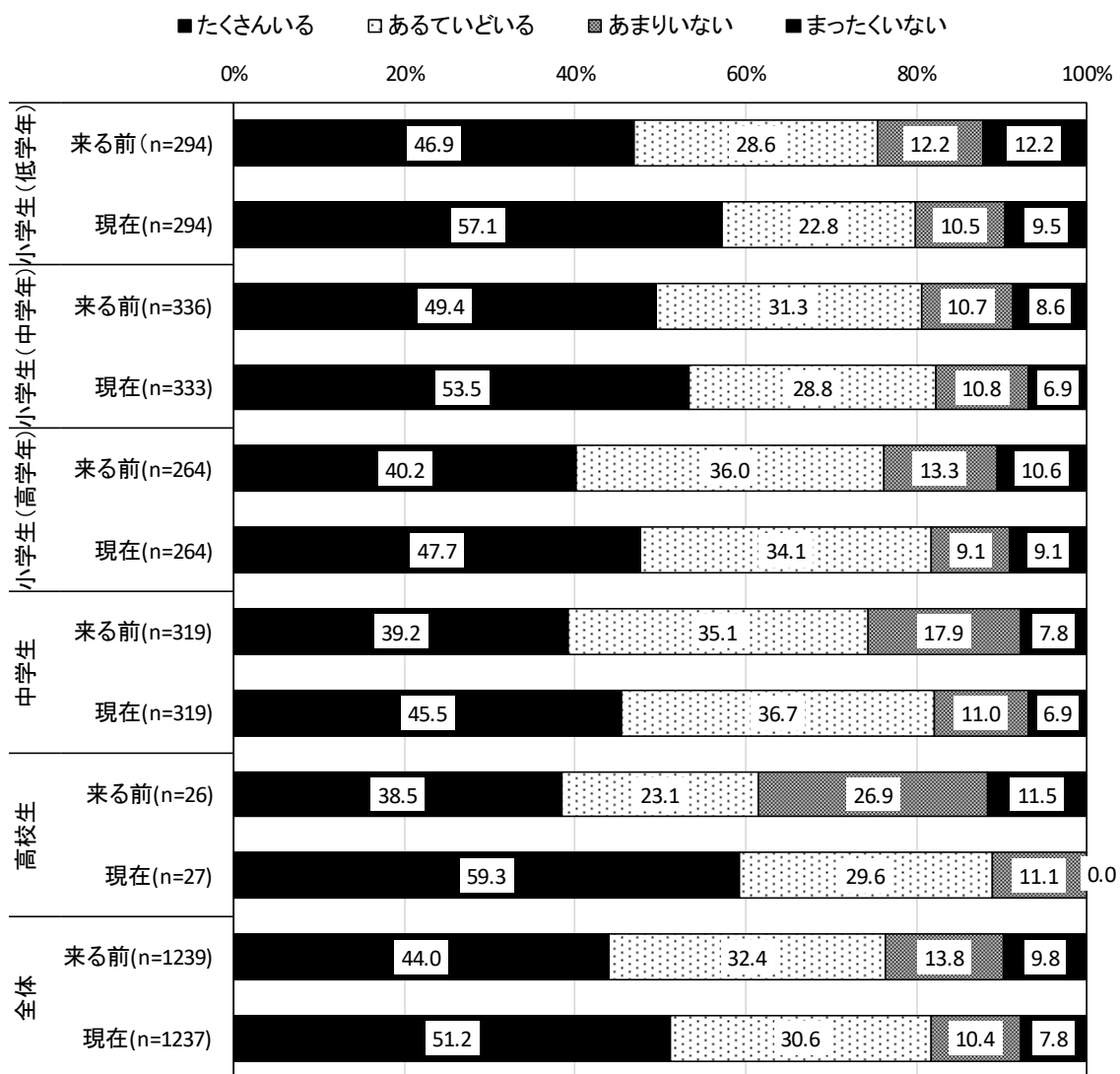


図 55 悩んでいるときにどうしたらよいか教えてくれる人

「全体」では、居場所に来る前は「たくさんいる」が 44.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「あるていどいる」が 32.4%となっている。現在では「たくさんいる」が 51.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「あるていどいる」が 30.6%となっている。層別で見た場合、全ての層で「たくさんいる」の回答割合が来る前に比べて現在で高まっている。

自分に自信がある

問 2 5 ① 自分に自信がある。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

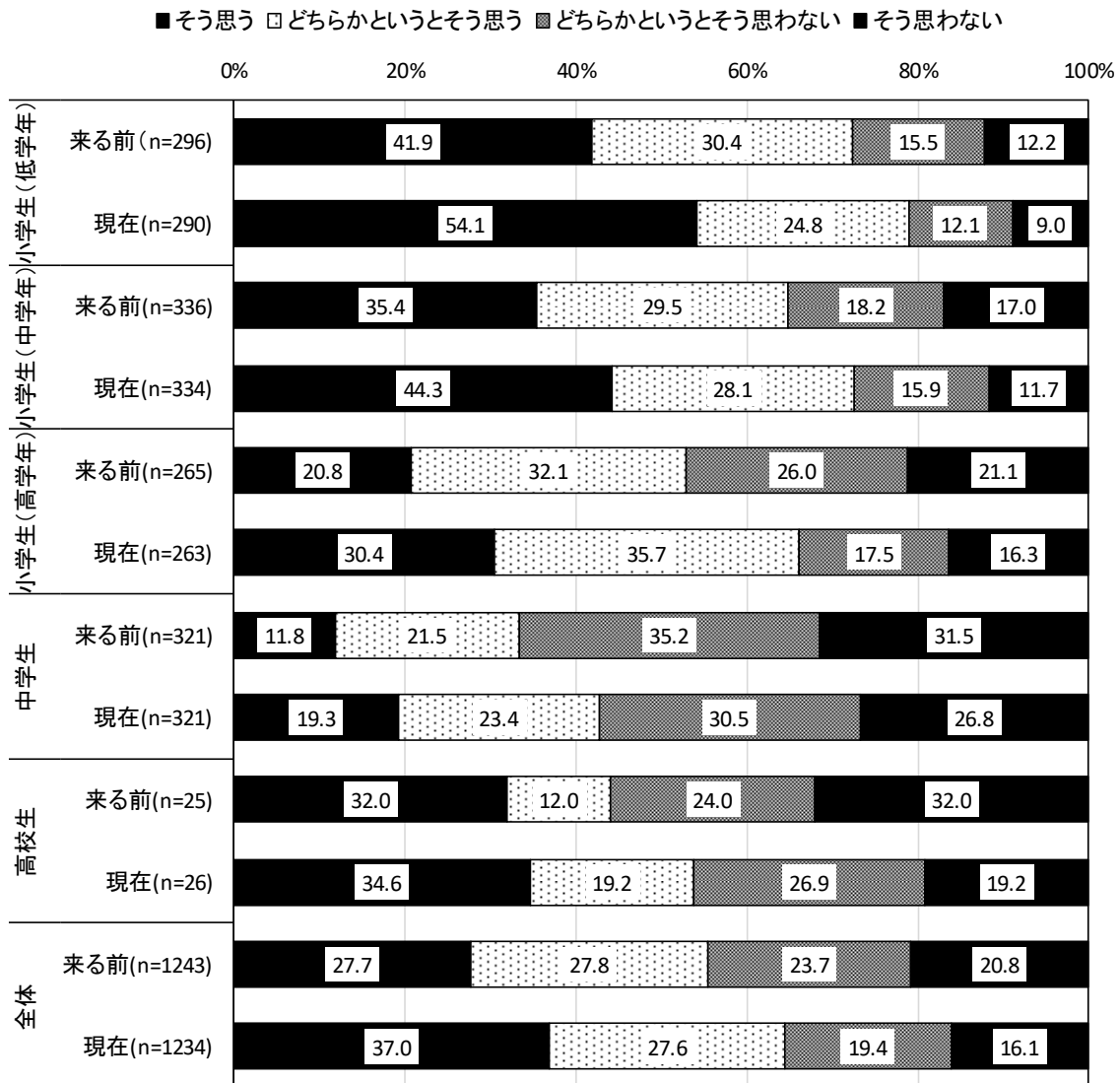


図 56 自分に自信がある (注：図 296 に再掲)

「全体」では、居場所に来る前は「どちらかというと思う」が 27.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「そう思う」が 27.7%となっている。現在では「そう思う」が 37%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が 27.6%となっている。層別で見た場合、全ての層で「そう思う」の回答割合が来る前に比べて現在で高まっている。

自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

問 2 5 ② 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

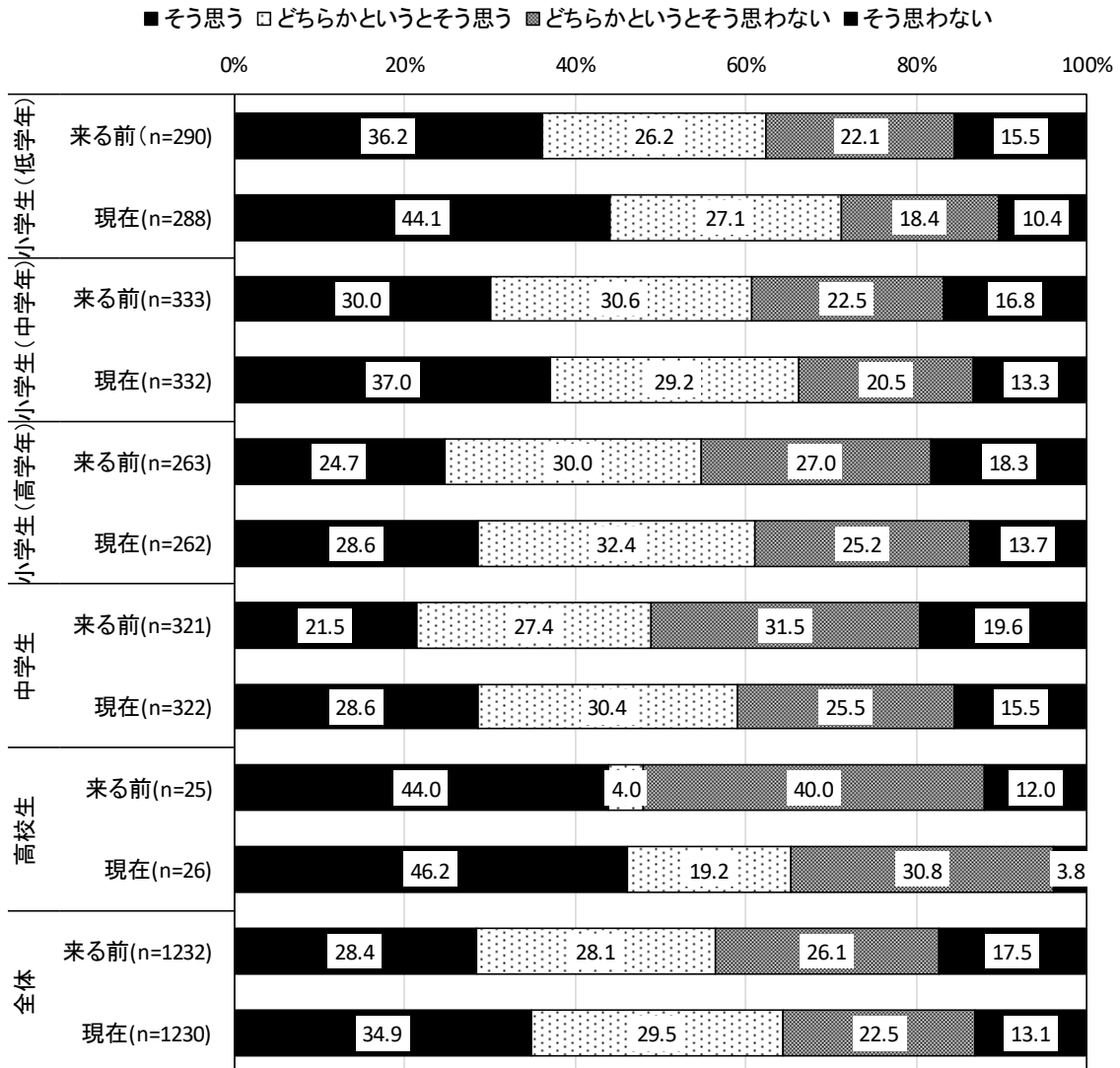


図 57 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる (注：図 298 に再掲)

「全体」では、居場所に来る前は「そう思う」が 28.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が 28.1%となっている。現在では「そう思う」が 34.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が 29.5%となっている。層別で見た場合、全ての層で「そう思う」の回答割合が来る前に比べて現在で高まっている。

大人を信用できる

問 2 5 ③ 大人を信用できる。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

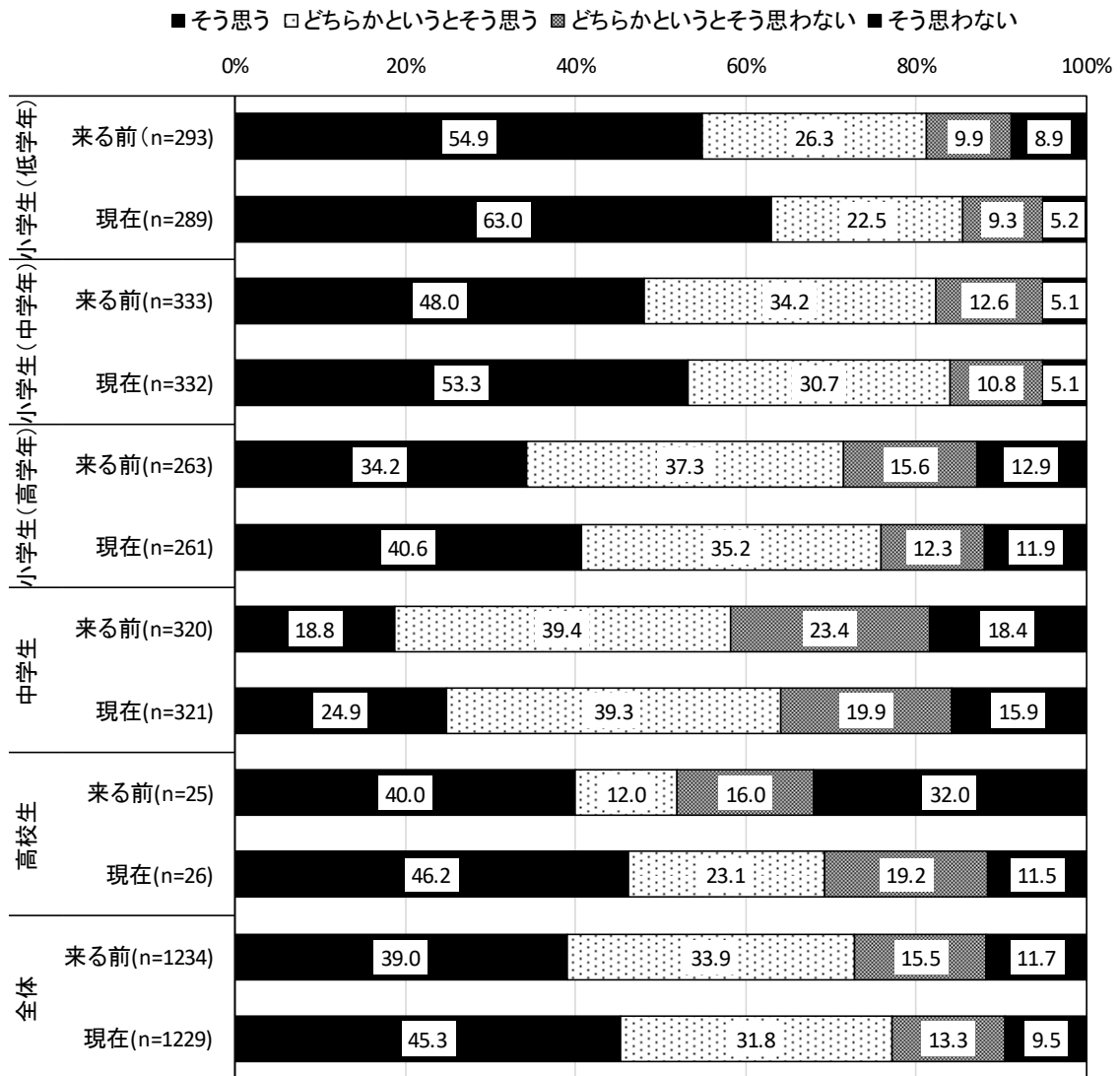


図 58 大人を信用できる (注：図 300 に再掲)

「全体」では、居場所に来る前は「そう思う」が 39.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が 33.9%となっている。現在では「そう思う」が 45.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が 31.8%となっている。層別で見た場合、全ての層で「そう思う」の回答割合が来る前に比べて現在で高まっている。

自分の将来の夢や目標を持っている

問 2 5 ④ 自分の将来の夢や目標を持っている。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

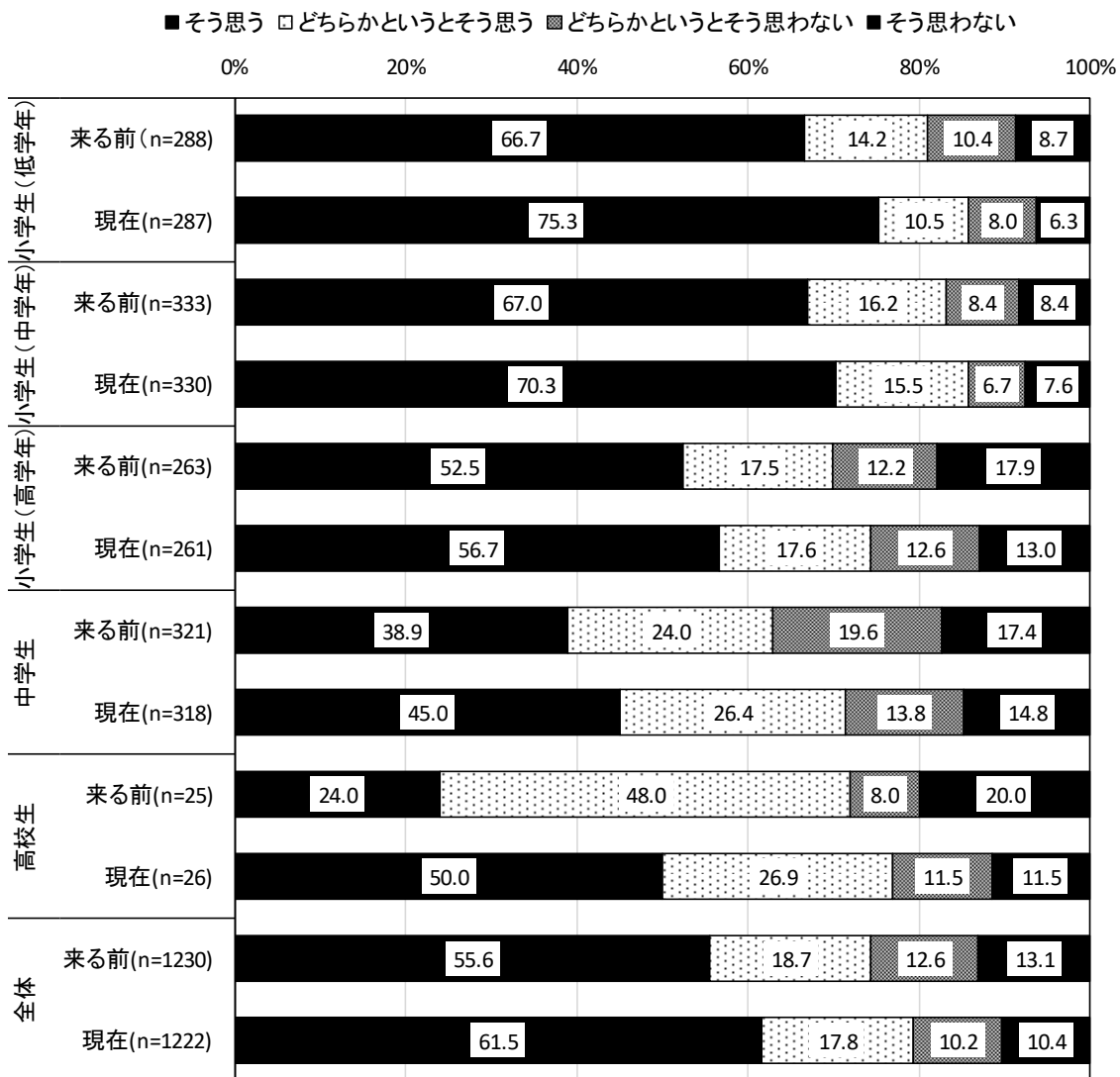


図 59 自分の将来の夢や目標を持っている

「全体」では、居場所に来る前は「そう思う」が 55.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が 18.7%となっている。現在では「そう思う」が 61.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が 17.8%となっている。層別で見た場合、全ての層で「そう思う」の回答割合が来る前に比べて現在で高まっている。

将来のためにも今頑張りたいと思う

問 2 5 ⑤ 将来のためにも今頑張りたいと思う。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

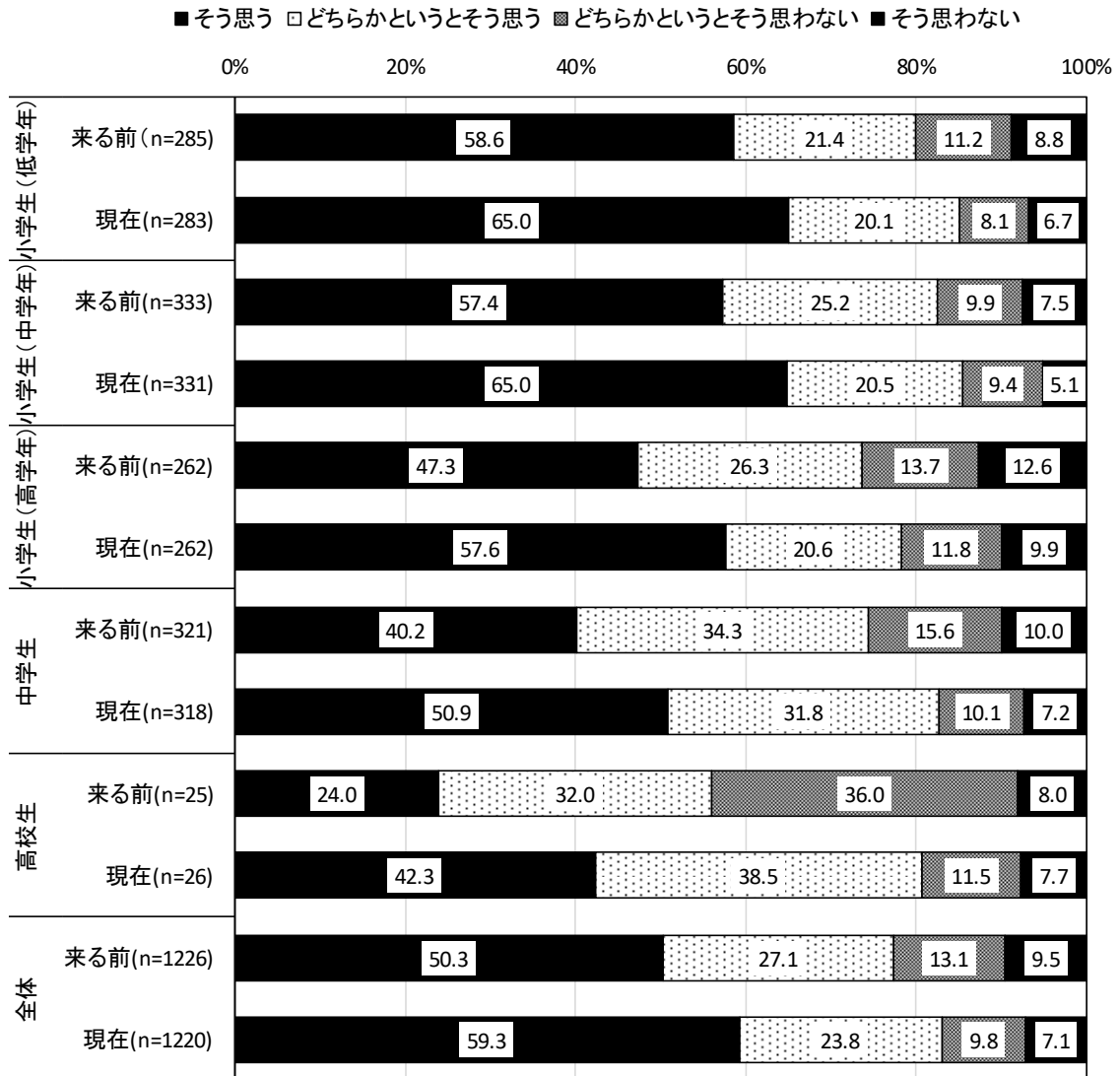


図 60 将来のためにも今頑張りたいと思う

「全体」では、居場所に来る前は「そう思う」が 50.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が 27.1%となっている。現在では「そう思う」が 59.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が 23.8%となっている。層別で見た場合、全ての層で「そう思う」の回答割合が来る前に比べて現在で高まっている。

将来働きたいと思う

問 2 5 ⑥ 将来働きたいと思う。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

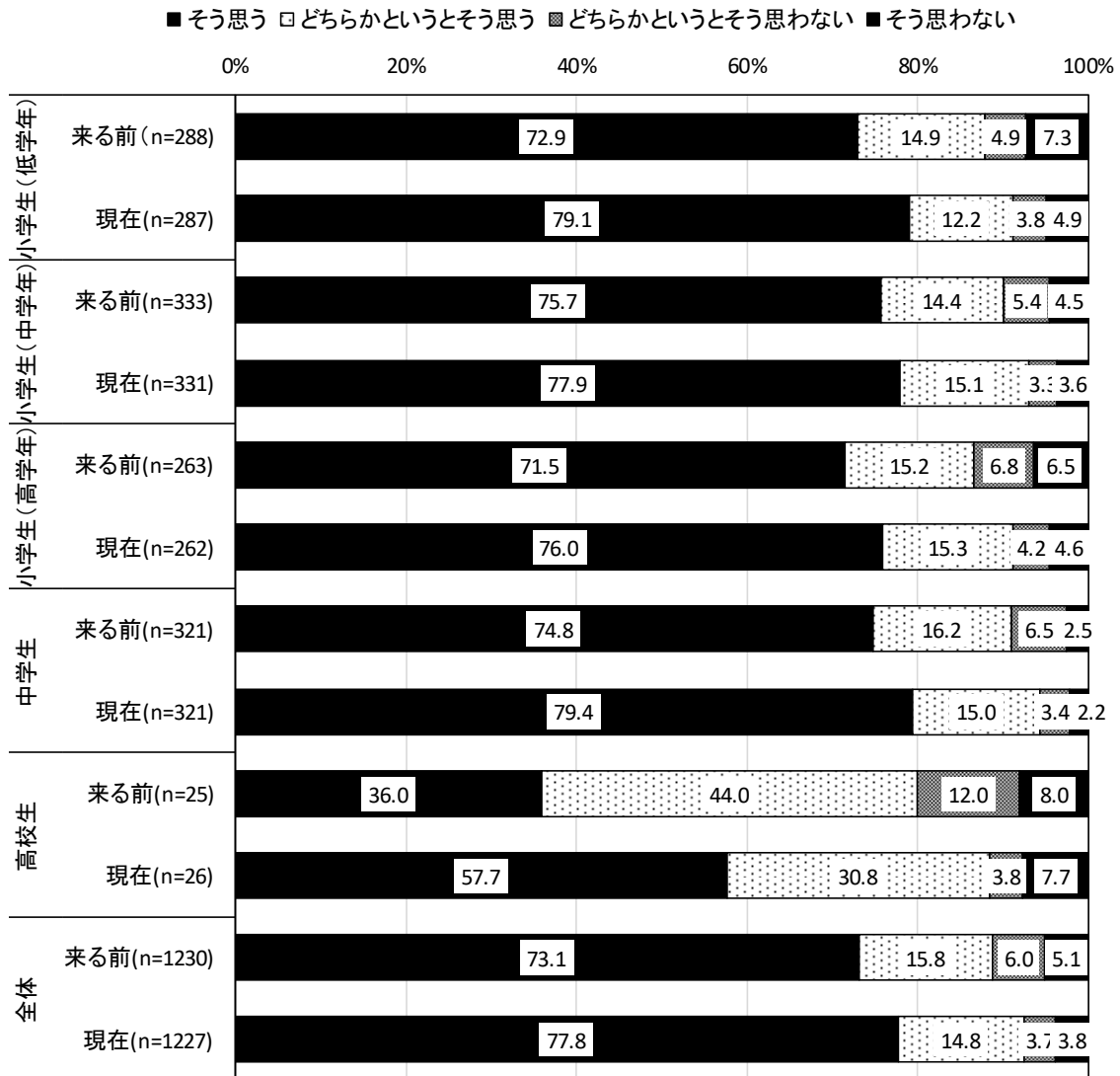


図 61 将来働きたいと思う

「全体」では、居場所に来る前は「そう思う」が 73.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が 15.8%となっている。現在では「そう思う」が 77.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が 14.8%となっている。層別で見た場合、全ての層で「そう思う」の回答割合が来る前に比べて現在で高まっている。

子どもの自己効力感（セルフエフィカシー）

問25 あなたの気持ちについて教えてください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

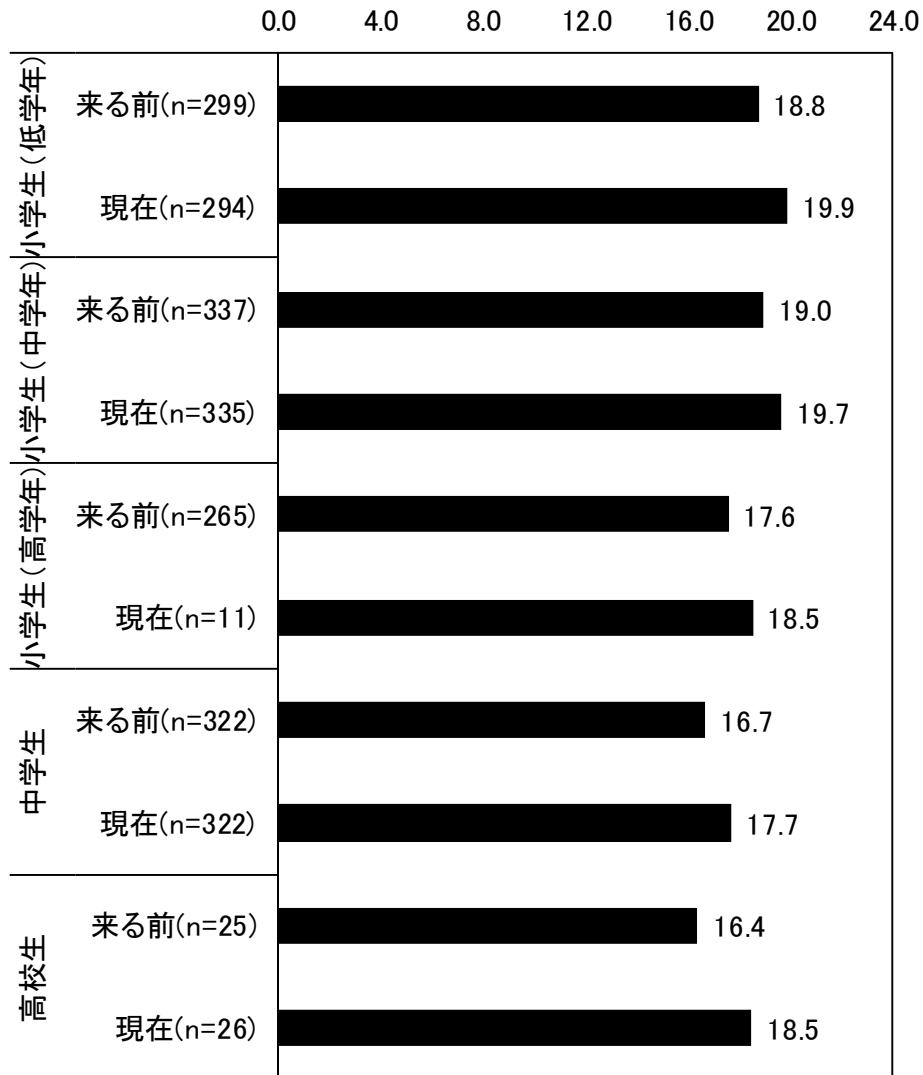


図 62 自己効力感

子どもの自己効力感について、「自分に自信がある」「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」「大人を信用できる」「自分の将来の夢や目標を持っている」「将来のためにも、今、頑張りたいと思う」「将来、働きたいと思う」の6つの項目それぞれについて、「そう思う＝4」「どちらかというと思う＝3」「どちらかというと思わない＝2」「そう思わない＝1」として得点化し、合計した。

得点を見ると、小学生（低学年）と小学生（中学年）ではその他の学年に比べて得点が高い傾向がある。また、いずれの学年も来る前に比べて現在の得点が上昇している。

3. 居場所の利用頻度別に見た分析結果

(1) 子どもの特徴

居場所利用頻度別に見た、子どもの学年（問4-2×問2）

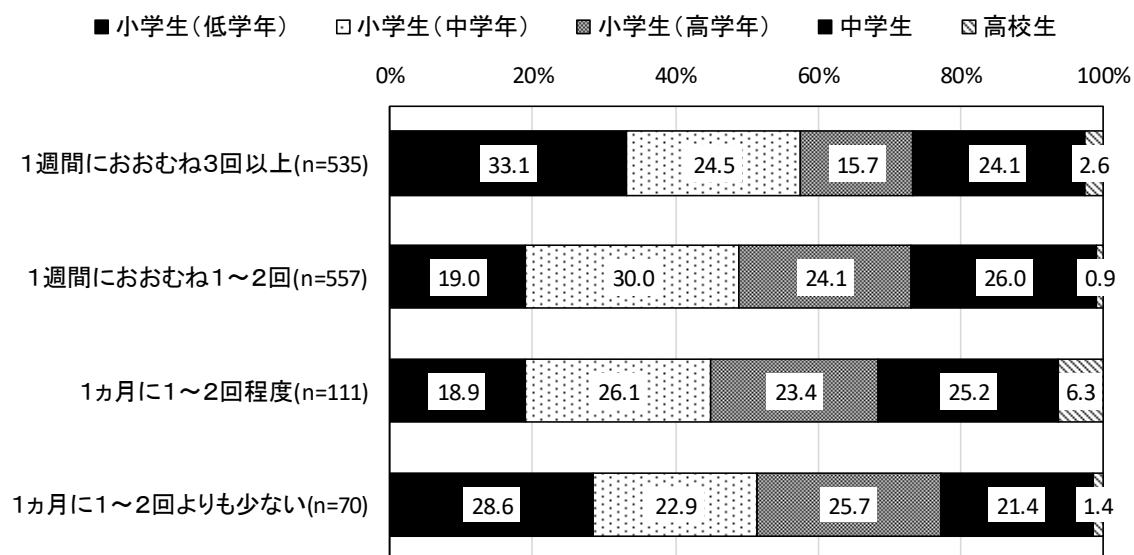


図 63 居場所利用頻度別に見た、子どもの学年

「1週間におおむね3回以上」では、「小学生（低学年）」が33.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「小学生（中学年）」が24.5%となっている。「1週間におおむね1～2回」では、「小学生（中学年）」が30.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「中学生」が26.0%となっている。「1カ月に1～2回程度」では、「小学生（中学年）」が26.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「中学生」が25.2%となっている。「1カ月に1～2回よりも少ない」では、「小学生（低学年）」が28.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「小学生（高学年）」が25.7%となっている。

居場所利用頻度別に見た、世帯構成（問4－2×問3）

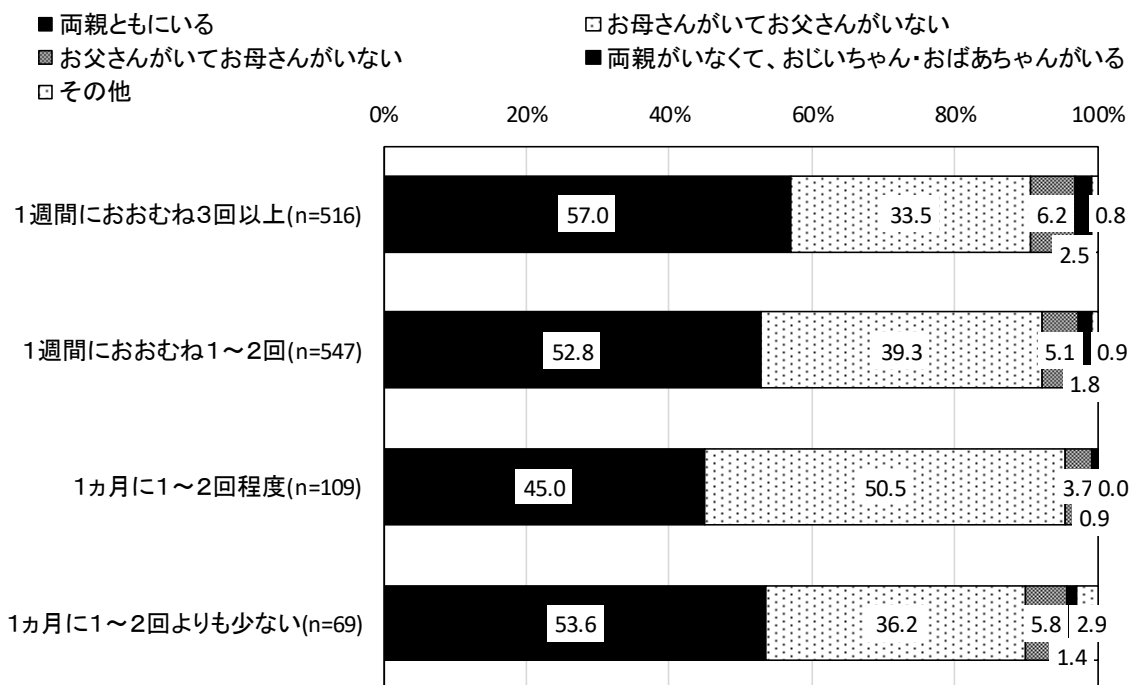


図 64 居場所利用頻度別に見た、世帯構成

「1週間におおむね3回以上」では、「両親ともにいる」が57.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「お母さんがいてお父さんがいない」が33.5%となっている。「1週間におおむね1～2回」では、「両親ともにいる」が52.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「お母さんがいてお父さんがいない」が39.3%となっている。「1カ月に1～2回程度」では、「お母さんがいてお父さんがいない」が50.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「両親ともにいる」が45.0%となっている。「1カ月に1～2回よりも少ない」では、「両親ともにいる」が53.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「お母さんがいてお父さんがいない」が36.2%となっている。

居場所利用頻度別に見た、居場所に来た感想（問4－2×問27）

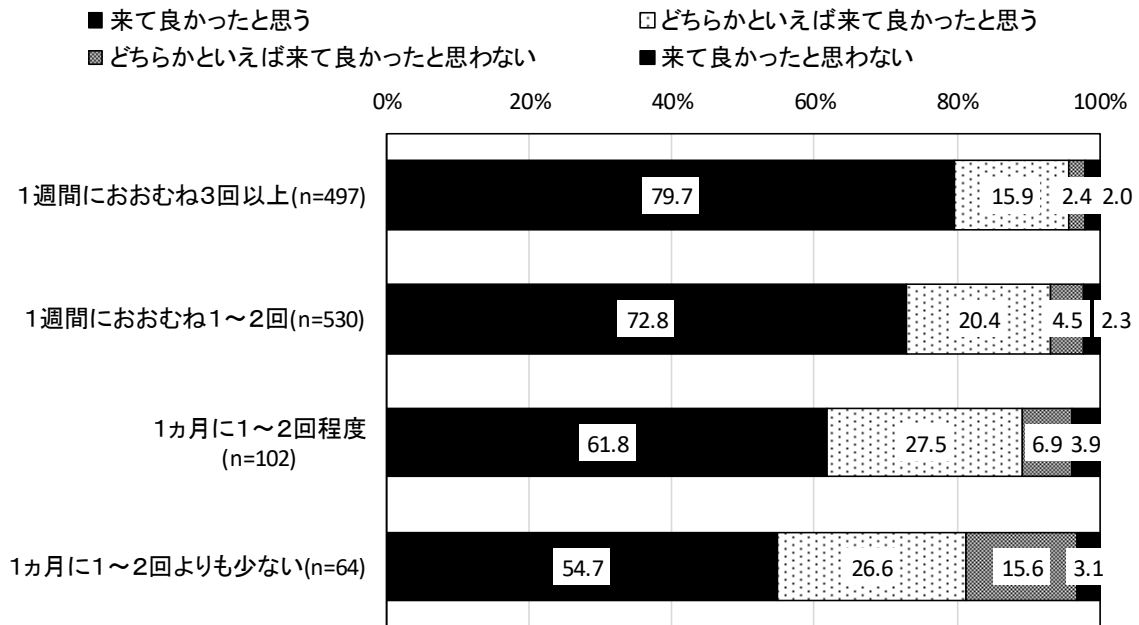


図 65 居場所利用頻度別に見た、居場所に来た感想

「1週間におおむね3回以上」では、「来て良かったと思う」が79.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえば来て良かったと思う」が15.9%となっている。「1週間におおむね1～2回」では、「来て良かったと思う」が72.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえば来て良かったと思う」が20.4%となっている。「1カ月に1～2回程度」では、「来て良かったと思う」が61.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえば来て良かったと思う」が27.5%となっている。「1カ月に1～2回よりも少ない」では、「来て良かったと思う」が54.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえば来て良かったと思う」が26.6%となっている。

(2) 生活環境の変化

居場所利用頻度別に見た、朝食の頻度 (問4-2×問17)

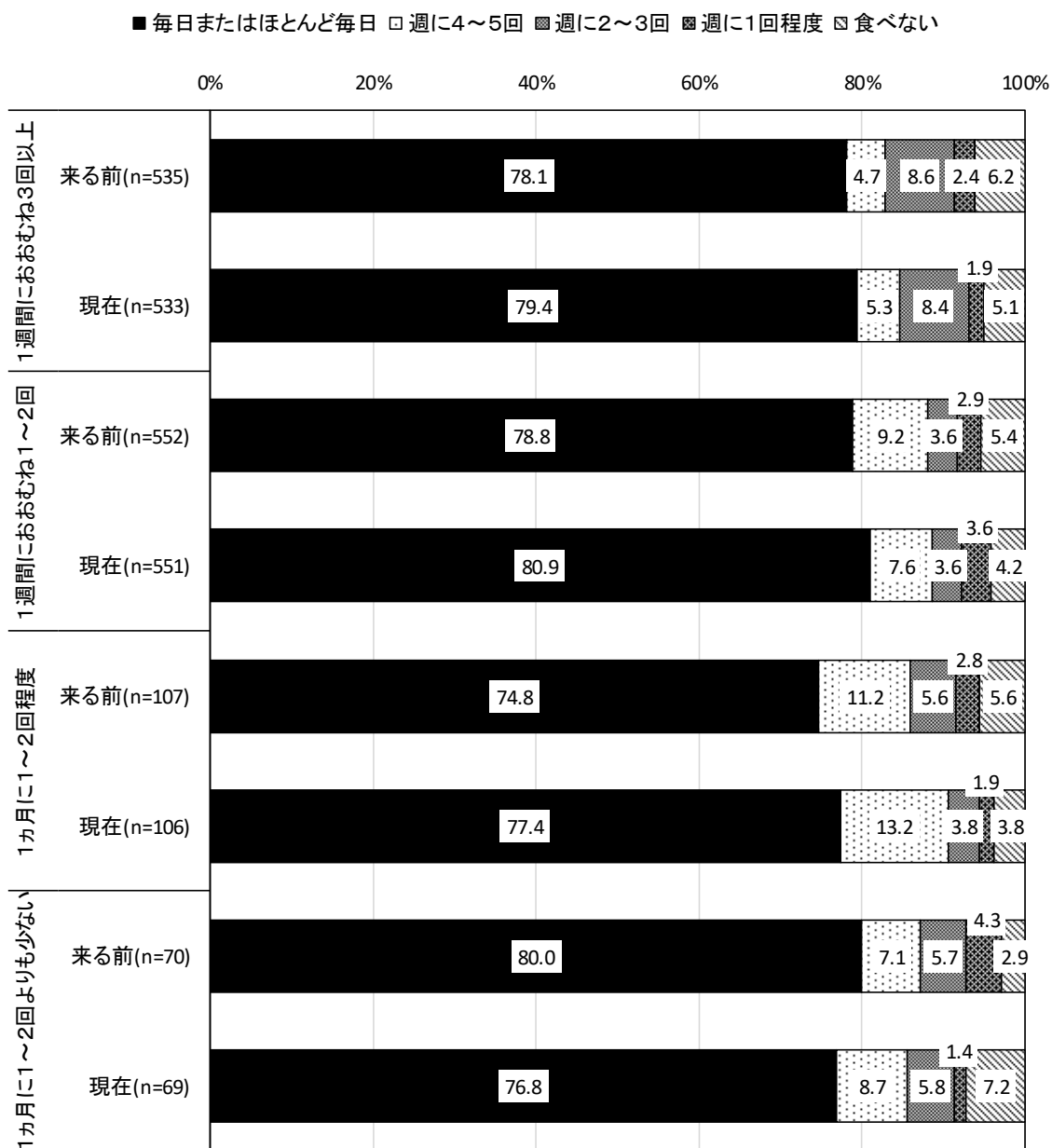


図 66 居場所利用頻度別に見た、朝食の頻度

居場所の利用頻度別に朝食の頻度を見ると、全体的に大きな差はみられない。来る前と現在との変化をみると、「1週間におおむね3回以上」「1週間におおむね1~2回」「1か月に1~2回程度」の居場所利用群においてはわずかに「毎日またはほとんど毎日」の割合が増加している。

世帯構成別に見た、朝食の頻度（問4-2×問17）

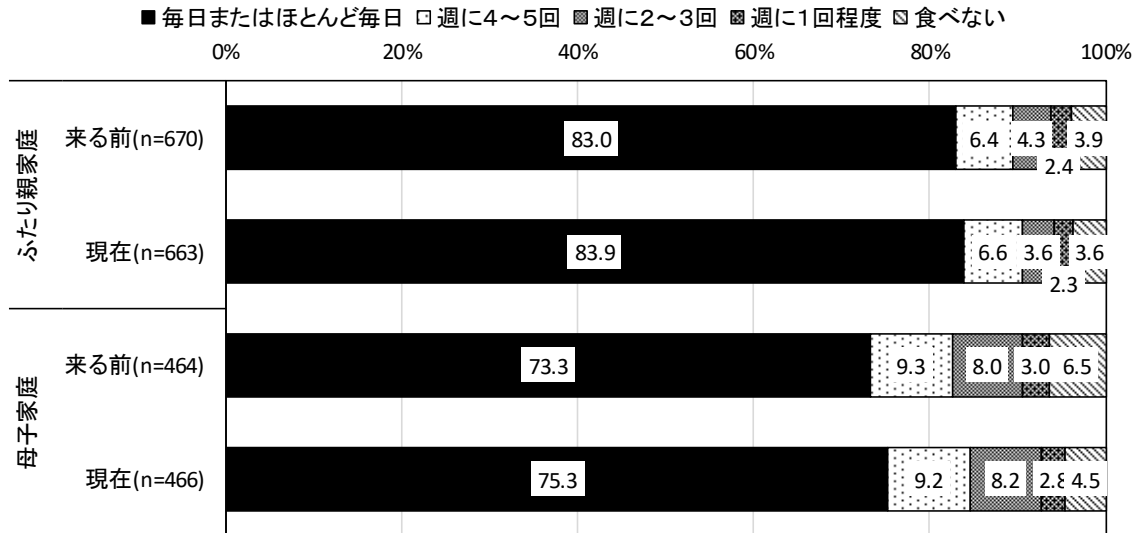


図 67 世帯構成別に見た、朝食の頻度

世帯構成別に朝食の頻度を見ると、ふたり親家庭に比べて母子家庭では「毎日またはほとんど毎日」の割合が10.0ポイントほど低い。来る前と現在においてはわずかに「毎日またはほとんど毎日」の割合が増加している。

居場所利用頻度別に見た、夕食の頻度（問4-2×問19）

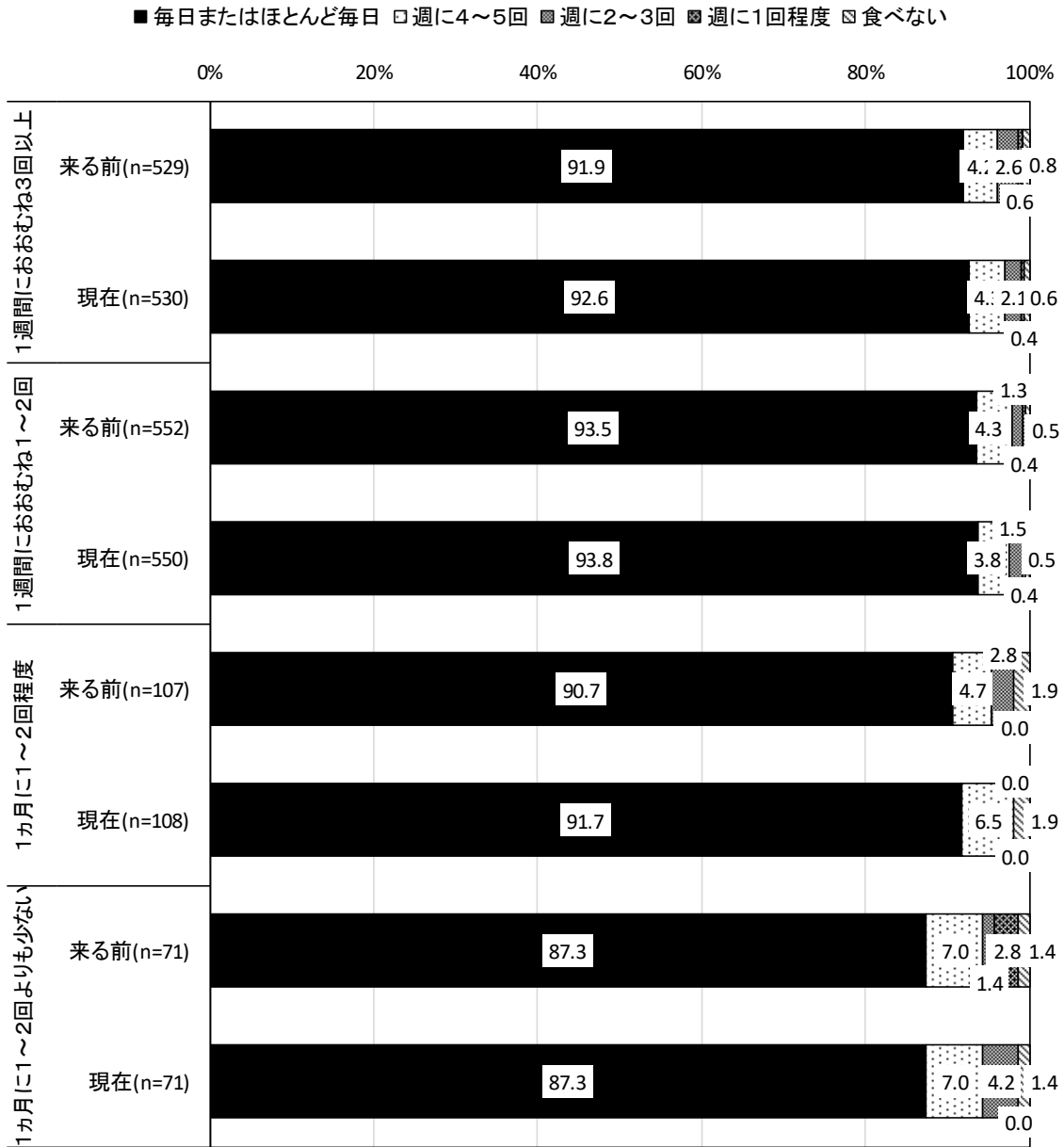


図 68 居場所利用頻度別に見た、夕食の頻度

居場所の利用頻度別に夕食の頻度を見ると、いずれの頻度においても「毎日またはほとんど毎日」という割合が約 90.0%を占めている。来る前と現在の差はほとんど見られない。

世帯構成別に見た、夕食の頻度（問4-2×問19）

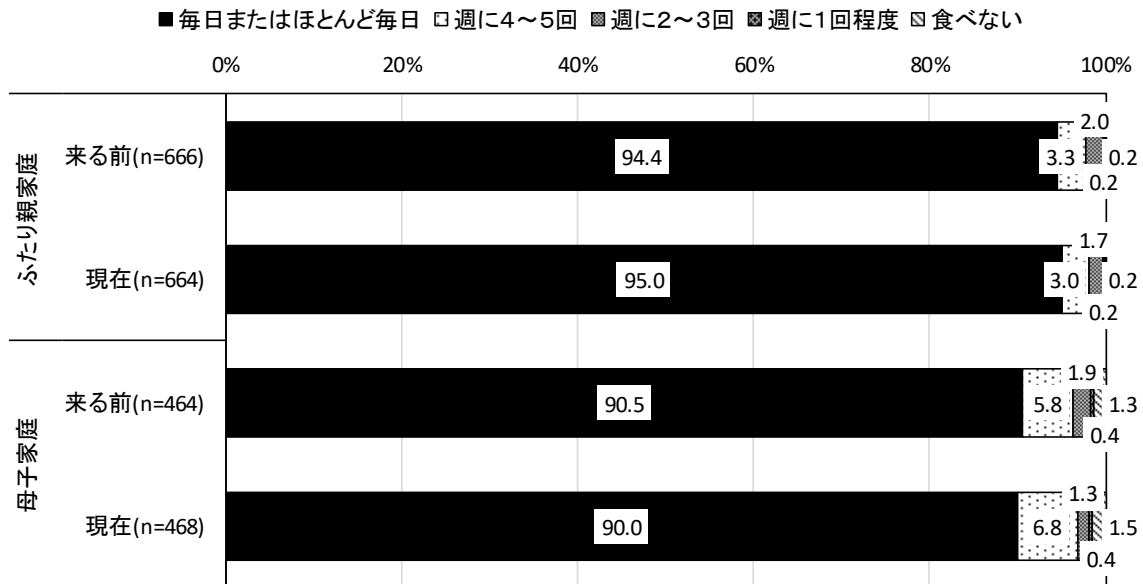


図 69 世帯構成別に見た、夕食の頻度

世帯構成別に夕食の頻度を見ると、ふたり親家庭に比べて母子家庭では「毎日またはほとんど毎日」の割合が5ポイントほど低い。来る前と現在の差はほとんど見られない。

(3) 教育環境の変化

居場所利用頻度別に見た、学校への登校頻度（問4-2×問9）

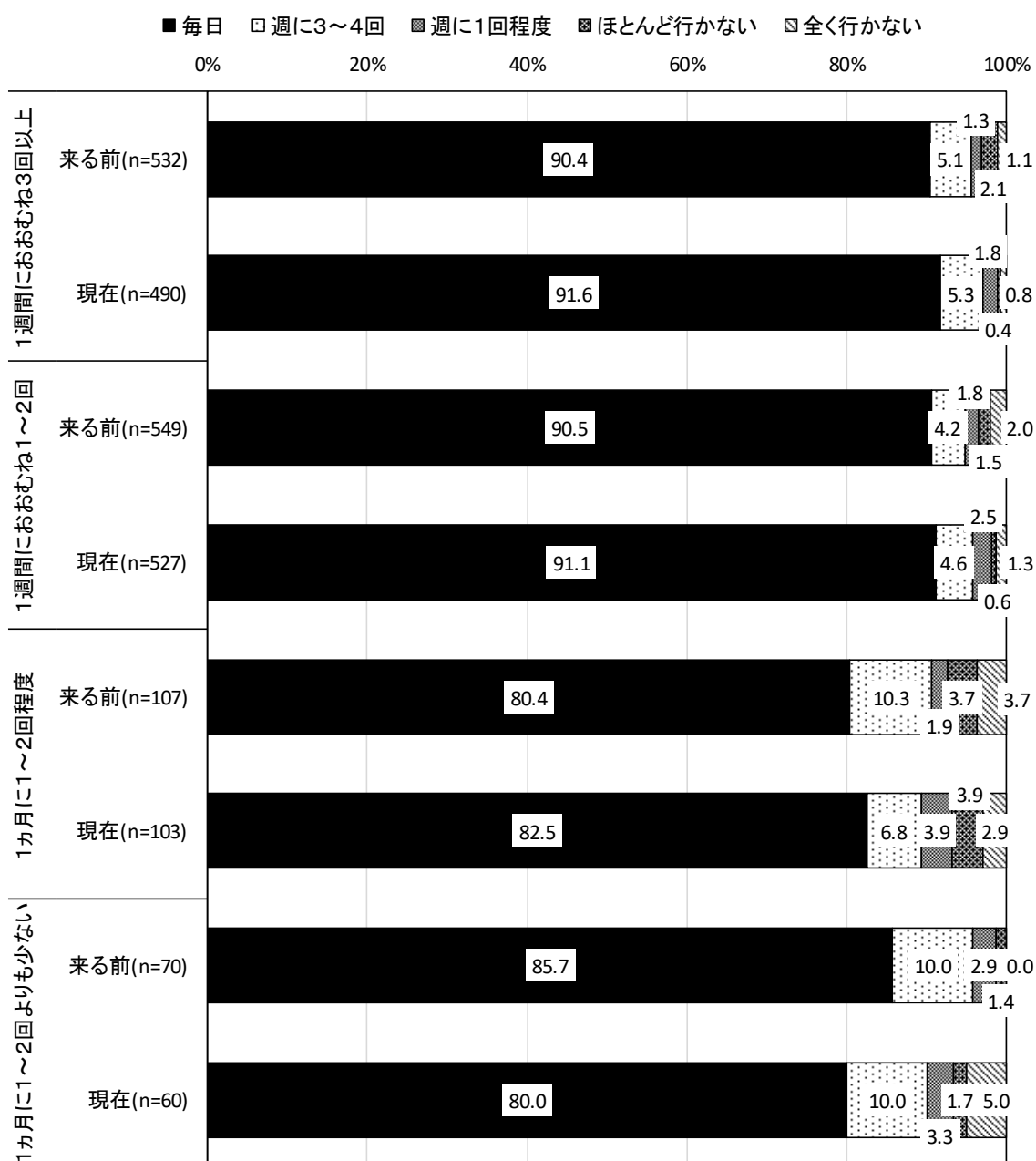


図 70 居場所利用頻度別に見た、学校への登校頻度

居場所利用頻度別に学校への登校頻度を見ると、「1か月に1~2回程度」「1か月に1~2回よりも少ない」の群では他の群と比べて「毎日」の割合が約80.0%と低くなっている。来る前と現在を比較すると、「1か月に1~2回程度」の群で「毎日」の割合が2.1ポイント上昇している。

世帯構成別に見た、学校への登校頻度（問4-2×問9）



図 71 世帯構成別に見た、学校への登校頻度

世帯構成別に学校への登校頻度を見ると、ふたり親家庭に比べて母子家庭では「毎日」の割合が 7.0 ポイントほど低い。来る前と現在の差はほとんど見られない。

居場所利用頻度別に見た、遅刻の頻度（問4－2×問10）

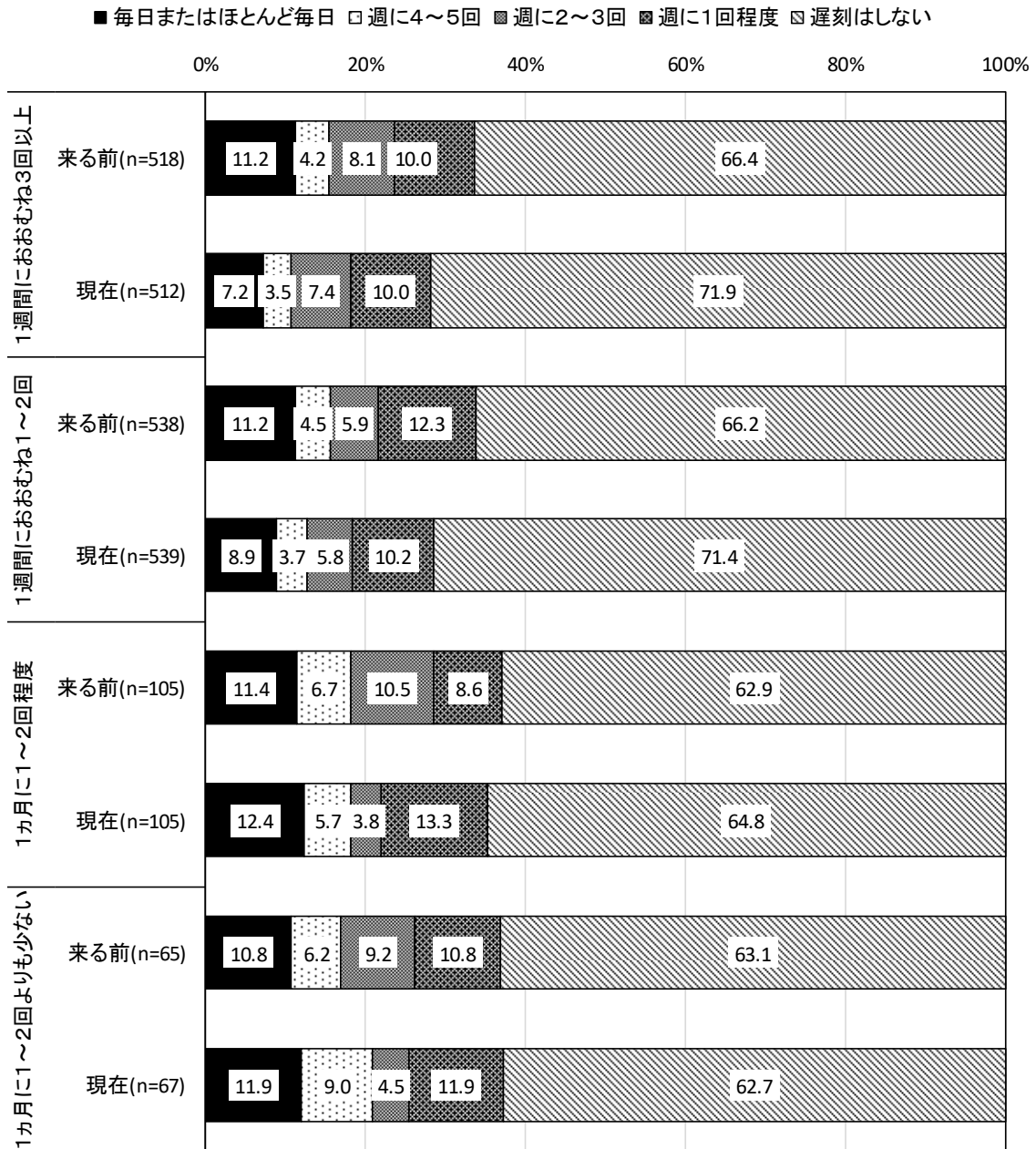


図 72 居場所利用頻度別に見た、遅刻の頻度

居場所利用頻度別に遅刻の頻度を見ると、いずれの利用頻度群においても来る前は「遅刻はしない」の割合が 65.0%程度であるが、現在との変化を見ると、特に「1週間におおむね3回以上」「1週間におおむね1～2回」の群で「遅刻はしない」の割合が約 5.0ポイント上昇している。一方、その他の群では大きな変化は見られない。

世帯構成別に見た、遅刻の頻度（問４－２×問１０）

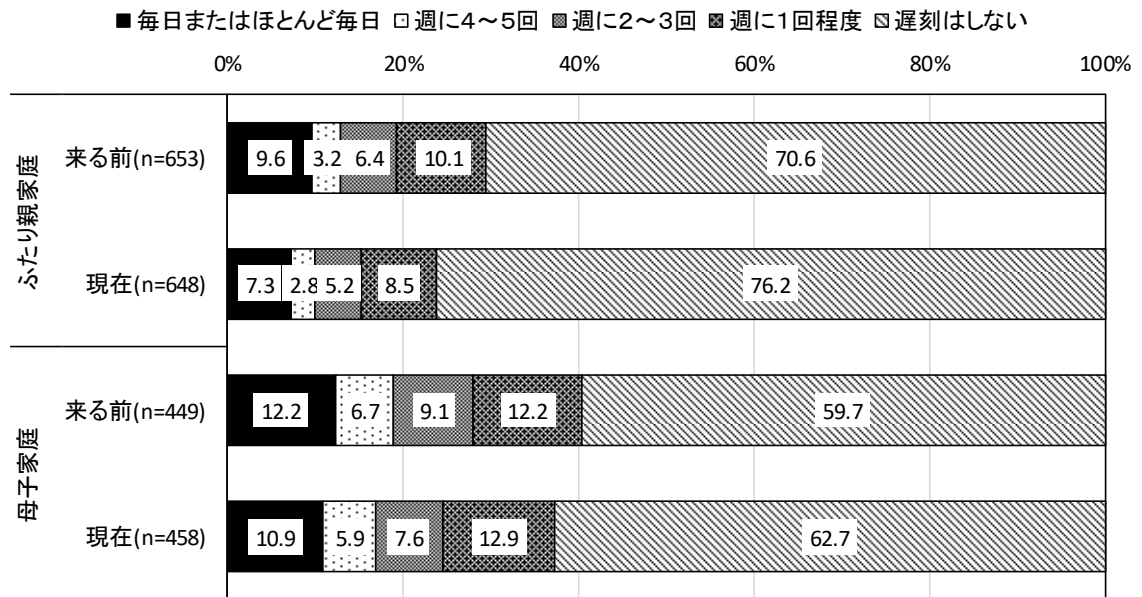


図 73 世帯構成別に見た、遅刻の頻度

世帯構成別に遅刻の頻度を見ると、ふたり親家庭よりも母子家庭で「遅刻はしない」の割合が 10.0 ポイント程度低い。来る前と現在を比較すると、「遅刻はしない」の割合がふたり親家庭では約 6.0 ポイント、母子家庭では約 3.0 ポイント増加している。

居場所利用頻度別に見た、学校がある日の授業時間以外での学習時間（問4-2×問11）

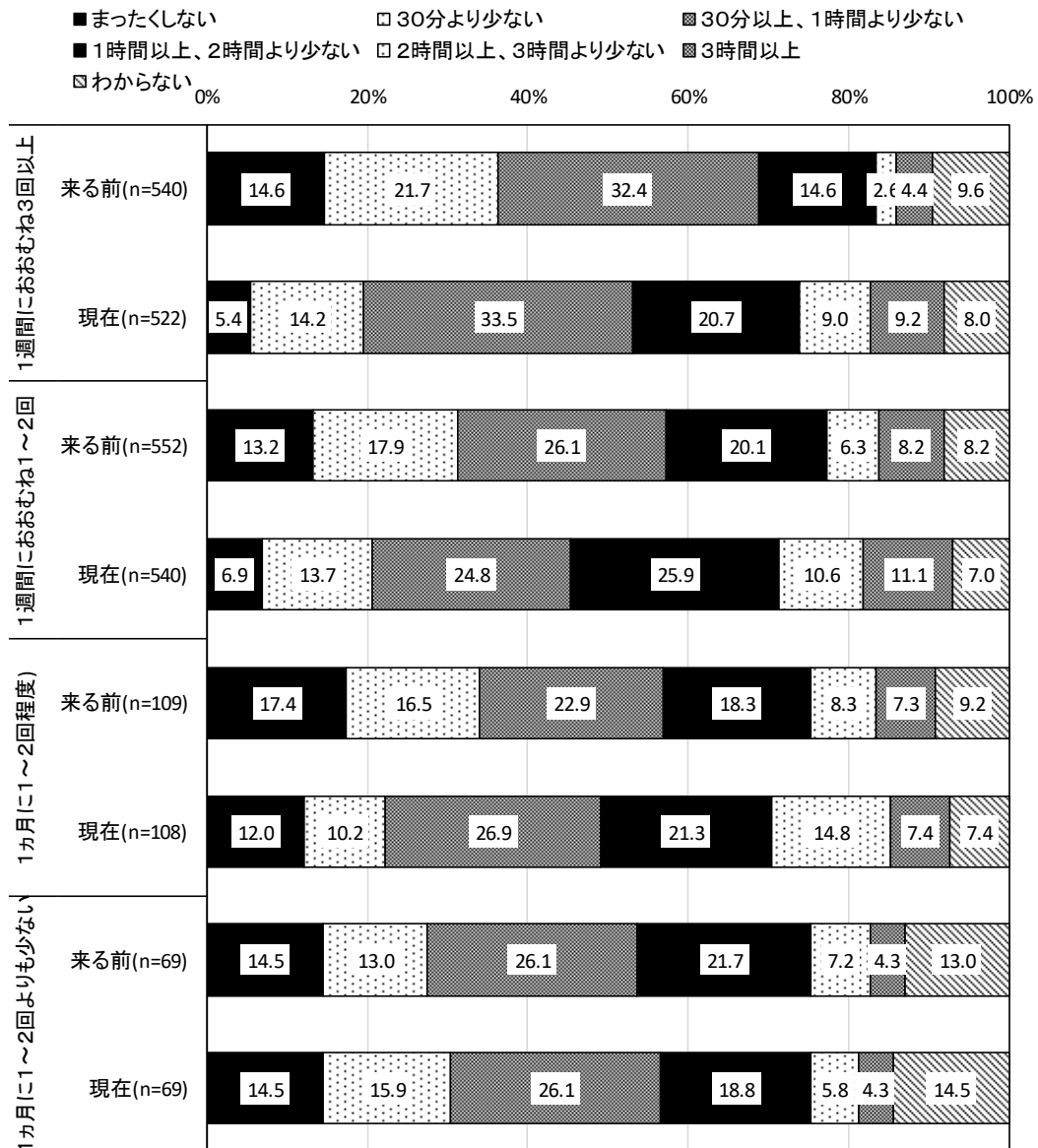


図 74 居場所利用頻度別に見た、学校がある日の授業時間以外での学習時間

居場所利用頻度別に、学校がある日の授業時間以外での学習時間を見ると、いずれの利用頻度群においても来る前は「30分以上、1時間より少ない」の割合がもっとも高い。来る前と現在を比較すると、利用頻度が高い群ほど、「まったくしない」の割合が低下する傾向がみられる。一方、「1か月に1～2回よりも少ない」群では、来る前と現在とでほとんど変化が見られない。

世帯構成別に見た、学校がある日の授業時間以外での学習時間（問4-2×問11）

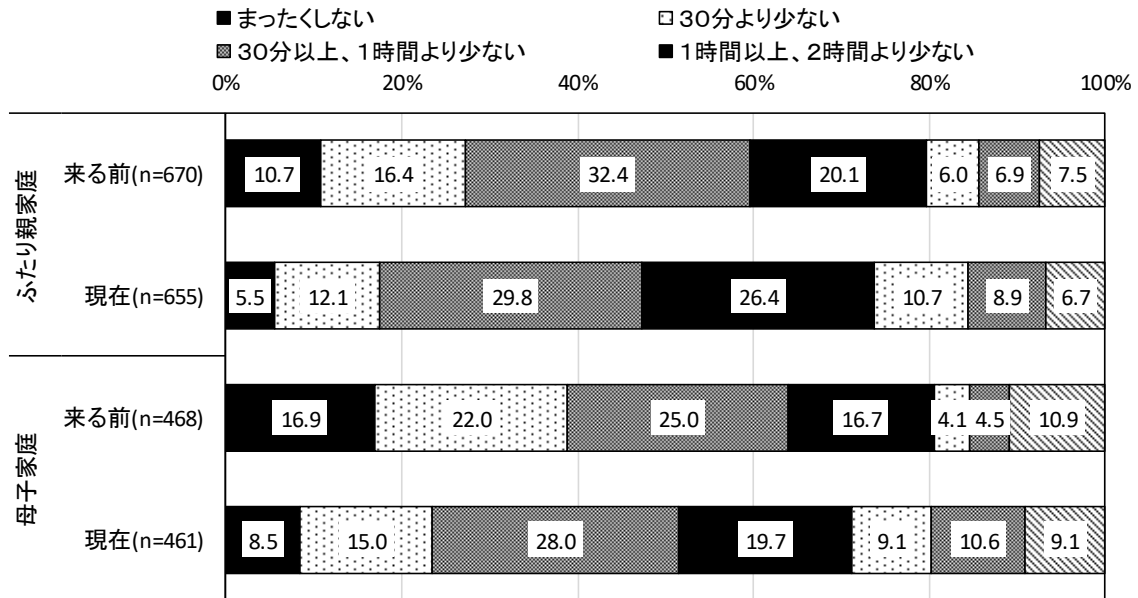


図 75 世帯構成別に見た、学校がある日の授業時間以外での学習時間

世帯構成別に、学校がある日の授業時間以外での学習時間を見ると、居場所に来る前は、「まったくしない」と「30分より少ない」をあわせた割合が、ふたり親家庭では27.1%であるのに対し、母子家庭では38.9%であり、約10.0ポイント低い。一方、現在はその差が約6.0ポイントに縮まっている（ふたり親家庭：17.6%、母子家庭：23.5%）。

居場所利用頻度別に見た、学校の勉強についての気持ち（問4-2×問12）

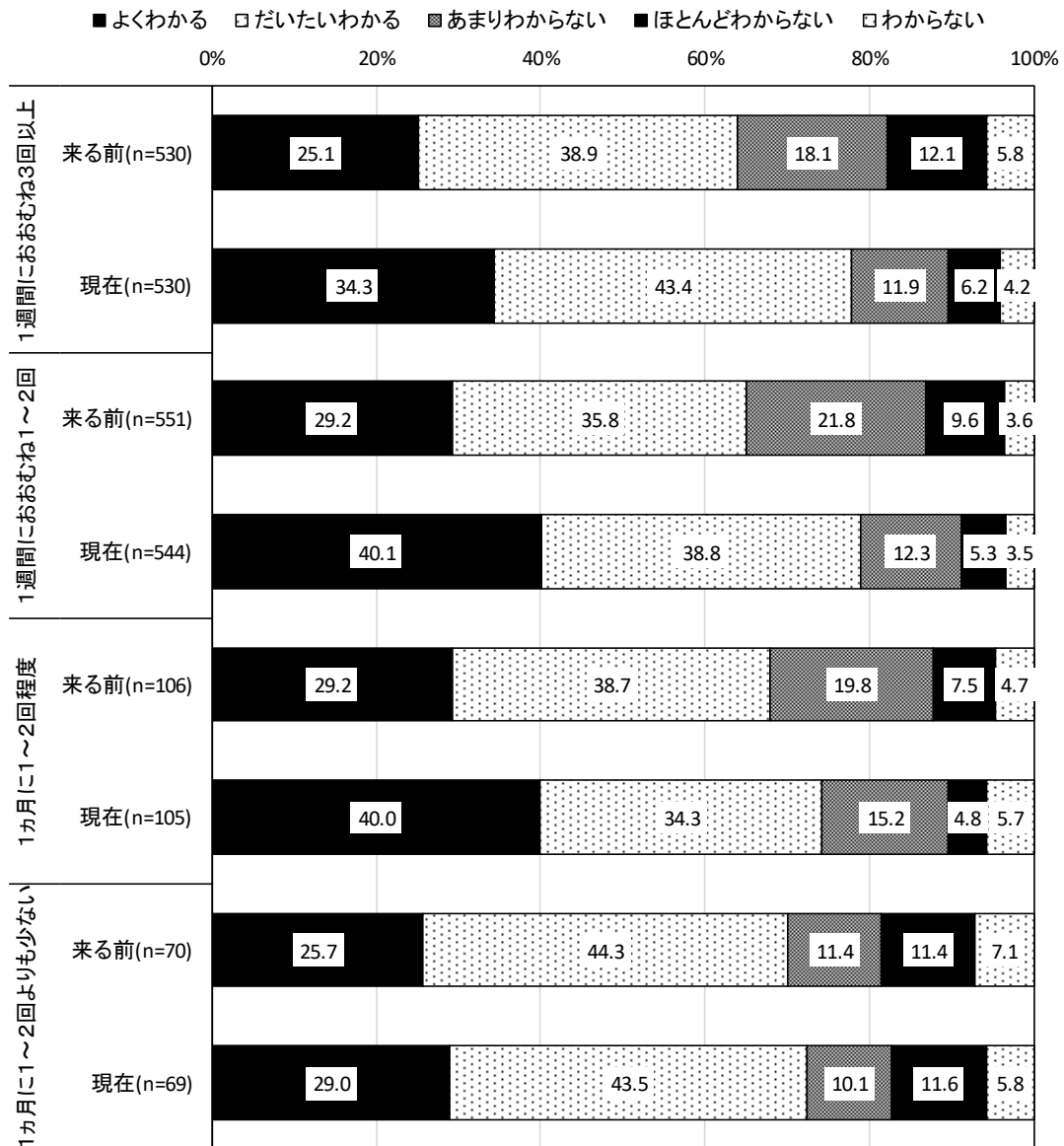


図 76 居場所利用頻度別に見た、学校の勉強についての気持ち

居場所利用頻度別に学校の勉強についての気持ちを見ると、居場所に来る前はいずれの利用頻度においても「よくわかる」の割合が約 25.0%～30.0%であるが、現在は「1か月に1～2回よりも少ない」という群を除いて、いずれの群も「よくわかる」の割合が 10.0 ポイント程度高くなっている。

世帯構成別に見た、学校の勉強についての気持ち（問4-2×問12）

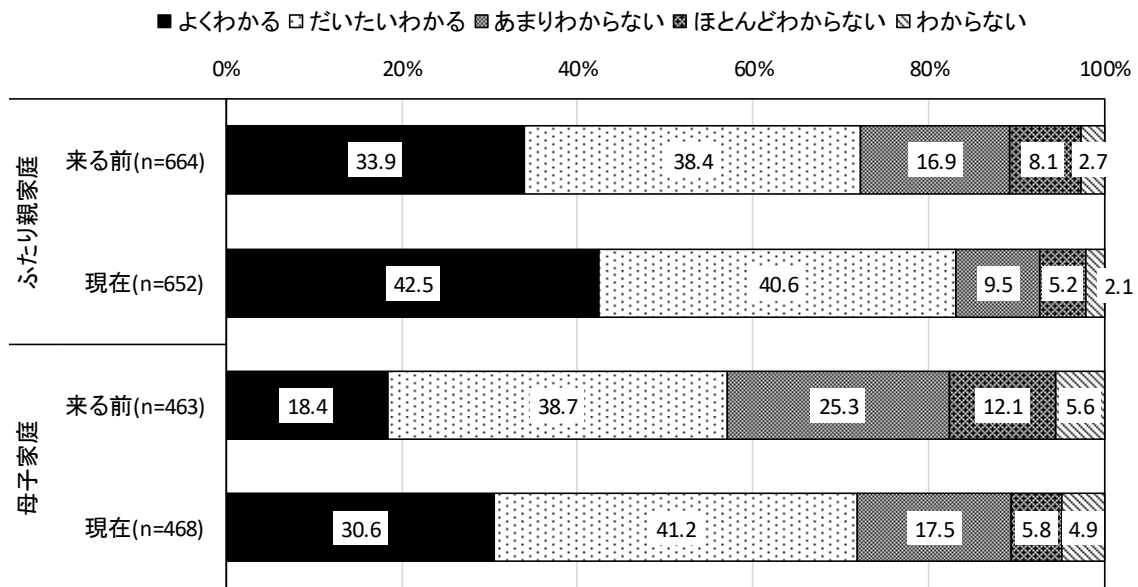


図 77 世帯構成別に見た、学校の勉強についての気持ち

世帯構成別に学校の勉強についての気持ちを見ると、居場所に来る前は「よくわかる」の割合がふたり親家庭で33.9%、母子家庭で18.4%であるが、現在はふたり親家庭で42.5%、母子家庭で30.6%といずれも上昇している。また、母子家庭では来る前と現在とで「あまりわからない」「ほとんどわからない」「わからない」をあわせた割合が14.8ポイント減少しており、勉強の理解度が増していることがうかがえる。

居場所利用頻度別に見た、将来の進学希望（問4-2×問26）

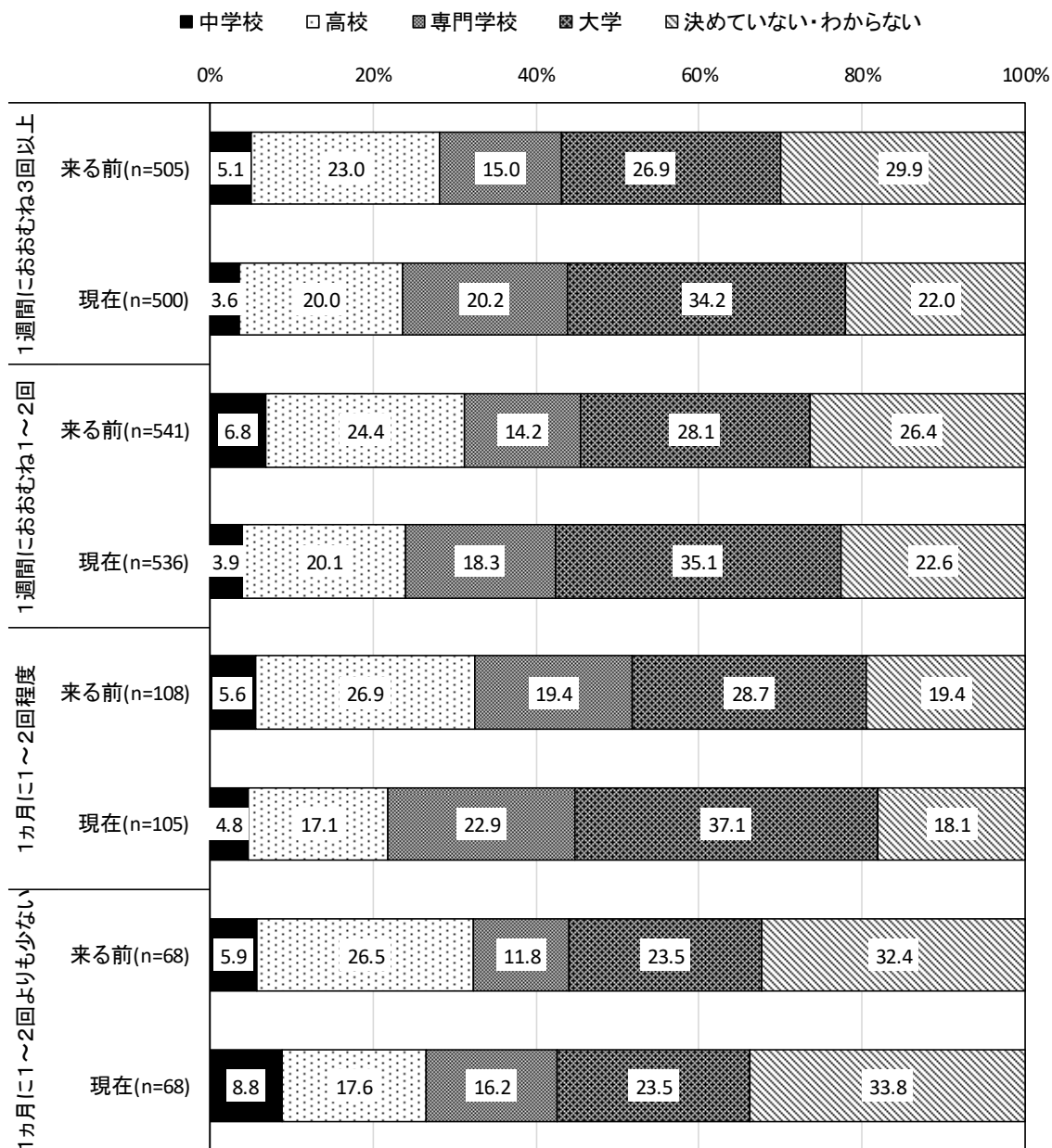


図 78 居場所利用頻度別に見た、将来の進学希望

居場所利用頻度別に将来の進学希望を見ると、「1か月に1～2回よりも少ない」という群を除いて、いずれの群も来る前よりも現在で「大学」と回答する割合が8.0ポイント程増加している。

世帯構成別に見た、将来の進学希望（問4-2×問26）

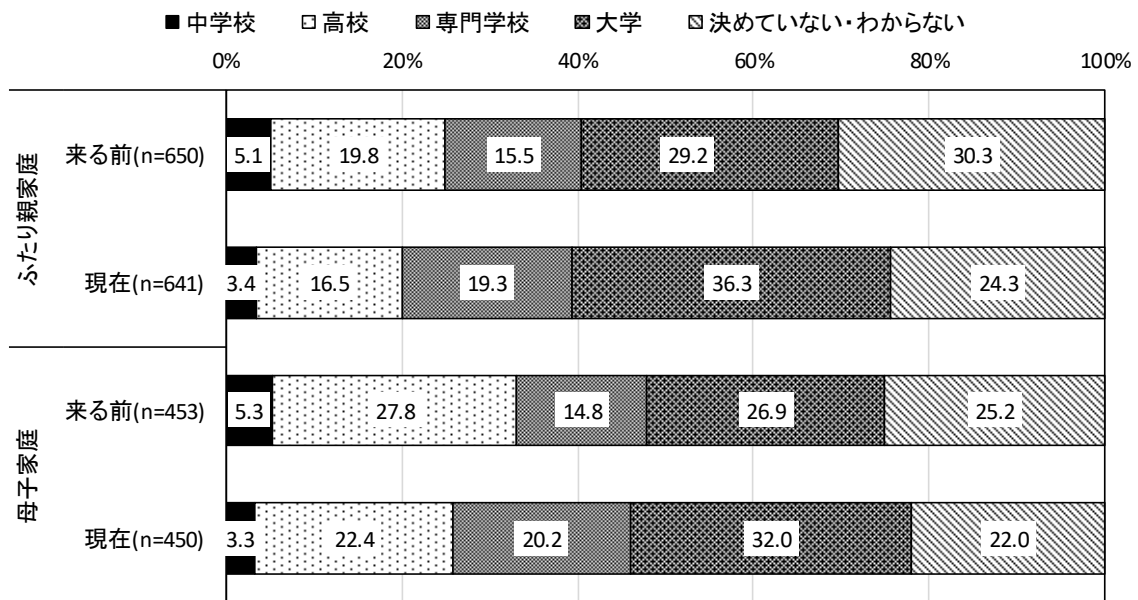


図 79 世帯構成別に見た、将来の進学希望

世帯構成別に将来の進学希望を見ると、いずれの群も居場所に来る前よりも現在で「高校」「決めていない・わからない」の割合が減少し、「専門学校」「大学」の割合が増加している。特に母子家庭では、来る前は「高校」の回答割合が27.8%ともっとも高く、次いで「大学」が26.9%であったが、現在は「大学」が32.0%、「高校」が22.4%と逆転している。

(4) 社会環境の変化

居場所利用頻度別に見た、何かに失敗したときにたすけてくれる人 (問4-2×問24①)

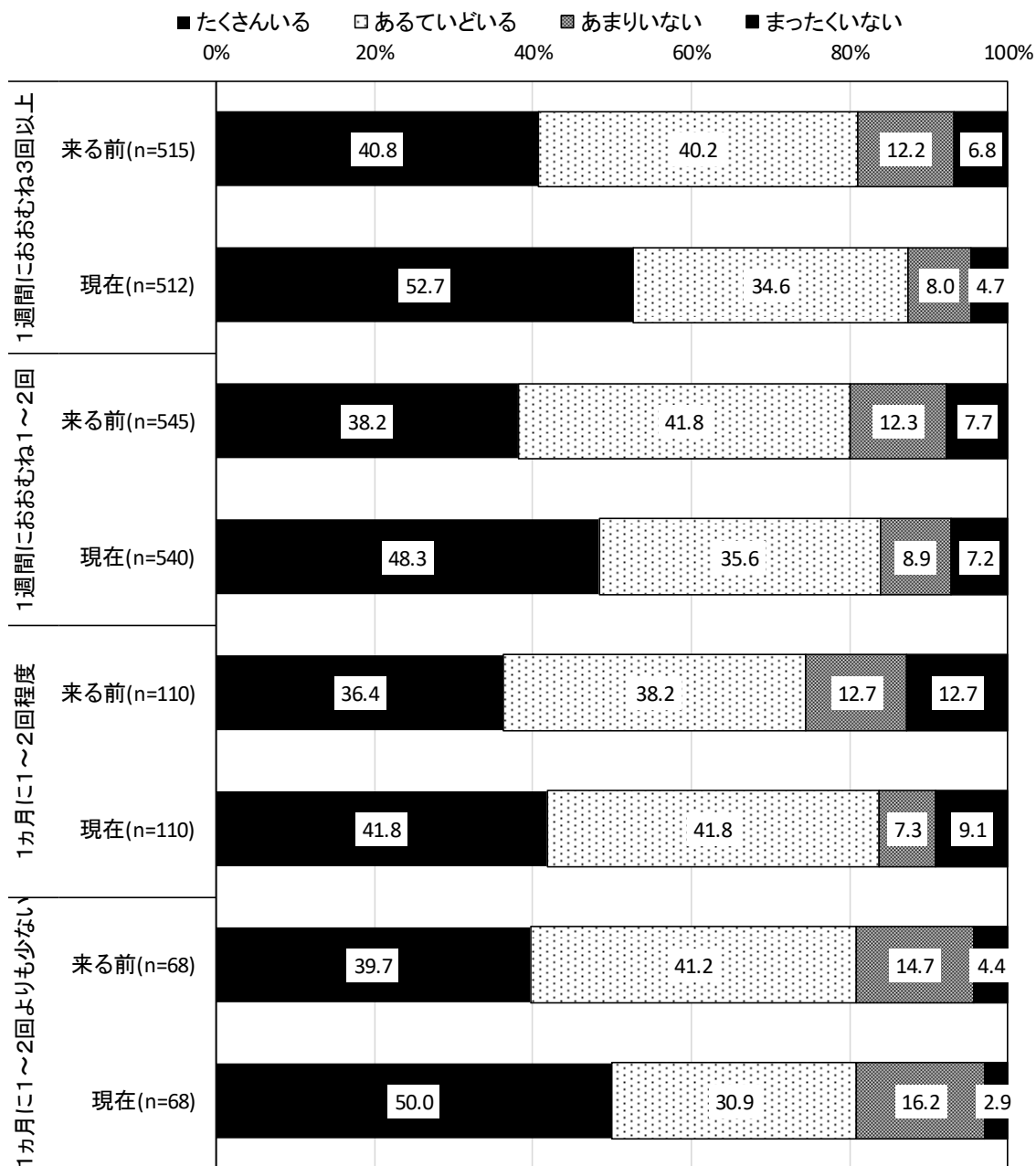


図 80 居場所利用頻度別に見た、何かに失敗したときにたすけてくれる人

居場所利用頻度別に、何かに失敗したときにたすけてくれる人の状況を見ると、いずれの群においても居場所に来る前は「たくさんいる」の割合が 35.0~40.0%程度である。現在と比較すると、いずれの群も「たくさんいる」の割合が増加している。

居場所利用頻度別に見た、勉強やスポーツをがんばったときにほめてくれる人
 (問4-2×問24②)

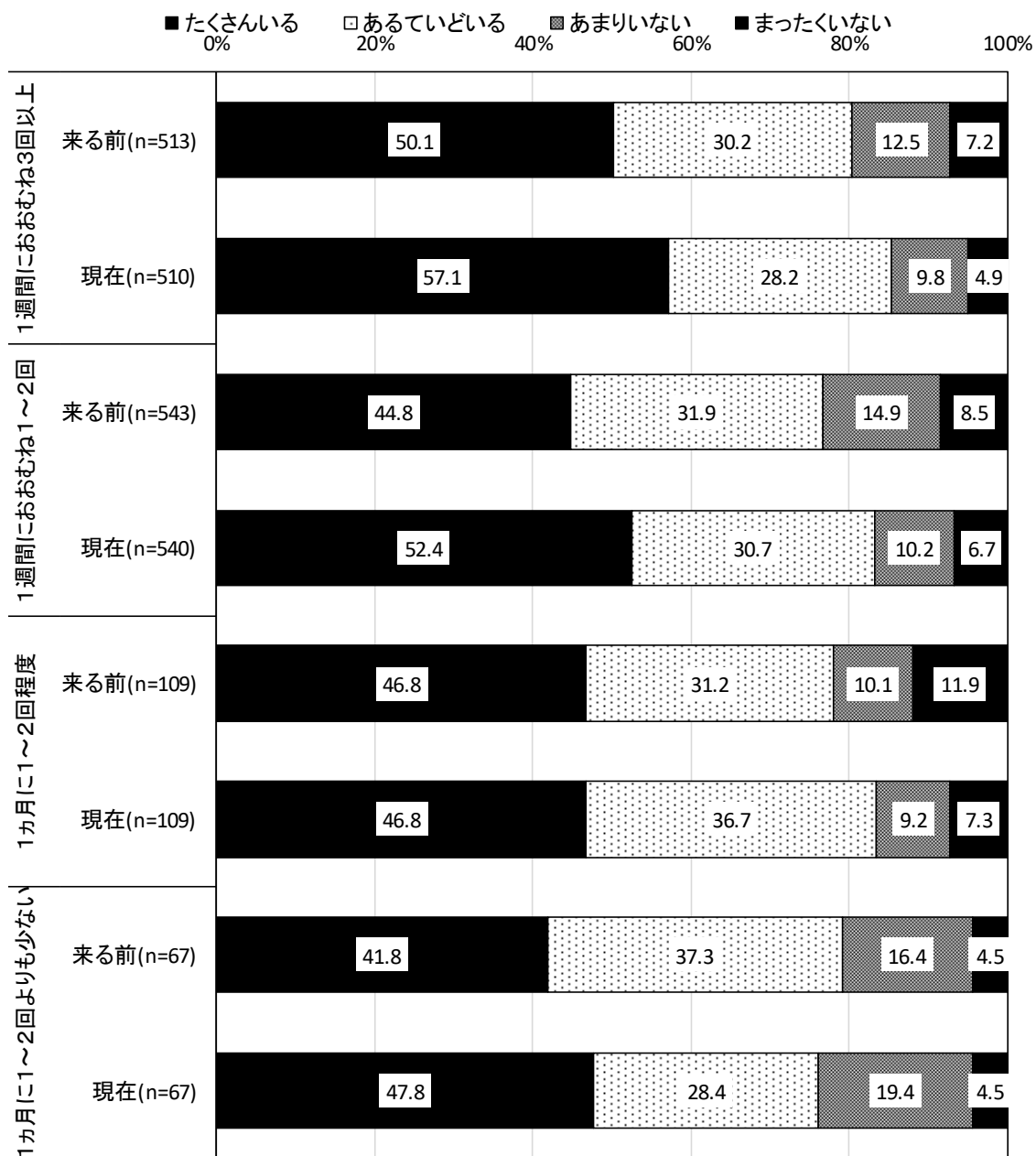


図 81 居場所利用頻度別に見た、勉強やスポーツをがんばったときにほめてくれる人

居場所利用頻度別に、勉強やスポーツをがんばったときにほめてくれる人の状況を見ると、居場所に来る頻度が高いほど「たくさんいる」の割合が高い。来る前と現在を比較すると、「1か月に1～2回程度」の群を除き、「たくさんいる」の割合が高まっている。

居場所利用頻度別に見た、一人ではできないことがあったときには気持ちよく手伝ってくれる人（問4-2×問24③）

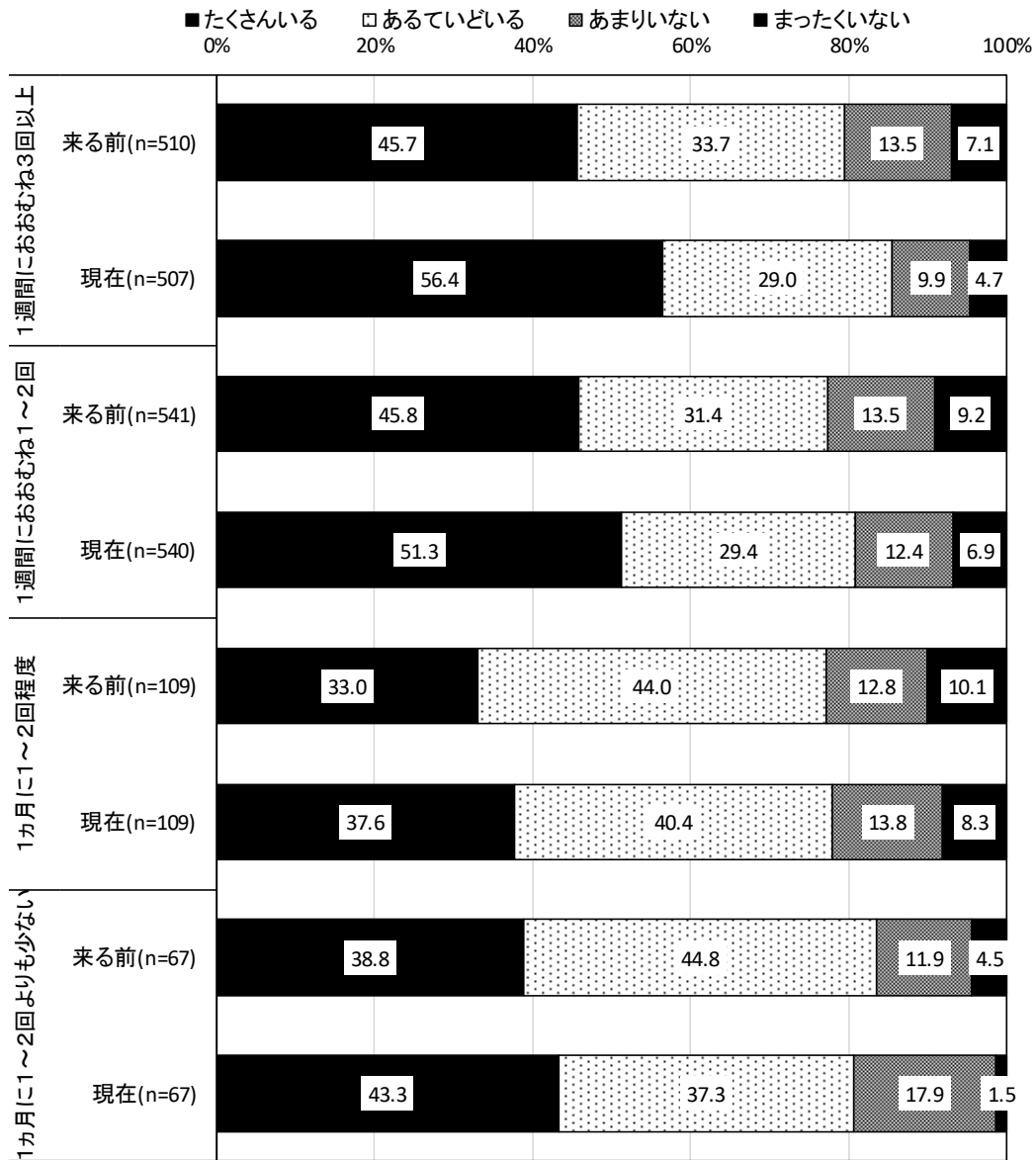


図 82 居場所利用頻度別に見た、一人ではできないことがあったときには気持ちよく手伝ってくれる人

居場所利用頻度別に、一人ではできないことがあったときには気持ちよく手伝ってくれる人の状況を見ると、「1週間におおむね3回以上」「1週間におおむね1～2回」の群で「たくさんいる」の割合が高い。来る前と現在を比較すると、「1週間におおむね3回以上」の群で「たくさんいる」の割合が10.7ポイント増加している。

居場所利用頻度別に見た、悩んでいるときにどうしたらよいか教えてくれる人
 (問4-2×問24④)

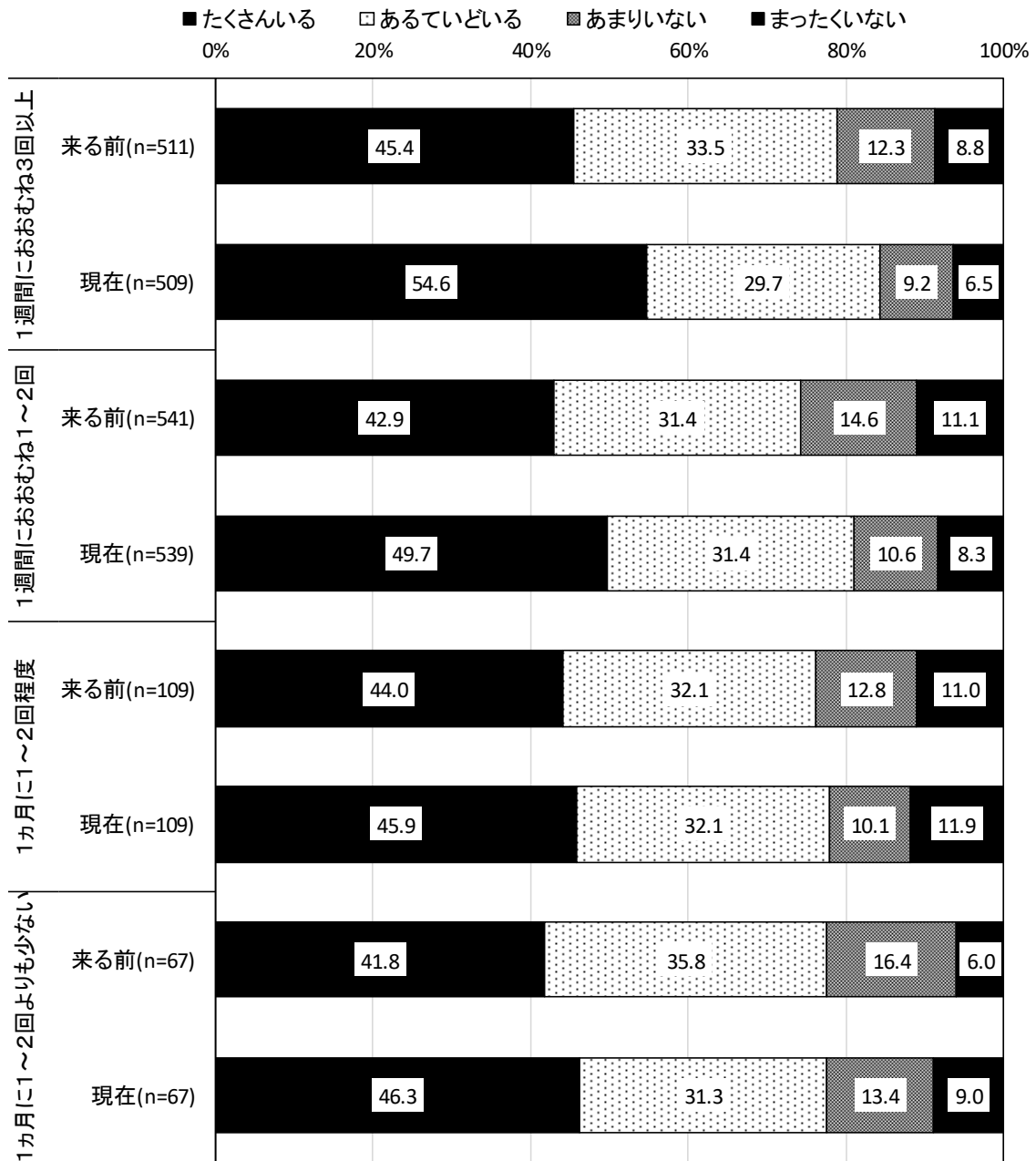


図 83 居場所利用頻度別に見た、悩んでいるときにどうしたらよいか教えてくれる人
 居場所利用頻度別に、悩んでいるときにどうしたらよいか教えてくれる人の状況を見ると、
 いずれの群も居場所に来る前は「たくさんいる」の割合が約 40.0%であるが、現在ではい
 ずれの群も増加している。特に「1週間におおむね3回以上」は9.2ポイント増加している。

居場所利用頻度別に見た、自分に自信がある（問4－2×問25①）

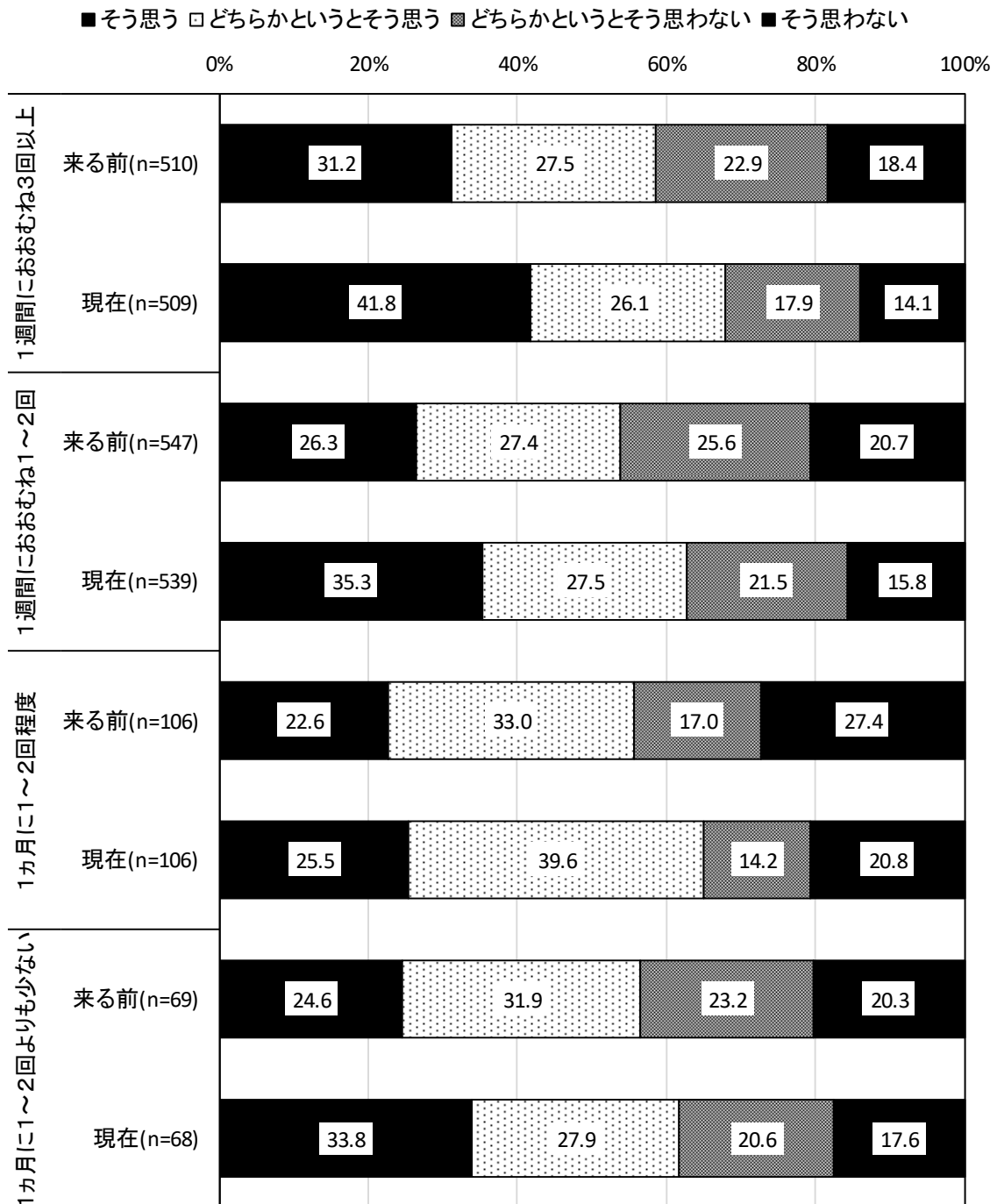


図 84 居場所利用頻度別に見た、自分に自信がある

自分に自信があるかについて、居場所利用頻度別に来る前と現在とを比較すると、「そう思う」の割合が「1週間におおむね3回以上」の群では10.6ポイント増加、「1週間におおむね1～2回」の群では9.0ポイント増加している。

居場所利用頻度別に見た、自分の考えをはっきり相手に伝えることができる
 (問4-2×問25②)

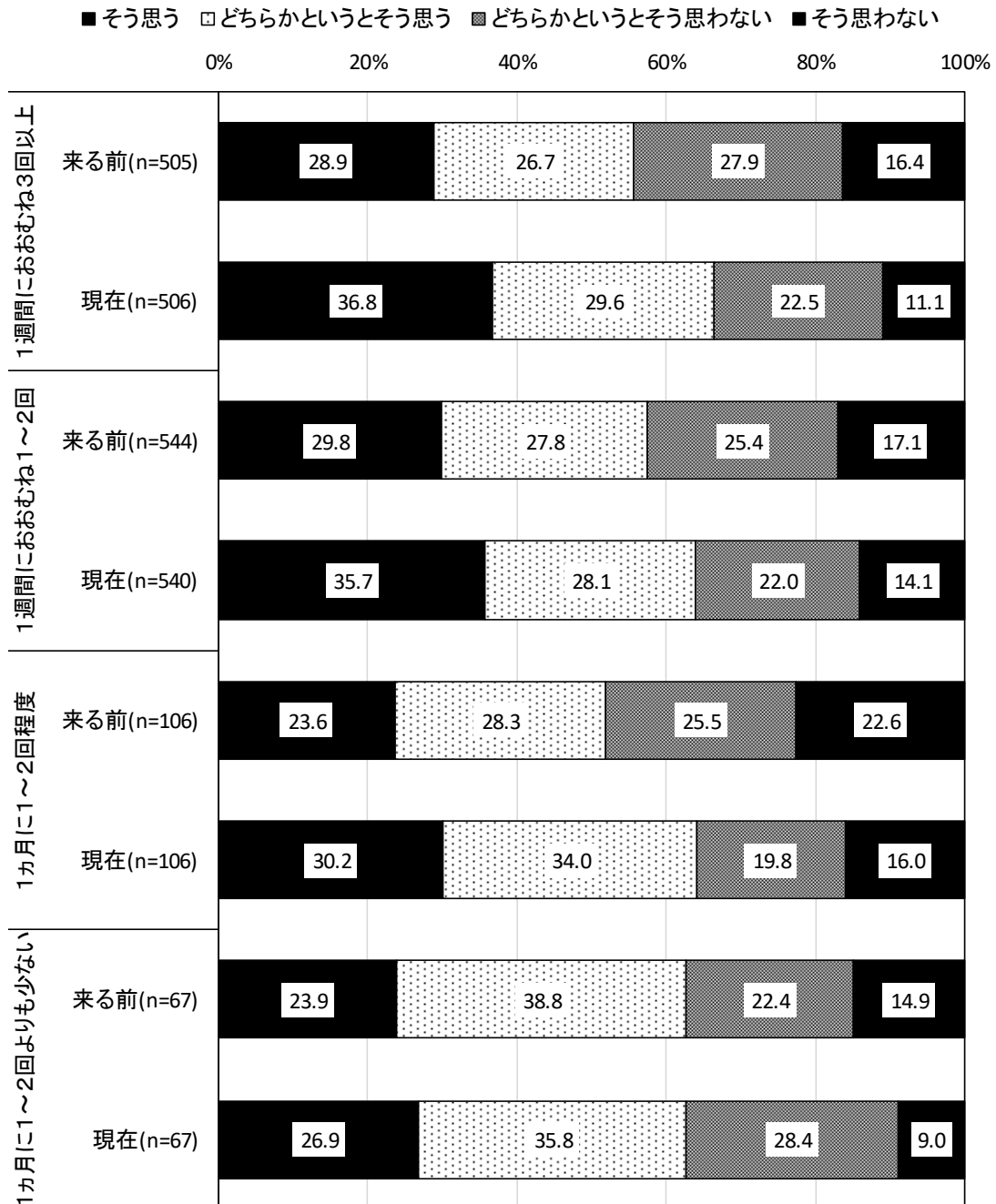


図 85 居場所利用頻度別に見た、自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

自分の考えをはっきり相手に伝えることができるかについて、居場所利用頻度別に来る前と現在とを比較すると、いずれの群においても増加している。

居場所利用頻度別に見た、大人を信用できる（問4-2×問25③）

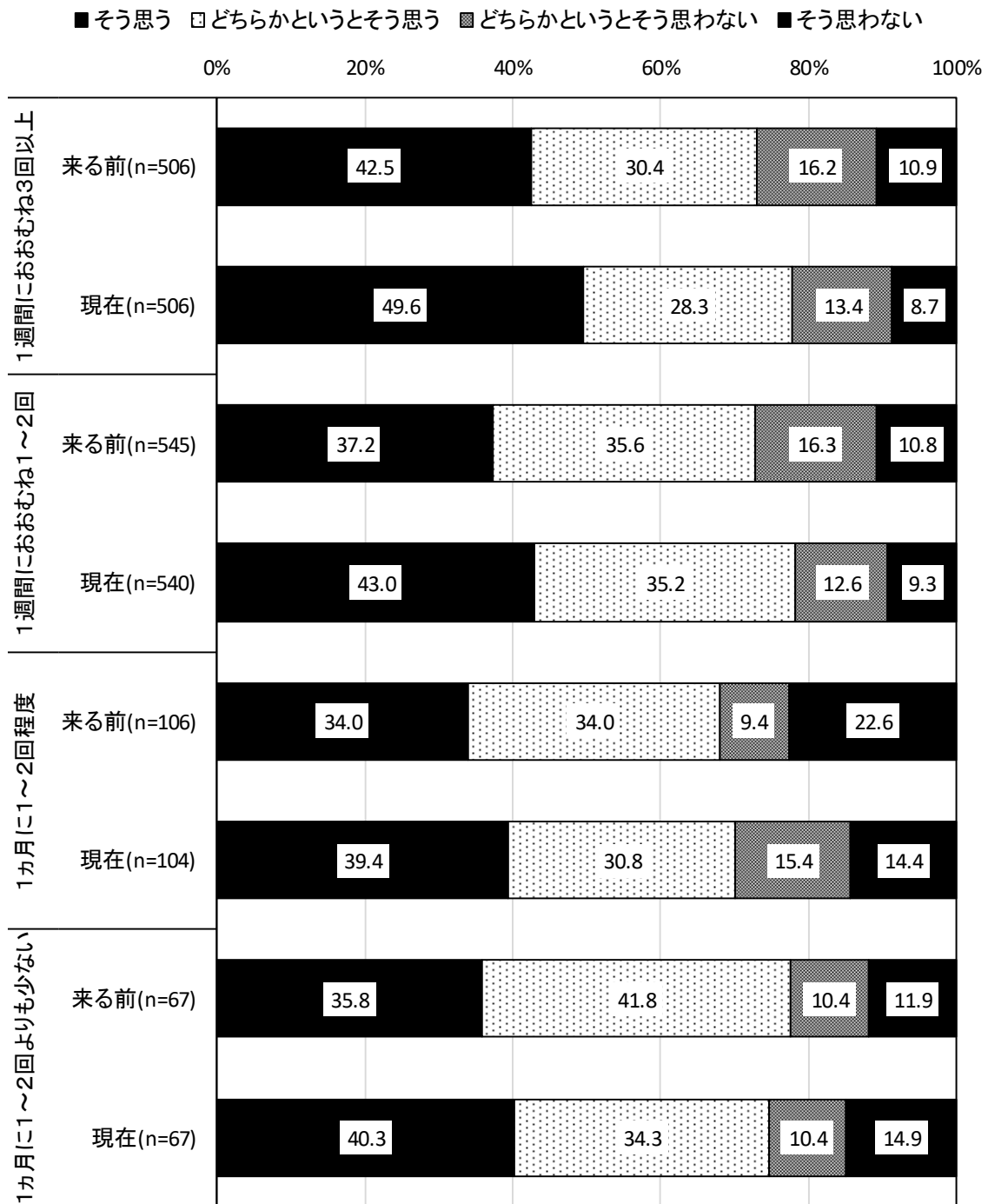


図 86 居場所利用頻度別に見た、大人を信用できる

大人を信用できるかについて、居場所利用頻度別に「来る前」と「現在」とを比較すると、いずれの群も「そう思う」の割合が増加している。

居場所利用頻度別に見た、自分の将来の夢や目標を持っている（問4－2×問25④）

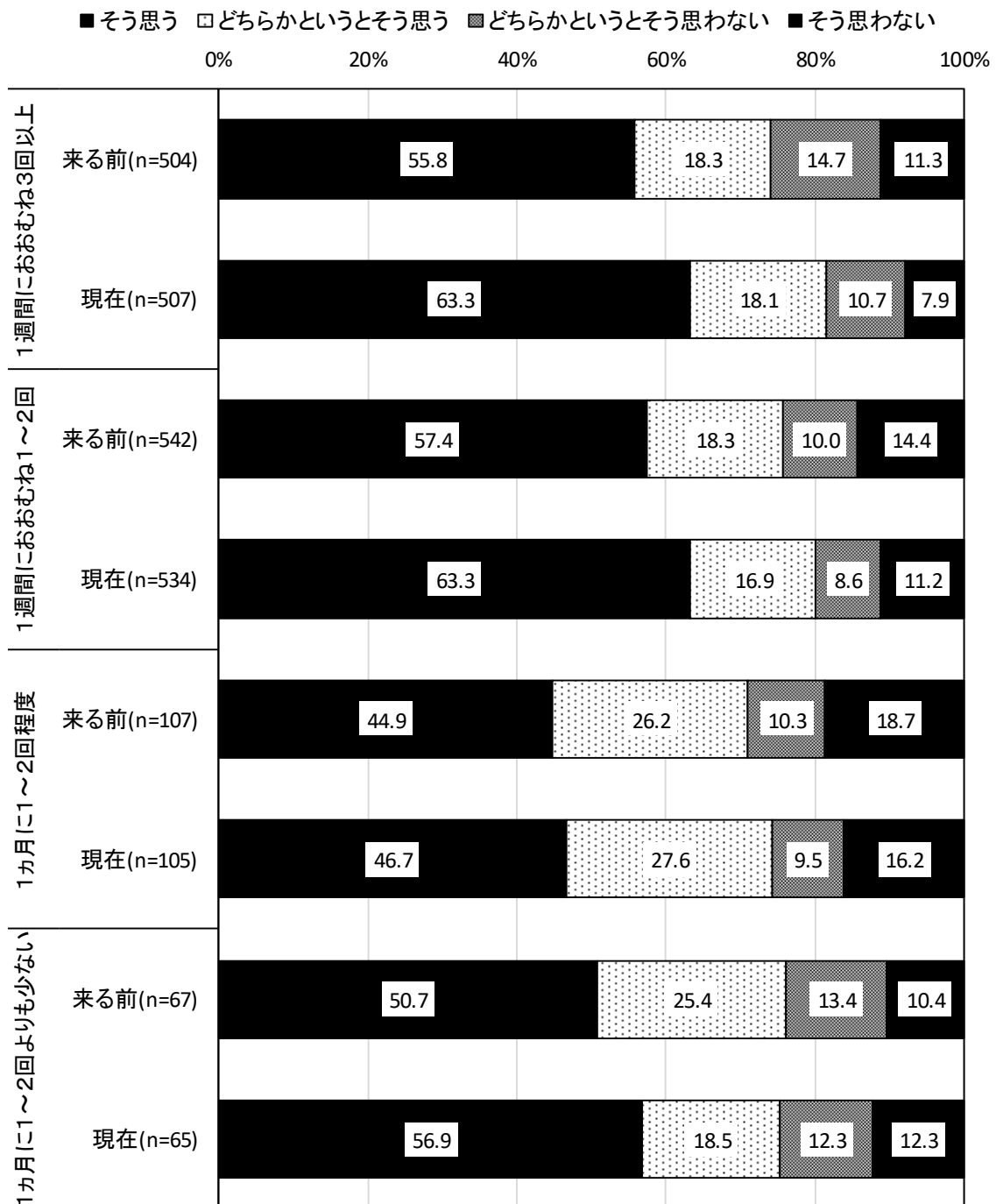


図 87 居場所利用頻度別に見た、自分の将来の夢や目標を持っている

自分の将来の夢や目標を持っているかについて、居場所利用頻度別に来る前と現在とを比較すると、「1週間におおむね3回以上」「1週間におおむね1～2回」の群は来る前から「そう思う」の割合が高く、現在はさらに増加している。

居場所利用頻度別に見た、将来のためにも今頑張りたいと思う（問4-2×問25⑤）

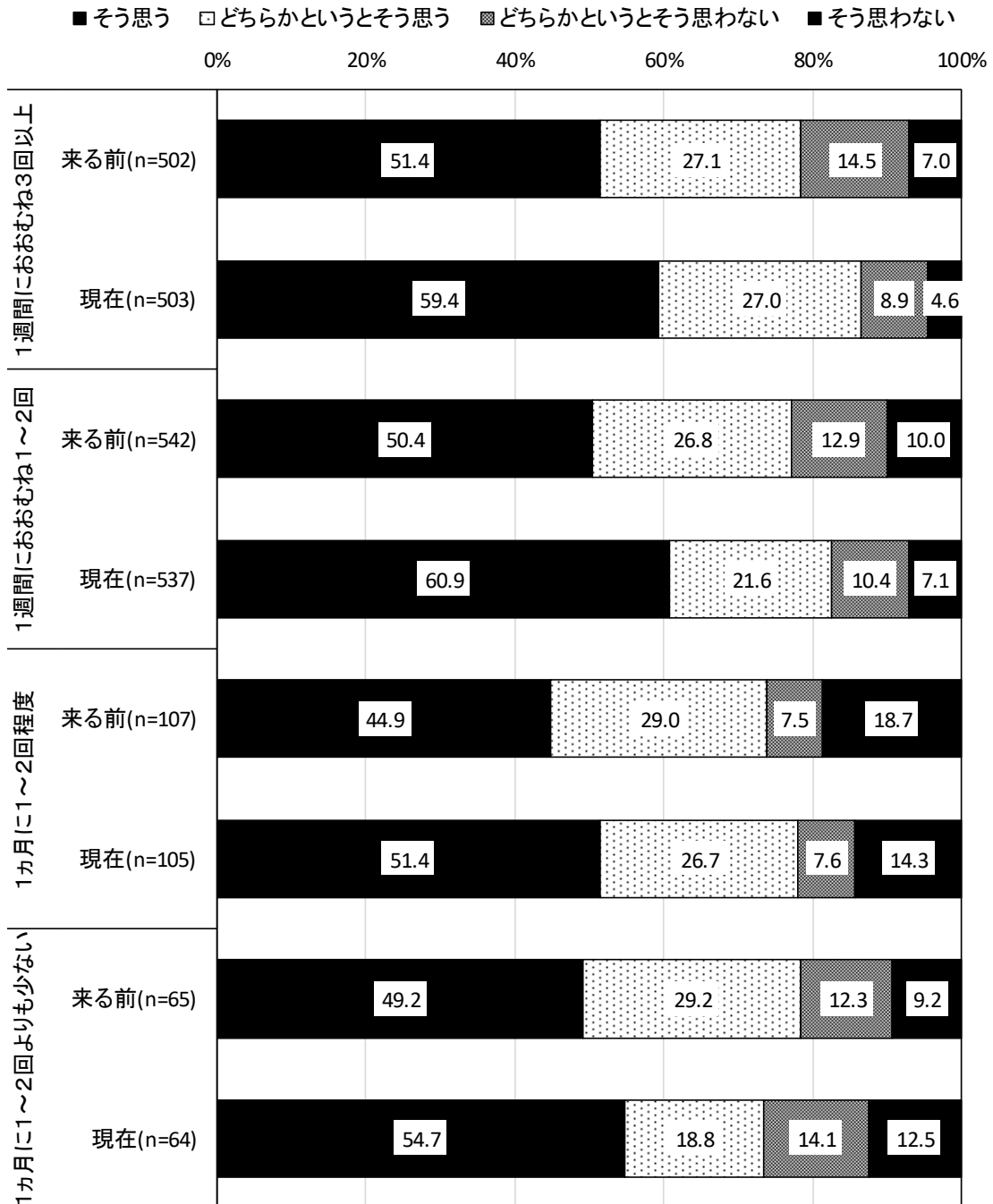


図 88 居場所利用頻度別に見た、将来のためにも今頑張りたいと思う

将来のためにも今頑張りたいと思うかについて、居場所利用頻度別に来る前と現在とを比較すると、特に「1週間におおむね3回以上」「1週間におおむね1～2回」において、「そう思う」の割合が約10.0ポイント増加している。

居場所利用頻度別に見た、将来働きたいと思う（問4-2×問25⑥）

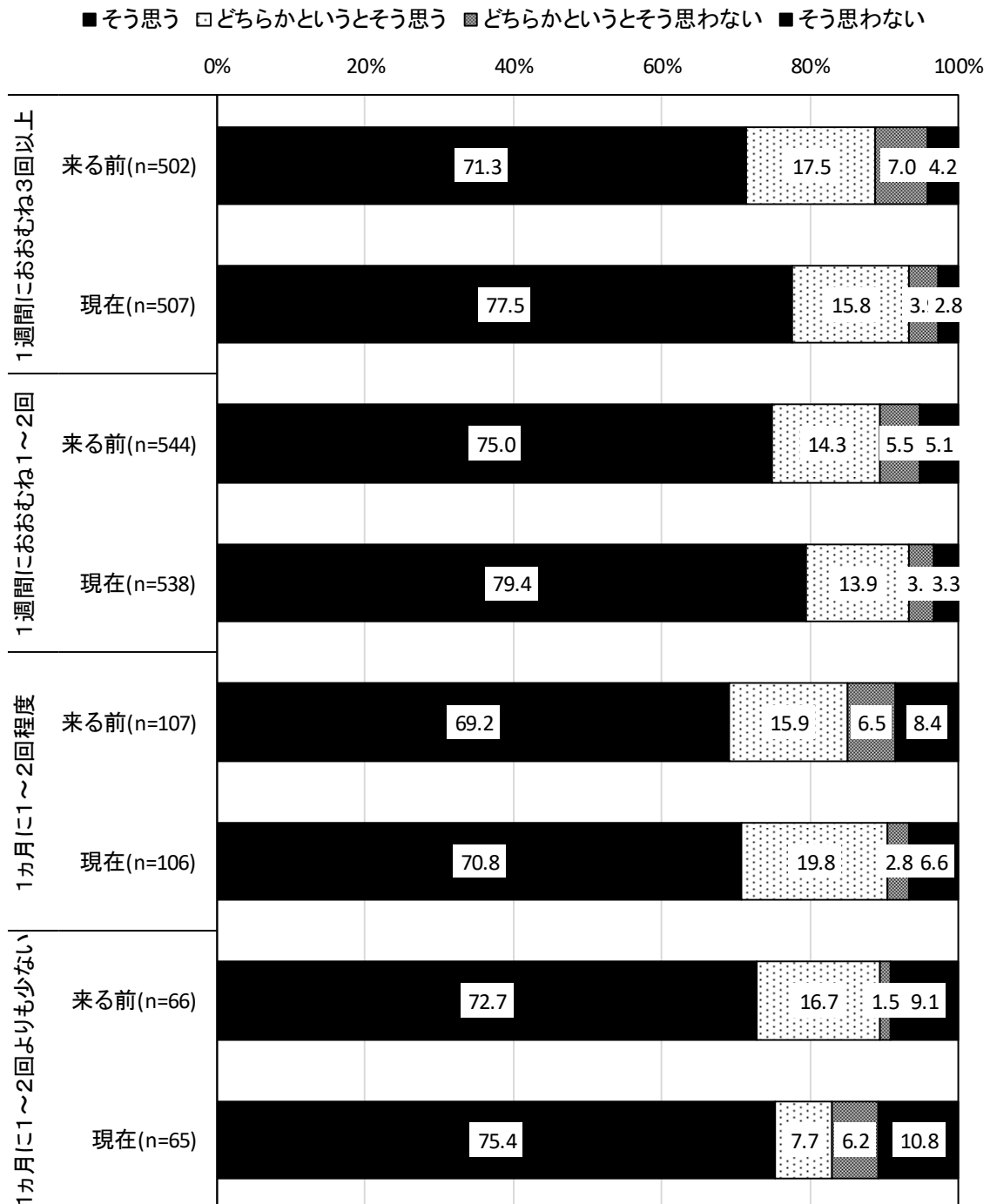


図 89 居場所利用頻度別に見た、将来働きたいと思う

将来働きたいと思うかについて、居場所利用頻度別に来る前と現在とを比較すると、いずれの群も来る前から約 70.0%が「そう思う」と回答しており、現在はさらに割合が増加している。

居場所利用頻度別に見た、自己効力感（セルフエフィカシー得点）

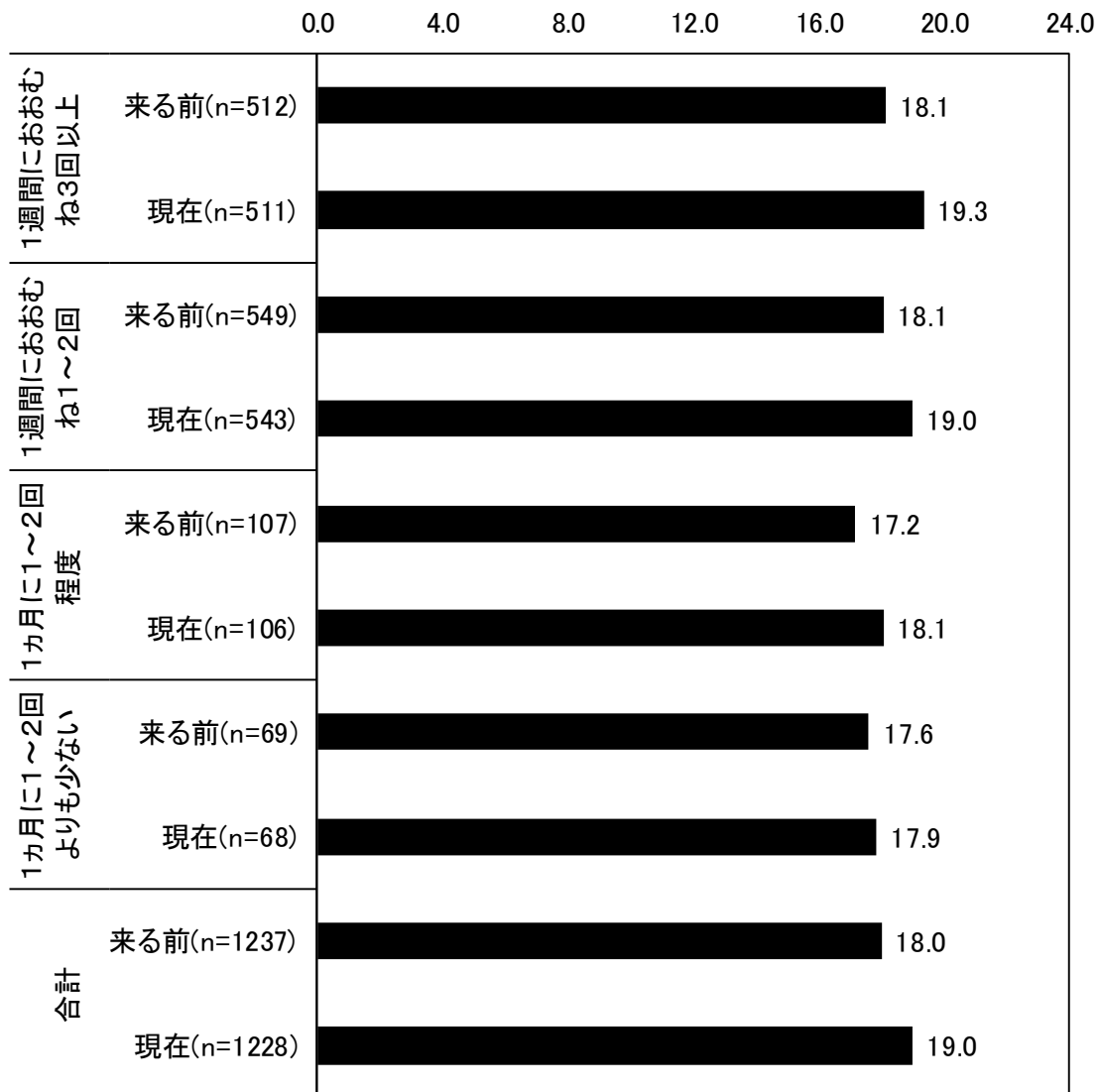


図 90 居場所利用頻度別に見た、自己効力感

居場所利用頻度別に自己効力感をみると、利用頻度が高いほど、来る前と現在とで得点が増加していることがうかがえる。差分を比較すると、「1週間におおむね3回以上」の群では1.2ポイント上昇しているが、「1か月に1~2回よりも少ない」群では0.3ポイントの上昇にとどまる。

4. 困窮度別に見た分析結果

(1) 困窮度

以下では、居場所調査について保護者票と子ども票両方の回答があった 601 世帯のうち、困窮度の算出が可能な 538 世帯（※）のみを対象として、保護者票の収入状況に関する回答と、子ども票の回答をマッチングした分析を行う。

※以下で示すとおり、困窮度は保護者票の世帯収入額と世帯人数により算出するため、両方の回答がそろっていないサンプルについては除外した。

世帯収入額と世帯人数に基づく等価可処分所得

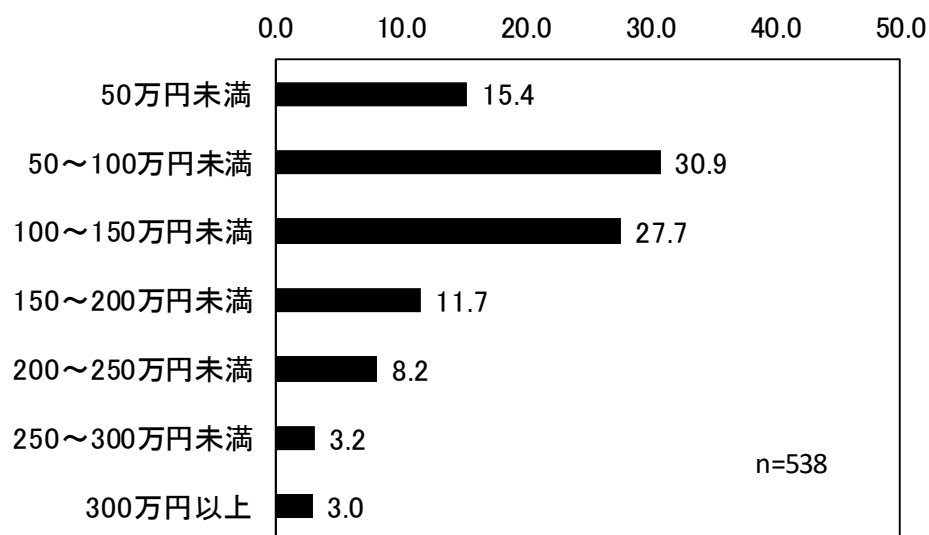


図 91 等価可処分所得

保護者票の間5世帯収入額と問2-2世帯人数を用いて、等価可処分所得（世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割って調整した所得）を算出した。可処分所得の算出にあたっては、世帯収入の中央値を用いた（例：1～50万円未満⇒25万円）。

結果を見ると、「50～100万円」未満の割合が30.9%ともっとも高く、次いで「100～150万円未満」が27.7%であった。平均値は117万円、中央値は101万円であった。

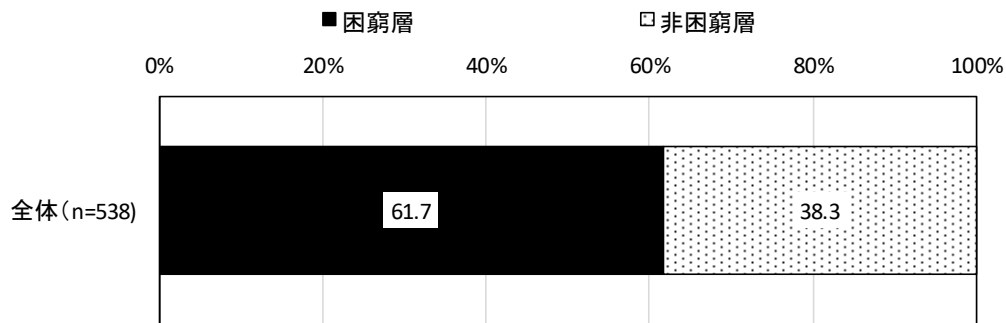


図 92 困窮度 (注：図 274 に再掲)

等価可処分所得について、厚生労働省が公表している貧困線（122 万円）にもとづき、122 万円未満の世帯を困窮層、それ以外を非困窮層とすると、困窮層が 61.7%、非困窮層が 38.3%となっている。以下の分析では、この 2 群の比較を行っていく。

(2) 子どもの特徴

困窮度別に見た、子どもの学年 (問 4 - 2 × 問 2)

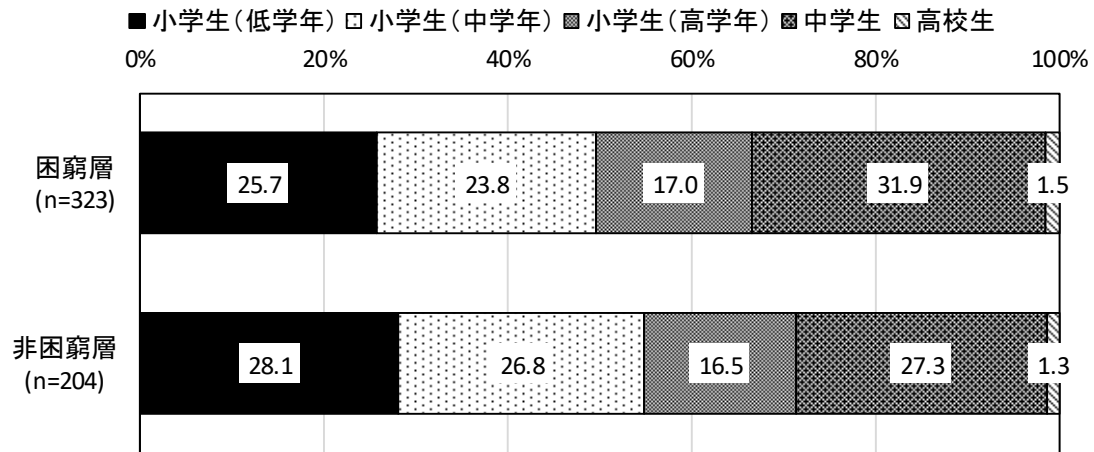


図 93 困窮度別に見た、子どもの学年

「困窮層」では、「中学生」が 31.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「小学生(低学年)」が 25.7%、「小学生(中学年)」が 23.8%となっている。「非困窮層」では、「小学生(低学年)」が 28.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「中学生」が 27.3%、「小学生(中学年)」が 26.8%となっている。

困窮度別に見た、世帯構成（問4-2×問3）

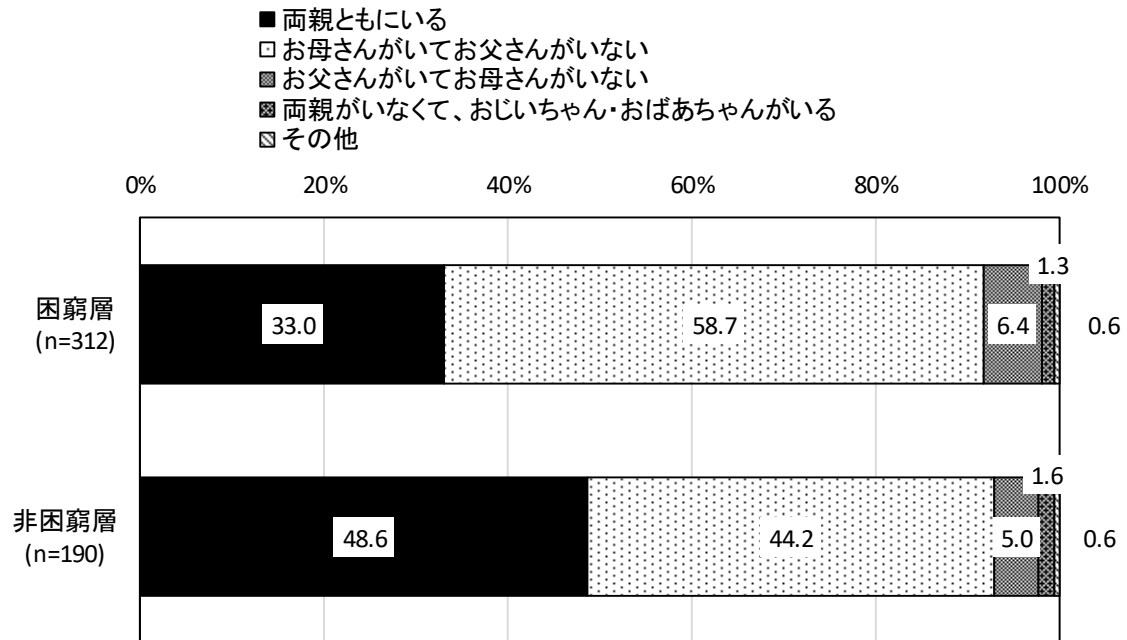


図 94 困窮度別に見た、世帯構成

困窮度別の世帯構成をみると、「非困窮層」に比べ、「困窮層」では、「お母さんがいてお父さんがいない」と「お父さんがいてお母さんがいない」というひとり親世帯が多くの割合を占めている。具体的には、「困窮層」では、「お母さんがいてお父さんがいない」が58.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「両親ともにいる」が33.0%となっている。「非困窮層」では、「両親ともにいる」が48.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「お母さんがいてお父さんがいない」が44.2%となっている。

困窮度別に見た、居場所に来た感想（問4-2×問27）

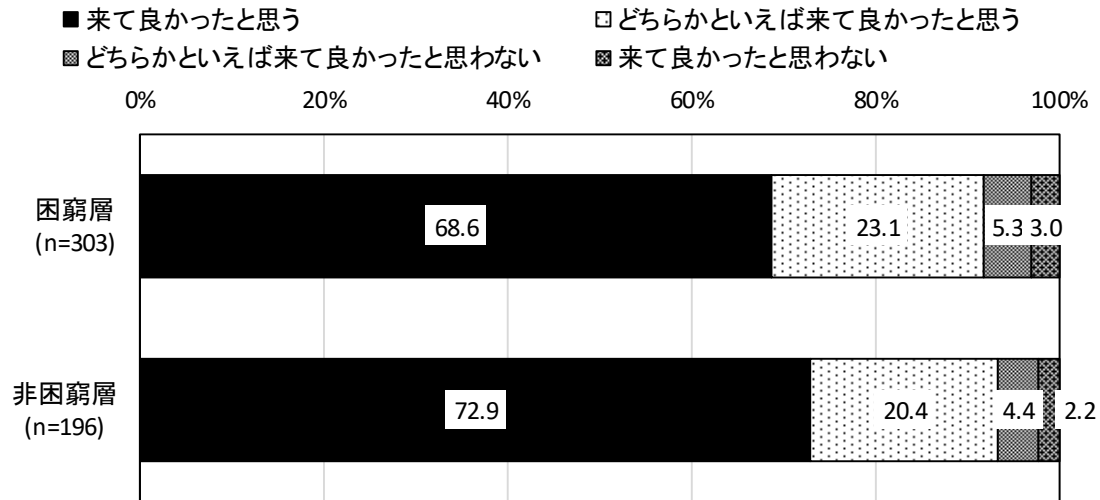


図 95 困窮度別に見た、居場所に来た感想

困窮度別の居場所に来た感想をみると、「困窮層」では、「来て良かったと思う」が 68.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえば来て良かったと思う」が 23.1%となっている。「非困窮層」では、「来て良かったと思う」が 72.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえば来て良かったと思う」が 20.4%となっている。「困窮層」「非困窮層」ともに「来て良かったと思う」「どちらかといえば来て良かったと思う」との回答が過半数を占め、大きな差は見られない。

(3) 生活環境の変化

困窮度別に見た、朝食の頻度 (問4-2 × 問17)

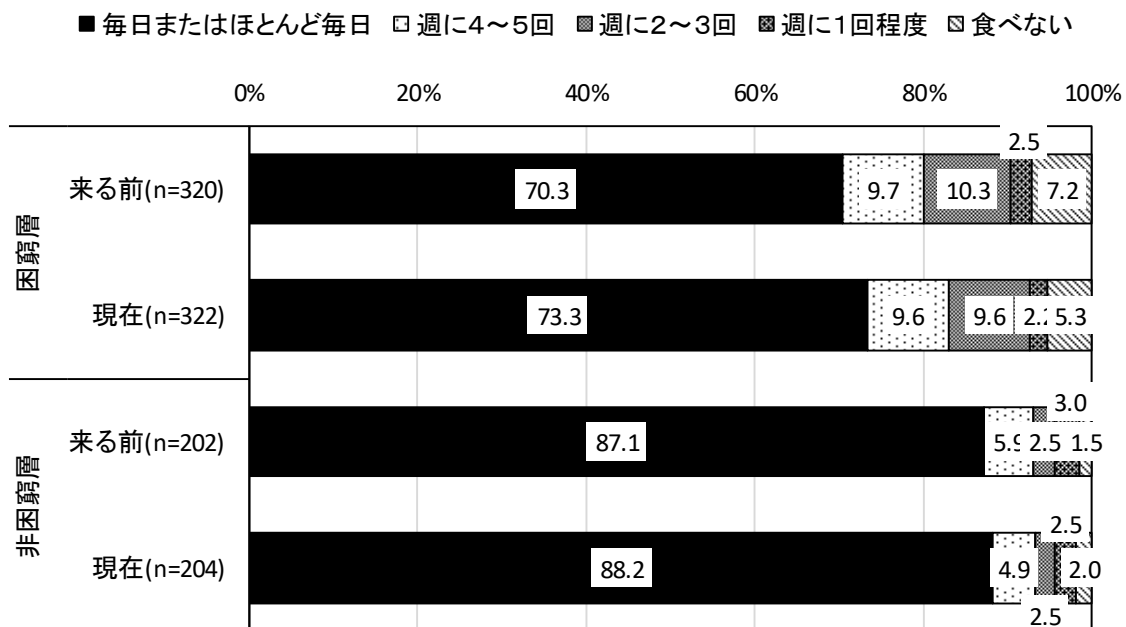


図 96 困窮度別に見た、朝食の頻度

困窮度別の朝食の頻度をみると、「困窮層」では、来る前は「毎日またはほとんど毎日」が70.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に2~3回」が10.3%となっている。現在は「毎日またはほとんど毎日」が73.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に4~5回」と「週に2~3回」がそれぞれ9.6%となっている。「非困窮層」では、来る前は「毎日またはほとんど毎日」が87.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に4~5回」が5.9%となっている。現在は、「毎日またはほとんど毎日」が88.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に4~5回」が4.9%となっている。

困窮度群で比較すると、「困窮層」では、「毎日またはほとんど毎日」が7割程度となっている一方、「非困窮層」では、「毎日またはほとんど毎日」が約9割となっている。また、「非困窮層」に比べ「困窮層」では、朝食を「食べない」と回答した割合が、来る前では約6.0ポイント、現在は約3.0ポイント高くなっている。

困窮度別に見た、夕食の頻度（問4-2×問19）

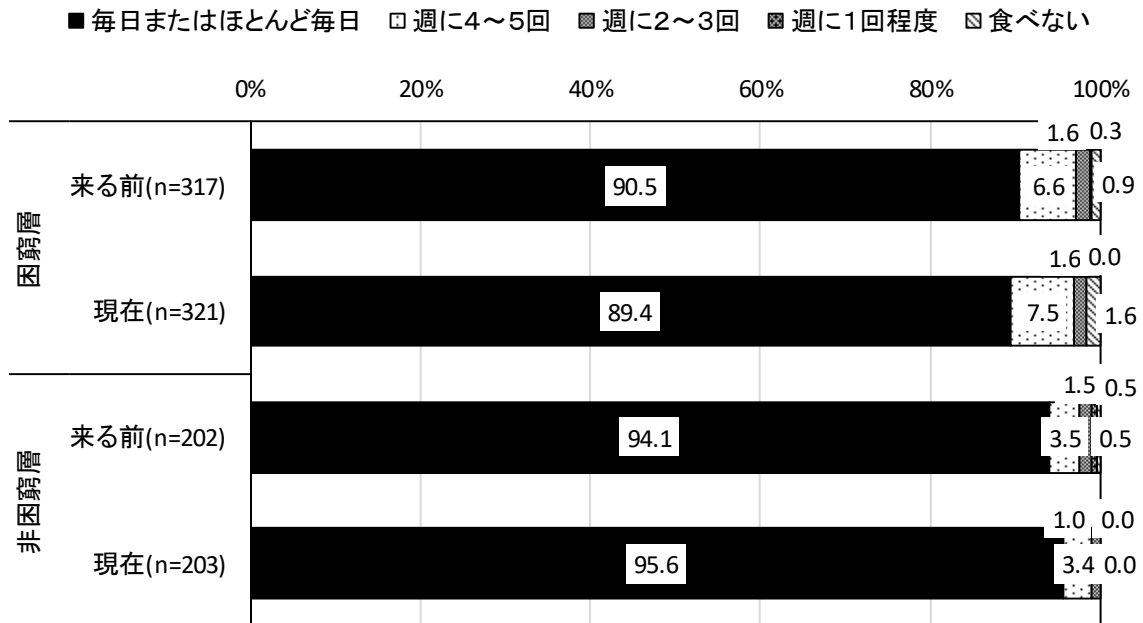


図 97 困窮度別に見た、夕食の頻度

困窮度別の夕食の頻度をみると、「困窮層」では、来る前は「毎日またはほとんど毎日」が90.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に4～5回」が6.6%となっている。現在は「毎日またはほとんど毎日」が89.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に4～5回」が7.5%となっている。「非困窮層」では、来る前は「毎日またはほとんど毎日」が94.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に4～5回」が3.5%となっている。現在は、「毎日またはほとんど毎日」が95.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に4～5回」が3.4%となっている。

困窮度群で比較すると、「困窮層」では、「非困窮層」に比べ「毎日またはほとんど毎日」の回答割合が5.0ポイントほど低くなっている。

(4) 教育環境の変化

困窮度別に見た、学校への登校頻度（問4-2×問9）

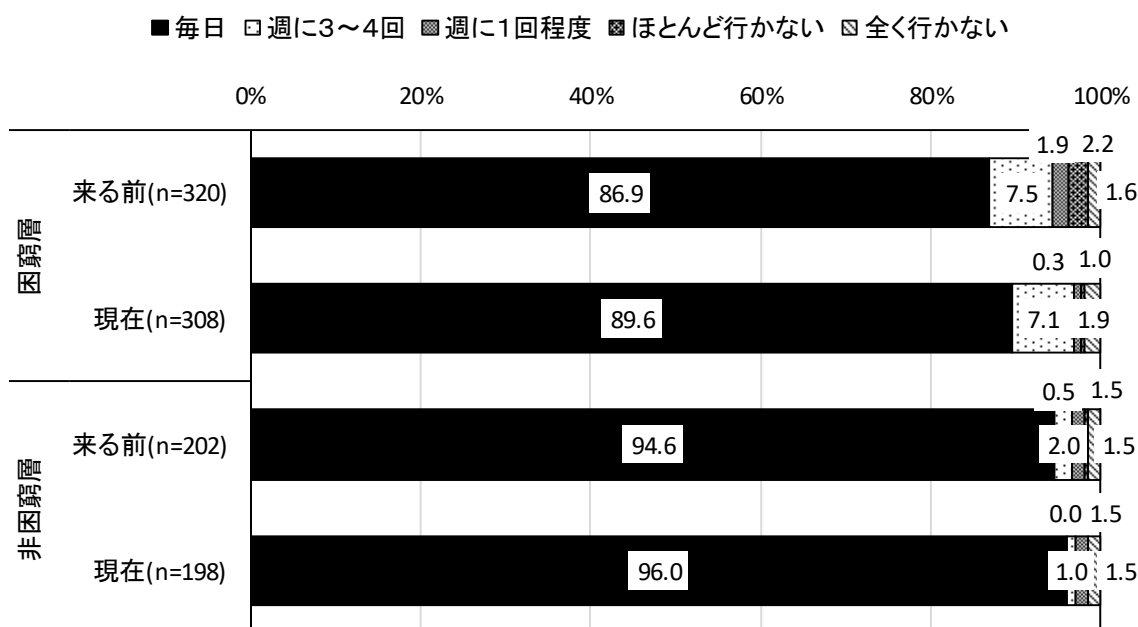


図 98 困窮度別に見た、学校への登校頻度

困窮度別の登校頻度をみると、「困窮層」では、来る前は「毎日」が86.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に3~4回」が7.5%となっている。現在は「毎日」が89.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に3~4回」が7.1%となっている。「非困窮層」では、来る前は「毎日」が94.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に3~4回」が2.0%となっている。現在は、「毎日」が96%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に1回程度」が1.5%となっている。

困窮度群で比較すると、「困窮層」では、「非困窮層」に比べ「毎日」の回答割合が7.0ポイントほど低くなっている。来る前と現在を比較すると、「困窮層」と「非困窮層」で「毎日」の回答割合が増加しているが、それぞれの層で大きな差は見られない。

困窮度別に見た、遅刻の頻度（問4－2×問10）

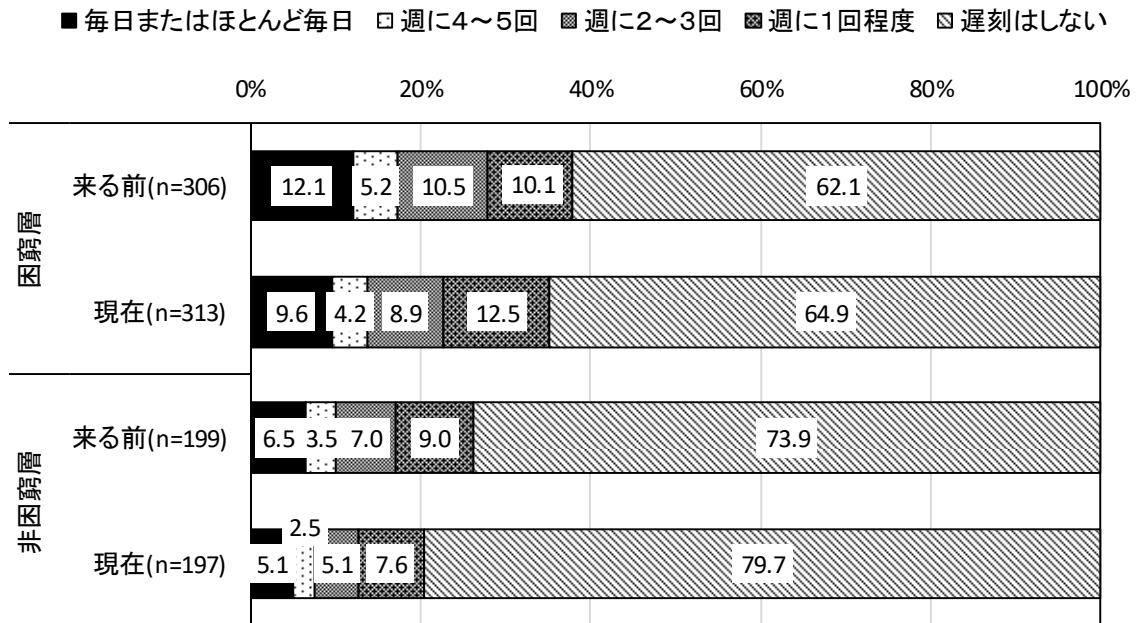


図 99 困窮度別に見た、遅刻の頻度

困窮度別の遅刻頻度をみると、「困窮層」では、来る前は「遅刻はしない」が62.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「毎日またはほとんど毎日」が12.1%となっている。現在は「遅刻はしない」が64.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に1回程度」が12.5%となっている。「非困窮層」では、来る前は「遅刻はしない」が73.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に1回程度」が9.0%となっている。現在は、「遅刻はしない」が79.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「週に1回程度」が7.6%となっている。

困窮度群で比較すると、「困窮層」では、「非困窮層」に比べ「遅刻はしない」の回答割合が11.0～14.0ポイントほど低くなっている。「毎日またはほとんど毎日」遅刻するとの回答でも、「非困窮層」と比較し、「困窮層」では5.0ポイントほど高くなっている。

来る前と現在を比較すると、どちらの層でも「遅刻はしない」の回答割合が増加し、「毎日またはほとんど毎日」の割合が減少している。

困窮度別に見た、学校がある日の授業時間以外での学習時間（問4-2×問11）

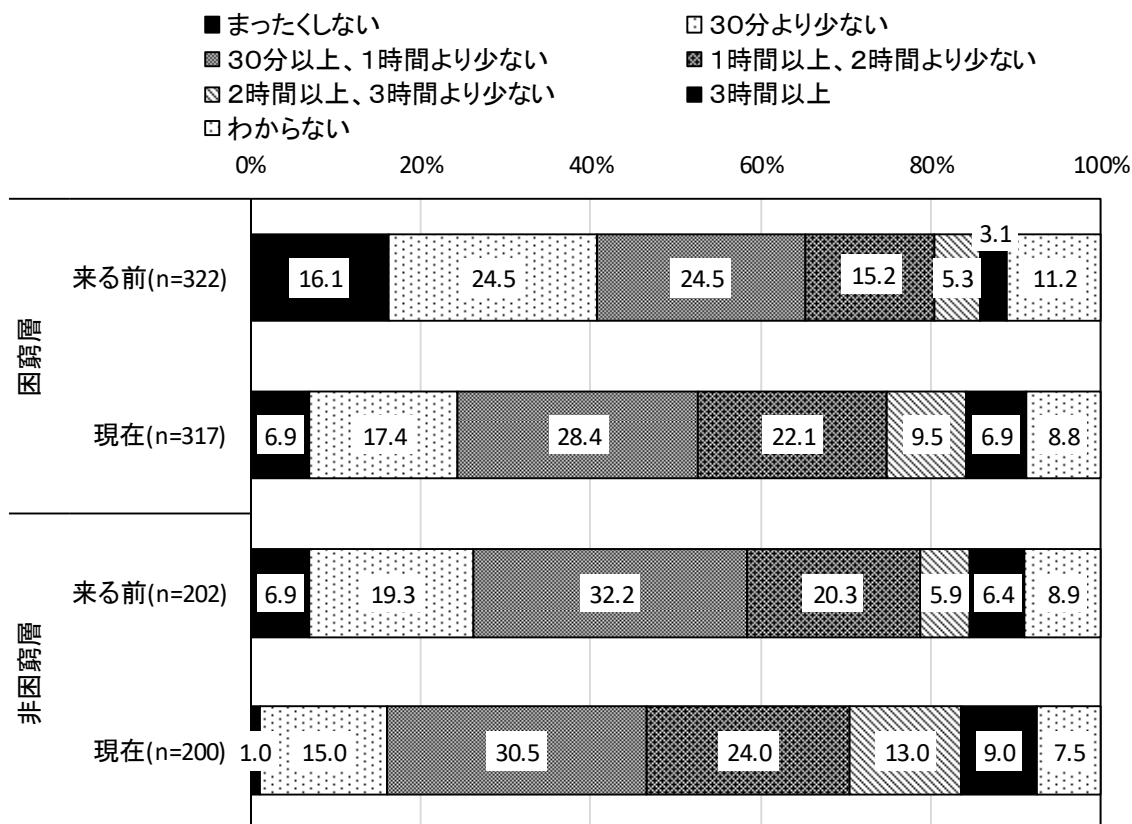


図 100 困窮度別に見た、学校がある日の授業時間以外での学習時間

困窮度別の学習時間をみると、「困窮層」では、来る前は「30分より少ない」と「30分以上、1時間より少ない」が24.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「まったくしない」が16.1%となっている。現在は「30分以上、1時間より少ない」が28.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が22.1%となっている。「非困窮層」では、「30分以上、1時間より少ない」が32.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が20.3%となっている。現在は、「30分以上、1時間より少ない」が30.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が24.0%となっている。

来る前と現在を比較すると、全体として学習時間の増加がみられる。「困窮層」では、「まったくしない」と「30分より少ない」との回答割合が減少し、「30分以上、1時間より少ない」と「1時間以上、2時間より少ない」が増加している。「非困窮層」では、「まったくしない」「30分より少ない」「30分以上、1時間より少ない」の回答割合が減少し、「1時間以上、2時間より少ない」「2時間以上、3時間より少ない」の割合が増加している。

困窮度別に見た、学校の勉強についての気持ち（問4-2×問12）

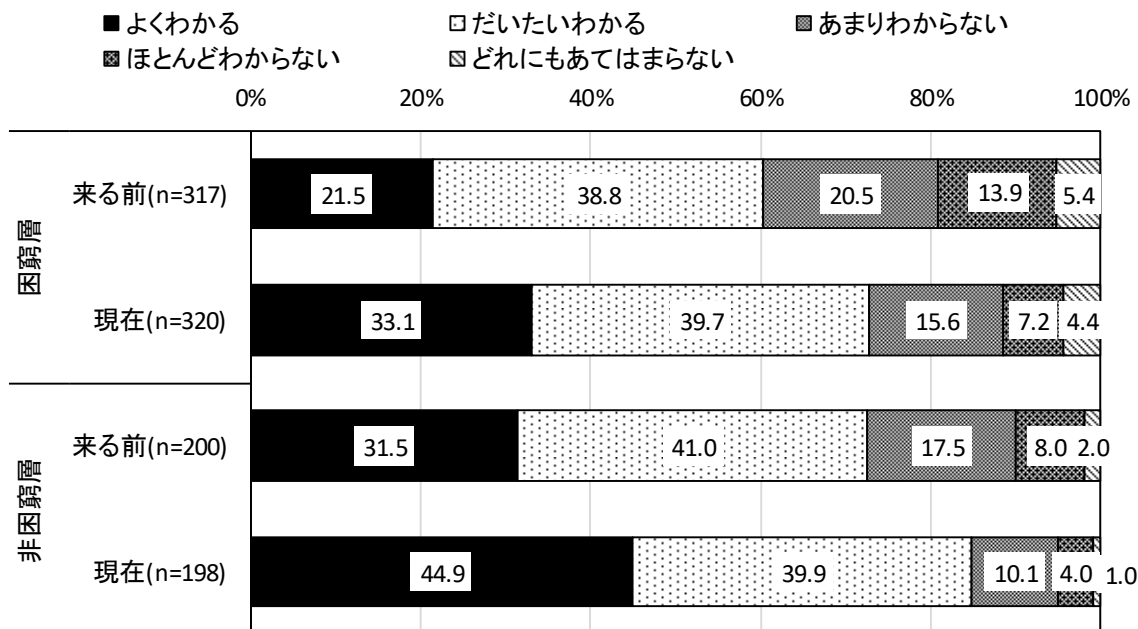


図 101 困窮度別に見た、学校の勉強についての気持ち

困窮度別の学校の勉強についての気持ちについてみると、全体として「よくわかる」「だいたいわかる」との回答が多い。「困窮層」では、来る前は「だいたいわかる」が38.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「よくわかる」が21.5%となっている。現在は「だいたいわかる」が39.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「よくわかる」が33.1%となっている。「非困窮層」では、来る前は「だいたいわかる」が41.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「よくわかる」が31.5%となっている。現在は、「よくわかる」が44.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「だいたいわかる」が39.9%となっている。

困窮度群で比較すると、「困窮層」では、「非困窮層」に比べ「よくわかる」との回答割合が10.0～12.0ポイントほど低くなっている。来る前と現在を比較すると、どちらの層でも「よくわかる」の占める割合が増加している。

困窮度別に見た、将来の進学希望（問4-2×問26）

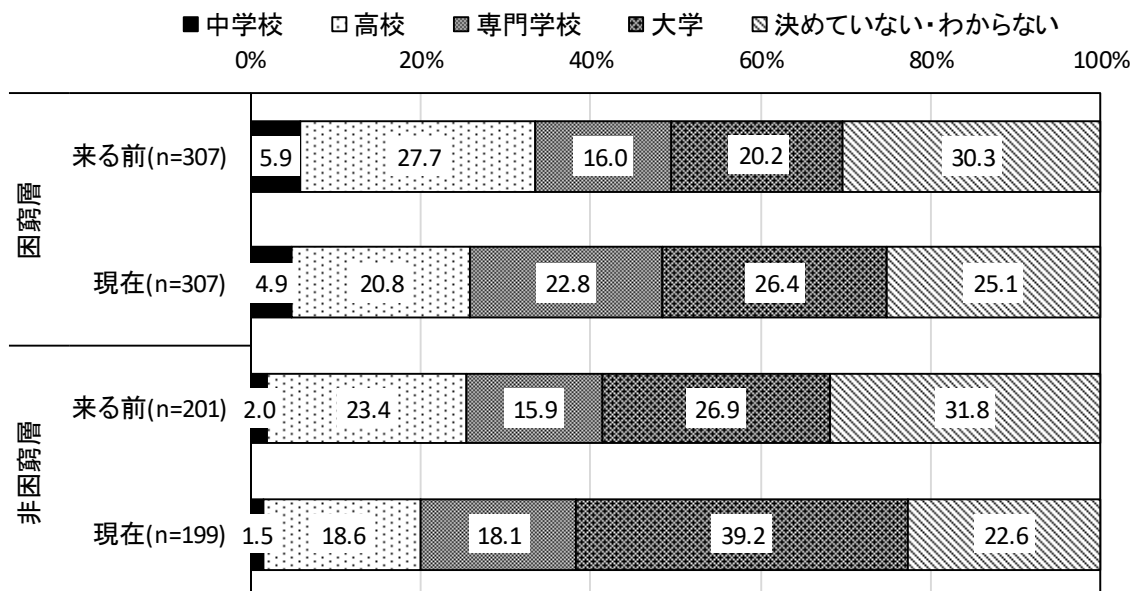


図 102 困窮度別に見た、将来の進学希望

困窮度別の将来の進学希望における来る前と現在との変化をみると、どちらの層でも「高校」「決めていない・わからない」が減少し、「大学」と「専門学校」が増加している。特に「非困窮層」でこの変化が顕著である。具体的には、「困窮層」では、来る前は「決めていない・わからない」が30.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「高校」が27.7%となっている。現在は「大学」が26.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「決めていない・わからない」が25.1%となっている。「非困窮層」では、来る前は「決めていない・わからない」が31.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「大学」が26.9%となっている。現在は「大学」が39.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「決めていない・わからない」が22.6%となっている。

(5) 社会環境の変化

困窮度別に見た、何かに失敗したときにたすけてくれる人 (問4-2×問24①)

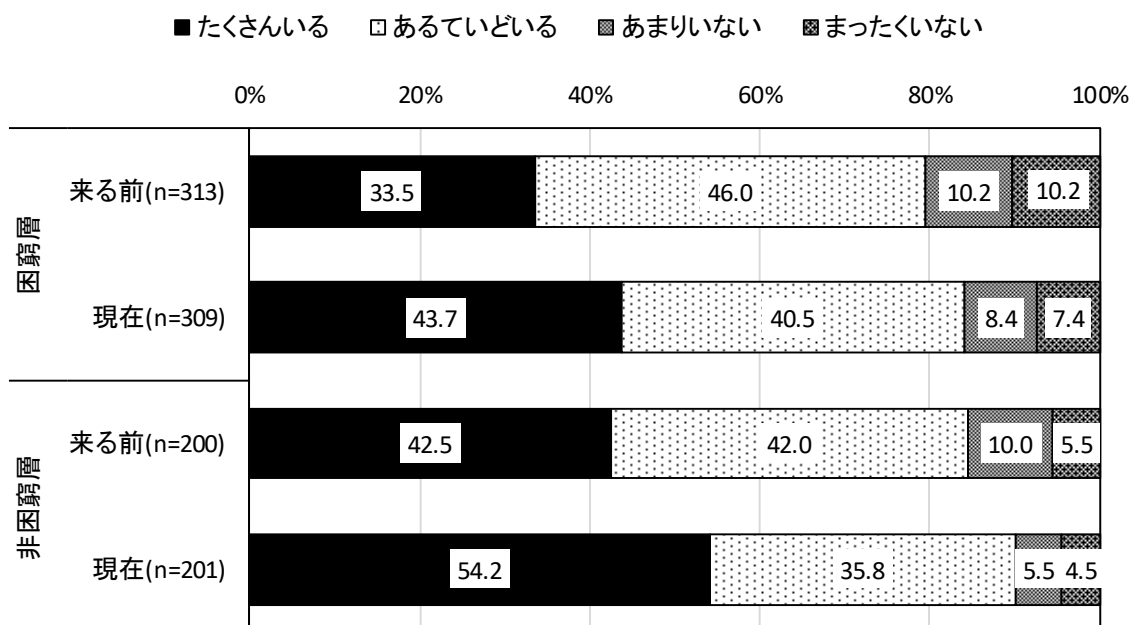


図 103 困窮度別に見た、何かに失敗したときにたすけてくれる人

困窮度別に何かに失敗したときにたすけてくれる人についてみると、全体として「たくさんいる」と「あるていどいる」が占める割合が高くなっている。また、どちらの層でも来る前に比べ、現在の「たくさんいる」の割合が増加している。具体的には、「困窮層」では、来る前は「あるていどいる」が46.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「たくさんいる」が33.5%となっている。現在は「たくさんいる」が43.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「あるていどいる」が40.5%となっている。「非困窮層」では、来る前は「たくさんいる」が42.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「あるていどいる」が42.0%となっている。現在は、「たくさんいる」が54.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「あるていどいる」が35.8%となっている。

困窮度群で比較すると、「非困窮層」に比べ、「困窮層」では「まったくいない」との回答割合が3.0～5.0ポイントほど高くなっている。

困窮度別に見た、勉強やスポーツをがんばったときにほめてくれる人
 (問4-2×問24②)

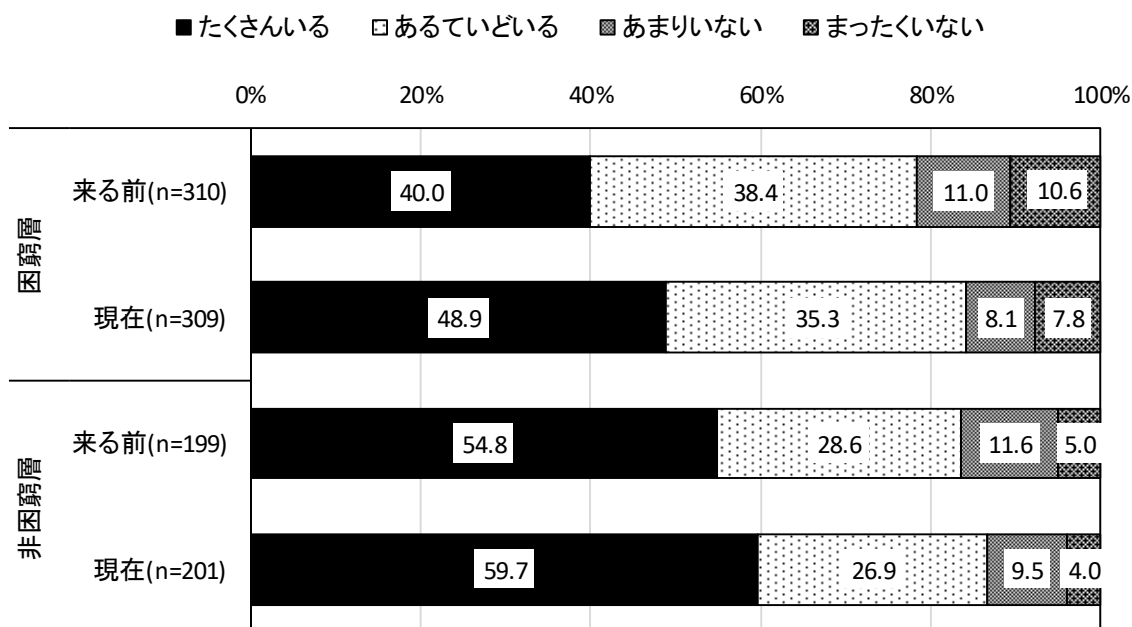


図 104 困窮度別に見た、勉強やスポーツをがんばったときにほめてくれる人

困窮度別に勉強やスポーツをがんばったときにほめてくれる人についてをみると、全体として「たくさんいる」と「あるていどいる」が占める割合が高くなっている。また、どちらの層でも来る前に比べ、現在の「たくさんいる」の割合が増加している。具体的には、「困窮層」では、来る前は「たくさんいる」が40.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「あるていどいる」が38.4%となっている。現在は「たくさんいる」が48.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「あるていどいる」が35.3%となっている。「非困窮層」では、来る前は「たくさんいる」が54.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「あるていどいる」が28.6%となっている。現在は、「たくさんいる」が59.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「あるていどいる」が26.9%となっている。

困窮度群で比較すると、「非困窮層」に比べ、「困窮層」では「まったくいない」との回答割合が3.0～5.0ポイントほど高くなっている。

困窮度別に見た、一人ではできないことがあったときには気持ちよく手伝ってくれる人
(問4-2×問24③)

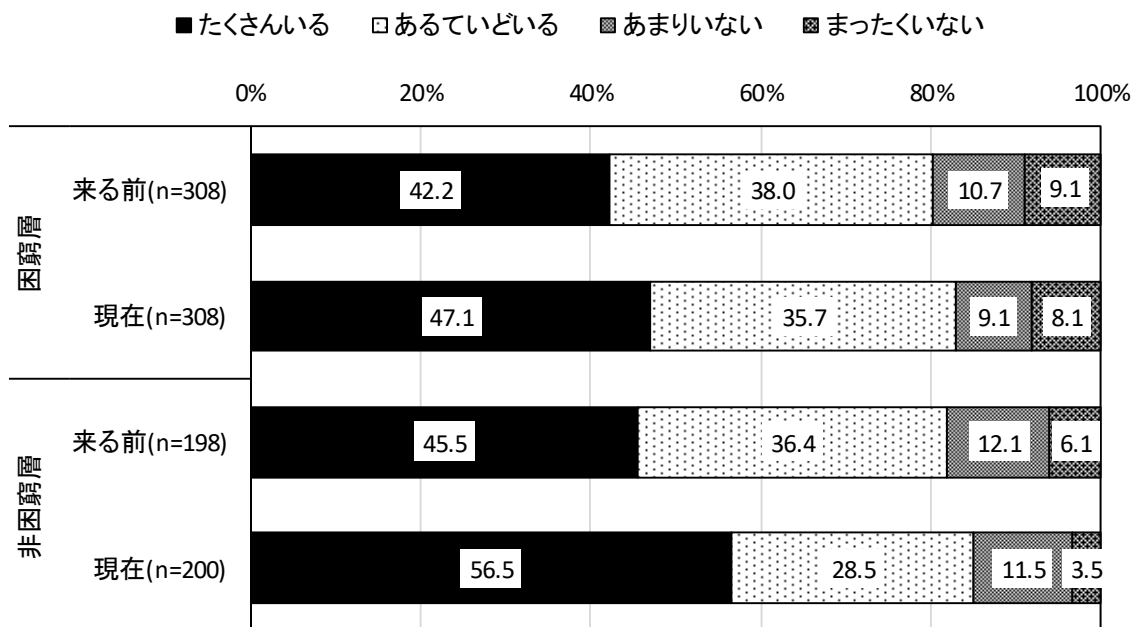


図 105 困窮度別に見た、一人ではできないことがあったときには気持ちよく手伝ってくれる人

困窮度別に一人ではできないことがあったときには気持ちよく手伝ってくれる人についてみると、全体として「たくさんいる」と「あるていどいる」が占める割合が高くなっている。また、どちらの層でも来る前に比べ、現在の「たくさんいる」の割合が増加している。具体的には、「困窮層」では、来る前は「たくさんいる」が42.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「あるていどいる」が38.0%となっている。現在は「たくさんいる」が47.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「あるていどいる」が35.7%となっている。「非困窮層」では、来る前は「たくさんいる」が45.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「あるていどいる」が36.4%となっている。現在は、「たくさんいる」が56.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「あるていどいる」が28.5%となっている。

困窮度群で比較すると、「非困窮層」に比べ、「困窮層」では「まったくいない」との回答割合が3.0~4.0ポイントほど高くなっている。

困窮度別に見た、悩んでいるときにどうしたらよいか教えてくれる人
 (問4-2×問24④)

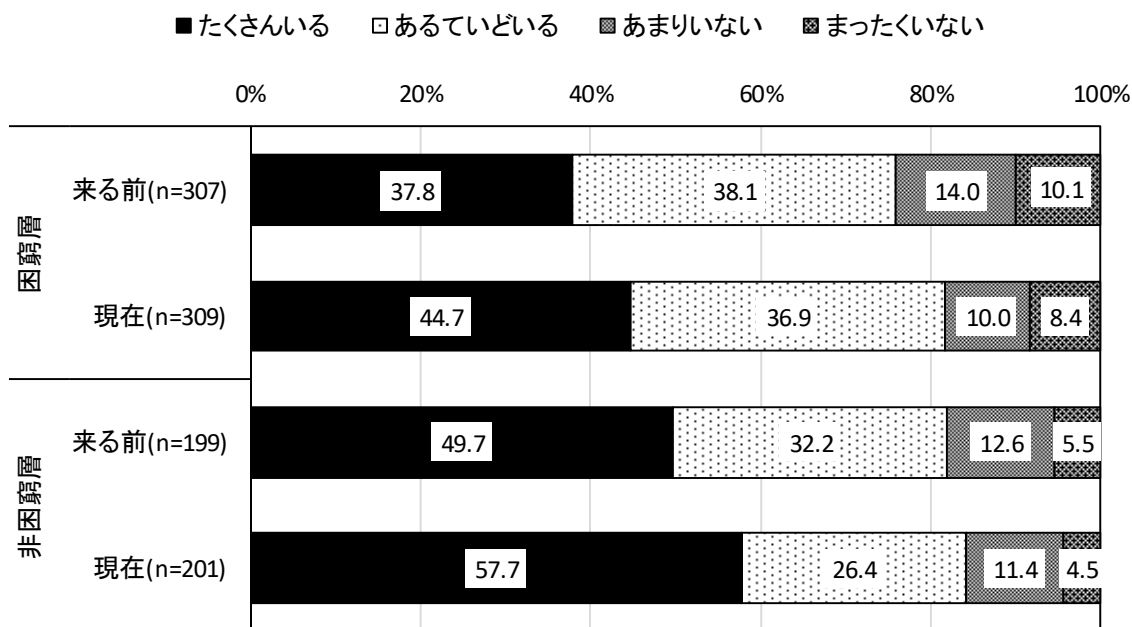


図 106 困窮度別に見た、悩んでいるときにどうしたらよいか教えてくれる人

困窮度別悩んでいるときにどうしたらよいか教えてくれる人についてみると、全体として「たくさんいる」の回答割合が高くなっている。また、どちらの層でも来る前に比べ、現在の「たくさんいる」の割合が増加している。具体的には、「困窮層」では、来る前は「あるていどいる」が38.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「たくさんいる」が37.8%となっている。現在は「たくさんいる」が44.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「あるていどいる」が36.9%となっている。「非困窮層」では、来る前は「たくさんいる」が49.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「あるていどいる」が32.2%となっている。現在は、「たくさんいる」が57.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「あるていどいる」が26.4%となっている。

困窮度群で比較すると、「非困窮層」に比べ、「困窮層」では「まったくいない」との回答割合が4.0ポイントほど高くなっている。

困窮度別に見た、自分に自信がある（問４－２×問２５①）

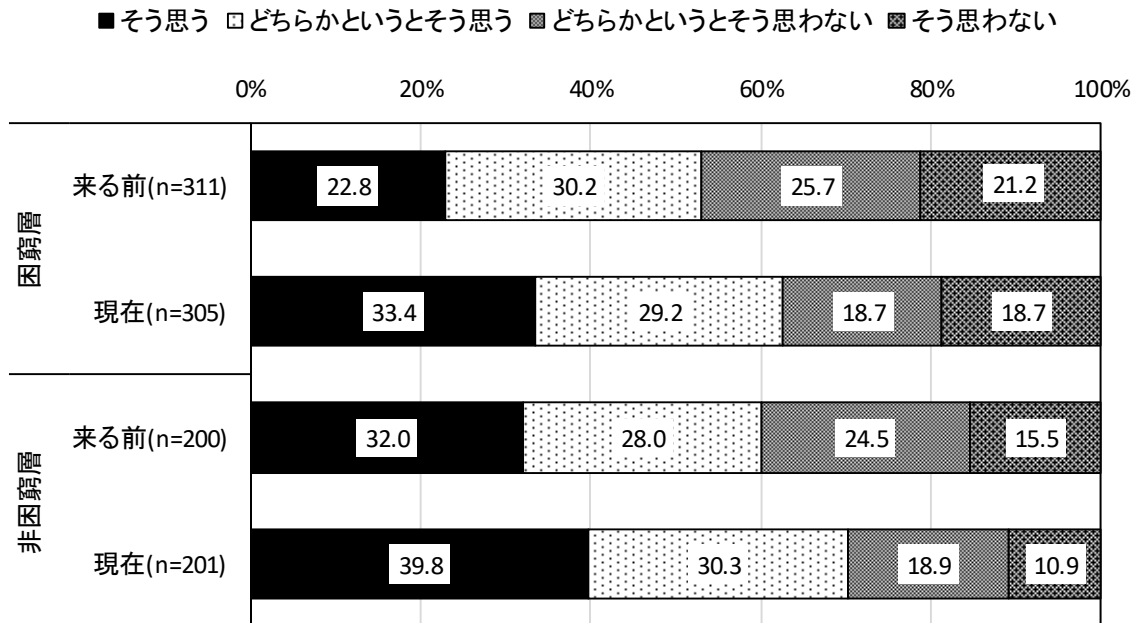


図 107 困窮度別に見た、自分に自信がある

困窮度別に自分に自信があるかについてみると、どちらの層でも来る前に比べ、現在の「そう思う」の割合が増加している。具体的には、「困窮層」では、来る前は「どちらかというと思う」が 30.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思わない」が 25.7%となっている。現在は「そう思う」が 33.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が 29.2%となっている。「非困窮層」では、来る前は「そう思う」が 32.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が 28.0%となっている。現在は、「そう思う」が 39.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が 30.3%となっている。

困窮度群で比較すると、「非困窮層」に比べ、「困窮層」では「そう思わない」との回答割合が 6.0～8.0 ポイントほど高くなっている。

困窮度別に見た、自分の考えをはっきり相手に伝えることができる（問4-2×問25②）

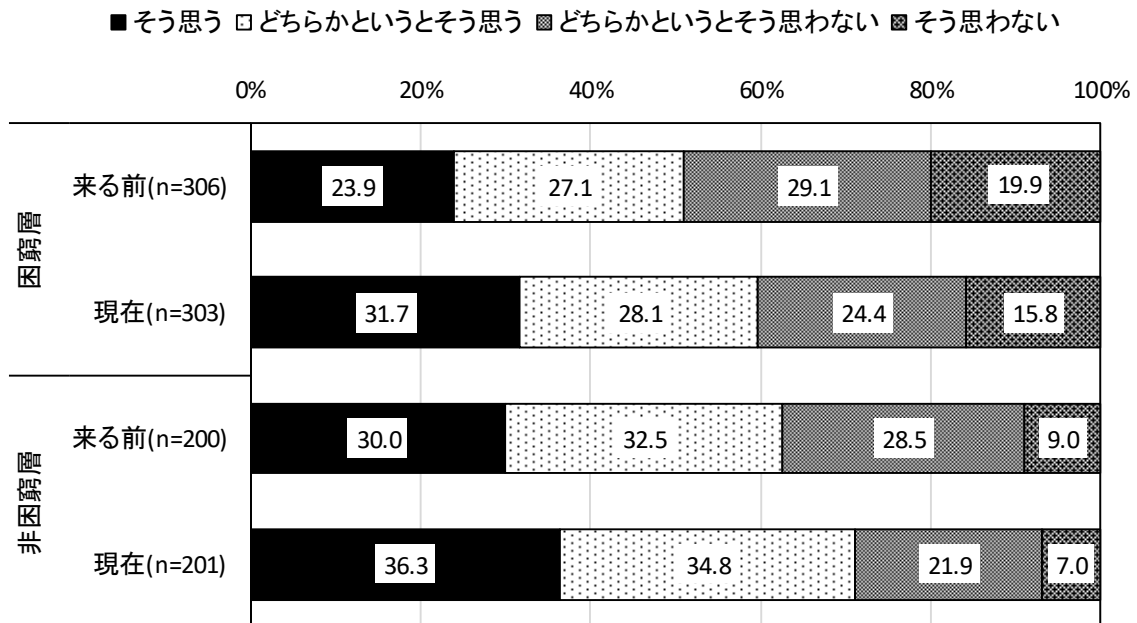


図 108 困窮度別に見た、自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

困窮度別に自分の考えをはっきり相手に伝えることができるかをみると、どちらの層でも来る前に比べ、現在の「そう思う」「どちらかというと思う」が占める割合が増加している。具体的には、「困窮層」では、来る前は「どちらかというと思わない」が29.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が27.1%となっている。現在は「そう思う」が31.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が28.1%となっている。「非困窮層」では、来る前は「どちらかというと思う」が32.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「そう思う」が30.0%となっている。現在は、「そう思う」が36.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が34.8%となっている。

困窮度群で比較すると、「非困窮層」に比べ、「困窮層」では「そう思わない」との回答割合が8.0～10.0ポイントほど高くなっている。

困窮度別に見た、大人を信用できる（問4-2×問25③）

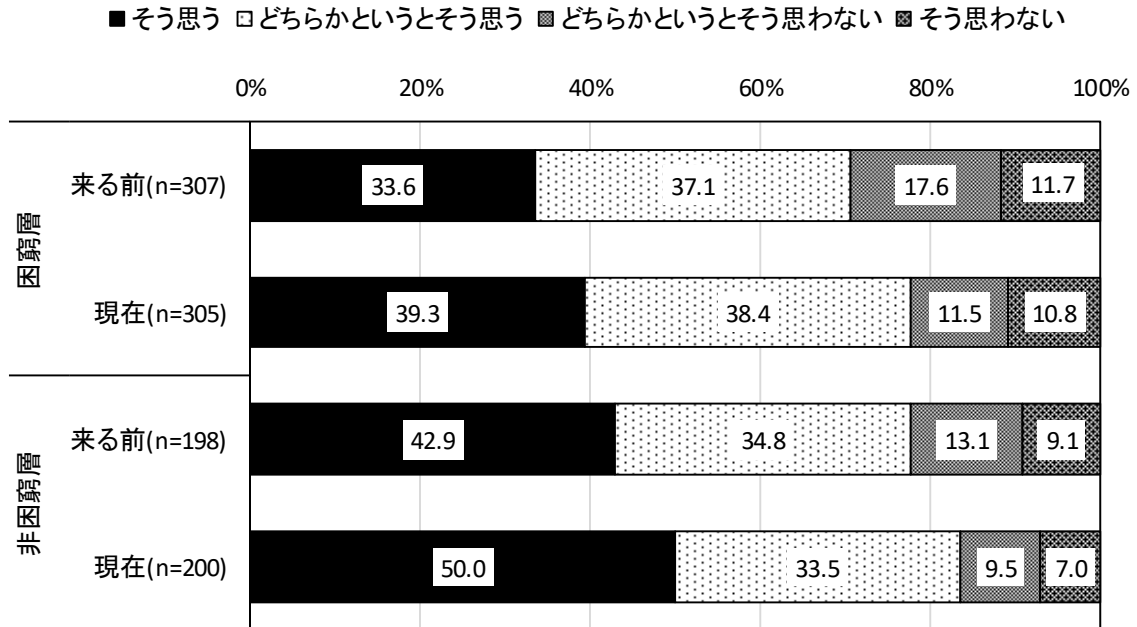


図 109 困窮度別に見た、大人を信用できる

困窮度別に大人を信用できるかをみると、どちらの層でも来る前に比べ、現在の「そう思う」の占める割合が増加している。具体的には、「困窮層」では、来る前は「どちらかというと思う」が 37.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「そう思う」が 33.6%となっている。現在は「そう思う」が 39.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が 38.4%となっている。「非困窮層」では、来る前は「そう思う」が 42.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が 34.8%となっている。現在は、「そう思う」が 50.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が 33.5%となっている。

困窮度群で比較すると、「非困窮層」に比べ、「困窮層」では「そう思わない」との回答割合が 2.0～3.0 ポイントほど高くなっている。

困窮度別に見た、自分の将来の夢や目標を持っている（問４－２×問２５④）

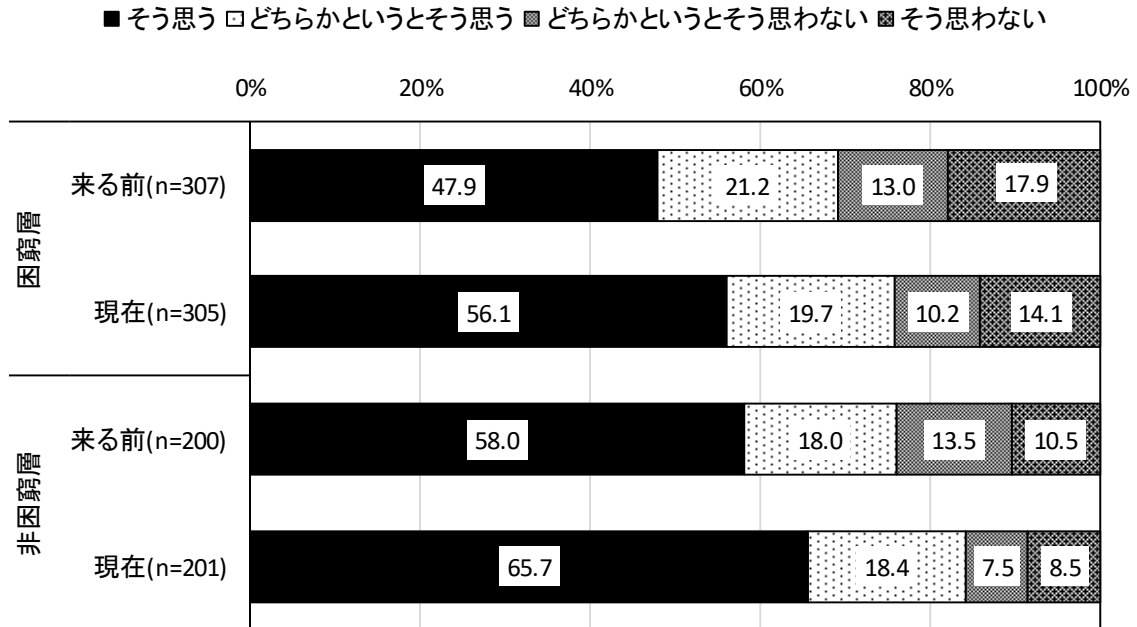


図 110 困窮度別に見た、自分の将来の夢や目標を持っている

困窮度別に自分の将来の夢や目標を持っているかをみると、どちらの層でも来る前に比べ、現在の「そう思う」の占める割合が増加している。具体的には、「困窮層」では、来る前は「そう思う」が 47.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が 21.2%となっている。現在は「そう思う」が 56.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が 19.7%となっている。「非困窮層」では、来る前は「そう思う」が 58.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が 18.0%となっている。現在は、「そう思う」が 65.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が 18.4%となっている。

困窮度群で比較すると、「非困窮層」に比べ、「困窮層」では「そう思わない」との回答割合が 5.0～7.0 ポイントほど高くなっている。

困窮度別に見た、将来のためにも今頑張りたいと思う（問4-2×問25⑤）

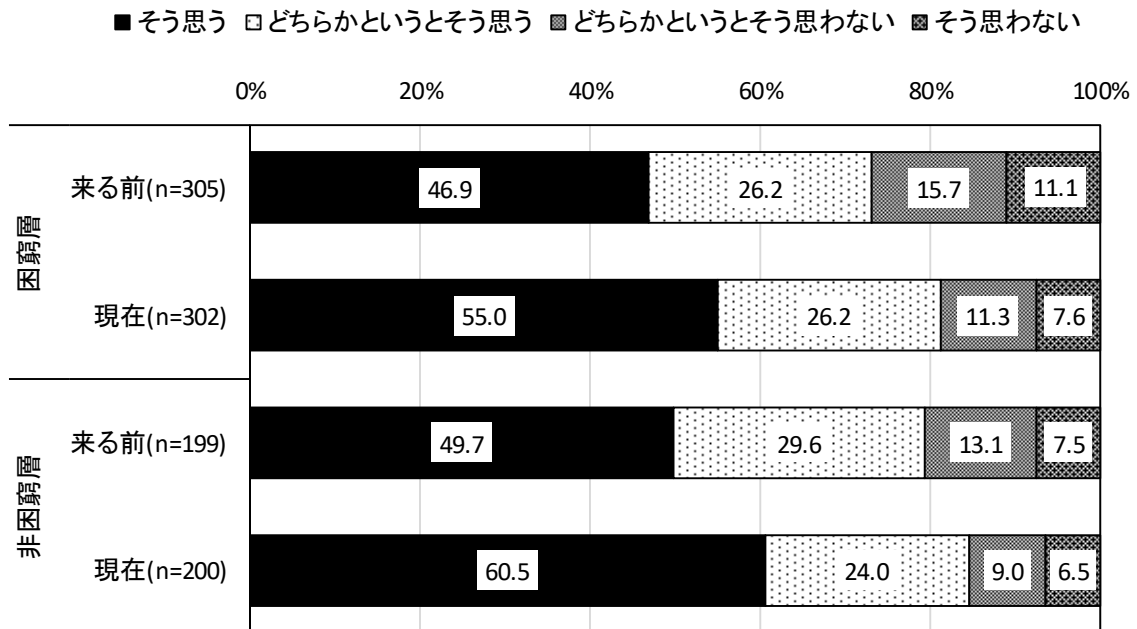


図 111 困窮度別に見た、将来のためにも今頑張りたいと思う

困窮度別に将来のためにも今頑張りたいと思うかをみると、どちらの層でも来る前に比べ、現在の「そう思う」の占める割合が増加している。具体的には、「困窮層」では、来る前は「そう思う」が46.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が26.2%となっている。現在は「そう思う」が55.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が26.2%となっている。「非困窮層」では、来る前は「そう思う」が49.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が29.6%となっている。現在は、「そう思う」が60.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が24.0%となっている。

困窮度群で比較すると、「非困窮層」に比べ、「困窮層」では「そう思わない」との回答割合が1.0～3.0ポイントほど高くなっている。

困窮度別に見た、将来働きたいと思う（問4-2×問25⑥）

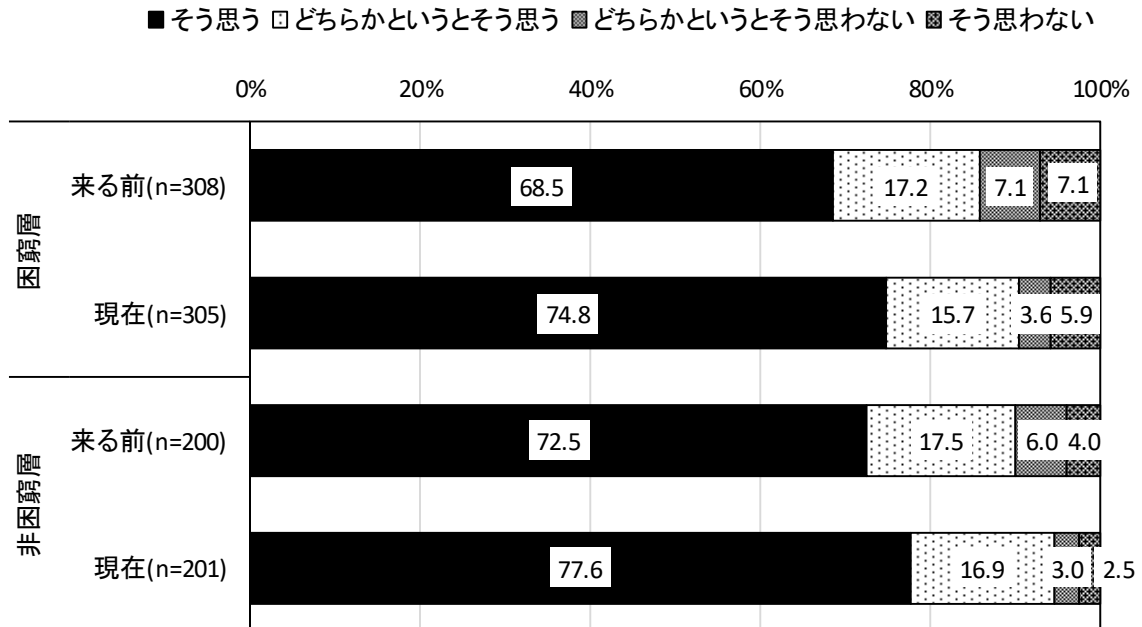


図 112 困窮度別に見た、将来働きたいと思う

困窮度別に将来働きたいと思うかをみると、全体として「そう思う」と「どちらかというと思う」の占める割合が多い。また、どちらの層でも、来る前と比べ現在の「そう思う」の割合が増加している。具体的には、「困窮層」では、来る前は「そう思う」が68.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が17.2%となっている。現在は「そう思う」が74.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が15.7%となっている。「非困窮層」では、来る前は「そう思う」が72.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が17.5%となっている。現在は、「そう思う」が77.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかというと思う」が16.9%となっている。

困窮度群で比較すると、「非困窮層」に比べ、「困窮層」では「そう思わない」との回答割合が3.0ポイントほど高くなっている。

困窮度別に見た、自己効力感

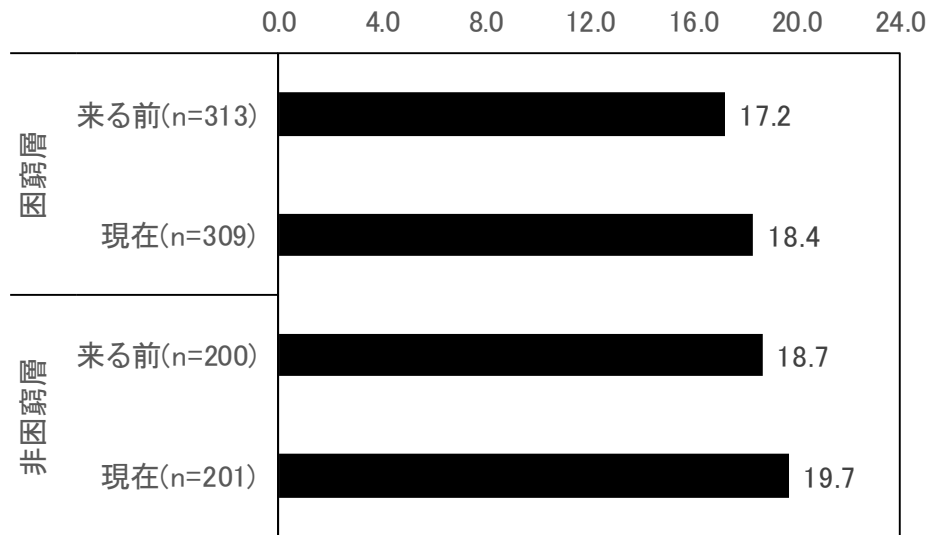


図 113 困窮度別に見た、自己効力感

困窮度別に自己効力感を見ると、来る前・現在いずれも、困窮層よりも非困窮層で得点が高い傾向がみられる。来る前と現在とで比較すると、いずれの層も得点が増加している。

第3章 支援員に関する分析

1. 回答者の属性

(1) 基本情報

お子さんからみた続柄

問1 この調査票にお答えになっている方は、お子さんからみてどなたにあたりますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

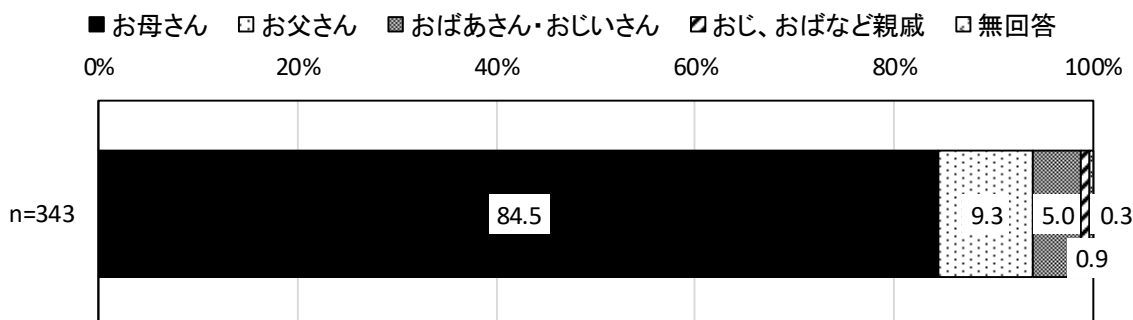


図 114 お子さんからみた続柄

回答者の有効サンプルは 343 名である。続柄は、「お母さん」が 290 名で 84.5%、次いで「お父さん」が 32 名で 9.3%、「おばあさん・おじいさん」が 17 名で 5.0%、「おじ、おばなど親戚」が 3 名で 0.9%となっている。

回答者の性別

問2-1 あなたの性別、年齢、あなたの世帯の人数、そのうちのお子さんの人数と年齢を教えてください。

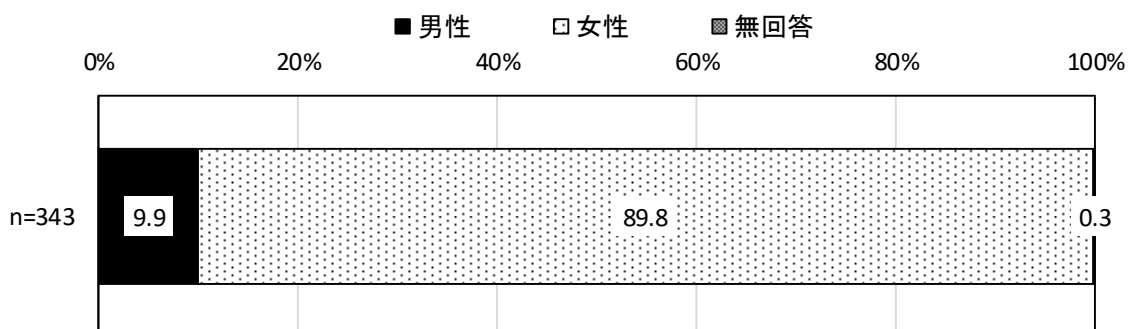


図 115 回答者の性別

回答者の性別は、「女性」が 89.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「男性」が 9.9%となっている。

回答者の年齢

問2-2 あなたの性別、年齢、あなたの世帯の人数、そのうちのお子さんの人数と年齢を教えてください。

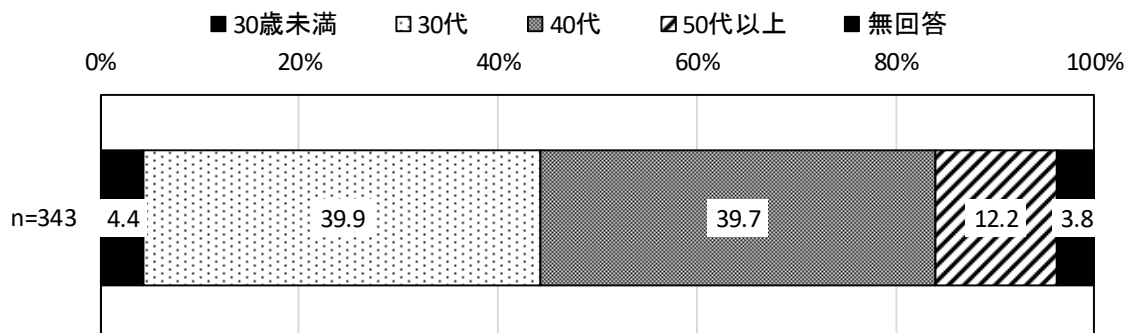
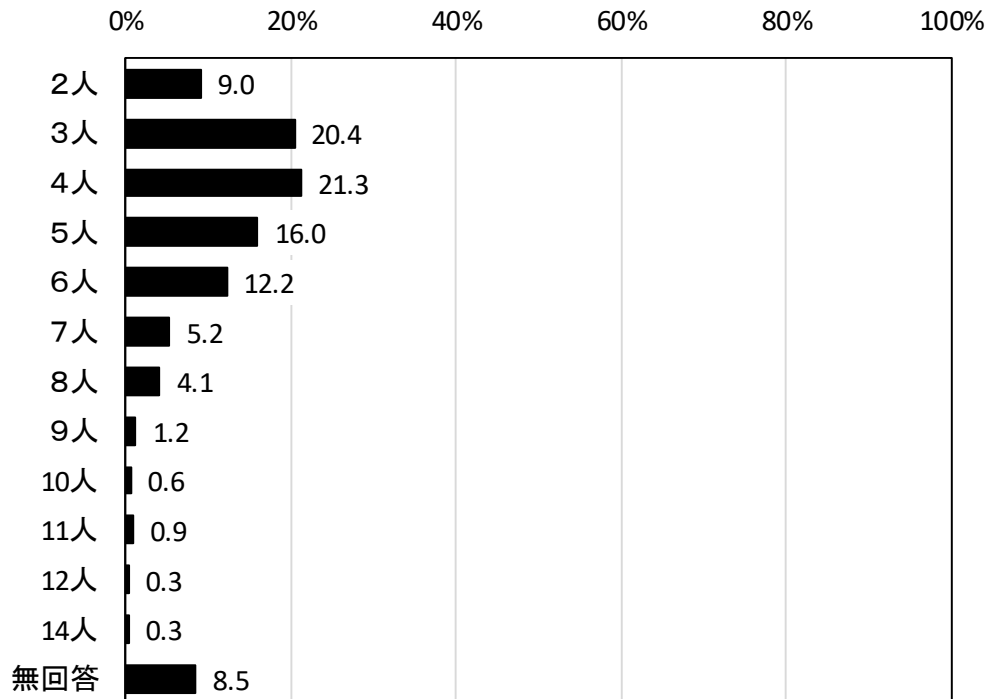


図 116 回答者の年齢

回答者の年齢は、「30代」が39.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「40代」が39.7%、「50代以上」が12.2%となっている。

世帯人数

問2-3 あなたの性別、年齢、あなたの世帯の人数、そのうちのお子さんの人数と年齢を教えてください。



n=343

図 117 世帯人数

世帯人数は、「4人」が21.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「3人」が20.4%、「5人」が16.0%となっている。

子どもの人数

問2-4 あなたの性別、年齢、あなたの世帯の人数、そのうちのお子さんの人数と年齢を教えてください。

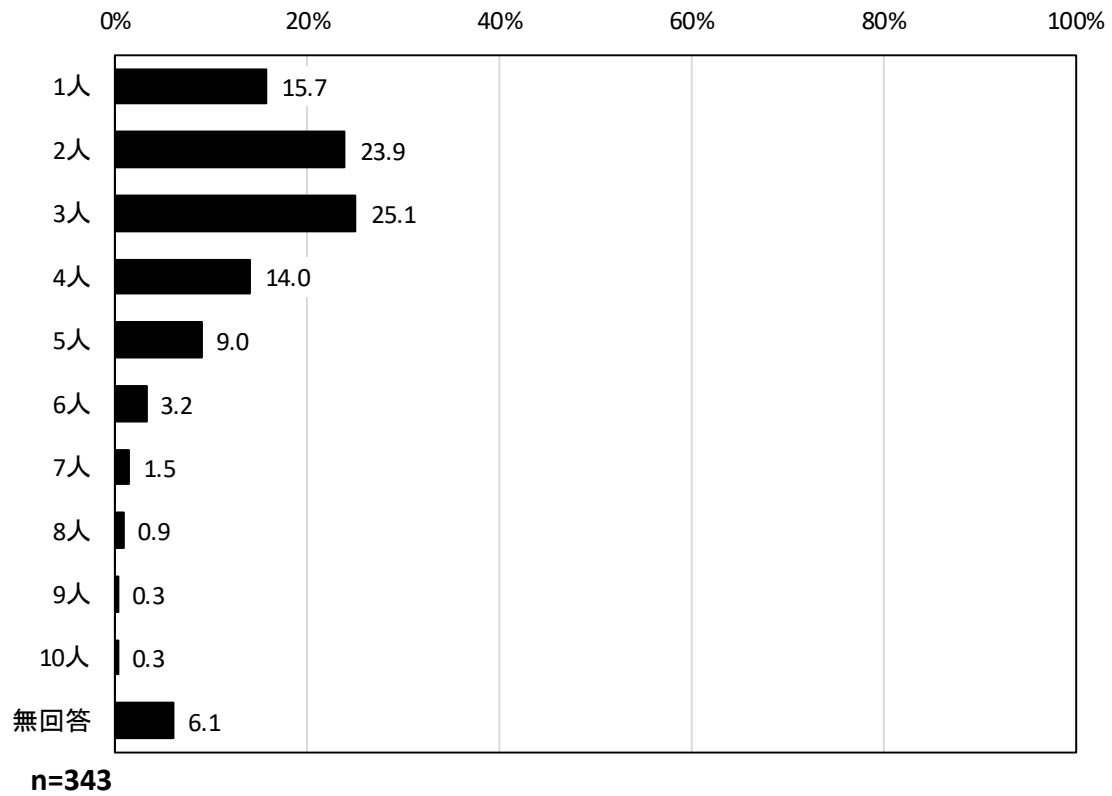


図 118 子どもの人数

子どもの人数は、「3人」が25.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「2人」が23.9%、「1人」が15.7%となっている。

お子さんからみた同居家族の構成

問3 お子さんから見た同居家族の構成について教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

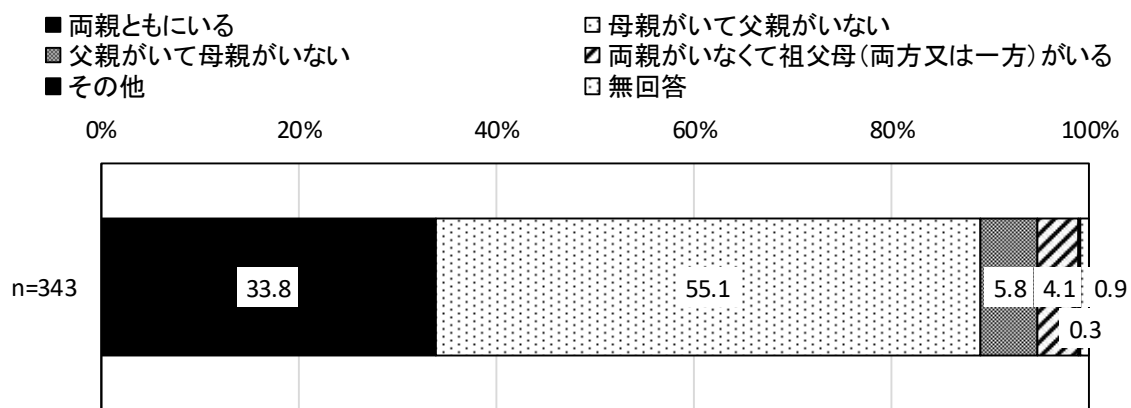


図 119 お子さんからみた同居家族の構成

同居家族の構成は、「母親がいて父親がいない」が 55.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「両親ともにいる」が 33.8%、「父親がいて母親がいない」が 5.8%となっている。

(2) 経済状況

前年（2017年）の世帯収入の合計額

問5 前年（2017年）について、お子さんと生計を共にしている方全員の収入を合わせた「世帯の収入（年間のボーナス含む手取額）」を教えてください。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

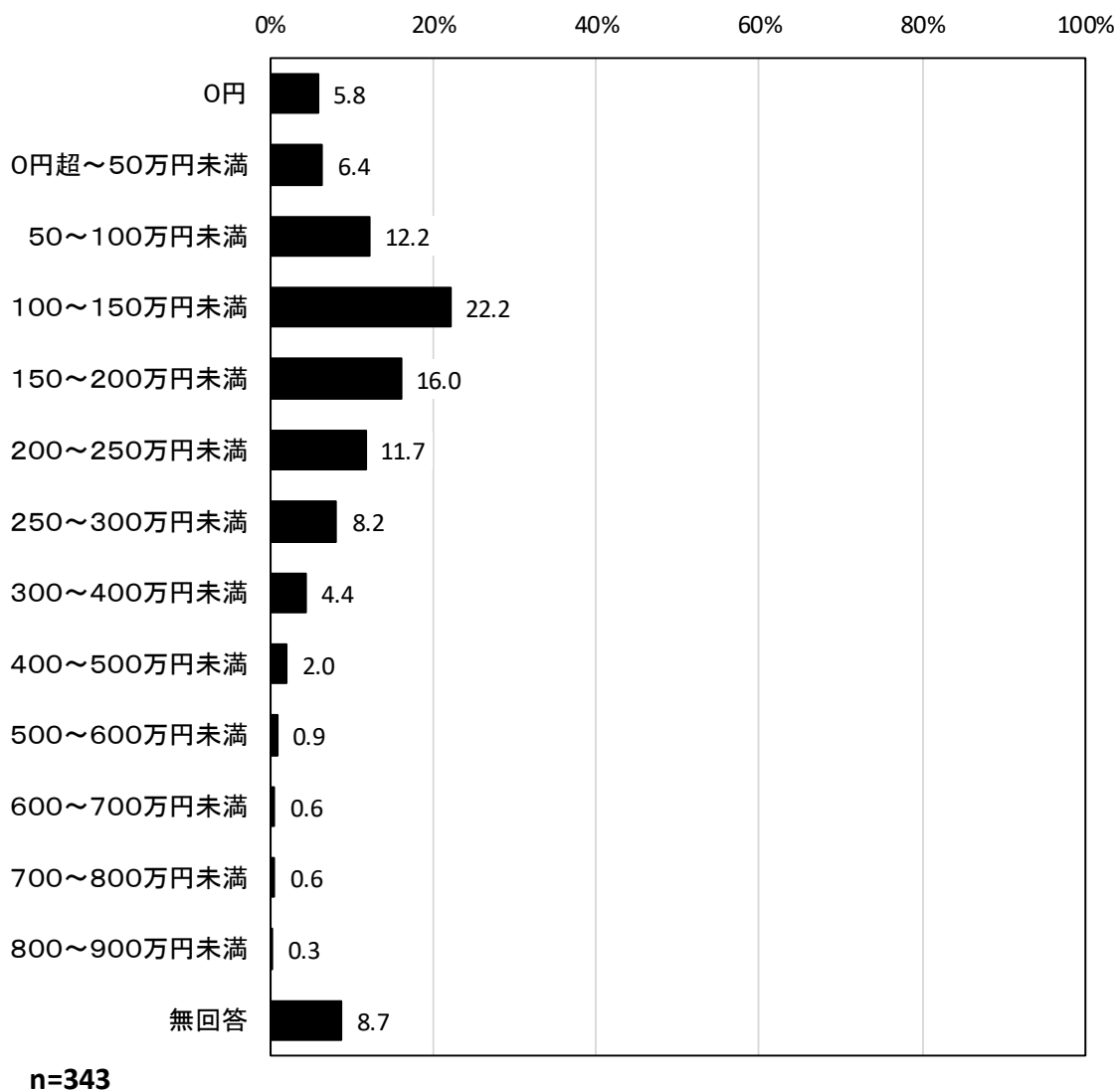
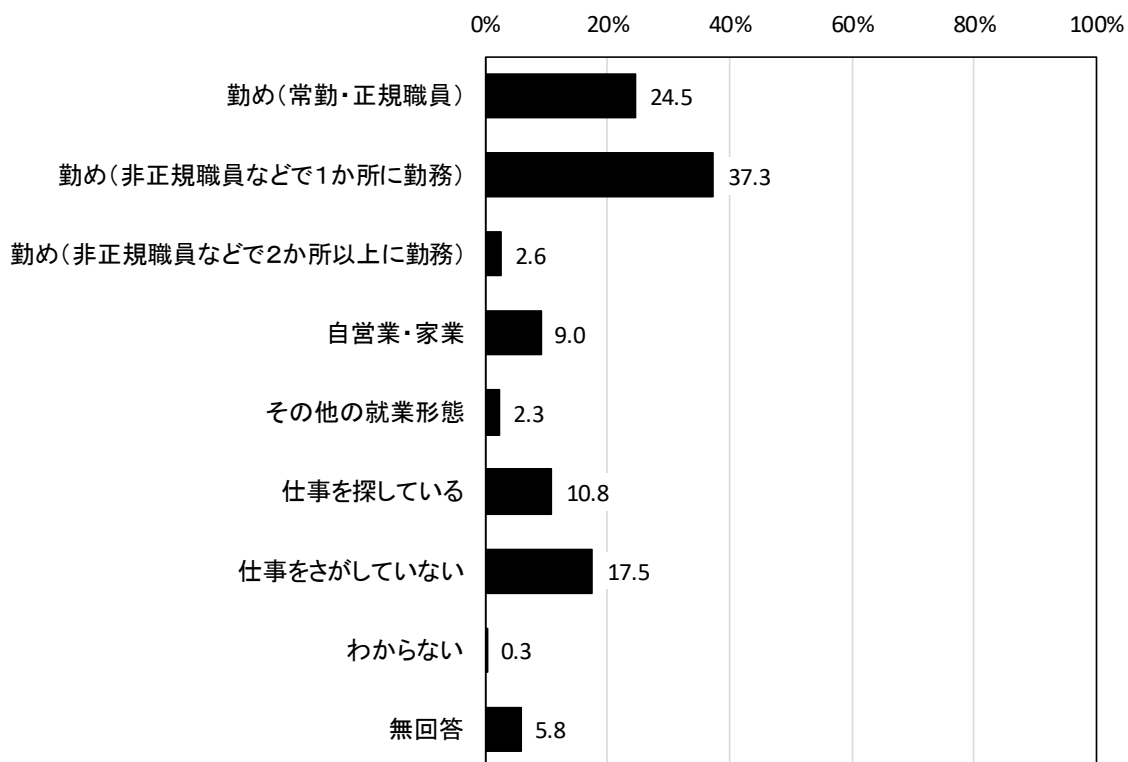


図 120 前年（2017年）の世帯収入の合計額

前年の世帯収入の合計額は、「100～150万円未満」が22.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「150～200万円未満」が16.0%、「50～100万円未満」が12.2%となっている。

生計を支えている者の現在の就業状況

問8 お子さんの世帯で主に生計を支えている方の現在の就業状況についておたずねします。(複数箇所にお勤めされている方は当てはまる番号をすべて選んでください。)



n=343

図 121 生計を支えている者の現在の就業状況

就業状況は、「勤め(非正規職員などで1か所に勤務)」が37.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「勤め(常勤・正規職員)」が24.5%、「仕事をさがしていない」が17.5%となっている。

仕事を探していない理由

問8-1 問8で「7. 仕事を探していない」を選択した方にお聞きします。その主な理由を選んでください。

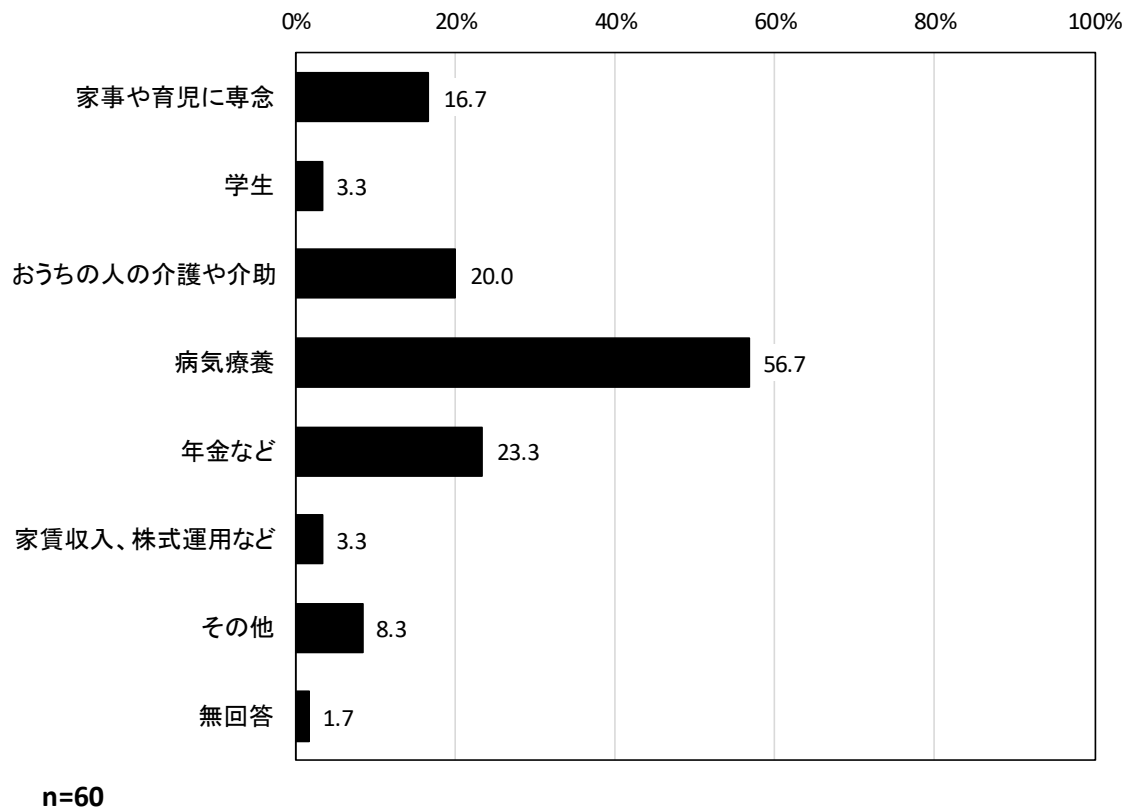


図 122 仕事を探していない理由

仕事を探していない理由は、「病気療養」が 56.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「年金など」が 23.3%、「おうちの人の介護や介助」が 20.0%となっている。

経済的な理由で経験したこと

問6 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。(おむね半年の間でお考えください。)(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

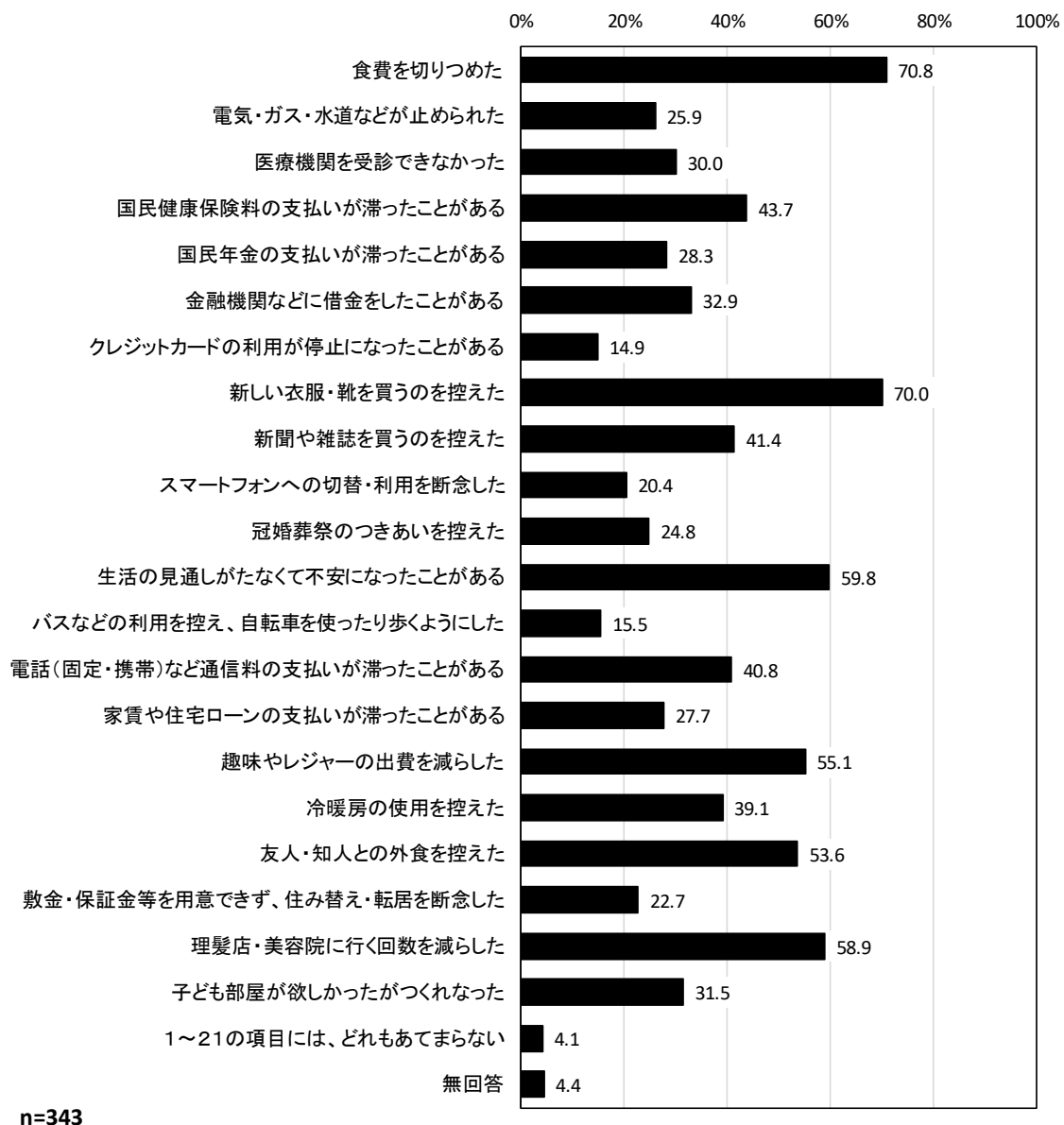


図 123 経済的な理由で経験したこと (注: 図 277 に再掲)

「食費を切りつめた」が 70.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が 70.0%、「生活の見通しがたなくて不安になったことがある」が 59.8%となっている。

経済的な理由で子どもにしてあげられなかった経験

問7 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。(おむね1年の間でお考えください。)(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

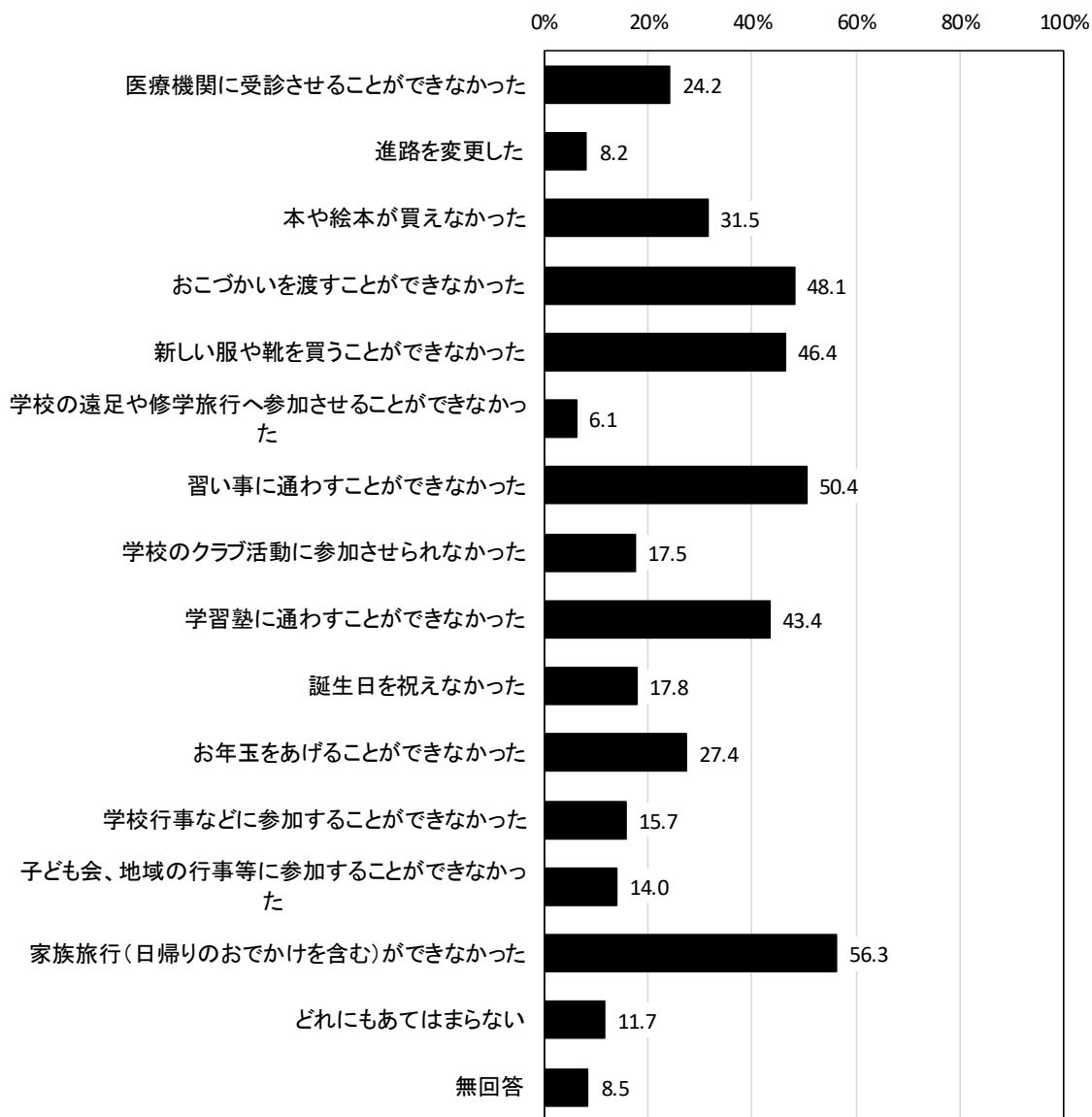


図 124 経済的な理由で子どもにしてあげられなかった経験 (注: 図 280 に再掲)

「家族旅行(日帰りのおでかけを含む)ができませんでした」が 56.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「習い事に通わすことができなかった」が 50.4%、「おこづかいを渡すことができなかった」が 48.1%となっている。

児童手当

問4① 児童手当（あてはまる番号1つに○をつけてください）

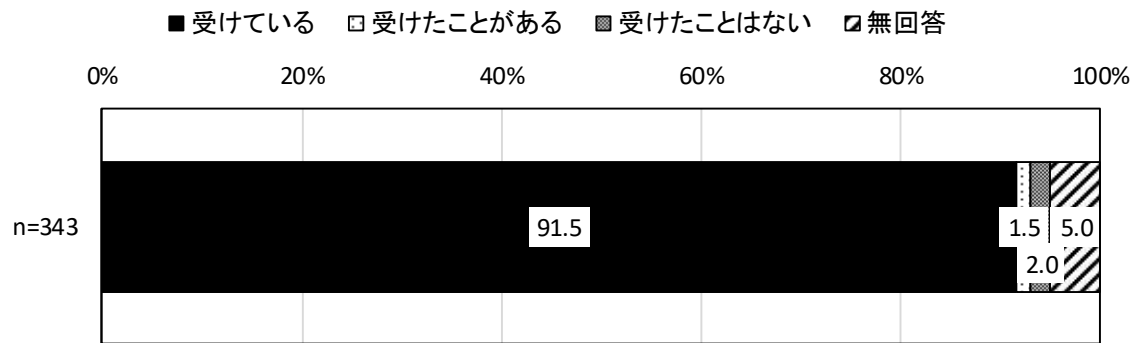


図 125 児童手当

「受けている」が 91.5%でもっとも回答割合が高く、「受けたことはない」が 2.0%となっている。

就学援助費

問4② 就学援助費（あてはまる番号1つに○をつけてください）

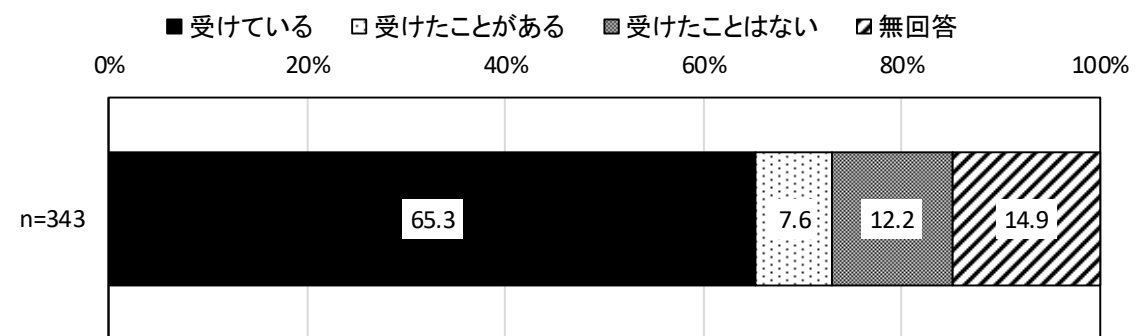


図 126 就学援助費（注：図 282 に再掲）

「受けている」が 65.3%でもっとも回答割合が高く、「受けたことはない」が 12.2%となっている。

児童扶養手当

問 4 ③ 児童扶養手当 (あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

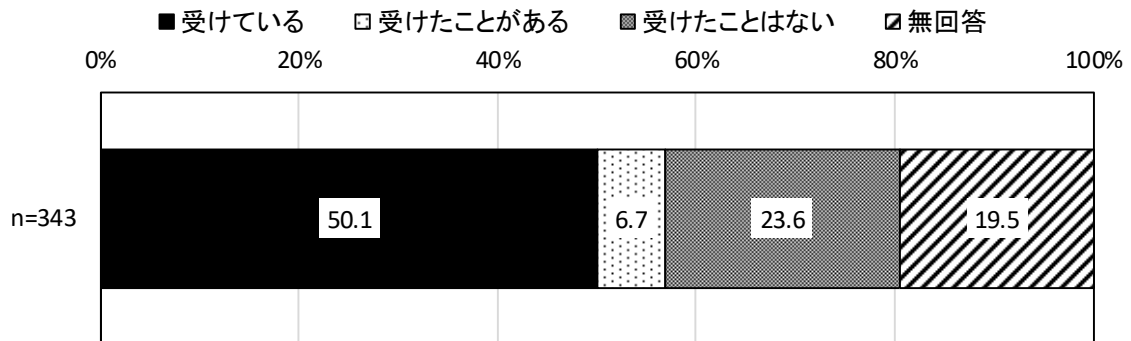


図 127 児童扶養手当

「受けている」が 50.1%でもっとも回答割合が高く、「受けたことはない」が 23.6%となっている。

障がいや難病の手当

問 4 ④ 障がいや難病の手当 (あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

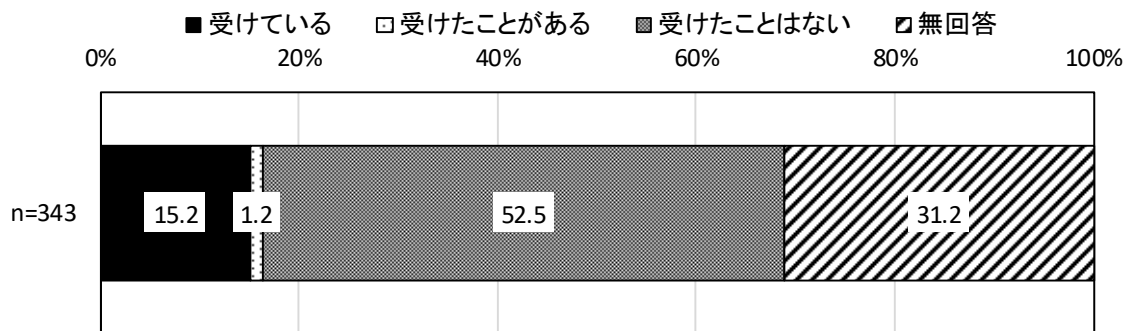


図 128 障がいや難病の手当

「受けたことはない」が 52.5%でもっとも回答割合が高く、「受けている」が 15.2%となっている。

生活保護

問 4 ⑤ 生活保護（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

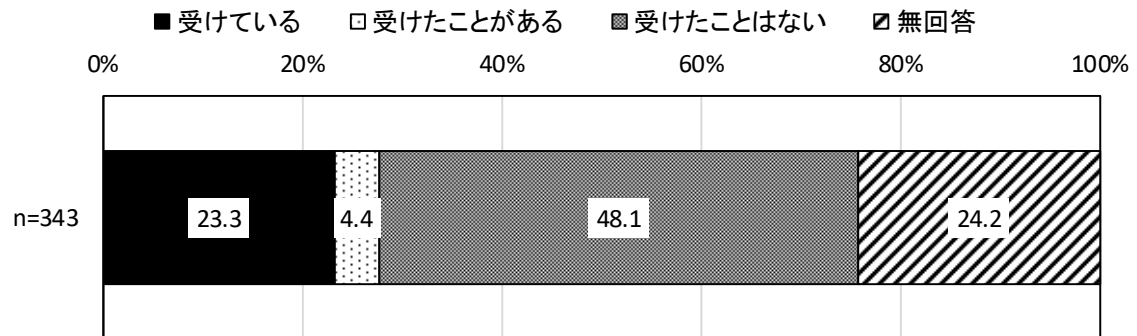


図 129 生活保護（注：図 284 に再掲）

「受けたことはない」が 48.1%でもっとも回答割合が高く、「受けている」が 23.3%となっている。

公的年金（老齢年金）

問 4 ⑥ 公的年金（老齢年金）（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

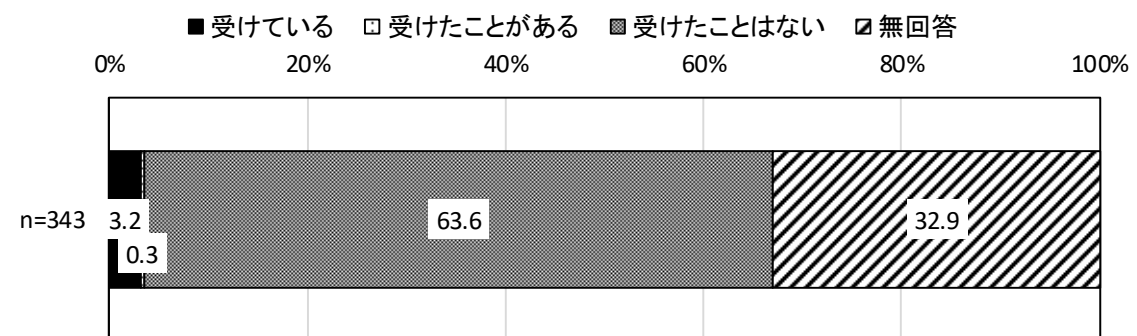


図 130 公的年金（老齢年金）

「受けたことはない」が 63.6%でもっとも回答割合が高く、「受けている」が 3.2%となっている。

公的年金（遺族年金、障害年金）

問4⑦ 公的年金（遺族年金、障害年金）（あてはまる番号1つに○をつけてください）

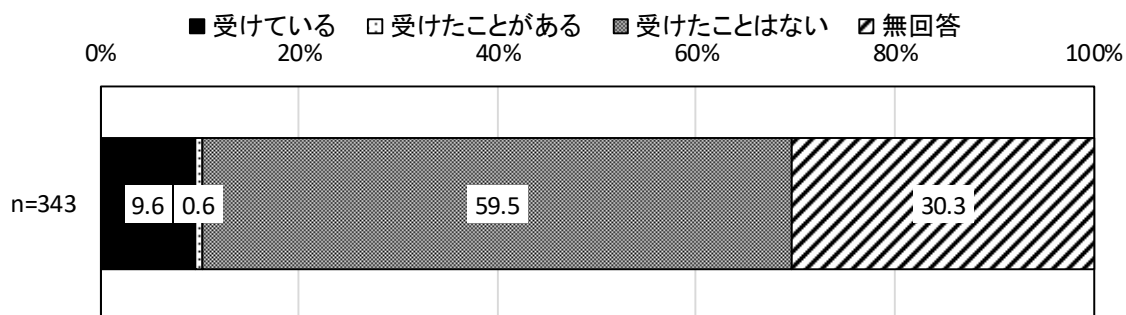


図 131 公的年金（遺族年金、障害年金）

「受けたことはない」が59.5%でもっとも回答割合が高く、「受けている」が9.6%となっている。

雇用保険（失業保険）

問4⑧ 雇用保険（失業保険）（あてはまる番号1つに○をつけてください）

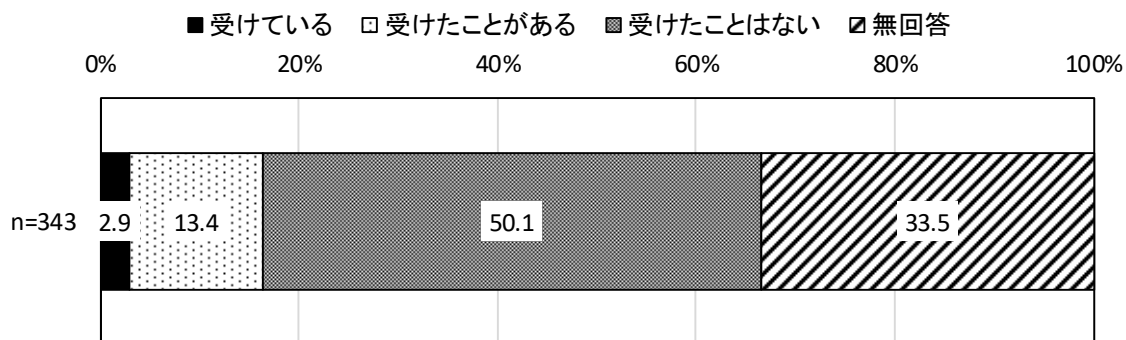


図 132 雇用保険（失業保険）

「受けたことはない」が50.1%でもっとも回答割合が高く、「受けたことがある」が13.4%、「受けている」が2.9%となっている。

養育費

問4⑨ 養育費 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

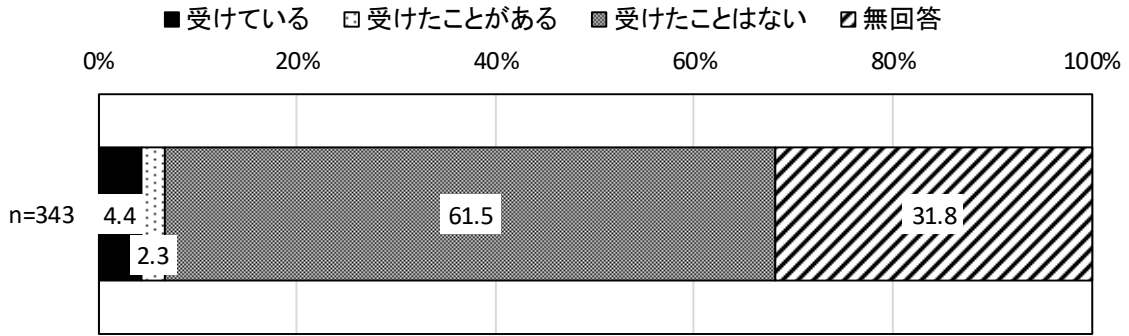


図 133 養育費

「受けたことはない」が61.5%でもっとも回答割合が高く、「受けている」が4.4%となっている。

親・親族からの仕送り

問4⑩ 親・親族からの仕送り (あてはまる番号1つに○をつけてください)

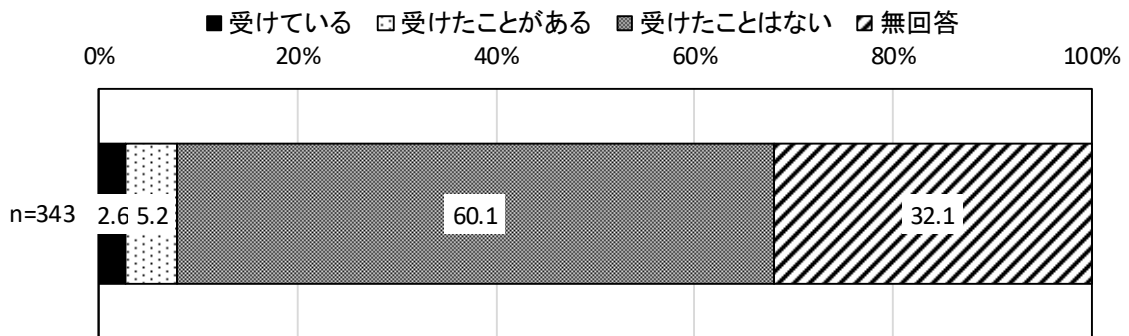


図 134 親・親族からの仕送り

「受けたことはない」が60.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「受けたことがある」が5.2%、「受けている」が2.6%となっている。

退職金

問 4 ⑪ 退職金 (あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

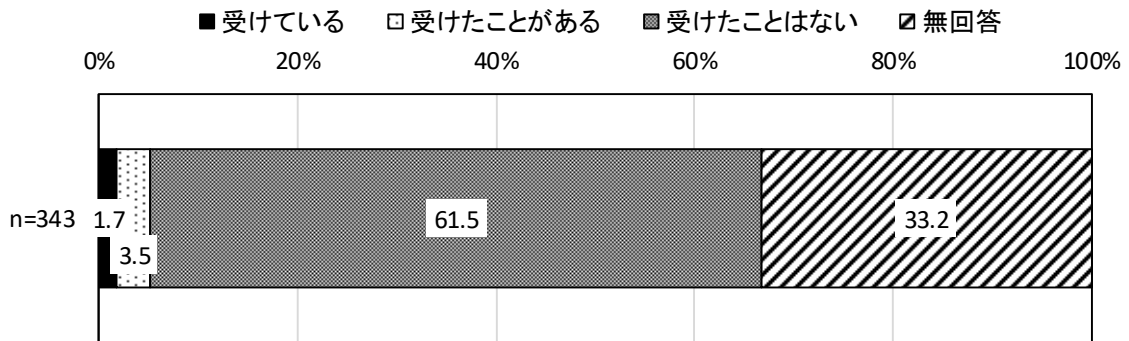


図 135 退職金

「受けたことはない」が 61.5%でもっとも回答割合が高く、「受けたことがある」が 3.5%となっている。

その他、株式配当などの副収入

問 4 ⑫ その他、株式配当などの副収入 (あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

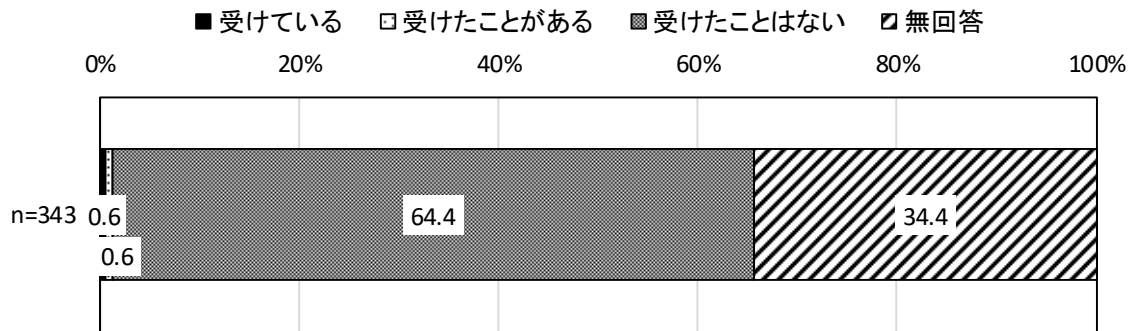


図 136 その他、株式配当などの副収入

「受けたことはない」が 64.4%でもっとも回答割合が高く、「受けている」と「受けたことがある」がそれぞれ 0.6%となっている。

2. 単純集計から見た分析結果

(1) 支援に関すること

支援員と会いはじめた時期

問9 あなたは支援員にいつから会っていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

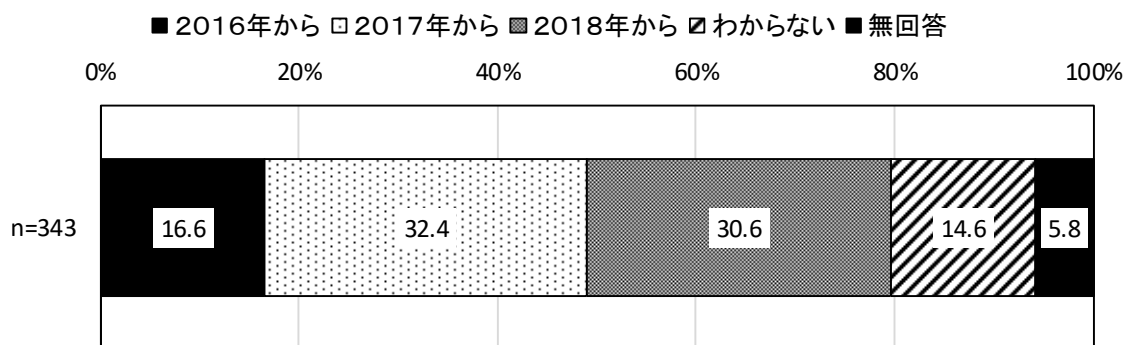


図 137 支援員と会いはじめた時期

「2017年から」が32.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「2018年から」が30.6%、「2016年から」が16.6%となっている。

支援員と会った回数

問10 あなたはこれまでに支援員と何回会いましたか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

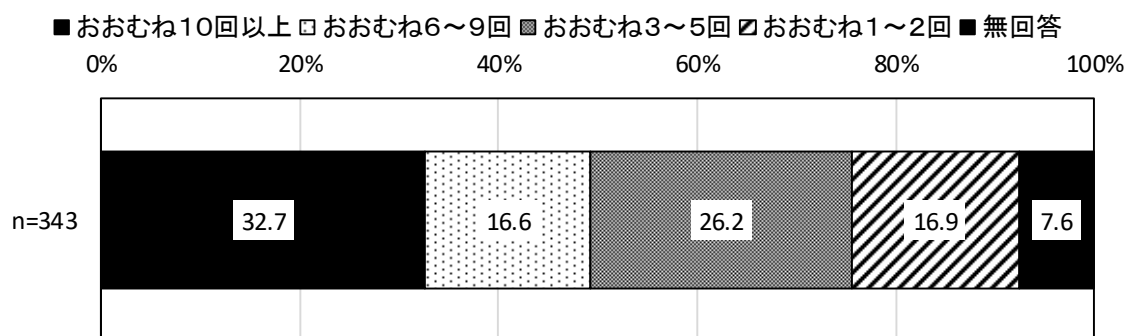


図 138 支援員と会った回数

「おおむね10回以上」が32.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「おおむね3~5回」が26.2%、「おおむね1~2回」が16.9%となっている。

支援員と会うようになって良かったと思うか

問22 支援員と会うようになって良かったと思いますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

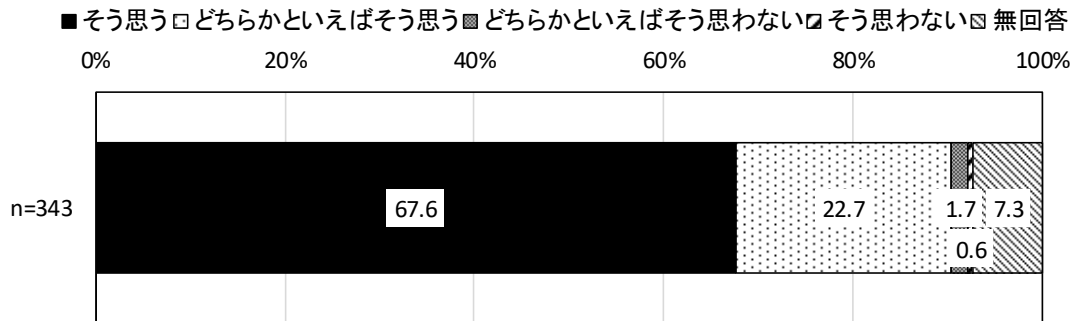


図 139 支援員と会うようになって良かったと思うか

「そう思う」が 67.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 22.7%となっている。

支援員からのサポートで役に立った分野

問18-1 あなたは支援員からのどの分野のサポートが役立ちましたか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

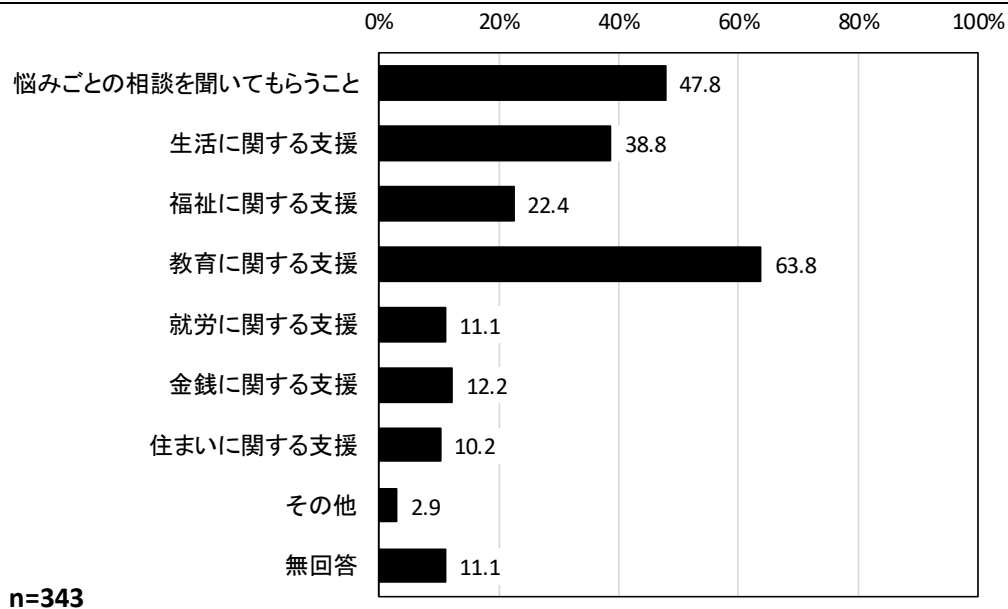


図 140 支援員からのサポートで役に立った分野

「教育に関する支援」が 63.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「悩みごとの相談を聞いてもらうこと」が 47.8%、「生活に関する支援」が 38.8%となっている。

生活に関して受けた支援

問18-2 問18-1で「2. 生活に関する支援」に○をつけた方にお聞きいたします。
生活に関する支援で、以下のうちで支援を受けたものすべてに○をつけてください。

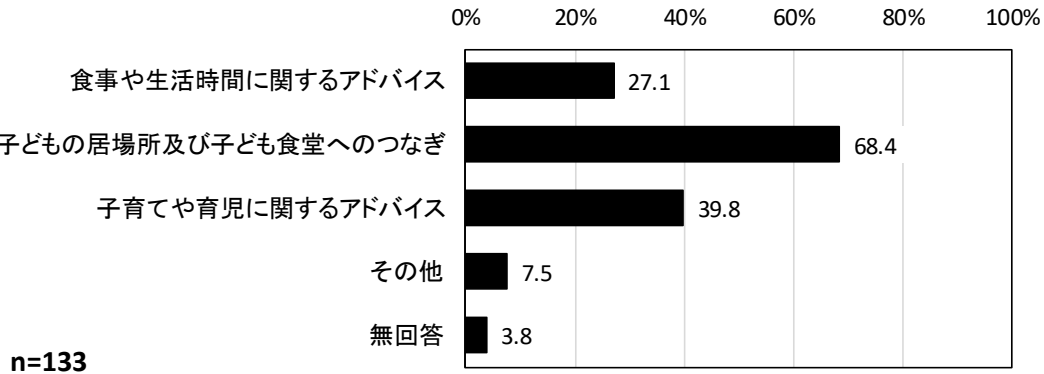


図 141 生活に関して受けた支援

「子どもの居場所及び子ども食堂へのつながり」が 68.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「子育てや育児に関するアドバイス」が 39.8%、「食事や生活時間に関するアドバイス」が 27.1%となっている。

福祉に関して受けた支援

問18-3 問18-1で「3. 福祉に関する支援」に○をつけた方にお聞きいたします。
福祉に関する支援で、以下のうちで支援を受けたものすべてに○をつけてください。

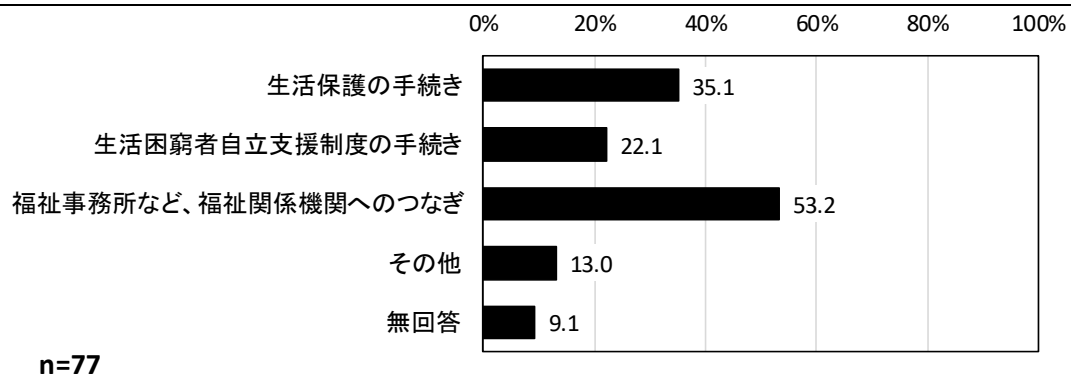


図 142 福祉に関して受けた支援

「福祉事務所など、福祉関係機関へのつながり」が 53.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「生活保護の手続き」が 35.1%、「生活困窮者自立支援制度の手続き」が 22.1%となっている。

教育に関して受けた支援

問18-4 問18-1で「4. 教育に関する支援」に○をつけた方にお聞きいたします。
教育に関する支援で、以下のうちで支援を受けたものすべてに○をつけてください。

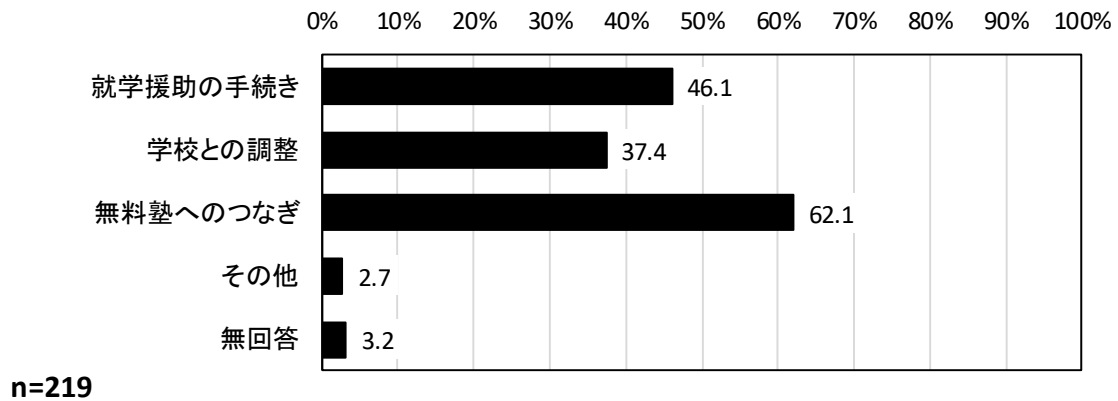


図 143 教育に関して受けた支援

「無料塾へのつなぎ」が 62.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「就学援助の手続き」が 46.1%、「学校との調整」が 37.4%となっている。

就労に関して受けた支援

問18-5 問18-1で「5. 就労に関する支援」に○をつけた方にお聞きいたします。
就労に関する支援で、以下のうちで支援を受けたものすべてに○をつけてください。

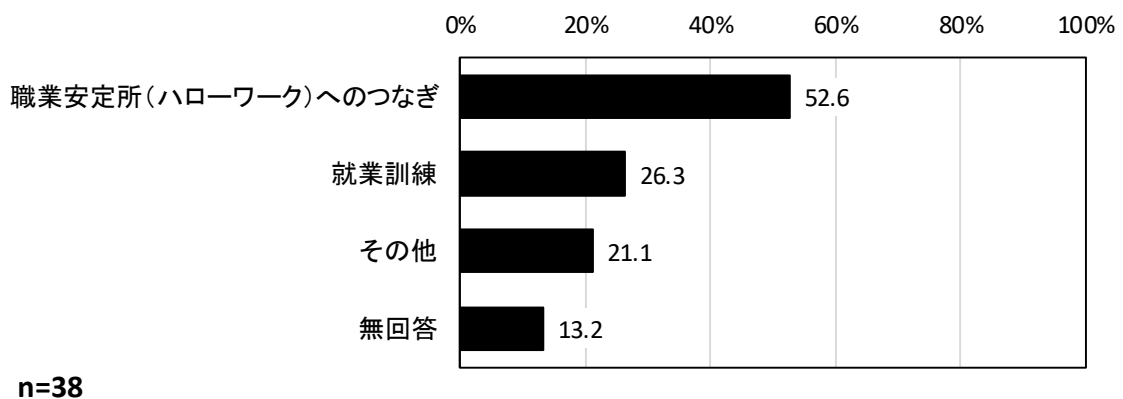


図 144 就労に関して受けた支援

「職業安定所(ハローワーク)へのつなぎ」が 52.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「就業訓練」が 26.3%、「その他」が 21.1%となっている。

金銭に関して受けた支援

問18-6 問18-1で「6. 金銭に関する支援」に○をつけた方にお聞きいたします。金銭に関する支援で、以下のうちで支援を受けたものすべてに○をつけてください。

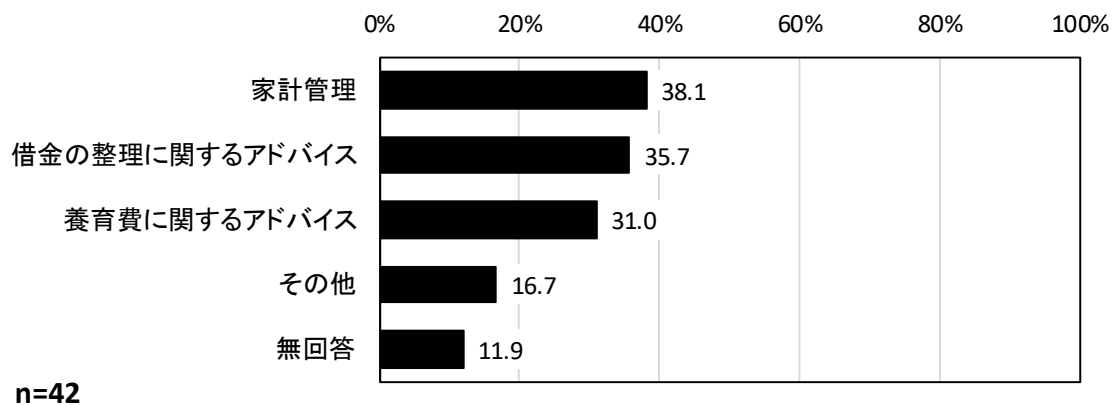


図 145 金銭に関して受けた支援

「家計管理」が 38.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「借金の整理に関するアドバイス」が 35.7%、「養育費に関するアドバイス」が 31.0%となっている。

住まいに関して受けた支援

問18-7 問18-1で「7. 住まいに関する支援」に○をつけた方にお聞きいたします。住まいに関する支援で、以下のうちで支援を受けたものすべてに○をつけてください。

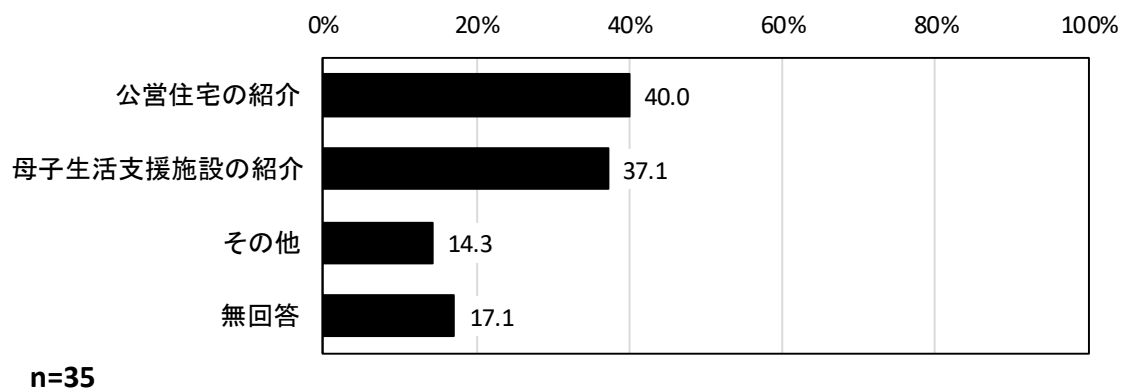


図 146 住まいに関して受けた支援

「公営住宅の紹介」が 40.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「母子生活支援施設の紹介」が 37.1%となっている。

支援員サービスを利用するようになってからの子どもの変化

問 1 1 支援員サービスを利用するようになってからのお子さんの変化について①～⑨まではあてはまる番号 1 つに○をつけてください。⑩は、以前と現在でそれぞれあてはまる番号を書いてください。

問 1 1 - ①. 同じ時刻に起きる

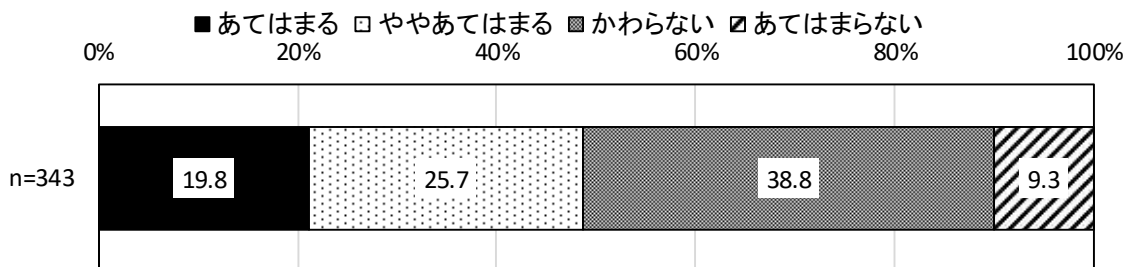


図 147 同じ時刻に起きる

「かわらない」が 38.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が 25.7%、「あてはまる」が 19.8%となっている。

問 1 1 - ②. 朝食を食べる

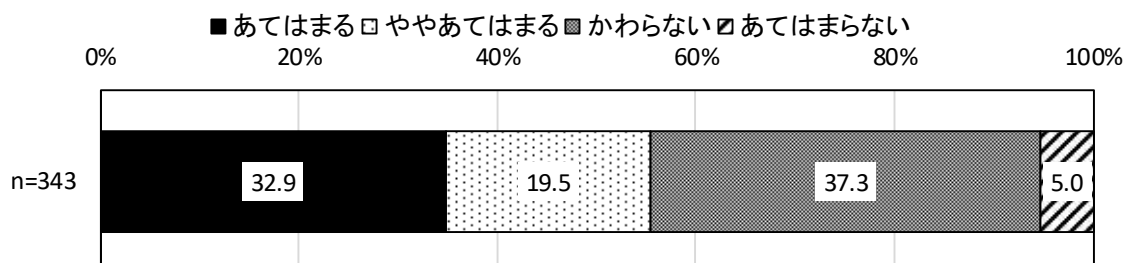


図 148 朝食を食べる

「かわらない」が 37.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「あてはまる」が 32.9%、「ややあてはまる」が 19.5%となっている。

問 1 1 -③. 健康状態

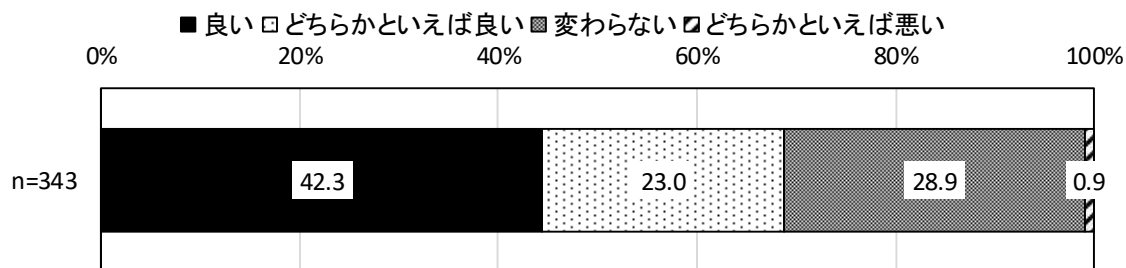


図 149 健康状態

「良い」が 42.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「かわらない」が 28.9%、「どちらかといえば良い」が 23.0%となっている。

問 1 1 -④. 授業時間以外にも勉強する

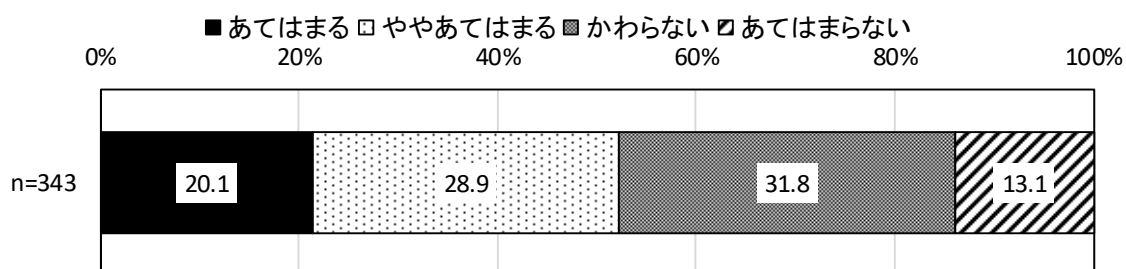


図 150 授業時間以外にも勉強する

「かわらない」が 31.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が 28.9%、「あてはまる」が 20.1%となっている。

問 1 1 -⑤. 授業が楽しい、勉強が面白いと思う、やる気が出る

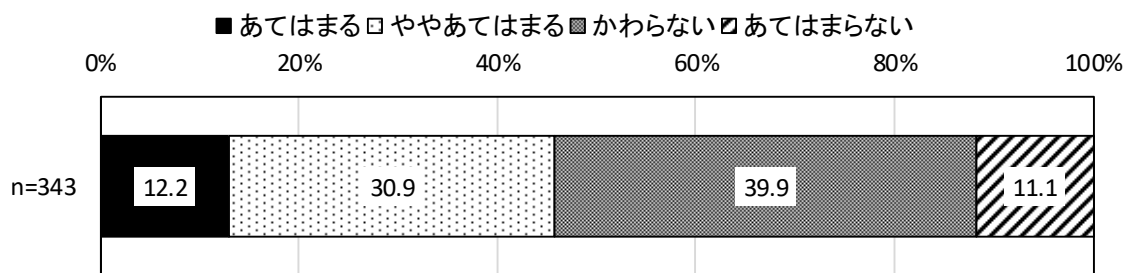


図 151 授業が楽しい、勉強が面白いと思う、やる気が出る

「かわらない」が 39.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が 30.9%、「あてはまる」が 12.2%となっている。

問 1 1 -⑥. お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する

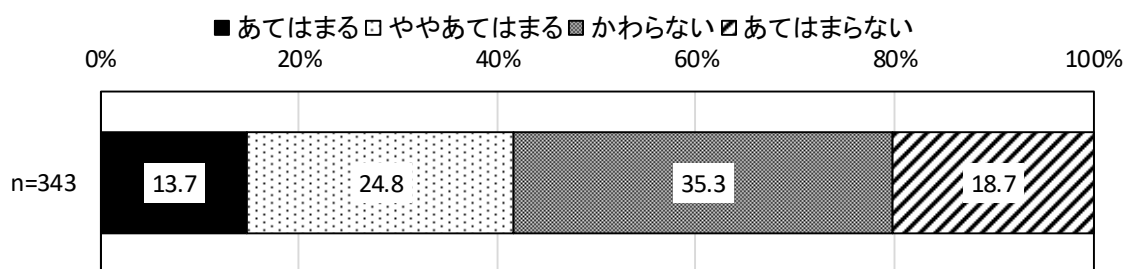


図 152 お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する

「かわらない」が 35.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が 24.8%、「あてはまらない」が 18.7%となっている。

問 1 1 - ⑦. 勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる人がいる

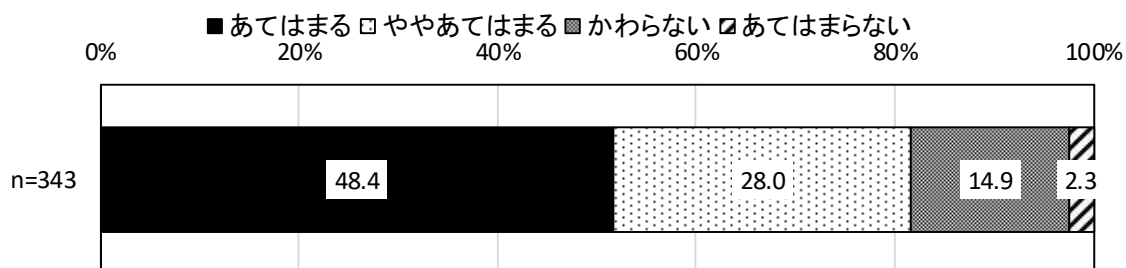


図 153 勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる人がいる

「あてはまる」が 48.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が 28.0%、「かわらない」が 14.9%となっている。

問 1 1 - ⑧. 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

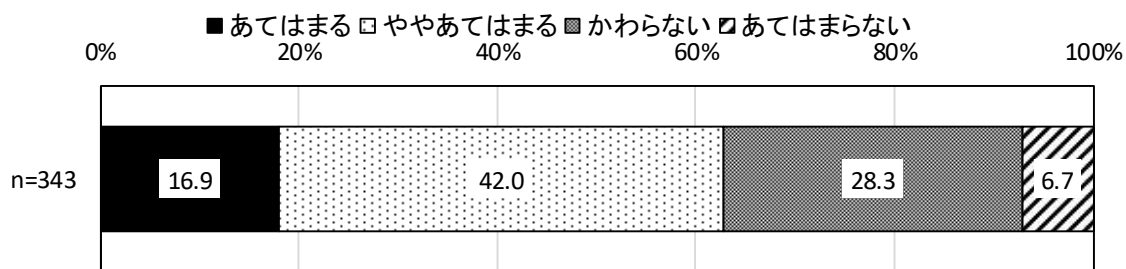


図 154 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

「ややあてはまる」が 42.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「かわらない」が 28.3%、「あてはまる」が 16.9%となっている。

問 1 1 - ⑨. 自分の将来の夢や目標を持っている

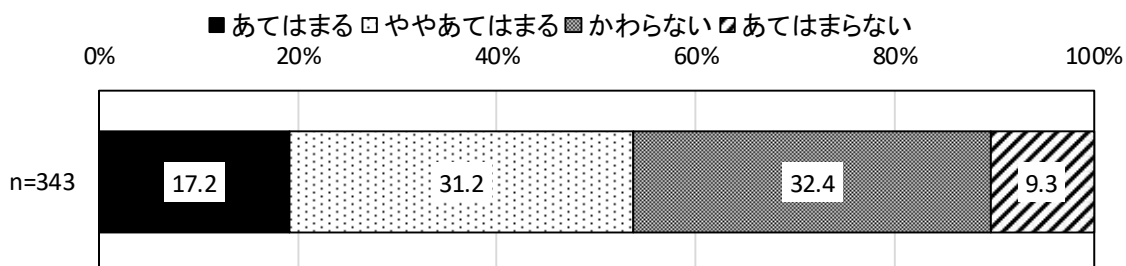


図 155 自分の将来の夢や目標を持っている

「かわらない」が 32.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が 31.2%、「あてはまる」が 17.2%となっている。

問 1 1 -⑩. 放課後どこで過ごしますか

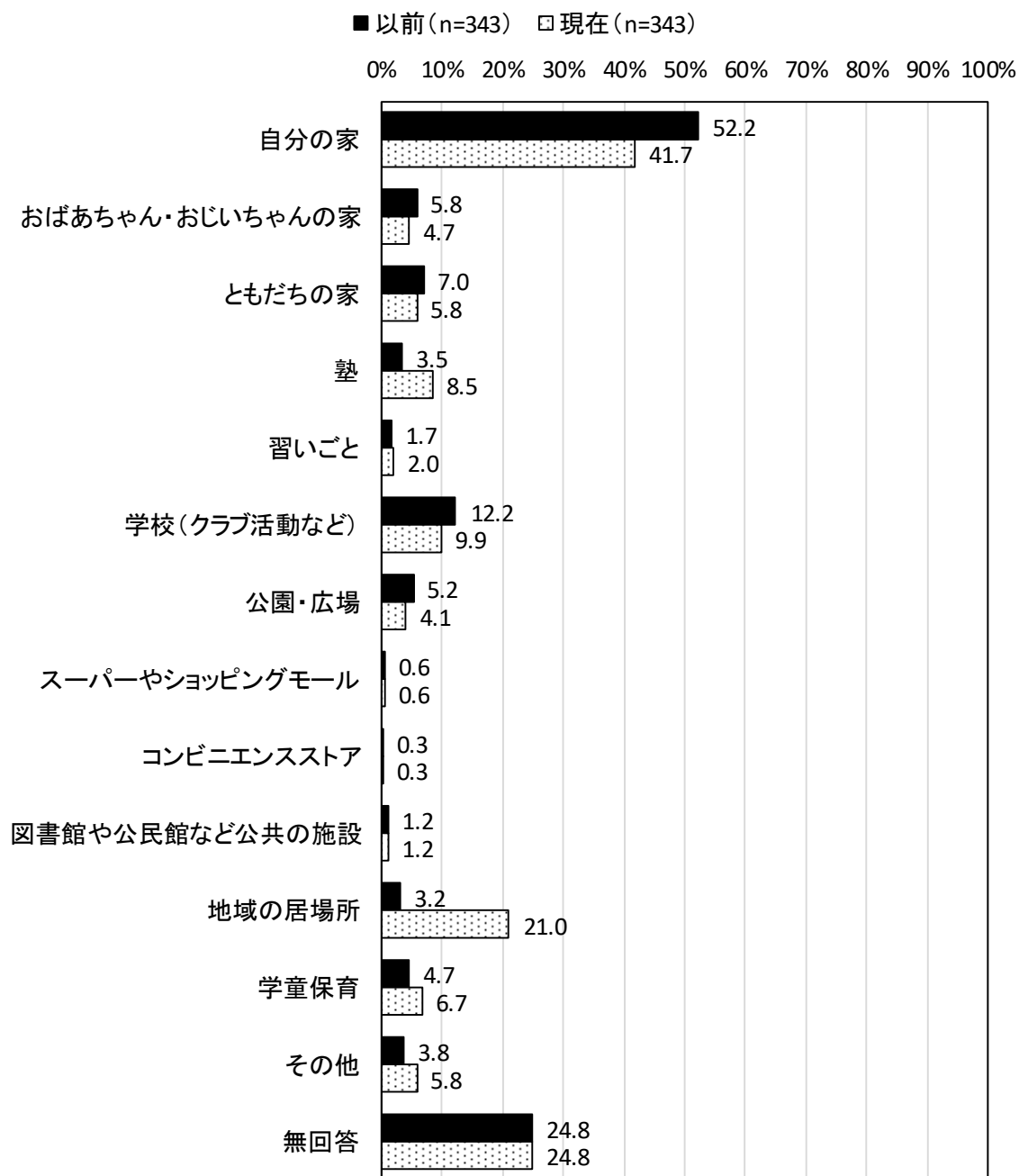


図 156 放課後どこで過ごしますか

支援員に会う前は、「自分の家」が 52.2%でもっとも回答割合が高く、「学校（クラブ活動など）」が 12.2%となっている。現在では、「自分の家」が 41.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「地域の居場所」が 21.0%となっている。

食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況

問19 あなたのお子さんは、地域で食事の提供や学習の支援などのサービスを利用していますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

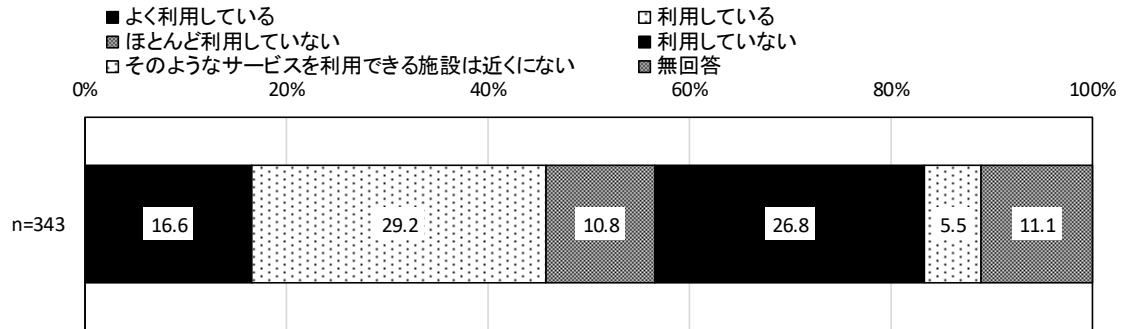


図 157 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況

「利用している」が 29.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用していない」が 26.8%、「よく利用している」が 16.6%となっている。

食事の提供や学習の支援などのサービスを利用するようになってからの子どもの変化

問20 問19で「1. よく利用している」「2. 利用している」に○をつけた方にお聞きします。利用するようになってからのお子さんの変化について①～⑨まではあてはまる番号1つに○をつけてください。⑩は、以前と現在でそれぞれあてはまる番号を書いてください。

問20-① 同じ時刻に起きる

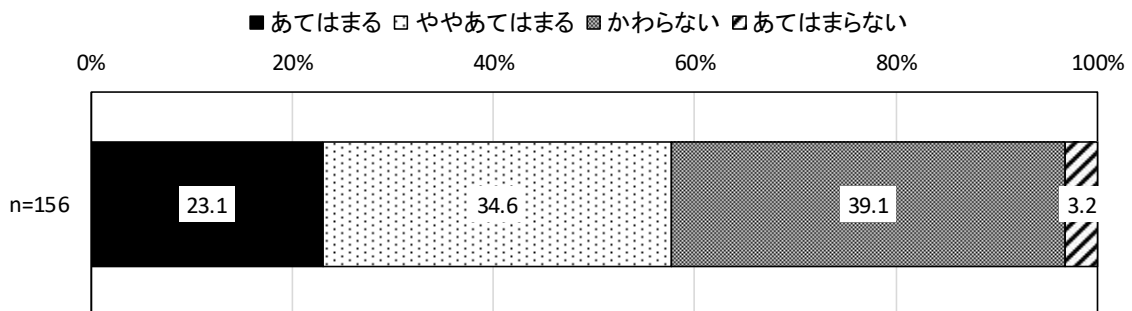


図 158 同じ時刻に起きる

「かわらない」が 39.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が 34.6%、「あてはまる」が 23.1%となっている。

問20-② 朝食を食べる

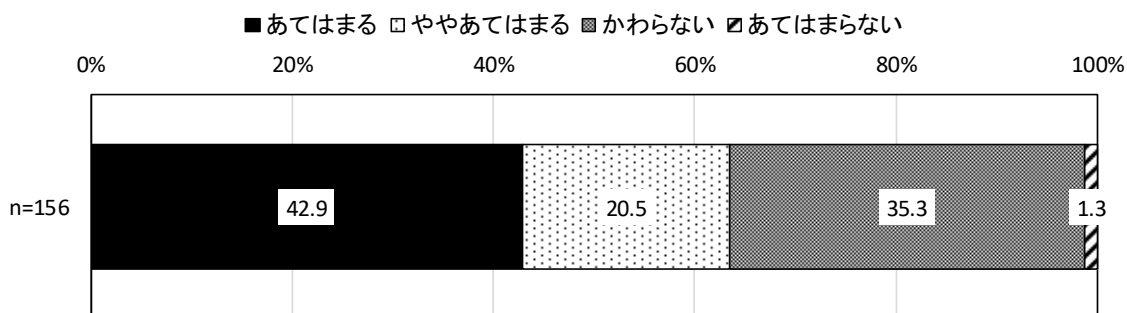


図 159 朝食を食べる

「あてはまる」が 42.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「かわらない」が 35.3%、「ややあてはまる」が 20.5%となっている。

問20-③ 健康状態

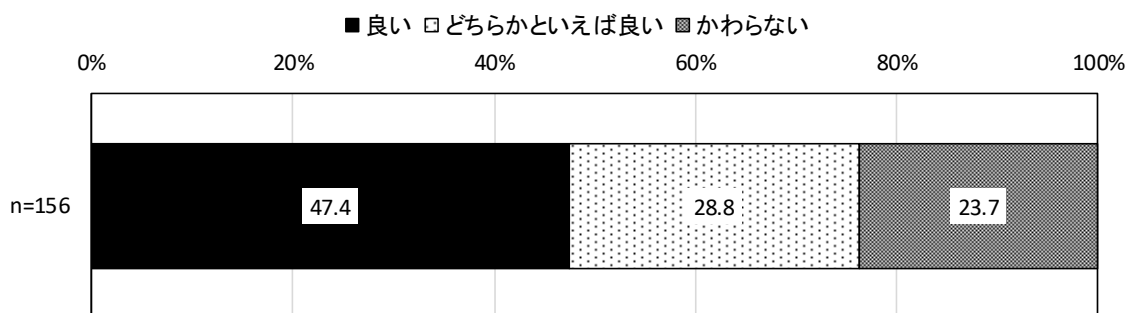


図 160 健康状態

「良い」が 47.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえば良い」が 28.8%、「かわらない」が 23.7%となっている。

問20-④ 授業時間以外にも勉強する

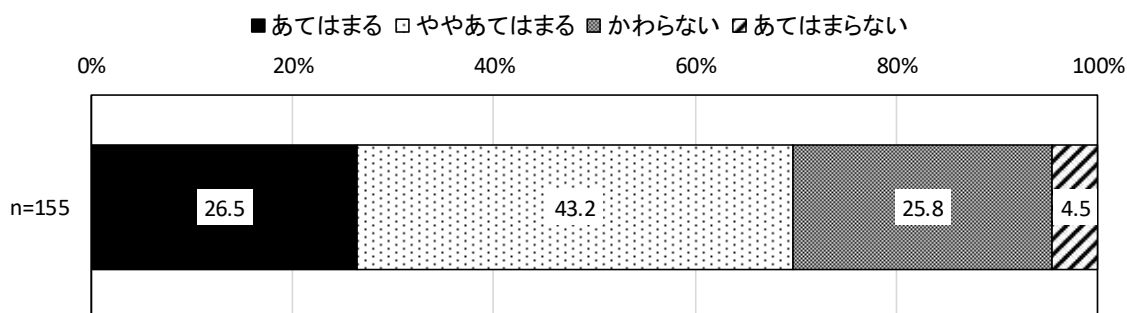


図 161 授業時間以外にも勉強する

「ややあてはまる」が 43.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「あてはまる」が 26.5%、「かわらない」が 25.8%となっている。

問20-⑤ 授業が楽しい、勉強が面白いと思う、やる気が出る

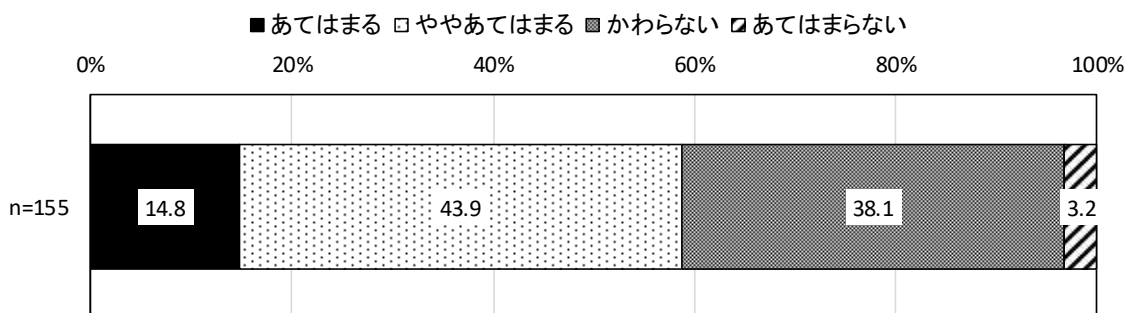


図 162 授業が楽しい、勉強が面白いと思う、やる気が出る

「ややあてはまる」が 43.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「かわらない」が 38.1%、「あてはまる」が 14.8%となっている。

問20-⑥ お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する

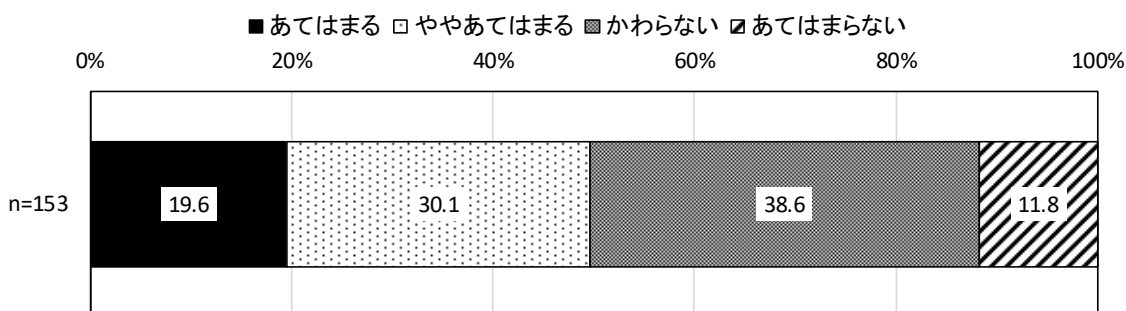


図 163 お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する

「かわらない」が 38.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が 30.1%、「あてはまる」が 19.6%となっている。

問20-⑦ 勉強やスポーツをがんばったときに、ほめてくれる人がいる

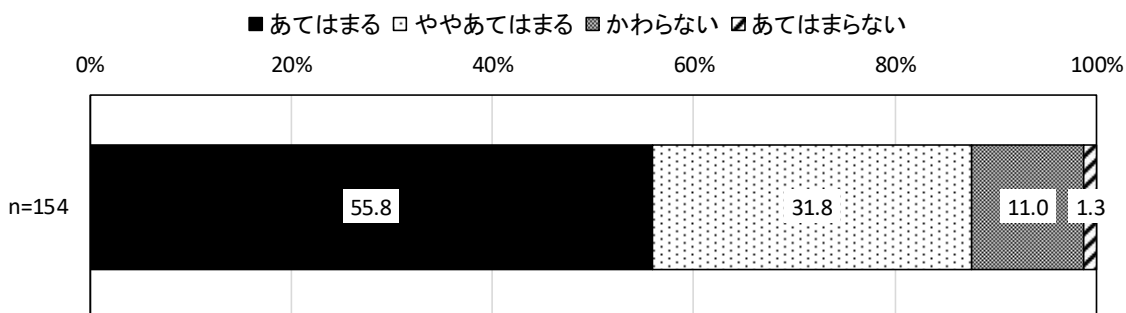


図 164 勉強やスポーツをがんばったときに、ほめてくれる人がいる

「あてはまる」が 55.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が 31.8%、「かわらない」が 11.0%となっている。

問20-⑧ 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

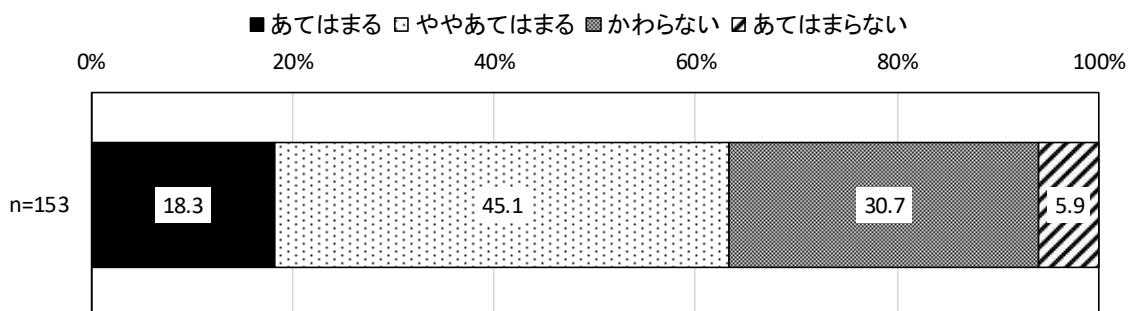


図 165 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

「ややあてはまる」が45.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「かわらない」が30.7%、「あてはまる」が18.3%となっている。

問20-⑨ 自分の将来の夢や目標を持っている

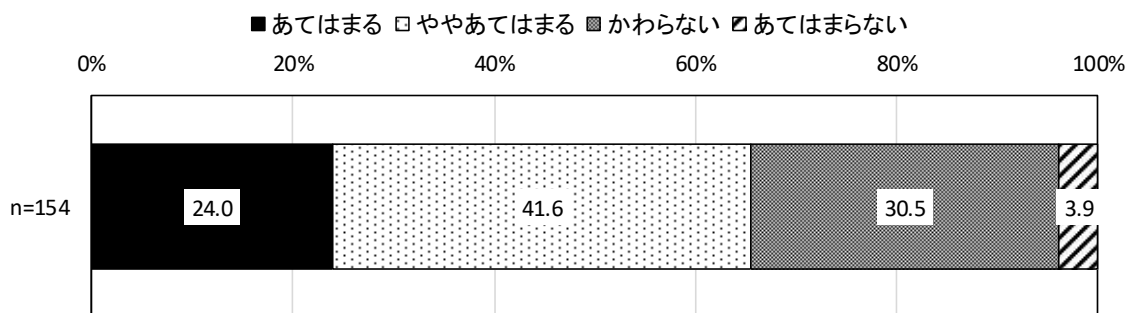


図 166 自分の将来の夢や目標を持っている

「ややあてはまる」が41.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「かわらない」が30.5%、「あてはまる」が24.0%となっている。

問20-⑩ 放課後どこで過ごしますか

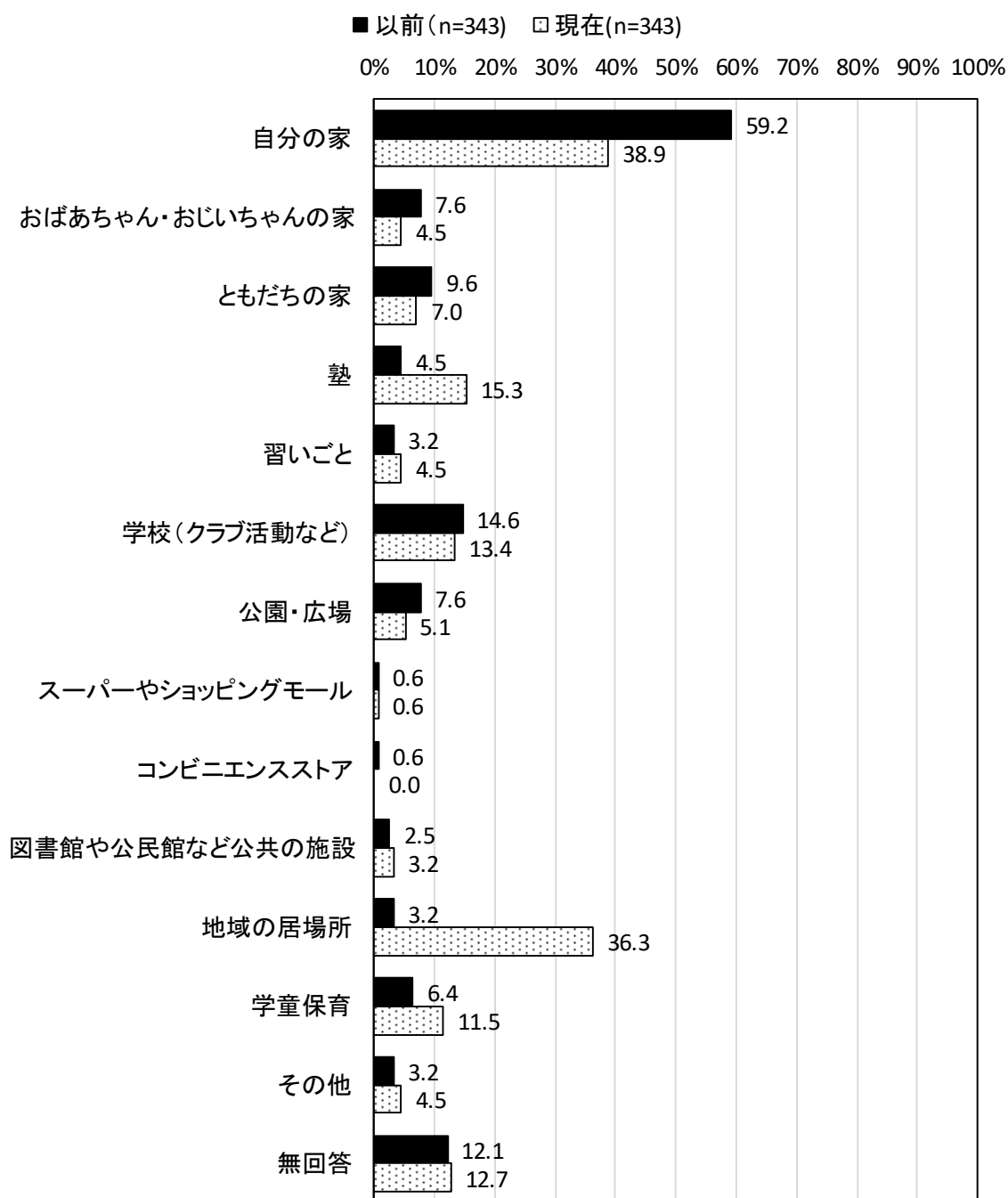


図 167 放課後どこで過ごしますか

地域で食事の提供や学習の支援などのサービスを利用する前は、「自分の家」が 59.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「学校(クラブ活動など)」が 14.6%となっている。現在では、「自分の家」が 38.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「地域の居場所」が 36.3%、「塾」が 15.3%となっている。

今後支援員から受きたい分野のサポート

問 2 1 あなたは今後支援員からどの分野のサポートを受けたいですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

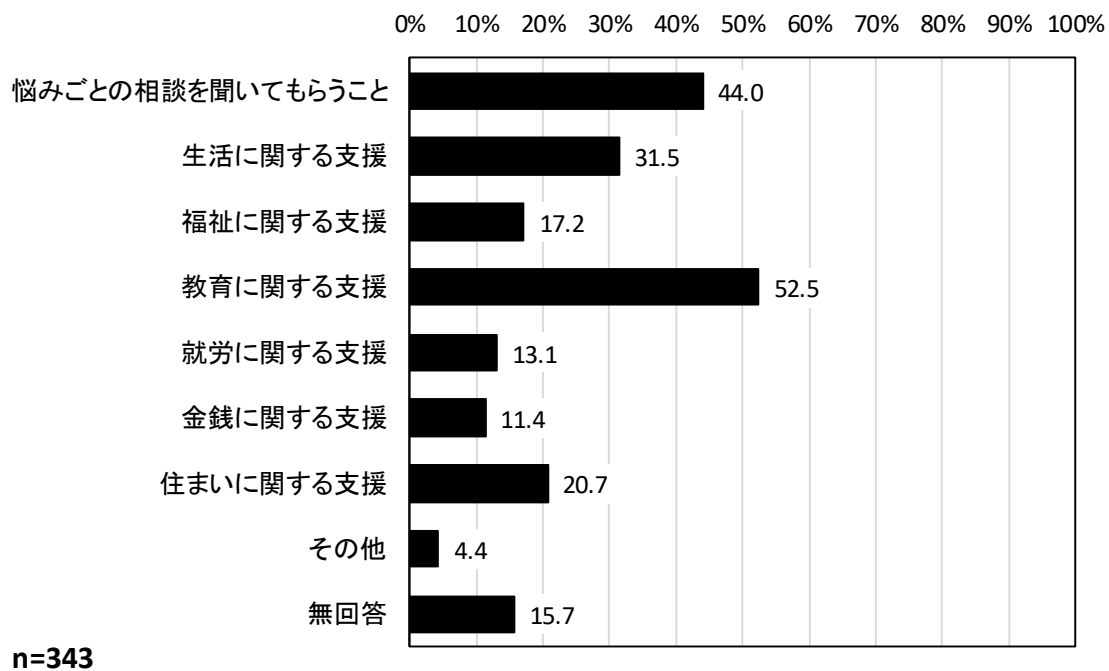


図 168 今後支援員から受きたい分野のサポート

「教育に関する支援」が 52.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「悩みごとの相談を聞いてもらうこと」が 44.0%、「生活に関する支援」が 31.5%となっている。

(2) 生活環境・教育環境の変化

子どもと会話する

問 1 2 ① お子さんと会話をしますか (あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

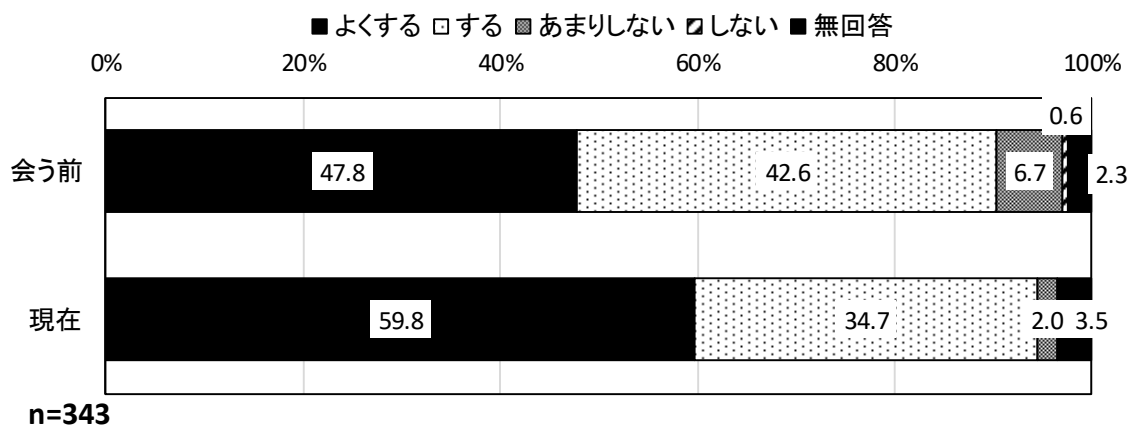


図 169 お子さんと会話をしますか

支援員に会う前は、「よくする」が 47.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「する」が 42.6%、「あまりしない」が 6.7%となっている。現在では、「よくする」が 59.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「する」が 34.7%、「あまりしない」が 2.0%となっている。

子どもと十分時間を過ごす

問 1 2 ② お子さんと十分時間を過ごしていますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

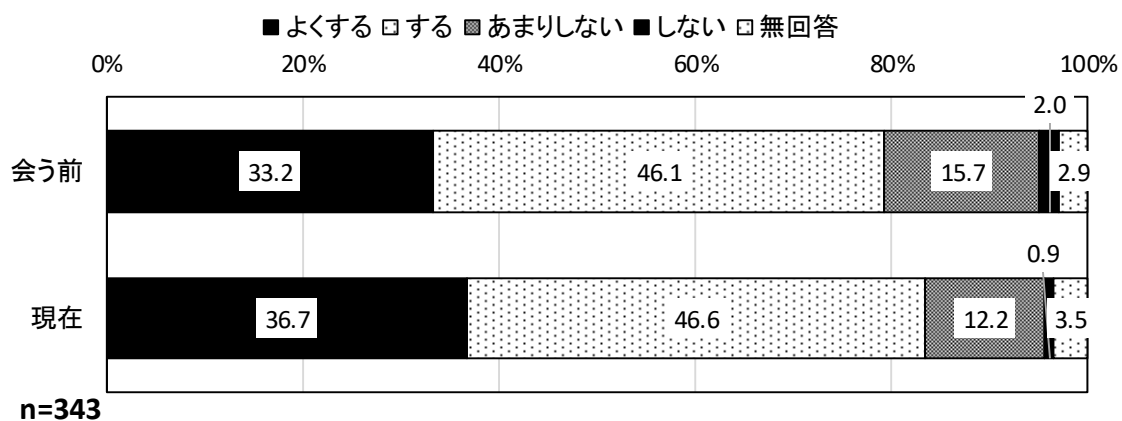


図 170 お子さんと十分時間を過ごしていますか

支援員に会う前は、「する」が 46.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「よくする」が 33.2%、「あまりしない」が 15.7%となっている。現在では、「する」が 46.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「よくする」が 36.7%、「あまりしない」が 12.2%となっている。

子どもと読んだ本の感想を話し合う

問 1 2 ③ お子さんと読んだ本の感想を話し合ったりしますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

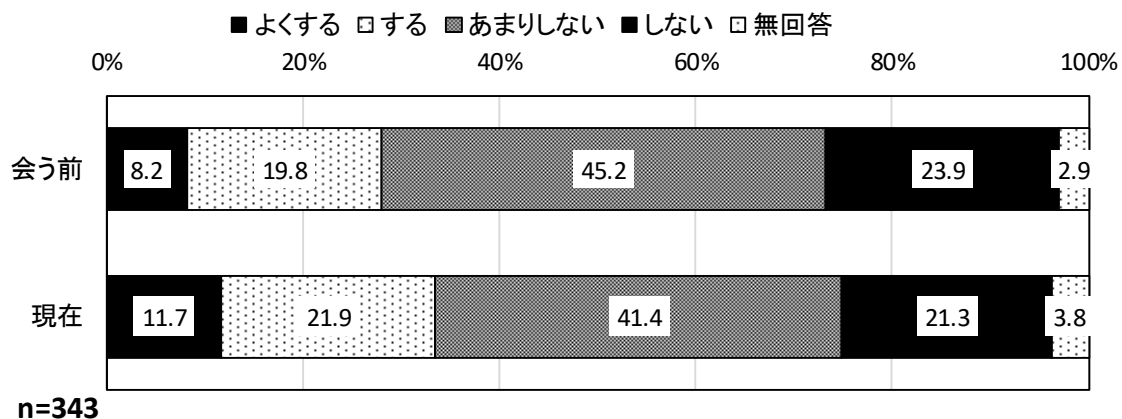


図 171 お子さんと読んだ本の感想を話し合ったりしますか

支援員に会う前は、「あまりしない」が45.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「しない」が23.9%、「する」が19.8%となっている。現在では、「あまりしない」が41.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「する」が21.9%、「しない」が21.3%となっている。

子どもと一緒に図書館に行く

問 1 2 ④ お子さんと一緒に図書館に行きますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

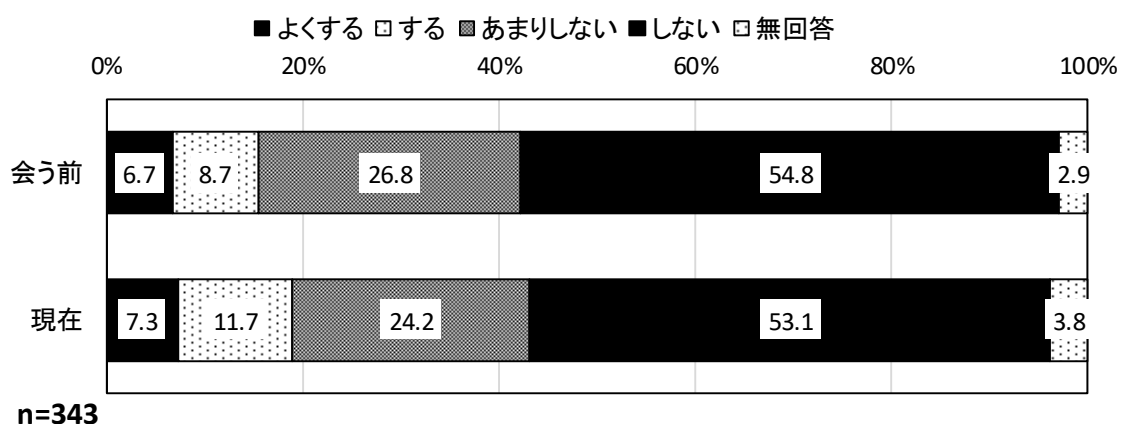


図 172 お子さんと一緒に図書館に行きますか

支援員に会う前は、「しない」が54.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりしない」が26.8%、「する」が8.7%となっている。現在では、「しない」が53.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりしない」が24.2%、「する」が11.7%となっている。

子どもの将来の夢について話し合う

問 1 2 ⑤ お子さんの将来の夢について話し合っていますか (あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

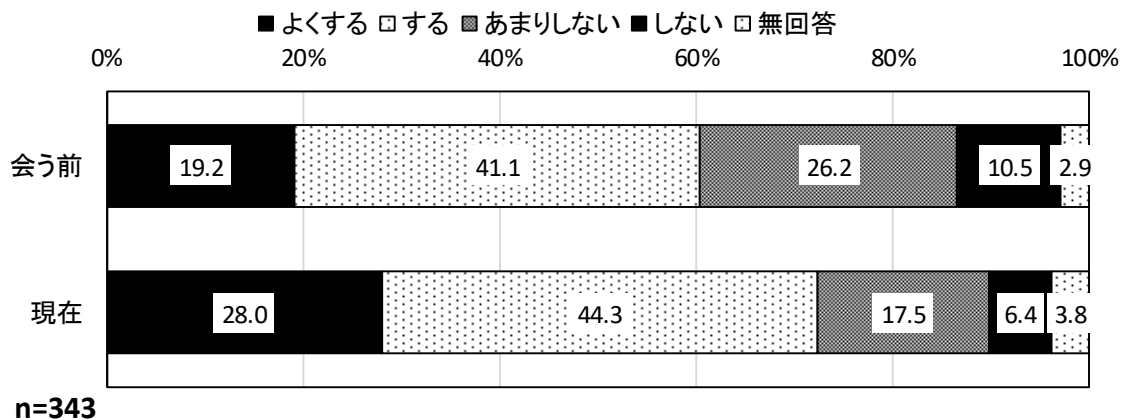


図 173 お子さんの将来の夢について話し合っていますか

支援員に会う前は、「する」が 41.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「あまりしない」が 26.2%、「よくする」が 19.2%となっている。現在では「する」が 44.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「よくする」が 28.0%、「あまりしない」が 17.5%となっている。

子どもを信頼している

問 1 2 ⑥ お子さんを信頼していますか (あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

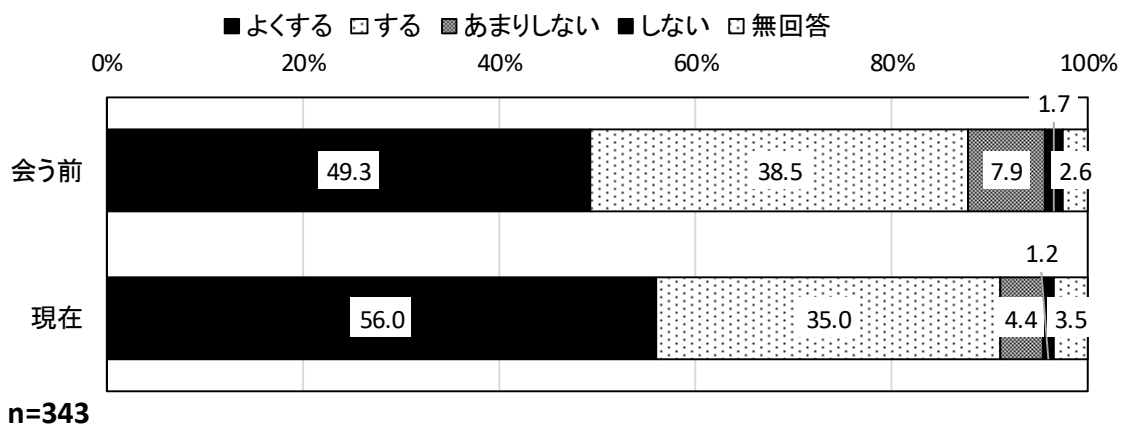


図 174 お子さんを信頼していますか

支援員に会う前は、「よくする」が 49.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「する」が 38.5%、「あまりしない」が 7.9%となっている。現在では「よくする」が 56.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「する」が 35.0%、「あまりしない」が 4.4%となっている。

不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある

問 1 3 - 1 - ① 不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある（あてはまる番号1つに○をつけてください）

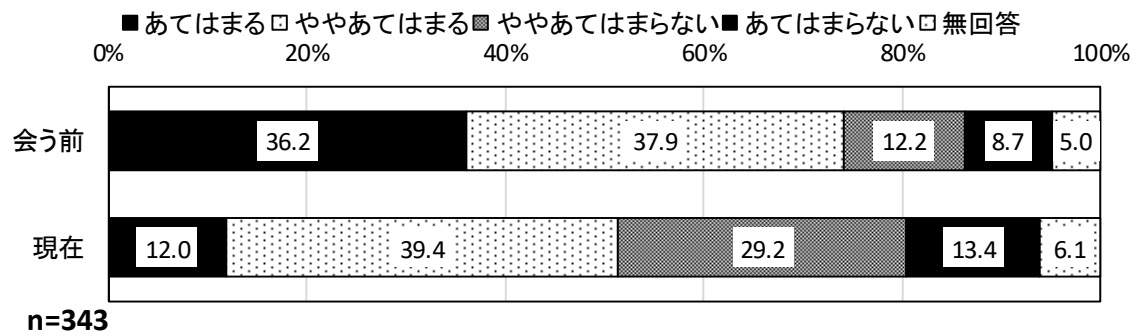


図 175 不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある

支援員に会う前は、「ややあてはまる」が 37.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「あてはまる」が 36.2%、「ややあてはまらない」が 12.2%となっている。現在では「ややあてはまる」が 39.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまらない」が 29.2%、「あてはまらない」が 13.4%となっている。

子どもを育てるために我慢している

問 1 3 ② 子どもを育てるために我慢している（あてはまる番号1つに○をつけてください）

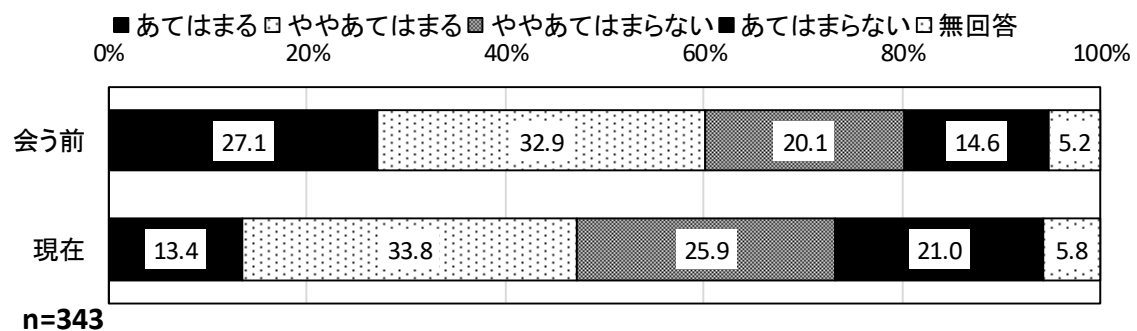


図 176 子どもを育てるために我慢している

支援員に会う前は、「ややあてはまる」が 32.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「あてはまる」が 27.1%、「ややあてはまらない」が 20.1%となっている。現在では、「ややあてはまる」が 33.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまらない」が 25.9%、「あてはまらない」が 21.0%となっている。

自分一人で育てているという圧迫感を感じる

問 1 3 - 1 - ③ 自分一人で育てているという圧迫感を感じる（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

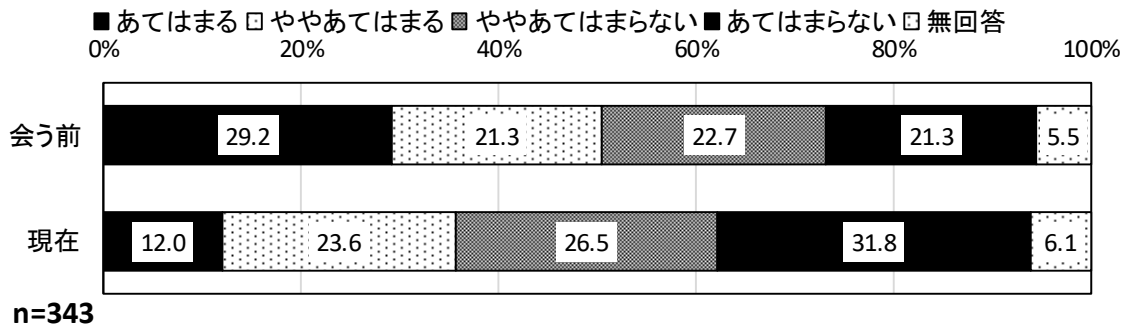


図 177 自分一人で育てているという圧迫感を感じる

支援員に会う前は、「あてはまる」が 29.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまらない」が 22.7%、「ややあてはまる」と「あてはまらない」がそれぞれ 21.3%となっている。現在では、「あてはまらない」が 31.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまらない」が 26.5%、「ややあてはまる」が 23.6%となっている。

子どもの世話にはあまり関心がない

問 1 3 - 1 - ④ 子どもの世話にはあまり関心がない（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

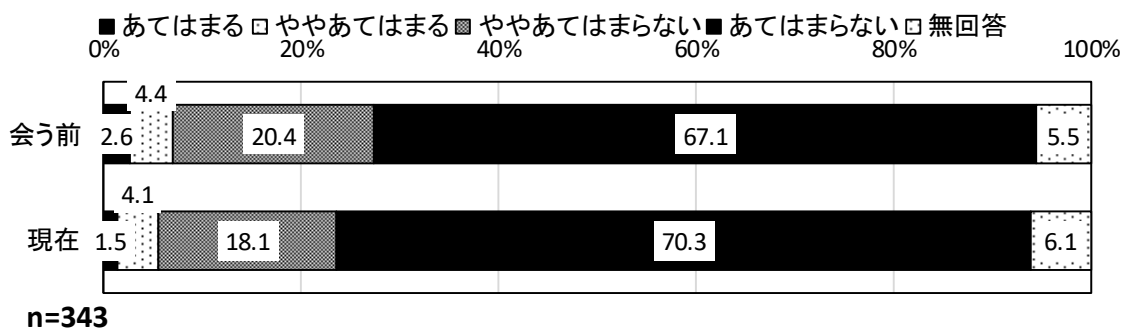


図 178 子どもの世話にはあまり関心がない

支援員に会う前は、「あてはまらない」が 67.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまらない」が 20.4%となっている。現在では、「あてはまらない」が 70.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまらない」が 18.1%となっている。

子どもに受けさせたい教育段階

問 1 4 あなたの家庭では、お子さんにどの段階までの教育を受けさせたいですか。それぞれあなたが1番あてはまるところに○をつけてください。

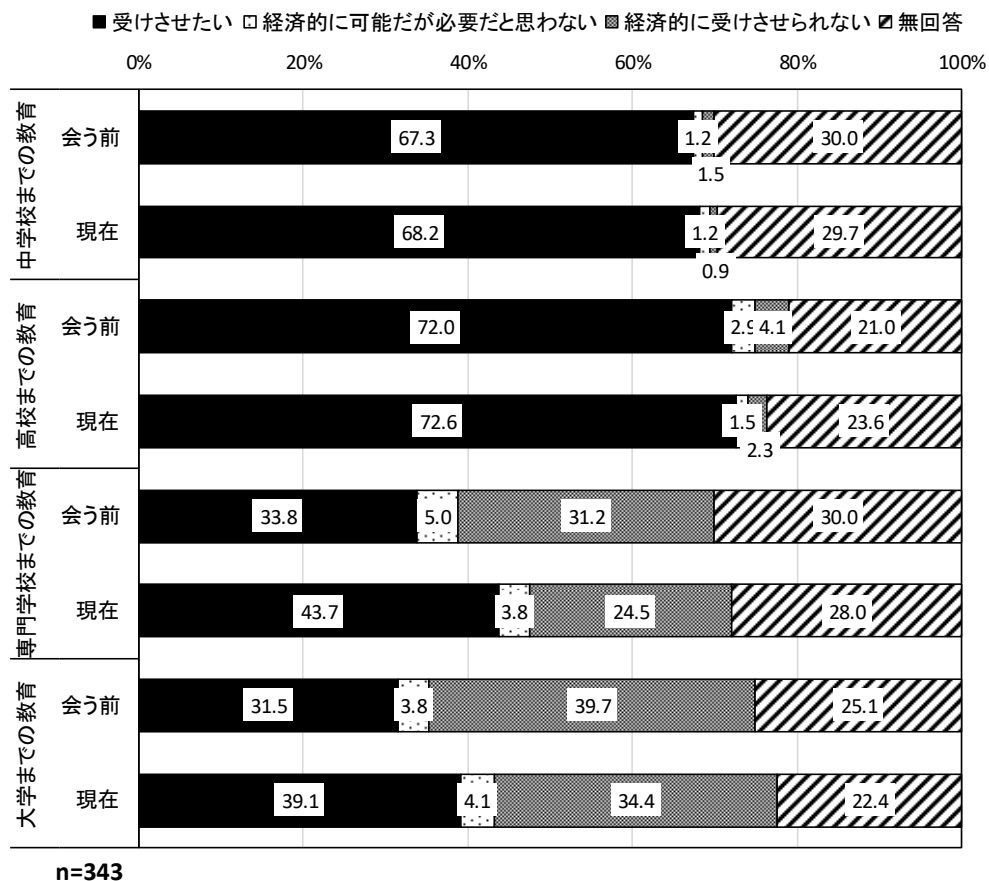


図 179 子どもに受けさせたい教育段階

中学校までの教育では、支援員に会う前は「受けさせたい」が 67.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「経済的に受けさせられない」が 1.5%となっている。現在では「受けさせたい」が 68.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「経済的に可能だが必要だと思わない」が 1.2%となっている。

高校までの教育では、支援員に会う前は「受けさせたい」が 72%でもっとも回答割合が高く、次いで「経済的に受けさせられない」が 4.1%となっている。現在では「受けさせたい」が 72.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「経済的に受けさせられない」が 2.3%となっている。

専門学校までの教育では、支援員に会う前は「受けさせたい」が 33.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「経済的に受けさせられない」が 31.2%となっている。現在では「受けさせたい」が 43.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「経済的に受けさせられない」が 24.5%となっている。

大学までの教育では、支援員に会う前は「経済的に受けさせられない」が 39.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「受けさせたい」が 31.5%となっている。現在では「受けさせたい」が 39.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「経済的に受けさせられない」が 34.4%となっている。

健康状態

問 1 5 - 1 健康状態 (あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

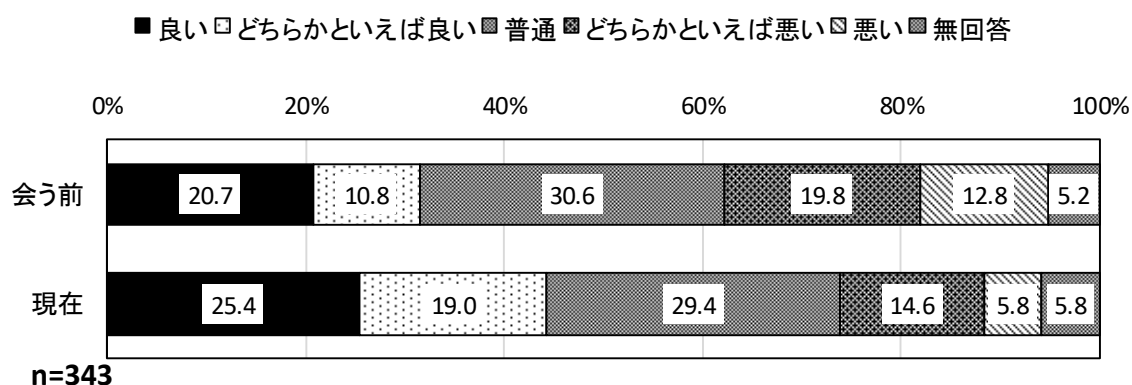


図 180 健康状態

支援員に会う前は、「普通」が 30.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「良い」が 20.7%、「どちらかといえば悪い」が 19.8%となっている。現在では「普通」が 29.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「良い」が 25.4%、「どちらかといえば良い」が 19.0%となっている。

(3) 社会環境の変化

心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人

問16① 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人（あてはまる番号1つに○をつけてください）

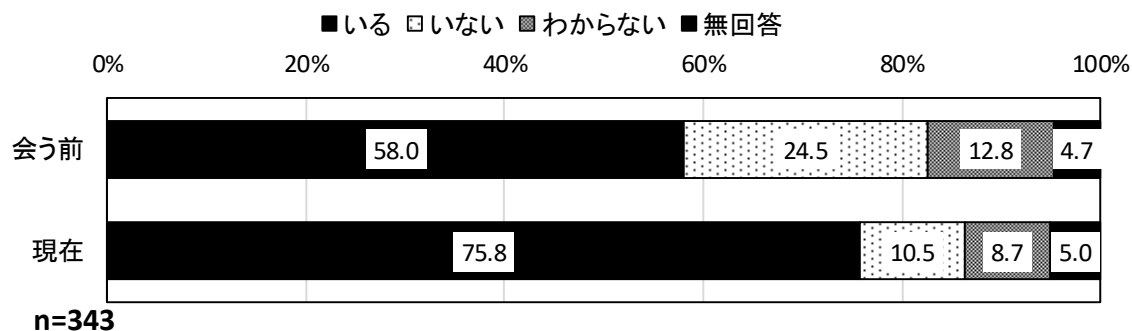


図 181 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人

支援員に会う前は、「いる」が58.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が24.5%、「わからない」が12.8%となっている。現在では「いる」が75.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が10.5%、「わからない」が8.7%となっている。

あなたの気持ちを察して思いやってくれる人

問16② あなたの気持ちを察して思いやってくれる人（あてはまる番号1つに○をつけてください）

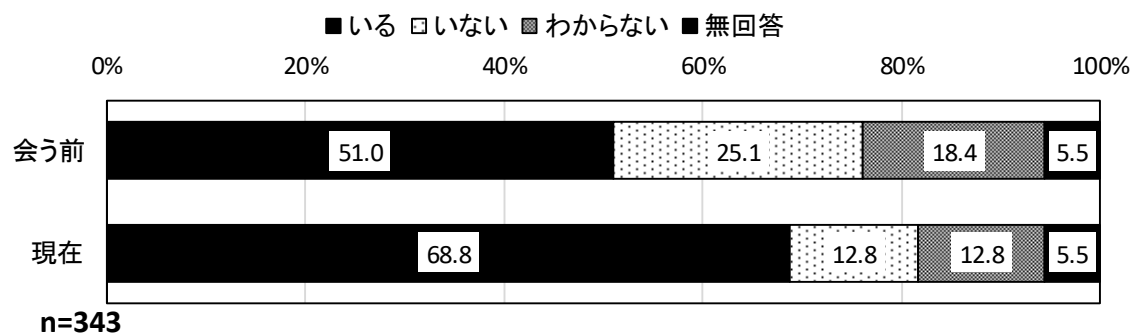


図 182 あなたの気持ちを察して思いやってくれる人

支援員に会う前は、「いる」が51.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が25.1%、「わからない」が18.4%となっている。現在では、「いる」が68.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」と「わからない」が12.8%となっている。

趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人

問 1 6 ③ 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人（あてはまる番号1つに○をつけてください）

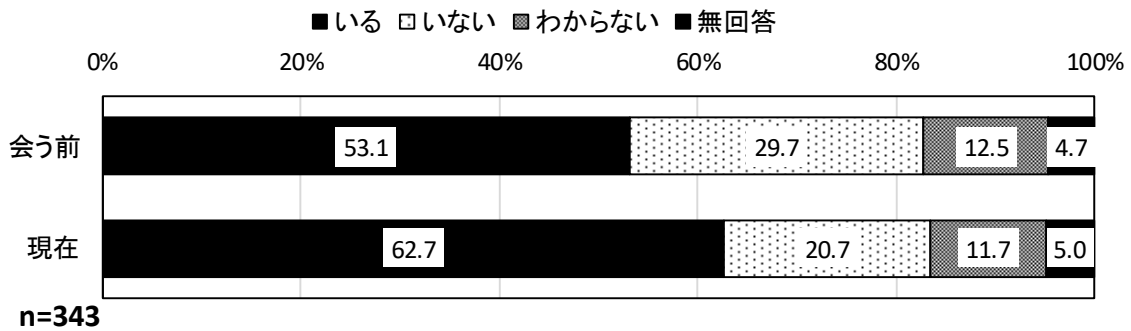


図 183 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人

支援員に会う前は、「いる」が 53.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 29.7%、「わからない」が 12.5%となっている。現在では、「いる」が 62.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 20.7%、「わからない」が 11.7%となっている。

子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人

問 1 6 ④ 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人（あてはまる番号1つに○をつけてください）

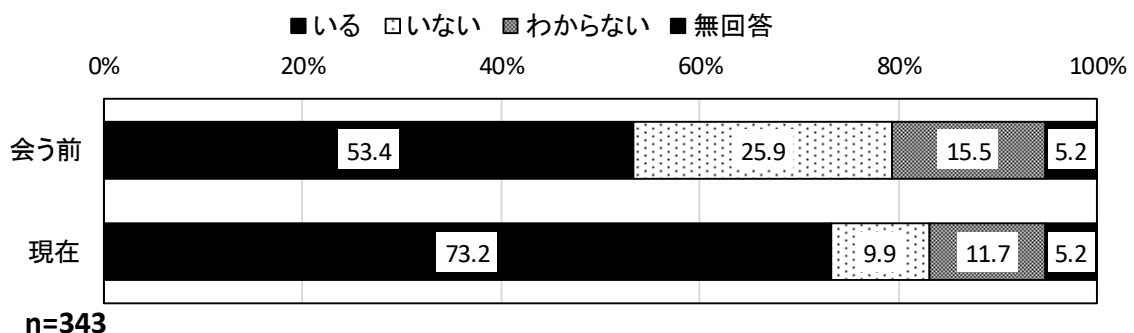


図 184 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人

支援員に会う前は、「いる」が 53.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 25.9%、「わからない」が 15.5%となっている。現在では、「いる」が 73.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「わからない」が 11.7%、「いない」が 9.9%となっている。

子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人

問16⑤ 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（あてはまる番号1つに○をつけてください）

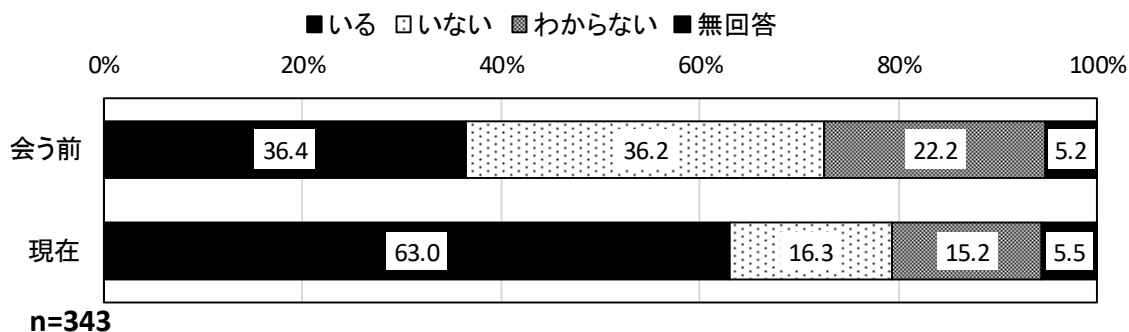


図 185 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人

支援員に会う前は、「いる」が36.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が36.2%、「わからない」が22.2%となっている。現在では、「いる」が63.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が16.3%、「わからない」が15.2%となっている。

子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人

問16⑥ 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人（あてはまる番号1つに○をつけてください）

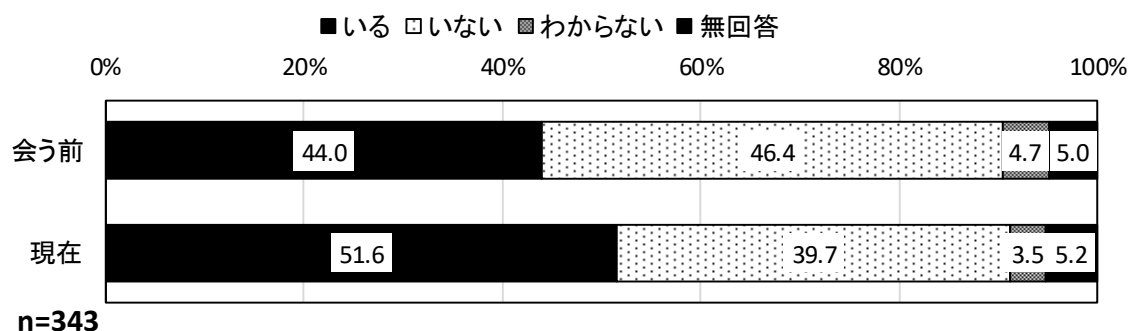


図 186 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人

支援員に会う前は、「いない」が46.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「いる」が44.0%となっている。現在では、「いる」が51.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が39.7%となっている。

留守を頼める人

問 1 6 ⑦ 留守を頼める人 (あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

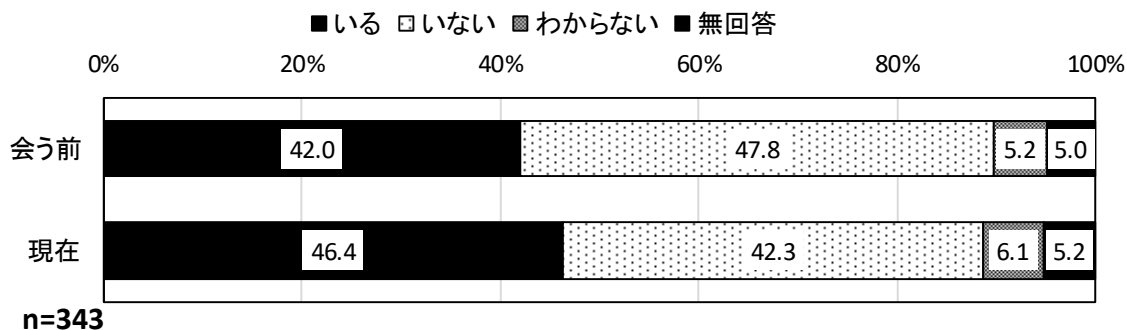


図 187 留守を頼める人

支援員に会う前は、「いない」が 47.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「いる」が 42.0%、「わからない」が 5.2%となっている。現在では、「いる」が 46.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「いない」が 42.3%、「わからない」が 6.1%となっている。

地域の行事に参加する

問 1 7 ① 地域の行事に参加していますか (あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

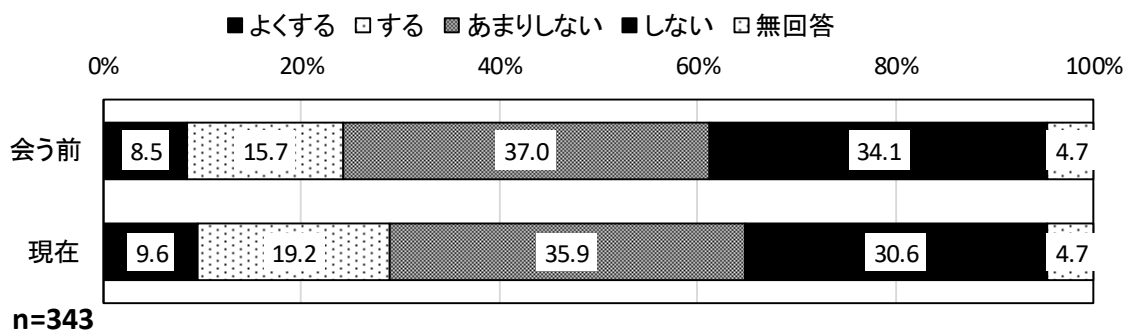


図 188 地域の行事に参加していますか

支援員に会う前は、「あまりしない」が 37.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「しない」が 34.1%、「する」が 15.7%となっている。現在では、「あまりしない」が 35.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「しない」が 30.6%、「する」が 19.2%となっている。

子どもが通う学校の行事に参加する

問 1 7 ② お子さんが通う学校の行事に参加していますか

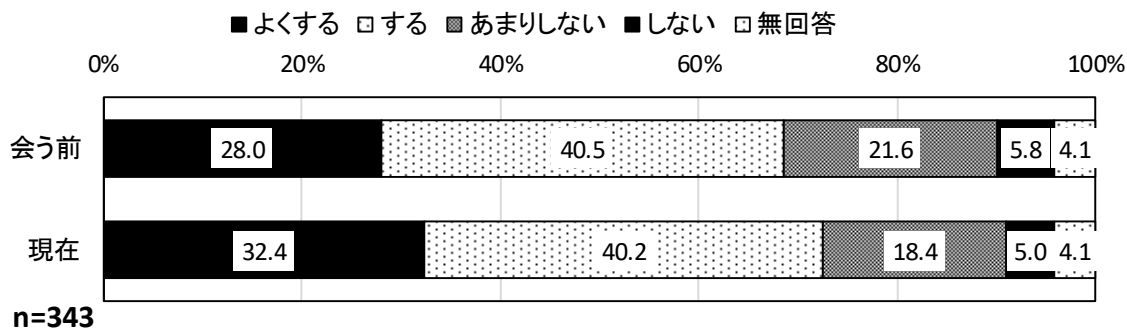


図 189 お子さんが通う学校の行事に参加していますか

支援員に会う前は、「する」が 40.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「よくする」が 28.0%、「あまりしない」が 21.6%となっている。現在では、「する」が 40.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「よくする」が 32.4%、「あまりしない」が 18.4%となっている。

子どもを朝、学校に送り出す

問 1 7 ③ 子どもを朝、学校に送り出していますか (あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

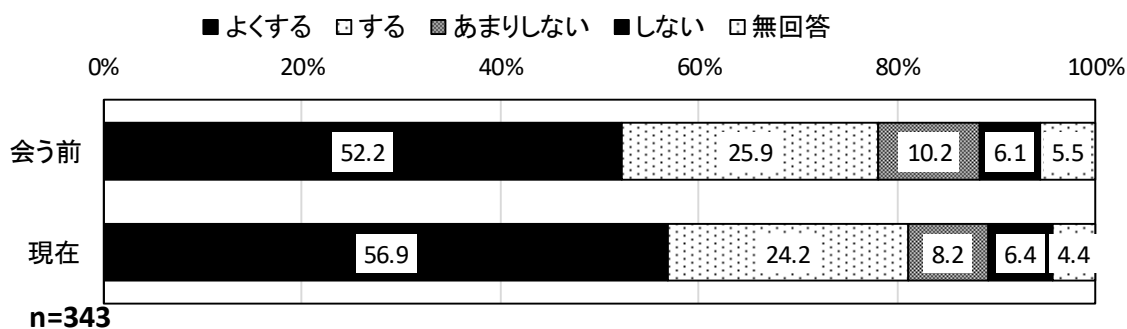


図 190 子どもを朝、学校に送り出していますか

支援員に会う前は、「よくする」が 52.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「する」が 25.9%、「あまりしない」が 10.2%となっている。現在では、「よくする」が 56.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「する」が 24.2%、「あまりしない」が 8.2%となっている。

3. 支援員に会った回数別に見た分析結果

(1) 支援回数別に見た保護者の特徴

支援員に会った回数別に見た、回答者の続柄（問10×問1）

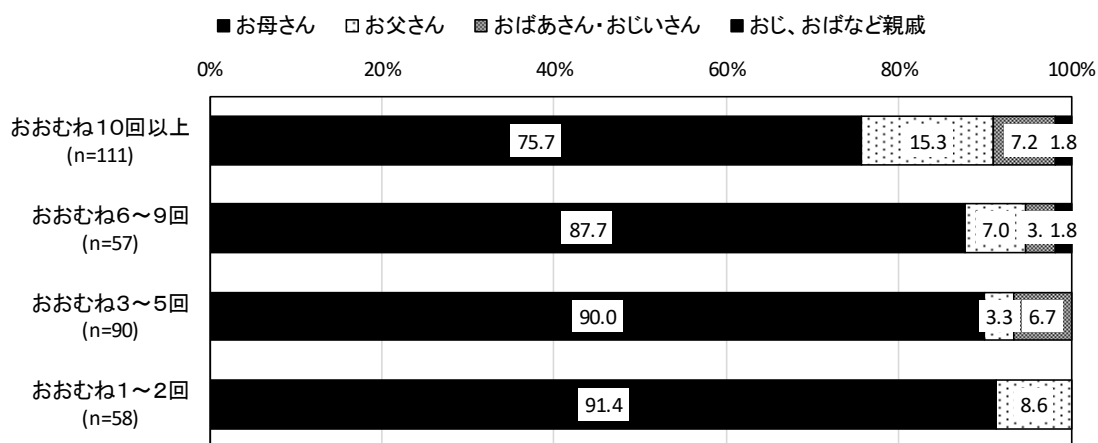


図 191 支援員に会った回数別に見た、お子さんからみた続柄

「おおむね10回以上」では、「お母さん」が75.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「お父さん」が15.3%となっている。「おおむね6～9回」では、「お母さん」が87.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「お父さん」が7.0%となっている。「おおむね3～5回」では、「お母さん」が90.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「おばあさん・おじいさん」が6.7%となっている。「おおむね1～2回」では、「お母さん」が91.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「お父さん」が8.6%となっている。

支援員に会った回数別に見た、回答者の年代（問10×問2）

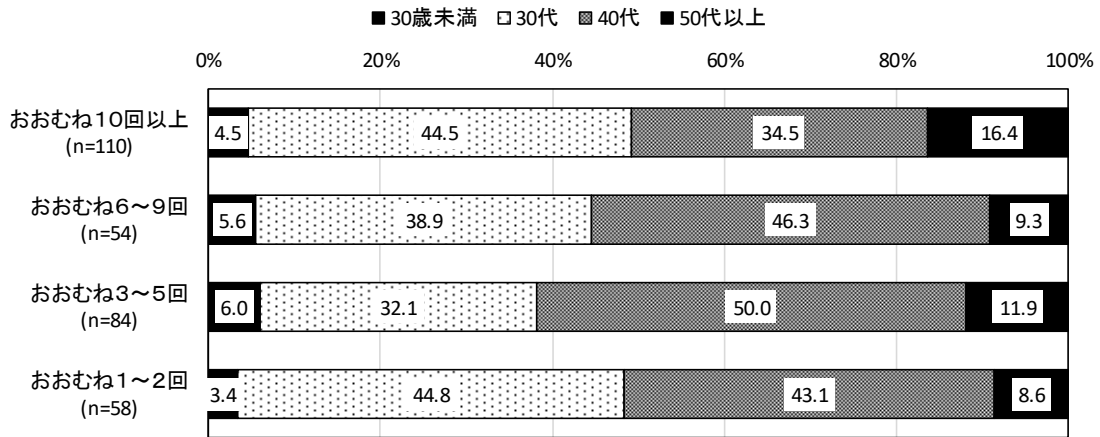


図 192 支援員に会った回数別に見た、回答者の年代

「おおむね10回以上」では、「30代」が44.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「40代」が34.5%となっている。「おおむね6～9回」では、「40代」が46.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「30代」が38.9%となっている。「おおむね3～5回」では、「40代」が50.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「30代」が32.1%となっている。「おおむね1～2回」では、「30代」が44.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「40代」が43.1%となっている。

支援員に会った回数別に見た、お子さんからみた同居家族の構成（問10×問3）

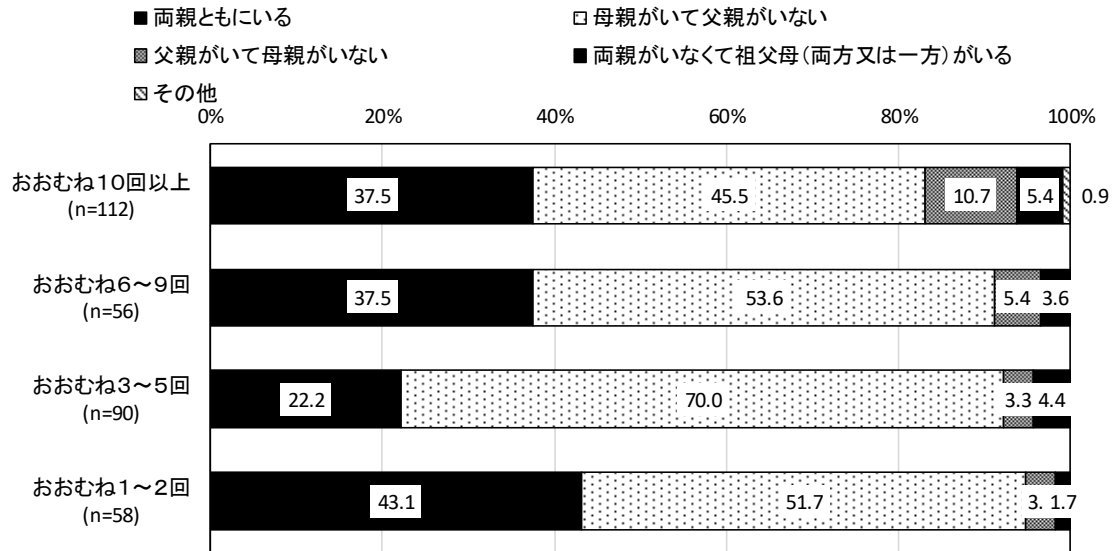


図 193 支援員に会った回数別に見た、お子さんからみた同居家族の構成

「おおむね10回以上」では、「母親がいて父親がいない」が45.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「両親ともにいる」が37.5%となっている。「おおむね6～9回」では、「母親がいて父親がいない」が53.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「両親ともにいる」が37.5%となっている。「おおむね3～5回」では、「母親がいて父親がいない」が70.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「両親ともにいる」が22.2%となっている。「おおむね1～2回」では、「母親がいて父親がいない」が51.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「両親ともにいる」が43.1%となっている。

支援員に会った回数別に見た、前年（2017年）の世帯収入の合計額（問10×問5）

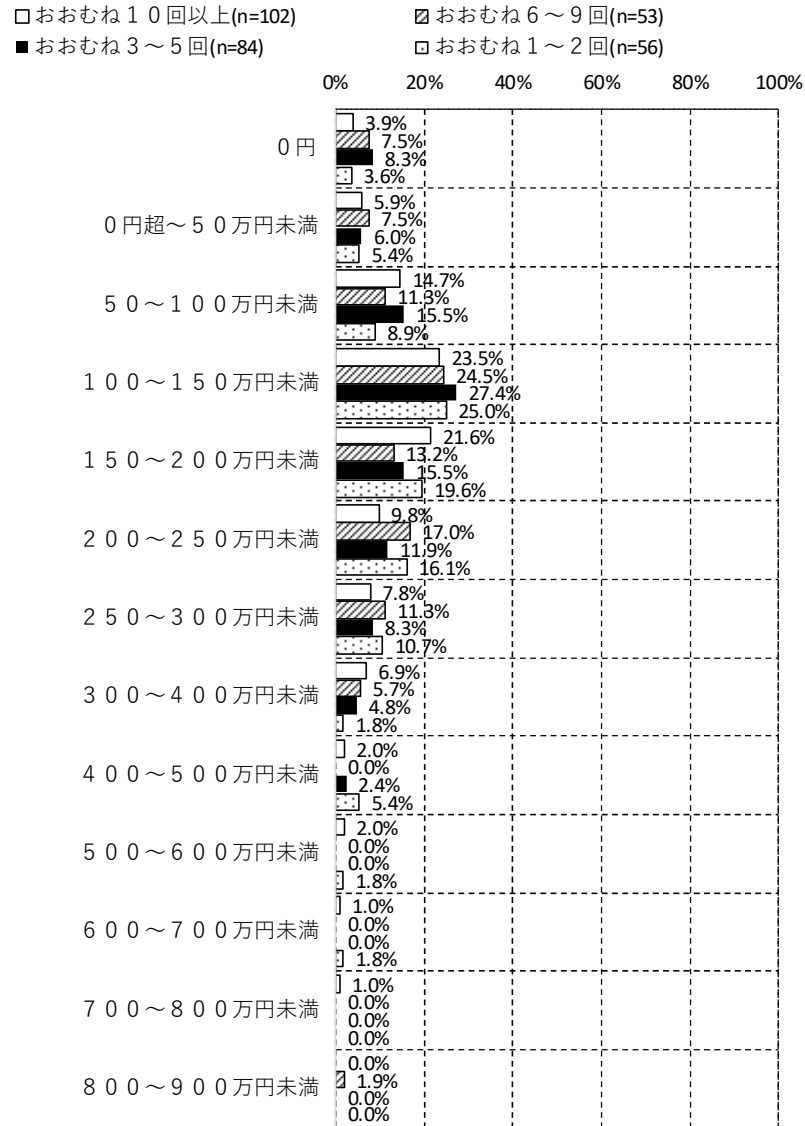


図 194 支援員に会った回数別に見た、前年（2017年）の世帯収入の合計額

「おおむね10回以上」では、「100～150万円未満」が23.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「150～200万円未満」が21.6%となっている。「おおむね6～9回」では、「100～150万円未満」が24.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「200～250万円未満」が17.0%となっている。「おおむね3～5回」では、「100～150万円未満」が27.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「50～100万円未満」と「150～200万円未満」が15.5%となっている。「おおむね1～2回」では、「100～150万円未満」が25.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「150～200万円未満」が19.6%となっている。

支援員に会った回数別に見た、回答者の子どもへの経済的な理由による経験の該当数
(問10×問7)

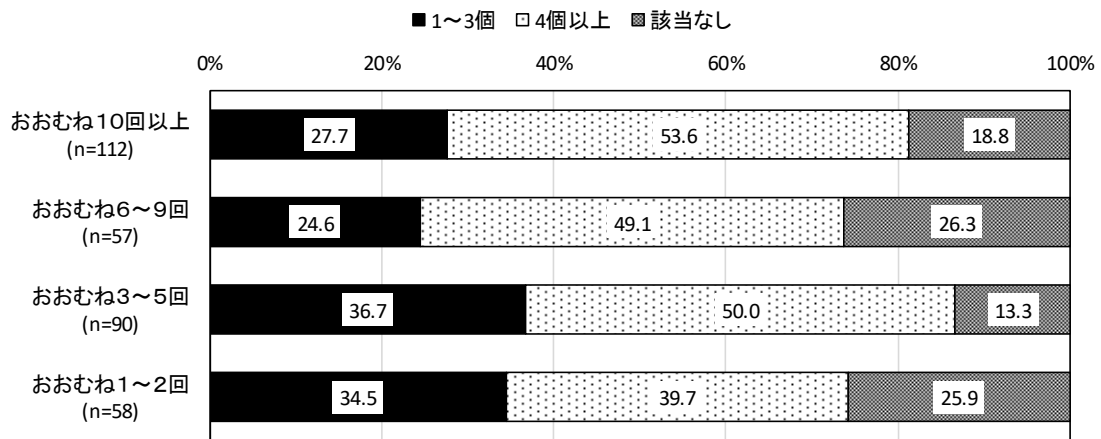


図 195 支援員に会った回数別に見た、
回答者の子どもへの経済的な理由による経験の該当数

問7「子どもへの経済的な理由による経験（複数回答）」について、該当する項目の個数をカウントし、その割合を算出した。

「おおむね10回以上」では、「4個以上」が53.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「1～3個」が27.7%となっている。「おおむね6～9回」では、「4個以上」が49.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「該当なし」が26.3%となっている。「おおむね3～5回」では、「4個以上」が50.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「1～3個」が36.7%となっている。「おおむね1～2回」では、「4個以上」が39.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「1～3個」が34.5%となっている。

支援員に会った回数別に見た、役立ったサポートの個数（問10×問18-1）

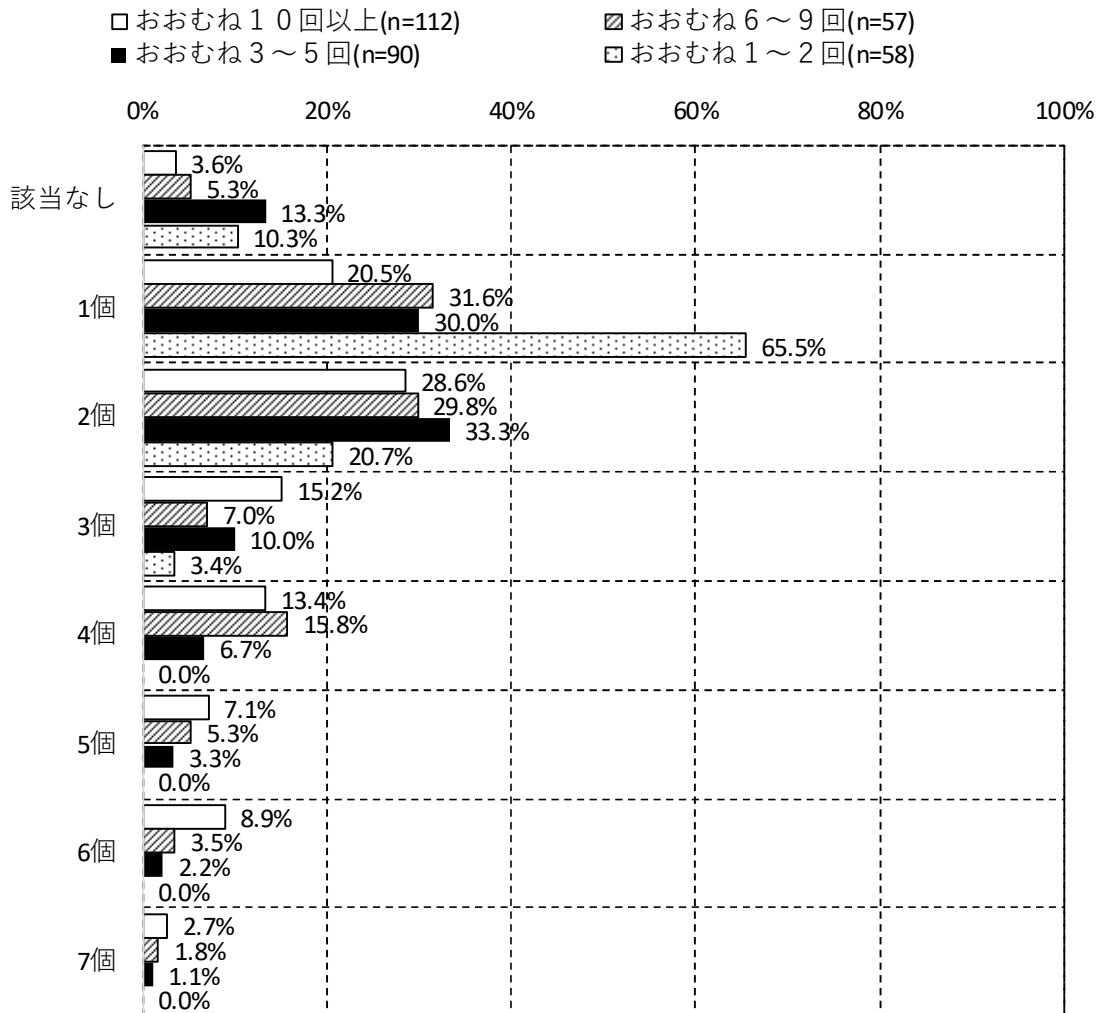


図 196 支援員に会った回数別に見た、役立ったサポートの個数

問18-1「役立ったサポートの分野（複数回答）」について、該当する項目の個数をカウントし、その割合を算出した。

「おおむね10回以上」では、「2個」が28.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「1個」が20.5%となっている。「おおむね6～9回」では、「1個」が31.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「2個」が29.8%となっている。「おおむね3～5回」では、「2個」が33.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「1個」が30.0%となっている。「おおむね1～2回」では、「1個」が65.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「2個」が20.7%となっている。

支援員に会った回数別に見た、食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況
(問10×問19)

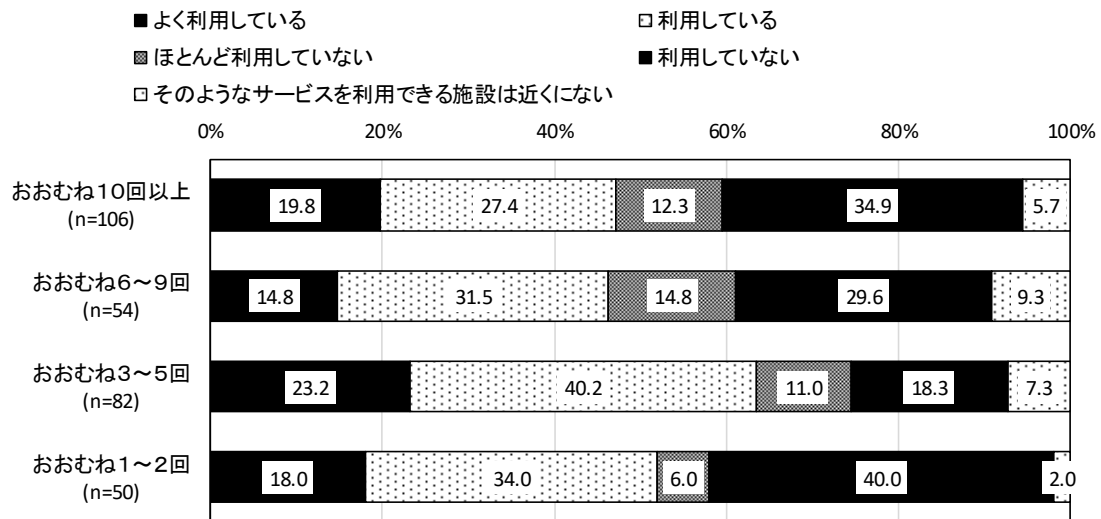


図 197 支援員に会った回数別に見た、食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況

「おおむね10回以上」では、「利用していない」が34.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用している」が27.4%となっている。「おおむね6～9回」では、「利用している」が31.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用していない」が29.6%となっている。「おおむね3～5回」では、「利用している」が40.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「よく利用している」が23.2%となっている。「おおむね1～2回」では、「利用していない」が40.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「利用している」が34.0%となっている。

支援員に会った回数別に見た、支援員と会うようになって良かったと思うか
 (問10×問22)

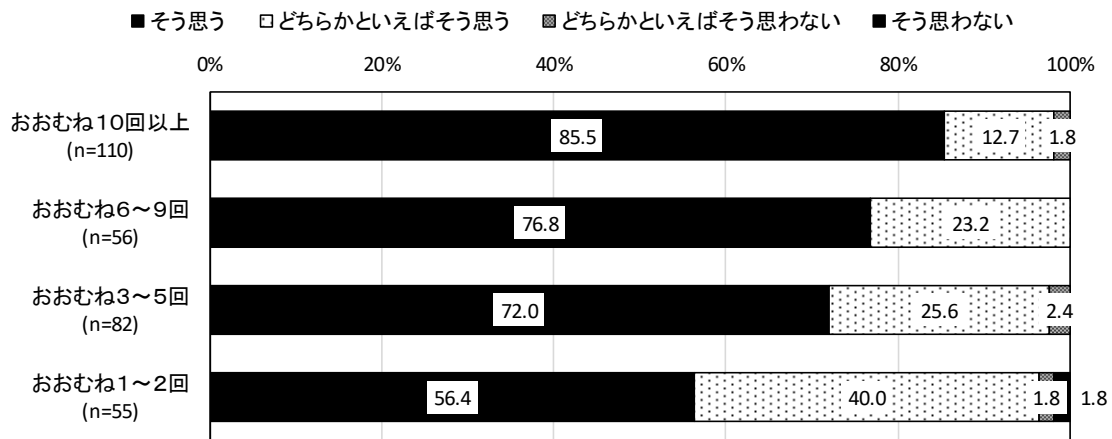


図 198 支援員に会った回数別に見た、支援員と会うようになって良かったと思うか

「おおむね10回以上」では、「そう思う」が85.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が12.7%となっている。「おおむね6～9回」では、「そう思う」が76.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が23.2%となっている。「おおむね3～5回」では、「そう思う」が72.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が25.6%となっている。「おおむね1～2回」では、「そう思う」が56.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が40.0%となっている。

(2) 支援回数別に見た保護者の変化

①生活環境・教育環境

支援員に会った回数別に見た、子どもとの関係の変化（子どもと会話する）
 (問10×問12①)

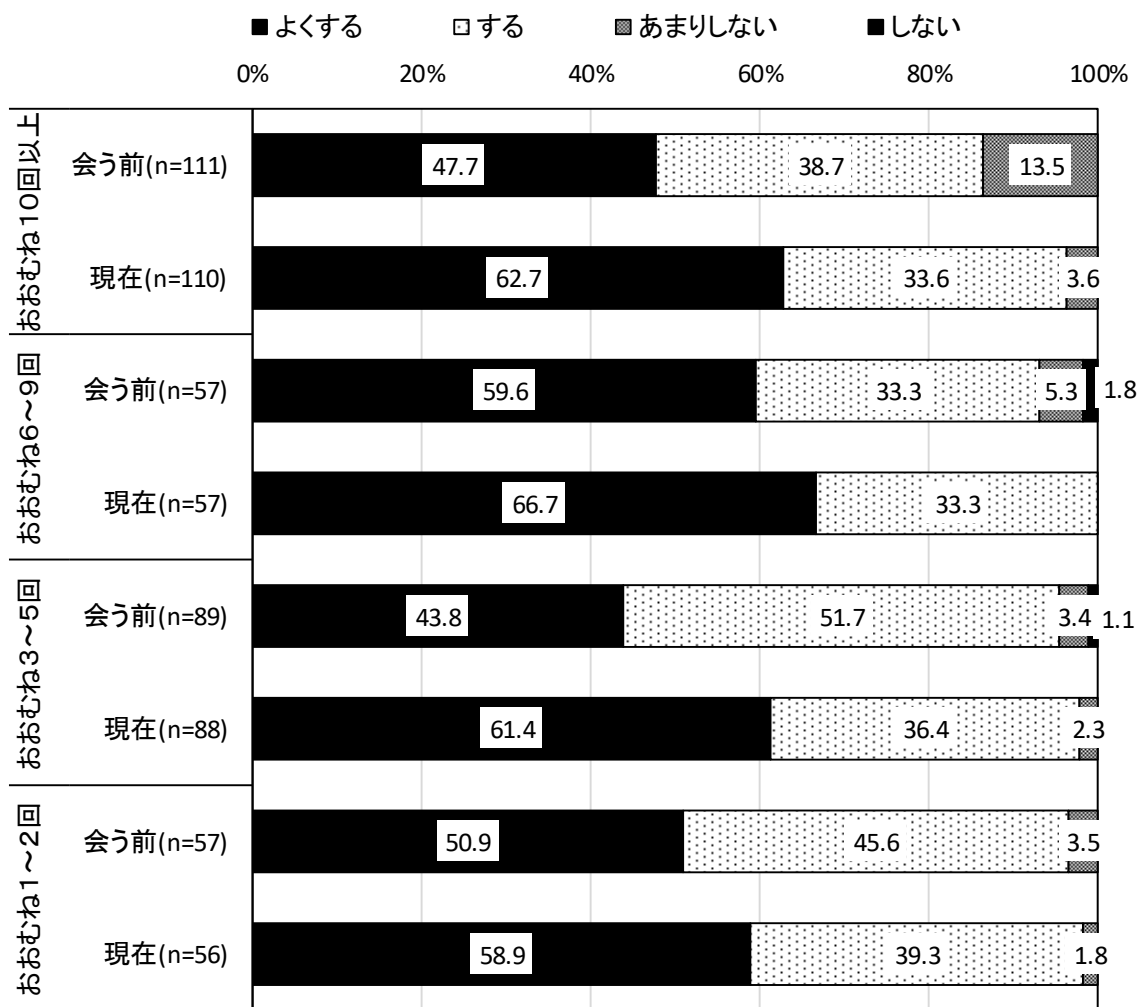


図 199 支援員に会った回数別に見た、お子さんと会話をしますか

お子さんと会話をするかについて、支援員に会った回数別に会う前と現在とを比較すると、いずれの群も「よくする」の割合が高くなっている。「よくする」の会う前と現在とのポイント差は、「おおむね10回以上」で15.0ポイント、「おおむね6～9回」で7.1ポイント、「おおむね3～5回」で17.6ポイント、「おおむね1～2回」で8.0ポイントである。

支援員に会った回数別に見た、子どもとの関係の変化（子どもと十分時間を過ごす）
 （問10×問12②）

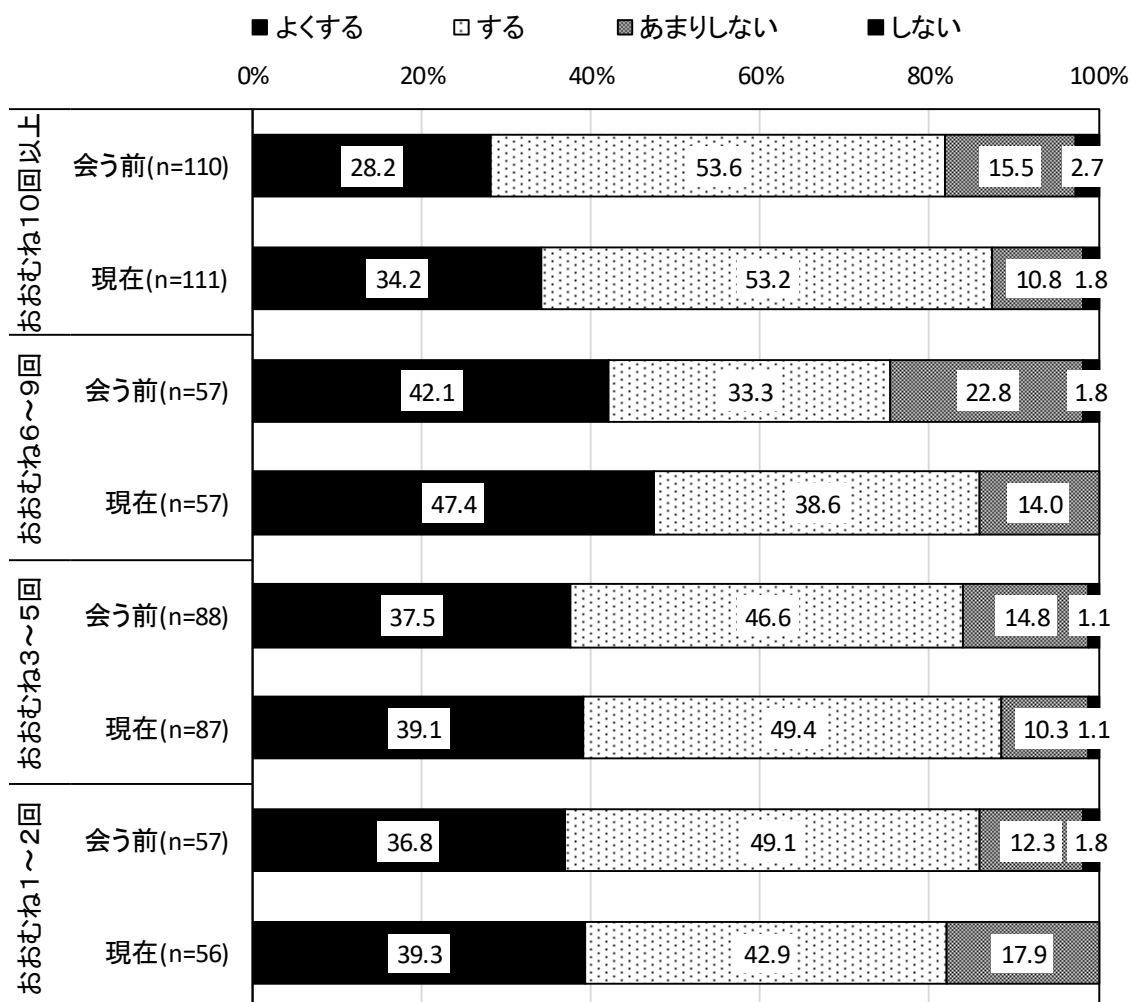


図 200 支援員に会った回数別に見た、お子さんと十分時間を過ごしていますか

お子さんと十分時間を過ごしているかについて、支援員に会った回数別に会う前と現在とを比較すると、特に「おおむね 10 回以上」「おおむね 6～9 回」の群で「よくする」の割合が高くなっている。「よくする」の会う前と現在とのポイント差は、「おおむね 10 回以上」で 6.0 ポイント、「おおむね 6～9 回」で 5.3 ポイント、「おおむね 3～5 回」で 1.6 ポイント、「おおむね 1～2 回」で 2.5 ポイントである。

支援員に会った回数別に見た、子どもとの関係の変化（読んだ本の感想を話し合う）
 （問10×問12③）

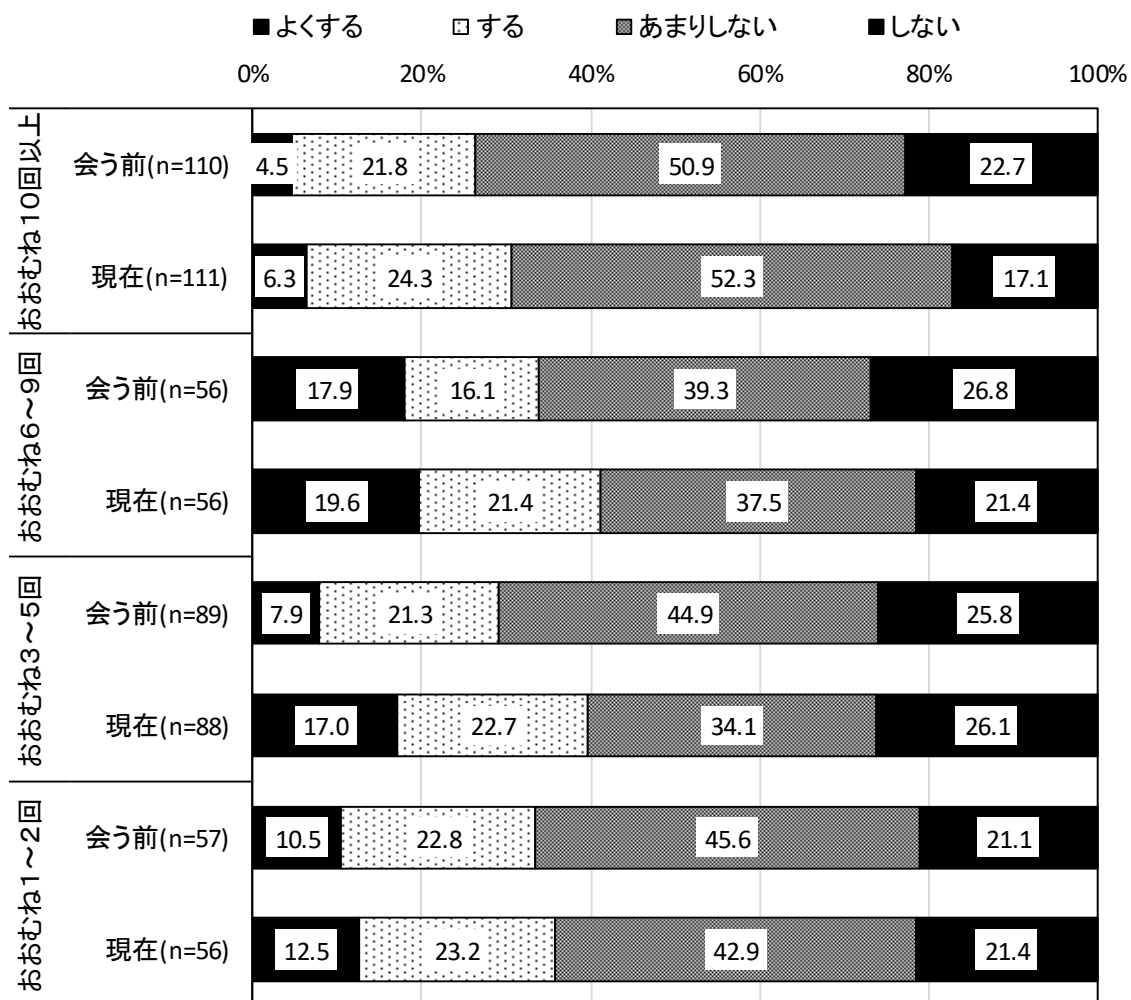


図 201 支援員に会った回数別に見た、お子さんと読んだ本の感想を話し合ったり
 しますか

お子さんと読んだ本の感想を話し合ったりするかについて、支援員に会った回数別に会う前と現在とを比較すると、特に「おおむね3～5回」の群で「よくする」の割合が高くなっている。「よくする」の会う前と現在とのポイント差は、「おおむね10回以上」で1.8ポイント、「おおむね6～9回」で1.7ポイント、「おおむね3～5回」で9.1ポイント、「おおむね1～2回」で2.0ポイントである。

支援員に会った回数別に見た、子どもとの関係の変化（一緒に図書館に行く）
 （問10×問12④）

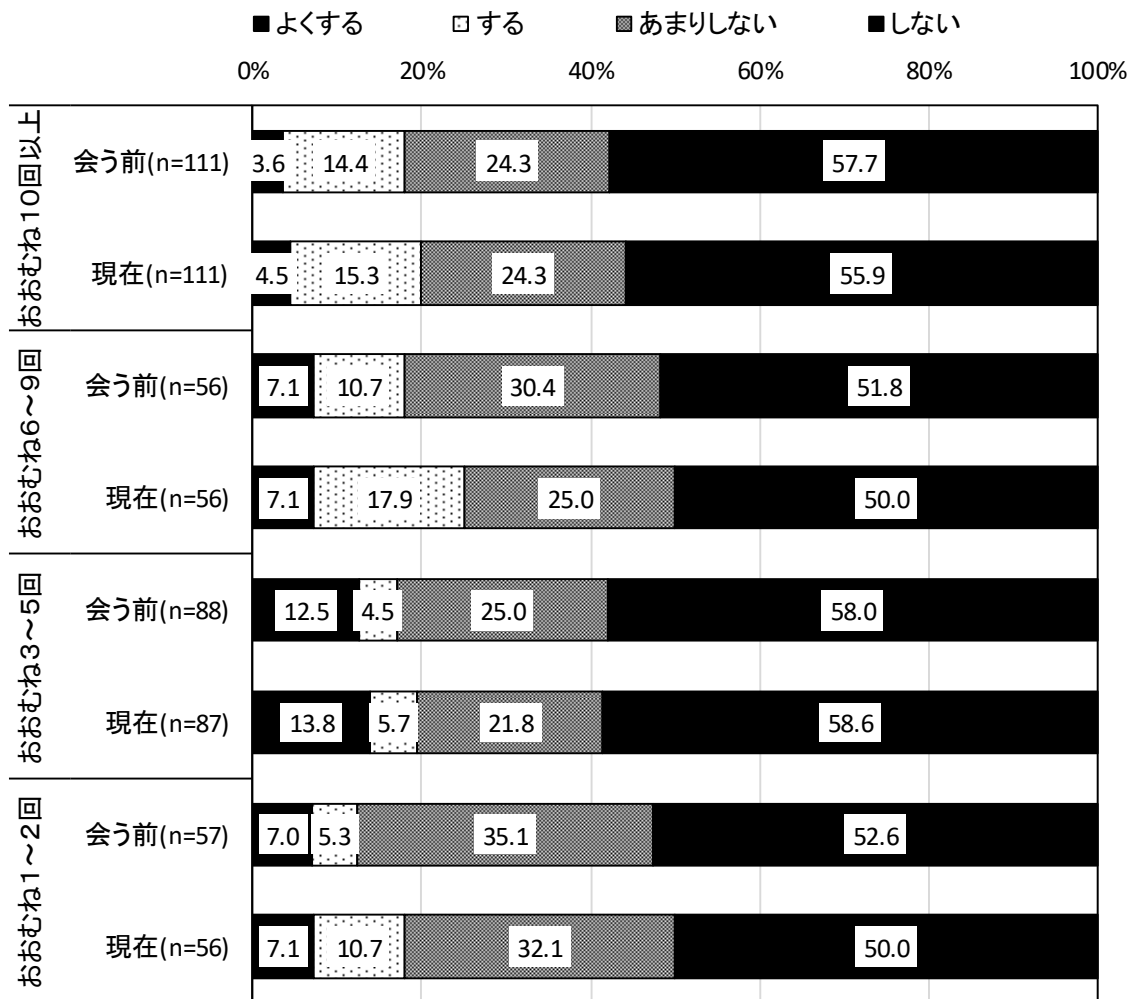


図 202 支援員に会った回数別に見た、お子さんと一緒に図書館に行きますか

お子さんと一緒に図書館に行くかについて、支援員に会った回数別に会う前と現在とを比較すると、いずれの群もほとんど変化がない。「よくする」の会う前と現在とのポイント差は、「おおむね10回以上」で0.9ポイント、「おおむね6～9回」で0ポイント、「おおむね3～5回」で1.3ポイント、「おおむね1～2回」で0.1ポイントである。

支援員に会った回数別に見た、子どもとの関係の変化（将来の夢について話し合う）
 （問10×問12⑤）

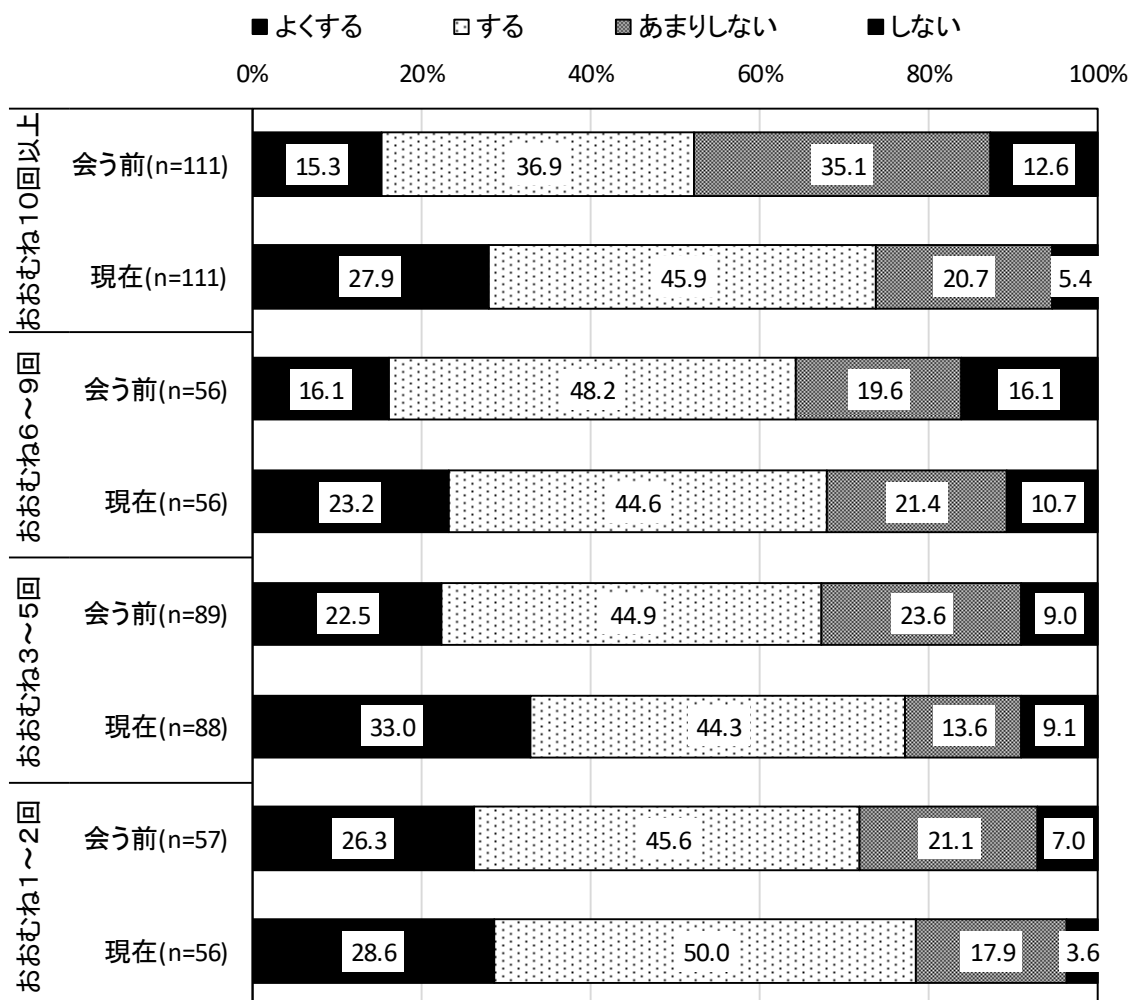


図 203 支援員に会った回数別に見た、お子さんの将来の夢について話し合っていますか

将来の夢について話し合うかについて、支援員に会った回数別に会う前と現在とを比較すると、特に「おおむね10回以上」「おおむね6～9回」「おおむね3～5回」の群で「よくする」の割合が高くなっている。「よくする」の会う前と現在とのポイント差は、「おおむね10回以上」で12.6ポイント、「おおむね6～9回」で7.1ポイント、「おおむね3～5回」で10.5ポイント、「おおむね1～2回」で2.3ポイントである。

支援員に会った回数別に見た、子どもとの関係の変化（子どもを信頼している）
 （問10×問12⑥）

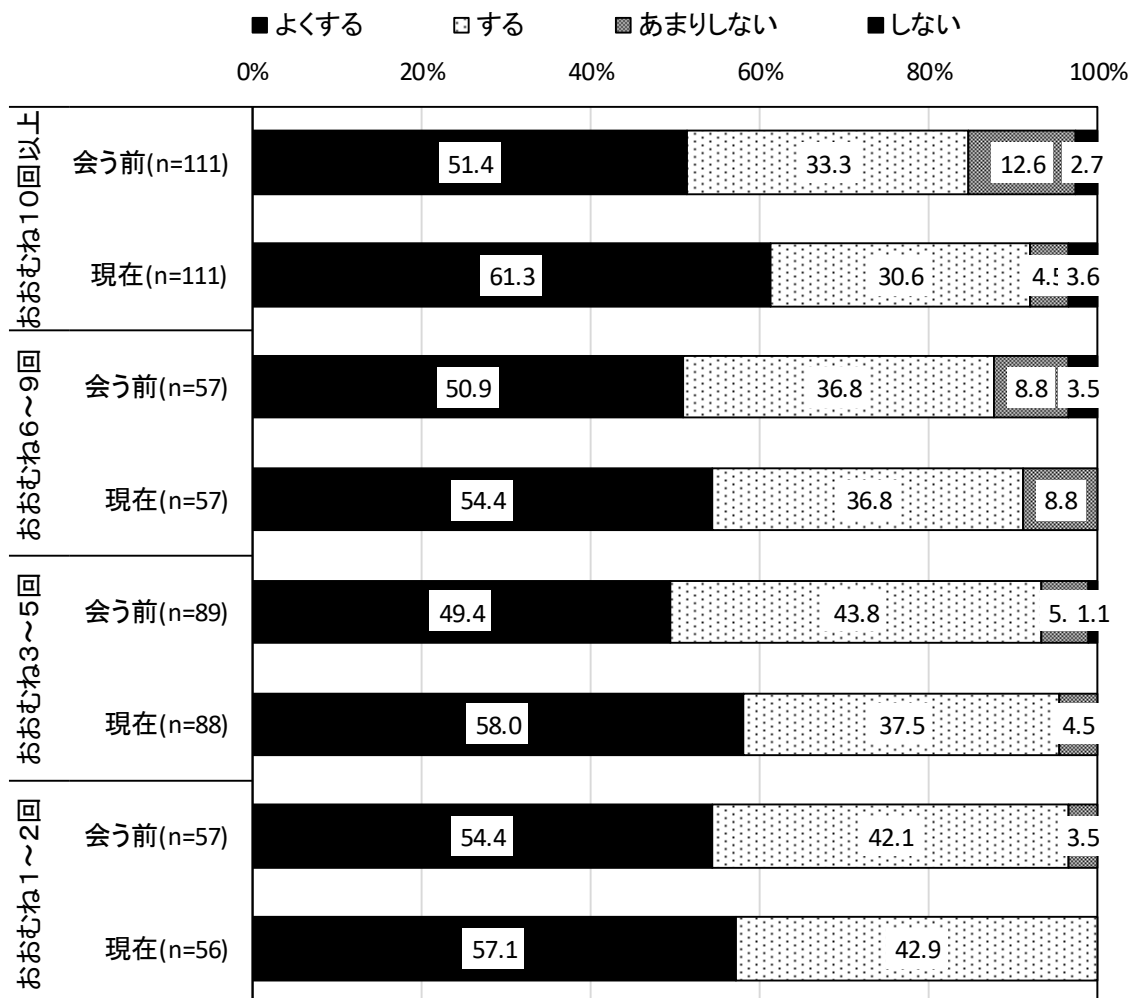


図 204 支援員に会った回数別に見た、お子さんを信頼していますか

お子さんを信頼しているかについて、支援員に会った回数別に会う前と現在とを比較すると、特に「おおむね10回以上」と「おおむね3～5回」の群で「よくする」の割合が高くなっている。「よくする」の会う前と現在とのポイント差は、「おおむね10回以上」で9.9ポイント、「おおむね6～9回」で3.5ポイント、「おおむね3～5回」で8.6ポイント、「おおむね1～2回」で2.7ポイントである。

支援員に会った回数別に見た、子育ての変化（不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある）（問10×問13①）

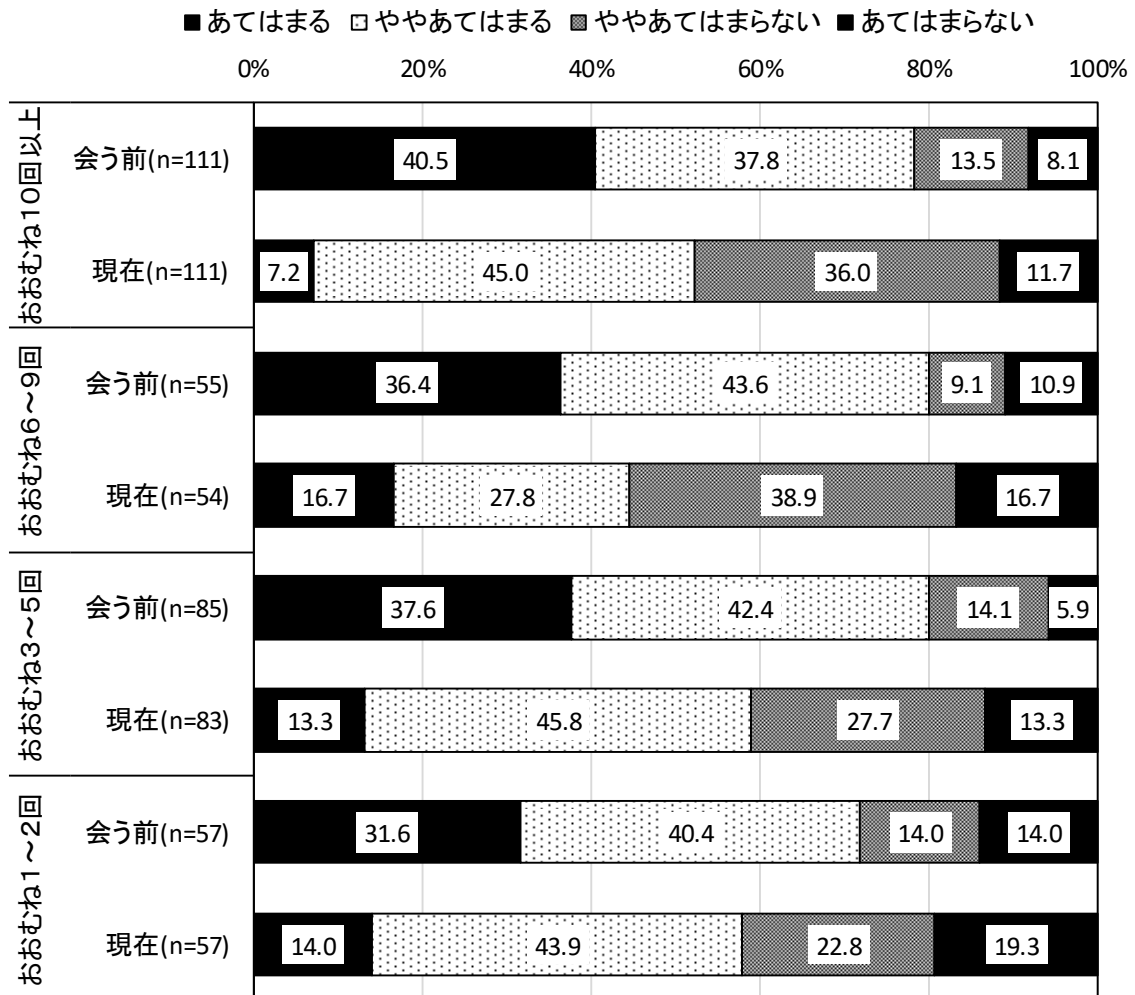


図 205 支援員に会った回数別に見た、不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある

不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがあるかについて、支援員に会った回数別に会う前と現在とを比較すると、いずれの群においても「あてはまる」の割合が大幅に低くなっている。「あてはまる」の会う前と現在とのポイント差は、「おおむね10回以上」でマイナス33.3ポイント、「おおむね6～9回」でマイナス19.7ポイント、「おおむね3～5回」でマイナス24.3ポイント、「おおむね1～2回」でマイナス17.6ポイントである。

支援員に会った回数別に見た、子育ての変化（子どもを育てるために我慢している）
 （問10×問13②）

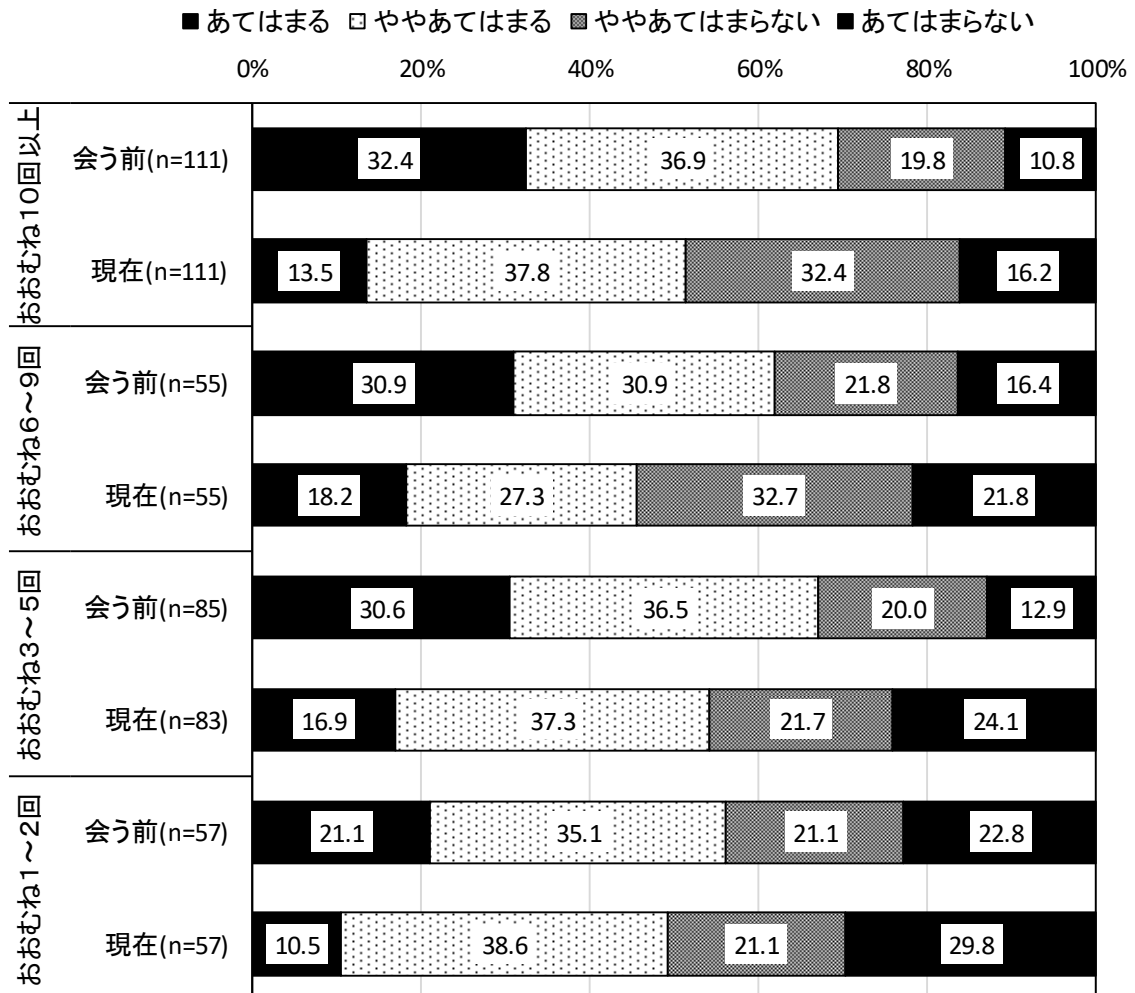


図 206 支援員に会った回数別に見た、子どもを育てるために我慢している

子どもを育てるために我慢しているかについて、支援員に会った回数別に会う前と現在とを比較すると、いずれの群においても「あてはまる」の割合が低くなっている。「あてはまる」の会う前と現在とのポイント差は、「おおむね10回以上」でマイナス18.9ポイント、「おおむね6～9回」でマイナス12.7ポイント、「おおむね3～5回」でマイナス13.7ポイント、「おおむね1～2回」でマイナス10.6ポイントである。

支援員に会った回数別に見た、子育ての変化（自分一人で育てているという圧迫感を感じる）（問10×問13③）

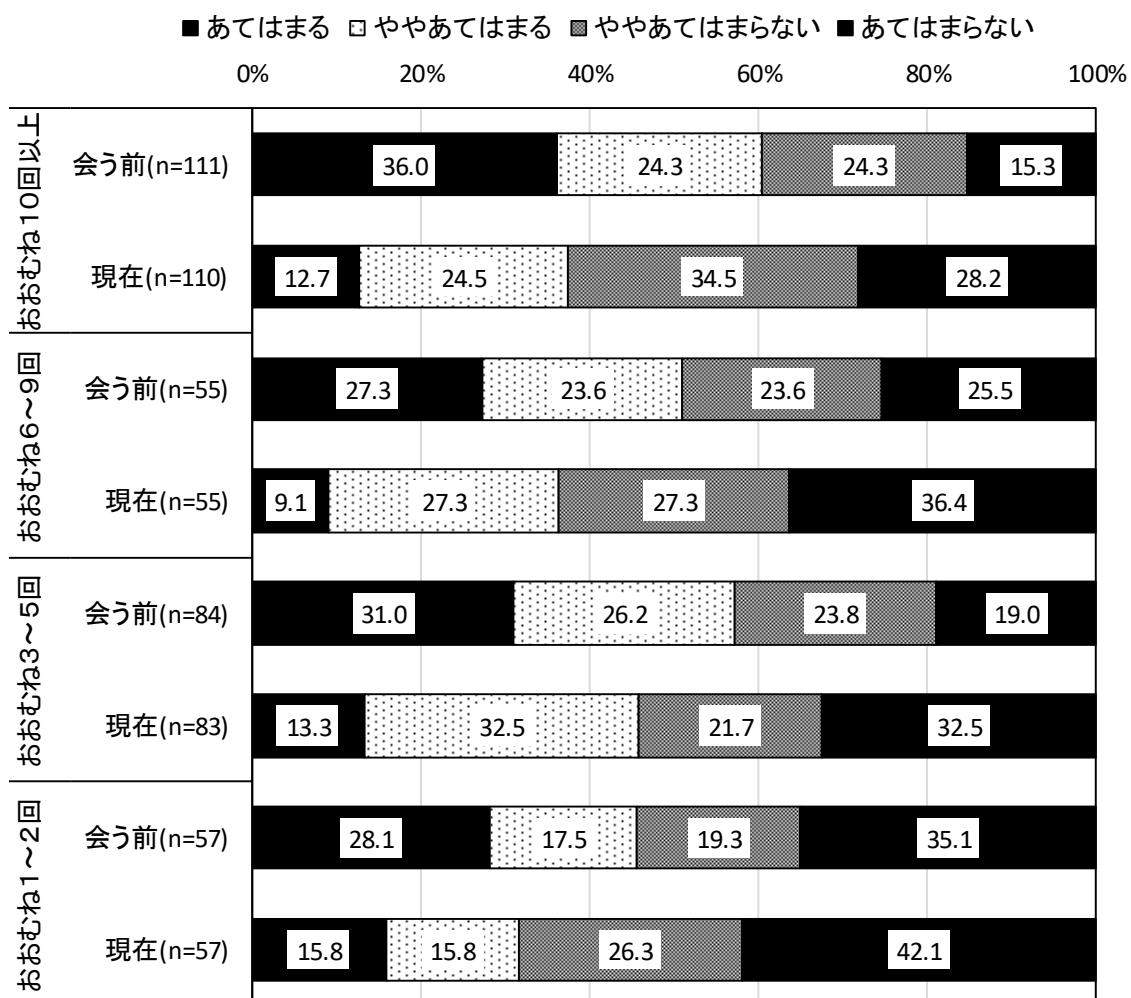


図 207 支援員に会った回数別に見た、自分一人で育てているという圧迫感を感じる

自分一人で育てているという圧迫感を感じるかについて、支援員に会った回数別に会う前と現在とを比較すると、いずれの群においても「あてはまる」の割合が低くなっており、特に「おおむね 10 回以上」の群で変化が大きい。「あてはまる」の会う前と現在のポイント差は、「おおむね 10 回以上」でマイナス 23.3 ポイント、「おおむね 6～9 回」でマイナス 18.2 ポイント、「おおむね 3～5 回」でマイナス 17.7 ポイント、「おおむね 1～2 回」でマイナス 12.3 ポイントである。

支援員に会った回数別に見た、子育ての変化（子どもの世話にはあまり関心がない）
 (問10×問13④)

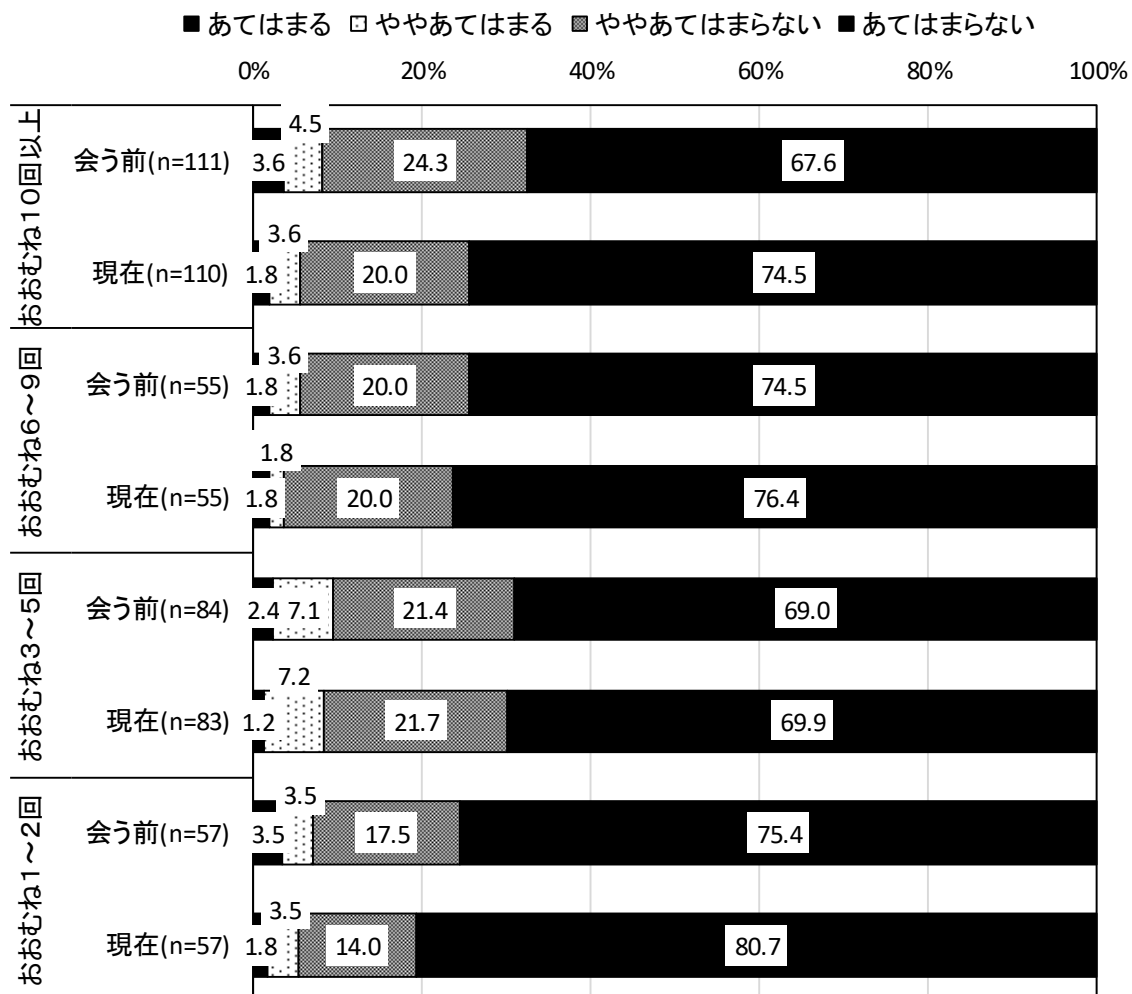


図 208 支援員に会った回数別に見た、子どもの世話にはあまり関心がない

子どもの世話にはあまり関心がないかについて、支援員に会った回数別に会う前と現在とを比較すると、いずれの群においても「あてはまる」の割合は会う前から低く、「あてはまらない」が大半を占める。特に「おおむね10回以上」の群において、「あてはまらない」の割合が増加している。「あてはまらない」の会う前と現在とのポイント差は、「おおむね10回以上」で6.9ポイント、「おおむね6～9回」で1.9ポイント、「おおむね3～5回」で0.9ポイント、「おおむね1～2回」で5.3ポイントである。

②社会環境

支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化（心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人）（問10×問16①）

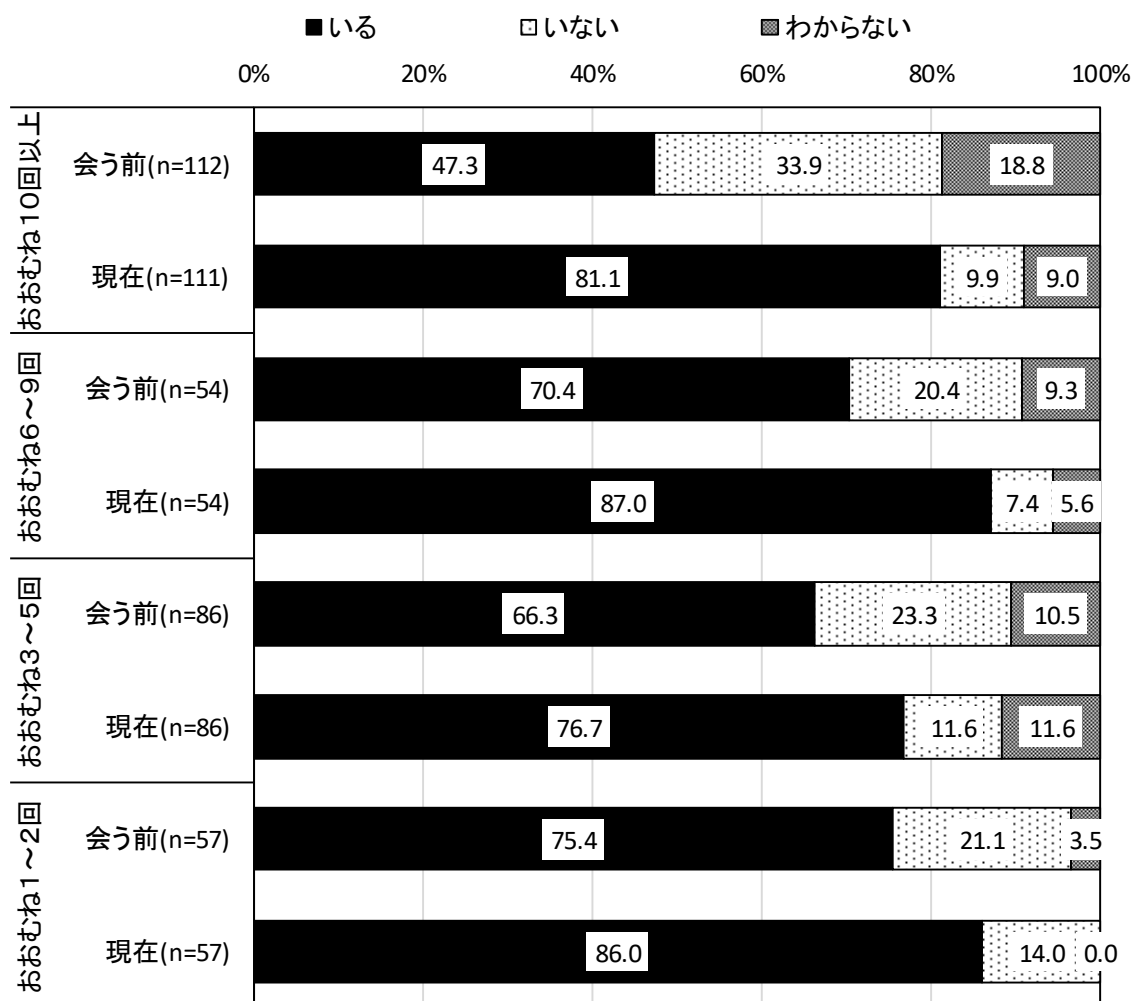


図 209 支援員に会った回数別に見た、心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人

心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人について、支援員に会った回数別に会う前と現在とを比較すると、いずれの群においても「いる」の割合が増加しており、特に「おおむね 10 回以上」の群で大きく変化している。「いる」の会う前と現在とのポイント差は、「おおむね 10 回以上」で 33.8 ポイント、「おおむね 6～9 回」で 16.6 ポイント、「おおむね 3～5 回」で 10.4 ポイント、「おおむね 1～2 回」で 10.6 ポイントである。

支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化（あなたの気持ちを察して思いやってくれる人）（問10×問16②）

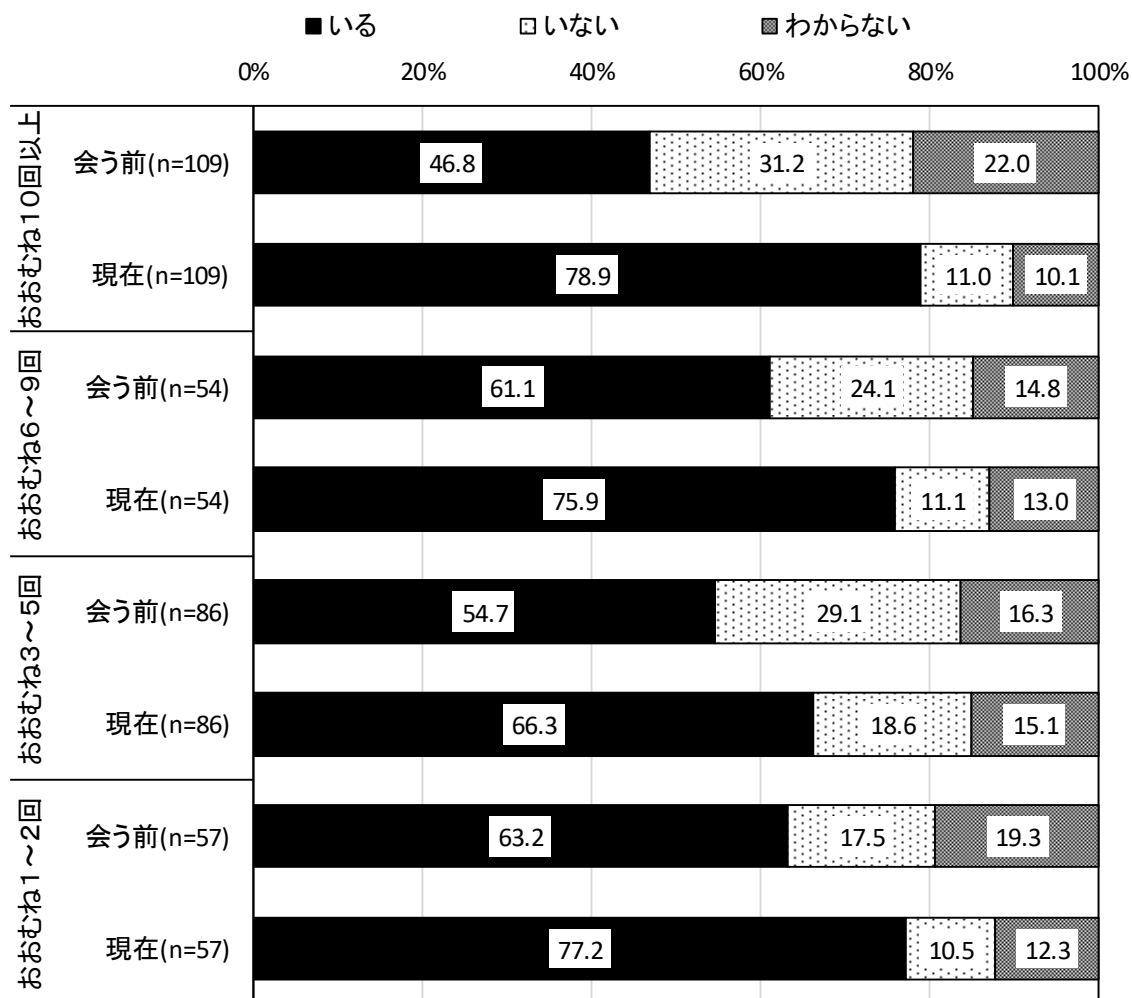


図 210 支援員に会った回数別に見た、あなたの気持ちを察して思いやってくれる人

あなたの気持ちを察して思いやってくれる人について、支援員に会った回数別に会う前と現在とを比較すると、いずれの群においても「いる」の割合が増加しており、特に「おおむね 10 回以上」の群で大きく変化している。「いる」の会う前と現在とのポイント差は、「おおむね 10 回以上」で 32.1 ポイント、「おおむね 6～9 回」で 14.8 ポイント、「おおむね 3～5 回」で 11.6 ポイント、「おおむね 1～2 回」で 14 ポイントである。

支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化（趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人）（問10×問16③）

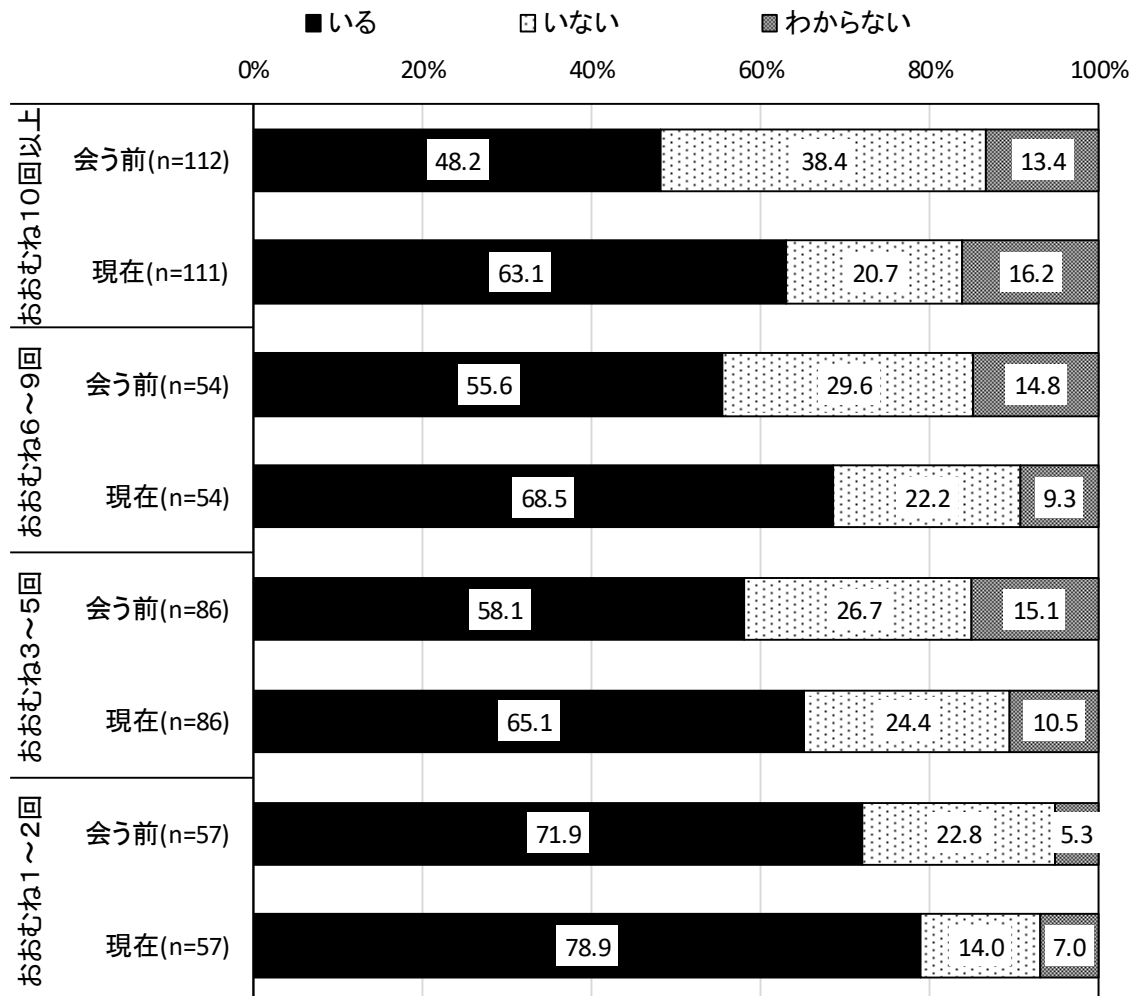


図 211 支援員に会った回数別に見た、趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人

趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人について、支援員に会った回数別に会う前と現在とを比較すると、特に「おおむね 10 回以上」「おおむね 6～9 回」の群で増加している。「いる」の会う前と現在とのポイント差は、「おおむね 10 回以上」で 14.9 ポイント、「おおむね 6～9 回」で 12.9 ポイント、「おおむね 3～5 回」で 7.0 ポイント、「おおむね 1～2 回」で 7.0 ポイントである。

支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化（子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人）（問10×問16④）

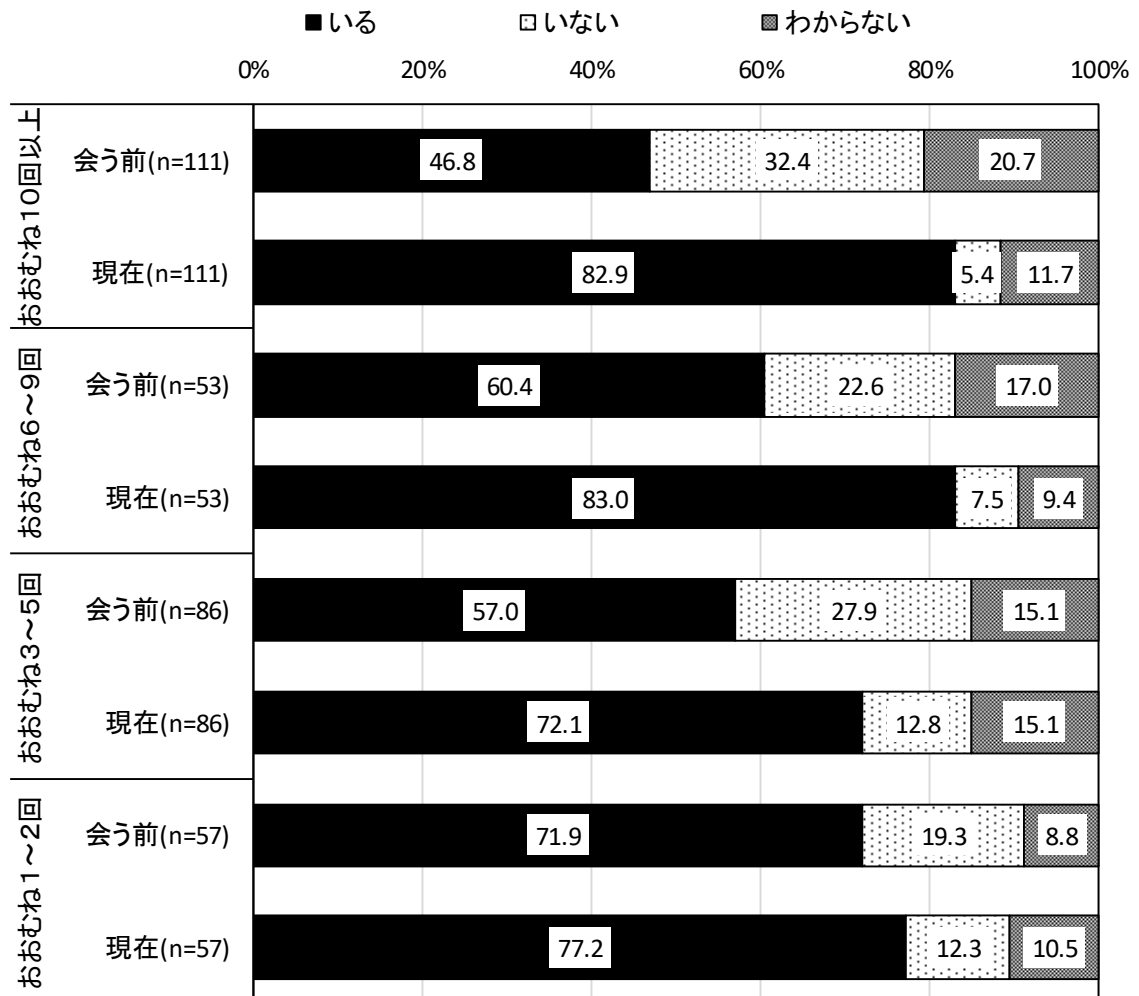


図 212 支援員に会った回数別に見た、子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人

子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人について、支援員に会った回数別に会う前と現在とを比較すると、特に「おおむね10回以上」「おおむね6～9回」の群で増加している。「いる」の会う前と現在とのポイント差は、「おおむね10回以上」で36.1ポイント、「おおむね6～9回」で22.6ポイント、「おおむね3～5回」で15.1ポイント、「おおむね1～2回」で5.3ポイントである。

支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化（子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人）（問10×問16⑤）

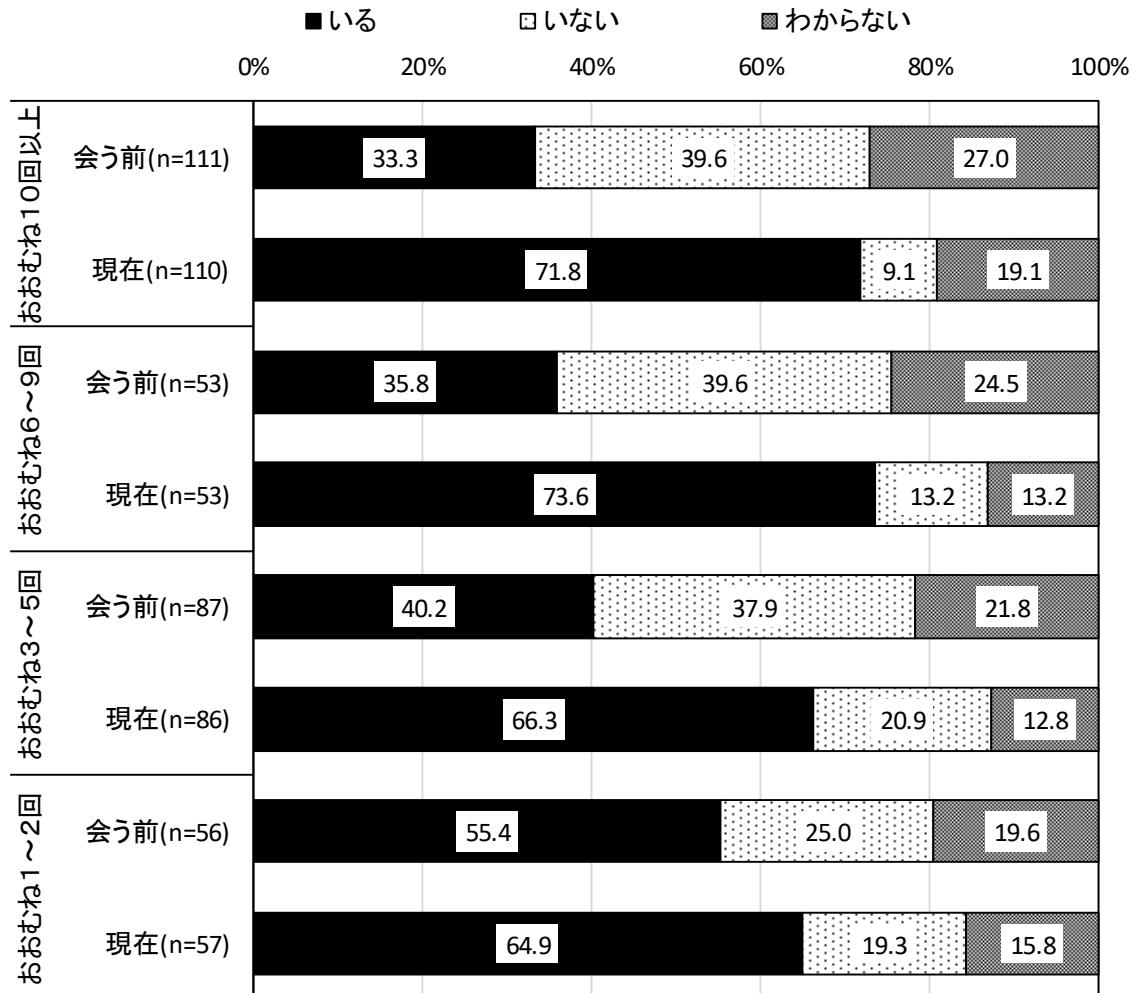


図 213 支援員に会った回数別に見た、子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人

子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人について、支援員に会った回数別に会う前と現在とを比較すると、特に「おおむね10回以上」「おおむね6～9回」「おおむね3～5回」の群で増加している。「いる」の会う前と現在とのポイント差は、「おおむね10回以上」で38.5ポイント、「おおむね6～9回」で37.8ポイント、「おおむね3～5回」で26.1ポイント、「おおむね1～2回」で9.5ポイントである。

支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化（子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人）（問10×問16⑥）

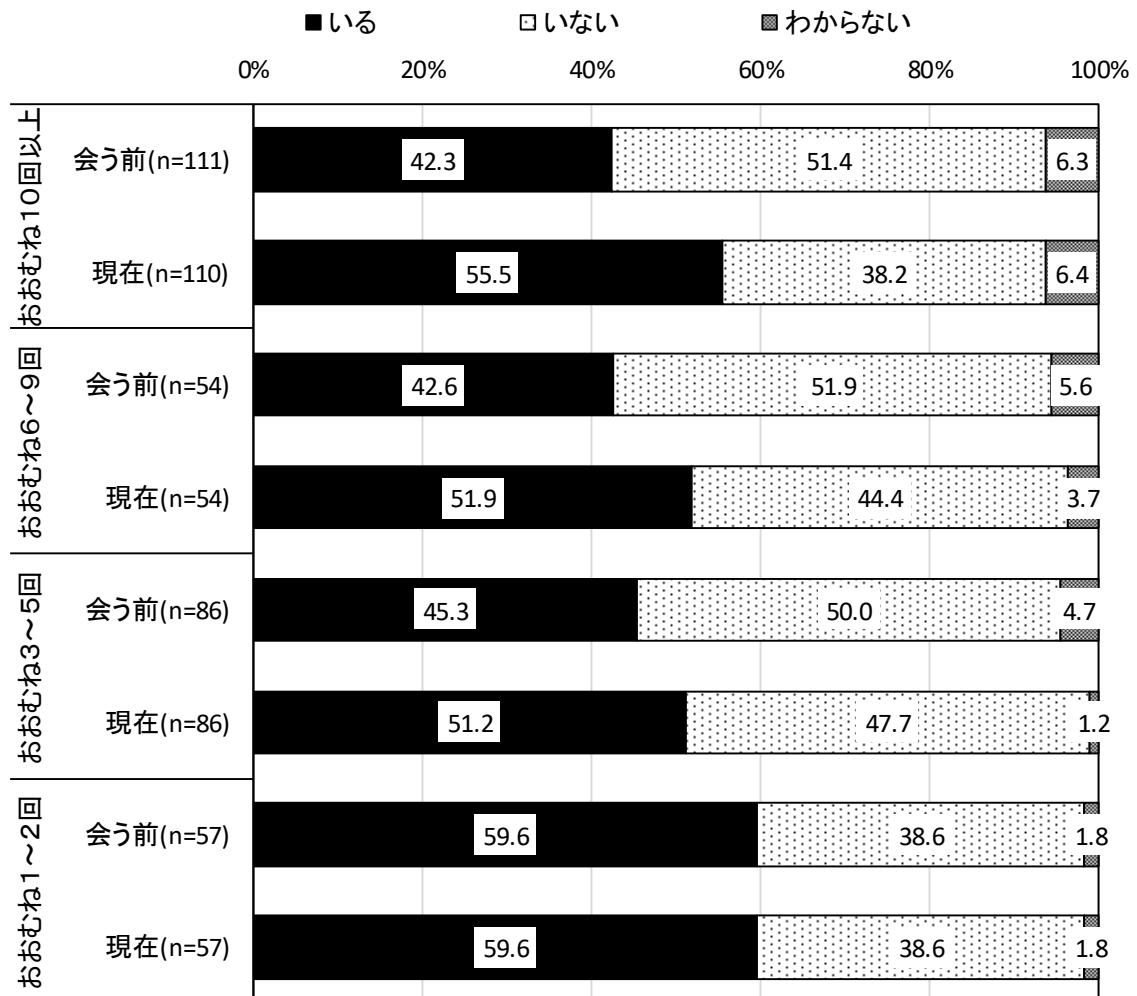


図 214 支援員に会った回数別に見た、子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人

子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人について、支援員に会った回数別に見ると、特に「おおむね10回以上」の群で増加している。「いる」の会う前と現在とのポイント差は、「おおむね10回以上」で13.2ポイント、「おおむね6～9回」で9.3ポイント、「おおむね3～5回」で5.9ポイント、「おおむね1～2回」で0ポイントである。

支援員に会った回数別に見た、対人関係の変化（留守を頼める人）（問10×問16⑦）

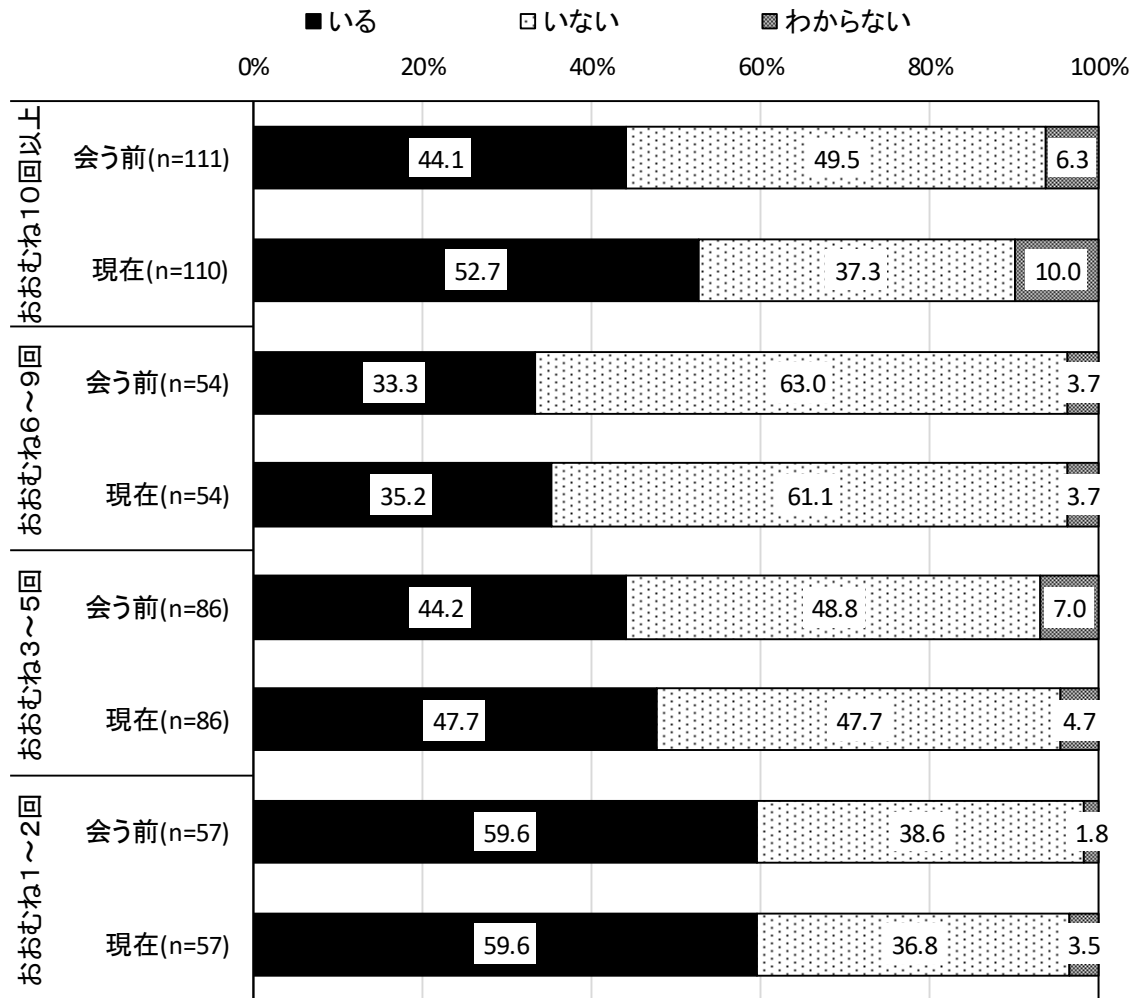


図 215 支援員に会った回数別に見た、留守を頼める人

留守を頼める人について、支援員に会った回数別に会う前と現在とを比較すると、特に「おおむね10回以上」の群で微増している。「いる」の会う前と現在とのポイント差は、「おおむね10回以上」で8.6ポイント、「おおむね6～9回」で1.9ポイント、「おおむね3～5回」で3.5ポイント、「おおむね1～2回」で0ポイントである。

(3) 保護者から見た子どもの変化

① 支援員サービスを利用するようになってからの変化

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（同じ時刻に起きる）（問10×問11①）

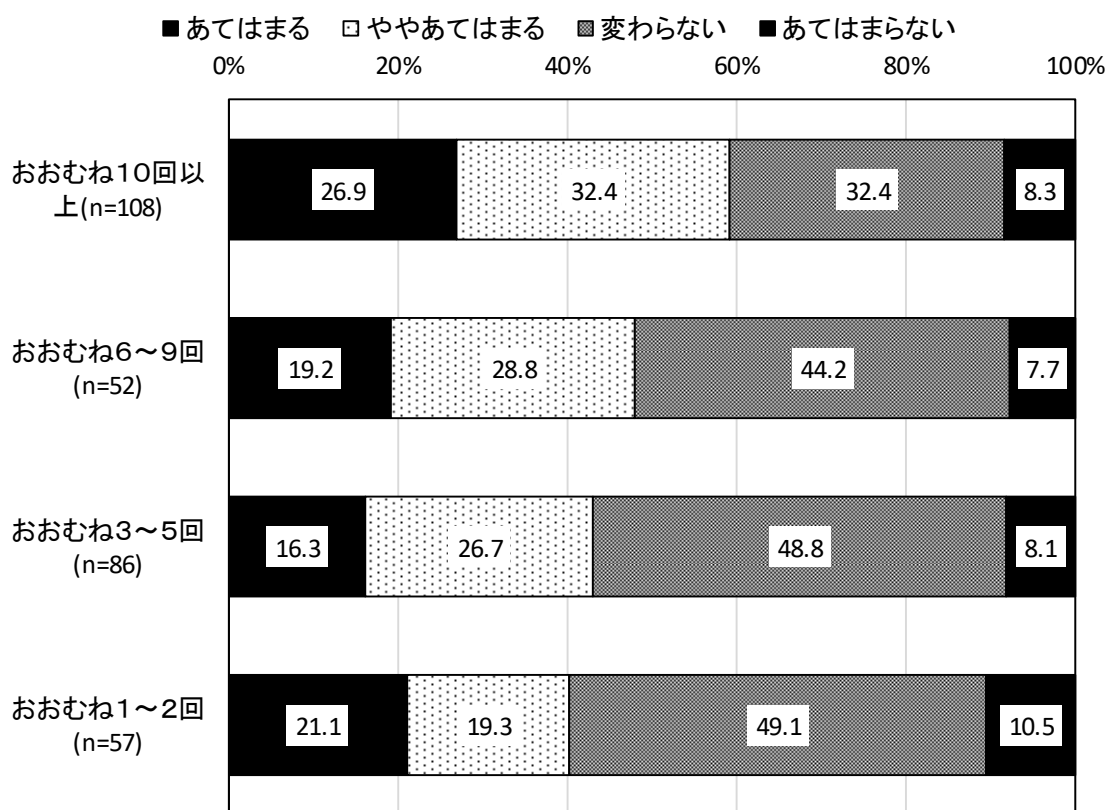


図 216 支援員に会った回数別に見た、同じ時刻に起きる

「おおむね10回以上」では、「ややあてはまる」と「変わらない」がいずれも32.4%でもっとも回答割合が高くなっている。「おおむね6～9回」では、「変わらない」が44.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が28.8%となっている。「おおむね3～5回」では、「変わらない」が48.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が26.7%となっている。「おおむね1～2回」では、「変わらない」が49.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「あてはまる」が21.1%となっている。

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（朝食を食べる）（問10×問11②）

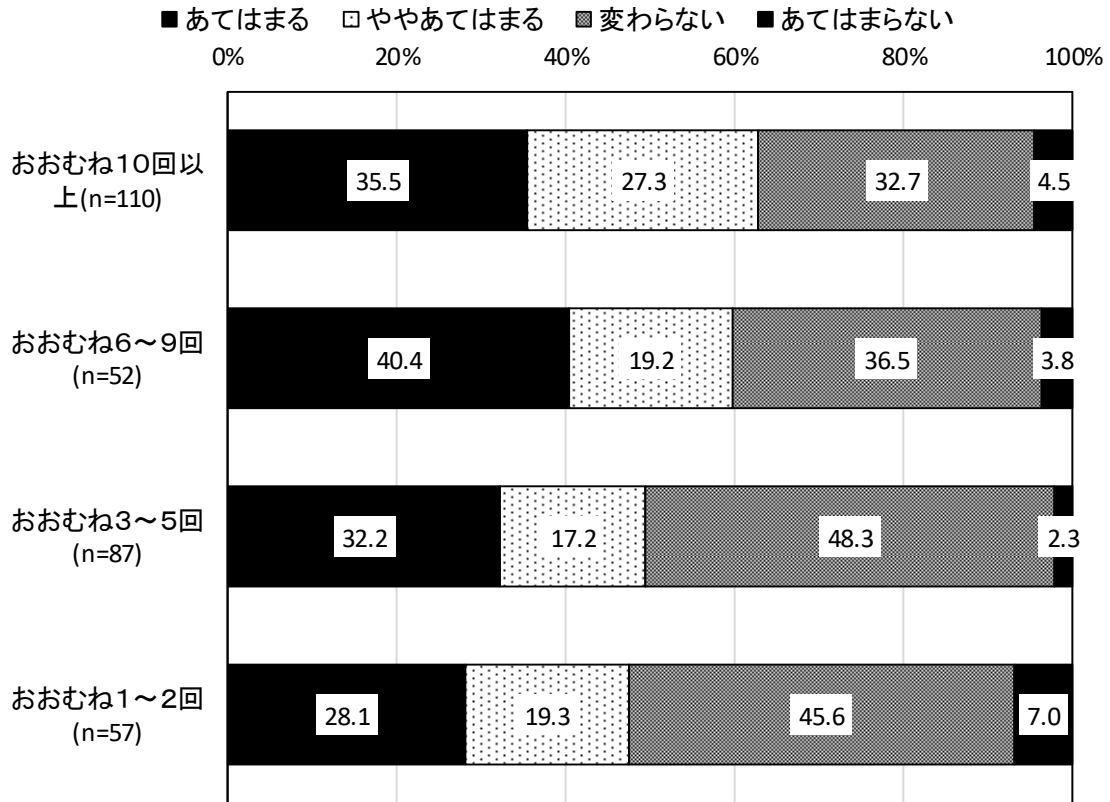


図 217 支援員に会った回数別に見た、朝食を食べる

「おおむね10回以上」では、「あてはまる」が35.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「変わらない」が32.7%となっている。「おおむね6～9回」では、「あてはまる」が40.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「変わらない」が36.5%となっている。「おおむね3～5回」では、「変わらない」が48.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「あてはまる」が32.2%となっている。「おおむね1～2回」では、「変わらない」が45.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「あてはまる」が28.1%となっている。

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（健康状態）（問10×問11③）

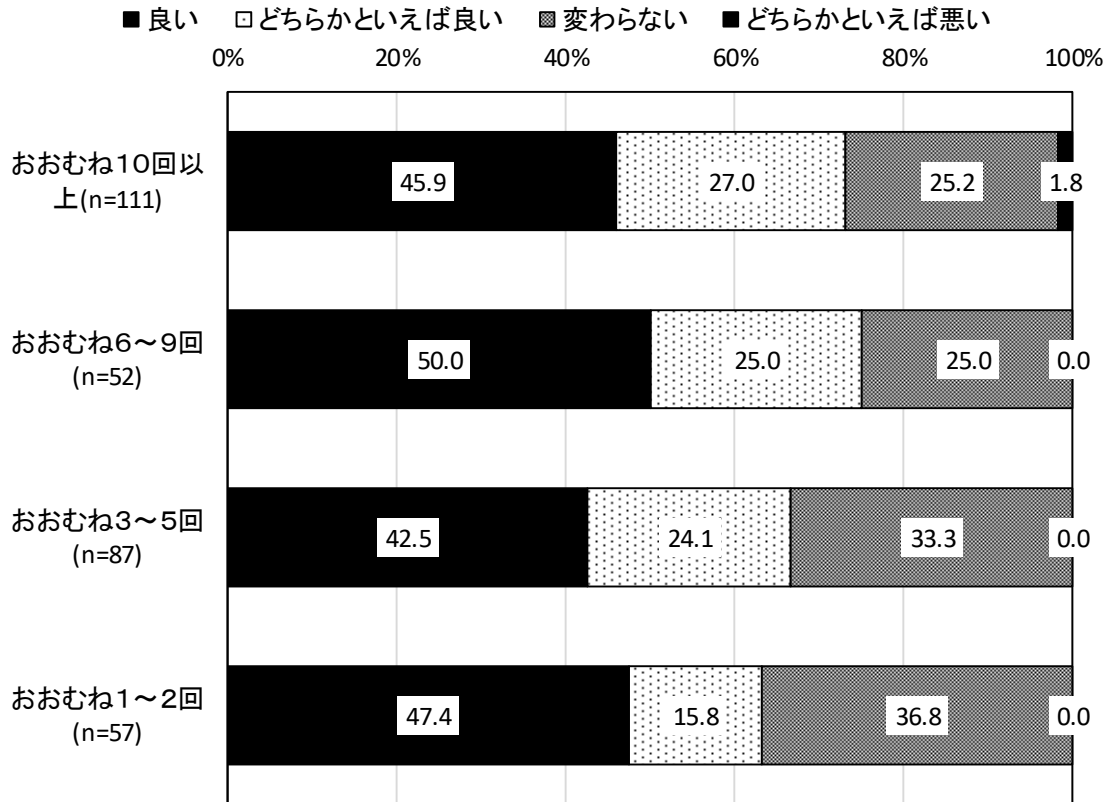


図 218 支援員に会った回数別に見た、健康状態

「おおむね10回以上」では、「良い」が45.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえば良い」が27.0%となっている。「おおむね6～9回」では、「良い」が50.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえば良い」と「変わらない」が25.0%となっている。「おおむね3～5回」では、「良い」が42.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「変わらない」が33.3%となっている。「おおむね1～2回」では、「良い」が47.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「変わらない」が36.8%となっている。

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（授業時間以外にも勉強する）
 (問10×問11④)

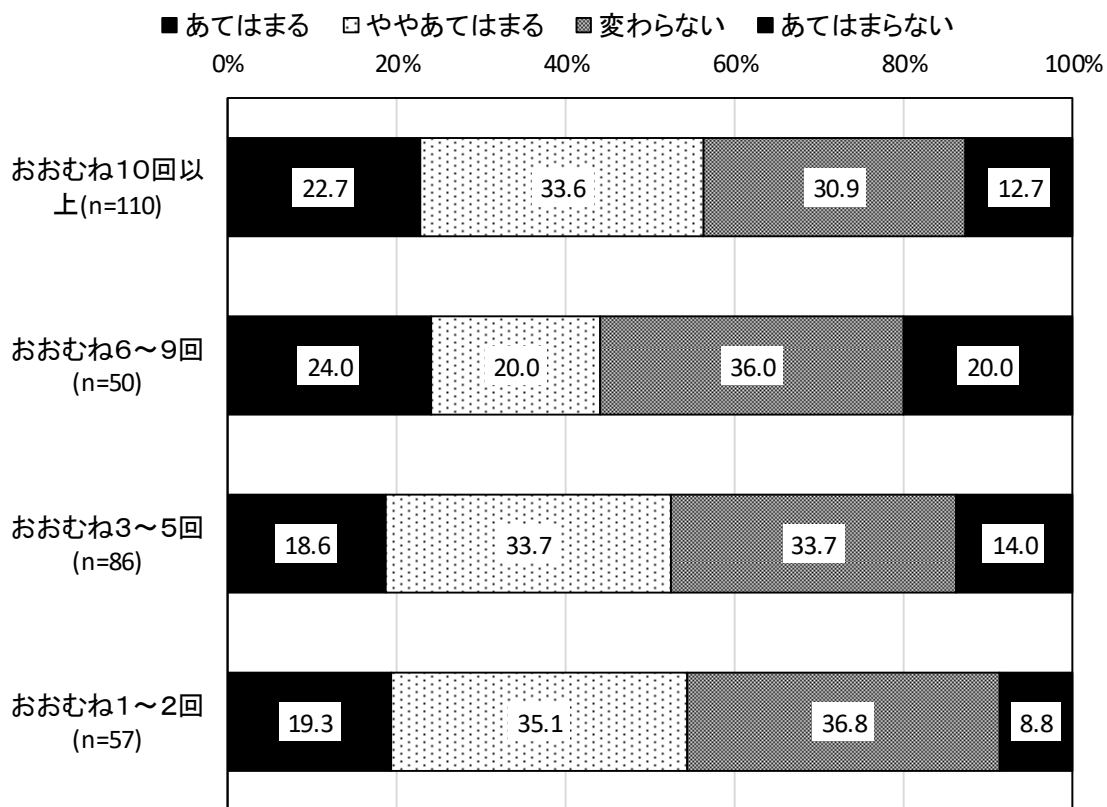


図 219 支援員に会った回数別に見た、授業時間以外にも勉強する

「おおむね10回以上」では、「ややあてはまる」が33.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「変わらない」が30.9%となっている。「おおむね6～9回」では、「変わらない」が36.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「あてはまる」が24.0%となっている。「おおむね3～5回」では、「ややあてはまる」と「変わらない」がいずれも33.7%でもっとも回答割合が高くなっている。「おおむね1～2回」では、「変わらない」が36.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が35.1%となっている。

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（授業が楽しい、勉強が面白いと思う、やる気が出る）（問10×問11⑤）

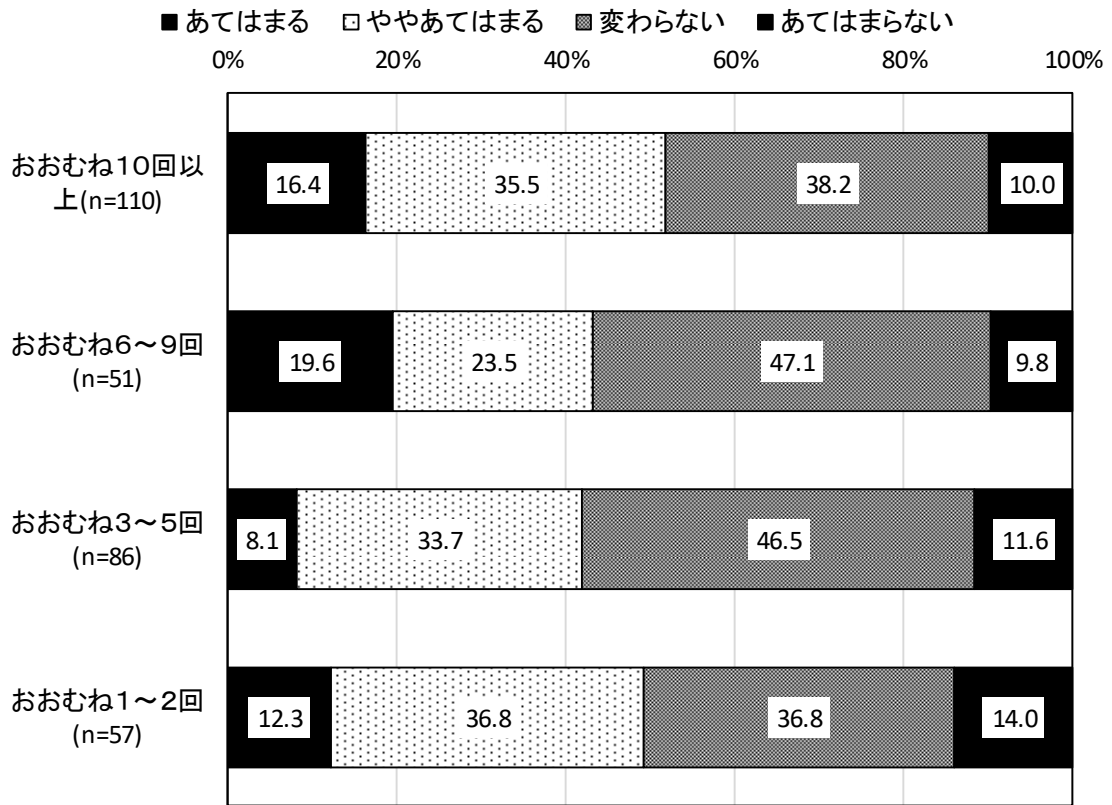


図 220 支援員に会った回数別に見た、授業が楽しい、勉強が面白いと思う、やる気が出る

「おおむね10回以上」では、「変わらない」が38.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が35.5%となっている。「おおむね6～9回」では、「変わらない」が47.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が23.5%となっている。「おおむね3～5回」では、「変わらない」が46.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が33.7%となっている。「おおむね1～2回」では、「ややあてはまる」と「変わらない」がいずれも36.8%でもっとも回答割合が高くなっている。

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する）（問10×問11⑥）

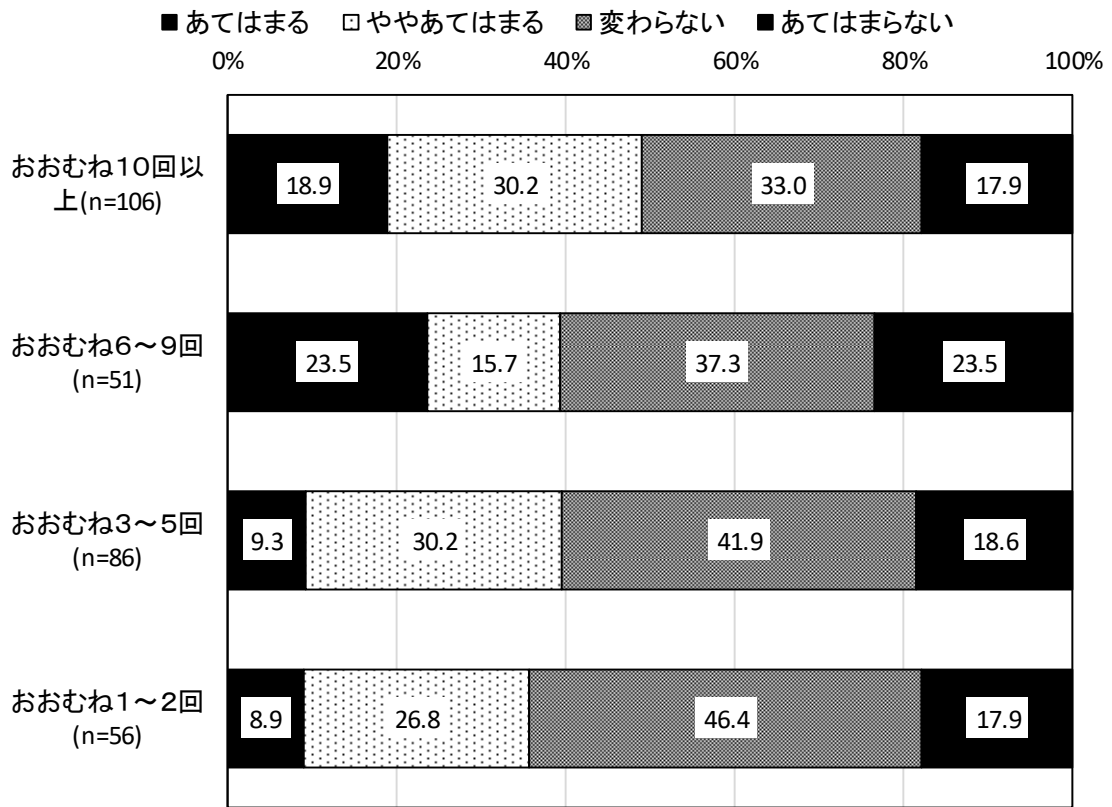


図 221 支援員に会った回数別に見た、お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する

「おおむね10回以上」では、「変わらない」が33.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が30.2%となっている。「おおむね6～9回」では、「変わらない」が37.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「あてはまる」と「あてはまらない」が23.5%となっている。「おおむね3～5回」では、「変わらない」が41.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が30.2%となっている。「おおむね1～2回」では、「変わらない」が46.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が26.8%となっている。

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる人がいる）（問10×問11⑦）

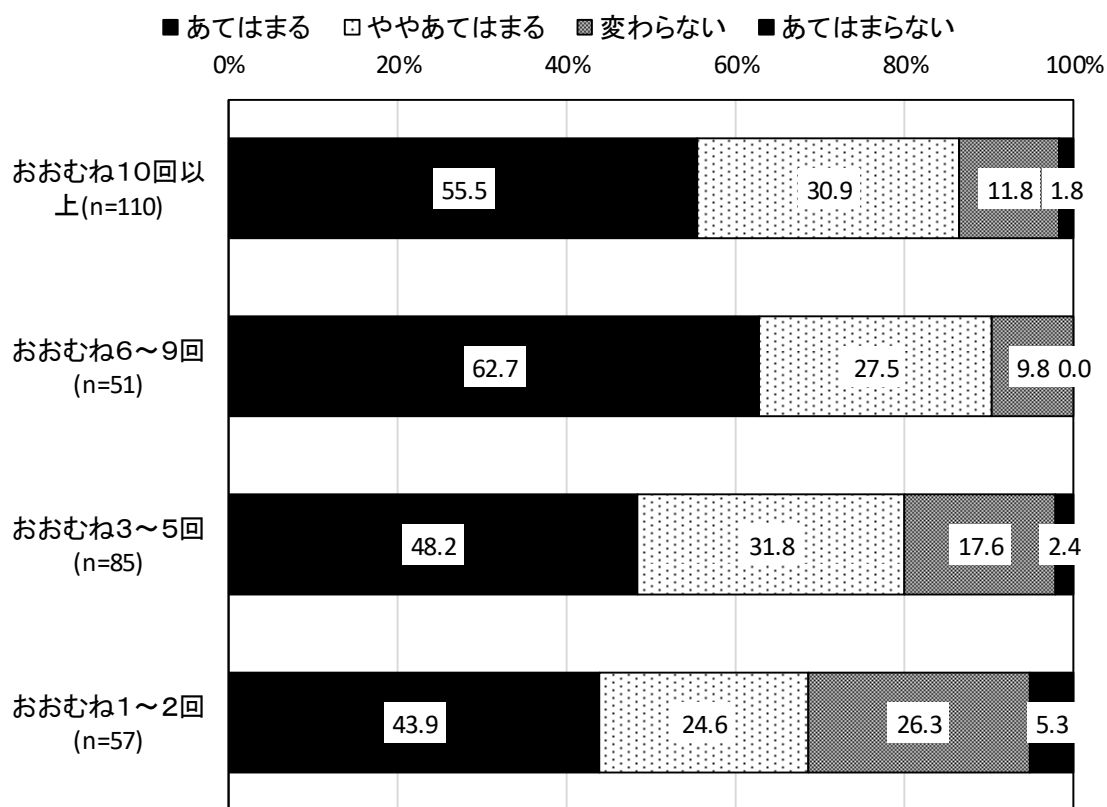


図 222 支援員に会った回数別に見た、勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる人がいる

「おおむね10回以上」では、「あてはまる」が55.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が30.9%となっている。「おおむね6～9回」では、「あてはまる」が62.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が27.5%となっている。「おおむね3～5回」では、「あてはまる」が48.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が31.8%となっている。「おおむね1～2回」では、「あてはまる」が43.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「変わらない」が26.3%となっている。

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（自分の考えをはっきり相手に伝えることができる）（問10×問11⑧）

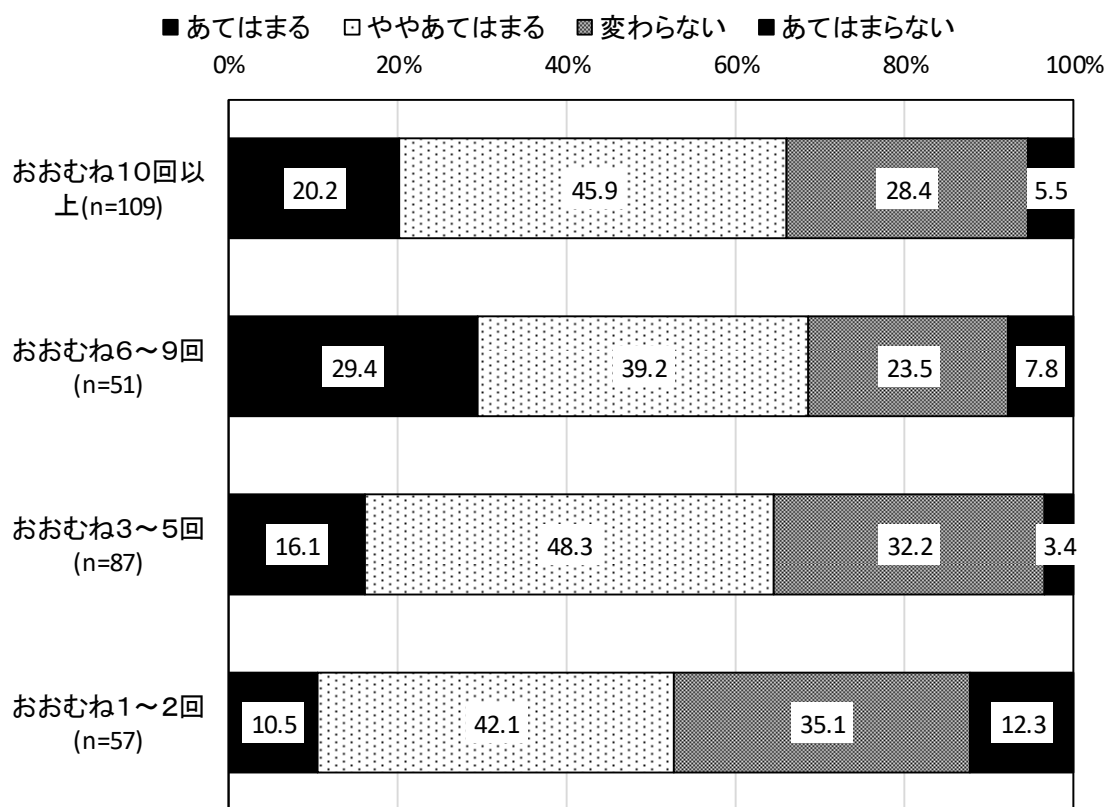


図 223 支援員に会った回数別に見た、自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

「おおむね10回以上」では、「ややあてはまる」が45.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「変わらない」が28.4%となっている。「おおむね6~9回」では、「ややあてはまる」が39.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「あてはまる」が29.4%となっている。「おおむね3~5回」では、「ややあてはまる」が48.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「変わらない」が32.2%となっている。「おおむね1~2回」では、「ややあてはまる」が42.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「変わらない」が35.1%となっている。

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（自分の将来の夢や目標を持っている）
 （問10×問11⑨）

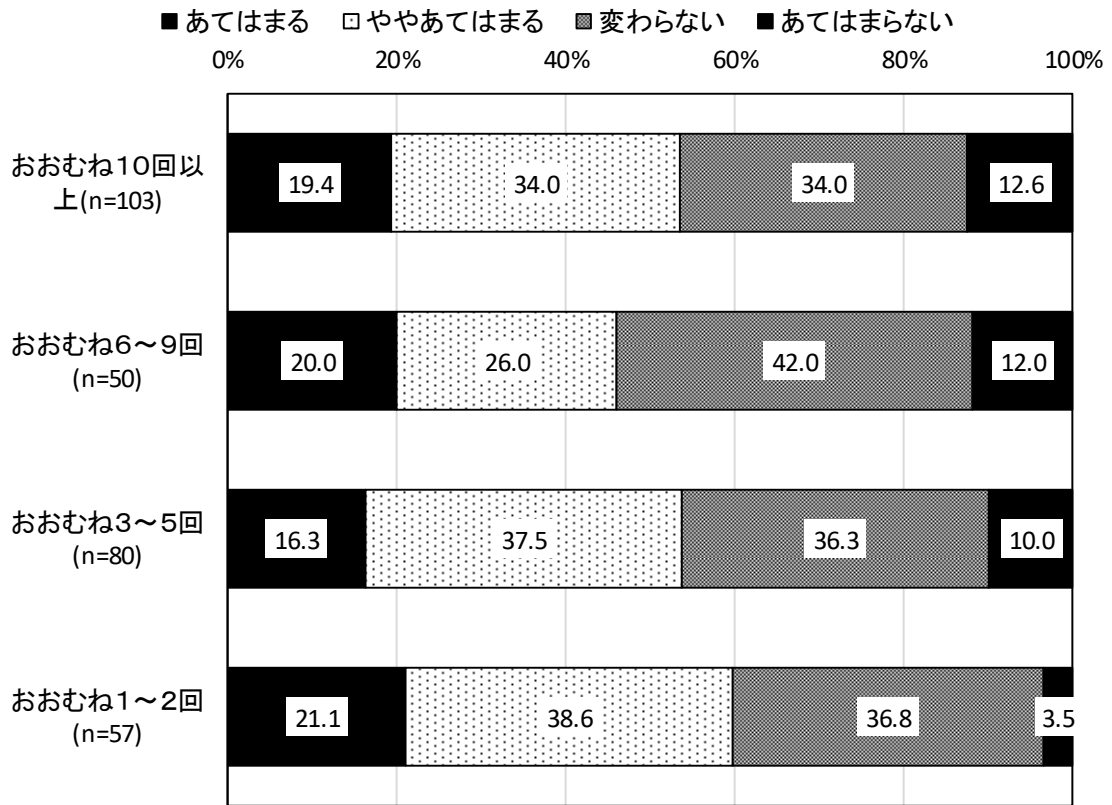


図 224 支援員に会った回数別に見た、自分の将来の夢や目標を持っている

「おおむね10回以上」では、「ややあてはまる」と「変わらない」がいずれも34.0%でもっとも回答割合が高くなっている。「おおむね6～9回」では、「変わらない」が42.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が26.0%となっている。「おおむね3～5回」では、「ややあてはまる」が37.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「変わらない」が36.3%となっている。「おおむね1～2回」では、「ややあてはまる」が38.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「変わらない」が36.8%となっている。

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（放課後どこで過ごしますか
 (問10×問11⑩)

□ おおむね10回以上(n=112) ▨ おおむね6～9回(n=57)
 ■ おおむね3～5回(n=90) □ おおむね1～2回(n=58)

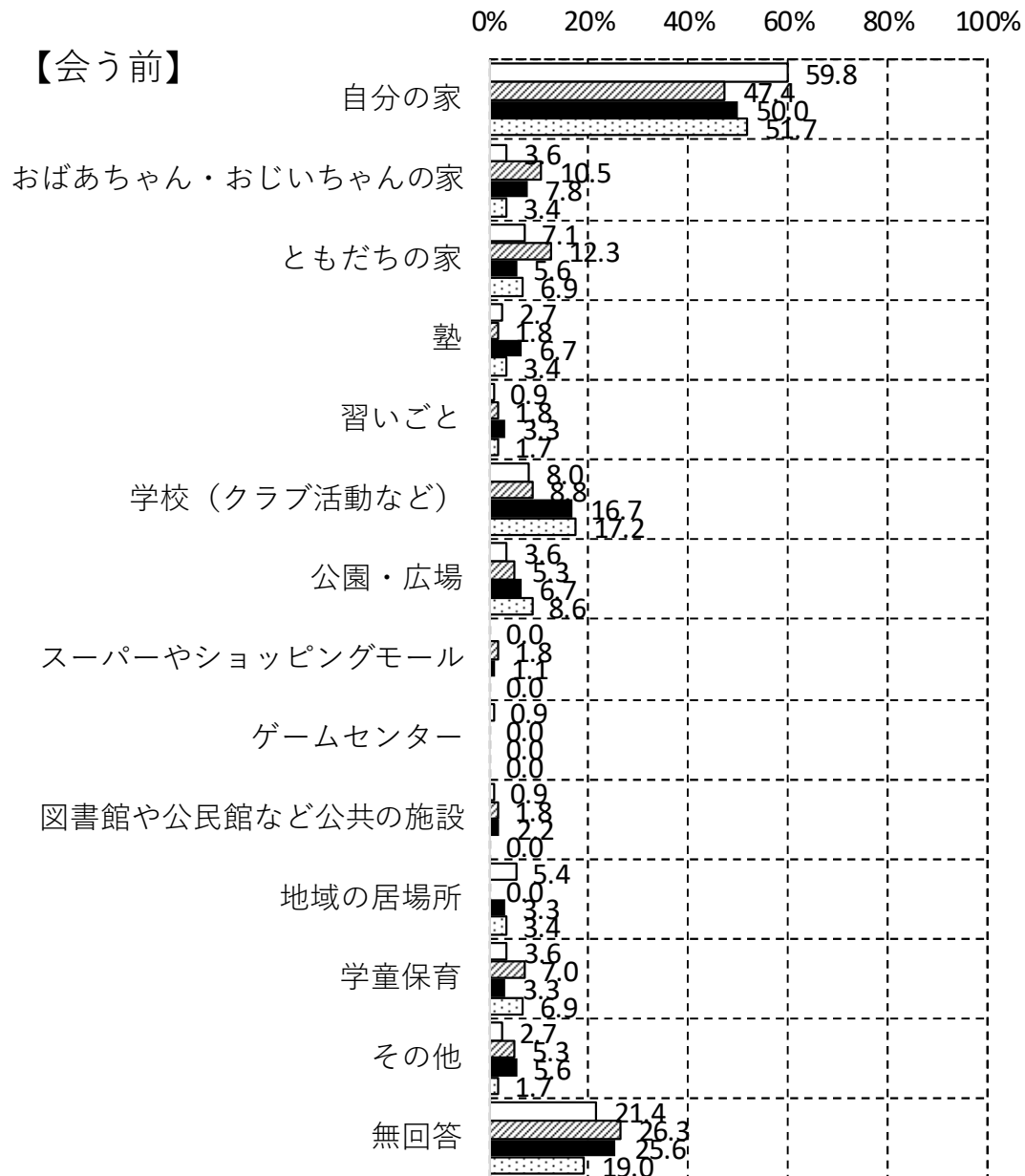


図 225 支援員に会った回数別に見た、放課後どこで過ごしますか（会う前）

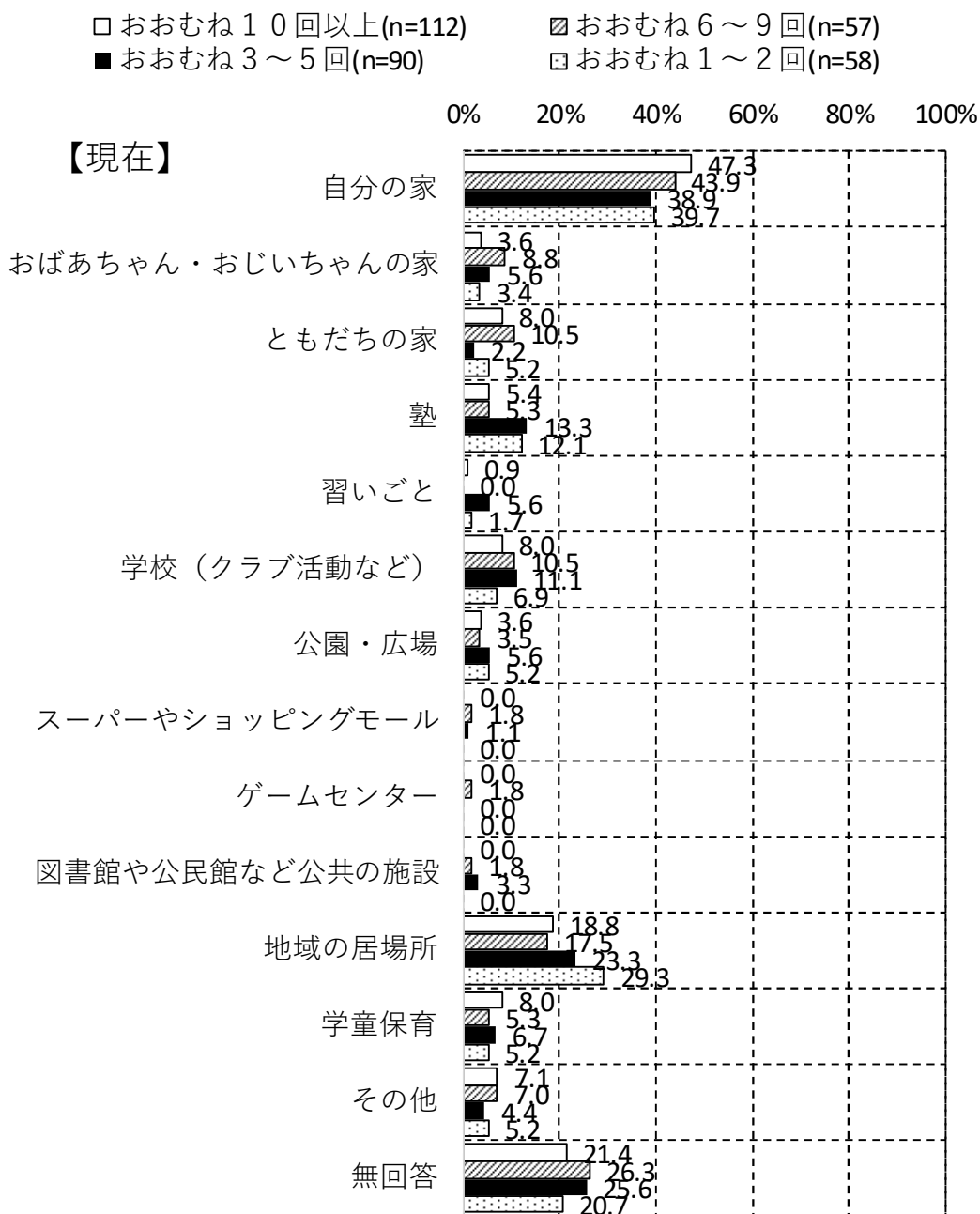


図 226 支援員に会った回数別に見た、放課後どこで過ごしますか (現在)

支援員に会う前をみると、「おおむね10回以上」では、「自分の家」が59.8%でもっとも回答割合が高く、「学校（クラブ活動など）」が8.0%となっている。「おおむね6～9回」では、「自分の家」が47.4%でもっとも回答割合が高く、「ともだちの家」が12.3%となっている。「おおむね3～5回」では、「自分の家」が50.0%でもっとも回答割合が高く、「学校（クラブ活動など）」が16.7%となっている。「おおむね1～2回」では、「自分の家」が51.7%でもっとも回答割合が高く、「学校（クラブ活動など）」が17.2%となっている。

現在をみると、「おおむね10回以上」では、「自分の家」が47.3%でもっとも回答割合が高く、「地域の居場所」が18.8%となっている。「おおむね6～9回」では、「自分の家」が43.9%でもっとも回答割合が高く、「地域の居場所」が17.5%となっている。「おおむね3～5回」では、「自分の家」が38.9%でもっとも回答割合が高く、「地域の居場所」が23.3%となっている。「おおむね1～2回」では、「自分の家」が39.7%でもっとも回答割合が高く、「地域の居場所」が29.3%となっている。

②食事の提供や学習の支援などのサービスを利用するようになってからの変化

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（同じ時刻に起きる）（問10×問20①）

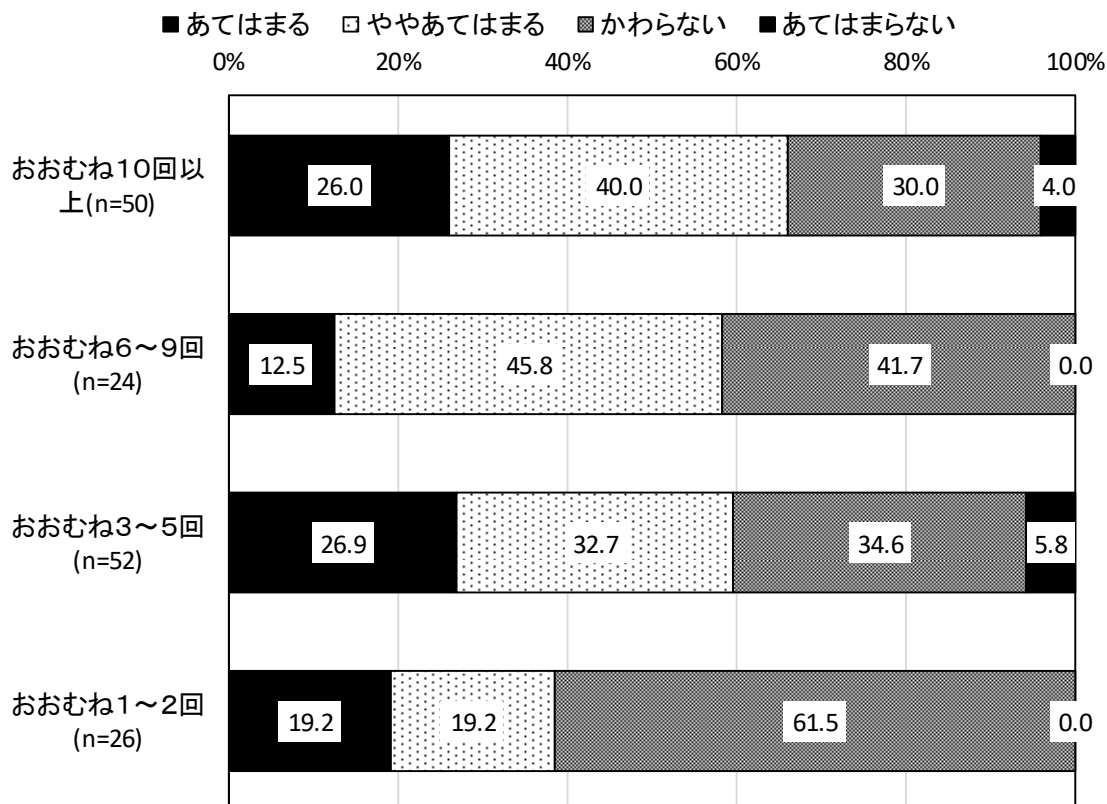


図 227 支援員に会った回数別に見た、同じ時刻に起きる

「おおむね10回以上」では、「ややあてはまる」が40.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「かわらない」が30.0%となっている。「おおむね6～9回」では、「ややあてはまる」が45.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「かわらない」が41.7%となっている。「おおむね3～5回」では、「かわらない」が34.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が32.7%となっている。「おおむね1～2回」では、「ややあてはまらない」が61.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「あてはまる」と「ややあてはまる」が19.2%となっている。

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（朝食を食べる）（問10×問20②）

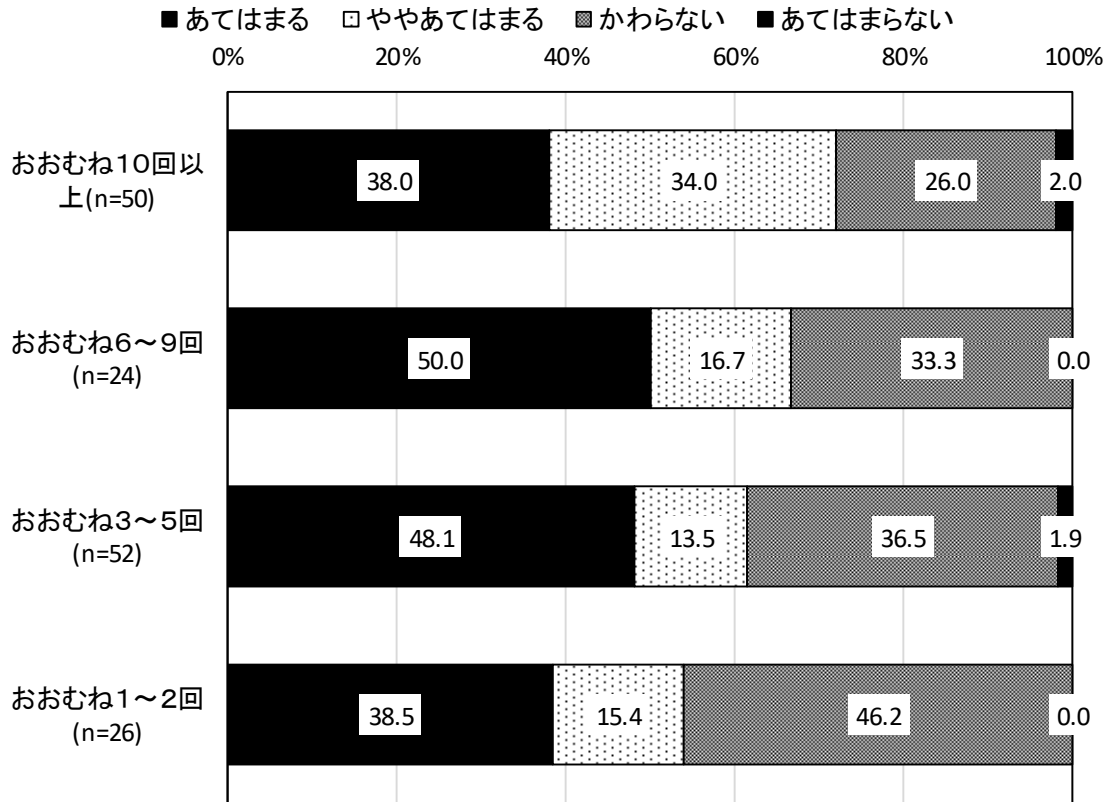


図 228 支援員に会った回数別に見た、朝食を食べる

「おおむね10回以上」では、「あてはまる」が38.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が34.0%となっている。「おおむね6～9回」では、「あてはまる」が50.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「かわらない」が33.3%となっている。「おおむね3～5回」では、「あてはまる」が48.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「かわらない」が36.5%となっている。「おおむね1～2回」では、「かわらない」が46.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「あてはまる」が38.5%となっている。

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（健康状態）（問10×問20③）

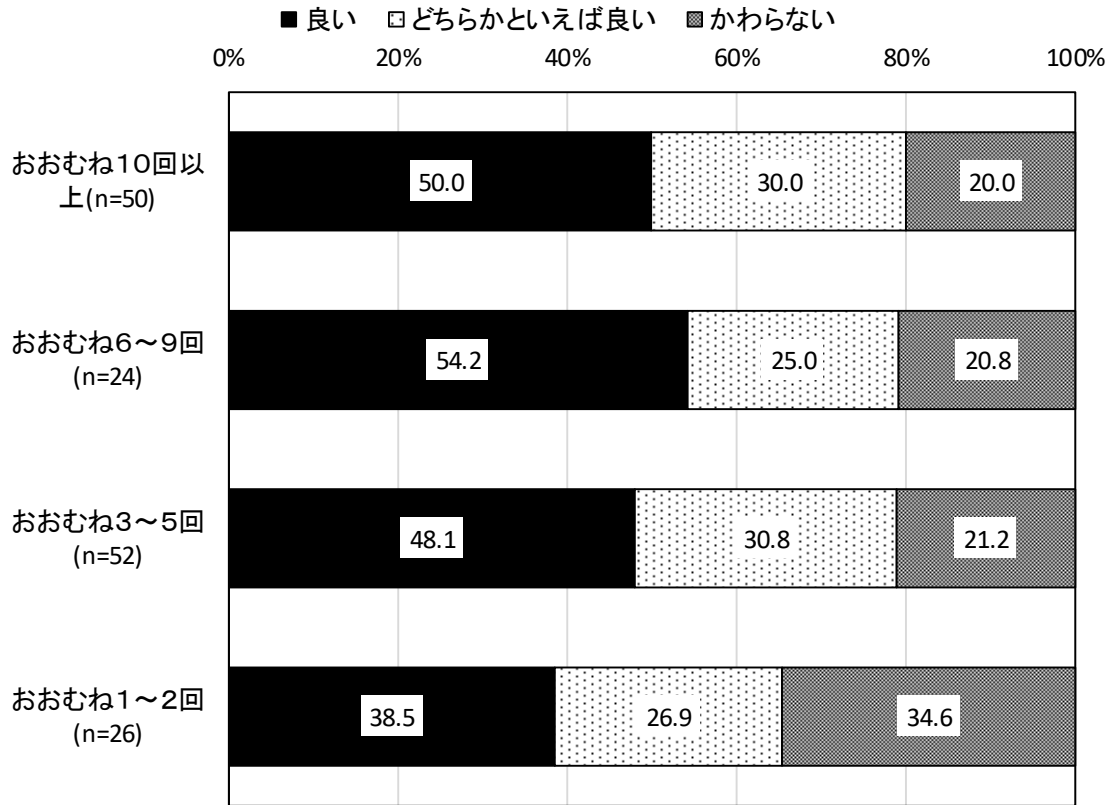


図 229 支援員に会った回数別に見た、健康状態

「おおむね10回以上」では、「良い」が50.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえば良い」が30.0%となっている。「おおむね6～9回」では、「良い」が54.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえば良い」が25.0%となっている。「おおむね3～5回」では、「良い」が48.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「どちらかといえば良い」が30.8%となっている。「おおむね1～2回」では、「良い」が38.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「かわらない」が34.6%となっている。

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（授業時間以外にも勉強する）
 (問10×問20④)

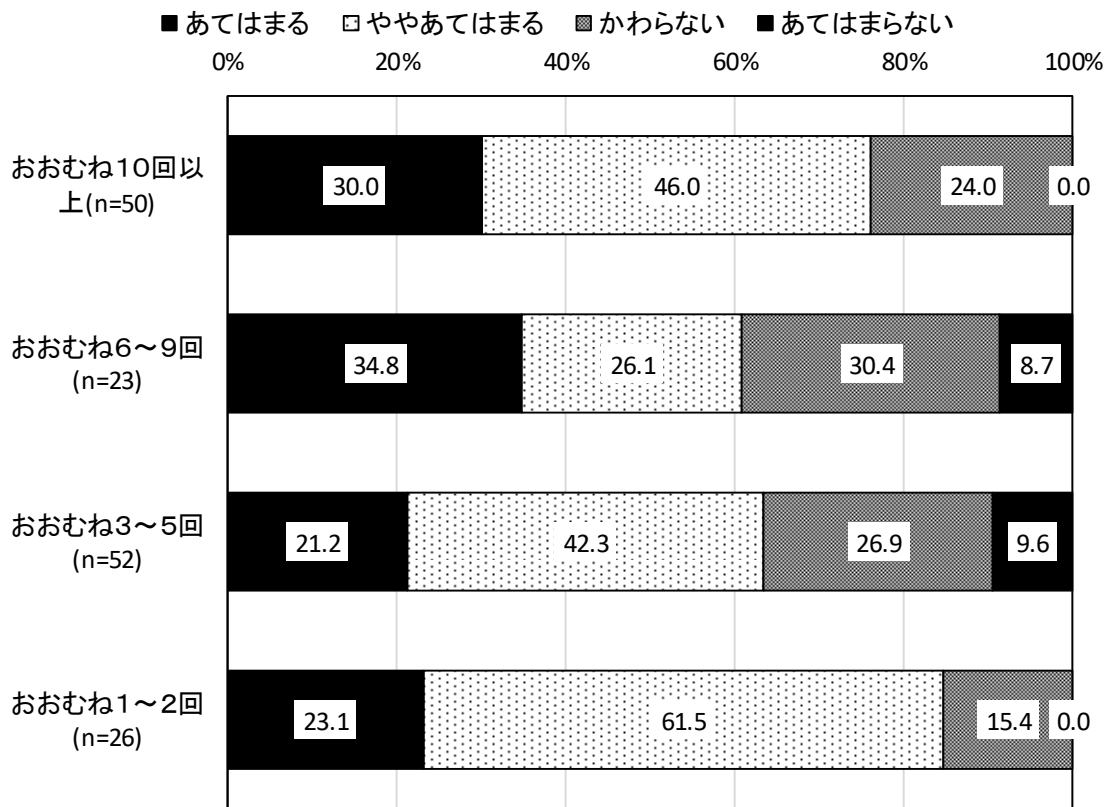


図 230 支援員に会った回数別に見た、授業時間以外にも勉強する

「おおむね10回以上」では、「ややあてはまる」が46.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「あてはまる」が30.0%となっている。「おおむね6～9回」では、「あてはまる」が34.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまらない」が30.4%となっている。「おおむね3～5回」では、「ややあてはまる」が42.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまらない」が26.9%となっている。「おおむね1～2回」では、「ややあてはまる」が61.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「あてはまる」が23.1%となっている。

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（授業が楽しい、勉強が面白いと思う、やる気が出る）（問10×問20⑤）

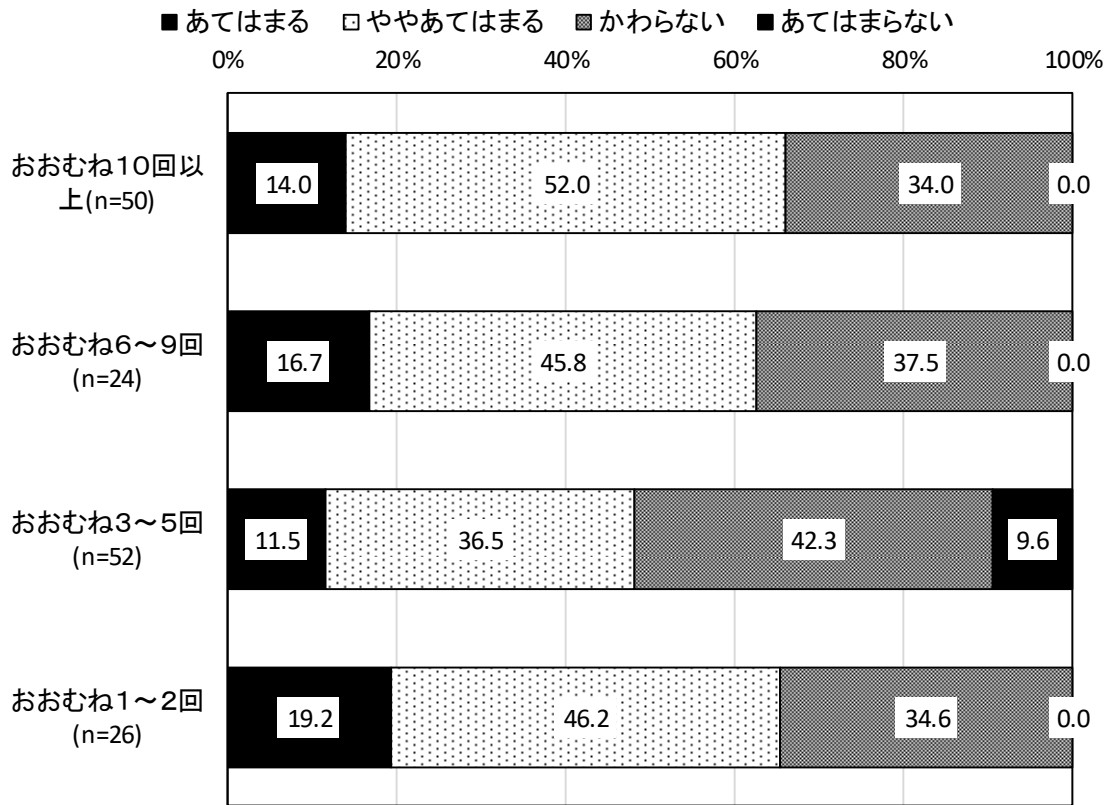


図 231 支援員に会った回数別に見た、授業が楽しい、勉強が面白いと思う、やる気が出る

「おおむね10回以上」では、「ややあてはまる」が52.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまらない」が34.0%となっている。「おおむね6～9回」では、「ややあてはまる」が45.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまらない」が37.5%となっている。「おおむね3～5回」では、「ややあてはまらない」が42.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が36.5%となっている。「おおむね1～2回」では、「ややあてはまる」が46.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまらない」が34.6%となっている。

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する）（問10×問20㉔）

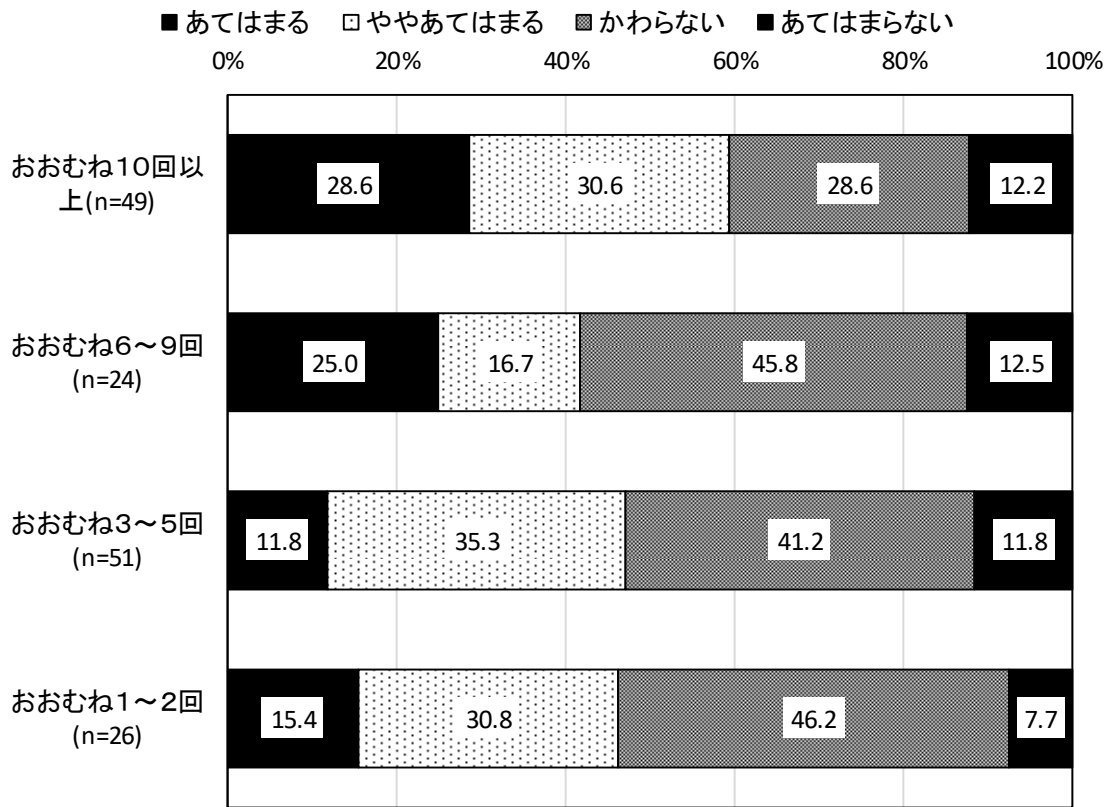


図 232 支援員に会った回数別に見た、お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する

「おおむね10回以上」では、「ややあてはまる」が30.6%でもっとも回答割合が高く、次いで「あてはまる」と「かわらない」がそれぞれ28.6%となっている。「おおむね6～9回」では、「かわらない」が45.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「あてはまる」が25.0%となっている。「おおむね3～5回」では、「かわらない」が41.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が35.3%となっている。「おおむね1～2回」では、「かわらない」が46.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が30.8%となっている。

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（勉強やスポーツをがんばったときに、ほめてくれる人がいる）（問10×問20⑦）

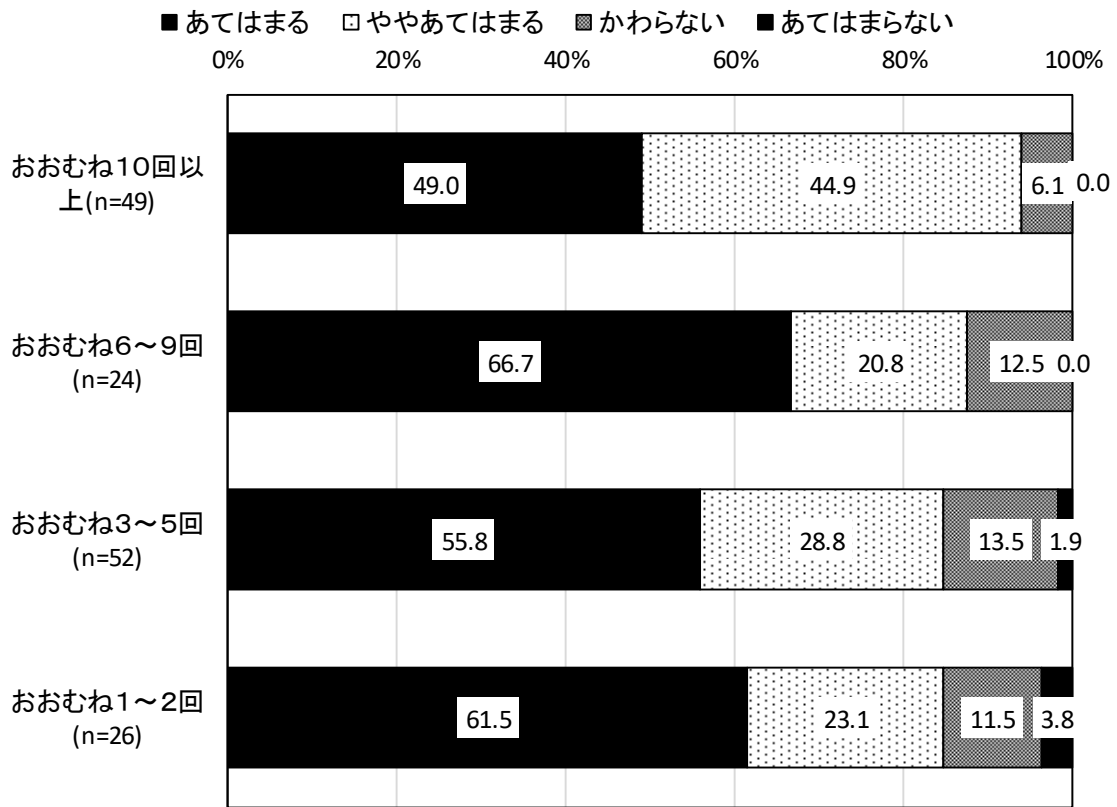


図 233 支援員に会った回数別に見た、勉強やスポーツをがんばったときに、ほめてくれる人がいる

「おおむね10回以上」では、「あてはまる」が49.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が44.9%となっている。「おおむね6～9回」では、「あてはまる」が66.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が20.8%となっている。「おおむね3～5回」では、「あてはまる」が55.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が28.8%となっている。「おおむね1～2回」では、「あてはまる」が61.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「ややあてはまる」が23.1%となっている。

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（自分の考えをはっきり相手に伝えることができる）（問10×問20⑧）

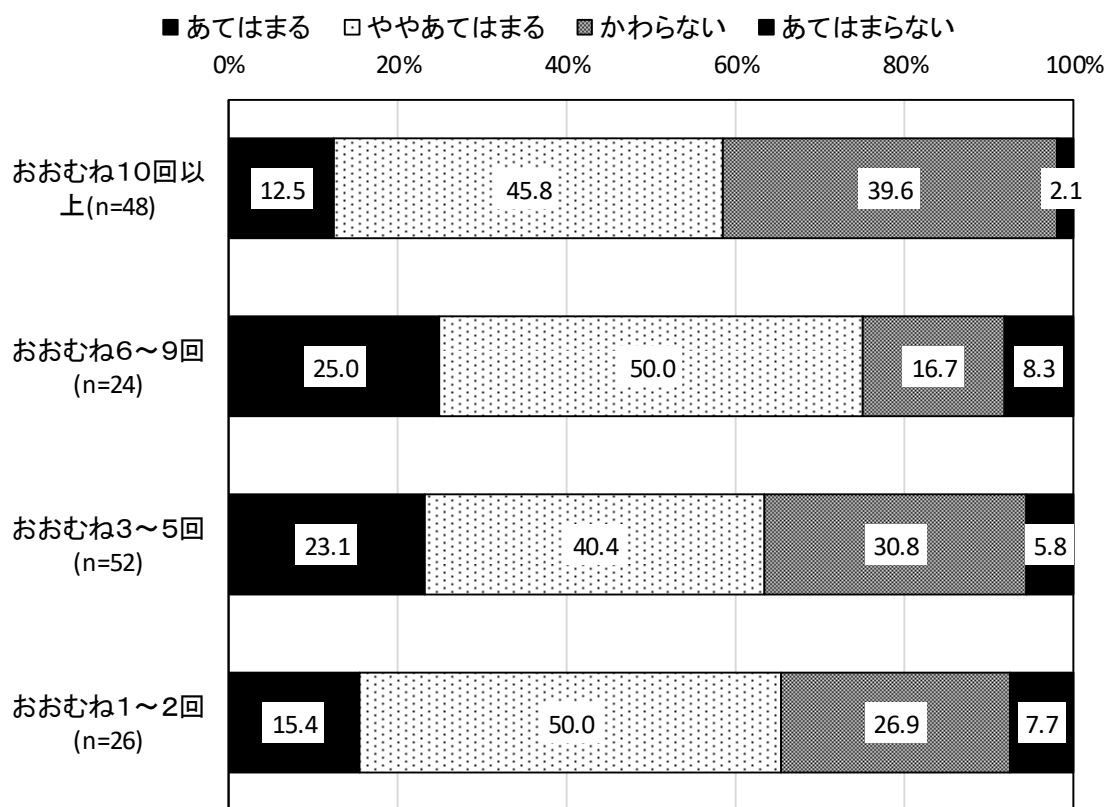


図 234 支援員に会った回数別に見た、自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

「おおむね10回以上」では、「ややあてはまる」が45.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「かわらない」が39.6%となっている。「おおむね6～9回」では、「ややあてはまる」が50.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「あてはまる」が25.0%となっている。「おおむね3～5回」では、「ややあてはまる」が40.4%でもっとも回答割合が高く、次いで「かわらない」が30.8%となっている。「おおむね1～2回」では、「ややあてはまる」が50.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「かわらない」が26.9%となっている。

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（自分の将来の夢や目標を持っている）
 （問10×問20㉑）

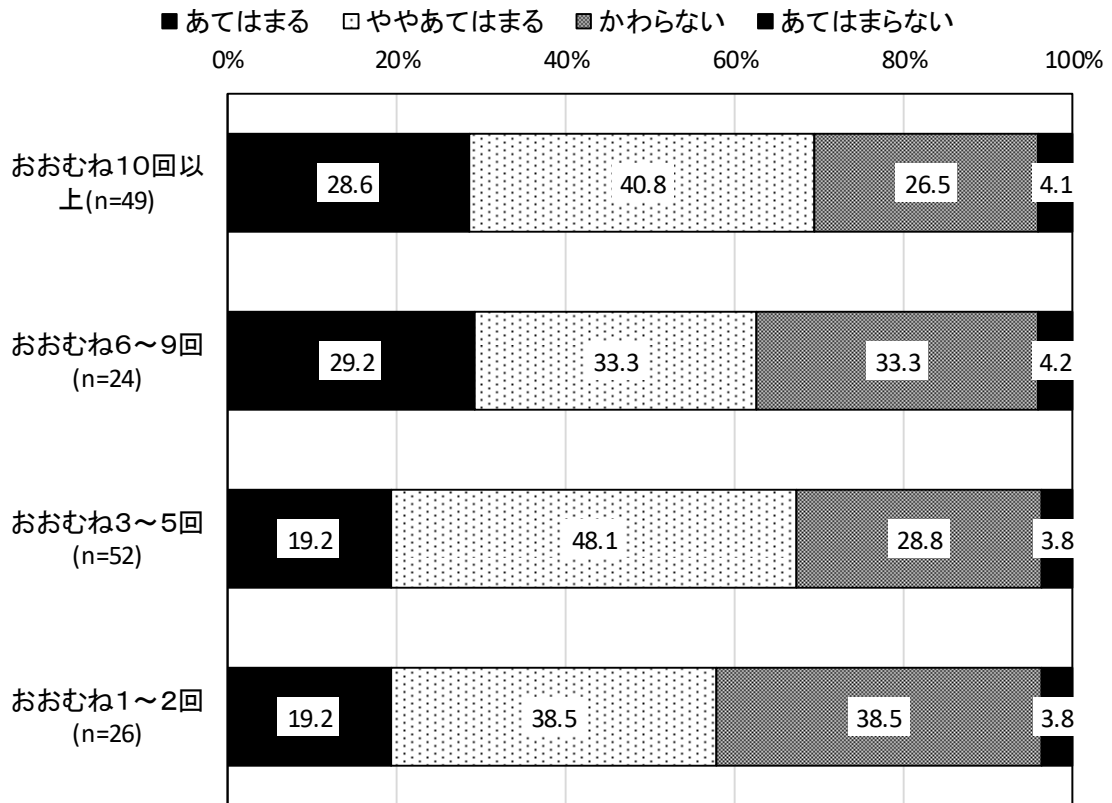


図 235 支援員に会った回数別に見た、自分の将来の夢や目標を持っている

「おおむね10回以上」では、「ややあてはまる」が40.8%でもっとも回答割合が高く、次いで「あてはまる」が28.6%となっている。「おおむね6～9回」では、「ややあてはまる」と「かわらない」がいずれも33.3%となっている。「おおむね3～5回」では、「ややあてはまる」が48.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「かわらない」が28.8%となっている。「おおむね1～2回」では、「ややあてはまる」と「かわらない」がいずれも38.5%となっている。

支援員に会った回数別に見た、子どもの変化（放課後どこで過ごしますか
 (問10×問20⑩)

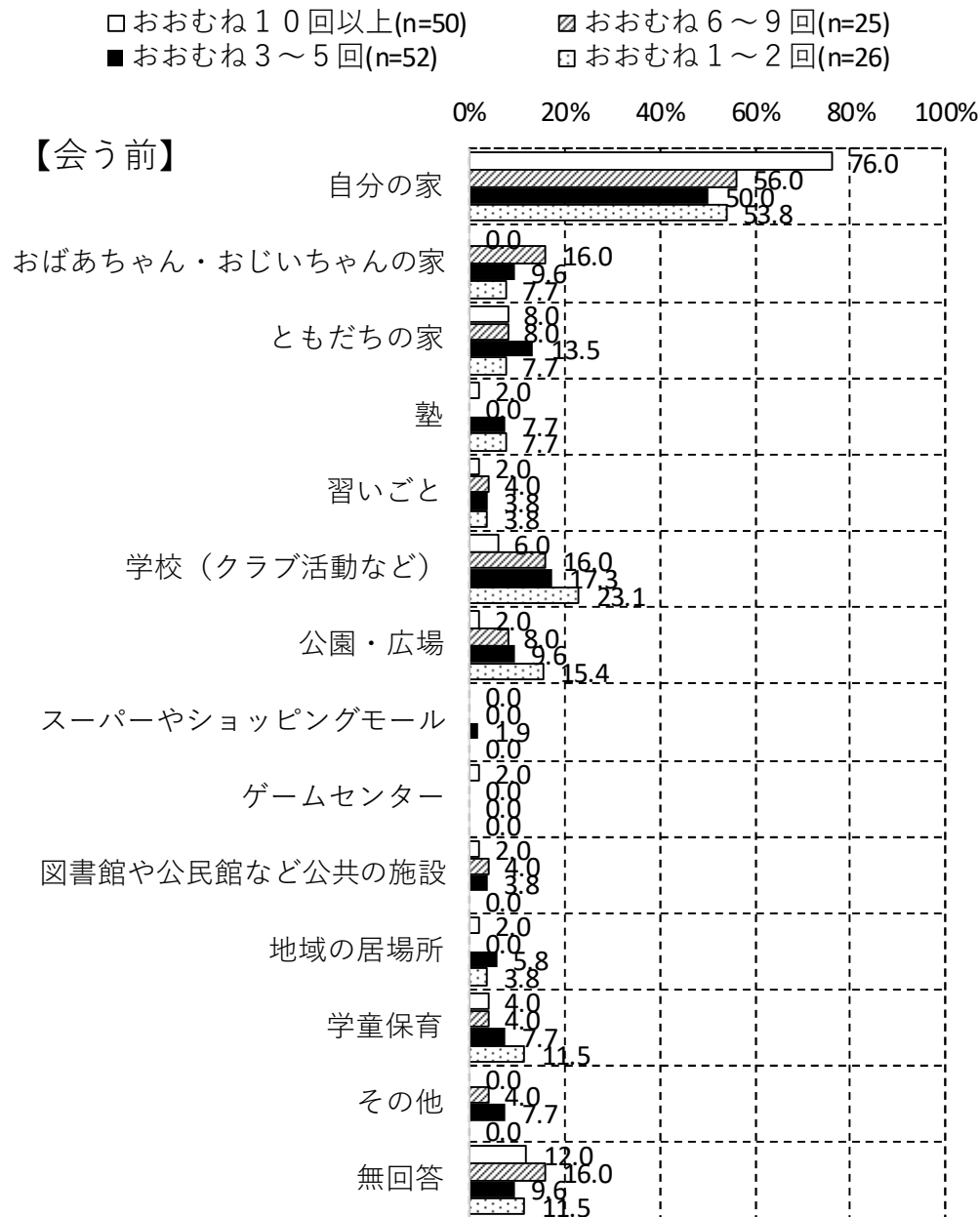


図 236 支援員に会った回数別に見た、放課後どこで過ごしますか（会う前）

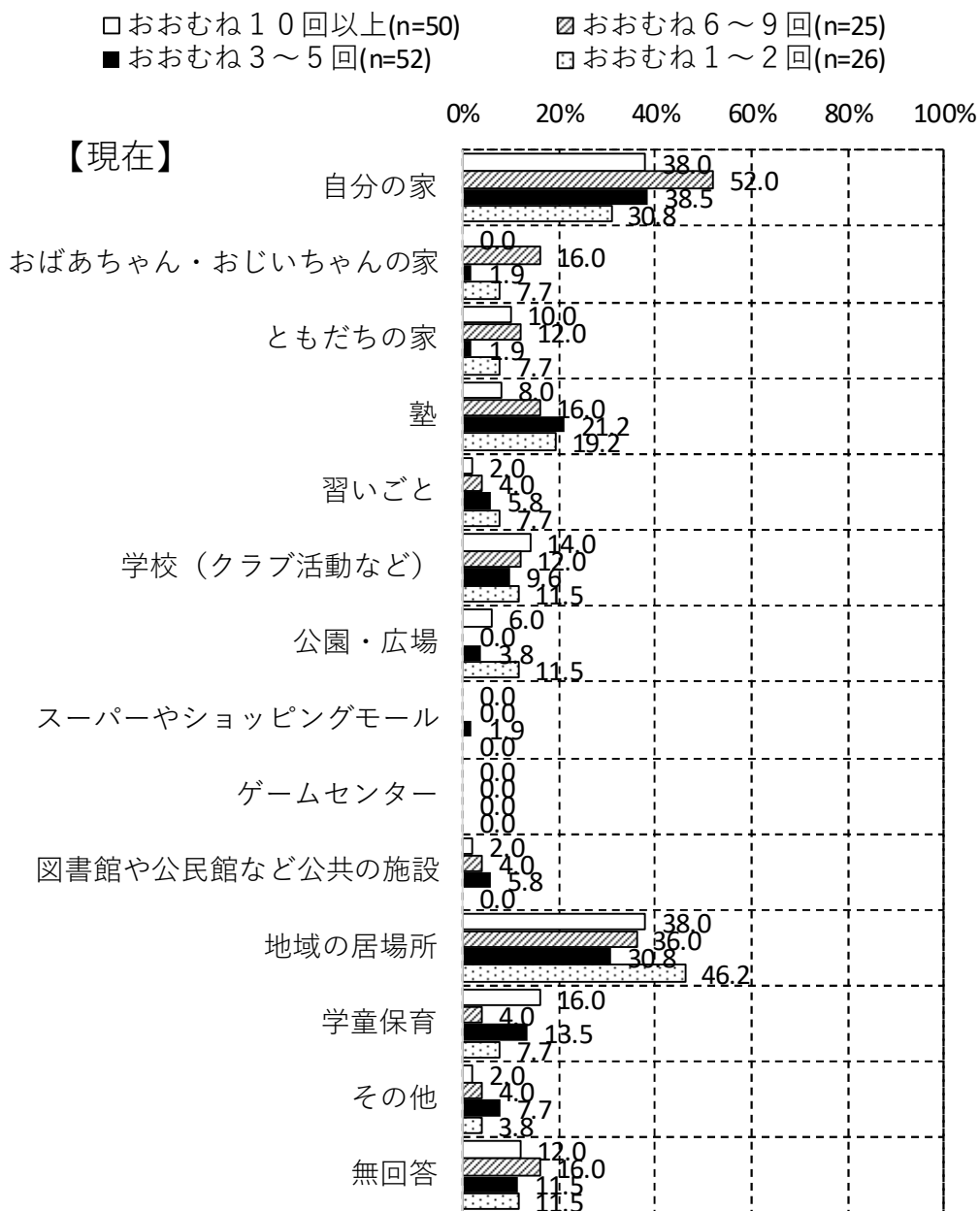


図 237 支援員に会った回数別に見た、放課後どこで過ごしますか (現在)

支援員に会う前は、いずれの群においても「自分の家」の割合がもっとも高かったが、現在は「地域の居場所」の割合が 30.0～40.0%となっている。「地域の居場所」の会う前と現在とのポイント差は、「おおむね 10 回以上」で 36.0 ポイント、「おおむね 6～9 回」で 36.0 ポイント、「おおむね 3～5 回」で 25.0 ポイント、「おおむね 1～2 回」で 42.4 ポイントである。また、「塾」の割合もそれぞれ 10.0 ポイント程度増加している。

第4章 2017年度との比較

ここでは、2017年度調査と今回の調査（以下、2018年度調査）との比較を行う。

1. 居場所：子どもに関する比較

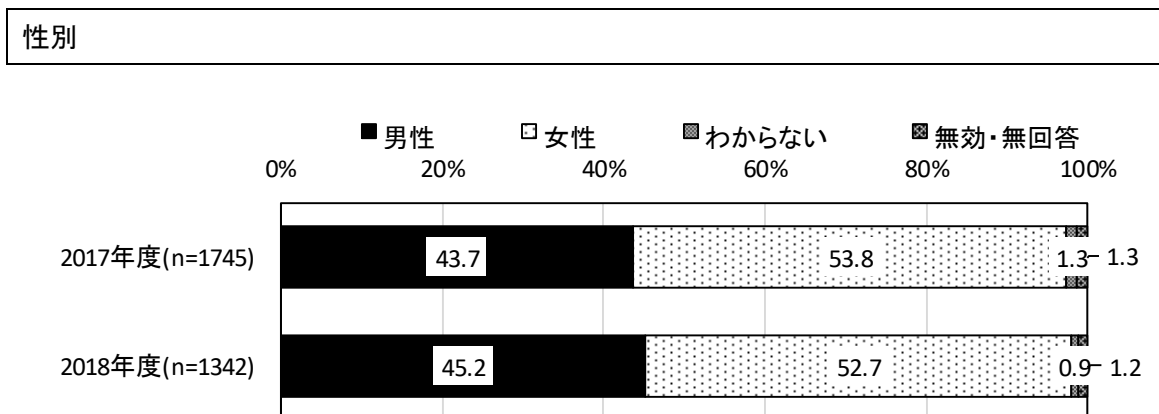


図 238 2017年度と2018年度の回答者の性別

回答した子どもの性別については、2017年度と2018年度で大きな差はみられない。

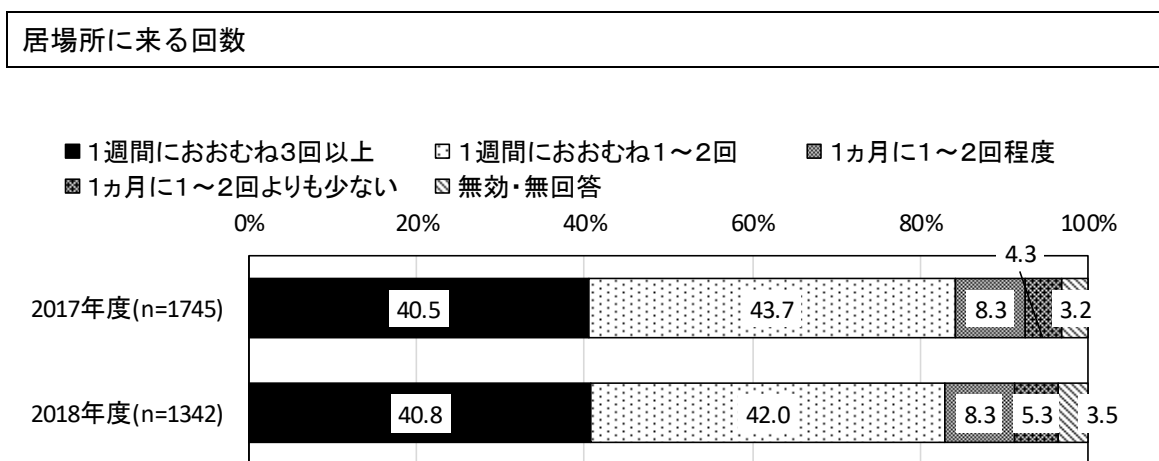


図 239 2017年度と2018年度の居場所に来る回数

居場所に来る回数もほぼ変わらず、「1週間におおむね3回以上」と「1週間におおむね1～2回」が約40.0%ずつとなっている。

居場所に来てから友だちができたか

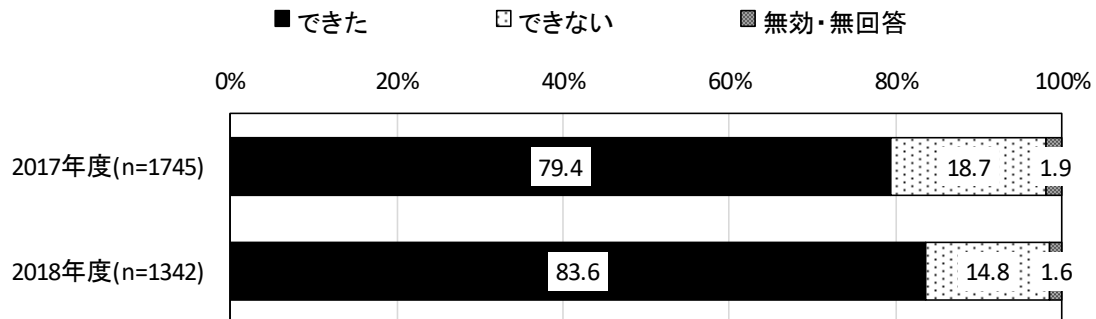
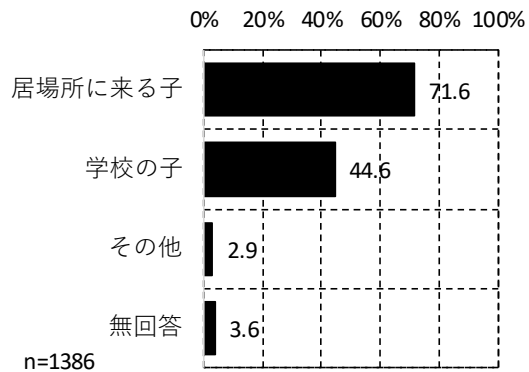


図 240 2017年度と2018年度の居場所に来てから友だちができたか

居場所に来てから友だちができたかどうかをみると、2018年度では「できた」の割合がわずかに上昇している。

どういう友だちができたか

<2017年>



<2018年>

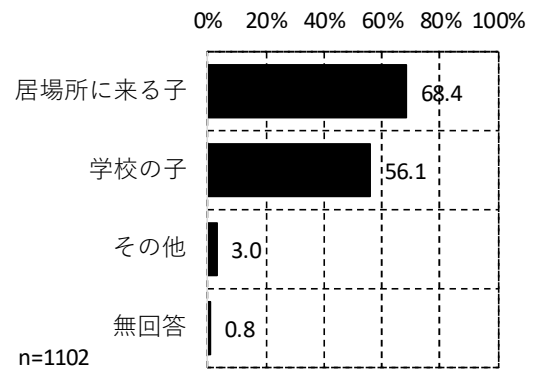


図 241 2017年度と2018年度のどういう友だちができたか

友だちが「できた」と回答した人に、どういう友だちができたかをたずねたところ、2018年度では2017年度に比べて「学校の子」と回答する割合が約12.0ポイント増加している。

希望する進学先

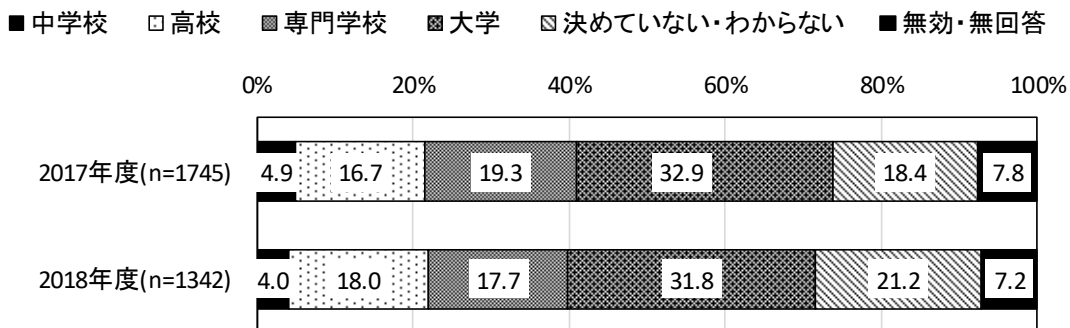


図 242 2017年度と2018年度の希望する進学先

現在の希望する進学先をみると、2017年度と2018年度ではほとんど変化がない。

居場所に来た感想

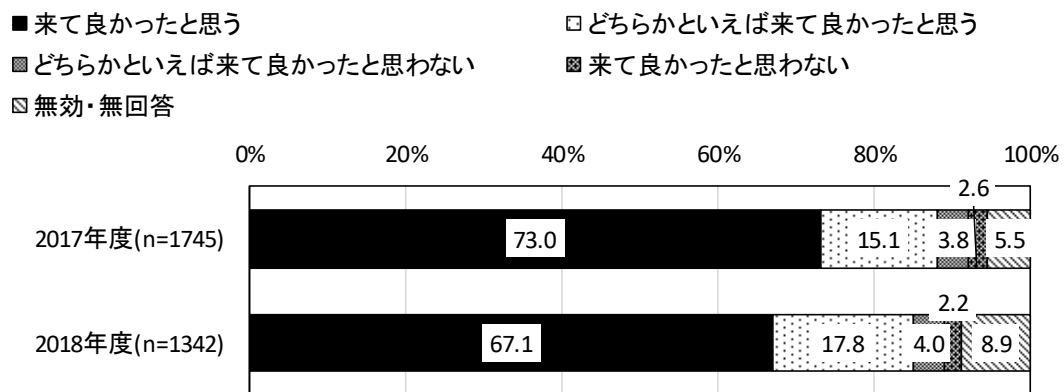


図 243 2017年度と2018年度の居場所に来た感想

居場所に来た感想をみると、2017年度に比べて2018年度では「来て良かったと思う」と回答する割合が約6.0ポイントとわずかではあるが低下している。

2. 支援員に関する比較

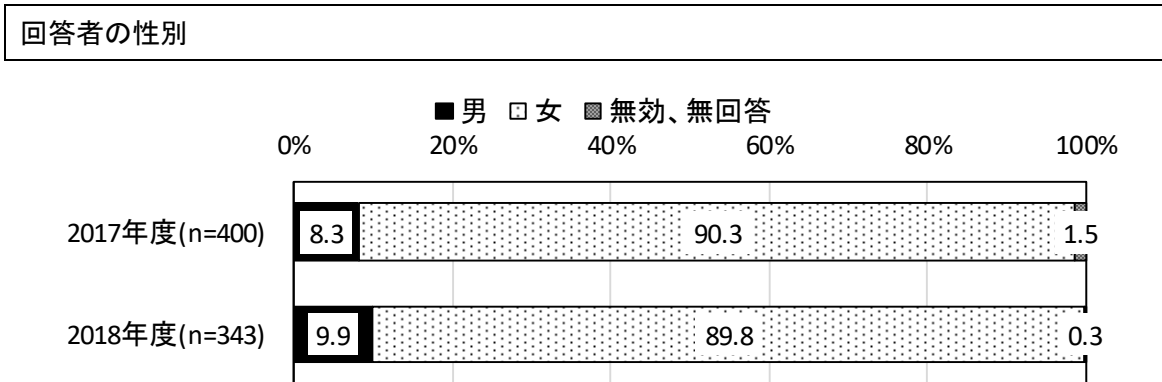


図 244 2017年度と2018年度の回答者の性別

回答した保護者の性別をみると、2017年度・2018年度いずれも「女」が9割を占めている。

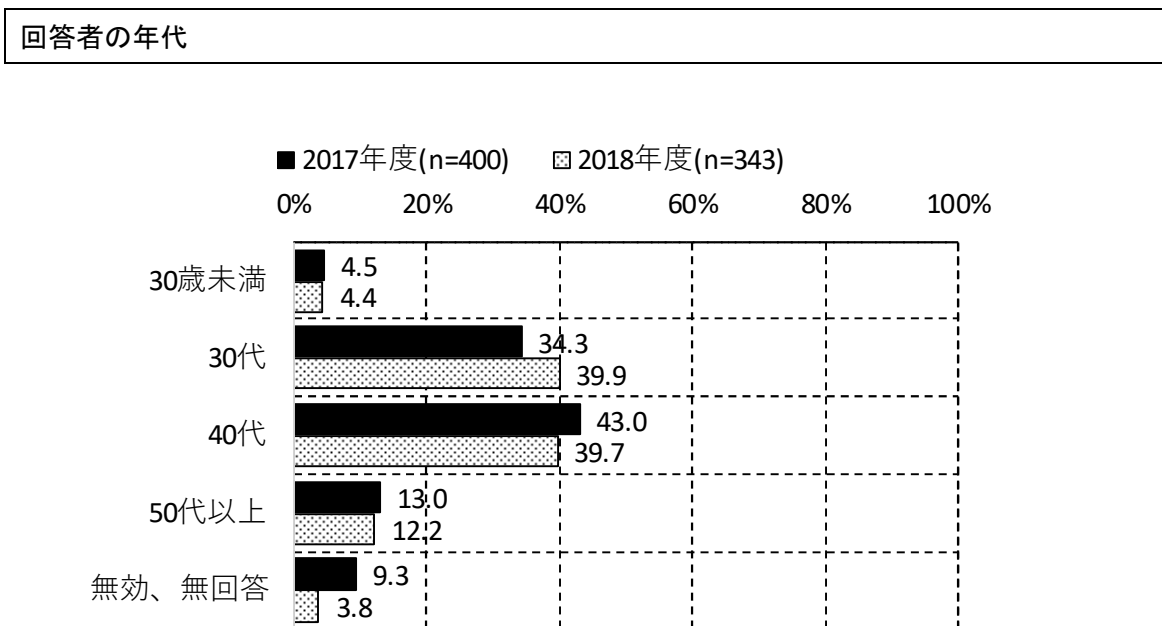


図 245 2017年度と2018年度の回答者の年代

回答者の年代をみると、2017年度に比べて2018年度では「30代」の割合が約5.0ポイント増加している。

支援員と会った回数

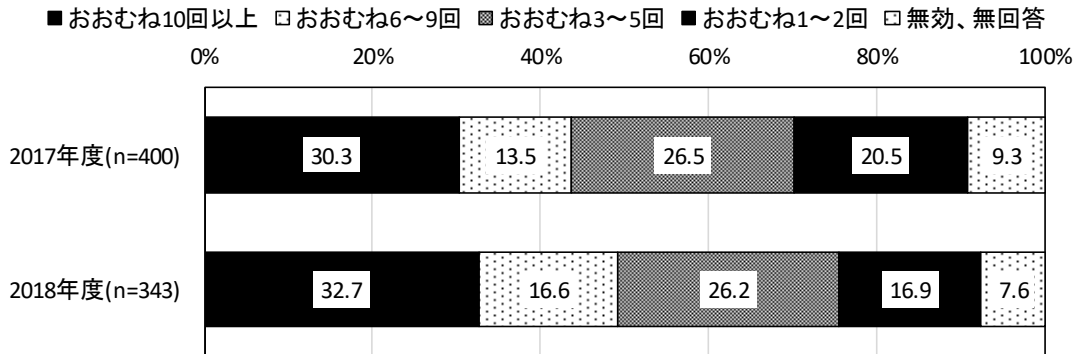


図 246 2017年度と2018年度の支援員と会った回数

支援員と会った回数をみると、2017年度に比べて2018年度では「おおむね10回以上」が2.4ポイント、「おおむね6～9回以上」が3.1ポイント増加しており、回数が増加している傾向がみられる。

支援員と会ってよかったか

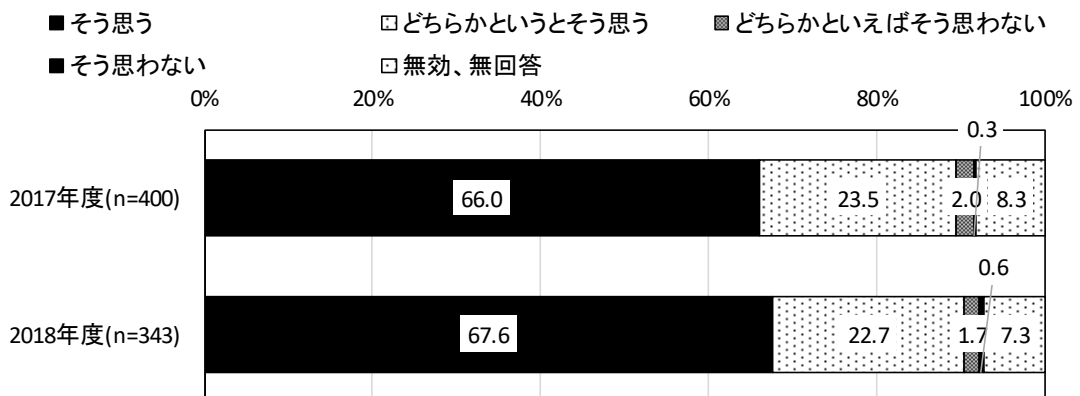


図 247 2017年度と2018年度の支援員と会ってよかったか

支援員と会ってよかったかをみると、2017年度と2018年度でほぼ変化はない。

子どもに受けさせたい教育段階

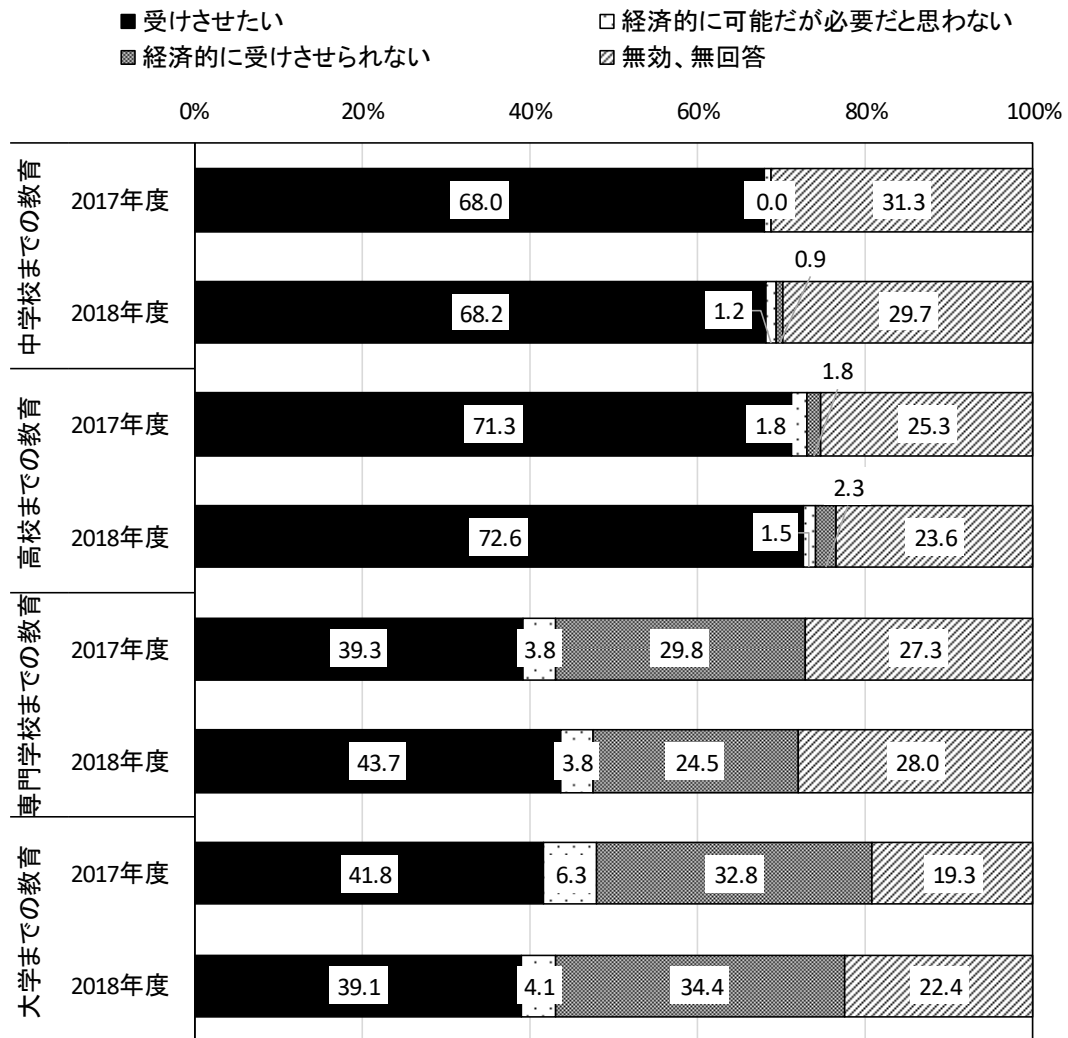


図 248 2017年度と2018年度の子どもに受けさせたい教育段階

子どもに受けさせたい教育段階をみると、2017年度と2018年度で全体的に大きな変化はないが、「専門学校までの教育」について「受けさせたい」と回答する割合が若干増加している。

どのサポートが役に立ったか

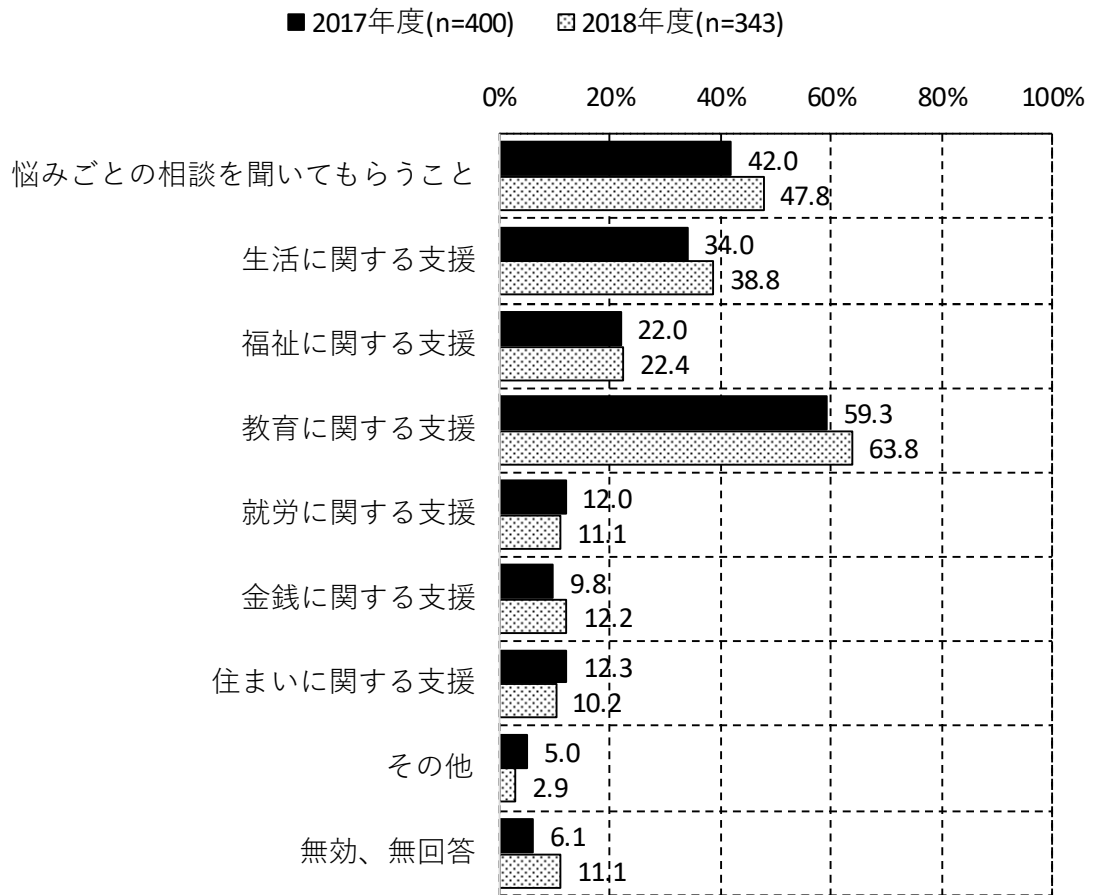


図 249 2017年度と2018年度のどのサポートが役に立ったか

どのサポートが役に立ったかをみると、2017年度に比べて2018年度では「悩みごとの相談を聞いてもらうこと」「生活に関する支援」「教育に関する支援」の割合がそれぞれ増加している。

生活支援

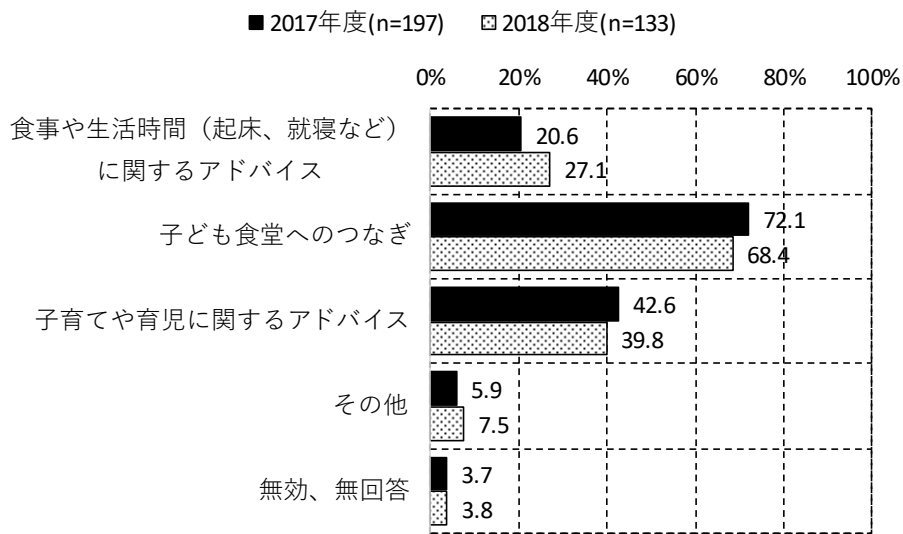


図 250 2017年度と2018年度の生活支援

生活支援の内容をみると、2018年度では「食事や生活時間に関するアドバイス」の割合が増加している。

福祉支援

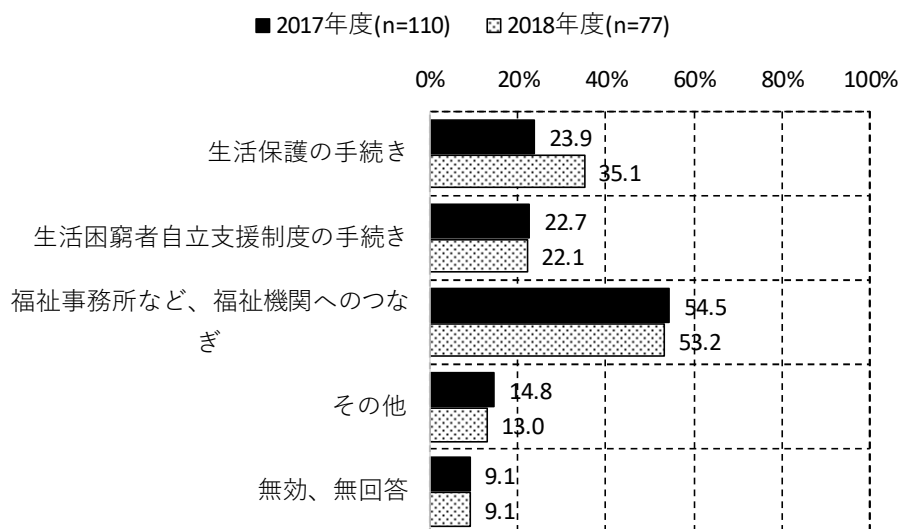


図 251 2017年度と2018年度の福祉支援

福祉支援の内容をみると、2018年度では「生活保護の手続き」の割合が大きく増加している。

教育支援

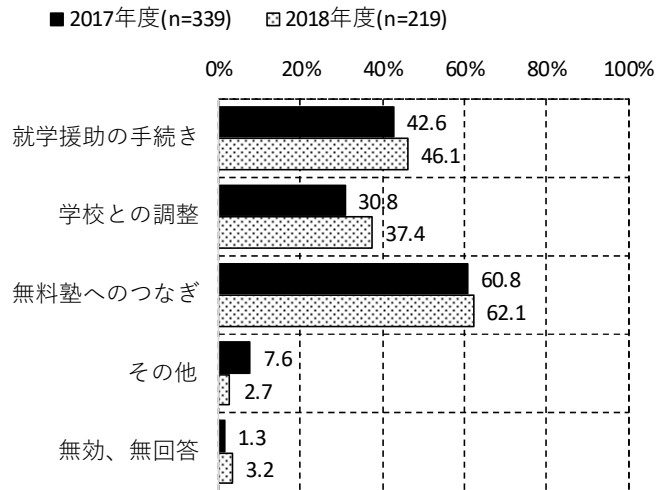


図 252 2017年度と2018年度の教育支援

教育支援の内容をみると、2018年度では「学校との調整」「就学援助の手続き」「無料塾へのつなぎ」の割合がそれぞれ増加している。

就労支援

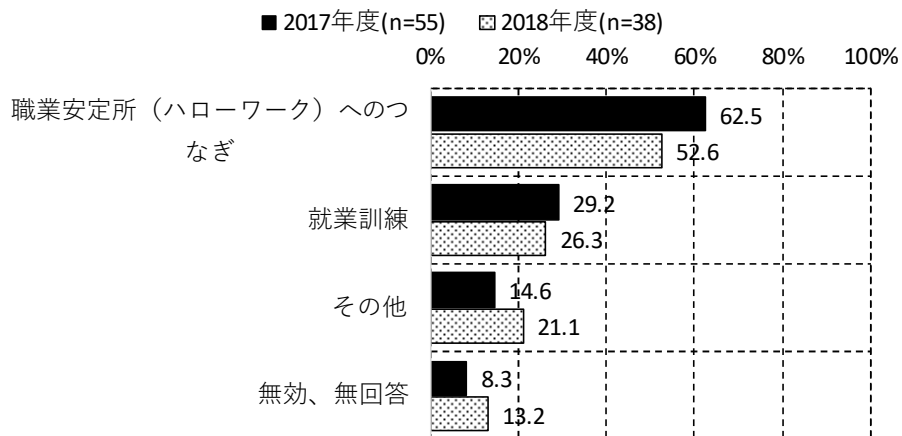


図 253 2017年度と2018年度の就労支援

就労支援の内容を見ると、2018年度では「職業安定所へのつなぎ」が10.0ポイント程減少した。なお就業状況については2017年度と2018年度で大きな変化は見られなかった。

金銭に関する支援

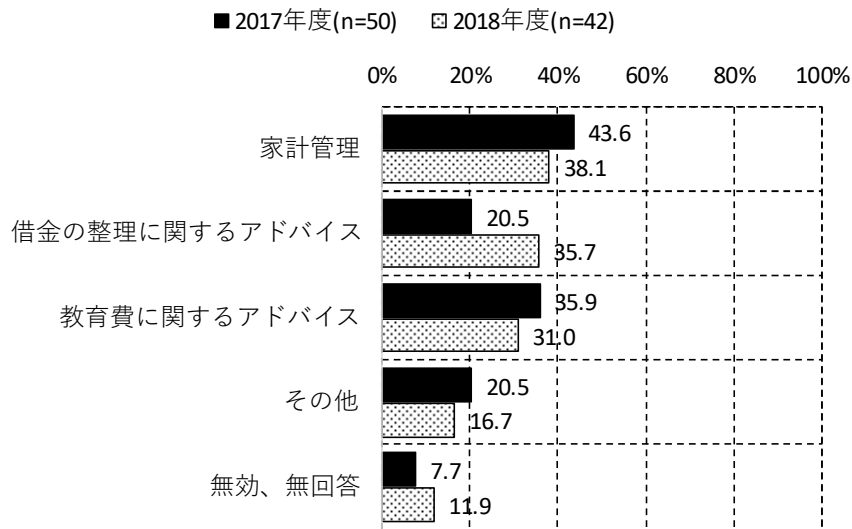


図 254 2017年度と2018年度の金銭に関する支援

金銭に関する支援をみると、2018年度では「家計管理」が減少し、「借金の整理に関するアドバイス」が増加している。

住まいに関する支援

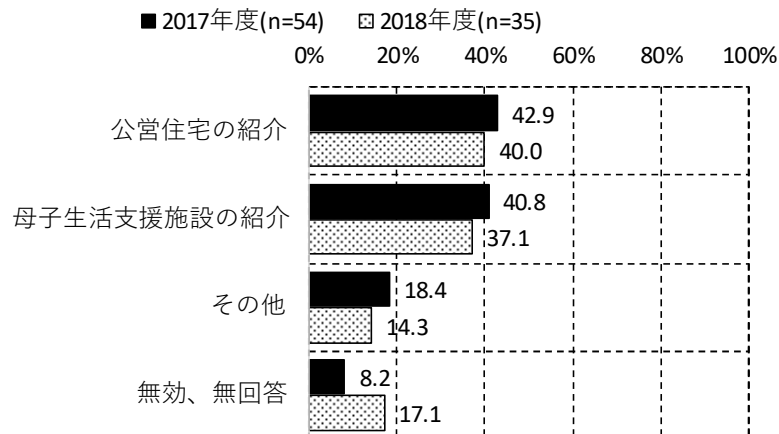


図 255 2017年度と2018年度の住まいに関する支援

住まいに関する支援の内容をみると、2017年度と2018年度ではほとんど差がない。

今後支援員からどの分野のサポートを受けたいか

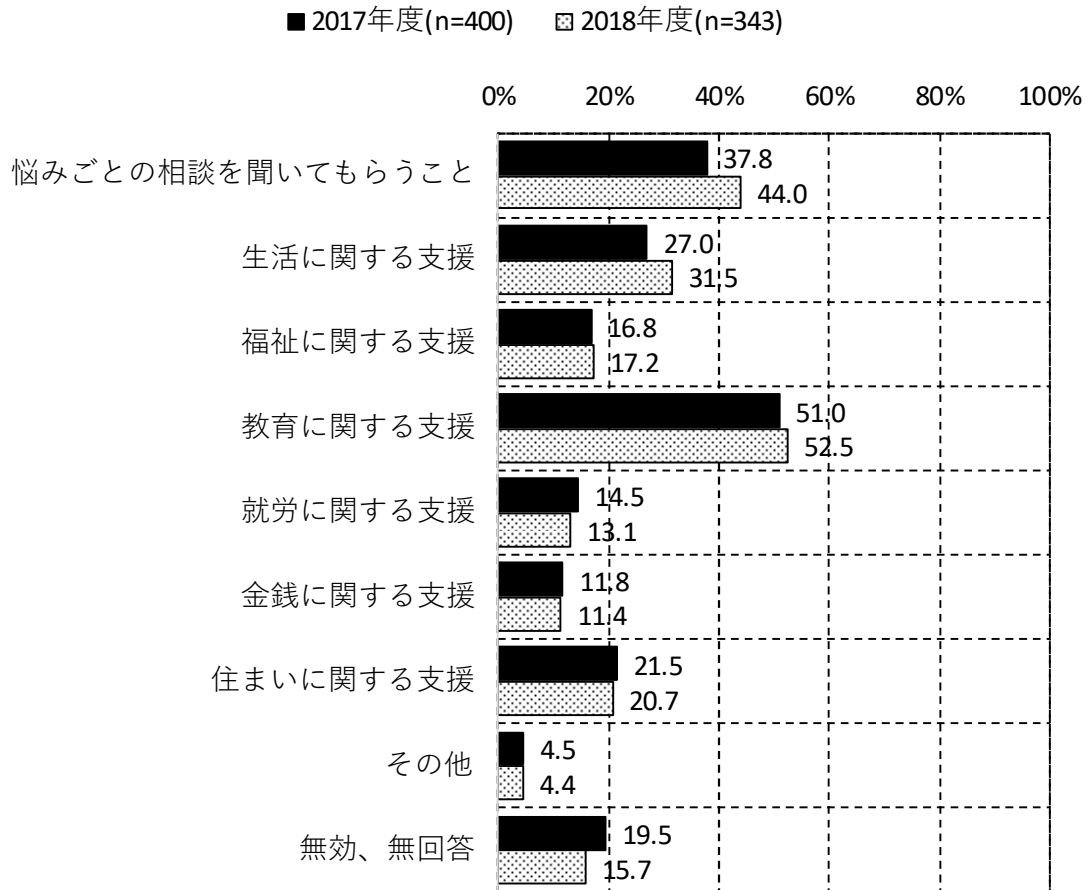


図 256 2017年度と2018年度のどの分野のサポートを受けたいか

今後支援員からどの分野のサポートを受けたいかをみると、2018年度では「悩みごとの相談を聞いてもらうこと」と回答する割合が6.2ポイント、「生活に関する支援」が4.5ポイントそれぞれ増加している。また両年度とももっとも割合が高い項目は「教育に関する支援」だった。

第5章 平成30年度沖縄子ども調査との比較

ここでは、平成30年度沖縄県子ども調査（以下、子ども調査）の結果と、平成30年度沖縄子供の貧困緊急対策事業アンケート調査の居場所に関する調査（以下、居場所調査）の結果を比較した分析を行う。ただし、両調査の選択肢が完全に同一となっていないものもあるため、結果を見るには注意が必要である。平成30年度沖縄県子ども調査は、沖縄県内の小学校1年生・小学校5年生・中学校2年生の保護者と子ども（小学校1年生は保護者のみ）を無作為に抽出した調査であり、沖縄県全体の子どもの状況を把握できるデータとなっている。子ども調査と本調査の結果を比較し、県内の一般的な子どもに比べ、居場所を利用した子どもにおいてどのような差がみられるかを分析することにより、居場所を利用している子どもの特徴及び居場所の効果を把握することを試みる。

本調査を設計するにあたり、子ども調査との比較を前提として同様の設問項目をいくつか盛り込んでいるため、比較はそれらの項目を中心に行う。また比較に際し、子ども調査のサンプルについては保護者と子どものマッチングが可能なサンプルのうち、「居場所を利用したことがない」と回答した3891件を抽出した。これは、居場所の利用有無による差異をより明確に検討するためである。

1. 基本情報

子どもの学年

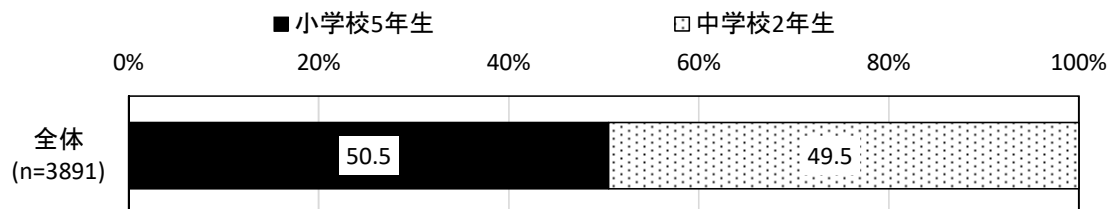


図 257 子ども調査：回答した子どもの学年

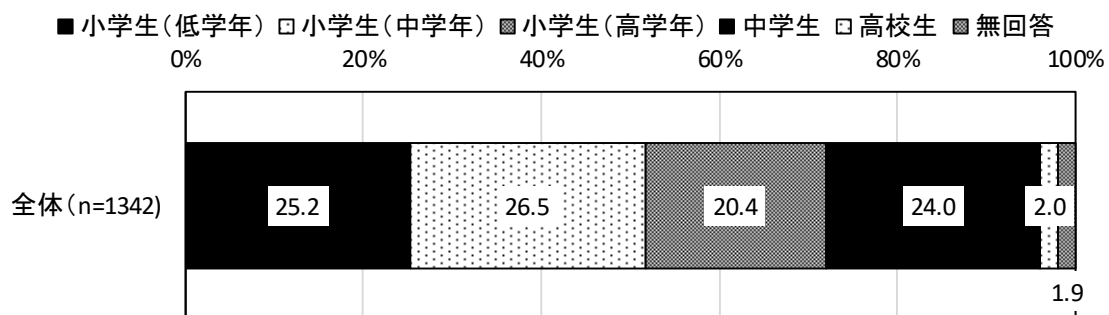


図 258 居場所調査（子ども票）：子どもの学年（注：図 19 再掲）

子どもの学年を比較すると、子ども調査では「小学校5年生」と「中学校2年生」がそれぞれ約5割であるのに対し、居場所調査では「小学生（低学年）」「小学生（中学年）」が占める割合が約5割となっている。

保護者の続柄

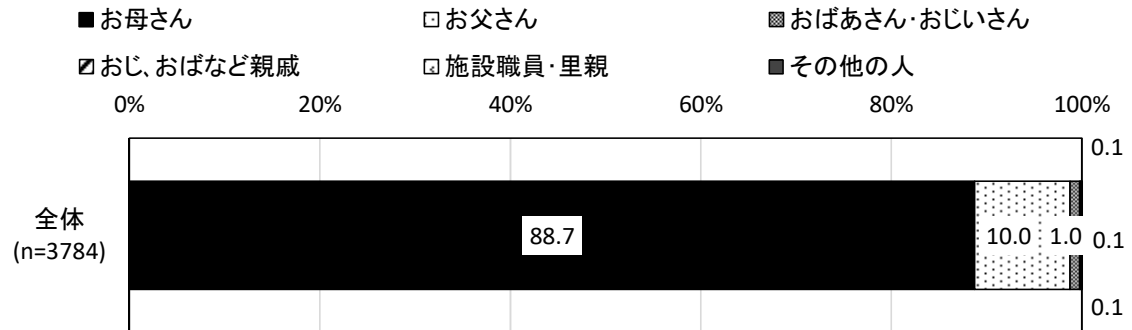


図 259 子ども調査：保護者の続柄

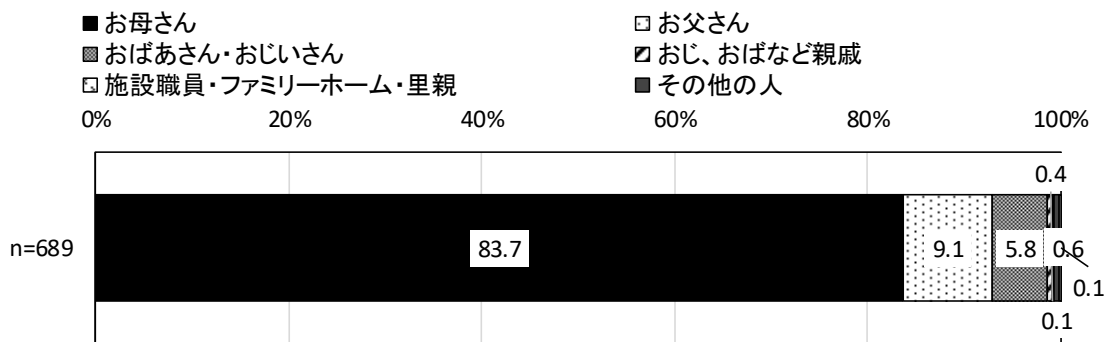


図 260 居場所調査（保護者票）：お子さんからみた続柄（注：図1再掲）

保護者の続柄をみると、いずれの調査も「お母さん」が8～9割を占めている。

世帯構成

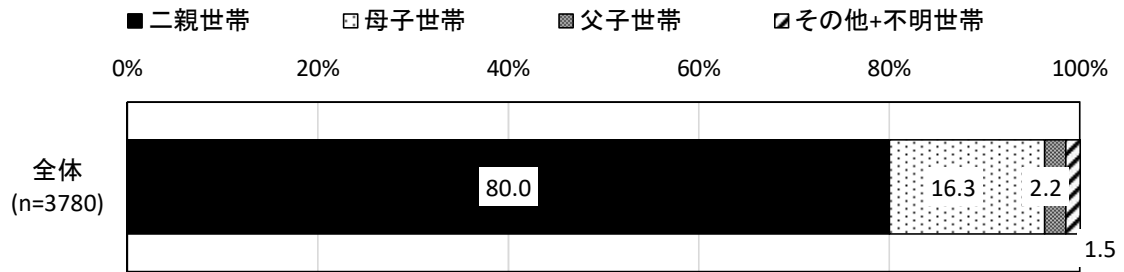


図 261 子ども調査：世帯構成

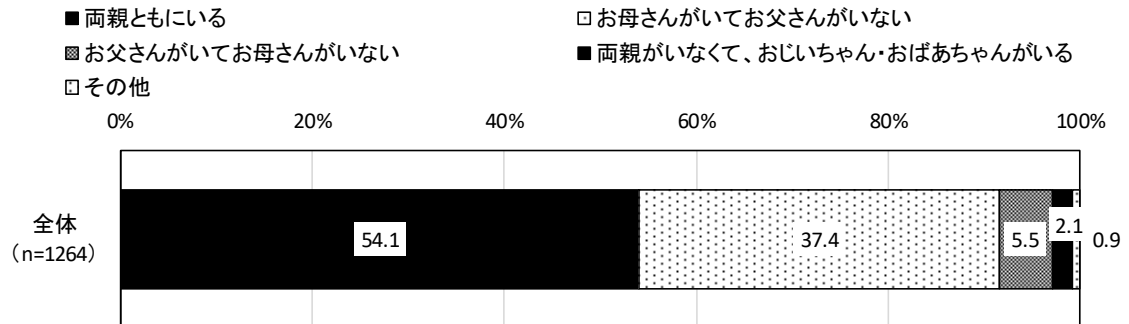


図 262 居場所調査（子ども票）：世帯構成（注：図 21 再掲）

世帯構成をみると、子ども調査では「二親世帯」が8割を占めているが、居場所調査では「両親ともにいる」は約5割にとどまり、「お母さんがいてお父さんがいない」という母子世帯が約4割にのぼっている。

世帯収入

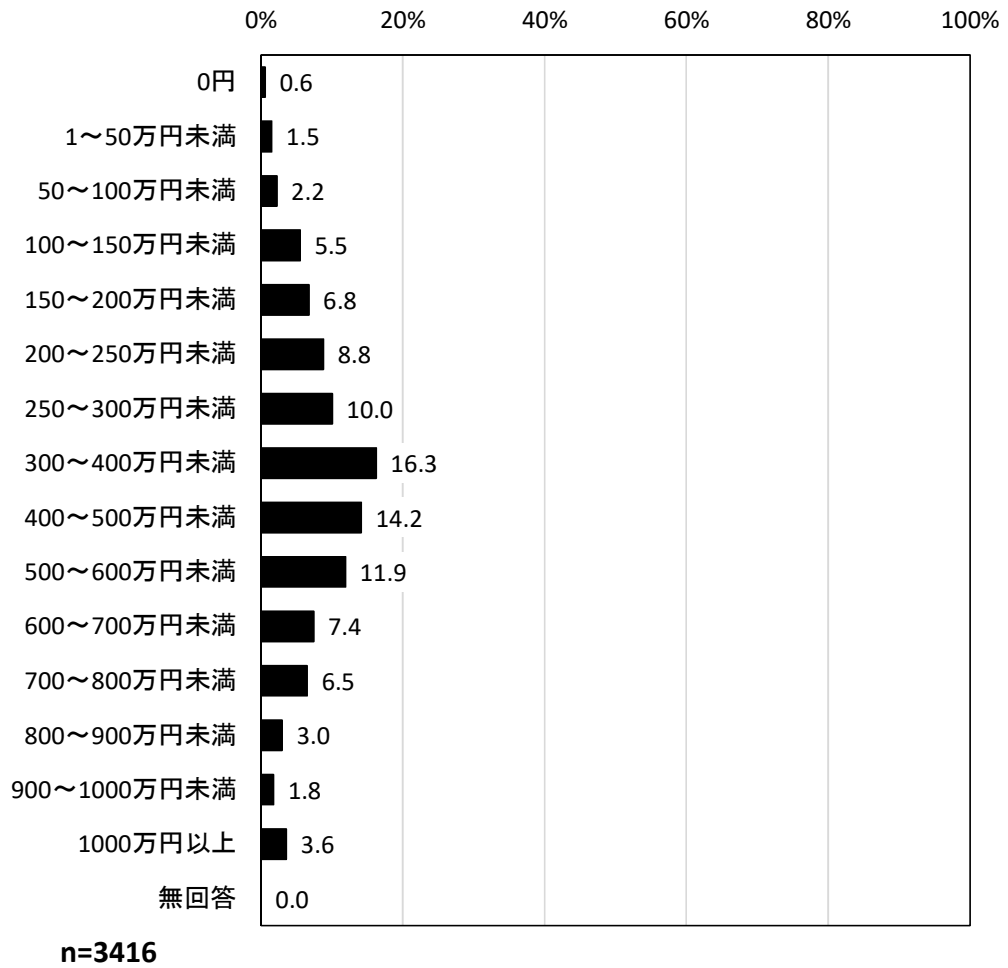


図 263 子ども調査：世帯収入

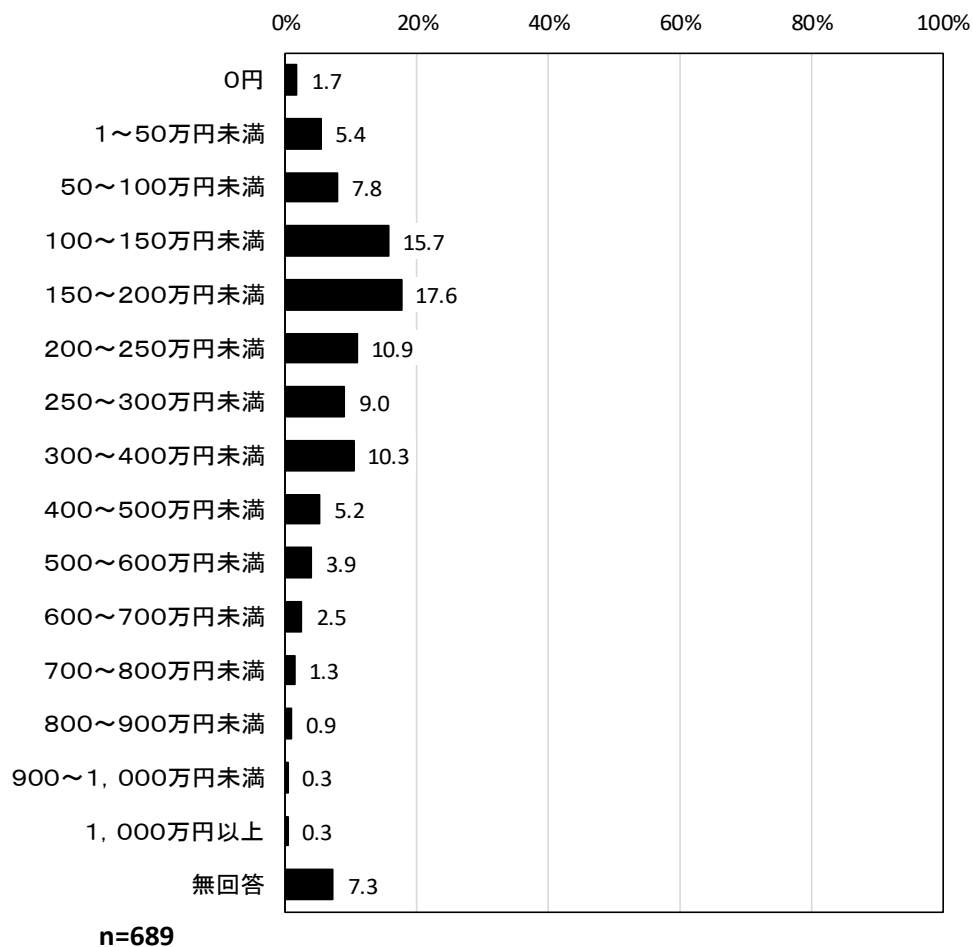


図 264 居場所調査（保護者票）：世帯収入（注：図 7 再掲）

世帯収入をみると、子ども調査では「300~400万円未満」の割合が16.3%でもっとも高いのに対し、居場所調査では「150~200万円未満」の割合が17.6%ともっとも高くなっており、世帯収入が低い世帯が多い傾向にあることがうかがえる。

就業状況について子ども調査と居場所調査とを比較してみると、「正規の職員・従業員」と回答したのは、子ども調査（父親）では小学5年生の困窮層で50.0%、中学2年生の困窮層で42.0%、居場所調査では37.9%だった。「働いていない」と回答したのは子ども調査（母親）では小学5年生の困窮層で22.0%、中学2年生の困窮層で16.4%、居場所調査では11.2%だった（ただし居場所調査は「主に世帯を支えている人」の状況）。働いていない理由については次のグラフからわかるように、子ども調査では困窮層、非困窮層とも「家事や育児に専念」と回答している割合がもっとも高いが、居場所調査では「病気療養」がもっとも高い。

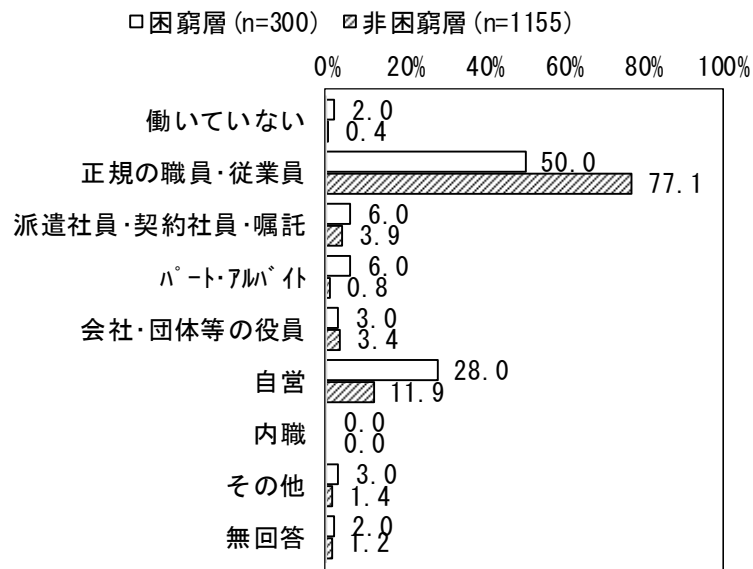


図 265 子ども調査 父親:就業状況 (小学5年生)

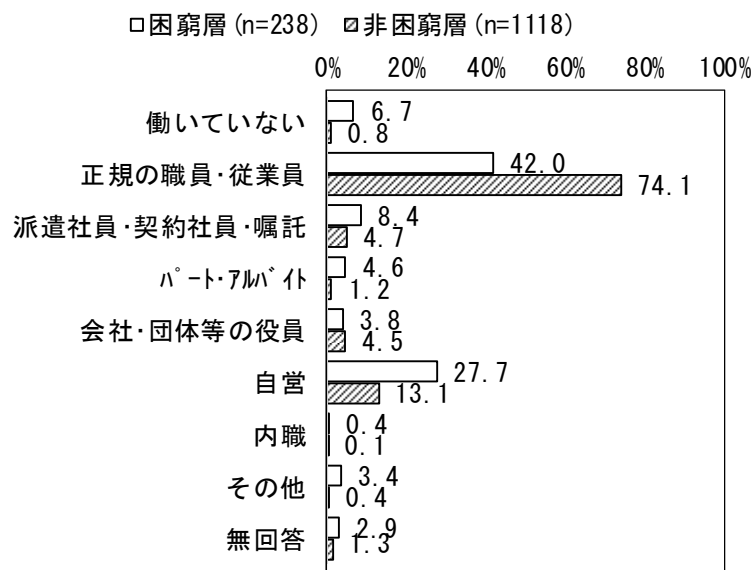


図 266 子ども調査 父親:就業状況 (中学2年生)

※対象は父親と同居している者のみ

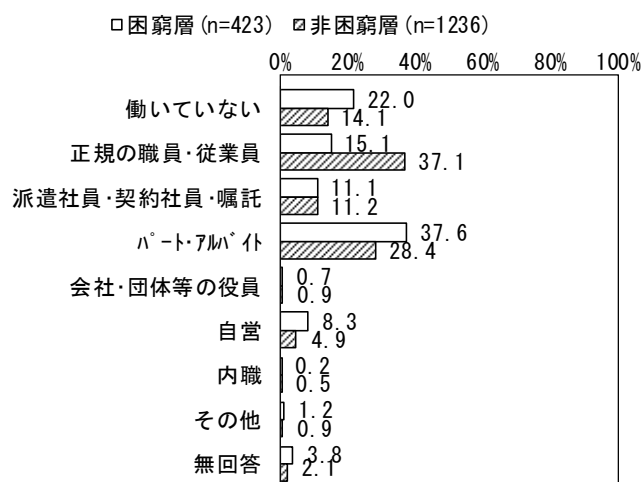


図 267 子ども調査 母親就業状況 (小学5年生)

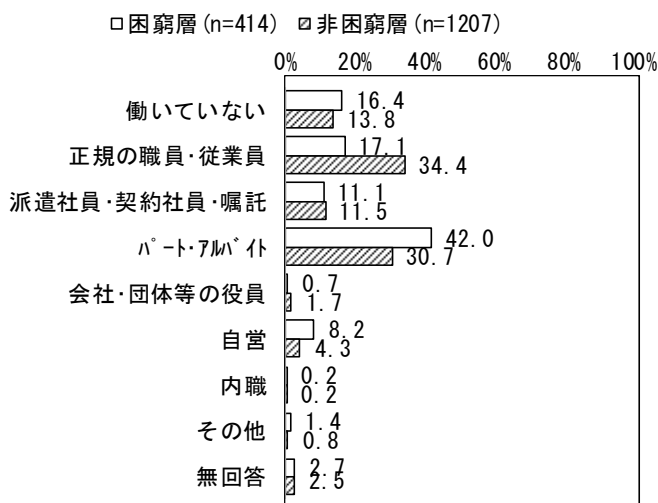


図 268 子ども調査 母親就業状況 (中学2年生)

※対象は母親と同居している者のみ

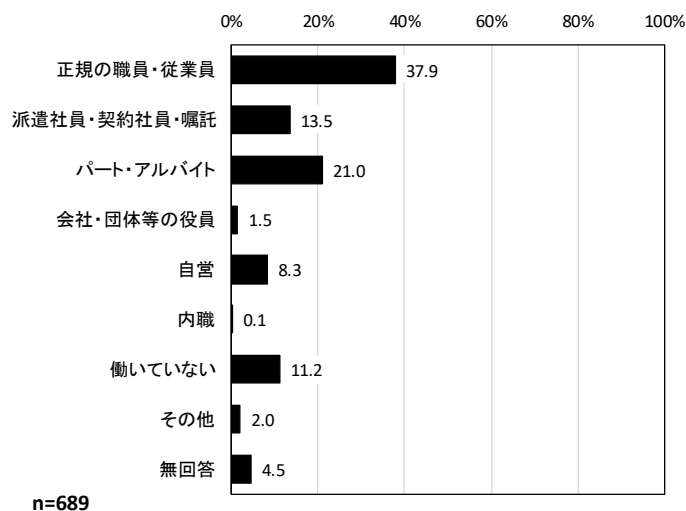


図 269 居場所調査 主に世帯を支えている方の就労状況 (注: 図 10 再掲)

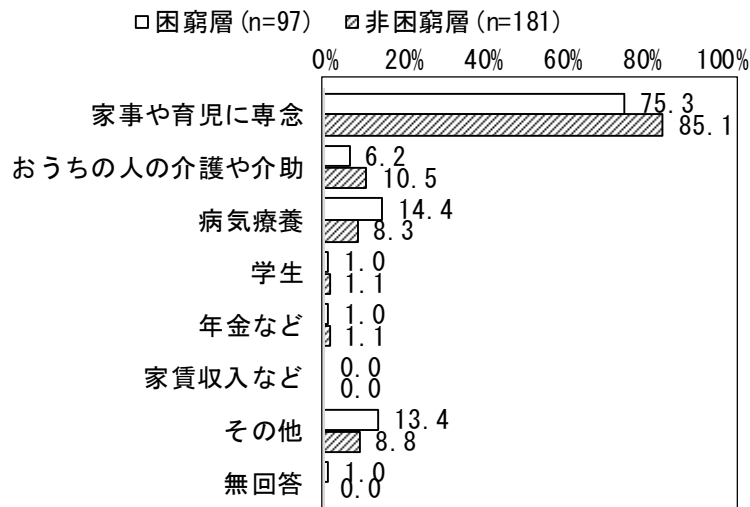


図 270 子ども調査 母親:働いていない理由(小学5年生)

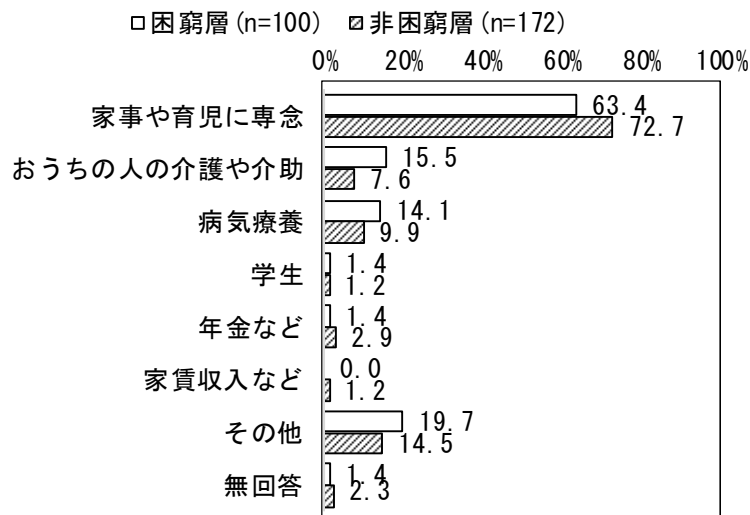


図 271 子ども調査 母親:働いていない理由(中学2年生)

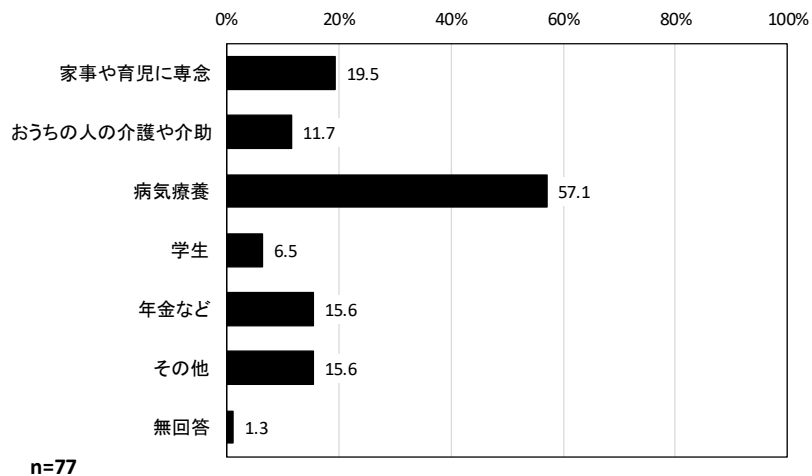


図 272 居場所調査 働いていない理由 (図 11 再掲)

2. 子どもの経済状況

困窮度

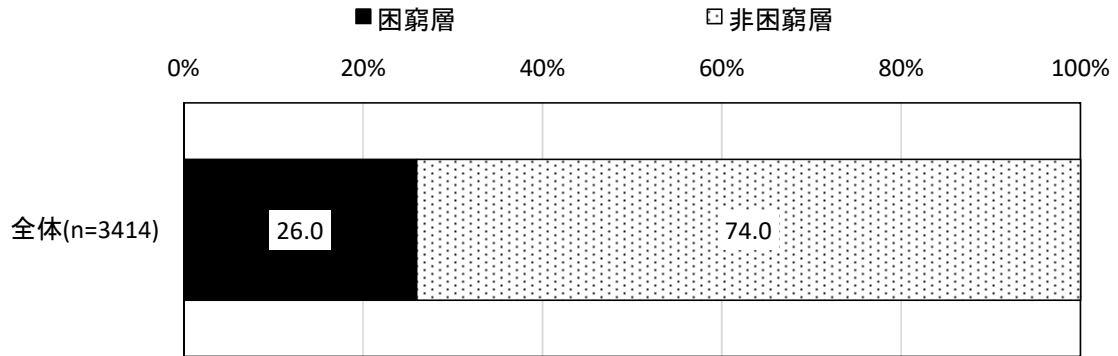


図 273 子ども調査：困窮度

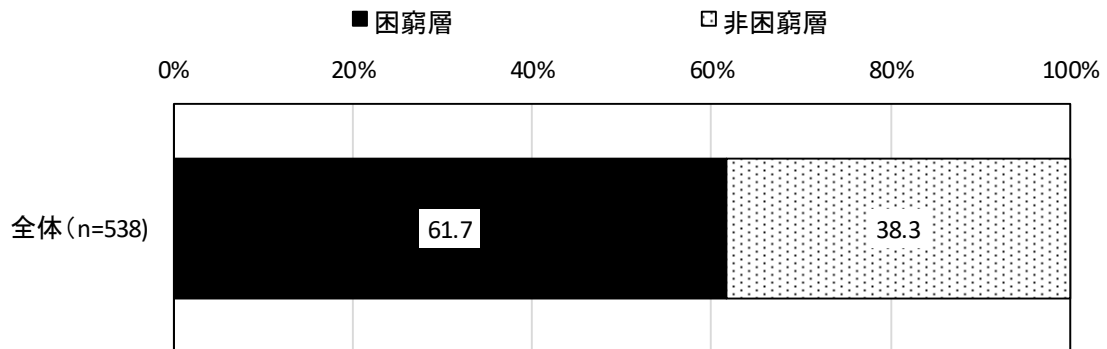


図 274 居場所調査（保護者票）：困窮度（注：図 92 再掲）

等価可処分所得（※P.94 参照）について、122 万円未満を困窮層、122 万円以上を非困窮層として分布をみると、子ども調査では「困窮層」の割合が 26.0%であるのに対し、居場所調査では 61.7%と倍以上の割合となっている。

また、経済的な理由で経験したことについて、子ども調査と居場所調査、支援員調査でみる。子ども調査では「どれにもあてはまらない」と回答したのは 25.0%程度だが、居場所調査では 12.3%、支援員調査では 4.1%であった。同様に経済的な理由で子どもにしてあげられなかった経験についても、同様の傾向であり、居場所、支援員を活用する家庭の困窮状況の厳しさがうかがえる。

□全体 (n=3780) □小学5年生 (n=1902) ■中学2年生 (n=1878)

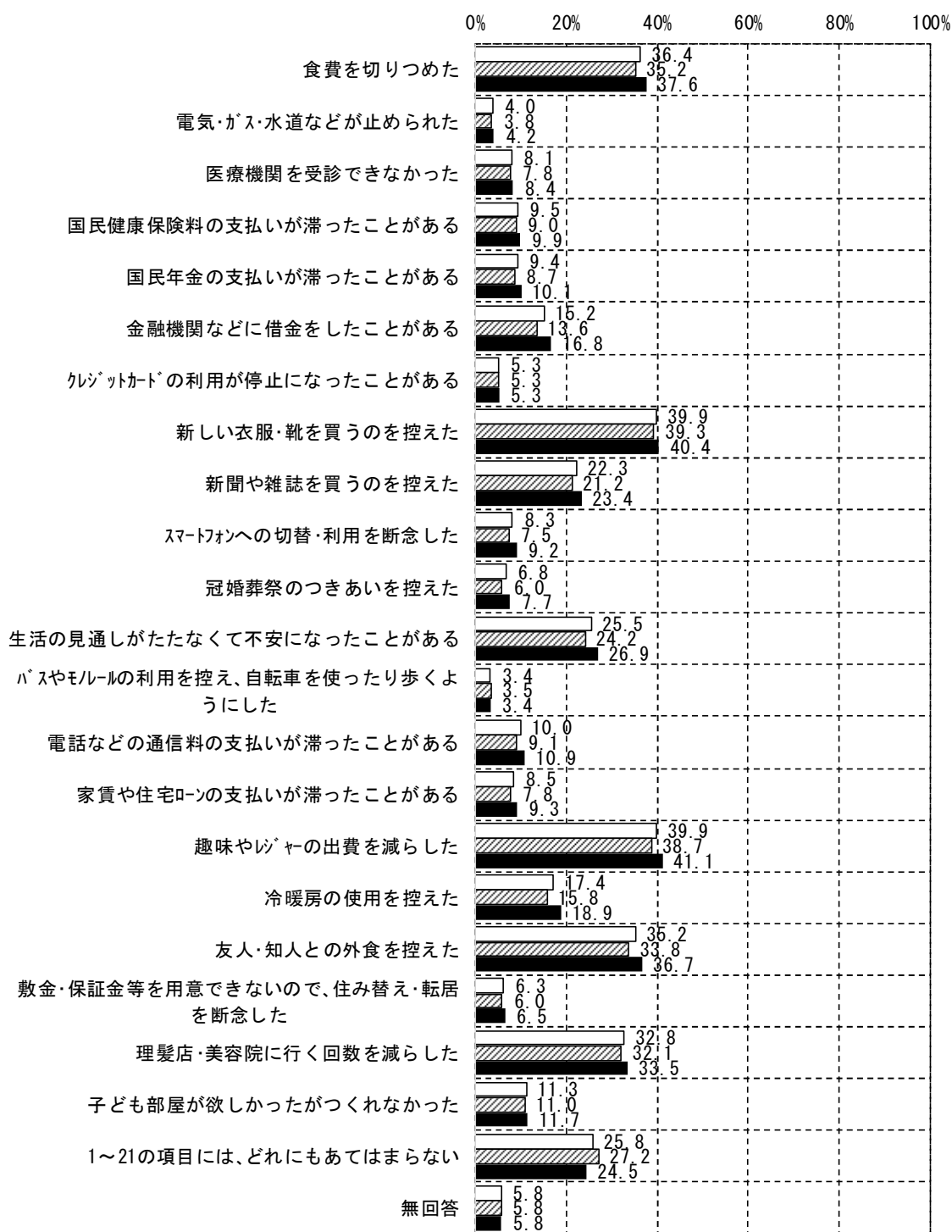
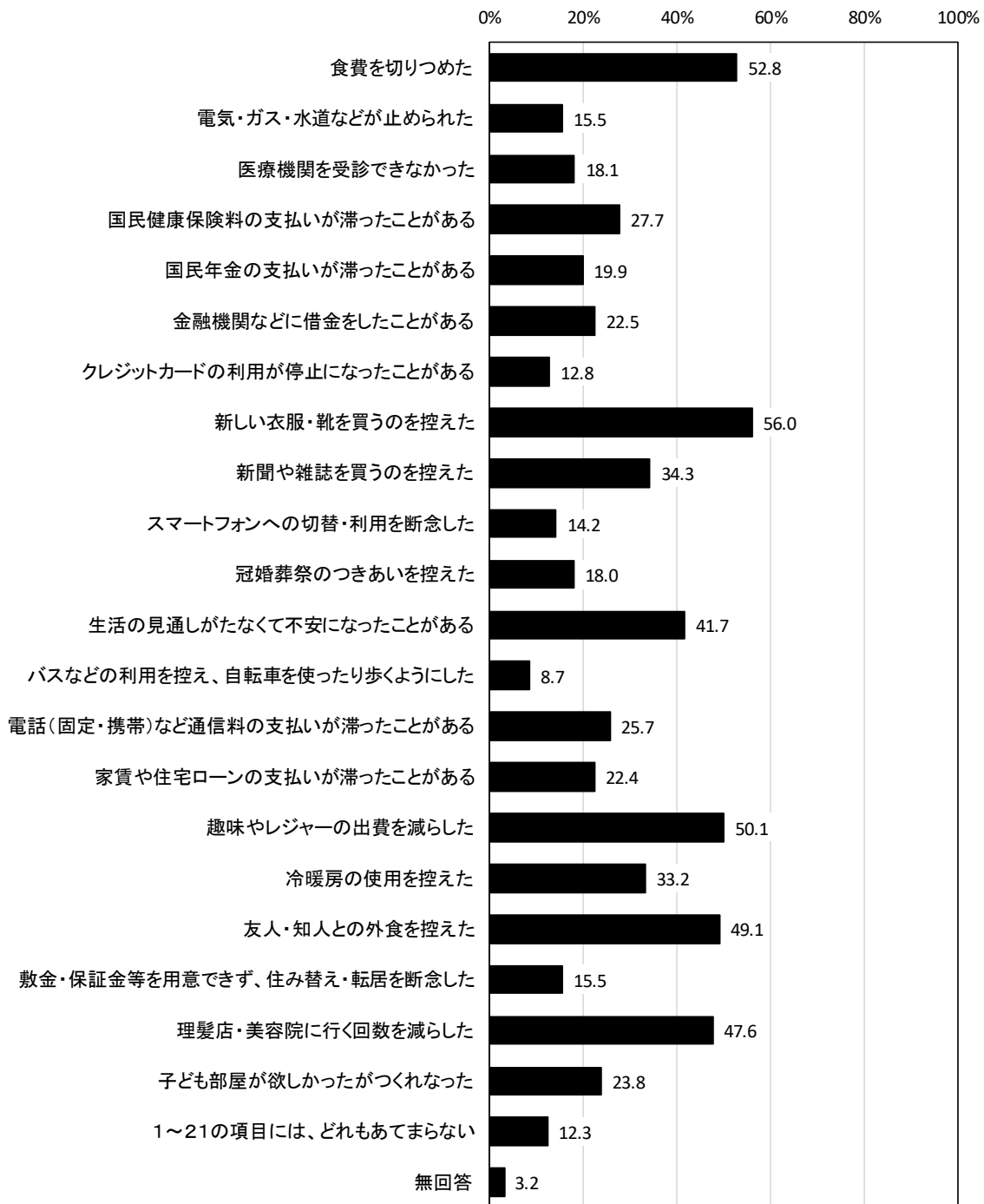


図 275 子ども調査 経済的な理由で経験したこと



n=689

図 276 居場所調査 経済的な理由で経験したこと (注: 図 8 再掲)

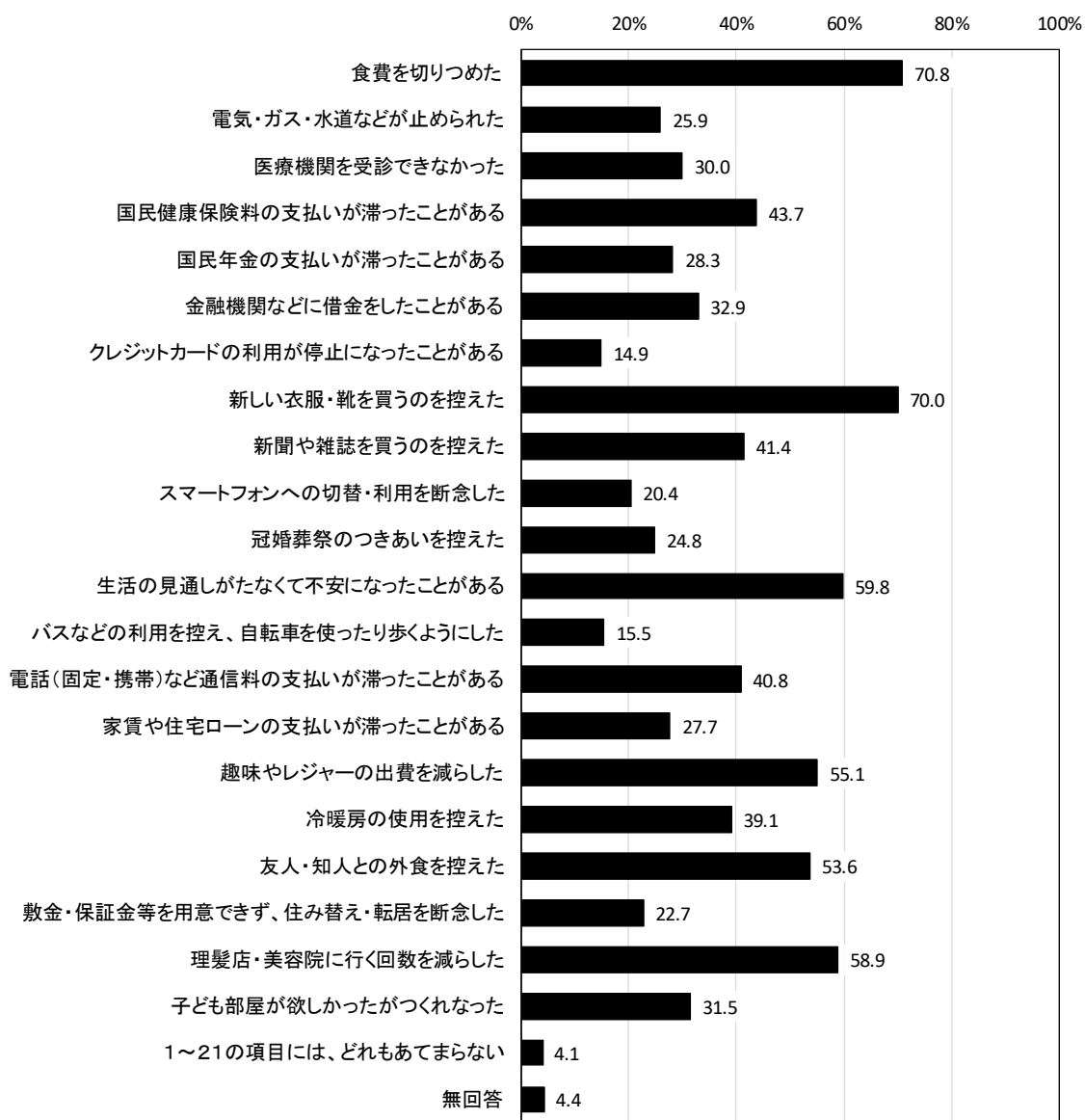


図 277 支援員調査 経済的な理由で経験したこと (注: 図 123 再掲)

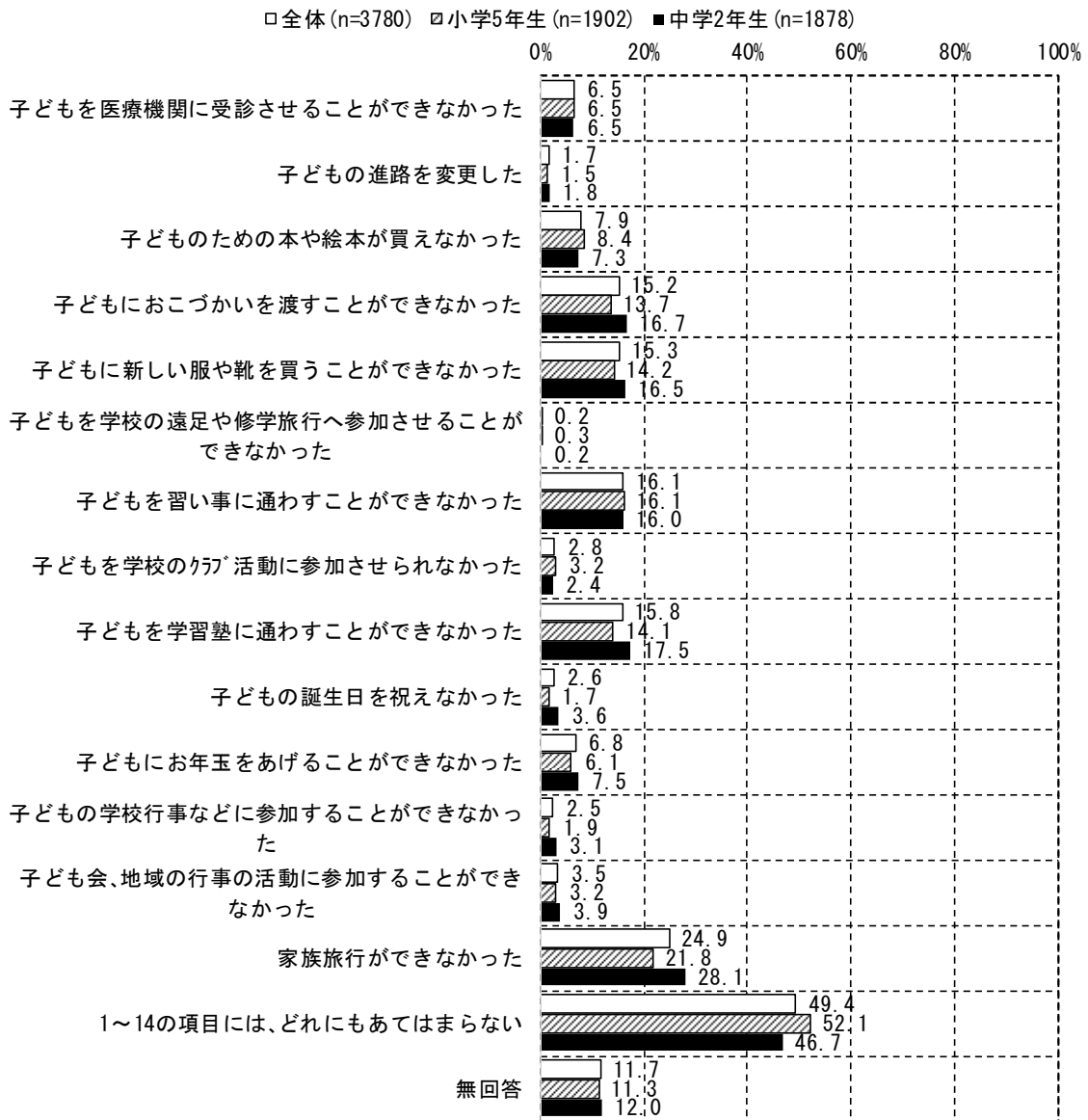
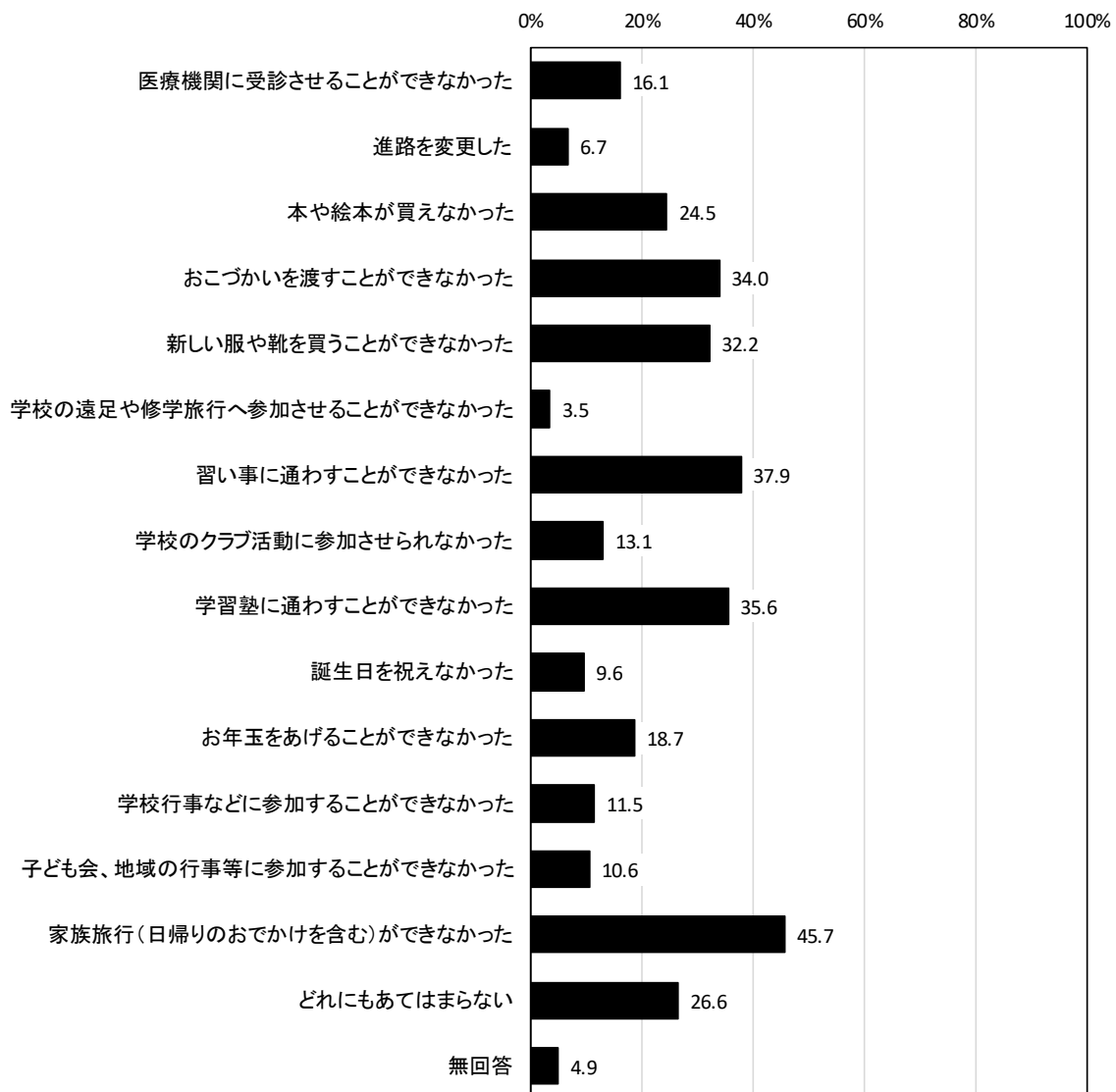
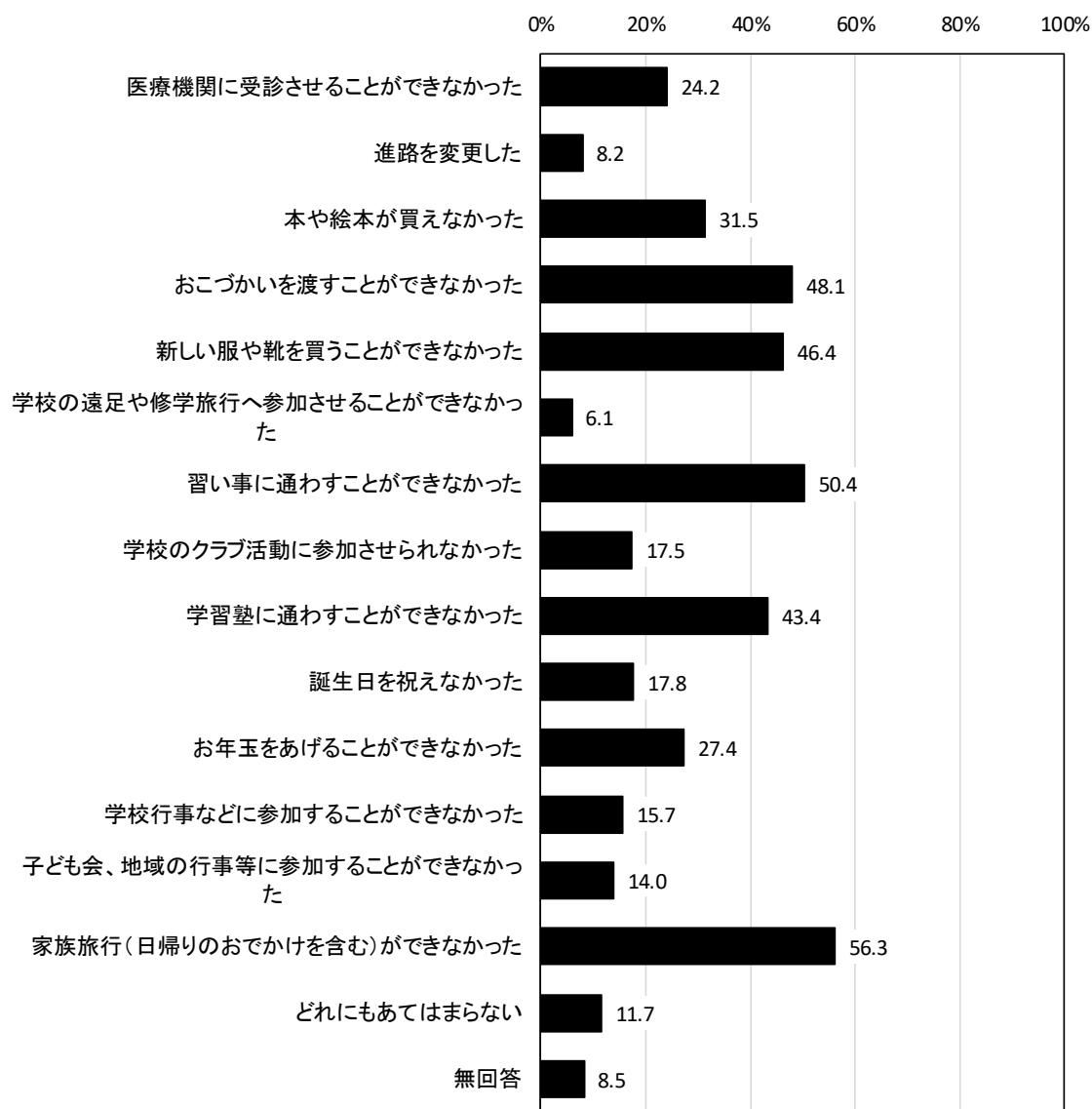


図 278 子ども調査 経済的な理由で子どもにしてあげられなかった経験



n=689

図 279 居場所調査 経済的な理由で子どもにしてあげられなかった経験
(注：図 9 再掲)



n=343

図 280 支援員調査 経済的な理由で子どもにしてあげられなかった経験
(注：図 124 再掲)

就学援助制度の利用状況については、子ども調査では全体の21.4%が利用していると回答し、困窮層については、小学5年生では51.9%、中学2年生では57.3%が「利用している」との回答だった。一方、支援員調査では65.3%が利用していると回答している。また生活保護については、子ども調査では「受給している」と回答したのは全体の0.6%、困窮層についても1.0~2.0%程度だったが、支援員調査では23.3%が「受けている」と回答している。

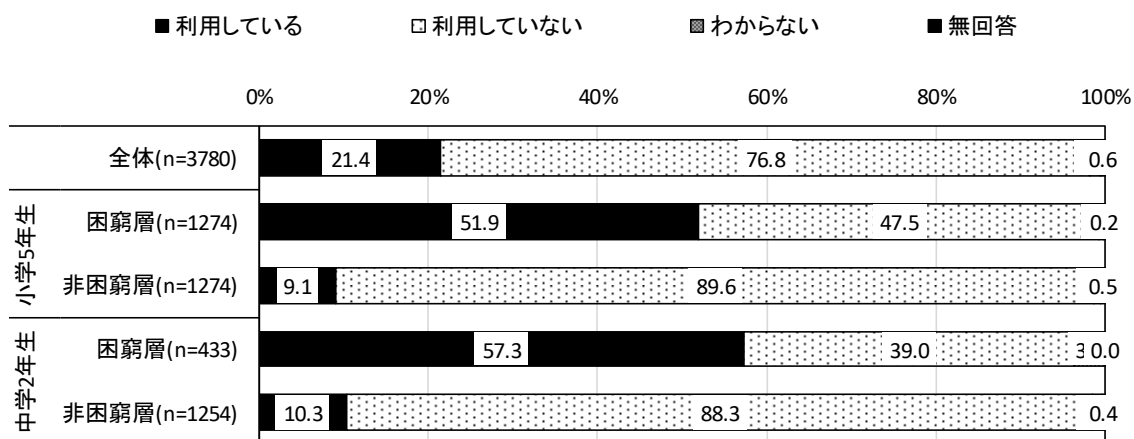


図 281 子ども調査 就学援助制度の利用状況

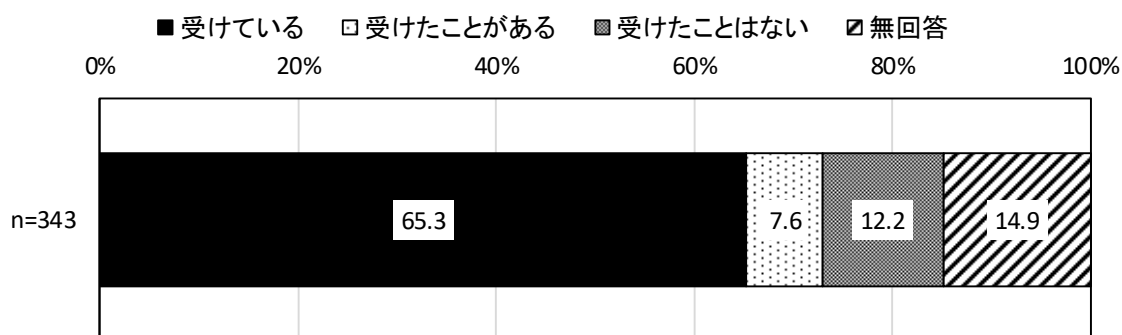


図 282 支援員調査 就学援助費 (注：図 126 再掲)

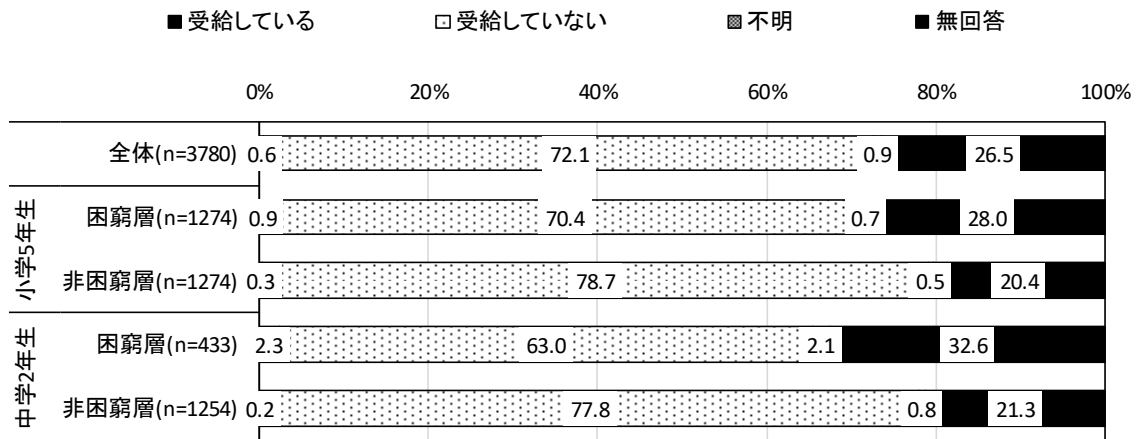


図 283 子ども調査 生活保護受給状況

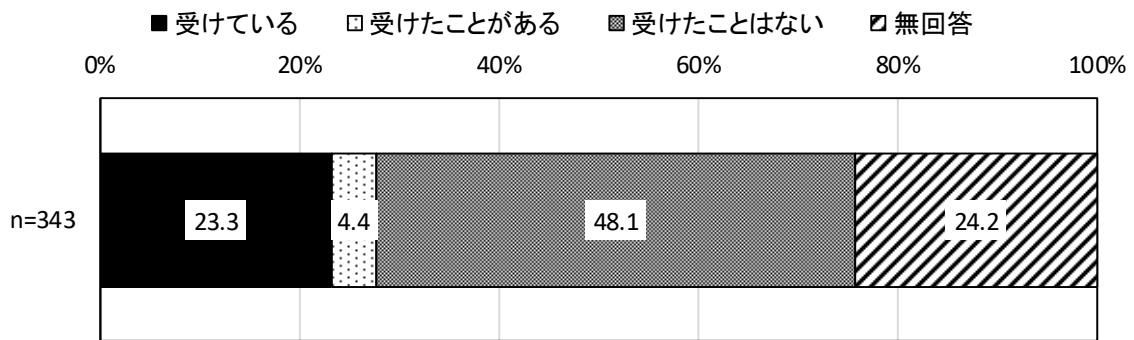


図 284 支援員調査 生活保護 (注：図 129 再掲)

3. 子どもの生活環境

ここからは、子ども票の回答にもとづき、子どもの生活環境や学習環境、自己効力感について比較を行っていく。先ほど確認したとおり、両調査で回答した子どもの学年構成が大きく異なるため、学年別にみていくこととする。なお、厳密には学年が一致していないが、子ども調査の「小学校5年生」と居場所調査の「小学生（高学年）」、子ども調査の「中学校2年生」と居場所調査の「中学生」を比較対象とする。

放課後に過ごす相手

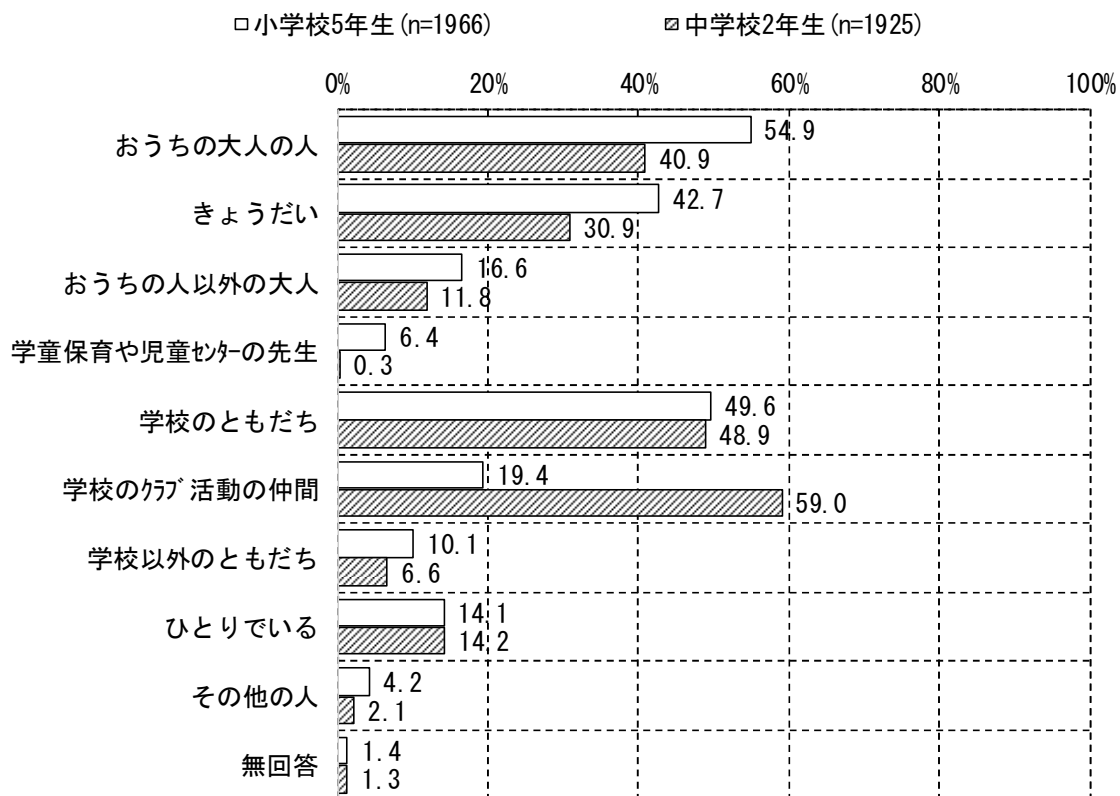


図 285 子ども調査：放課後に過ごす相手

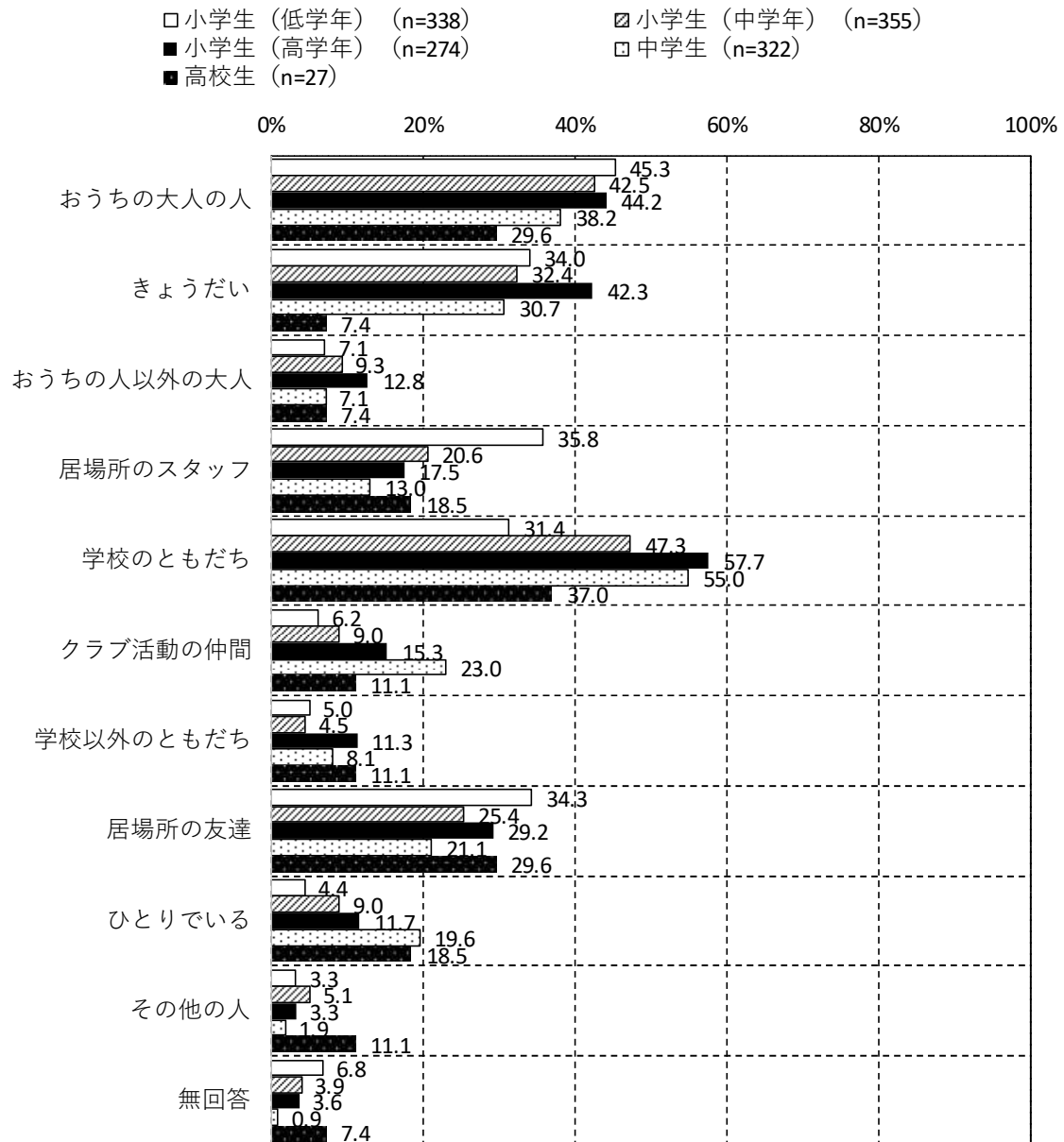


図 286 居場所調査（子ども票）：放課後に過ごす相手（現在）（注：図 47 再掲）

子ども調査をみると、「小学校 5 年生」で「おうちの大人の人」の割合がもっとも高く、次いで「学校のともだち」「きょうだい」となっている。「中学 2 年生」では「学校のクラブ活動の仲間」の割合がもっとも高い。

居場所調査をみると、「小学生（高学年）」「中学生」いずれも「学校のともだち」の割合がもっとも高い。「居場所のともだち」も 2～3 割となっている。

普段放課後に過ごしている場所

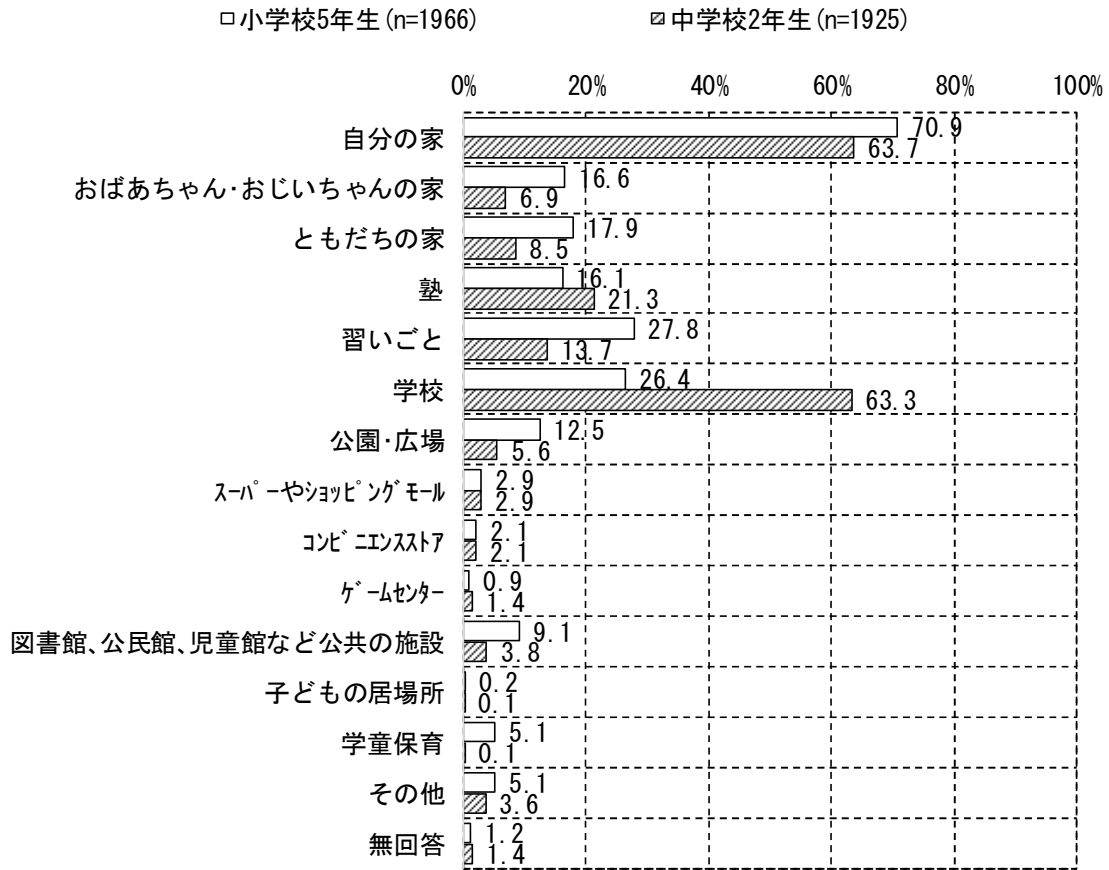


図 287 子ども調査：普段放課後に過ごしている場所

子ども調査をみると、「小学校5年生」「中学校2年生」いずれも「自分の家」の割合がもっとも高い。「中学校2年生」では「学校」も約6割を占めている。居場所調査をみると、いずれの学年においても同じく「自分の家」の割合がもっとも高い。子ども調査と比べると、「中学生」においては「塾」と回答した割合が高く、「学校」と回答した割合が低い。

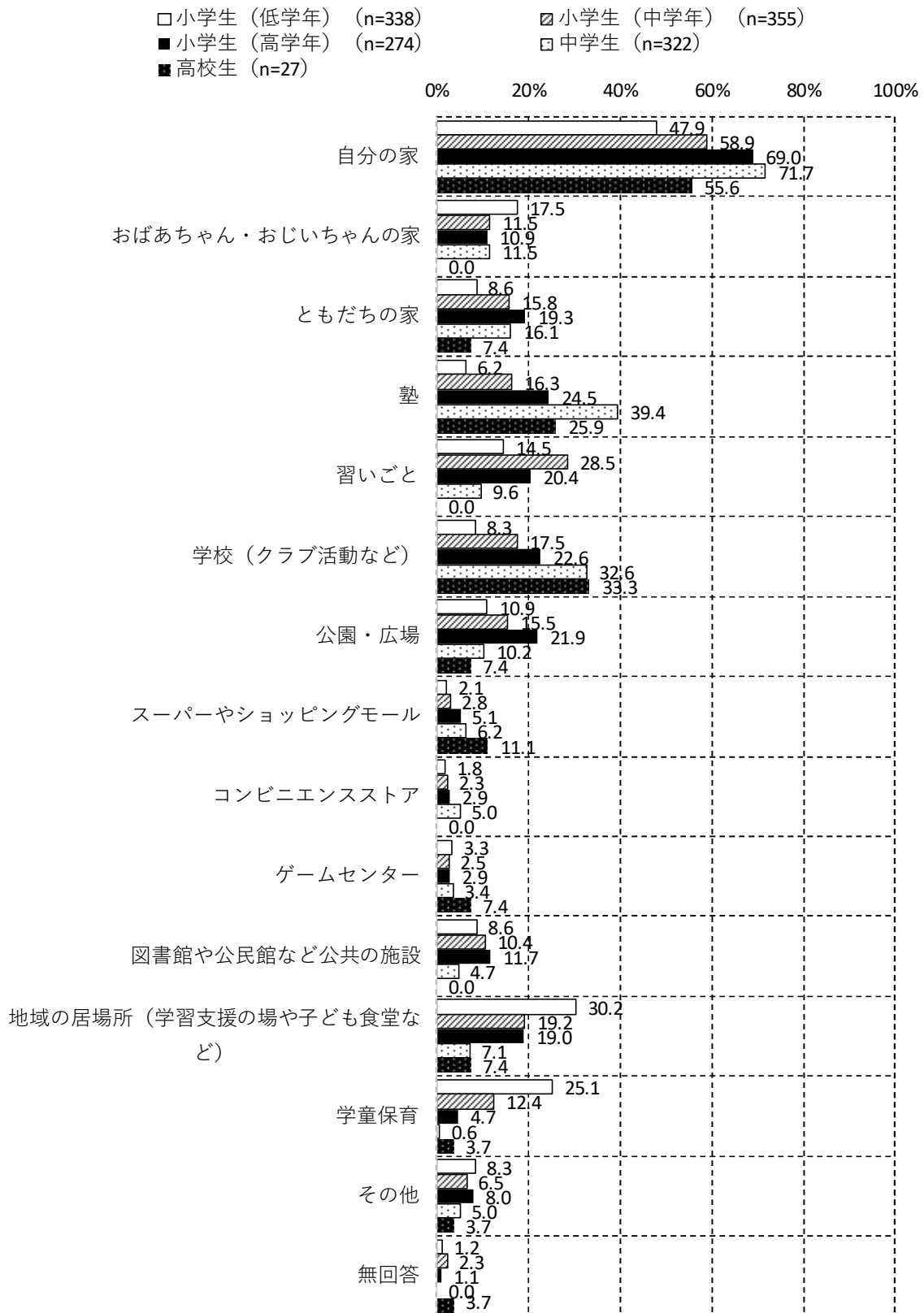


図 288 居場所調査（子ども票）：普段放課後に過ごしている場所（注：図 22 再掲）

4. 子どもの教育環境

学校の勉強に対する気持ち

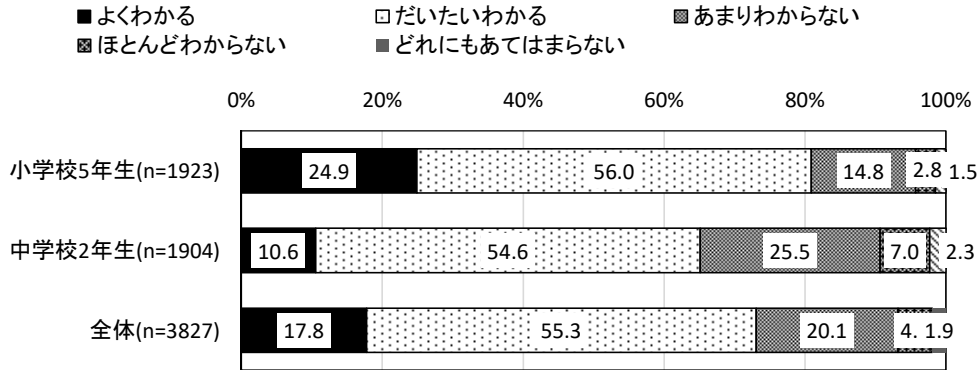


図 289 子ども調査：学校の勉強に対する気持ち

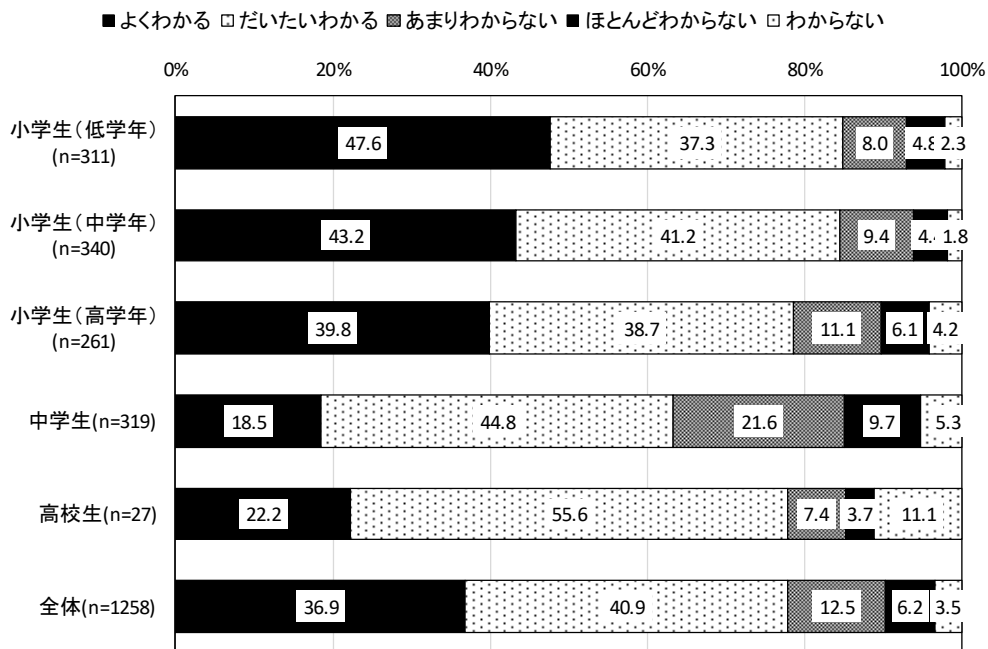


図 290 居場所調査（子ども票）：学校の勉強に対する気持ち（現在）（注：図 43 再掲）

選択肢が異なるため比較には注意が必要だが、子ども調査と居場所調査を比較すると、いずれの学年においても居場所調査のほうが「よくわかる」と回答した割合が高くなっている。

学校の授業以外での1日の勉強時間

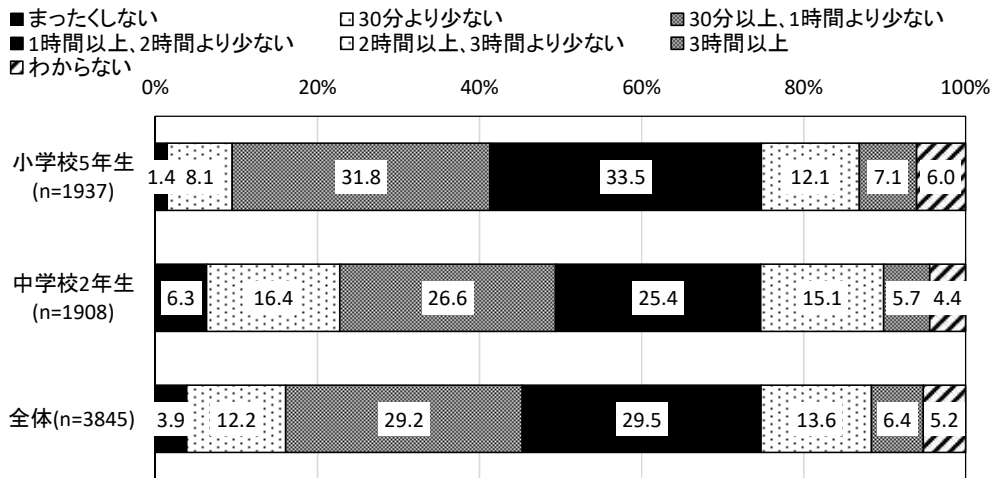


図 291 子ども調査：学校の授業以外での1日の勉強時間

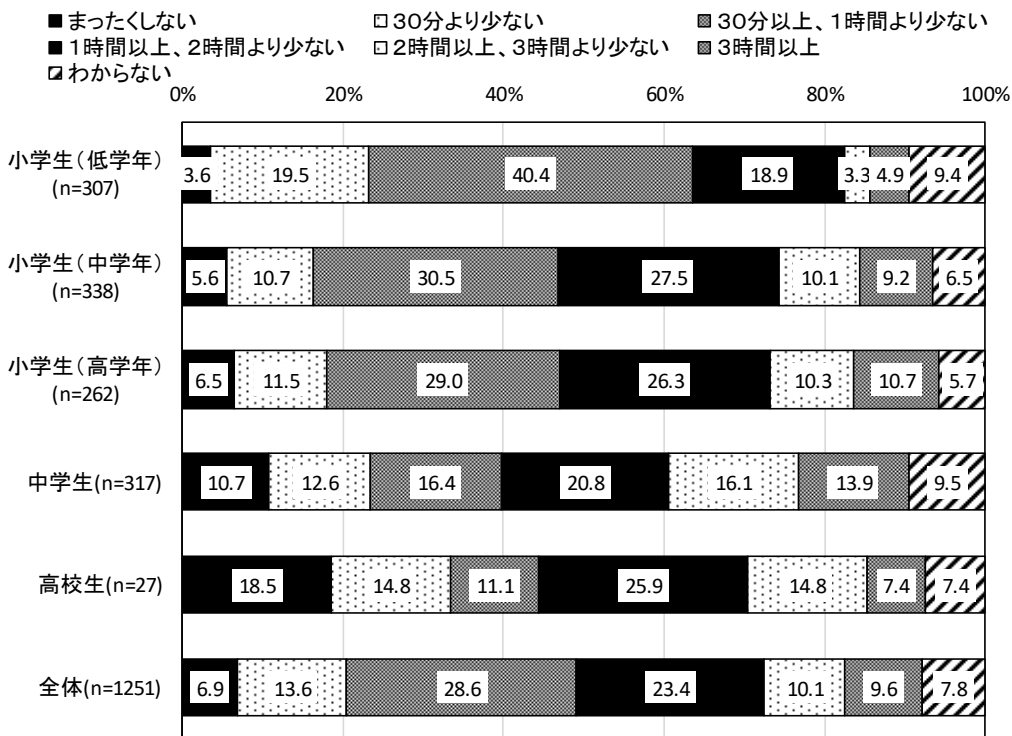


図 292 居場所調査（子ども票）：学校の授業以外での1日の勉強時間（現在）（注：図 42 再掲）

子ども調査と居場所調査を比較すると、いずれの学年も子ども調査のほうが勉強時間が長い傾向にある。特に「中学校2年生」「中学生」においては、「30分以上、1時間より少ない」の割合が子ども調査では26.6%であるのに対し、居場所調査では16.4%にとどまる。

将来の進学希望

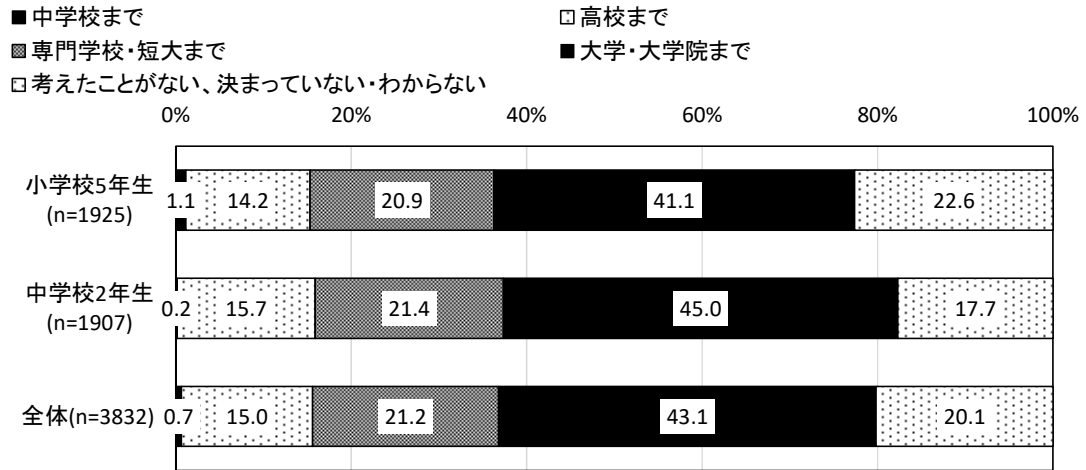
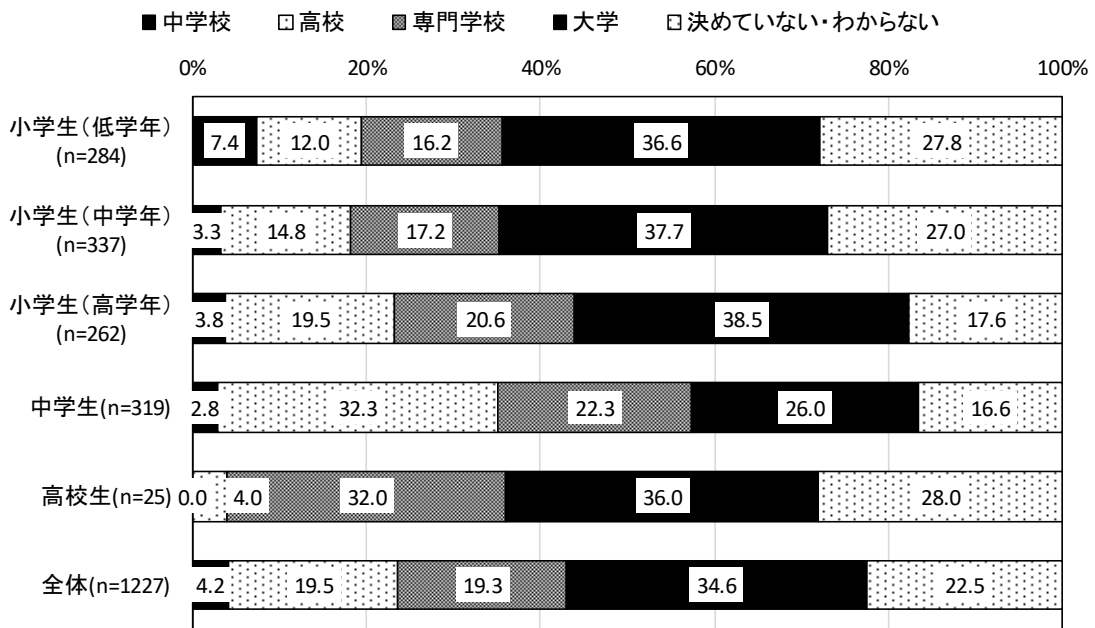


図 293 子ども調査：理想的な学歴



※実際の調査票では、「専門学校」と「短大」、「大学」と「大学院」、「考えたことがない」と「決まっていない・わからない」はそれぞれ別選択肢となっている。

図 294 居場所調査（子ども票）：将来の進学希望（現在）（注：図 45 再掲）

子ども調査と居場所調査を比較すると、いずれの学年も子ども調査において「大学・大学院まで」の割合が高い。特に「中学生」において、「大学・大学院まで」とする回答は子ども調査で 45.0%であるのに対し、居場所調査では 26.0%と大きな差がみられる。

5. 子どもの自己効力感

以降の設問の選択肢について、子ども調査では「とてもそう思う」、居場所調査では「そう思う」となっているため、一概には比較ができないことに留意が必要である。

自分に自信がある

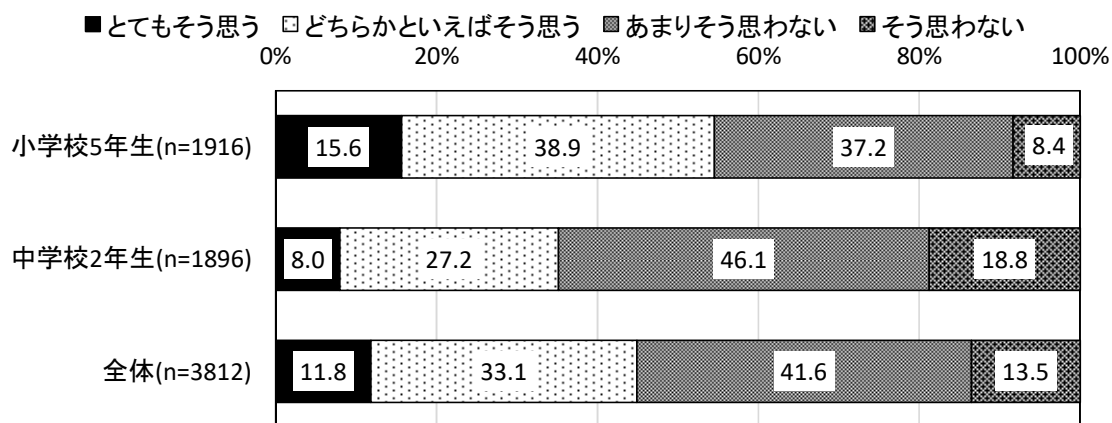


図 295 子ども調査：自分に自信がある

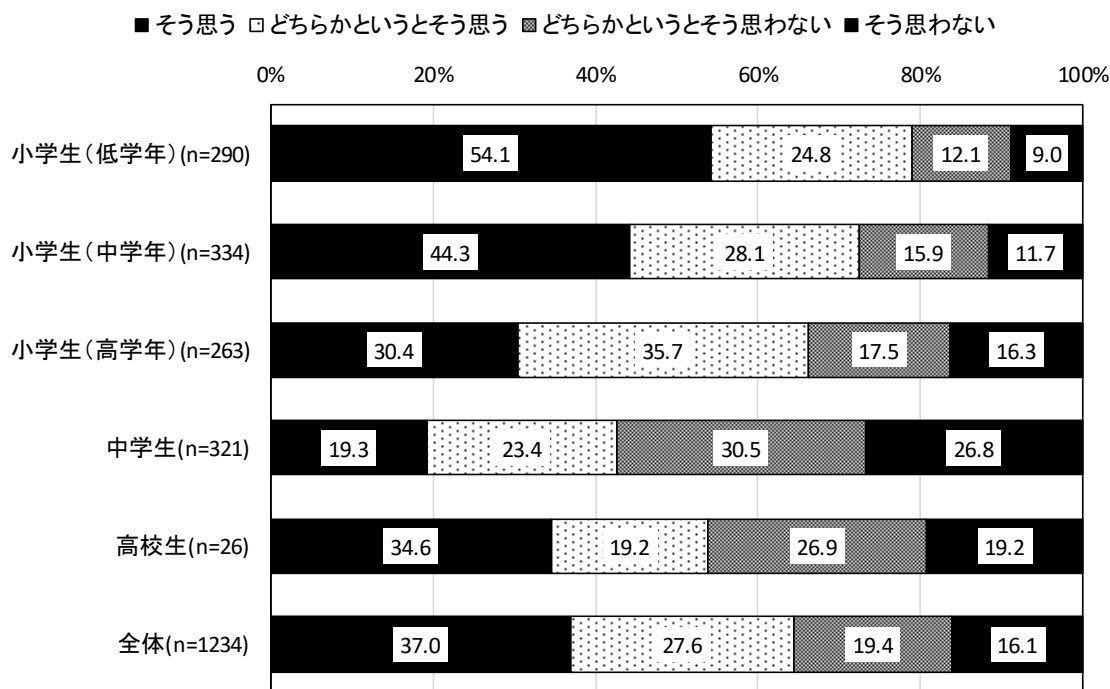


図 296 居場所調査（子ども票）：自分に自信がある（現在）（注：図 56 再掲）

子ども調査と居場所調査を比較すると、いずれの学年も居場所調査において肯定的に回答する割合が高くなっている。

自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

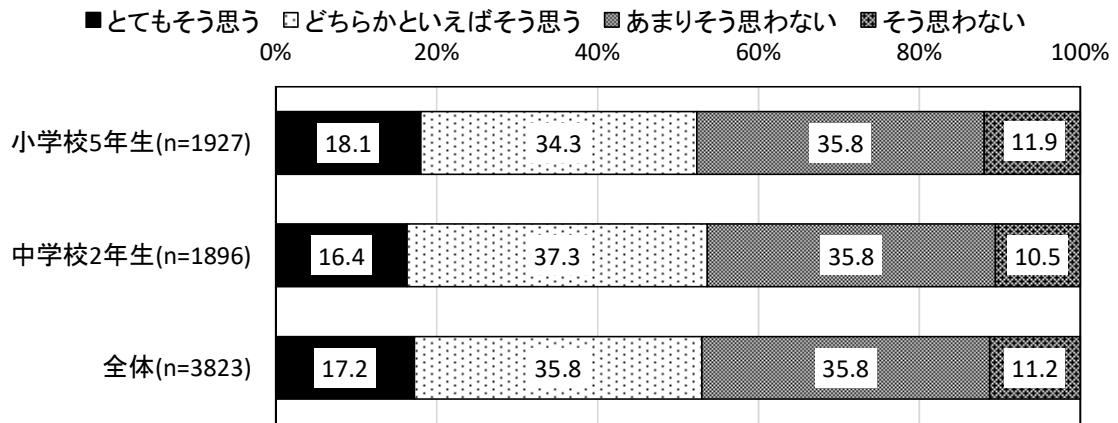


図 297 子ども調査：自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

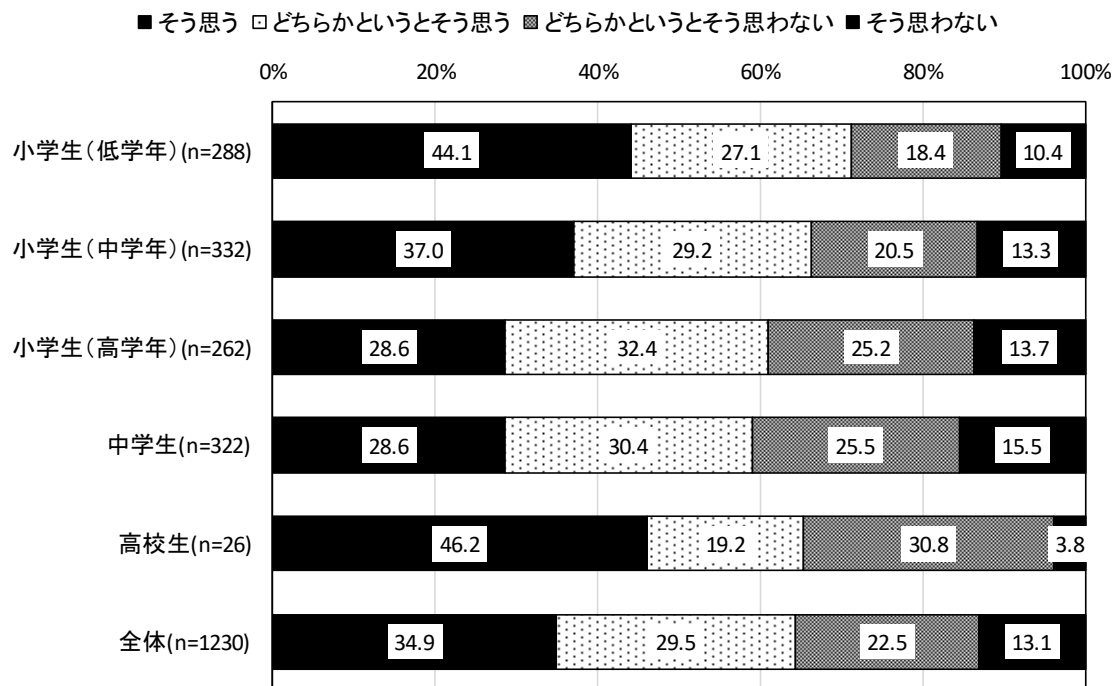


図 298 居場所調査（子ども票）：自分の考えをはっきり相手に伝えることができる
（現在）（注：図 57 再掲）

子ども調査と居場所調査を比較すると、いずれの学年も居場所調査において肯定的に回答する割合が高くなっている。

大人は信用できる

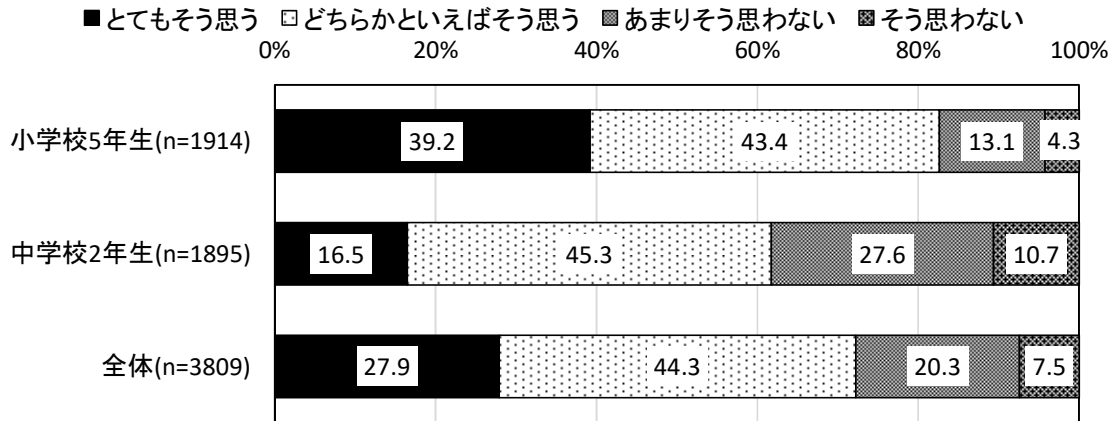


図 299 子ども調査：大人は信用できる

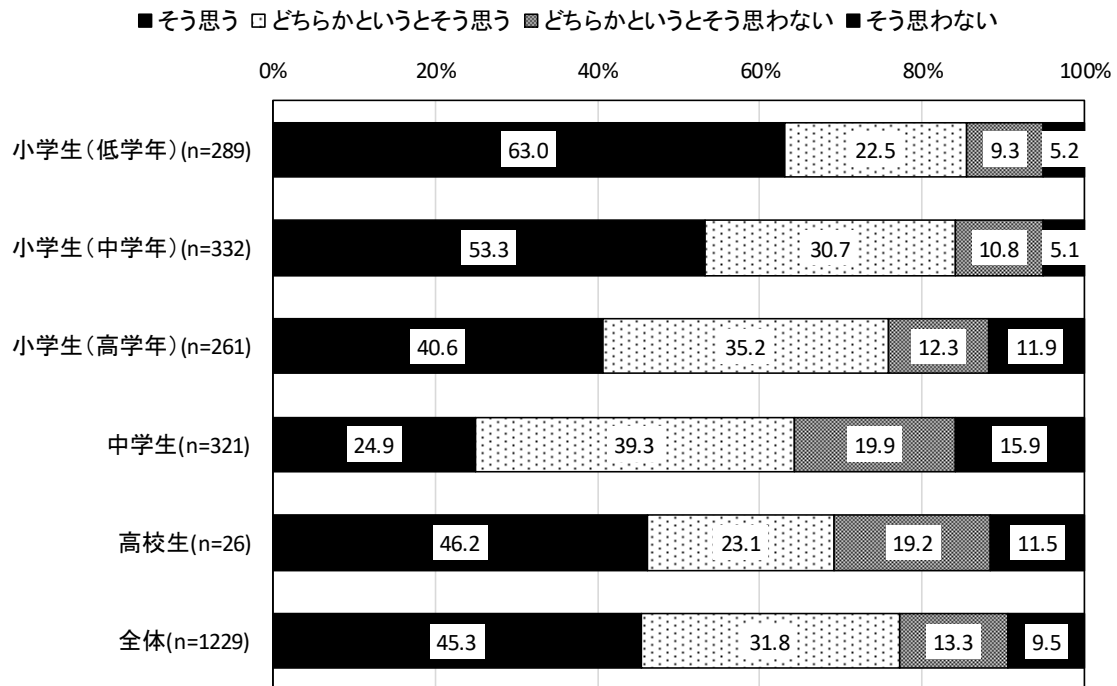


図 300 居場所調査（子ども票）：大人は信用できる（現在）（注：図 58 再掲）

子ども調査と居場所調査を比較すると、「小学校5年生」と「小学生（高学年）」においてはほとんど差がみられないが、「中学校2年生」と「中学生」においては、居場所調査においてやや肯定的な回答の割合が高くなっている。

Ⅲ 考察

以下では、これまでの分析結果についてのまとめと考察を行っていく。

1. 居場所：保護者に関する分析結果

○回答者の基本属性

回答者の有効サンプルは 689 名である。子どもからみた回答者の続柄をみると、「お母さん」が 83.7%と大半を占めている。また、回答者の年齢は「40代」が 40.3%、「30代」が 39.0%となっている。居場所に通っている子どもの人数は「1人」が 54.1%を占める。

○経済状況

前年の世帯収入の合計額は、「150～200万円未満」が 17.6%でもっとも回答割合が高い。世帯人員で調整した等価可処分所得を算出すると、「50～100万円」未満の割合が 30.9%ともっとも高い。貧困ラインの 122 万円未満の世帯の割合は、61.7%にのぼり、経済的に厳しい状況におかれた世帯が多いといえる。なお、仕事を探していない理由としては「病気療養」が半数を占めた。

また、約 5 割が「新しい衣服・靴を買うのを控えた」「食費を切りつめた」「趣味やレジャーの出費を減らした」という経験をしている。主に生計を支えている方の就労状況は、「正規の職員・従業員」が約 4 割だが、「パート・アルバイト」も約 2 割となっている。

○子どもとの関わり

子どもが居場所を利用する前と現在を比較した場合、「不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある」「子どもを育てるために我慢している」「自分一人で育てているという圧迫感を感じる」について「あてはまる」と回答した割合がいずれも減少している。居場所の保護者調査は今回が初めての試みであったが、これらの変化から、居場所を利用することにより、保護者に対しても効果があることが明らかになったと言える。

○居場所利用に対する評価

お子さんが居場所を利用するようになって良かったと思うかどうかをみると、「そう思う」が 78.1%、「どちらかといえばそう思う」が 15.4%で、あわせて 93.5%が居場所に対して肯定的な評価をしている。

2. 居場所：子どもに関する分析結果

(1) 居場所に来る子どもの特徴

○子どもの回答人数

回答者の有効サンプルは 1342 名である。内訳として回答者の学年は、「小学生(低学年)」が 338 名で 25.2%、「小学生(中学年)」が 355 名で 26.5%、「小学生(高学年)」が 274 名

で 20.4%、「中学生」が 322 名で 24.0%、「高校生」が 27 名で 2.0%である。

○世帯構成

約 5 割が「両親ともにいる」、約 4 割が「お母さんがいてお父さんがいない」と回答しており、一人親世帯の割合が高い。中学生では「お母さんがいてお父さんがいない」の割合が 52.4%にのぼる。

○放課後過ごす場所

放課後に「地域の居場所」で過ごす割合は、小学生（低学年）では約 3 割、小学生（中学年）・（高学年）では約 2 割、中学生・高校生では約 1 割であり、学年が低いほど放課後に居場所で過ごしている割合が高い。

○居場所に来る頻度

全体では「1 週間におおむね 3 回以上」と「1 週間におおむね 1～2 回」がそれぞれ 4 割程度を占めている。学年別に見ると、小学生（低学年）で「1 週間におおむね 3 回以上」の割合が 54.6%と高く、学年が上がるにつれ低下していくが、中学生・高校生では再度増加する傾向にある。

○居場所を利用する理由

居場所に来る理由を見ると、小学生（低学年）～小学生（高学年）では、「友だちと遊ぶため」がもっとも回答割合が高く、次いで「勉強するため」となっている。中学生・高校生では、「勉強するため」がもっとも回答割合が高く、次いで「友だちと遊ぶため」となっている。小学生（低学年）や小学生（中学年）では、「家にだれもいないため」の割合も高く、学童保育の代替として利用されていることがうかがえる。以上、頻度と合わせて、居場所の役割が年齢とともに変わることがうかがえた。

○居場所に対する評価

居場所に来てよかったと思うかどうかをみると、「来てよかったと思う」が 73.3%、「どちらかといえば来て良かったと思う」が 19.9%で、肯定的な評価をしている。

（2）子どもの変化について

以下では、生活環境、教育環境、社会環境について、「居場所に来る前」と「現在」との変化について、学年別・居場所の利用頻度別・困窮度別のそれぞれの観点から見ていく。

1) 学年別

※高校生はサンプルサイズが小さく数値の解釈に留意が必要であるため、以下では言及し

ていない。

○生活環境

生活環境のうち、ふだんほぼ同じ時刻に起きているかについてはわずかながら変化がみられる。特に、小学生（高学年）では、「起きている」の割合が7.1ポイント増加している。その他の学年も、4.0～5.0ポイント程度の増加がみられる。就寝時間や睡眠時間、朝食・夕食の頻度については変化が見られない。

○教育環境

学校がある日の授業時間以外での学習時間については、いずれの学年においても増加傾向がみられる。特に、中学生では「まったくしない」が14.1ポイント減少し、「2時間以上、3時間より少ない」が12.0ポイント増加している。

学校の勉強についての気持ちも、いずれの学年も「よくわかる」の割合が5.0ポイント程度増加している。将来の進学希望については、いずれの学年も「高校」が減少し、「専門学校」「大学」の割合が増加している。

これらの結果もかなり居場所の効果が見られると言えよう。

○社会環境

居場所の利用前後で、「何かに失敗したときにたすけてくれる人」「勉強やスポーツをがんばったときにほめてくれる人」「一人ではできないことがあったときには気持ちよく手伝ってくれる人」「悩んでいるときにどうしたらよいか教えてくれる人」について、いずれも「たくさんいる」とする割合が増加している。

また、「自分に自信がある」「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」「大人を信用できる」「自分の将来の夢や目標を持っている」「将来のためにも今頑張りたいと思う」「将来働きたいと思う」といった項目についても、「そう思う」と回答する割合が増加している。

2) 居場所利用頻度別

○世帯構成

「1週間におおむね3回以上」という高頻度利用群では、「両親ともにいる」が57.0%、「お母さんがいてお父さんがいない」が33.5%と二人親世帯の割合が高い。「1週間におおむね1～2回」「1か月に1～2回程度」と利用頻度が下がるにつれ母子世帯の割合が高まるが、「1か月に1～2回よりも少ない」ではまた二人親世帯の割合が高くなる。母子世帯にとって通いにくい状況を検討する必要がある。

○教育環境

居場所利用頻度別に学校への登校頻度を見ると、「1か月に1～2回程度」「1か月に1

～2回よりも少ない」の群では他の群と比べて「毎日」の割合が低くなっており、居場所をよく利用している群ほど毎日登校している割合が高い。

学校がある日の授業時間以外での学習時間について、来る前と現在の変化を見ると、利用頻度が高い群ほど、「まったくしない」の割合が低下する傾向がみられる。

これらの結果から、居場所は子どもの教育環境に効果があったと言えよう。

○生活環境

「何かに失敗したときにたすけてくれる人」「勉強やスポーツをがんばったときにほめてくれる人」「一人ではできないことがあったときに気持ちよく手伝ってくれる人」「悩んでいるときにどうしたらよいか教えてくれる人」が現在「たくさんいる」という割合は、居場所の利用頻度が高い群ほど高くなっている。ただし、「1か月に1～2回よりも少ない」というもっとも利用頻度の低い群でも高い場合がある。この群はサンプルサイズが少ないため解釈に留意が必要ではあるが、そもそも社会的資源が充実しており、居場所に来る必要性が低いために利用頻度が低いということも可能性として推測される。

「自分に自信がある」「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」「大人を信用できる」「自分の夢や将来の目標を持っている」といった自己効力感に関する項目についても同様に、居場所の利用頻度が高い群ほど「そう思う」と回答する割合が高い。来る前と現在を比較すると、多くの項目で利用頻度が高い群ほど「そう思う」の割合が増加している。

これらの結果から、居場所は子どもの生活環境に効果があったと言えよう。

3) 困窮度別

○世帯構成

困窮度別に世帯構成を見ると、困窮層では母子世帯の割合が 58.7%であるのに対し、非困窮層では 44.2%と 14.5 ポイントの差がある。必要な世帯に届けることができていると評価できる。

○生活環境

現在の朝食の頻度をみると、「毎日またはほとんど毎日」という割合が困窮層では 73.3%であるのに対し、非困窮層では 88.2%となっており、14.9 ポイントの差がある。夕食の頻度についても、「毎日またはほとんど毎日」という割合に 5.0 ポイント程度の差があり、経済状況によって食事という基本的な生活習慣に差が生じていることがうかがえる。居場所の利用前後での変化はほとんど見られない。

○教育環境

現在の遅刻の頻度をみると、「遅刻はしない」という割合が、困窮層では 64.9%であるの

に対し、非困窮層では 79.7%となっており、14.8 ポイントの差がみられる。居場所利用前後での変化は小さい。

一方、学校がある日の授業時間以外での学習時間については、特に困窮層において居場所利用前後で大きな変化がみられる。困窮層における「まったくしない」の割合は、居場所に来る前は 16.1%であったが、現在は 6.9%まで減少している。また、同じく困窮層において「1 時間以上、2 時間より少ない」の割合は来る前の 15.2%から現在は 22.1%まで増加している。こうした変化は非困窮層よりも大きいことから、居場所が学習時間の増加にもたらす効果は困窮層ほど高いことが示唆される。

学校の勉強について「よくわかる」と回答する割合は、困窮層よりも非困窮層において 10.0 ポイント程度高い。利用前後ではいずれの層においても 10.0 ポイント程度高くなっている。

将来の進学希望は、いずれの層も「大学」と回答する割合が増加しているが、特に非困窮層において増加した割合が大きい(困窮層:20.2%⇒26.4%、非困窮層:26.9%⇒39.2%)。

これらより、居場所の利用は特に困窮層において学習時間の増加をもたらす、経済状況によらず学習理解度を向上させる効果をもっていると言える。しかし、将来の進学希望については経済状況による差が拡大する結果となっている。

これは、子ども自身の自己効力感や学習への気持が高くなり勉強時間も長くなったとしても、将来についての希望を高く持てない経済格差が学歴格差を生むという大きな壁を、居場所だけではなかなか越えられないということが明らかになったと言える。もう一步踏み込んだ対策、他の自治体で取り組んでいるような居場所プラスワン（医者の話、絵本作りなどさまざま）の取り組みの必要性が示唆される。

○社会環境

支えてくれる人の数・自己効力感いずれも、困窮層よりも非困窮層で高い傾向がみられる。特に自己効力感については、「大人を信用できる」「自分の将来の夢や目標を持っている」について「そう思う」とする割合は、困窮層よりも非困窮層で 10.0 ポイント程度高くなっており、他の項目に比べて差が大きい。居場所の利用前後ではいずれも「そう思う」の割合が増加しており、増加度合いに困窮層・非困窮層での差はみられない。

自己効力感は、経済格差によらず、周りからの働きかけで変化する可能性があることが明らかになった。

3. 支援員に関する分析結果

(1) 支援員制度を利用する保護者の特徴

○保護者の回答人数

回答者の有効サンプルは 343 名である。続柄は、「お母さん」が 290 名で 84.5%、次いで「お父さん」が 32 名で 9.3%、「おばあさん・おじいさん」が 17 名で 5.0%、「おじ、お

ばなど親戚」が3名で0.9%となっている。

○世帯構成

同居家族の構成は、「母親がいて父親がいない」が55.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「両親ともにいる」が33.8%となっている。

○経済状況

前年の世帯収入の合計額は「100～150万円未満」が22.2%でもっとも回答割合が高く、経済的に厳しい状況にある世帯が多い。

生計を支えている者の現在の就業状況は、「勤め（非正規職員などで1か所に勤務）」が約4割でもっとも高い。仕事をしておらず、探してもいないというケースも17.5%となっている。なお、仕事を探していない理由としては「病気療養」が半数を占める。

経済的な理由で経験したことについて、平成28年度実施の「大阪府子どもの生活に関する実態調査（以下、大阪調査と称す）」の困窮度I群（もっとも困窮状況が厳しい層）の回答と比較する。「食事を切りつめた」（支援員調査：70.8%、大阪調査：61.2%）、「電気・ガス・水道などが止められた」（支援員調査：25.9%、大阪調査：7.3%）、「医療機関を受診できなかった」（支援員調査：30.0%、大阪調査：6.5%）、「国民健康保険料の支払いが滞ったことがある」（支援員調査：43.7%、大阪調査：22.0%）、「国民年金の支払いが滞ったことがある」（支援員調査：28.3%、大阪調査：23.3%）、「金融機関などに借金をしたことがある」（支援員調査：32.9%、大阪調査：16.0%）、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」（支援員調査：70.0%、大阪調査：62.1%）、「生活の見通しがたたなくて不安になったことがある」（支援員調査：59.8%、大阪調査：43.9%）、「電話（固定・携帯）など通信料の支払いが滞ったことがある」（支援員調査：40.8%、大阪調査：13.1%）、「子ども部屋が欲しかったがつかれなかった」（支援員調査：31.5%、大阪調査：18.1%）と、大阪府の困窮度I群と比べても支援員を活用している家庭の困窮状況の厳しさは際立っている。すなわち、該当割合は高く、生活に必要なものはく奪されている状況下にある。医療機関の受診、国民健康保険料の支払いなど生活の基盤が不安定である上、国民年金の未払いにより今後の生活で享受できる生活支援が受けることができず、更に悪循環が引き起こされる状況も容易に想像がつく。生活資金を工面できないために金融機関での借金する様子も伺えるが、利息を加味した返済にも苦勞しているのではないかと推測される。生活の見通しがたたなくて不安だと回答している割合も高くメンタル的なサポートも必要性が高まっており、支援員が悩みごとの相談を聞く役割も担っていると言える。

続いて経済的な理由で子どもにしてあげられなかった経験についても同様に大阪調査と比較する。「医療機関を受診させることができなかった」（支援員調査：24.2%、大阪調査：4.2%）、「進路を変更した」（支援員調査：8.2%、大阪調査：4.6%）、「本や絵本が買えなかった」（支援員調査：31.5%、大阪調査：11.1%）、「おこづかいを渡すことができなかった」

(支援員調査：48.1%、大阪調査：25.0%)、「新しい服や靴を買うことができなかった」(支援員調査：46.4%、大阪調査：24.9%)、「学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった」(支援員調査：6.1%、大阪調査：0.5%)、「習い事に通わすことができなかった」(支援員調査：50.4%、大阪調査：28.8%)、「学習塾に通わすことができなかった」(支援員調査：43.4%、大阪調査：27.0%)、「誕生日を祝えなかった」(支援員調査：17.8%、大阪調査：5.2%)、「お年玉をあげることができなかった」(支援員調査：27.4%、大阪調査：13.3%)、「家族旅行(日帰りのおでかけを含む)ができなかつた」(支援員調査：56.3%、大阪調査：41.0%)、「どれにも当てはまらない」(支援員調査：11.7%、大阪調査：28.4%)と大阪調査における困窮度Ⅰ群に比べて該当割合は高く、子どもの生活にも大きく影響を及ぼしている。タウンゼントの定義に照らしてみると、支援員を活用する家庭の子どもの貧困状況は、おこづかいやお年玉といった子どもにおける経済的資本の欠如、医療機関の受診、習い事や学習塾への参加、進路といったヒューマンキャピタルに係る欠如、学校の遠足や修学旅行、家族旅行といったソーシャルキャピタルに係る欠如と、非常に厳しい。これらの項目は子どものはく奪状況を示す指標としても活用しうるものであり、子どもの貧困対策の効果測定に資するものとして、継続的に割合の推移を見ていくことが肝要であろう。

支援員調査において就学援助費を「受けている」と回答したのは65.3%、「受けたことはない」が12.2%だった。支援員から教育に関して支援を受けたのは343名の回答中219名(63.8%)であり、その内101名(46.1%)が「就学援助の手続き」を挙げている。つまり支援員を活用している概ね3名のうち1名が就学援助の手続きの支援を受けている。まだ12.2%が「受けていない」と回答しているため、引き続き支援員での支援に期待したい。なお大阪調査において全体の17.7%が「就学援助費を受けている」と回答したのに対し、沖縄県は子ども調査の結果から20.7%との回答であった。生活保護についても「受けている」と回答したのは343名中80名(23.3%)、支援員から「生活保護の手続き」の支援を受けたと挙げたのは27名と、支援員の支援による貢献が見て取れる。就学援助にしる生活保護にしる、申請主義に立脚した手続きであるため、本人が申請対象なのかどうかわからないケースも少なからずある。支援を要するところに支援が行き届くためにも、支援員からの積極的な働きかけが今後も重要である。

(2) 支援の内容

○支援員と会い始めた時期・回数

支援員と会い始めた時期は「2017年から」「2018年から」がそれぞれ約3割となっている。会った回数は、「おおむね10回以上」が32.7%でもっとも回答割合が高く、次いで「おおむね3～5回」が26.2%、「おおむね1～2回」が16.9%となっている。

○支援員によるサポート内容・評価

支援員からのサポートで役に立った分野としては、「教育に関する支援」が63.8%でもっ

とも回答割合が高く、次いで「悩みごとの相談を聞いてもらうこと」が 47.8%、「生活に関する支援」が 38.8%となっている。教育に関する支援の内容は「無料塾へのつなぎ」がもっとも高く、次いで「就学援助の手続き」「学校との調整」となっている。

今後受けたいサポートについても、「教育に関する支援」が 52.5%でもっとも回答割合が高く、次いで「悩みごとの相談を聞いてもらうこと」が 44.0%、「生活に関する支援」が 31.5%となっている。

支援員と会うようになってよかったと思うかについては、「そう思う」が 67.6%、「どちらかといえばそう思う」が 22.7%で、あわせて 90.3%が肯定的な評価をしている。

(3) 支援員に会う前と現在の変化について

1) 全体

○子どもの変化

支援員サービスを利用するようになってからの子どもの変化について、「あてはまる」とする割合が高かったのは、「朝食を食べる」(32.9%)、「健康状態」(42.3%)、「勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる人がいる」(48.4%)といった項目である。また、子どもが放課後に過ごす場所として、支援員に会ったあとは「地域の居場所」とする割合が増加している。

○子どもとの関わり

支援員に会う前と現在とを比較すると、「子どもと会話をする」「子どもの将来の夢について話し合う」といった項目について、「よくする」という割合が約 10.0 ポイント増加している。また、「不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある」「子どもを育てるために我慢している」「自分一人で育てているという圧迫感を感じる」については、「あてはまる」という割合がいずれも 10.0~20.0 ポイント程度減少している。支援員と会うことにより、保護者のソーシャルキャピタルが改善し、その結果、子育てに対する負担感が軽減し、子どもとの関わりが増加していることがうかがえる。

○子どもに受けさせたい教育段階

支援員に会う前と現在とで、「専門学校」「大学」について「受けさせたい」とする割合が増加し、「経済的に受けさせられない」とする割合が減少している。

○社会環境

支援員に会う前と現在とで、様々な場面でサポートしてくれる人がいるとする割合が増加している。特に、「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」「あなたの気持ちを察して思いやってくれる人」「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」「子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人」については、「いる」とする

割合が 20.0 ポイント前後増加している。

2) 支援員と会った回数別

○支援員への評価

支援員に会った回数が多い群ほど、支援員と会うようになってよかったと思うと回答する割合が高い。また「不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある」「子どもを育てるために我慢している」「自分一人で育てているという圧迫感を感じる」に対し、支援員に会う回数が多いほど、会う前と現在とで「あてはまる」の回答割合が大きく下がる傾向にある。すなわち「あてはまる」と答えた保護者は孤立していた様子が伺え、それゆえ感情をぶつける矛先が子どもや自分であったところ、支援員に相談することで孤立が緩み、精神的に安寧な状況になったものと想像される。

○社会環境

支援員に会った回数が多い群ほど、様々な場面でサポートしてくれる人がいるとする割合が増加している。たとえば、「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」が「いる」とする割合は、「おおむね 10 回以上」で 33.8 ポイント、「おおむね 6～9 回」で 16.6 ポイント、「おおむね 3～5 回」と「おおむね 1～2 回」ではそれぞれ 10.4、10.6 ポイント増加している。支援員に会う頻度が高まるほどに、サポートを受けやすい存在になっていることがうかがえる。

○子どもの変化

「お祭りやボランティア活動などに参加する」「勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる人がいる」「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」といった項目で、支援員に会った回数が「おおむね 10 回以上」「おおむね 6～9 回」という群では、それ以下の群に比べて子どもの変化が見られたとする割合が高い。ただし、「ややあてはまる」まで含めると、回数による差はあまり見られない。

4. 2017年度との比較

(1) 居場所に来る子どもについて

○居場所に来る回数

居場所に来る回数は、2017年度と2018年度でほとんど変化がなく、いずれの年も「1週間におおむね3回以上」と「1週間におおむね1～2回」が約40.0%ずつとなっている。

○居場所での友だち

居場所に来てから友だちができたかどうかをみると、2018年度では「できた」の割合がわずかに上昇している。友だちが「できた」と回答した人に、どういう友だちができたかをたずねたところ、2018年度では2017年度に比べて「学校の子」と回答する割合が約12.0ポイント増加している。

(2) 支援員を利用する保護者について

○支援員から受けたサポート

どのサポートが役に立ったかをみると、2017年度に比べて2018年度では「悩み事の相談を聞いてもらうこと」「生活に関する支援」「教育に関する支援」の割合がそれぞれ増加している。また、今後支援員からどの分野のサポートを受けたいかを見ると、2018年度では「悩み事の相談を聞いてもらうこと」と回答する割合が6.2ポイント、「生活に関する支援」が4.5ポイントそれぞれ増加している。

5. 平成30年度沖縄子ども調査との比較

以下では、平成30年度沖縄県子ども調査（以下、子ども調査）の結果と、平成30年度沖縄子供の貧困緊急対策事業アンケート調査の居場所に関する調査（以下、居場所調査）の結果を比較した分析を行う。

○世帯類型

世帯類型をみると、子ども調査では「二親世帯」が80.0%を占め、母子世帯は16.3%だったが、居場所調査では「両親ともにいる」は48.6%にとどまり、「お母さんがいてお父さんがいない」という母子世帯が44.2%にのぼっている。

○経済状況

世帯収入をみると、子ども調査では「300～400万円未満」の割合が16.3%でもっとも高いのに対し、居場所調査では「150～200万円未満」の割合が17.6%ともっとも高くなっており、世帯収入が低い世帯が多い傾向にあることがうかがえる。等価可処分所得について、122万円未満を困窮層、122万円以上を非困窮層として分布を見ると、子ども調査では「困窮層」の割合が26.0%であるのに対し、居場所調査では61.7%と倍以上の割合となっている。

る。なお、仕事を探していない理由としては「病気療養」が半数を占めたが、子ども調査では「家事や育児に専念」の回答がもっとも高かった。

○子どもの生活環境

放課後過ごす相手について、子ども調査では、小学校5年生で「おうちの大人の人」、中学校2年生で「学校のクラブ活動の仲間」の割合がそれぞれもっとも高いが、居場所調査では「小学生（高学年）」「中学生」ともに「学校のともだち」の割合がもっとも高い。「居場所のともだち」も20.0%～30.0%となっている。

放課後過ごす場所について比較すると、子ども調査では、小学校5年生で「自分の家」、中学校2年生で「自分の家」「学校」の割合がそれぞれ高いが、居場所調査では「小学生（高学年）」「中学生」ともに「自分の家」が最も高い。また「塾」と回答した割合は、子ども調査の「小学校5年生」では16.1%だったのに対し、居場所調査の「小学生（高学年）」では24.5%だった。中学生について、子ども調査の「中学校2年生」では21.3%だったのに対し、居場所調査の「中学生」では39.4%だった。

居場所調査においても過ごす場所は「自分の家」が最多であるにも関わらず、過ごす相手は「おうちの大人」の割合が子ども調査に比べて居場所調査の方が低い。居場所調査では母子世帯が多いため、子どもが自分の家で過ごしていても母親が働きに出ていて一緒に過ごせていないことが推察される。

○子どもの教育環境

学校の勉強に対する気持ちについて「よくわかる」と回答した割合は、子ども調査の「小学校5年生」では24.9%だったのに対し、居場所調査の「小学生（高学年）」では39.8%だった。中学生については、子ども調査の「中学校2年生」では10.6%だったのに対し、居場所調査の「中学生」では18.5%だった。

学校の授業以外での1日の勉強時間について、子ども調査と居場所調査を比較すると、いずれの学年も子ども調査のほうで勉強時間が長い傾向にある。「まったくしない」と回答した割合は、子ども調査の「小学校5年生」では1.4%だったのに対し、居場所調査の「小学生（高学年）」では6.5%だった。中学生については、子ども調査の「中学校2年生」では6.3%だったのに対し、居場所調査の「中学生」では10.7%だった。また「30分以上、1時間より少ない」の割合は、子ども調査の「中学校2年生」では26.6%であるのに対し、居場所調査の「中学生」では16.4%にとどまる。

理想的な学歴について子ども調査と居場所調査を比較すると、いずれの学年も子ども調査において「大学・大学院まで」の割合が高い。特に「中学生」において、「大学・大学院まで」とする回答は子ども調査で45.0%であるのに対し、居場所調査では26.0%と大きな差がみられる。一方で、「中学校（まで）」と「(高校（まで）」を合計した値で比較すると、子ども調査の「小学校5年生」では15.3%だったのに対し、居場所調査の「小学生（高学

年)」では23.3%だった。中学生については、子ども調査の「中学校2年生」では15.9%だったのに対し、居場所調査の「中学生」では35.1%だった。

○子どもの自己効力感

選択肢が異なるため、一概には比較できないが、「自分に自信がある」「自分の考えをはっきりと相手に伝えることができる」「大人は信用できる」といった自己効力感に関する項目については、いずれも子ども調査よりも居場所調査において肯定的な回答の割合が高くなっている。

具体的には「自分に自信がある」について、「(とても) そう思う」と回答した割合は、子ども調査の「小学校5年生」では15.6%だったのに対し、居場所調査の「小学生(高学年)」では30.4%だった。中学生については、子ども調査の「中学校2年生」では8.0%だったのに対し、居場所調査の「中学生」では19.3%だった。

「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」について、「(とても) そう思う」と回答した割合は、子ども調査の「小学校5年生」では18.1%だったのに対し、居場所調査の「小学生(高学年)」では28.6%だった。中学生については、子ども調査の「中学校2年生」では16.4%だったのに対し、居場所調査の「中学生」では28.6%だった。

「大人は信用できる」について、「(とても) そう思う」と回答した割合は、子ども調査の「小学校5年生」では39.2%だったのに対し、居場所調査の「小学生(高学年)」では40.6%だった。中学生については、子ども調査の「中学校2年生」では16.5%だったのに対し、居場所調査の「中学生」では24.9%だった。

6. 総合総括

今回の調査では、居場所利用者について子ども・保護者の両方を対象としたことで、経済状況別の分析が可能となった。困窮度別に居場所を利用した子どもの状況をみると、他の調査と同様、困窮層の子どもほど非困窮層の子どもよりも生活習慣や教育環境、社会環境など様々な場面で困難な状況におかれていることがわかった。一方で、居場所の利用前後における変化をみると、学習時間や学習理解度、支えてくれる人の数、自己効力感について、困窮層・非困窮層いずれも同様にポジティブな変化がみられた。このことより、居場所支援は子どもがおかれた経済状況によらず一定の効果を発揮することが示唆される。しかしながら、食事の頻度や遅刻の頻度といった生活習慣に関しては、居場所の利用前後での変化がみられなかった。そこは、遅刻や生活の苦しさをキャッチできる就学援助受給などを把握する学校という場と居場所がリンクしていないことも大きい。今後は、居場所と学校の連携、教育委員会との連携に対してもよりアプローチをしていく必要がある。

また、支援員調査については、制度を利用している家庭が厳しい経済状況におかれていることが浮き彫りとなった。その中でも、制度利用前後で子どもとの関わりが改善したり、子育てに対する心理的な負担感が軽減したり、心配ごとや悩みごとを親身になって聞いて

くれる人や気持ちを察して思いやってくれる人など日常生活をサポートしてくれる人が増えたりといった、保護者のソーシャルキャピタルにかかるポジティブな効果が見られた。健康状態に関しても制度利用前後で 10.0 ポイント以上改善している。また支援員によるサポートでは「無料塾へのつなぎ」「就学援助の手続き」等「教育に関する支援」を評価する割合が多く、厳しい経済状況の中でも何とか子供により良い教育を模索する様子が見える。

事業評価の成果として、本調査は、昨年度と今年度の比較を行い事業の経年的な変化を多面的にとらえることもできたほか、子ども調査との比較により事業に起因する子どもや保護者のポジティブな変化を確認することもできた。その結果、本事業は子供の貧困対策として一定の効果が認められるといえ、今後さらに継続して調査を行うことで、事業の中長期的な成果や課題を明らかにすることができると考えられる。中でも沖縄子ども調査と居場所調査との比較により、沖縄県の子ども全体から見た居場所の特性を明らかにすることができた。居場所の特性として、母子世帯や困窮世帯が多かったことから、居場所が貧困対策として機能していることが分かった。また、子どもの自己効力感については、選択肢が異なるため一概には比較できないものの、子ども調査に比べて居場所調査に回答した子どもほど高い傾向がみられた。このことから、居場所支援は子どもの自己効力感向上に効果があることが示唆された。

一方、政策的課題について、上記に述べたように効果が実証された居場所事業を、遅刻や食事など子どもの状況を改善させるためのアプローチとして、個人情報伝えるのではなく、すべての子どもたちと接している学校だからできる、広く居場所を紹介するなど居場所と学校の連携が課題である。その第一歩として、効果が見られたからこそ、就学援助率の高い地域において居場所の設置を進めるべきであろう。このことは昨年度の調査においても指摘しており、継続しての努力が必要である。すなわち、必要な家庭ほど保護者が居場所に子どもを連れていくことは困難であり、遠方であれば行くことができない。また学校によっては、安全上、校区外に一人で出てはいけないという指導がなされている場合もある。こうした背景から、居場所の利用を希望していても、校区内に居場所が設置されていなければ居場所を利用することができないという問題がある。特に、就学援助率の高い地域は支援の必要性が高いと考えられることから、支援策としての居場所の設置を早急に進めることが重要である。また「経済的な理由で経験したこと」、「経済的な理由で子どもにしてあげられなかった経験」の該当割合は支援員調査が圧倒的に高く、見事に支援員調査、居場所調査、子ども調査とその経済的な差が明らかになった。子どもの貧困の定義に示される「経済的資本の欠如」、「ヒューマンキャピタルの欠如」、「ソーシャルキャピタルの欠如」に合致する生活環境下にあることも明らかになった。施策が子どもにまで行き届くことが目的であり、その達成状況をエビデンスに基づいて確認していくためには、必要な経験や物を有しているのか、はく奪されていないのか、というはく奪状況の指標に資するこれらの項目も活用し、継続的に該当割合を確認していくことが重要である。政策的

な取り組みとして継続実施に期待したい。

また先述したが、居場所事業や支援員事業が子どもに変化をもたらすことを明らかにしたからこそ、厳しい環境にある子どもたちにきちんと届ける必要性がさらに高くなったと言えよう。そして、変化をもたらすことができなかつた将来の希望や食事習慣のような課題は、踏み込んだ支援策が必要である。つまり支援員事業や居場所事業を受けている家庭の厳しさが明らかになった調査結果であり、家庭で担えない部分を代替的に社会や地域で担うことを考慮し、たとえば将来の希望が持てるような取り組みを地域と協働して居場所や学校にセットする、また海外で実施されている学校という場における子ども食堂（朝食サービス）などの取り組みが必要であることが証明されたとも言えよう。

一定効果が確かで明らかなものとして提示できた今、事業評価における残された課題として、①居場所による子ども自身の変化、親や生活の変化は見られたが、親が抱える経済的な課題や学歴課題などを乗り越えることができる要因は何か検討を行うことや、②持続可能な事業として定着していくための仕掛けとしての事業展開とその評価、③子どもの生活の改善にどのような施策や取り組みがどう影響するのかに関する評価、が考えられる。

①についてはすでに考察内でも触れてきた（p247~p251）。②について、持続可能な仕組みづくりに向けて、官民合同の組織を構成することが望ましい。さらに、同会議体を関係機関の代表者から成る代表者会議、実務担当者から成る実務者会議といった形で構成することにより、さらに効果的な支援策の検討や情報共有を図ることができる。また、地域や様々なアクター（企業や行政、地域など）の参画により、支援ネットワークの広がりや支援者同士の資質向上も期待でき、当事者や支援者も含む主体的な育成グループが醸成されることが地域を活性化させ、貧困やひいては児童虐待などの予防につながる。行政はこのような持続可能な仕組みづくりを促すための施策を主体的に実施する必要がある。③については、居場所や支援員のみならず、貧困に影響を与える要因が明らかになったため、子どもの生活の改善にどのような施策や取り組みがどう影響するのかについても今後確認していくことが必要ではないか。

図 1	お子さんからみた続柄（注：図 260 に再掲）	4
図 2	回答者の性別	4
図 3	回答者の年齢	5
図 4	回答者の家族の人数	5
図 5	居場所に通っている子どもの人数	6
図 6	市町村の支援員からの支援について	6
図 7	前年（2017年）の世帯収入の合計額（注：図 264 に再掲）	7
図 8	経済的な理由で経験したこと（注：図 276 に再掲）	8
図 9	経済的な理由で子どもにしてあげられなかった経験（注：図 279 に再掲）	9
図 10	主に生計を支えている方の就労状況（注：図 269 に再掲）	10
図 11	働いていない理由（注：図 272 に再掲）	11
図 12	不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある	12
図 13	子どもを育てるために我慢している	13
図 14	自分一人で育てているという圧迫感を感じる	13
図 15	子どもの世話にはあまり関心がない	14
図 16	子どもに受けさせたい教育段階	15
図 17	お子さんが居場所を利用するようになって良かったと思うか	16
図 18	学校区分	17
図 19	学年別（注：図 258 に再掲）	17
図 20	性別	18
図 21	世帯構成（注：全体のみ図 262 に再掲）	19
図 22	普段放課後に過ごしている場所（注：図 288 に再掲）	20
図 23	持っているものや使うことができるもの	22
図 24	居場所を利用し始めた時期	24
図 25	居場所に来る頻度	25
図 26	居場所に来てからの新しい友だちについて	26
図 27	友だちになった子について	27
図 28	居場所に来る理由	28
図 29	居場所に来た感想	29
図 30	ほぼ同時刻での起床について	30
図 31	ふだんの就寝時間	31
図 32	ふだんの睡眠時間	32
図 33	朝食の頻度	33
図 34	ふだん一緒に朝食を食べている相手（居場所に来る前）	34
図 35	ふだん一緒に朝食を食べている相手（現在）	35
図 36	夕食の頻度	37

図 37	ふだん一緒に夕食を食べている相手（居場所に来る前）	38
図 38	ふだん一緒に夕食を食べている相手（現在）	39
図 39	健康状態	41
図 40	学校への登校頻度	42
図 41	遅刻の頻度	43
図 42	学校がある日の授業時間以外での学習時間（注：図 292 に再掲）	44
図 43	学校の勉強についての気持ち（注：図 290 に再掲）	45
図 44	学校の授業時間以外の 1 日あたりの読書時間	46
図 45	将来の進学希望（注：図 294 に再掲）	47
図 46	放課後に過ごす相手（居場所に来る前）	48
図 47	放課後に過ごす相手（現在）（注：図 286 に再掲）	49
図 48	いままでの人生で、心から感動したことがある	51
図 49	夢中になったり面白いと思った、やる気が出たという記憶に残っている授業がある	52
図 50	小さい子やお年寄りがこまっているとき手助けをする	53
図 51	お祭りやボランティア活動など地域の行事に参加する	54
図 52	何かに失敗したときにたすけてくれる人	55
図 53	勉強やスポーツをがんばったときにほめてくれる人	56
図 54	一人ではできないことがあったときには気持ちよく手伝ってくれる人	57
図 55	悩んでいるときにどうしたらよいか教えてくれる人	58
図 56	自分に自信がある（注：図 296 に再掲）	59
図 57	自分の考えをはっきり相手に伝えることができる（注：図 298 に再掲）	60
図 58	大人を信用できる（注：図 300 に再掲）	61
図 59	自分の将来の夢や目標を持っている	62
図 60	将来のためにも今頑張りたいと思う	63
図 61	将来働きたいと思う	64
図 62	自己効力感	65
図 63	居場所利用頻度別に見た、子どもの学年	66
図 64	居場所利用頻度別に見た、世帯構成	67
図 65	居場所利用頻度別に見た、居場所に来た感想	68
図 66	居場所利用頻度別に見た、朝食の頻度	69
図 67	世帯構成別に見た、朝食の頻度	70
図 68	居場所利用頻度別に見た、夕食の頻度	71
図 69	世帯構成別に見た、夕食の頻度	72
図 70	居場所利用頻度別に見た、学校への登校頻度	73
図 71	世帯構成別に見た、学校への登校頻度	74

図 72	居場所利用頻度別に見た、遅刻の頻度.....	75
図 73	世帯構成別に見た、遅刻の頻度	76
図 74	居場所利用頻度別に見た、学校がある日の授業時間以外での学習時間	77
図 75	世帯構成別に見た、学校がある日の授業時間以外での学習時間	78
図 76	居場所利用頻度別に見た、学校の勉強についての気持ち	79
図 77	世帯構成別に見た、学校の勉強についての気持ち	80
図 78	居場所利用頻度別に見た、将来の進学希望	81
図 79	世帯構成別に見た、将来の進学希望	82
図 80	居場所利用頻度別に見た、何かに失敗したときにたすけてくれる人	83
図 81	居場所利用頻度別に見た、勉強やスポーツをがんばったときにほめてくれる人	84
図 82	居場所利用頻度別に見た、一人ではできないことがあったときには気持ちよく手伝ってくれる人	85
図 83	居場所利用頻度別に見た、悩んでいるときにどうしたらよいか教えてくれる人	86
図 84	居場所利用頻度別に見た、自分に自信がある.....	87
図 85	居場所利用頻度別に見た、自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	88
図 86	居場所利用頻度別に見た、大人を信用できる.....	89
図 87	居場所利用頻度別に見た、自分の将来の夢や目標を持っている	90
図 88	居場所利用頻度別に見た、将来のためにも今頑張りたいと思う	91
図 89	居場所利用頻度別に見た、将来働きたいと思う	92
図 90	居場所利用頻度別に見た、自己効力感.....	93
図 91	等価可処分所得	94
図 92	困窮度（注：図 274 に再掲）	95
図 93	困窮度別に見た、子どもの学年	95
図 94	困窮度別に見た、世帯構成.....	96
図 95	困窮度別に見た、居場所に来た感想	97
図 96	困窮度別に見た、朝食の頻度	98
図 97	困窮度別に見た、夕食の頻度	99
図 98	困窮度別に見た、学校への登校頻度	100
図 99	困窮度別に見た、遅刻の頻度	101
図 100	困窮度別に見た、学校がある日の授業時間以外での学習時間.....	102
図 101	困窮度別に見た、学校の勉強についての気持ち.....	103
図 102	困窮度別に見た、将来の進学希望.....	104
図 103	困窮度別に見た、何かに失敗したときにたすけてくれる人	105

図 104 困窮度別に見た、勉強やスポーツをがんばったときにほめてくれる人	106
図 105 困窮度別に見た、一人ではできないことがあったときには気持ちよく手伝ってくれる人.....	107
図 106 困窮度別に見た、悩んでいるときにどうしたらよいか教えてくれる人	108
図 107 困窮度別に見た、自分に自信がある	109
図 108 困窮度別に見た、自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	110
図 109 困窮度別に見た、大人を信用できる	111
図 110 困窮度別に見た、自分の将来の夢や目標を持っている	112
図 111 困窮度別に見た、将来のためにも今頑張りたいと思う	113
図 112 困窮度別に見た、将来働きたいと思う.....	114
図 113 困窮度別に見た、自己効力感.....	115
図 114 お子さんからみた続柄.....	116
図 115 回答者の性別.....	116
図 116 回答者の年齢.....	117
図 117 世帯人数.....	118
図 118 子どもの人数.....	119
図 119 お子さんからみた同居家族の構成.....	120
図 120 前年（2017年）の世帯収入の合計額.....	121
図 121 生計を支えている者の現在の就業状況	122
図 122 仕事を探していない理由	123
図 123 経済的な理由で経験したこと（注：図 277 に再掲）	124
図 124 経済的な理由で子どもにしてあげられなかった経験（注：図 280 に再掲）	125
図 125 児童手当.....	126
図 126 就学援助費（注：図 282 に再掲）	126
図 127 児童扶養手当	127
図 128 障がいや難病の手当	127
図 129 生活保護（注：図 284 に再掲）	128
図 130 公的年金（老齢年金）	128
図 131 公的年金（遺族年金、障害年金）	129
図 132 雇用保険（失業保険）	129
図 133 養育費	130
図 134 親・親族からの仕送り.....	130
図 135 退職金	131
図 136 その他、株式配当などの副収入	131
図 137 支援員と会いはじめた時期.....	132

☒ 138	支援員と会った回数	132
☒ 139	支援員と会うようになって良かったと思うか	133
☒ 140	支援員からのサポートで役に立った分野.....	133
☒ 141	生活に関して受けた支援.....	134
☒ 142	福祉に関して受けた支援.....	134
☒ 143	教育に関して受けた支援.....	135
☒ 144	就労に関して受けた支援.....	135
☒ 145	金銭に関して受けた支援.....	136
☒ 146	住まいに関して受けた支援.....	136
☒ 147	同じ時刻に起きる	137
☒ 148	朝食を食べる	137
☒ 149	健康状態.....	138
☒ 150	授業時間以外にも勉強する.....	138
☒ 151	授業が楽しい、勉強が面白いと思う、やる気が出る	139
☒ 152	お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する	139
☒ 153	勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる人がいる.....	140
☒ 154	自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	140
☒ 155	自分の将来の夢や目標を持っている	140
☒ 156	放課後どこで過ごしますか.....	141
☒ 157	食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況	142
☒ 158	同じ時刻に起きる	142
☒ 159	朝食を食べる	143
☒ 160	健康状態.....	143
☒ 161	授業時間以外にも勉強する.....	143
☒ 162	授業が楽しい、勉強が面白いと思う、やる気が出る	144
☒ 163	お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する	144
☒ 164	勉強やスポーツをがんばったときに、ほめてくれる人がいる.....	144
☒ 165	自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	145
☒ 166	自分の将来の夢や目標を持っている	145
☒ 167	放課後どこで過ごしますか.....	146
☒ 168	今後支援員から受きたい分野のサポート.....	147
☒ 169	お子さんと会話をしますか.....	148
☒ 170	お子さんと十分時間を過ごしていますか.....	148
☒ 171	お子さんと読んだ本の感想を話し合ったりしますか	149
☒ 172	お子さんと一緒に図書館に行きますか	149
☒ 173	お子さんの将来の夢について話し合っていますか	150

☒ 174 お子さんを信頼していますか.....	150
☒ 175 不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある.....	151
☒ 176 子どもを育てるために我慢している.....	151
☒ 177 自分一人で育てているという圧迫感を感じる.....	152
☒ 178 子どもの世話にはあまり関心がない.....	152
☒ 179 子どもに受けさせたい教育段階.....	153
☒ 180 健康状態.....	154
☒ 181 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人.....	155
☒ 182 あなたの気持ちを察して思いやってくれる人.....	155
☒ 183 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人.....	156
☒ 184 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人.....	156
☒ 185 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人.....	157
☒ 186 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人.....	157
☒ 187 留守を頼める人.....	158
☒ 188 地域の行事に参加していますか.....	158
☒ 189 お子さんが通う学校の行事に参加していますか.....	159
☒ 190 子どもを朝、学校に送り出していますか.....	159
☒ 191 支援員に会った回数別に見た、お子さんからみた続柄.....	160
☒ 192 支援員に会った回数別に見た、回答者の年代.....	161
☒ 193 支援員に会った回数別に見た、お子さんからみた同居家族の構成.....	162
☒ 194 支援員に会った回数別に見た、前年（2017年）の世帯収入の合計額...	163
☒ 195 支援員に会った回数別に見た、回答者の子どもへの経済的な理由による経験 の該当数.....	164
☒ 196 支援員に会った回数別に見た、役立ったサポートの個数.....	165
☒ 197 支援員に会った回数別に見た、食事の提供や学習の支援などのサービスの利用 状況.....	166
☒ 198 支援員に会った回数別に見た、支援員と会うようになって良かったと思うか	167
☒ 199 支援員に会った回数別に見た、お子さんと会話をしますか.....	168
☒ 200 支援員に会った回数別に見た、お子さんと十分時間を過ごしていますか...	169
☒ 201 支援員に会った回数別に見た、お子さんと読んだ本の感想を話し合ったりしま すか.....	170
☒ 202 支援員に会った回数別に見た、お子さんと一緒に図書館に行きますか.....	171
☒ 203 支援員に会った回数別に見た、お子さんの将来の夢について話し合っています か.....	172
☒ 204 支援員に会った回数別に見た、お子さんを信頼していますか.....	173

図 205 支援員に会った回数別に見た、不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある.....	174
図 206 支援員に会った回数別に見た、子どもを育てるために我慢している.....	175
図 207 支援員に会った回数別に見た、自分一人で育てているという圧迫感を感じる.....	176
図 208 支援員に会った回数別に見た、子どもの世話にはあまり関心がない.....	177
図 209 支援員に会った回数別に見た、心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人.....	178
図 210 支援員に会った回数別に見た、あなたの気持ちを察して思いやってくれる人.....	179
図 211 支援員に会った回数別に見た、趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人.....	180
図 212 支援員に会った回数別に見た、子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人.....	181
図 213 支援員に会った回数別に見た、子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人.....	182
図 214 支援員に会った回数別に見た、子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人.....	183
図 215 支援員に会った回数別に見た、留守を頼める人.....	184
図 216 支援員に会った回数別に見た、同じ時刻に起きる.....	185
図 217 支援員に会った回数別に見た、朝食を食べる.....	186
図 218 支援員に会った回数別に見た、健康状態.....	187
図 219 支援員に会った回数別に見た、授業時間以外にも勉強する.....	188
図 220 支援員に会った回数別に見た、授業が楽しい、勉強が面白いと思う、やる気が出る.....	189
図 221 支援員に会った回数別に見た、お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する.....	190
図 222 支援員に会った回数別に見た、勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる人がいる.....	191
図 223 支援員に会った回数別に見た、自分の考えをはっきり相手に伝えることができる.....	192
図 224 支援員に会った回数別に見た、自分の将来の夢や目標を持っている.....	193
図 225 支援員に会った回数別に見た、放課後どこで過ごしますか（会う前）.....	194
図 226 支援員に会った回数別に見た、放課後どこで過ごしますか（現在）.....	195
図 227 支援員に会った回数別に見た、同じ時刻に起きる.....	197
図 228 支援員に会った回数別に見た、朝食を食べる.....	198

図 229 支援員に会った回数別に見た、健康状態.....	199
図 230 支援員に会った回数別に見た、授業時間以外にも勉強する	200
図 231 支援員に会った回数別に見た、授業が楽しい、勉強が面白いと思う、やる気が出る	201
図 232 支援員に会った回数別に見た、お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する	202
図 233 支援員に会った回数別に見た、勉強やスポーツをがんばったときに、ほめてくれる人がいる.....	203
図 234 支援員に会った回数別に見た、自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	204
図 235 支援員に会った回数別に見た、自分の将来の夢や目標を持っている	205
図 236 支援員に会った回数別に見た、放課後どこで過ごしますか（会う前）	206
図 237 支援員に会った回数別に見た、放課後どこで過ごしますか（現在）	207
図 238 2017 年度と 2018 年度の回答者の性別	208
図 239 2017 年度と 2018 年度の居場所に来る回数.....	208
図 240 2017 年度と 2018 年度の居場所に来てから友だちができたか.....	209
図 241 2017 年度と 2018 年度のどういう友だちができたか.....	209
図 242 2017 年度と 2018 年度の希望する進学先.....	210
図 243 2017 年度と 2018 年度の居場所に来た感想.....	210
図 244 2017 年度と 2018 年度の回答者の性別	211
図 245 2017 年度と 2018 年度の回答者の年代	211
図 246 2017 年度と 2018 年度の支援員と会った回数	212
図 247 2017 年度と 2018 年度の支援員と会ってよかったか.....	212
図 248 2017 年度と 2018 年度の子どもに受けさせたい教育段階.....	213
図 249 2017 年度と 2018 年度のどのサポートが役に立ったか.....	214
図 250 2017 年度と 2018 年度の生活支援.....	215
図 251 2017 年度と 2018 年度の福祉支援.....	215
図 252 2017 年度と 2018 年度の教育支援.....	216
図 253 2017 年度と 2018 年度の就労支援.....	216
図 254 2017 年度と 2018 年度の金銭に関する支援.....	217
図 255 2017 年度と 2018 年度の住まいに関する支援	217
図 256 2017 年度と 2018 年度のどの分野のサポートを受けたいか.....	218
図 257 子ども調査：回答した子どもの学年.....	220
図 258 居場所調査（子ども票）：子どもの学年（注：図 19 再掲）	220
図 259 子ども調査：保護者の続柄.....	221
図 260 居場所調査（保護者票）：お子さんからみた続柄（注：図 1 再掲）	221

図 261	子ども調査：世帯構成	222
図 262	居場所調査（子ども票）：世帯構成（注：図 21 再掲）	222
図 263	子ども調査：世帯収入	223
図 264	居場所調査（保護者票）：世帯収入（注：図 7 再掲）	224
図 265	子ども調査 父親：就業状況（小学 5 年生）	225
図 266	子ども調査 父親：就業状況（中学 2 年生）	225
図 267	子ども調査 母親：就業状況（小学 5 年生）	226
図 268	子ども調査 母親：就業状況（中学 2 年生）	226
図 269	居場所調査 主に世帯を支えている方の就労状況（注：図 10 再掲）	226
図 270	子ども調査 母親：働いていない理由(小学 5 年生)	227
図 271	子ども調査 母親：働いていない理由(中学 2 年生)	227
図 272	居場所調査 働いていない理由（図 11 再掲）	227
図 273	子ども調査：困窮度	228
図 274	居場所調査（保護者票）：困窮度（注：図 92 再掲）	228
図 275	子ども調査 経済的な理由で経験したこと	229
図 276	居場所調査 経済的な理由で経験したこと（注：図 8 再掲）	230
図 277	支援員調査 経済的な理由で経験したこと（注：図 123 再掲）	231
図 278	子ども調査 経済的な理由で子どもにしてあげられなかった経験	232
図 279	居場所調査 経済的な理由で子どもにしてあげられなかった経験（注：図 9 再掲）	233
図 280	支援員調査 経済的な理由で子どもにしてあげられなかった経験（注：図 124 再掲）	234
図 281	子ども調査 就学援助制度の利用状況	235
図 282	支援員調査 就学援助費（注：図 126 再掲）	235
図 283	子ども調査 生活保護受給状況	236
図 284	支援員調査 生活保護（注：図 129 再掲）	236
図 285	子ども調査：放課後に過ごす相手	237
図 286	居場所調査（子ども票）：放課後に過ごす相手（現在）（注：図 47 再掲）	238
図 287	子ども調査：普段放課後に過ごしている場所	239
図 288	居場所調査（子ども票）：普段放課後に過ごしている場所（注：図 22 再掲）	240
図 289	子ども調査：学校の勉強に対する気持ち	241
図 290	居場所調査（子ども票）：学校の勉強に対する気持ち（現在）（注：図 43 再掲）	241
図 291	子ども調査：学校の授業以外での 1 日の勉強時間	242
図 292	居場所調査（子ども票）：学校の授業以外での 1 日の勉強時間（現在）（注：図	

42 再掲)	242
図 293 子ども調査：理想的な学歴.....	243
図 294 居場所調査（子ども票）：将来の進学希望（現在）（注：図 45 再掲）	243
図 295 子ども調査：自分に自信がある	244
図 296 居場所調査（子ども票）：自分に自信がある（現在）（注：図 56 再掲）	244
図 297 子ども調査：自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	245
図 298 居場所調査（子ども票）：自分の考えをはっきり相手に伝えることができる （現在）（注：図 57 再掲）	245
図 299 子ども調査：大人は信用できる	246
図 300 居場所調査（子ども票）：大人は信用できる（現在）（注：図 58 再掲） ..	246

IV 資料

1. アンケート調査票

アンケート調査票（居場所・保護者用）

<保護者の皆様へ 調査へのご協力のお願い>

この調査は、沖縄県の子育て支援対策における子どもの居場所づくりの効果について把握することを目的としています。保護者の方に家庭状況などをお聞きし、今後の支援策に役立てるために実施します。皆様からのご回答を今後の改善につなげていきたいと考えていますので、お忙しい中お手数ですが、調査へのご協力をお願いします。

----- プライバシーへの配慮 -----

- ・この調査票は、居場所をご利用の皆さまにお送りしています。
- ・お名前や住所を書く必要はありません。調査の集計は統計的に処理し、個人を特定することはありません。また目的以外に使うことはありません。安心してご記入ください。
- ・答えたくない質問には回答しなくて結構です。また、回答の途中でやめることもできます。
- ・この調査票の番号は、本ページの右下の枠内に記載されています。この番号は調査票を整理する際に使います。番号は順不同になっていて、個人を特定するものではありません。沖縄県や市町村の担当者にも個人が特定できないようになっています。

----- 調査票の返信方法 -----

- ・調査に回答後、「保護者用」と書かれた封筒に入れ、のりづけやセロハンテープで封をしてください。
- ・お子さんの回答の入った「子ども用封筒」と「保護者用封筒」を大きな封筒にまとめて入れてください。
- ・提出期限までに、お子さんを通じて居場所スタッフに提出してください。

提出期限：平成30年 11月9日（金）

この調査票の番号

----- 回答にあたってのお願い -----

- この調査で「お子さん」とは、居場所をご利用中のお子さんのことです。「お子さん」と書かれた質問には、居場所をご利用中のお子さんについてのみお答え下さい。
- 調査票に回答するときには、お子さんと保護者の回答が見えないよう別々の場所で記入してください。お子さんの回答内容は見ないようにお願いします。
- この調査に同意し、協力してくださる場合のみ、アンケートにご記入下さい。アンケートの記入をもって、この調査に同意していただいたものと判断させていただきます。

----- この調査の問合せ先 -----

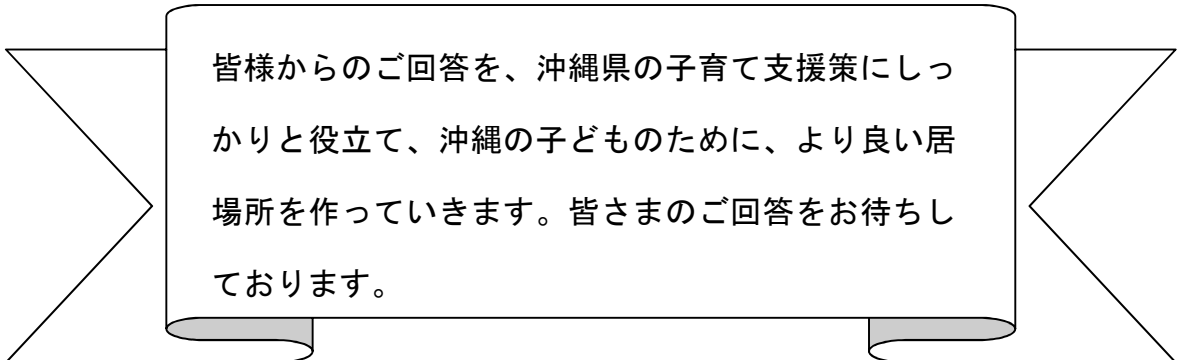
◆調査への回答にあたってわからないことがありましたら、お問い合わせください。

沖縄県子ども生活福祉部子ども未来政策課（代表）

電話番号：098-866-2100

FAX 番号：098-868-2402

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2 行政棟 3 階（南側）



皆様からのご回答を、沖縄県の子育て支援策にしつかりと役立て、沖縄の子どものために、より良い居場所を作っていきます。皆さまのご回答をお待ちしております。

「お子さん」と書かれた質問には、「居場所をご利用中のお子さん」についてのみお答えください。

あなたとお子さんについておたずねします。

問1 この調査票にお答えになっている方は、お子さんからみてどなたにあたりますか。

(1つに○)

1. お母さん	4. おじ、おばなど親戚
2. お父さん	5. 施設職員・ファミリーホーム・里親
3. おばあさん・おじいさん	6. その他の人

問2-1 あなたの性別と年齢を教えてください。

あなたについて：性別（ ） 年齢（ ） 歳

問2-2 お子さんの家族(※)の人数を教えてください。あなたとお子さんも含みます。

(枠内に**数字で記入**してください)

※「家族」とは、生計(家計)が同じである人をさします。単身赴任中や一人暮らしのお子さんも、生計(家計)が同じであれば「家族」に含まれます。

※2世帯住宅の場合、生計(家計)が別であれば、家族の人数として数えないでください。

人

問3 居場所に通っているお子さんの人数を教えてください。(枠内に**数字で記入**してください)

人

問4 あなたは市町村の支援員（※）から支援をうけたことがありますか。（○は1つ）

1. よく利用している	4. 利用していない
2. 利用している	5. そのようなサービスの利用できることを知らない
3. ほとんど利用していない	

※ 支援員とは、経済的に困っている世帯などの相談にのったり、必要な支援につなぐ役割をする人。
各市町村における支援員の名称は、以下の表を参考にしてください。

市町村名	支援員名称	市町村名	支援員名称
那覇市	子ども自立支援員、子ども寄添支援員	もろごちよう 本部町	子ども支援員
ぎのわんし 宜野湾市	子ども支援員	おんなそん 恩納村	すくーるそーしゃるわーかー スクールソーシャルワーカー
いしがきし 石垣市	子ども支援コーディネーター	ぎのざそん 宜野座村	子ども支援員
うらそえし 浦添市	てだこ未来応援員	きんちよう 金武町	支援員
なごし 名護市	こどもサポーター	よみたんそん 読谷村	こどもの貧困対策支援員
いとまんし 糸満市	子ども支援サポーター	かでなちよう 嘉手納町	子ども支援コーディネーター
おきなわし 沖縄市	すくーるそーしゃるわーかー、こどもの 居場所づくり支援員	ちやたんちよう 北谷町	ちいきりれーしょんぱーとナー 地域レジャーシニアパートナー
とみぐすくし 豊見城市	子ども支援員、就学支援員	きたなかぐすくそん 北中城村	子ども支援員
うるまし うるま市	子ども支援員、家庭支援員	なかぐすくそん 中城村	子ども支援員
みやこしまし 宮古島市	子ども自立支援員	にしはらちよう 西原町	子ども貧困支援員
なんじようし 南城市	すくーるそーしゃるわーかー スクールソーシャルワーカー	よなばるちよう 与那原町	こどもひんこんたいさくしえんいん 子供の貧困対策支援員
くにがみそん 国頭村	すくーるそーしゃるわーかー スクールソーシャルワーカー	はえばるちよう 南風原町	こどもげんきしえんいん、こどもげんきしえんほじょいん 子ども元気支援員、子ども元気支援補助員
おおぐみそん 大宜味村	ぶながやっ子支援員	いへやそん 伊平屋村	支援員
ひがしそん 東村	ひんこんたいさくしえんいん 貧困対策支援員	やえせちよう 八重瀬町	こどもすくーるそーしゃるわーかーこども 支援員
なきじんそん 今帰仁村	こどもおうえんしえんいん 子ども応援支援員		

経済状況についておたずねします。

問5 前年（2017年）について、お子さんと生計を共にしている方全員の収入を合わせた「世帯の収入（年間のボーナス含む手取り額）」を教えてください。1つに○をしてください。

世帯収入（合算値）※世帯全体の年間、ボーナス含む手取り額			
1) 0円	5) 150～200万円未満	9) 400～500万円未満	13) 800～900万円未満
2) 1～50万円未満	6) 200～250万円未満	10) 500～600万円未満	14) 900～1000万円未満
3) 50～100万円未満	7) 250～300万円未満	11) 600～700万円未満	15) 1000万円以上
4) 100～150万円未満	8) 300～400万円未満	12) 700～800万円未満	

※収入とは、勤労収入（パート・アルバイトを含む）、事業所得（自営業等）、農業所得、不動産所得、利子・配当金、公的年金、その他の社会保障給付金（生活保護、児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当）、個人年金、出稼ぎなどによる別居親族からの仕送りなど、すべてを含めた金額です。

※世帯が生活するための収入として、お父さんの勤労収入、おじいちゃんの年金、お母さんのパート収入など、複数の収入源がある世帯は、すべての方の収入の1年間おおよその合計額を教えてください。

※手取り額とは、所得税・住民税などの税額、健康保険料や年金保険料・介護保険料を支払った後の金額になります。

調査へのご協力まことにありがとうございます。

皆様からのご回答を、子どもの居場所づくりに役
立てます！

問6 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。

(おおむね半年の間でお考えください。)(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 食費を切りつめた。	13. バスやモノレールの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした。
2. 電気・ガス・水道などが止められた。	14. 電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞ったことがある。
3. 医療機関を受診できなかった。	15. 家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある。
4. 国民健康保険料の支払いが滞ったことがある。	16. 趣味やレジャーの出費を減らした。
5. 国民年金の支払いが滞ったことがある。	17. 冷暖房の使用を控えた。
6. 金融機関などに借金をしたことがある。	18. 友人・知人との外食を控えた。
7. クレジットカードの利用が停止になったことがある。	19. 敷金・保証金等を用意できないので、住み替え・転居を断念した。
8. 新しい衣服・靴を買うのを控えた。	20. 理髪店・美容院に行く回数を減らした。
9. 新聞や雑誌を買うのを控えた。	21. 子ども部屋が欲しかったがつくれなかった。
10. スマートフォンへの切替・利用を断念した。	22. 1～21の項目には、どれにもあてはまらない。
11. 冠婚葬祭のつきあいを控えた。	
12. 生活の見通しがたたなくて不安になったことがある。	

質問はあと半分あります。

子どもにとってより良い居場所をつくるために、
ご回答よろしく申し上げます。

問7 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。

(おおむね1年の間でお考えください。)(あてはまる番号すべてに○)

1. 子どもを医療機関に受診させることができなかった。	9. 子どもを学習塾に通わすことができなかった。
2. 子どもの進路を変更した。	10. 子どもの誕生日を祝えなかった。
3. 子どものための本や絵本が買えなかった。	11. 子どもにお年玉をあげることができなかった。
4. 子どもにおこづかいを渡すことができなかった。	12. 子どもの学校行事などに参加することができなかった。
5. 子どもに新しい服や靴を買うことができなかった。	13. 子ども会、地域の行事(祭りなど)の活動に参加することができなかった。
6. 子どもを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった。	14. 家族旅行(テーマパークなど日帰りのお出かけを含む)がなかった。
7. 子どもを習い事に通わすことができなかった。	15. 1～14の項目には、どれにもあてはまらない。
8. 子どもを学校のクラブ活動に参加させられなかった。	

主に生計を支えている方のお仕事の状況についておたずねします。

※現在、産前産後休暇・育児休暇を取得している方は、就労時の状況をお答えください。

問8-1 お子さんの世帯で主に生計を支えている方の現在のお仕事の状況を教えてください。あてはまる番号1つに○をしてください。

1. 働いていない		➡問8-2へ
2. 正規の職員・従業員	6. 自営	➡問9へ
3. 派遣社員・契約社員・嘱託	7. 内職	
4. パート・アルバイト	8. その他	
5. 会社・団体等の役員		

問8-2 問8-1で「1. 働いていない」と答えた方にお聞きします。

働いていない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 家事や育児に専念	4. 学生	7. その他	➡問9へ
2. おうちの人の介護や介助	5. 年金など		
3. 病气療養	6. 家賃収入など		

問9と問10は、<お子さんが居場所を利用する前>と<現在>のそれぞれについてお答えください。

お子さんとの関係の変化についておたずねします。

問9 子育てについてのお気持ちをお聞かせください。①～④について、もっとも近いものを選んでください。(それぞれ○は1つ)

<お子さんが居場所を利用する前>

	あてはまる	どちらかという とあてはまる	どちらかとい うとあてはま らない	あてはまらない
① 不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある。	1	2	3	4
② 子どもを育てるために我慢している。	1	2	3	4
③ 自分一人で育てているという圧迫感を感じる。	1	2	3	4
④ 子どもの世話にはあまり関心がない。	1	2	3	4

<現在>

	あてはまる	どちらかという とあてはまる	どちらかとい うとあてはま らない	あてはまらない
① 不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある。	1	2	3	4
② 子どもを育てるために我慢している。	1	2	3	4
③ 自分一人で育てているという圧迫感を感じる。	1	2	3	4
④ 子どもの世話にはあまり関心がない。	1	2	3	4

問 10 あなたのご家庭では、お子さんにどの段階までの教育を受けさせたいですか。お子さんが居場所を利用する以前と現在について、それぞれあなたが1番あてはまる番号に○をつけてください。

※お子さんが複数いらっしゃる場合、最も高い教育段階を選んでください。(例えばお子さん2人のうち1人は専門学校、もう1人は大学とお考えの場合、④「大学までの教育」を選んでください。)

<お子さんが居場所を利用する前>	受けさせたい	経済的に可能だが 必要だと思わない	経済的に受けさせ られない
① 中学校までの教育	1	2	3
② 高校までの教育	1	2	3
③ 専門学校までの教育	1	2	3
④ 大学までの教育	1	2	3

<現在>	受けさせたい	経済的に可能だが 必要だと思わない	経済的に受けさせ られない
① 中学校までの教育	1	2	3
② 高校までの教育	1	2	3
③ 専門学校までの教育	1	2	3
④ 大学までの教育	1	2	3

ご回答ありがとうございます。質問はあと少しです。

皆様からのご回答を、今後の居場所づくりに活用させていただきます！

問 11 お子さんが「居場所」を利用するようになって良かったと思いますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない |

問 12 お子さんが居場所を利用するようになって、あなたが良かったと思うことを自由に記入してください。



問 13 お子さんが利用している「居場所」について今後要望したいこと、その他何でも思うことを自由に記入してください。



※問 12 および問 13 に記入された内容は、個人を特定することのないよう十分に注意して集計し、統計データとして公表をします。皆さまの意見を活用する際に、もし個人が特定できるような書き込みあった場合は、その部分の公表はしませんので、安心して記入してください。

◆ 質問はこれで終わりです。調査にご協力いただきありがとうございました。

アンケート調査票（居場所：子ども用）

この調査は、居場所の利用者のみなさんのふだんの生活の様子、将来についての考えや希望などをお聞きし、今後の居場所の改善に役立てることを目的としています。調査へのご協力をお願いします。

----- 回答にあたってのお願い -----

- ◆この調査は、居場所の利用者のあなたが、自分で書いてください。
- ◆名前を書く必要はありません。結果については公表しますが、調査の集計は統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。
また、本調査の目的以外に使うことはありません。安心して記入して下さい。
- ◆テストではありませんので、思ったとおりに答えてください。
答えたくない質問は答える必要はありません。また、回答の途中でやめることもできます。答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考えにできるだけ近いものを選ぶようにしてください。
- ◆この調査に同意し、協力してくださる場合のみ、アンケートにご記入下さい。アンケートの記入をもって、この調査に同意していただいたものと判断させていただきます。
- ◆書き終えたら「子ども用」の封筒に入れ、のりづけやセロハンテープで閉じて、お家の人の分とまとめて居場所のスタッフに渡してください。

----- この調査の問合せ先 -----

◆調査への回答にあたってわからないことがありましたら、お問い合わせください。

おきなわけん こ せいかつ ふくしぶ こ みらい せいさくか だいひょう
沖縄県 子ども生活福祉部 子ども未来政策課（代表）

でんわばんごう ふあつくすばんごう
電話番号：098-866-2100 F A X 番号：098-868-2402

おきなわけん な は し ずみさき ぎょうせいとう3かい みなみがわ
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 行政棟3階（南側）

ていしゅつぎげん ねん がつ にち
提出期限：平成30年11月9日（金）

この調査票の番号

みぎ ばんごう ちょうさひょう せいり さい つか ばんごう じゅんぶどう
右の番号は調査票を整理する際に使います。番号は順不同になって
いて、個人を特定するものではありません。沖縄県や市町村の担当者
にも個人が特定できないようになっています。

しつもん かいとうほうほう
質問の回答方法について

◆それぞれの質問について次のように答えてください。

(例) あなたの好きな色は何色ですか。

1. <small>あかいいろ</small> 赤色	3. <small>みどりいろ</small> 緑色
2. <small>きいろ</small> 黄色	4. <small>た いろ</small> その他の色

※答えは、あてはまる番号に○をつけてください。

※○のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまる番号1つに○をつけてください」や「あてはまる番号すべてに○をつけてください」などと書いてありますので、それにしがたってください。

あなたについておたずねします。

問1 あなたの性別について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. <small>おとこ</small> 男	2. <small>おんな</small> 女	3. <small>わからない</small> わからない
----------------------------	----------------------------	----------------------------------

問2-1 あなたは小学生ですか、中学生ですか、高校生ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. <small>しょうがくせい</small> 小学生	2. <small>ちゅうがくせい</small> 中学生	3. <small>こうこうせい</small> 高校生
----------------------------------	----------------------------------	---------------------------------

問2-2 あなたは何年生ですか。カッコの中に数字をいれてください。

() 年生

問3 いっしょに暮らしている家族について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. <small>りょうしん</small> 両親ともにいる	4. <small>りょうしん</small> 両親がいなくて、おじいちゃん・おば
2. <small>かあ</small> お母さんがいてお父さんがいない	<small>りょうほうまた いっぽう</small> あちゃん(両方又は一方)がいる
3. <small>とう</small> お父さんがいてお母さんがいない	5. <small>た</small> その他()

問4-1 この居場所にいつから来ていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

<p>1. 2年以上前<small>ねんいじょうまえ</small>から</p> <p>2. 1～2年<small>ねん</small>くらい前から</p>	<p>3. 半年<small>はんとし</small>～1年<small>ねんい</small>以内</p> <p>4. 半年<small>はんとし</small>以内</p> <p>5. いつからかわからない</p>
--	---

問 4-2 この居場所いばしょにどのくらいき来ますか。(あてはまる番号ばんごう1つに○をつけてください)

<p>1. 1週<small>しゅうかん</small>間におおむね3回<small>かい</small>以上</p> <p>2. 1週<small>しゅうかん</small>間におおむね1～2回<small>かい</small></p>	<p>3. 1カ月<small>かげつ</small>に1～2回<small>かいていど</small>程度</p> <p>4. 1カ月<small>かげつ</small>に1～2回<small>かい</small>よりも少<small>すく</small>ない</p>
---	---

問 5-1 この居場所いばしょに来てから、新しい友だちあたらしともができましたか。

(あてはまる番号ばんごう1つに○をつけてください)

1. できた	2. できない
--------	---------

問 5-2 「1. できた」と答えた人こたへひとに聞ききます。どういともう友だちですか。

(あてはまる番号ばんごうすべてに○をつけてください)

1. 居場所 <small>いばしょ</small> に来る子 <small>こ</small>	2. 学校 <small>がっこう</small> の子 <small>こ</small>	3. その他 <small>た</small> ()
--	---	-----------------------------

問 6 この居場所いばしょへ来る理由りゆうについて、あてはまる番号ばんごうすべてに○をつけてください。

<p>1. 勉強<small>べんきょう</small>するため</p> <p>2. ここ<small>あんしん</small>にいると安心<small>あんしん</small>できるため</p> <p>3. ごはん<small>た</small>を食べるため</p> <p>4. スタッフ<small>すたっふ</small>と話<small>はなし</small>をするため</p>	<p>5. 友だち<small>とも</small>と遊<small>あそ</small>ぶため</p> <p>6. 家<small>いえ</small>にいつらいたため</p> <p>7. 家<small>いえ</small>にだれもいないため</p> <p>8. その他<small>た</small> ()</p>
---	---

問7 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、どこで過ごしますか。
 （あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 自分の家	9. コンビニエンスストア
2. おばあちゃん・おじいちゃんの家	10. ゲームセンター
3. ともだちの家	11. 図書館や公民館など公共の施設
4. 塾	12. 地域の居場所（学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まる場所）
5. 習いごと	13. 学童保育（※）
6. 学校（クラブ活動など）	14. その他
7. 公園・広場	
8. スーパーやショッピングモール	

※「学童保育」とは、「放課後子どもクラブ」、「放課後児童室」、「放課後児童クラブ」などです。

問8 あなたが、持っているものや、あなたが使うことができるものを選んでください。
 （あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 本 (学校の教科書やマンガはのぞく)	10. スマートフォン・タブレット機器（通話等アプリ（ライン）ツイッター、フェイスブックなどできるもの）
2. マンガ・雑誌	11. 化粧品・アクセサリ
3. 子ども部屋（ひとり部屋やきょうだいといっしょに使っている部屋など）	12. 習いごとなどの道具（ピアノなど）
4. インターネットにつながるパソコン	13. 自分で選んだ服
5. 運動用具（ボール・ラケットなど）	14. キャラクターグッズ
6. ゲーム機	15. その他
7. 自転車	16. あてはまるものはない
8. テレビ	
9. けいたい電話	

問9から問25までは、^{いばしょ}＜居場所に来る前＞と^{げんざい}＜現在＞のそれぞれについて、
^{ばんごう}あてはまる番号1つに○をつけてください。

(例) あなたの^す好きな色は何色ですか。

＜居場所に来る前＞	＜現在＞
^{あかいろ} 1. 赤色 ^{きいろ} 2. 黄色 ^{みどりいろ} 3. 緑色 ^{た いろ} 4. その他の色	^{あかいろ} 1. 赤色 ^{きいろ} 2. 黄色 ^{みどりいろ} 3. 緑色 ^{た いろ} 4. その他の色

あなたのふだんの学校や家での生活の変化についておたずねします。

問9 あなたは、^{しゅう}週にどのくらい^{がっこう}学校に登校しますか。
 (あてはまる^{ばんごうひと}番号1つに○をつけてください)

＜居場所に来る前＞	＜現在＞
^{まいにち} 1. 毎日 ^{しゅう かい} 2. 週に3～4回 ^{しゅう かい} 3. 週に1回程度 ^い 4. ほとんど行かない ^{まった い} 5. 全く行かない	^{まいにち} 1. 毎日 ^{しゅう かい} 2. 週に3～4回 ^{しゅう かい} 3. 週に1回程度 ^い 4. ほとんど行かない ^{まった い} 5. 全く行かない

問10 あなたは、^{がっこう}学校に遅刻することがありますか。
 (あてはまる^{ばんごうひと}番号1つに○をつけてください)

＜居場所に来る前＞	＜現在＞
^{まいにち} 1. 毎日またはほとんど毎日 ^{しゅう かい} 2. 週に4～5回 ^{しゅう かい} 3. 週に2～3回 ^{しゅう かい} 4. 週に1回程度 ^{ちこく} 5. 遅刻はしない	^{まいにち} 1. 毎日またはほとんど毎日 ^{しゅう かい} 2. 週に4～5回 ^{しゅう かい} 3. 週に2～3回 ^{しゅう かい} 4. 週に1回程度 ^{ちこく} 5. 遅刻はしない

とい 問11 あなたは、ふだん(月～金曜日)学校の授業時間以外に1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(塾などの時間も含まれます。)

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

<small>いばしょく まえ</small> <居場所に来る前>	<small>げんざい</small> <現在>
1. まったくしない	1. まったくしない
2. 30分より少ない	2. 30分より少ない
3. 30分以上、1時間より少ない	3. 30分以上、1時間より少ない
4. 1時間以上、2時間より少ない	4. 1時間以上、2時間より少ない
5. 2時間以上、3時間より少ない	5. 2時間以上、3時間より少ない
6. 3時間以上	6. 3時間以上
7. わからない	7. わからない

とい 問12 学校の勉強について、一番あなたの気持ちに近いものはどれですか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

<small>いばしょく まえ</small> <居場所に来る前>	<small>げんざい</small> <現在>
1. よくわかる	1. よくわかる
2. だいたいわかる	2. だいたいわかる
3. あまりわからない	3. あまりわからない
4. ほとんどわからない	4. ほとんどわからない
5. どれにもあてはまらない	5. どれにもあてはまらない

とい 問13 あなたは、学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか。(教科書や参考書、マンガや雑誌をのぞきます。)(あてはまる番号1つに○をつけてください)

<small>いばしょく まえ</small> <居場所に来る前>	<small>げんざい</small> <現在>
1. まったくしない	1. まったくしない
2. 30分より少ない	2. 30分より少ない
3. 30分以上、1時間より少ない	3. 30分以上、1時間より少ない
4. 1時間以上、2時間より少ない	4. 1時間以上、2時間より少ない
5. 2時間以上、3時間より少ない	5. 2時間以上、3時間より少ない
6. 3時間以上	6. 3時間以上
7. わからない	7. わからない

問14 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時刻に起きていますか。
 （あてはまる番号1つに○をつけてください）

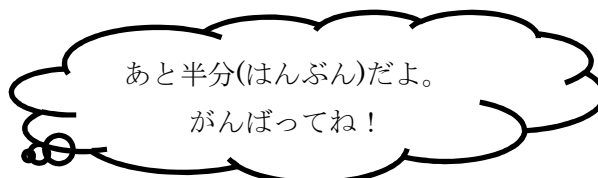
<p>＜居場所に来る前＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 起きています 2. どちらかといえば、起きています 3. あまり、起きていない 4. 起きていない 	<p>＜現在＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 起きています 2. どちらかといえば、起きています 3. あまり、起きていない 4. 起きていない
---	--

問15 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、何時に寝ていますか。（就寝時間）
 （あてはまる番号1つに○をつけてください）

<p>＜居場所に来る前＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 午後9時より前 2. 午後9時台 3. 午後10時台 4. 午後11時台 5. 午前0時台 6. 午前1時より後 7. きまっていない 	<p>＜現在＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 午後9時より前 2. 午後9時台 3. 午後10時台 4. 午後11時台 5. 午前0時台 6. 午前1時より後 7. きまっていない
--	---

問16 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、何時間くらい寝ていますか。
 （睡眠時間）（あてはまる番号1つに○をつけてください）

<p>＜居場所に来る前＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 5時間59分より短い 2. 6時間～6時間59分 3. 7時間～7時間59分 4. 8時間～8時間59分 5. 9時間～9時間59分 6. 10時間より長い 7. きまっていない 	<p>＜現在＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 5時間59分より短い 2. 6時間～6時間59分 3. 7時間～7時間59分 4. 8時間～8時間59分 5. 9時間～9時間59分 6. 10時間より長い 7. きまっていない
--	---



問17 あなたは、週にどのくらい、朝食を食べていますか。
 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

<small>いばしょくくまえ</small> <居場所に来る前>	<small>げんざい</small> <現在>
1. 毎日またはほとんど毎日	1. 毎日またはほとんど毎日
2. 週に4～5回	2. 週に4～5回
3. 週に2～3回	3. 週に2～3回
4. 週に1回程度	4. 週に1回程度
5. 食べない	5. 食べない

問18 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、だれと朝食を食べていますか。
 (1～10までのあてはまる番号すべてに○をつけてください)

<small>いばしょくくまえ</small> <居場所に来る前>	<small>げんざい</small> <現在>
1. おうちの大人の人 (お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど)	1. おうちの大人の人 (お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど)
2. きょうだい	2. きょうだい
3. おうちの人以外の大人 (近所の大人、塾や習いごとの先生)	3. おうちの人以外の大人 (近所の大人、塾や習いごとの先生)
4. 居場所のスタッフ	4. 居場所のスタッフ
5. 学校のともだち	5. 学校のともだち
6. クラブ活動の仲間	6. クラブ活動の仲間
7. 学校以外のともだち (地域のスポーツクラブ、近所のともだち)	7. 学校以外のともだち (地域のスポーツクラブ、近所のともだち)
8. 居場所の友達	8. 居場所の友達
9. ひとり	9. ひとり
10. その他の人	10. その他の人

とい 問19 あなたは、週しゅうにどのくらい夕食ゆうしょくを食べていますか。

(あてはまる番号ばんごう1つに○をつけてください)

いばしよ く まえ ＜居場所に来る前＞	げんざい ＜現在＞
1. 毎日 <small>まいにち</small> またはほとんど毎日 <small>まいにち</small>	1. 毎日 <small>まいにち</small> またはほとんど毎日 <small>まいにち</small>
2. 週 <small>しゅう</small> に4～5回 <small>かい</small>	2. 週 <small>しゅう</small> に4～5回 <small>かい</small>
3. 週 <small>しゅう</small> に2～3回 <small>かい</small>	3. 週 <small>しゅう</small> に2～3回 <small>かい</small>
4. 週 <small>しゅう</small> に1回程度 <small>かいていど</small>	4. 週 <small>しゅう</small> に1回程度 <small>かいていど</small>
5. 食べない <small>た</small>	5. 食べない <small>た</small>

とい 問20 あなたは、ふだんげつようび きんようび（月曜日～金曜日）、だれと夕食を食べていますか。

(1～10までのあてはまる番号ばんごうすべてに○をつけてください)

いばしよ く まえ ＜居場所に来る前＞	げんざい ＜現在＞
1. おうちの大人の人 <small>おとな ひと</small> （お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど <small>しん</small> ）	1. おうちの大人の人 <small>おとな ひと</small> （お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど <small>しん</small> ）
2. きょうだい	2. きょうだい
3. おうちの人以外の大人 <small>ひとがいの おとな</small> （近所 <small>きんじよ</small> の大人、塾 <small>おとな</small> や習いごと <small>じゆく</small> の先生 <small>なら せんせい</small> ）	3. おうちの人以外の大人 <small>ひとがいの おとな</small> （近所 <small>きんじよ</small> の大人、塾 <small>おとな</small> や習いごと <small>じゆく</small> の先生 <small>なら せんせい</small> ）
4. 居場所のスタッフ <small>いばしよ すたっふ</small>	4. 居場所のスタッフ <small>いばしよ すたっふ</small>
5. 学校のともだち <small>がっこう</small>	5. 学校のともだち <small>がっこう</small>
6. クラブ活動の仲間 <small>くらぶかっどう なかま</small>	6. クラブ活動の仲間 <small>くらぶかっどう なかま</small>
7. 学校以外のともだち <small>がっこういがい</small> （地域 <small>ちいき</small> のスポーツクラブ、近所 <small>すぽーつくらぶ きんじよ</small> のともだち）	7. 学校以外のともだち <small>がっこういがい</small> （地域 <small>ちいき</small> のスポーツクラブ、近所 <small>すぽーつくらぶ きんじよ</small> のともだち）
8. 居場所の友達 <small>いばしよ ともだち</small>	8. 居場所の友達 <small>いばしよ ともだち</small>
9. ひとり	9. ひとり
10. その他の人 <small>た ひと</small>	10. その他の人 <small>た ひと</small>

問21 あなたの健康状態について聞きます。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

<p>いばしょく まえ <居場所に来る前></p> <p>1. 1. 良好い</p> <p>2. 2. どちらかといえは良好い</p> <p>3. 3. 普通</p> <p>4. 4. どちらかといえは悪い</p> <p>5. 5. 悪い</p>	<p>げんざい <現在></p> <p>1. 1. 良好い</p> <p>2. 2. どちらかといえは良好い</p> <p>3. 3. 普通</p> <p>4. 4. どちらかといえは悪い</p> <p>5. 5. 悪い</p>
--	---

問22 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)の放課後、だれと過ごしますか。
(1～10までのあてはまる番号すべてに○をつけてください)

<p>いばしょく まえ <居場所に来る前></p> <p>1. 1. おうちの大人の人(お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど)</p> <p>2. 2. きょうだい</p> <p>3. 3. おうちの人以外の大人(近所の大人、塾や習いごとの先生)</p> <p>4. 4. 居場所のスタッフ</p> <p>5. 5. 学校のともだち</p> <p>6. 6. クラブ活動の仲間</p> <p>7. 7. 学校以外のともだち(地域のスポーツクラブ、近所のともだち)</p> <p>8. 8. 居場所の友達</p> <p>9. 9. ひとりでいる</p> <p>10. 10. その他の人</p>	<p>げんざい <現在></p> <p>1. 1. おうちの大人の人(お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど)</p> <p>2. 2. きょうだい</p> <p>3. 3. おうちの人以外の大人(近所の大人、塾や習いごとの先生)</p> <p>4. 4. 居場所のスタッフ</p> <p>5. 5. 学校のともだち</p> <p>6. 6. クラブ活動の仲間</p> <p>7. 7. 学校以外のともだち(地域のスポーツクラブ、近所のともだち)</p> <p>8. 8. 居場所の友達</p> <p>9. 9. ひとりでいる</p> <p>10. 10. その他の人</p>
--	---

問23 あなたは①～④のことについて、どれくらいあてはまりますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

いばしよくまえ ＜居場所に来る前＞	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
① いままで的人生で、心から感動したことがある(小説、映画、ドラマ、マンガ、体験、音楽、芸術、スポーツなど)。	1	2	3	4
② 夢中になった、勉強がおもしろいと思った、やる気が出た、という記憶に残っている授業がある。	1	2	3	4
③ 小さい子や、お年寄りがこまっているとき、手助けをする。	1	2	3	4
④ お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する。	1	2	3	4

げんざい ＜現在＞	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
① いままで的人生で、心から感動したことがある(小説、映画、ドラマ、マンガ、体験、音楽、芸術、スポーツなど)。	1	2	3	4
② 夢中になった、勉強がおもしろいと思った、やる気が出た、という記憶に残っている授業がある。	1	2	3	4
③ 小さい子や、お年寄りがこまっているとき、手助けをする。	1	2	3	4
④ お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する。	1	2	3	4

とい 問24 あなたに①～④のことをしてくれる^{ひと}人はどのくらいいますか。

(あてはまる^{ばんごうひと}番号1つに○をつけてください)

いばしよ く まえ ＜居場所に来る前＞	たくさん いる	あるていど いる	あまり いない	まったく いない
① あなたが、 ^{なに} 何かに ^{しっぱい} 失敗したときに、たすけてくれる。	1	2	3	4
② あなたが、 ^{べんきよう} 勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる。	1	2	3	4
③ ^{ひとり} 一人ではできないことがあったときには、 ^{きも} 気持ちよく ^{てつだ} 手伝ってくれる。	1	2	3	4
④ あなたが ^{なや} 悩んでいるときに、どうしたらよいか ^{おし} 教えてくれる。	1	2	3	4

げんざい ＜現在＞	たくさん いる	あるていど いる	あまり いない	まったく いない
① あなたが、 ^{なに} 何かに ^{しっぱい} 失敗したときに、たすけてくれる。	1	2	3	4
② あなたが、 ^{べんきよう} 勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる。	1	2	3	4
③ ^{ひとり} 一人ではできないことがあったときには、 ^{きも} 気持ちよく ^{てつだ} 手伝ってくれる。	1	2	3	4
④ あなたが ^{なや} 悩んでいるときに、どうしたらよいか ^{おし} 教えてくれる。	1	2	3	4

と
問25 あなたの気持ちについて教えてください。(①～⑥について、あてはまる番号1つに
○をつけください。)

いばしよ く まえ ＜居場所に来る前＞	そう思う	どちらかとい うとそう 思う	どちらかとい うとそう 思わない	そう 思わない
① 自分に自信がある。	1	2	3	4
② 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる。	1	2	3	4
③ 大人を信用できる。	1	2	3	4
④ 自分の将来の夢や目標を持っている。	1	2	3	4
⑤ 将来のためにも、今、頑張りたいと思う。	1	2	3	4
⑥ 将来、働きたいと思う。	1	2	3	4

げんざい ＜現在＞	そう思う	どちらかとい うとそう 思う	どちらかとい うとそう 思わない	そう 思わない
① 自分に自信がある。	1	2	3	4
② 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる。	1	2	3	4
③ 大人を信用できる。	1	2	3	4
④ 自分の将来の夢や目標を持っている。	1	2	3	4
⑤ 将来のためにも、今、頑張りたいと思う。	1	2	3	4
⑥ 将来、働きたいと思う。	1	2	3	4

問26 あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

<居場所に来る前>	<現在>
1. 中学校 2. 高校 3. 専門学校(美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など) 4. 大学 5. 決めていない・わからない	1. 中学校 2. 高校 3. 専門学校(美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など) 4. 大学 5. 決めていない・わからない

問27 この居場所に来て良かったと思いますか。(あてはまる番号に○をつけてください。)

1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない
----------------------------	--------------------------------

問28 この居場所に来て良かったことを自由に書いてください。

()

問29 この居場所に望むことや、その他何でも思うことについて書いてください。

()

※問28と問29に記入された内容は、個人を特定することのないよう十分に注意して集計し、統計データとして公表をします。みなさんの意見を活用する際に、もし個人が特定できるような書き込みあった場合は、その部分の公表はしませんので、安心して記入してください。

質問はこれで終わりです。調査にご協力いただきありがとうございました!!

アンケート調査票（支援員・保護者用）

<保護者の皆様へ 調査へのご協力をお願い>

この調査は、沖縄県の子育て支援対策における支援員配置の効果について把握することを目的としています。保護者の方に家庭状況などをお聞きし、今後の支援策に役立てるために実施します。皆様からのご回答を今後の改善につなげていきたいと考えていますので、お忙しい中お手数ですが、調査へのご協力をお願いします。

----- プライバシーへの配慮 -----

- ・この調査票は、支援員のサービスをご利用の皆さまにお送りしています。
- ・ お名前や住所を書く必要はありません。 調査の集計は統計的に処理し、個人を特定することはありません。また目的以外に使うことはありません。安心してご記入ください。
- ・ 答えたくない質問には回答しなくて結構です。また、回答の途中でやめることもできます。
- ・この調査票の番号は、本ページの右下の枠内に記載されています。この番号は調査票を整理する際に使います。番号は順不同になっていて、個人を特定するものではありません。 沖縄県や市町村の担当者にも個人が特定できないようになっています。

----- 調査票の提出方法 -----

- ・調査に回答後、「保護者用」と書かれた封筒に入れ、のりづけやセロハンテープで封をして支援員に渡して下さい。

提出期限：平成 30 年 11 月 9 日（金）

この調査票の番号

----- 回答にあたってのお願い -----

- この調査に同意し、協力してくださる場合のみ、アンケートにご記入下さい。
アンケートの記入をもって、この調査に同意していただいたものと判断させていただきます。

----- この調査の問合せ先 -----

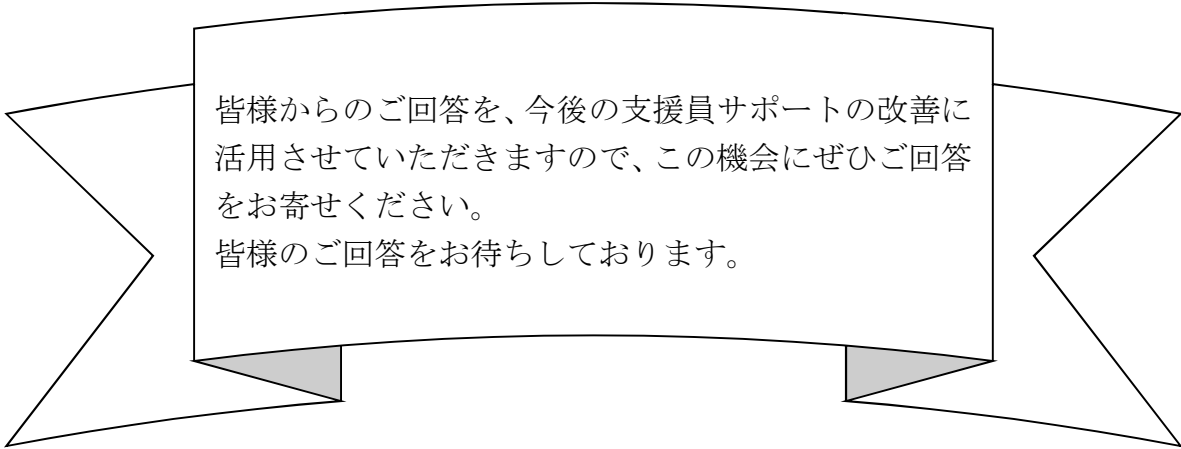
◆調査への回答にあたってわからないことがありましたら、お問い合わせください。

沖縄県子ども生活福祉部子ども未来政策課（代表）

電話番号：098-866-2100

FAX 番号：098-868-2402

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2 行政棟 3 階（南側）



皆様からのご回答を、今後の支援員サポートの改善に活用させていただきますので、この機会にぜひご回答をお寄せください。
皆様のご回答をお待ちしております。

問1 この調査に回答いただいている方におたずねします。お子さんとあなたの続柄について教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. お母さん	4. おじ、おばなど親戚
2. お父さん	5. 施設職員・ファミリーホーム・里親
3. おばあさん・おじいさん	6. その他の人

問2 あなたの性別、年齢、あなたの世帯の人数(※)、そのうちのお子さんの人数と年齢を教えてください。

※世帯の人数には、あなたとお子さんも含みます。生計(家計)が同じである人を含みます。単身赴任中や一人暮らしのお子さんも、生計(家計)が同じであれば含んでください。2世帯住宅の場合、生計(家計)が別であれば含みません。

あなたについて：性別 ()	年齢 () 歳
世帯の人数 () 人	お子さんの人数 () 人
お子さんの年齢：() 歳	お子さんの年齢：() 歳
お子さんの年齢：() 歳	お子さんの年齢：() 歳
お子さんの年齢：() 歳	お子さんの年齢：() 歳

問3 お子さんから見た同居家族の構成について教えて下さい。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 両親ともにいる
2. 母親がいて父親がいない
3. 父親がいて母親がいない
4. 両親がいなくて祖父母(両方又は一方)がいる
5. その他 ()

問4 あなたの世帯では以下の手当や援助等を受けていますか。

(①～⑫の項目について、あてはまる番号1つに○をつけてください)

	受けている	受けたことがある	受けたことはない
① 児童手当	1	2	3
② 就学援助費※1	1	2	3
③ 児童扶養手当※2	1	2	3
④ 障がいや難病の手当※3	1	2	3

⑤ 生活保護	1	2	3
⑥ 公的年金（老齢年金）	1	2	3
⑦ 公的年金（遺族年金、障害年金）	1	2	3
⑧ 雇用保険（失業保険）	1	2	3
⑨ 養育費	1	2	3
⑩ 親・親族からの仕送り	1	2	3
⑪ 退職金	1	2	3
⑫ その他、株式配当などの副収入	1	2	3

※1 「就学援助費」とは、経済的な理由により、就学が困難と認められる児童生徒に対して、学用品費などを援助する制度です。

※2 「児童扶養手当」とは、父又は母と生計を同じくしていない18歳到達後最初の年度末までの児童（児童に政令で定める程度の障がいがある場合は20歳未満の児童）を監護しているひとり親家庭の母又は父等に支給される手当です。15歳までを対象とした「児童手当」とは異なります。

※3 障がいや難病を対象とした手当には、特別児童扶養手当、障がい児福祉手当、重度障がい者介護手当などがあります。

問5 前年（2017年）について、お子さんと生計を共にしている方全員の収入を合わせた「世帯の収入（年間のボーナス含む手取り額）」を教えてください。1つに○をしてください。

世帯収入（合算値）※世帯全体の年間、ボーナス含む手取り額			
1) 0円	5) 150～200万円未満	9) 400～500万円未満	13) 800～900万円未満
2) 1～50万円未満	6) 200～250万円未満	10) 500～600万円未満	14) 900～1000万円未満
3) 50～100万円未満	7) 250～300万円未満	11) 600～700万円未満	15) 1000万円以上
4) 100～150万円未満	8) 300～400万円未満	12) 700～800万円未満	

※収入とは、勤労収入（パート・アルバイトを含む）、事業所得（自営業等）、農業所得、不動産所得、利子・配当金、公的年金、その他の社会保障給付金（生活保護、児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当）、個人年金、出稼ぎなどによる別居親族からの仕送りなど、すべてを含めた金額です。

※世帯が生活するための収入として、お父さんの勤労収入、おじいちゃんの年金、お母さんのパート収入など、複数の収入源がある世帯は、すべての方の収入の1年間おおよその合計額を教えてください。

※手取り額とは、所得税・住民税などの税額、健康保険料や年金保険料・介護保険料を支払った後の金額になります。

問6 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。

(おおむね半年の間でお考えください。)(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 食費を切りつめた。	13. バスやモノレールの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした。
2. 電気・ガス・水道などが止められた。	14. 電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞ったことがある。
3. 医療機関を受診できなかった。	15. 家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある。
4. 国民健康保険料の支払いが滞ったことがある。	16. 趣味やレジャーの出費を減らした。
5. 国民年金の支払いが滞ったことがある。	17. 冷暖房の使用を控えた。
6. 金融機関などに借金をしたことがある。	18. 友人・知人との外食を控えた。
7. クレジットカードの利用が停止になったことがある。	19. 敷金・保証金等を用意できないので、住み替え・転居を断念した。
8. 新しい衣服・靴を買うのを控えた。	20. 理髪店・美容院に行く回数を減らした。
9. 新聞や雑誌を買うのを控えた。	21. 子ども部屋が欲しかったがつくれなかった。
10. スマートフォンへの切替・利用を断念した。	22. 1～21の項目には、どれにもあてはまらない。
11. 冠婚葬祭のつきあいを控えた。	
12. 生活の見通しがたたなくて不安になったことがある。	

問7 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。

(おおむね1年の間でお考えください。)(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 子どもを医療機関に受診させることができなかった。	9. 子どもを学習塾に通わすことができなかった。
2. 子どもの進路を変更した。	10. 子どもの誕生日を祝えなかった。
3. 子どものための本や絵本が買えなかった。	11. 子どもにお年玉をあげることができなかった。
4. 子どもにおこづかいを渡すことができなかった。	12. 子どもの学校行事などに参加することができなかった。
5. 子どもに新しい服や靴を買うことができなかった。	13. 子ども会、地域の行事(祭りなど)の活動に参加することができなかった。
6. 子どもを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった。	14. 家族旅行(テーマパークなど日帰りのおでかけを含む)がなかった。
7. 子どもを習い事に通わすことができなかった。	15. 1～14の項目には、どれにもあてはまらない。
8. 子どもを学校のクラブ活動に参加させられなかった。	

問8 お子さんの世帯で主に生計を支えている方の現在の就業状況についておたずねします。

(複数か所にお勤めされている方はあてはまる番号をすべて選んでください。また「7.」を選択する場合は、その主な理由を①～⑦から選び○をつけて下さい。)

※現在、育児休業などで休業中の方は、復職するときの仕事の番号を選んでください。

1. 勤め(常勤・正規職員)	7. 仕事をさがしていない
2. 勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)	①家事や育児に専念
3. 勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務)	②学生
4. 自営業・家業	③おうちの人の介護や介助
5. その他の就業形態	④病気療養
6. 仕事を探している	⑤年金など
	⑥家賃収入、株式運用など
	⑦その他
	8. わからない

問9 あなたは支援員にいつから会っていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 2016年から	3. 2018年から
2. 2017年から	4. わからない

問10 あなたはこれまでに支援員と何回会いましたか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. おおむね10回以上	3. おおむね3～5回
2. おおむね6～9回	4. おおむね1～2回

お子さん自身の変化についておたずねします。

問11 支援員サービスを利用するようになってからのお子さんの変化について①～⑨まではあてはまる番号1つに○をつけてください。⑩は、以前と現在でそれぞれあてはまる番号を書いてください。

①同じ時刻に起きる。

(1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. 変わらない 4. あてはまらない)

②朝食を食べる。

(1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. 変わらない 4. あてはまらない)

③健康状態

(1. 良い 2. どちらかといえば良い 3. 変わらない 4. どちらかといえば悪い)

④授業時間以外にも勉強する。

(1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. 変わらない 4. あてはまらない)

⑤授業が楽しい、勉強がおもしろいと思う、やる気が出る。

(1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. 変わらない 4. あてはまらない)

⑥お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する。

(1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. 変わらない 4. あてはまらない)

⑦勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる人がいる。

(1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. 変わらない 4. あてはまらない)

⑧自分の考えをはっきり相手に伝えることができる。

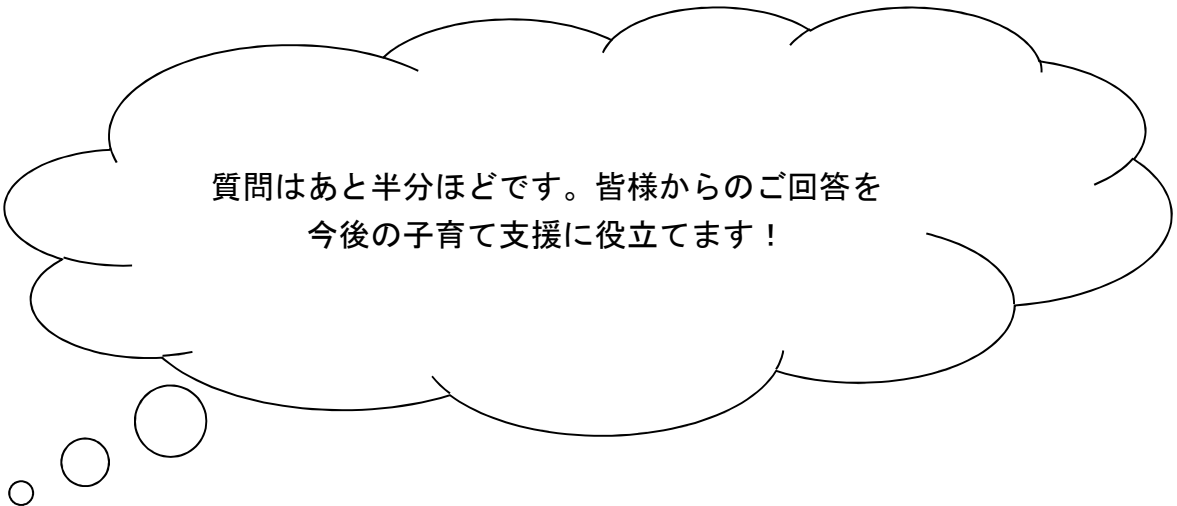
(1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. 変わらない 4. あてはまらない)

⑨自分の将来の夢や目標を持っている。

(1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. 変わらない 4. あてはまらない)

⑩放課後どこで過ごしますか。 以前 () 現在 ()

1. 自分の家	9. コンビニエンスストア
2. おばあちゃん・おじいちゃんの家	10. ゲームセンター
3. ともだちの家	11. 図書館や公民館など公共の施設
4. 塾	12. 地域の居場所 (学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの
5. 習いごと	子どもが集まる場所)
6. 学校 (クラブ活動など)	13. 学童保育
7. 公園・広場	14. その他
8. スーパーやショッピングモール	



質問はあと半分ほどです。皆様からのご回答を
今後の子育て支援に役立てます！

問12から問17までは、〈支援員に会う前〉と〈現在〉のそれぞれについてお答えください。

お子さんとの関係の変化についておたずねします。

問12 あなたとお子さんとの関係について、お聞かせください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

〈支援員に会う前〉

	よく する	する	あまり しない	しない
① お子さんと会話をしますか。	1	2	3	4
② お子さんと十分時間を過ごしていますか。	1	2	3	4
③ お子さんと読んだ本の感想を話し合ったりしていますか。	1	2	3	4
④ お子さんと一緒に図書館に行きますか。	1	2	3	4
⑤ お子さんの将来の夢について話し合っていますか。	1	2	3	4
⑥ お子さんを信頼していますか。	1	2	3	4

〈現在〉

	よく する	する	あまり しない	しない
	1	2	3	4
	1	2	3	4
	1	2	3	4
	1	2	3	4
	1	2	3	4
	1	2	3	4

問13 これまでの子育てについてのお気持ちをお聞かせください。①～④について、もっとも近いものを選んでください。(それぞれ○は1つ)

<支援員に会う前>	あてはまる	どちらかという とあてはまる	どちらかとい うとあてはま らない	あてはまらない
① 不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある。	1	2	3	4
② 子どもを育てるために我慢している。	1	2	3	4
③ 自分一人で育てているという圧迫感を感じる。	1	2	3	4
④ 子どもの世話にはあまり関心がない。	1	2	3	4

<現在>	あてはまる	どちらかという とあてはまる	どちらかとい うとあてはま らない	あてはまらない
① 不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある。	1	2	3	4
② 子どもを育てるために我慢している。	1	2	3	4
③ 自分一人で育てているという圧迫感を感じる。	1	2	3	4
④ 子どもの世話にはあまり関心がない。	1	2	3	4

問14 あなたのご家庭では、お子さんにどの段階までの教育を受けさせたいですか。 それぞれあなたが1番あてはまるところに○をつけてください。

<支援員に会う前>	受けさせたい	経済的に可能だが 必要だと思わない	経済的に受けさせ られない
⑤ 中学校までの教育	1	2	3
⑥ 高校までの教育	1	2	3
⑦ 専門学校までの教育	1	2	3
⑧ 大学までの教育	1	2	3

<現在>	受けさせたい	経済的に可能だが 必要だと思わない	経済的に受けさせ られない
⑤ 中学校までの教育	1	2	3
⑥ 高校までの教育	1	2	3
⑦ 専門学校までの教育	1	2	3
⑧ 大学までの教育	1	2	3

問 15 あなたの健康状態について聞きます。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

<支援員に会う前>

<現在>

1. 良い	1. 良い
2. どちらかといえば良い	2. どちらかといえば良い
3. 普通	3. 普通
4. どちらかといえば悪い	4. どちらかといえば悪い
5. 悪い	5. 悪い

あなたの対人関係の変化についておたずねします。

問 16 次の①～⑦について、おうちの方を含め(子どもは除く)、あなたを支えてくれて、

手伝ってくれる人はいますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

<支援員に会う前>

<現在>

	<支援員に会う前>			<現在>		
	いる	いない	わからない	いる	いない	わからない
① 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人	1	2	3	1	2	3
② あなたの気持ちを察して思いやってくれる人	1	2	3	1	2	3
③ 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人	1	2	3	1	2	3
④ 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人	1	2	3	1	2	3
⑤ 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人(運動や文化活動)	1	2	3	1	2	3
⑥ 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人	1	2	3	1	2	3
⑦ 留守を頼める人	1	2	3	1	2	3

問 17 次のことは、あなたにどのくらいあてはまりますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

<支援員に会う前>	よくする	する	あまり しない	しない
① 地域の行事に参加していますか。	1	2	3	4
② お子さんが通う学校の行事(授業参観や運動会など)に参加していますか。	1	2	3	4
③ 子どもを朝、学校に送り出していますか。	1	2	3	4

<現在>	よくする	する	あまり しない	しない
① 地域の行事に参加していますか。	1	2	3	4
② お子さんが通う学校の行事(授業参観や運動会など)に参加していますか。	1	2	3	4
③ 子どもを朝、学校に送り出していますか。	1	2	3	4

支援員からのサポートについておたずねします。

問 18-1 あなたは支援員からのどの分野のサポートが役立ちましたか。あてはまる番号

1. 悩みごとの相談を聞いてもらうこと
2. 生活に関する支援(食事や生活時間に関するアドバイス、子どもの居場所及び子ども食堂へのつながりなど) →問 18-2 へ
3. 福祉に関する支援(生活保護の手続き、福祉関係機関へのつながりなど) →問 18-3 へ
4. 教育に関する支援(就学援助の手続きや学校との調整、無料塾へのつながり) →問 18-4 へ
5. 就労に関する支援(ハローワークへのつながり、就労訓練 など) →問 18-5 へ
6. 金銭に関する支援(家計管理、借金の整理に関するアドバイス など) →問 18-6 へ
7. 住まいに関する支援(公営住宅の紹介、母子生活支援施設の紹介 など) →問 18-7 へ
8. その他 ()

すべてに○をつけてください。

問 18-6 問 18-1「6.」に○をつけた方にお聞きいたします。金銭に関する支援で、以下ア～エのうちで支援を受けたものすべてに○をつけてください。

- ア. 家計管理
- イ. 借金の整理に関するアドバイス
- ウ. 養育費に関するアドバイス
- エ. その他 ()

問 18-7 問 18-1「7.」に○をつけた方にお聞きいたします。住まいに関する支援で、以下ア～ウのうちで支援を受けたものすべてに○をつけてください。

- ア. 公営住宅の紹介
- イ. 母子生活支援施設の紹介
- ウ. その他 ()

問 19 あなたのお子さんは、地域で食事の提供や学習の支援などのサービスを利用していますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

- | | |
|----------------|----------------------------|
| 1. よく利用している | 4. 利用していない |
| 2. 利用している | 5. そのようなサービスを利用できる施設は近くにない |
| 3. ほとんど利用していない | |

問 20 問 19で「1.」「2.」に○をつけた方にお聞きいたします。利用するようになってからのお子さんの変化について①～⑨まではあてはまる番号1つに○をつけてください。⑩は、以前と現在でそれぞれあてはまる番号を書いてください。

- ①同じ時刻に起きる。
(1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. 変わらない 4. あてはまらない)
- ②朝食を食べる。
(1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. 変わらない 4. あてはまらない)
- ③健康状態
(1. 良い 2. どちらかといえば良い 3. 変わらない 4. どちらかといえば悪い)
- ④授業時間以外にも勉強する。
(1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. 変わらない 4. あてはまらない)

⑤授業が楽しい、勉強がおもしろいと思う、やる気が出る。

(1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. 変わらない 4. あてはまらない)

⑥お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する。

(1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. 変わらない 4. あてはまらない)

⑦勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる人がいる。

(1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. 変わらない 4. あてはまらない)

⑧自分の考えをはっきり相手に伝えることができる。

(1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. 変わらない 4. あてはまらない)

⑨自分の将来の夢や目標を持っている。

(1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. 変わらない 4. あてはまらない)

⑩放課後どこで過ごしますか。 以前 () 現在 ()

1. 自分の家

2. おばあちゃん・おじいちゃんの家

3. ともだちの家

4. 塾

5. 習いごと

6. 学校 (クラブ活動など)

7. 公園・広場

8. スーパーやショッピングモール

9. コンビニエンスストア

10. ゲームセンター

11. 図書館や公民館など公共の施設

12. 地域の居場所

13. 学童保育

14. その他

問 21 あなたは今後支援員からどの分野のサポートを受けたいですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 悩みごとの相談を聞いてもらうこと

2. 生活に関する支援 (食事や生活時間に関するアドバイス、子どもの居場所及び子ども食堂へのつなぎなど)

3. 福祉に関する支援 (生活保護の手続き、福祉関係機関へのつなぎなど)

4. 教育に関する支援 (就学援助の手続きや学校との調整、無料塾へのつなぎ)

5. 就労に関する支援 (ハローワークへのつなぎ、就労訓練 など)

6. 金銭に関する支援 (家計管理、借金の整理に関するアドバイス など)

7. 住まいに関する支援 (公営住宅の紹介、母子生活支援施設の紹介 など)

8. その他 ()

問 22 支援員と会うようになって良かったと思いますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない |

問 23 支援員のサポートを受けてよかったことを自由に記入してください。



問 24 支援員のサポートで今後要望したいこと、その他何でも思うことを自由に記入してください。



※問 23 および問 24 に記入された内容は、個人を特定することのないよう十分に注意して集計し、統計データとして公表をします。皆さまのご意見を活用する際に、もし個人が特定できるような書き込みがあった場合は、その部分の公表はしませんので、安心して記入してください。

質問はこれで終わりです。調査にご協力いただきありがとうございました。

2. 居場所：保護者 単純集計

問1 お子さんからみた続柄

	件数	お母さん	お父さん	おばあさん・おじいさん	おじ、おばなど親戚	施設職員・ファミリーホーム・里親	その他の人	無回答
合計	689 100.0	577 83.7	63 9.1	40 5.8	3 0.4	1 0.1	4 0.6	1 0.1

問2-1-1 回答者の性別

	件数	男性	女性	無回答
合計	689 100.0	68 9.9	619 89.8	2 0.3

問2-1-2 回答者の年齢

	件数	30歳未満	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上	無回答
合計	689 100.0	32 4.6	105 15.2	164 23.8	177 25.7	101 14.7	92 13.4	18 2.6

問2-2 家族人数

	件数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	無回答
合計	689 100.0	1 0.1	70 10.2	124 18.0	184 26.7	138 20.0	72 10.4	63 9.1	37 5.4

問3 居場所に通っているお子さんの人数

	件数	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
合計	689 100.0	373 54.1	183 26.6	50 7.3	13 1.9	8 1.2	62 9.0

問4 市町村の支援員からの支援について

	件数	よく利用している	利用している	ほとんど利用していない	利用していない	そのようなサービスの利用できることを知らない	無回答
合計	689 100.0	62 9.0	162 23.5	72 10.4	274 39.8	104 15.1	15 2.2

問5 前年（2017年）の世帯収入の合計額

	件数	0円	1～50万円未満	50～100万円未満	100～150万円未満	150～200万円未満	200～250万円未満	250～300万円未満	300～400万円未満
合計	689 100.0	12 1.7	37 5.4	54 7.8	108 15.7	121 17.6	75 10.9	62 9.0	71 10.3

	4000～5000万円未満	5000～6000万円未満	6000～7000万円未満	7000～8000万円未満	8000～9000万円未満	9000～1,0000万円未満	1,0000万円以上	無回答
合計	36 5.2	27 3.9	17 2.5	9 1.3	6 0.9	2 0.3	2 0.3	50 7.3

問6 経済的な理由で経験したこと

	件数	食費を切りつめた	電気・ガス・水道などが止められた	医療機関を受診できなかった	国民健康保険料の支払いが滞ったことがある	国民年金の支払いが滞ったことがある	金融機関などに借金をしたことがある	クレジットカードの利用が停止になったことがある	新しい衣服・靴を買うのを控えた	新聞や雑誌を買うのを控えた	スマートフォンへの切り替え・利用を断念した	冠婚葬祭のつきあいを控えた
合計	689 100.0	364 52.8	107 15.5	125 18.1	191 27.7	137 19.9	155 22.5	88 12.8	386 56.0	236 34.3	98 14.2	124 18.0

		生活の見通しがたなくて不安になったことがある	バスなどの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした	電話(固定・携帯)など通信料の支払いが滞ったことがある	家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある	趣味やレジャーの出費を減らした	冷暖房の使用を控えた	友人・知人との外食を控えた	敷金・保証金等を用意できず、住み替え・転居を断念した	理髪店・美容院に行く回数を減らした	子ども部屋が欲しかったがつけられなかった	1〜21の項目には、どれもあてまらない	無回答
合計	287 41.7	60 8.7	177 25.7	154 22.4	345 50.1	229 33.2	338 49.1	107 15.5	328 47.6	164 23.8	85 12.3	22 3.2	

問7 経済的な理由で子どもにしてあげられなかった経験

	件数	医療機関を受診させることができなかった	進路を変更した	本や絵本が買えなかった	おこづかいを渡すことができなかった	新しい服や靴を買うことができなかった	学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	習い事に通わすことができなかった	学校のクラブ活動に参加させられなかった	学習塾に通わすことができなかった	誕生日を祝えなかった	お年玉をあげることができなかった
合計	689 100.0	111 16.1	46 6.7	169 24.5	234 34.0	222 32.2	24 3.5	261 37.9	90 13.1	245 35.6	66 9.6	129 18.7

		学校行事などに参加することができなかった	子ども会、地域の行事等に参加することができなかった	家族旅行(日帰りのおでかけを含む)ができなかった	どれにもあてはまらない	無回答
合計	79 11.5	73 10.6	315 45.7	183 26.6	34 4.9	

問8-1 主に生計を支えている方の就労状況

	件数	働いていない	正規の職員・従業員	派遣社員・契約社員・嘱託	パート・アルバイト	会社・団体等の役員	自営	内職	その他	無回答
合計	689 100.0	77 11.2	261 37.9	93 13.5	145 21.0	10 1.5	57 8.3	1 0.1	14 2.0	31 4.5

問8-2 働いていない理由

問8-1 主に生計を支えている方の就労状況…働いていない

	件数	家事や育児に専念	おうちの人の介護や介助	病気療養	学生	年金など	家賃収入など	その他	無回答
合計	77 100.0	15 19.5	9 11.7	44 57.1	5 6.5	12 15.6	-	12 15.6	1 1.3

問9-1-① 不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある<お子さんが居場所を利用する前>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	689 100.0	218 31.6	261 37.9	105 15.2	79 11.5	26 3.8

問9-1-② 子どもを育てるために我慢している<お子さんが居場所を利用する前>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	689 100.0	139 20.2	211 30.6	146 21.2	158 22.9	35 5.1

問9-1-③ 自分一人で育てているという圧迫感を感じる<お子さんが居場所を利用する前>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	689 100.0	148 21.5	138 20.0	158 22.9	216 31.3	29 4.2

問9-1-④ 子どもの世話にはあまり関心がない<お子さんが居場所を利用する前>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	689 100.0	7 1.0	20 2.9	122 17.7	506 73.4	34 4.9

問9-2-① 不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある<現在>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	689 100.0	90 13.1	258 37.4	193 28.0	120 17.4	28 4.1

問9-2-② 子どもを育てるために我慢している<現在>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	689 100.0	81 11.8	178 25.8	206 29.9	191 27.7	33 4.8

問9-2-③ 自分一人で育てているという圧迫感を感じる<現在>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	689 100.0	81 11.8	115 16.7	188 27.3	277 40.2	28 4.1

問9-2-④ 子どもの世話にはあまり関心がない<現在>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	689 100.0	4 0.6	20 2.9	114 16.5	520 75.5	31 4.5

問10-1-① 中学校までの教育<お子さんが居場所を利用する前>

	件数	受けさせたい	経済的に可能だが必要だと思わない	経済的に受けさせられない	無回答
合計	689 100.0	412 59.8	10 1.5	1 0.1	266 38.6

問10-1-② 高校までの教育<お子さんが居場所を利用する前>

	件数	受けさせたい	経済的に可能だが必要だと思わない	経済的に受けさせられない	無回答
合計	689 100.0	435 63.1	14 2.0	14 2.0	226 32.8

問10-1-③ 専門学校までの教育<お子さんが居場所を利用する前>

	件数	受けさせたい	経済的に可能だが必要だと思わない	経済的に受けさせられない	無回答
合計	689 100.0	259 37.6	29 4.2	171 24.8	230 33.4

問10-1-④ 大学までの教育<お子さんが居場所を利用する前>

	件数	受けさせたい	経済的に可能だが必要だと思わない	経済的に受けさせられない	無回答
合計	689 100.0	308 44.7	31 4.5	210 30.5	140 20.3

問10-2-① 中学校までの教育<現在>

	件数	受けさせたい	経済的に可能だが必要だと思わない	経済的に受けさせられない	無回答
合計	689 100.0	410 59.5	10 1.5	-	269 39.0

問10-2-② 高校までの教育<現在>

	件数	受けさせたい	経済的に可能だが必要だと思わない	経済的に受けさせられない	無回答
合計	689 100.0	434 63.0	13 1.9	7 1.0	235 34.1

問10-2-③ 専門学校までの教育<現在>

	件数	受けさせたい	経済的に可能だが必要だと思わない	経済的に受けさせられない	無回答
合計	689 100.0	292 42.4	29 4.2	140 20.3	228 33.1

問10-2-④ 大学までの教育<現在>

	件数	受けさせたい	経済的に可能だが必要だと思わない	経済的に受けさせられない	無回答
合計	689 100.0	347 50.4	30 4.4	190 27.6	122 17.7

問11 お子さんが居場所を利用するようになって良かったと思うか

	件数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
合計	689 100.0	538 78.1	106 15.4	8 1.2	1 0.1	36 5.2

3. 居場所：子ども 単純集計

問1 性別

	件数	男性	女性	わからない	無回答
合計	1342 100.0	607 45.2	707 52.7	12 0.9	16 1.2

問2-1 回答者の学校区分

	件数	小学生	中学生	高校生	無回答
合計	1342 100.0	969 72.2	322 24.0	27 2.0	24 1.8

問2 学年／小学生

問2-1 回答者の学校区分…小学生

	件数	低学年・1～2年生	中学年・3～4年生	高学年・5～6年生	無回答
合計	969 100.0	338 34.9	355 36.6	274 28.3	2 0.2

問2 学年／中学生

問2-1 回答者の学校区分…中学生

	件数	1年生	2年生	3年生	無回答
合計	322 100.0	70 21.7	117 36.3	131 40.7	4 1.2

問2 学年／高校生

問2-1 回答者の学校区分…高校生

	件数	1年生	2年生	3年生	無回答
合計	27 100.0	12 44.4	9 33.3	5 18.5	1 3.7

問3 家族構成

	件数	両親ともにいる	お母さんがいてお父さんがいない	お父さんがいてお母さんがいない	両親がいないくて、おじいちゃん・おばあちゃんがいる	その他	無回答
合計	1342 100.0	691 51.5	481 35.8	70 5.2	26 1.9	11 0.8	63 4.7

問4-1 居場所を利用し始めた時期

	件数	2年以上前から	1〜2年くらい前から	半年〜1年以内	半年以内	いつからかわからない	無回答
合計	1342 100.0	322 24.0	347 25.9	260 19.4	249 18.6	144 10.7	20 1.5

問4-2 居場所に来る頻度

	件数	1週間におおむね3回以上	1週間におおむね1〜2回	1カ月に1〜2回程度	1カ月に1〜2回よりも少ない	無回答
合計	1342 100.0	548 40.8	564 42.0	112 8.3	71 5.3	47 3.5

問5-1 居場所に来てからの新しい友だち

	件数	できた	できない	無回答
合計	1342 100.0	1122 83.6	198 14.8	22 1.6

問5-2 友だちになった子について

問5-1 居場所にきてからの新しい友だちについて…できた

	件数	居場所に 来る子	学校の子	その他	無回答
合計	1122 100.0	768 68.4	629 56.1	34 3.0	9 0.8

問6 居場所に来る理由

	件数	勉強 するため	ここに いると 安心 できる ため	ごはん を食べ るため	スタッ フと話 するた め	友だち と遊ぶ ため	家に いづら いたため	家に だれも いない ため	その他	無回答
合計	1342 100.0	810 60.4	232 17.3	262 19.5	204 15.2	709 52.8	58 4.3	226 16.8	134 10.0	25 1.9

問7 普段放課後に過ごしている場所

	件数	自分の 家	おばあ ちゃん ・おじ いちゃん の家	ともだ ちの家	塾	習いご と	学校 (クラブ 活動など)	公園・ 広場	スーパ ーやシ ョッピ ング モール	コンビ ニエンス ストア	ゲーム センター	図書館 や公民 館など 公共の 施設
合計	1342 100.0	824 61.4	174 13.0	194 14.5	281 20.9	240 17.9	267 19.9	188 14.0	55 4.1	39 2.9	41 3.1	116 8.6

	地域の 居場所 (学習支 援の場 や子ど も食堂 など)	学童保 育	その他	無回答
合計	252 18.8	146 10.9	90 6.7	18 1.3

問8 持っているものや使うことができるもの

	件数	本(学校の教科書やマンガはのぞく)	マンガ・雑誌	子ども部屋(ひとり部屋や共有して使っている部屋など)	インターネットにつながるパソコン	運動用具(ボール・ラケットなど)	ゲーム機	自転車	テレビ	けいたい電話	スマートフォン・タブレット機器	化粧品・アクセサリ
合計	1342 100.0	896 66.8	665 49.6	571 42.5	272 20.3	654 48.7	722 53.8	572 42.6	834 62.1	470 35.0	655 48.8	287 21.4

	習いことなどの道具(ピアノなど)	自分で選んだ服	キャラクターグッズ	その他	あてはまるものはない	無回答
合計	330 24.6	742 55.3	578 43.1	124 9.2	14 1.0	24 1.8

問9-1 学校への登校頻度<居場所に来る前>

	件数	毎日	週に3~4回	週に1回程度	ほとんど行かない	全く行かない	無回答
合計	1342 100.0	1153 85.9	73 5.4	22 1.6	26 1.9	23 1.7	45 3.4

問9-2 学校への登校頻度<現在>

	件数	毎日	週に3~4回	週に1回程度	ほとんど行かない	全く行かない	無回答
合計	1342 100.0	1091 81.3	65 4.8	28 2.1	13 1.0	18 1.3	127 9.5

問10-1 遅刻の頻度<居場所に来る前>

	件数	毎日またはほとんど毎日	週に4~5回	週に2~3回	週に1回程度	遅刻はしない	無回答
合計	1342 100.0	140 10.4	60 4.5	96 7.2	139 10.4	825 61.5	82 6.1

問10-2 遅刻の頻度<現在>

	件数	毎日またはほとんど毎日	週に4~5回	週に2~3回	週に1回程度	遅刻はしない	無回答
合計	1342 100.0	110 8.2	51 3.8	80 6.0	131 9.8	884 65.9	86 6.4

問11-1 学校がある日の授業時間以外での学習時間<居場所に来る前>

	件数	まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	わからない	無回答
合計	1342 100.0	185 13.8	248 18.5	370 27.6	231 17.2	67 5.0	81 6.0	122 9.1	38 2.8

問11-2 学校がある日の授業時間以外での学習時間<現在>

	件数	まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	わからない	無回答
合計	1342 100.0	89 6.6	176 13.1	364 27.1	295 22.0	128 9.5	120 8.9	102 7.6	68 5.1

問12-1 学校の勉強についての気持ち<居場所に来る前>

	件数	よくわかる	だいたいわかる	あまりわからない	ほとんどわからない	どれもあてはまらない	無回答
合計	1342 100.0	352 26.2	487 36.3	252 18.8	138 10.3	62 4.6	51 3.8

問12-1 学校の勉強についての気持ち<居場所に来る前>

	件数	よくわかる	だいたいわかる	あまりわからない	ほとんどわからない	どれもあてはまらない	無回答
合計	1342 100.0	470 35.0	520 38.7	159 11.8	80 6.0	52 3.9	61 4.5

問 1 3 - 1 学校の授業時間以外の 1 日あたりの読書時間<居場所に来る前>

	件数	まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	わからない	無回答
合計	1342 100.0	445 33.2	369 27.5	234 17.4	79 5.9	22 1.6	51 3.8	99 7.4	43 3.2

問 1 3 - 2 学校の授業時間以外の 1 日あたりの読書時間<現在>

	件数	まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	わからない	無回答
合計	1342 100.0	366 27.3	401 29.9	251 18.7	79 5.9	37 2.8	53 3.9	95 7.1	60 4.5

問 1 4 - 1 ほぼ同時刻での起床について<居場所に来る前>

	件数	起きている	どちらかといえは、起きている	あまり、起きていない	起きていない	無回答
合計	1342 100.0	733 54.6	308 23.0	155 11.5	96 7.2	50 3.7

問 1 4 - 2 ほぼ同時刻での起床について<現在>

	件数	起きている	どちらかといえは、起きている	あまり、起きていない	起きていない	無回答
合計	1342 100.0	785 58.5	284 21.2	128 9.5	82 6.1	63 4.7

問15-1 ふだんの就寝時間<居場所に来る前>

	件数	午後9時より前	午後9時台	午後10時台	午後11時台	午前0時台	午前1時より後	きまっていない	無回答
合計	1342 100.0	159 11.8	331 24.7	366 27.3	185 13.8	79 5.9	44 3.3	129 9.6	49 3.7

問15-2 ふだんの就寝時間<現在>

	件数	午後9時より前	午後9時台	午後10時台	午後11時台	午前0時台	午前1時より後	きまっていない	無回答
合計	1342 100.0	141 10.5	319 23.8	377 28.1	200 14.9	86 6.4	43 3.2	121 9.0	55 4.1

問16-1 ふだんの睡眠時間<居場所に来る前>

	件数	5時間59分より短い	6時間～6時間59分	7時間～7時間59分	8時間～8時間59分	9時間～9時間59分	10時間より長い	きまっていない	無回答
合計	1342 100.0	84 6.3	142 10.6	208 15.5	331 24.7	303 22.6	61 4.5	158 11.8	55 4.1

問16-2 ふだんの睡眠時間<現在>

	件数	5時間59分より短い	6時間～6時間59分	7時間～7時間59分	8時間～8時間59分	9時間～9時間59分	10時間より長い	きまっていない	無回答
合計	1342 100.0	72 5.4	154 11.5	224 16.7	332 24.7	280 20.9	59 4.4	152 11.3	69 5.1

問17-1 朝食の頻度<居場所に来る前>

	件数	毎日またはほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回程度	食べない	無回答
合計	1342 100.0	1008 75.1	101 7.5	80 6.0	37 2.8	74 5.5	42 3.1

問 17-2 朝食の頻度<現在>

	件数	毎日またはほとんど毎日	週に4~5回	週に2~3回	週に1回程度	食べない	無回答
合計	1342 100.0	1024 76.3	97 7.2	77 5.7	35 2.6	60 4.5	49 3.7

問 18-1 ふだん一緒に朝食を食べている相手<居場所に来る前>

	件数	おうちの大人の人	きょうだい	おうちの人以上の大人	居場所のスタッフ	学校のともだち	クラブ活動の仲間	学校以外のともだち	居場所の友達	ひとり	その他の人	無回答
合計	1342 100.0	746 55.6	681 50.7	10 0.7	9 0.7	19 1.4	3 0.2	4 0.3	7 0.5	232 17.3	14 1.0	64 4.8

問 18-2 ふだん一緒に朝食を食べている相手<現在>

	件数	おうちの大人の人	きょうだい	おうちの人以上の大人	居場所のスタッフ	学校のともだち	クラブ活動の仲間	学校以外のともだち	居場所の友達	ひとり	その他の人	無回答
合計	1342 100.0	741 55.2	680 50.7	14 1.0	13 1.0	27 2.0	4 0.3	6 0.4	17 1.3	226 16.8	13 1.0	69 5.1

問 19-1 夕食の頻度<居場所に来る前>

	件数	毎日またはほとんど毎日	週に4~5回	週に2~3回	週に1回程度	食べない	無回答
合計	1342 100.0	1188 88.5	59 4.4	29 2.2	8 0.6	11 0.8	47 3.5

問19-2 夕食の頻度<現在>

	件数	毎日またはほとんど毎日	週に4~5回	週に2~3回	週に1回程度	食べない	無回答
合計	1342 100.0	1196 89.1	59 4.4	24 1.8	6 0.4	11 0.8	46 3.4

問20-1 ふだん一緒に夕食を食べている相手<居場所に来る前>

	件数	おうちの大人の人	きょうだい	おうちの人以上の大人	居場所のスタッフ	学校のともだち	クラブ活動の仲間	学校以外のともだち	居場所の友達	ひとり	その他の人	無回答
合計	1342 100.0	1068 79.6	697 51.9	29 2.2	14 1.0	32 2.4	4 0.3	8 0.6	24 1.8	107 8.0	7 0.5	47 3.5

問20-2 ふだん一緒に夕食を食べている相手<現在>

	件数	おうちの大人の人	きょうだい	おうちの人以上の大人	居場所のスタッフ	学校のともだち	クラブ活動の仲間	学校以外のともだち	居場所の友達	ひとり	その他の人	無回答
合計	1342 100.0	1047 78.0	680 50.7	41 3.1	95 7.1	52 3.9	7 0.5	16 1.2	129 9.6	102 7.6	7 0.5	52 3.9

問21-1 健康状態<居場所に来る前>

	件数	良い	どちらかといえば良い	普通	どちらかといえば悪い	悪い	無回答
合計	1342 100.0	829 61.8	138 10.3	259 19.3	32 2.4	25 1.9	59 4.4

問21-2 健康状態<現在>

	件数	良い	どちらかといえば良い	普通	どちらかといえば悪い	悪い	無回答
合計	1342 100.0	845 63.0	136 10.1	243 18.1	38 2.8	23 1.7	57 4.2

問 2 2 - 1 放課後に過ごす相手<居場所に来る前>

	件数	おうちの大人の人	きょうだい	おうちの人以上の大人	居場所のスタッフ	学校のともだち	クラブ活動の仲間	学校以外のともだち	居場所の友達	ひとりである	その他の人	無回答
合計	1342 100.0	603 44.9	467 34.8	95 7.1	99 7.4	586 43.7	160 11.9	78 5.8	156 11.6	169 12.6	53 3.9	60 4.5

問 2 2 - 2 放課後に過ごす相手<現在>

	件数	おうちの大人の人	きょうだい	おうちの人以上の大人	居場所のスタッフ	学校のともだち	クラブ活動の仲間	学校以外のともだち	居場所の友達	ひとりである	その他の人	無回答
合計	1342 100.0	566 42.2	456 34.0	118 8.8	299 22.3	624 46.5	173 12.9	95 7.1	371 27.6	148 11.0	49 3.7	55 4.1

問 2 3 - 1 - ① いままでの人生で、心から感動したことがある<居場所に来る前>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	1342 100.0	596 44.4	278 20.7	144 10.7	251 18.7	73 5.4

問 2 3 - 1 - ② 夢中になったり面白いと思った、やる気が出たという記憶に残っている授業がある<居場所に来る前>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	1342 100.0	547 40.8	319 23.8	186 13.9	215 16.0	75 5.6

問 2 3 - 1 - ③ 小さい子やお年寄りがこまっているとき手助けをする<居場所に来る前>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	1342 100.0	439 32.7	441 32.9	213 15.9	176 13.1	73 5.4

問 2 3 - 1 - ④ お祭りやボランティア活動など地域の行事に参加する<居場所に来る前>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	1342 100.0	429 32.0	325 24.2	238 17.7	274 20.4	76 5.7

問 2 3 - 2 - ① いままでの人生で、心から感動したことがある<現在>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	1342 100.0	632 47.1	283 21.1	118 8.8	222 16.5	87 6.5

問 2 3 - 2 - ② 夢中になったり面白いと思った、やる気が出たという記憶に残っている授業がある<現在>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	1342 100.0	573 42.7	346 25.8	161 12.0	175 13.0	87 6.5

問 2 3 - 2 - ③ 小さい子やお年寄りがこまっているとき手助けをする<現在>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	1342 100.0	486 36.2	426 31.7	184 13.7	155 11.5	91 6.8

問 2 3 - 2 - ④ お祭りやボランティア活動など地域の行事に参加する<現在>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	1342 100.0	497 37.0	319 23.8	187 13.9	246 18.3	93 6.9

問 2 4 - 1 - ① 何かに失敗したときにたすけてくれる人<居場所に来る前>

	件数	たくさんいる	あるていどいる	あまりいない	まったくいない	無回答
合計	1342 100.0	495 36.9	521 38.8	160 11.9	96 7.2	70 5.2

問 2 4 - 1 - ② 勉強やスポーツをがんばったときにほめてくれる人<居場所に来る前>

	件数	たくさんいる	あるていどいる	あまりいない	まったくいない	無回答
合計	1342 100.0	591 44.0	398 29.7	174 13.0	101 7.5	78 5.8

問 2 4 - 1 - ③ 一人ではできないことがあったときには気持ちよく手伝ってくれる人<居場所に来る前>

	件数	たくさんいる	あるていどいる	あまりいない	まったくいない	無回答
合計	1342 100.0	559 41.7	428 31.9	169 12.6	102 7.6	84 6.3

問 2 4 - 1 - ④ 悩んでいるときにどうしたらよいか教えてくれる人<居場所に来る前>

	件数	たくさんいる	あるていどいる	あまりいない	まったくいない	無回答
合計	1342 100.0	553 41.2	411 30.6	174 13.0	122 9.1	82 6.1

問 2 4 - 2 - ① 何かに失敗したときにたすけてくれる人<現在>

	件数	たくさんいる	あるていどいる	あまりいない	まったくいない	無回答
合計	1342 100.0	620 46.2	452 33.7	114 8.5	77 5.7	79 5.9

問 2 4 - 2 - ② 勉強やスポーツをがんばったときにほめてくれる人<現在>

	件数	たくさんいる	あるていどいる	あまりいない	まったくいない	無回答
合計	1342 100.0	671 50.0	381 28.4	134 10.0	73 5.4	83 6.2

問 2 4 - 2 - ③ 一人ではできないことがあったときには気持ちよく手伝ってくれる人<現在>

	件数	たくさんいる	あるていどいる	あまりいない	まったくいない	無回答
合計	1342 100.0	646 48.1	387 28.8	149 11.1	74 5.5	86 6.4

問 2 4 - 2 - ④ 悩んでいるときにどうしたらよいか教えてくれる人<現在>

	件数	たくさんいる	あるていどいる	あまりいない	まったくいない	無回答
合計	1342 100.0	644 48.0	385 28.7	130 9.7	99 7.4	84 6.3

問 2 5 - 1 - ① 自分に自信がある<居場所に来る前>

	件数	そう思う	どちらかというそう思う	どちらかというそう思わない	そう思わない	無回答
合計	1342 100.0	356 26.5	352 26.2	296 22.1	260 19.4	78 5.8

問 2 5 - 1 - ② 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる<居場所に来る前>

	件数	そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思う わない	そう思わない	無回答
合計	1342 100.0	357 26.6	350 26.1	326 24.3	218 16.2	91 6.8

問 2 5 - 1 - ③ 大人を信用できる<居場所に来る前>

	件数	そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思う わない	そう思わない	無回答
合計	1342 100.0	488 36.4	423 31.5	194 14.5	148 11.0	89 6.6

問 2 5 - 1 - ④ 自分の将来の夢や目標を持っている<居場所に来る前>

	件数	そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思う わない	そう思わない	無回答
合計	1342 100.0	691 51.5	238 17.7	155 11.5	165 12.3	93 6.9

問 2 5 - 1 - ⑤ 将来のためにも今頑張りたいと思う<居場所に来る前>

	件数	そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思う わない	そう思わない	無回答
合計	1342 100.0	627 46.7	337 25.1	162 12.1	119 8.9	97 7.2

問 2 5 - 1 - ⑥ 将来働きたいと思う<居場所に来る前>

	件数	そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思う わない	そう思わない	無回答
合計	1342 100.0	912 68.0	196 14.6	75 5.6	66 4.9	93 6.9

問 2 5 - 2 - ① 自分に自信がある<現在>

	件数	そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思う わな	そう思わない	無回答
合計	1342 100.0	468 34.9	345 25.7	241 18.0	200 14.9	88 6.6

問 2 5 - 2 - ② 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる<現在>

	件数	そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思う わな	そう思わない	無回答
合計	1342 100.0	439 32.7	369 27.5	278 20.7	164 12.2	92 6.9

問 2 5 - 2 - ③ 大人を信用できる<現在>

	件数	そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思う わな	そう思わない	無回答
合計	1342 100.0	563 42.0	401 29.9	165 12.3	121 9.0	92 6.9

問 2 5 - 2 - ④ 自分の将来の夢や目標を持っている<現在>

	件数	そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思う わな	そう思わない	無回答
合計	1342 100.0	763 56.9	225 16.8	126 9.4	128 9.5	100 7.5

問 2 5 - 2 - ⑤ 将来のためにも今頑張りたいと思う<現在>

	件数	そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思う わな	そう思わない	無回答
合計	1342 100.0	734 54.7	297 22.1	122 9.1	87 6.5	102 7.6

問 2 5 - 2 - ⑥ 将来働きたいと思う<現在>

	件数	そう思う	どちらかというと思う	どちらかといわない	そう思わない	無回答
合計	1342 100.0	968 72.1	185 13.8	46 3.4	48 3.6	95 7.1

問 2 6 - 1 将来の進学希望<居場所に来る前>

	件数	中学校	高校	専門学校	大学	決めていない・わからない	無回答
合計	1342 100.0	76 5.7	300 22.4	185 13.8	347 25.9	351 26.2	83 6.2

問 2 6 - 2 将来の進学希望<現在>

	件数	中学校	高校	専門学校	大学	決めていない・わからない	無回答
合計	1342 100.0	54 4.0	242 18.0	238 17.7	427 31.8	284 21.2	97 7.2

問 2 7 居場所に来た感想

	件数	来て良かったと思う	どちらかといえば来て良かったと思う	どちらかといえば来て良かったと思わない	来て良かったと思わない	無回答
合計	1342 100.0	900 67.1	239 17.8	54 4.0	30 2.2	119 8.9

4. 支援員：保護者 単純集計

問1 お子さんからみた続柄

	件数	お母さん	お父さん	おばあさん・おじいさん	おじ、おばなど親戚	施設職員・ファミリーホーム・里親	その他の人	無回答
合計	343 100.0	290 84.5	32 9.3	17 5.0	3 0.9	-	-	1 0.3

問2-1 回答者の性別

	件数	男性	女性	無回答
合計	343 100.0	34 9.9	308 89.8	1 0.3

問2-2 回答者の年齢

	件数	30歳未満	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上	無回答
合計	343 100.0	15 4.4	46 13.4	91 26.5	81 23.6	55 16.0	42 12.2	13 3.8

問2-3 世帯人数

	件数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	無回答
合計	343 100.0	-	31 9.0	70 20.4	73 21.3	55 16.0	42 12.2	43 12.5	29 8.5

問2-4 お子さんの人数

	件数	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
合計	343 100.0	54 15.7	82 23.9	86 25.1	48 14.0	52 15.2	21 6.1

問2-5 お子さんの年齢

	件数	有効回答	無回答	平均	最小値	最大値	実数合計
合計	3087 100.0	950 30.8	2137 69.2	11.2	0	33	10620 100.0

問3 お子さんからみた同居家族の構成

	件数	両親ともにいる	母親がいて父親がいない	父親がいて母親がいない	両親がいなくて祖父母(両方又は一方)がいる	その他	無回答
合計	343 100.0	116 33.8	189 55.1	20 5.8	14 4.1	1 0.3	3 0.9

問4-① 児童手当

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	343 100.0	314 91.5	5 1.5	7 2.0	17 5.0

問4-② 就学援助費

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	343 100.0	224 65.3	26 7.6	42 12.2	51 14.9

問4-③ 児童扶養手当

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	343 100.0	172 50.1	23 6.7	81 23.6	67 19.5

問4-④ 障がいや難病の手当

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	343 100.0	52 15.2	4 1.2	180 52.5	107 31.2

問4-⑤ 生活保護

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	343 100.0	80 23.3	15 4.4	165 48.1	83 24.2

問4-⑥ 公的年金（老齢年金）

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	343 100.0	11 3.2	1 0.3	218 63.6	113 32.9

問4-⑦ 公的年金（遺族年金、障害年金）

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	343 100.0	33 9.6	2 0.6	204 59.5	104 30.3

問4-⑧ 雇用保険（失業保険）

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	343 100.0	10 2.9	46 13.4	172 50.1	115 33.5

問4-⑨ 養育費

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	343 100.0	15 4.4	8 2.3	211 61.5	109 31.8

問4-⑩ 親・親族からの仕送り

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	343 100.0	9 2.6	18 5.2	206 60.1	110 32.1

問4-⑪ 退職金

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	343 100.0	6 1.7	12 3.5	211 61.5	114 33.2

問4-⑫ その他、株式配当などの副収入

	件数	受けている	受けたことがある	受けたことはない	無回答
合計	343 100.0	2 0.6	2 0.6	221 64.4	118 34.4

問5 前年（2017年）の世帯収入の合計額

	件数	0円	1～50万円未満	50～100万円未満	100～150万円未満	150～200万円未満	200～250万円未満	250～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500～600万円未満	600～700万円未満
合計	343 100.0	20 5.8	22 6.4	42 12.2	76 22.2	55 16.0	40 11.7	28 8.2	15 4.4	7 2.0	3 0.9	2 0.6

	700～800万円未満	800～900万円未満	900～1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
合計	2 0.6	1 0.3	-	-	30 8.7

問6 経済的な理由で経験したこと

	件数	食費を切りつめた	電気・ガス・水道などが止められた	医療機関を受診できなかった	国民健康保険料の支払いが滞ったことがある	国民年金の支払いが滞ったことがある	金融機関などに借金をしたことがある	クレジットカードの利用が停止になったことがある	新しい衣服・靴を買うのを控えた	新聞や雑誌を買うのを控えた	スマートフォンへの代替・利用を断念した	冠婚葬祭のつきあいを控えた
合計	343 100.0	243 70.8	89 25.9	103 30.0	150 43.7	97 28.3	113 32.9	51 14.9	240 70.0	142 41.4	70 20.4	85 24.8

	生活の見通しがたなくて不安になったことがある	バスなどの利用を控え、自転車を使ったり歩くようになった	電話（固定・携帯）など通信料の支払いが滞ったことがある	家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある	趣味やレジャーの出費を減らした	冷暖房の使用を控えた	友人・知人との外食を控えた	敷金・保証金等を用意できず、住み替え・転居を断念した	理髪店・美容院に行く回数を減らした	子ども部屋が欲しかったが、つくれなかった	1～21の項目には、どれもあてまらない	無回答
合計	205 59.8	53 15.5	140 40.8	95 27.7	189 55.1	134 39.1	184 53.6	78 22.7	202 58.9	108 31.5	14 4.1	15 4.4

問7 経済的な理由で子どもにしてあげられなかった経験

	件数	医療機関に受診させることができなかった	進路を変更した	本や絵本が買えなかった	おこづかいを渡すことができなかった	新しい服や靴を買うことができなかった	学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	習い事に通わすことができなかった	学校のクラブ活動に参加させられなかった	学習塾に通わすことができなかった	誕生日を祝えなかった	お年玉をあげることができなかった
合計	343 100.0	83 24.2	28 8.2	108 31.5	165 48.1	159 46.4	21 6.1	173 50.4	60 17.5	149 43.4	61 17.8	94 27.4

	件数	子ども会、地域の行事等に参加することができなかった	家族旅行(日帰りのおでかけを含む)ができなかった	どれにもあてはまらない	無回答
合計	54 15.7	48 14.0	193 56.3	40 11.7	29 8.5

問8 生計を支えている者の現在の就業状況

	件数	勤め(常勤・正規職員)	勤め(非正規職員などで1か所に勤務)	勤め(非正規職員などで2か所以上に勤務)	自営業・家業	その他の就業形態	仕事を探している	仕事をさがしていない	わからない	無回答
合計	343 100.0	84 24.5	128 37.3	9 2.6	31 9.0	8 2.3	37 10.8	60 17.5	1 0.3	20 5.8

問8-1 仕事を探していない理由

問8 生計を支えている者の現在の就業状況…仕事をさがしていない

	件数	家事や育児に専念	学生	おうちの人の介護や介助	病気療養	年金など	家賃収入、株式運用など	その他	無回答
合計	60 100.0	10 16.7	2 3.3	12 20.0	34 56.7	14 23.3	2 3.3	5 8.3	1 1.7

問9 支援員と会いはじめた時期

	件数	2016年から	2017年から	2018年から	わからない	無回答
合計	343 100.0	57 16.6	111 32.4	105 30.6	50 14.6	20 5.8

問10 支援員と会った回数

	件数	おおむね10回以上	おおむね6～9回	おおむね3～5回	おおむね1～2回	無回答
合計	343 100.0	112 32.7	57 16.6	90 26.2	58 16.9	26 7.6

問11-①. 同じ時刻に起きる

	件数	あてはまる	ややあてはまる	変わらない	あてはまらない	無回答
合計	343 100.0	68 19.8	88 25.7	133 38.8	32 9.3	22 6.4

問11-②. 朝食を食べる

	件数	あてはまる	ややあてはまる	変わらない	あてはまらない	無回答
合計	343 100.0	113 32.9	67 19.5	128 37.3	17 5.0	18 5.2

問11-③. 健康状態

	件数	良い	どちらかといえば良い	変わらない	どちらかといえば悪い	無回答
合計	343 100.0	145 42.3	79 23.0	99 28.9	3 0.9	17 5.0

問11-④. 授業時間以外にも勉強する

	件数	あてはまる	ややあてはまる	変わらない	あてはまらない	無回答
合計	343 100.0	69 20.1	99 28.9	109 31.8	45 13.1	21 6.1

問 1 1 -⑤. 授業が楽しい、勉強が面白いと思う、やる気が出る

	件数	あてはまる	ややあてはまる	変わらない	あてはまらない	無回答
合計	343 100.0	42 12.2	106 30.9	137 39.9	38 11.1	20 5.8

問 1 1 -⑥. お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する

	件数	あてはまる	ややあてはまる	変わらない	あてはまらない	無回答
合計	343 100.0	47 13.7	85 24.8	121 35.3	64 18.7	26 7.6

問 1 1 -⑦. 勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる人がいる

	件数	あてはまる	ややあてはまる	変わらない	あてはまらない	無回答
合計	343 100.0	166 48.4	96 28.0	51 14.9	8 2.3	22 6.4

問 1 1 -⑧. 自分の考えをはっきり相手に伝えることができ

	件数	あてはまる	ややあてはまる	変わらない	あてはまらない	無回答
合計	343 100.0	58 16.9	144 42.0	97 28.3	23 6.7	21 6.1

問 1 1 -⑨. 自分の将来の夢や目標を持っている

	件数	あてはまる	ややあてはまる	変わらない	あてはまらない	無回答
合計	343 100.0	59 17.2	107 31.2	111 32.4	32 9.3	34 9.9

問 1 1 - ⑩. 放課後どこで過ごしますか<以前>

	件数	自分の家	おばあちゃん・おじいちゃんの家	ともだちの家	塾	習いごと	学校(クラブ活動など)	公園・広場	スーパーやショッピングモール	コンビニエンスストア	ゲームセンター	図書館や公民館など公共の施設
合計	343 100.0	179 52.2	20 5.8	24 7.0	12 3.5	6 1.7	42 12.2	18 5.2	2 0.6	-	1 0.3	4 1.2

	地域の居場所	学童保育	その他	無回答
合計	11 3.2	16 4.7	13 3.8	85 24.8

問 1 1 - ⑩. 放課後どこで過ごしますか<現在>

	件数	自分の家	おばあちゃん・おじいちゃんの家	ともだちの家	塾	習いごと	学校(クラブ活動など)	公園・広場	スーパーやショッピングモール	コンビニエンスストア	ゲームセンター	図書館や公民館など公共の施設
合計	343 100.0	143 41.7	16 4.7	20 5.8	29 8.5	7 2.0	34 9.9	14 4.1	2 0.6	-	1 0.3	4 1.2

	地域の居場所	学童保育	その他	無回答
合計	72 21.0	23 6.7	20 5.8	85 24.8

問 1 2 - 1 - ① お子さんと会話をしますか<支援員に会う前>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答
合計	343 100.0	164 47.8	146 42.6	23 6.7	2 0.6	8 2.3

問12-1-② お子さんと十分時間を過ごしていますか<支援員に会う前>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答
合計	343 100.0	114 33.2	158 46.1	54 15.7	7 2.0	10 2.9

問12-1-③ お子さんと読んだ本の感想を話し合ったりしますか<支援員に会う前>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答
合計	343 100.0	28 8.2	68 19.8	155 45.2	82 23.9	10 2.9

問12-1-④ お子さんと一緒に図書館に行きますか<支援員に会う前>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答
合計	343 100.0	23 6.7	30 8.7	92 26.8	188 54.8	10 2.9

問12-1-⑤ お子さんの将来の夢について話し合っていますか<支援員に会う前>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答
合計	343 100.0	66 19.2	141 41.1	90 26.2	36 10.5	10 2.9

問12-1-⑥ お子さんを信頼していますか<支援員に会う前>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答
合計	343 100.0	169 49.3	132 38.5	27 7.9	6 1.7	9 2.6

問1 2-2-① お子さんと会話をしますか<現在>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答
合計	343 100.0	205 59.8	119 34.7	7 2.0	-	12 3.5

問1 2-2-② お子さんと十分時間を過ごしていますか<現在>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答
合計	343 100.0	126 36.7	160 46.6	42 12.2	3 0.9	12 3.5

問1 2-2-③ お子さんと読んだ本の感想を話し合ったりしますか<現在>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答
合計	343 100.0	40 11.7	75 21.9	142 41.4	73 21.3	13 3.8

問1 2-2-④ お子さんと一緒に図書館に行きますか<現在>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答
合計	343 100.0	25 7.3	40 11.7	83 24.2	182 53.1	13 3.8

問1 2-2-⑤ お子さんの将来の夢について話し合っていますか<現在>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答
合計	343 100.0	96 28.0	152 44.3	60 17.5	22 6.4	13 3.8

問12-2-⑥ お子さんを信頼していますか<現在>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答
合計	343 100.0	192 56.0	120 35.0	15 4.4	4 1.2	12 3.5

問13-1-① 不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある<お子さんが居場所を利用する前>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	343 100.0	124 36.2	130 37.9	42 12.2	30 8.7	17 5.0

問13-1-② 子どもを育てるために我慢している<お子さんが居場所を利用する前>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	343 100.0	93 27.1	113 32.9	69 20.1	50 14.6	18 5.2

問13-1-③ 自分一人で育てているという圧迫感を感じる<お子さんが居場所を利用する前>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	343 100.0	100 29.2	73 21.3	78 22.7	73 21.3	19 5.5

問13-1-④ 子どもの世話にはあまり関心がない<お子さんが居場所を利用する前>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	343 100.0	9 2.6	15 4.4	70 20.4	230 67.1	19 5.5

問13-2-① 不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある<現在>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	343 100.0	41 12.0	135 39.4	100 29.2	46 13.4	21 6.1

問13-2-② 子どもを育てるために我慢している<現在>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	343 100.0	46 13.4	116 33.8	89 25.9	72 21.0	20 5.8

問13-2-③ 自分一人で育てているという圧迫感を感じる<現在>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	343 100.0	41 12.0	81 23.6	91 26.5	109 31.8	21 6.1

問13-2-④ 子どもの世話にはあまり関心がない<現在>

	件数	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	無回答
合計	343 100.0	5 1.5	14 4.1	62 18.1	241 70.3	21 6.1

問1 4 - 1 - ① 中学校までの教育<支援員に会う前>

	件数	受けさせたい	経済的に可能だが必要だと思わない	経済的に受けさせられない	無回答
合計	343 100.0	231 67.3	4 1.2	5 1.5	103 30.0

問1 4 - 1 - ② 高校までの教育<支援員に会う前>

	件数	受けさせたい	経済的に可能だが必要だと思わない	経済的に受けさせられない	無回答
合計	343 100.0	247 72.0	10 2.9	14 4.1	72 21.0

問1 4 - 1 - ③ 専門学校までの教育<支援員に会う前>

	件数	受けさせたい	経済的に可能だが必要だと思わない	経済的に受けさせられない	無回答
合計	343 100.0	116 33.8	17 5.0	107 31.2	103 30.0

問1 4 - 1 - ④ 大学までの教育<支援員に会う前>

	件数	受けさせたい	経済的に可能だが必要だと思わない	経済的に受けさせられない	無回答
合計	343 100.0	108 31.5	13 3.8	136 39.7	86 25.1

問1 4 - 2 - ① 中学校までの教育<現在>

	件数	受けさせたい	経済的に可能だが必要だと思わない	経済的に受けさせられない	無回答
合計	343 100.0	234 68.2	4 1.2	3 0.9	102 29.7

問14-2-② 高校までの教育<現在>

	件数	受けさせたい	経済的に可能だが必要だと思わない	経済的に受けさせられない	無回答
合計	343 100.0	249 72.6	5 1.5	8 2.3	81 23.6

問14-2-③ 専門学校までの教育<現在>

	件数	受けさせたい	経済的に可能だが必要だと思わない	経済的に受けさせられない	無回答
合計	343 100.0	150 43.7	13 3.8	84 24.5	96 28.0

問14-2-④ 大学までの教育<現在>

	件数	受けさせたい	経済的に可能だが必要だと思わない	経済的に受けさせられない	無回答
合計	343 100.0	134 39.1	14 4.1	118 34.4	77 22.4

問15-1 健康状態<支援員に会う前>

	件数	良い	どちらかといえば良い	普通	どちらかといえば悪い	悪い	無回答
合計	343 100.0	71 20.7	37 10.8	105 30.6	68 19.8	44 12.8	18 5.2

問15-2 健康状態<現在>

	件数	良い	どちらかといえば良い	普通	どちらかといえば悪い	悪い	無回答
合計	343 100.0	87 25.4	65 19.0	101 29.4	50 14.6	20 5.8	20 5.8

問16-1-① 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人<支援員に会う前>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	343 100.0	199 58.0	84 24.5	44 12.8	16 4.7

問16-1-② あなたの気持ちを察して思いやってくれる人<支援員に会う前>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	343 100.0	175 51.0	86 25.1	63 18.4	19 5.5

問16-1-③ 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人<支援員に会う前>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	343 100.0	182 53.1	102 29.7	43 12.5	16 4.7

問16-1-④ 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人<支援員に会う前>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	343 100.0	183 53.4	89 25.9	53 15.5	18 5.2

問16-1-⑤ 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人<支援員に会う前>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	343 100.0	125 36.4	124 36.2	76 22.2	18 5.2

問16-1-⑥ 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人<支援員に会う前>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	343 100.0	151 44.0	159 46.4	16 4.7	17 5.0

問16-1-⑦ 留守を頼める人<支援員に会う前>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	343 100.0	144 42.0	164 47.8	18 5.2	17 5.0

問16-2-① 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人<現在>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	343 100.0	260 75.8	36 10.5	30 8.7	17 5.0

問16-2-② あなたの気持ちを察して思いやってくれる人<現在>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	343 100.0	236 68.8	44 12.8	44 12.8	19 5.5

問16-2-③ 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人<現在>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	343 100.0	215 62.7	71 20.7	40 11.7	17 5.0

問16-2-④ 子どもの関わりについて、適切な助言をしてくれる人<現在>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	343 100.0	251 73.2	34 9.9	40 11.7	18 5.2

問16-2-⑤ 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人<現在>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	343 100.0	216 63.0	56 16.3	52 15.2	19 5.5

問16-2-⑥ 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人<現在>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	343 100.0	177 51.6	136 39.7	12 3.5	18 5.2

問16-2-⑦ 留守を頼める人<現在>

	件数	いる	いない	わからない	無回答
合計	343 100.0	159 46.4	145 42.3	21 6.1	18 5.2

問17-1-① 地域の行事に参加していますか<支援員に会う前>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答
合計	343 100.0	29 8.5	54 15.7	127 37.0	117 34.1	16 4.7

問17-1-② お子さんが通う学校の行事に参加していますか<支援員に会う前>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答
合計	343 100.0	96 28.0	139 40.5	74 21.6	20 5.8	14 4.1

問17-1-③ 子どもを朝、学校に送り出していますか<支援員に会う前>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答
合計	343 100.0	179 52.2	89 25.9	35 10.2	21 6.1	19 5.5

問17-2-① 地域の行事に参加していますか<現在>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答
合計	343 100.0	33 9.6	66 19.2	123 35.9	105 30.6	16 4.7

問17-2-② お子さんが通う学校の行事に参加していますか<現在>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答
合計	343 100.0	111 32.4	138 40.2	63 18.4	17 5.0	14 4.1

問17-2-③ 子どもを朝、学校に送り出していますか<現在>

	件数	よくする	する	あまりしない	しない	無回答
合計	343 100.0	195 56.9	83 24.2	28 8.2	22 6.4	15 4.4

問18-1 支援員からのサポートで役に立った分野

	件数	悩みごとの相談を聞いてもらうこと	生活に関する支援	福祉に関する支援	教育に関する支援	就労に関する支援	金銭に関する支援	住まいに関する支援	その他	無回答
合計	343 100.0	164 47.8	133 38.8	77 22.4	219 63.8	38 11.1	42 12.2	35 10.2	10 2.9	38 11.1

問18-2 生活に関して受けた支援

問18-1 支援員からのサポートで役に立った分野…生活に関する支援

	件数	食事や生活時間に関するアドバイス	子どもの居場所及び子ども食堂へのつなぎ	子育てや育児に関するアドバイス	その他	無回答
合計	133 100.0	36 27.1	91 68.4	53 39.8	10 7.5	5 3.8

問18-3 福祉に関して受けた支援

問18-1 支援員からのサポートで役に立った分野…福祉に関する支援

	件数	生活保護の手続き	生活困窮者自立支援制度の手続き	福祉事務所など、福祉関係機関へのつなぎ	その他	無回答
合計	77 100.0	27 35.1	17 22.1	41 53.2	10 13.0	7 9.1

問18-4 教育に関して受けた支援

問18-1 支援員からのサポートで役に立った分野…教育に関する支援

	件数	就学援助の手続き	学校との調整	無料塾へのつなぎ	その他	無回答
合計	219 100.0	101 46.1	82 37.4	136 62.1	6 2.7	7 3.2

問18-5 就労に関して受けた支援

問18-1 支援員からのサポートで役に立った分野…就労に関する支援

	件数	職業安定所（ハローワーク）へのつなぎ	就業訓練	その他	無回答
合計	38 100.0	20 52.6	10 26.3	8 21.1	5 13.2

問18-6 金銭に関して受けた支援

問18-1 支援員からのサポートで役に立った分野…金銭に関する支援

	件数	家計管理	借金の整理に関するアドバイス	養育費に関するアドバイス	その他	無回答
合計	42 100.0	16 38.1	15 35.7	13 31.0	7 16.7	5 11.9

問18-7 住まいに関して受けた支援

問18-1 支援員からのサポートで役に立った分野…住まいに関する支援

	件数	公営住宅の紹介	母子生活支援施設の紹介	その他	無回答
合計	35 100.0	14 40.0	13 37.1	5 14.3	6 17.1

問19 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況

	件数	よく利用している	利用している	ほとんど利用していない	利用していない	そのようなサービスを利用できる施設は近くにない	無回答
合計	343 100.0	57 16.6	100 29.2	37 10.8	92 26.8	19 5.5	38 11.1

問20-① 同じ時刻に起きる

問19 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	あてはまる	ややあてはまる	かわらない	あてはまらない	無回答
合計	157 100.0	36 22.9	54 34.4	61 38.9	5 3.2	1 0.6

問20-② 朝食を食べる

問19 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	あてはまる	ややあてはまる	かわらない	あてはまらない	無回答
合計	157 100.0	67 42.7	32 20.4	55 35.0	2 1.3	1 0.6

問20-③ 健康状態

問19 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	良い	どちらかといえば良い	かわらない	どちらかといえば悪い	無回答
合計	157 100.0	74 47.1	45 28.7	37 23.6	-	1 0.6

問20-④ 授業時間以外にも勉強する

問19 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	あてはまる	ややあてはまる	かわらない	あてはまらない	無回答
合計	157 100.0	41 26.1	67 42.7	40 25.5	7 4.5	2 1.3

問20-⑤ 授業が楽しい、勉強が面白いと思う、やる気が出る

問19 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	あてはまる	ややあてはまる	かわらない	あてはまらない	無回答
合計	157 100.0	23 14.6	68 43.3	59 37.6	5 3.2	2 1.3

問20-⑥ お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する

問19 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	あてはまる	ややあてはまる	かわらない	あてはまらない	無回答
合計	157 100.0	30 19.1	46 29.3	59 37.6	18 11.5	4 2.5

問20-⑦ 勉強やスポーツをがんばったときに、ほめてくれる人がいる

問19 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	あてはまる	ややあてはまる	かわらない	あてはまらない	無回答
合計	157 100.0	86 54.8	49 31.2	17 10.8	2 1.3	3 1.9

問20-⑧ 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

問19 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	あてはまる	ややあてはまる	かわらない	あてはまらない	無回答
合計	157 100.0	28 17.8	69 43.9	47 29.9	9 5.7	4 2.5

問20-⑨ 自分の将来の夢や目標を持っている

問19 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	あてはまる	ややあてはまる	かわらない	あてはまらない	無回答
合計	157 100.0	37 23.6	64 40.8	47 29.9	6 3.8	3 1.9

問20-⑩ 放課後どこで過ごしますか<以前>

問19 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	自分の家	おばあちゃん・おじいちゃんの家	ともだちの家	塾	習いごと	学校(クラブ活動など)	公園・広場	スーパーやショッピングモール	コンビニエンスストア	ゲームセンター	図書館や公民館など公共の施設
合計	157 100.0	93 59.2	12 7.6	15 9.6	7 4.5	5 3.2	23 14.6	12 7.6	1 0.6	1 0.6	-	4 2.5

	地域の居場所	学童保育	その他	無回答
合計	5 3.2	10 6.4	5 3.2	19 12.1

問20-⑩ 放課後どこで過ごしますか<現在>

問19 食事の提供や学習の支援などのサービスの利用状況…よく利用している・利用している

	件数	自分の家	おばあちゃん・おじいちゃんの家	ともだちの家	塾	習いごと	学校(クラブ活動など)	公園・広場	スーパーやショッピングモール	コンビニエンスストア	ゲームセンター	図書館や公民館など公共の施設
合計	157 100.0	61 38.9	7 4.5	11 7.0	24 15.3	7 4.5	21 13.4	8 5.1	1 0.6	-	-	5 3.2

	地域の居場所	学童保育	その他	無回答
合計	57 36.3	18 11.5	7 4.5	20 12.7

問 2 1 今後支援員から受けてみたい分野のサポート

	件数	悩みごとの相談を聞いてもらうこと	生活に関する支援	福祉に関する支援	教育に関する支援	就労に関する支援	金銭に関する支援	住まいに関する支援	その他	無回答
合計	343 100.0	151 44.0	108 31.5	59 17.2	180 52.5	45 13.1	39 11.4	71 20.7	15 4.4	54 15.7

問 2 2 支援員と会うようになって良かったと思うか

	件数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
合計	343 100.0	232 67.6	78 22.7	6 1.7	2 0.6	25 7.3

子ども・保護者のみなさまに本調査にご協力いただきました。ご多忙の中快くお引き受けくださりご協力くださいましたことを、ここに厚くお礼申し上げます。

沖縄子供の貧困緊急対策事業
アンケート調査報告書

平成31年3月

公立大学法人 大阪府立大学 山野則子研究室